

講義内容2010

全学共通科目

他学部履修科目

「日本語」・「日本事情」科目

随意科目

教職課程・資格講座科目

講 義 内 容

目次案内

I	全学共通科目	
1.	宗教教育科目	(2)
2.	教養教育科目	
(1)	人文分野	(4)
(2)	社会分野	(7)
(3)	自然分野	(8)
(4)	総合分野	(10)
3.	外国語科目	(11)
4.	保健体育科目	(24)
II	他学部履修科目	(29)
III	「日本語」・「日本事情」科目	(31)
IV	随意科目	(32)
V	教職課程・資格講座科目	
1.	教職課程	(33)
2.	学校図書館司書教諭講座	(38)
3.	社会教育主事講座	(39)
4.	博物館学講座	(41)
5.	社会福祉主事講座	(43)

※専門教育科目は、別冊になっています。

宗教教育
人文分野
社会分野
自然分野
総合分野
外国語
保健体育
他学部履修科目
日本語
日本事情
随意科目
教職課程 資格講座科目

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	熊本 英人	202501	5
仏教と人間	長谷部 八朗	202601	5
仏教と人間	小川 順敬	202701	6
仏教と人間	池上 良正	202801	6
仏教と人間	矢野 秀武	202901	7
仏教と人間	粟谷 良道	203001	7
仏教と人間	竹内 弘道	203101	8
仏教と人間	佐藤 憲昭	203201	8
仏教と人間	須藤 寛人	203301	9
仏教と人間	金沢 篤	203401	9
仏教と人間	岩永 正晴	203501	10
仏教と人間	池田 魯参	203601	10
仏教と人間	永井 政之	203701	11
仏教と人間	石井 修道	203801	11
仏教と人間	片山 一良	203901	12
仏教と人間	飯塚 大展	204001	12
仏教と人間	程 正	204011	12
仏教と人間	松田 陽志	204021	13
仏教と人間	晴山 俊英	204101・206001	13
仏教と人間	池田 道浩	204201	14
仏教と人間	佐藤 秀孝	204301	14
仏教と人間	池田 練太郎	204401	15
仏教と人間	菅原 壽清	204501	15
仏教と人間	渡部 正英	204601	16
仏教と人間	岡部 雅明	204701	16
仏教と人間	村松 哲文	204801・205111	16
仏教と人間	吉村 誠	204901	17
仏教と人間	池上 光洋	205001	17
仏教と人間	新井 一光	205101	17
仏教と人間	池上 光洋	205121	18
仏教と人間	奥野 光賢	205201	18
仏教と人間	袴谷 憲昭	205301	19
仏教と人間	舘 隆志	205401	19
仏教と人間	角田 泰隆	205501	20
仏教と人間	熊本 英人	205601	20
仏教と人間〔再クラス〕	石井 公成	205701	21
仏教と人間〔再クラス〕	駒ヶ嶺 法子	205801	21
仏教と人間〔再クラス〕	海老澤 早苗	205901	21
仏教と人間〔再クラス〕	木村 誠司	341601	22
仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	22
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	341901	23
自然と宗教	小川 順敬	206101	24
社会と宗教	矢野 秀武	206201	24
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	25

宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
坐禅	角田 泰隆 池上 光洋	206401・206501	25

2. 教 養 教 育 科 目

(1) 人 文 分 野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フレッシュマンセミナー	内藤 寿子	357001	31
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	32
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	33
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	33
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	34
フレッシュマンセミナー	菌部 幹生	357501	34
フレッシュマンセミナー	石割 透	357601	35
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	35
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	36
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357811	37
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168901	37
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168911	38
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169001	38
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	38
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169101	39
日本文化テーマ研究C	菌部 幹生	169111	39
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169201	40
日本文化テーマ研究D	菌部 幹生	169211	40
日本文化テーマ研究E	内藤 寿子	169301	41
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	41
日本文化テーマ研究F	内藤 寿子	169401	42
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	42
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169501	43
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169601	43
日本文化基礎	佐原 作美	357901	44
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	44
日本文化基礎	坂口 博規	358101	45
日本文化基礎	菌部 幹生	358201	45
日本文化基礎	石割 透	358301	46
日本文化基礎	小林 治	358401	46
日本文化基礎	松田 直行	358501	47
日本文化基礎	内藤 寿子	358601	47
日本言語文化基礎	萩原 義雄	358901	48
日本言語文化基礎	湯浅 陽子	358911	49
実務表現	萩原 義雄	360901	50
実務表現	湯浅 陽子	361001	52
日本文化研究 I A	佐原 作美	169701	53
日本文化研究 I A	坂口 博規	171101	53
日本文化研究 I A	鈴木 裕子	171201	54
日本文化研究 I A	菌部 幹生	172001	54
日本文化研究 I B	石割 透	170201	55
日本文化研究 I B	小林 治	175501	55
日本文化研究 I B	松田 直行	215711	56
日本文化研究 I B	内藤 寿子	215731	56
日本言語文化研究 I	湯浅 陽子	215721	57

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語文化研究Ⅰ	萩原 義雄	170901	58
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	59
文学〔日本文学「近代」〕	川島 淳史	206701	60
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	60
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	61
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	62
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	63
文学〔「ドイツ文学」〕	武田 利勝	207401	63
文学〔日本文学「近代」〕	内藤 寿子	207701	64
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	64
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	65
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	65
歴史学〔日本中世史〕	今野 慶信	207801	66
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	66
歴史学〔禅の歴史と地域社会〕	廣瀬 良弘	208001	66
歴史学〔西洋近代史〕	土方 史織	208101	67
歴史学〔日本近世史〕	出口 宏幸	208201	67
歴史学〔日本近代史〕	井上 桂子	208301	68
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	69
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	69
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	70
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	70
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	71
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	71
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	72
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	72
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	208901	72
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	73
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	209101・343201	73
哲学〔近代の人間観と世界観〕	小島 優子	209201	74
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	74
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	75
哲学〔現代文明と人間〕	久保 陽一	209501	75
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	76
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	76
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601・209801	76
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	77
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	77
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	78
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	河谷 淳	210101	78
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	79
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	79
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	80
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	80
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	81
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	81
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701・211111	82
倫理学〔価値観〕	麻生 享志	210801	82
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	83
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	83

人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	84
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	84
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	85
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	85
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	86
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	86
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	87
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	87
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	88
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	88
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	89
人文地理学〔風土と文化〕	櫻井 明久	211701	89
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎悟	211801	90
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	90
キャリアを考えるⅠ	岡崎 洋	169611・169621・ 169631	91
キャリアを考えるⅡ	岡崎 洋	169661・169671・ 169681	92
日本文化研究Ⅱ A	佐原 作美	359001	93
日本文化研究Ⅱ A	鈴木 裕子	359101	93
日本文化研究Ⅱ A	坂口 博規	359201	94
日本文化研究Ⅱ A	蘭部 幹生	359301	94
日本文化研究Ⅱ B	石割 透	359701	95
日本文化研究Ⅱ B	小林 治	359801	95
日本文化研究Ⅱ B	松田 直行	359901	96
日本文化研究Ⅱ B	内藤 寿子	359951	96
日本言語文化研究Ⅱ	萩原 義雄	360601	97
日本言語文化研究Ⅱ	湯浅 陽子	360701	98

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801・344201	101
社会学〔現代文化を考える〕 社会学〔現代社会を考える〕 社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216001・216301・215901	101
社会学〔現代文化を考える〕	武山 梅乗	216101	102
社会学〔社会生活を考える〕	武山 梅乗	216201	102
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	103
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	103
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501・345201	104
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	104
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	105
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901・344501	106
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	107
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	107
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	108
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301・217401	108
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	109
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501・344701	109
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	110
法学・憲法〔法と社会生活〕	鷄徳 啓登	217701	111
法学・憲法〔法と社会生活〕	柳瀬 昇	217801	112
法学・憲法〔法と権利〕	長谷川 日出世	217901	112
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101・218201	113
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	113
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	114
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	114
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	115
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	116
政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	117
経済学〔現代社会と市場経済〕	畠中 貴	219001	117
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	118
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	118
経済学〔現代経済と人間〕	森田 成也	219101	119
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	松前 龍宜	219201	120
経済学〔現代経済と人間〕	貝塚 亨	345001	121
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	121
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	122
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	122
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	123

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
基礎物理学	佐藤 昌憲 小川 雅生	227401	127
基礎化学	原田 和正	227501	127
基礎数学	野口 勝	227701	128
科学基礎論	熊坂 さつき	219701	128
科学基礎論	佐藤 昌憲	219801	128
科学基礎論	近藤 啓介	219901	129
科学基礎論	原田 和正	220001	129
科学基礎論	名古 安伸	220101	129
科学基礎論	奥山 康男	220111	130
情報処理技術	近藤 啓介	227601	130
情報処理技術	近藤 啓介	227621	131
物理学序論	佐藤 昌憲 鳥山 保	227801	131
数学序論	近藤 啓介	227851	131
生命科学	清水 善和	227901	132
化学序論	山本 裕右	228001	132
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201・220301・ 345501	132
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401・345601	133
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	220501・346101・ 346201	133
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601・220801	134
地球科学〔地球システムと人間圏〕	守屋 和佳	220701	134
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	220901・221001	135
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101・221201・ 346401	135
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221301・221401・ 221601	136
自然環境論〔地球・太陽系環境〕	坂野井 和代	221501	136
自然環境論〔生命と環境〕	中村 敏枝	221701	137
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221801・221901・ 222001	137
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	138
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 篠原 正雄 持丸 真里 山縣 毅	222201・222301	138
数学〔微積分学入門〕	鳥居 竜三	222401	139
数学〔線型代数学入門〕	鳥居 竜三	222501	139
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	140
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	141
情報数学〔情報と論理〕	鳥居 竜三	346501	141
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801・222901	142
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223001・223101	142
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201・223301	143

科目名	担当者名	履修コード	ページ
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223401・223701・ 223901・224201	144
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	146
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601・224101	147
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	金尾 美穂	223801・224301	147
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	148
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225601・225701	149
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	鳥居 竜三	224401	149
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	坂野井 和代	224601	150
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	150
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	151
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	151
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	花木 良	225001	152
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	花木 良	225201	153
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	金尾 美穂	345701・345901	154
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	坂野井 和代	345801・346001	154
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225801・225901	155
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226001・226101	155
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博	226201	156
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	中澤 世都子	226301	156
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226401	157
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	158
心理学〔人間関係を考える〕	高橋 良博	226601	158
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226701・226901・ 345401	159
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	160
心理学〔心を科学する〕	高橋 良博	227001	161
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101	161
心理学〔心を科学する〕	桑原 正修	227201	162
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友覚	227301	162
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	163

総合分野

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合Ⅰ〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	167
総合Ⅰ〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	167
総合Ⅱ〔駒澤大学の歴史〕	熊本 史雄 大城 道則 小泉 雅弘 佐々木 真 杉山 清彦 廣瀬 良弘 皆川 義孝	228401	168
総合Ⅲ〔人権と社会問題〕	ピアス、 D. M.	228701	169
総合Ⅲ〔TOEFL (R) の問題で学ぶ知的教養〕	白鳥 義博	228801	169
総合Ⅲ〔女性学・男性学〕	杉山 秀子	228901	170
総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	171
総合Ⅳ〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	172
総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	173
総合Ⅵ〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	173
総合Ⅵ〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	174
総合Ⅶ〔トラブルと法的解決〕	井上 健一 王 志安 大宮 隆 奥村 公輔 田中 優企 原田 啓一郎	229901	174
総合Ⅶ〔都市論〕	早川 純貴 饗庭 伸 浦田 早苗 堀内 康史 村上 暁信	230001	175
総合Ⅷ	休講	230201	

3. 外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅠA	西村 祐子	233601	179
英語ⅠA	伊勢村 定雄	233701	179
英語ⅠA	竹村 恵都子	233711	180
英語ⅠA	菅原 典子	233801	180
英語ⅠA	川崎 浩太郎	233901	180
英語ⅠA	鈴木 美貴子	234001	181
英語ⅠA	井出 功一	234101	181
英語ⅠA	大庭 直樹	234201	181
英語ⅠA	市川 仁	234301	182
英語ⅠA	植村 恵子	234401・235101	182
英語ⅠA	太田 雅子	234501・235201	182
英語ⅠA	清水 雅夫	234601	182
英語ⅠA	渡部 孝治	234701・236301	183
英語ⅠA	福田 一貴	234801・236501	183
英語ⅠA	進藤 桃子	234901	183
英語ⅠA	岩永 祥恵	235001	184
英語ⅠA	岩屋 玉江	235301・237501	184
英語ⅠA	熊沢 和明	235401	185
英語ⅠA	水崎 野里子	235501・237701	185
英語ⅠA	相馬 美明	235601	186
英語ⅠA	川崎 笑佳	235611・239901	186
英語ⅠA	朝川 真紀	235621	187
英語ⅠA	落合 真裕	235701	187
英語ⅠA	風間 則比古	235801	187
英語ⅠA	吉川 直澄	235901	188
英語ⅠA	永野 光一	236001	188
英語ⅠA	高見 陽子	236101	188
英語ⅠA	山口 晃	236201	189
英語ⅠA	市川 仁	236401	189
英語ⅠA	石原 孝哉	236601	189
英語ⅠA	熊沢 和明	236701	189
英語ⅠA	三輪 久恵	236801・239701	190
英語ⅠA	吉沢 栄治郎	237001・237931・ 239401	190
英語ⅠA	梅原 敏弘	237101	190
英語ⅠA	三輪 久恵	237201	191
英語ⅠA	丸小 哲雄	237211	191
英語ⅠA	相馬 美明	237401	192
英語ⅠA	熊沢 和明	237601・238101	193
英語ⅠA	岡本 誠	237801	193
英語ⅠA	セイジ、K	237901	194
英語ⅠA	白鳥 義博	237911	195
英語ⅠA	西村 祐子	237921	195
英語ⅠA	高野 秀夫	237941・239601	196
英語ⅠA	笹倉 貞夫	238001・238801	196
英語ⅠA	岩原 康夫	238201・238901	196
英語ⅠA	飯沼 好永	238301	196
英語ⅠA	萩原 輝	238401	197

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語 I A	久保 ひさ子	238501	197
英語 I A	熊沢 和明	239001	197
英語 I A	高橋 佳江	239101	198
英語 I A	田中 保	239301	198
英語 I A	ピアス、 D. M.	239501	199
英語 I A	朝川 真紀	239801	199
英語 I A	佐藤 孝一	240011	200
英語 I A	小布施 圭佐三	240021	200
英語 I A	岩井 洋美	240031	200
英語 I A	安齋 薫	240041	201
英語 I A	濱口 真木	240101	201
英語 I A	尾形 重政	240201	202
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	落合 和昭	240211	203
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	松堂 啓子	240221	204
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	広川 治	240231	204
英語 I B	白鳥 義博	240301・240701	204
英語 I B	吉沢 栄治郎	240401・240501	205
英語 I B	濱口 真木	240411	205
英語 I B	尾形 重政	240601・241301・ 241701・242101・ 246901	205
英語 I B	勅使河原 三保子	240801・241201・ 242001	206
英語 I B	国見 晃子	240901・241501・ 242901	206
英語 I B	依田 里花	241001・243101	206
英語 I B	丸小 哲雄	241101	207
英語 I B	高橋 佳江	241401	207
英語 I B	三芳 康義	241601	208
英語 I B	丸小 哲雄	241801	208
英語 I B	本間 章郎	241901・242601	209
英語 I B	本間 章郎	242201	210
英語 I B	高橋 明子	242301・242401・ 243001	210
英語 I B	高橋 佳江	242311	211
英語 I B	増田 恵子	242321	211
英語 I B	増田 恵子	242501	211
英語 I B	増田 恵子	242701	212
英語 I B	三芳 康義	242801	212
英語 I B	樋渡 俊光	243201・246001	212
英語 I B	三芳 康義	243301	213
英語 I B	真砂 久晃	243401	213
英語 I B	近藤 真彫	243701	213
英語 I B	三芳 康義	243801	214
英語 I B	樋渡 俊光	243901	214
英語 I B	濱口 真木	244001	214
英語 I B	伊良部 祥子	244011	215
英語 I B	吉江 正雄	244101・244501	215
英語 I B	三芳 康義	244201	216
英語 I B	杉村 初枝	244301	216

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語 I B	石原 孝哉	244401・244621	216
英語 I B	濱口 真木	244601	217
英語 I B	伊良部 祥子	244611	217
英語 I B	伊良部 祥子	244631	217
英語 I B	杉村 初枝	244641	218
英語 I B	藤井 道行	244701	218
英語 I B	木元 喜久子	244801	218
英語 I B	海琳 泰子	244901	219
英語 I B	亀田 三重子	245001	219
英語 I B	海琳 泰子	245101	219
英語 I B	木元 喜久子	245201	220
英語 I B	木元 喜久子	245501	220
英語 I B	藤井 道行	245601	220
英語 I B	海琳 泰子	245701	221
英語 I B	亀田 三重子	245801	221
英語 I B	伊勢村 定雄	246101	221
英語 I B	塚本 利男	246201・246501	222
英語 I B	矢島 直子	246301	222
英語 I B	福田 一貴	246401・246731	222
英語 I B	伊勢村 定雄	246601	223
英語 I B	進藤 桃子	246711	223
英語 I B	塚本 利男	246721	224
英語 I B	伊勢村 定雄	246741	224
英語 I B	濱口 真木	246801	225
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	三芳 康義	246911	225
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	樋渡 俊光	246921・246941	226
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	亀田 三重子	246931	226
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	白鳥 義博	246951	226
英語 II A	前田 脩	248201	226
英語 II A	江田 幸子	248301・249901	227
英語 II A	太田 美智子	248401	227
英語 II A	大淵 利春	248501	227
英語 II A	佐藤 江里子	248601	228
英語 II A	岩永 祥恵	248701	228
英語 II A	杉本 誠	248801	229
英語 II A	樋渡 俊光	248901	229
英語 II A	大庭 直樹	249001	229
英語 II A	外池 一子	249101・252701	230
英語 II A	藤井 道行	249201	230
英語 II A	近藤 真彫	249301	230
英語 II A	高野 秀夫	249401・252201	231
英語 II A	岩井 洋美	249501	231
英語 II A	松堂 啓子	249601	231
英語 II A	セイジ、 K	249701	232
英語 II A	大淵 利春	250001	233
英語 II A	小布施 圭佐三	250101	233
英語 II A	安齋 薫	250121	234
英語 II A	古富 猛	250201	234
英語 II A	梅原 敏弘	250301	235
英語 II A	佐藤 江里子	250401	235

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅡA	近藤 真彰	250501	235
英語ⅡA	林 明人	250801	236
英語ⅡA	小泉 和弘	250901	236
英語ⅡA	町田 成男	251001	237
英語ⅡA	三幣 友行	251101・254461	237
英語ⅡA	鈴木 美貴子	251201	237
英語ⅡA	町田 成男	251301	238
英語ⅡA	川崎 浩太郎	251401	238
英語ⅡA	足田 和人	251601	239
英語ⅡA	井伊 順彦	251701	239
英語ⅡA	西田 義和	251801・254601	240
英語ⅡA	高見 陽子	251901・254501	240
英語ⅡA	塚本 利男	251911	241
英語ⅡA	芝田 興太郎	251951・349411	241
英語ⅡA	萩原 輝	251961	241
英語ⅡA	小泉 和弘	251971	242
英語ⅡA	風間 則比古	252301・253001	243
英語ⅡA	吉川 直澄	252401	243
英語ⅡA	佐藤 江里子	252501	244
英語ⅡA	高橋 明子	252601	244
英語ⅡA	落合 真裕	253101	244
英語ⅡA	ピアス、 D. M.	253201	245
英語ⅡA	西原 克政	253301	246
英語ⅡA	江田 幸子	253701	246
英語ⅡA	吉沢 栄治郎	253801	247
英語ⅡA	高橋 明子	254001	247
英語ⅡA	堀 千和子	254101	248
英語ⅡA	進藤 桃子	254201	248
英語ⅡA	田中 靖子	254301	249
英語ⅡA	岡本 誠	254401	249
英語ⅡA	町田 成男	254451	250
英語ⅡA	小泉 和弘	254471	250
英語ⅡA	伊勢村 定雄	254481	251
英語ⅡB	前田 脩	254701	251
英語ⅡB	太田 由紀子	254801・254901・ 259961	252
英語ⅡB	石原 孝哉	255001	252
英語ⅡB	ピアス、 D. M.	255011	253
英語ⅡB	太田 美智子	255501	253
英語ⅡB	落合 和昭	255601	254
英語ⅡB	白鳥 義博	255701	255
英語ⅡB	伊藤 美代子	255801	255
英語ⅡB	大淵 利春	255901・259981	255
英語ⅡB	佐藤 江里子	256001・257201	256
英語ⅡB	塙 美智子	256101	256
英語ⅡB	古富 猛	256121	256
英語ⅡB	萩原 輝	256301	257
英語ⅡB	市川 仁	256401	257
英語ⅡB	太田 雅子	256501	257
英語ⅡB	吉川 直澄	256601	257

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅡB	大庭 直樹	256701	258
英語ⅡB	清水 雅夫	256801	258
英語ⅡB	植村 恵子	256901	258
英語ⅡB	伊藤 美代子	257301	259
英語ⅡB	岡本 誠	257401	259
英語ⅡB	田中 保	257501	260
英語ⅡB	飯沼 好永	257511	260
英語ⅡB	照山 雄彦	257551	260
英語ⅡB	福田 一貴	257561	260
英語ⅡB	甲斐 捷子	257571	261
英語ⅡB	川崎 浩太郎	257801	261
英語ⅡB	勅使河原 三保子	257901	261
英語ⅡB	鈴木 美貴子	258001	262
英語ⅡB	山口 晃	258101	262
英語ⅡB	井出 功一	258201・259301	262
英語ⅡB	渡部 孝治	258301	263
英語ⅡB	進藤 桃子	258601	263
英語ⅡB	井伊 順彦	258701	263
英語ⅡB	山口 晃	258801	264
英語ⅡB	足田 和人	258901	264
英語ⅡB	塚本 利男	259401	264
英語ⅡB	永野 光一	259501	264
英語ⅡB	岩永 祥恵	259701	265
英語ⅡB	落合 真裕	259801	265
英語ⅡB	西原 克政	259811	265
英語ⅡB	佐々木 隆	259901・350511	266
英語ⅡB	前田 脩	259951	266
英語ⅡB	古富 猛	259971	266
英語ⅡC (会話)	ロンゴ、 T.	260001	267
英語ⅡC (会話)	レイン、 R. V.	260011	267
英語ⅡD	梅原 敏弘	260401	268
英語ⅡD	前田 脩	260501	268
英語ⅡD	岡本 誠	260601	269
英語ⅡD	水崎 野里子	260701	269
英語ⅡD	大庭 直樹	260801	270
英語ⅡD	林 明人	260901	270
英語ⅡD	相馬 美明	261001	271
英語ⅡD	依田 里花	261501	272
英語ⅡD	手島 敬子	261601・261711	272
英語ⅡD	本間 俊一	261701	273
英語ⅡD	田中 靖子	261801	273
英語ⅢA	伊藤 美代子	262301	273
英語ⅢA	岡本 誠	262801	274
ドイツ語ⅠA	松岡 晋	266201・266501	274
ドイツ語ⅠA	武田 利勝	266301・266701	275
ドイツ語ⅠA	堀内 美江	266401	275
ドイツ語ⅠA	杉本 正俊	266601	276
ドイツ語ⅠA	志真 斗美恵	266901	276
ドイツ語ⅠB	武田 利勝	267101・267401	277
ドイツ語ⅠB	南 はるつ	267201	277

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ドイツ語ⅠB	岡本 時子	267301	278
ドイツ語ⅠB	岡本 時子	267501	278
ドイツ語ⅠB	野島 利彰	267601	278
ドイツ語ⅠB	松岡 晋	267801	279
ドイツ語ⅡA	松岡 晋	268101・268311	279
ドイツ語ⅡA	山崎 雄介	268111	280
ドイツ語ⅡA	野島 利彰	268301	280
ドイツ語ⅡB	飯塚 公夫	268401	281
ドイツ語ⅡB	藪下 紘一	268501	281
ドイツ語ⅡB	森 公成	268511	281
ドイツ語ⅡD	藪下 紘一	268701	282
ドイツ語ⅢA	野島 利彰	268801	282
フランス語ⅠA	佐藤 久美子	269101	282
フランス語ⅠA	東 辰之介	269201	283
フランス語ⅠA	遠山 博雄	269301・269601	283
フランス語ⅠA	小黒 昌文	269401	283
フランス語ⅠA	佐藤 久美子	269501	284
フランス語ⅠA	伊藤 なお	269901	284
フランス語ⅠB	桑田 禮彰	270101・270501	284
フランス語ⅠB	遠山 博雄	270201・270601	285
フランス語ⅠB	出口 雅敏	270301	285
フランス語ⅠB	出口 雅敏	270401	286
フランス語ⅠB	東 辰之介	270901	286
フランス語ⅡA	東 辰之介	271201	286
フランス語ⅡA	浜崎 設夫	271211	287
フランス語ⅡA	小黒 昌文	271301	287
フランス語ⅡA	今関 アン	271401	287
フランス語ⅡB	菅谷 暁	271501	288
フランス語ⅡB	畑中 千晶	271601	288
フランス語ⅡB	遠山 博雄	271611	288
フランス語ⅡD	大野 英士	271801	289
フランス語ⅢA	小黒 昌文	271901	289
中国語ⅠA	根岸 政子	272201	290
中国語ⅠA	小栗山 恵	272301	290
中国語ⅠA	橋本 幸枝	272401	291
中国語ⅠA	本間 由香利	272501	291
中国語ⅠA	岩崎 皇	272601	291
中国語ⅠA	佐藤 普美子	272701	292
中国語ⅠA	秋元 翼	272711	292
中国語ⅠA	根岸 政子	272901	293
中国語ⅠA	本間 由香利	273001	293
中国語ⅠA	橋本 幸枝	273101	294
中国語ⅠA	小栗山 恵	273201	294
中国語ⅠA	佐藤 普美子	273301	294
中国語ⅠA	秋元 翼	273311	295
中国語ⅠA	曹 泰和	274101	295
中国語ⅠA	宮本 厚子	274201	295
中国語ⅠA	児島 弘一郎	274211	296
中国語ⅠA	三田村 圭子	274301	296
中国語ⅠA	岩崎 皇	274401	296

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語ⅠB	下出 宣子	274601	297
中国語ⅠB	徳間 佳信	274701	298
中国語ⅠB	張 涓涛	274801	298
中国語ⅠB	曹 泰和	274901	298
中国語ⅠB	布施 直子	275001	299
中国語ⅠB	佐藤 普美子	275101	299
中国語ⅠB	小栗山 恵	275111	299
中国語ⅠB	下出 宣子	275301	300
中国語ⅠB	曹 泰和	275401	301
中国語ⅠB	張 涓涛	275501	301
中国語ⅠB	徳間 佳信	275601	301
中国語ⅠB	佐藤 普美子	275701	302
中国語ⅠB	小栗山 恵	275711	302
中国語ⅠB	三田村 圭子	276501	302
中国語ⅠB	陳 洲拳	276601	303
中国語ⅠB	児島 弘一郎	276611	303
中国語ⅠB	李 雲	276701	303
中国語ⅠB	岩崎 皇	276801	304
中国語ⅡA	上原 かおり	277201	304
中国語ⅡA	梅田 雅子	277301・353001	305
中国語ⅡA	児島 弘一郎	277401・277811	305
中国語ⅡA	弘兼 加奈子	277501	306
中国語ⅡA	橋本 幸枝	277511	306
中国語ⅡA	秋元 翼	277601	306
中国語ⅡA	岩崎 皇	277701	307
中国語ⅡA	李 雲	277801	307
中国語ⅡB	上原 かおり	278001	307
中国語ⅡB	梅田 雅子	278101	308
中国語ⅡB	弘兼 加奈子	278111	308
中国語ⅡB	児島 弘一郎	278301	309
中国語ⅡB	秋元 翼	278401	309
中国語ⅡB	李 雲	278501	309
中国語ⅡB	本間 由香利	278511	310
中国語ⅡD	宮本 厚子	278801	310
中国語ⅡD	天野 節	278901	310
中国語ⅢA	王 聡	279101	311
スペイン語ⅠA	佐藤 佐知	279401・279801	311
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ、C.	279501	311
スペイン語ⅠA	中島 聡子	279601・280001	312
スペイン語ⅠA	上野 勝広	279611	312
スペイン語ⅠA	上野 勝広	279901	313
スペイン語ⅠA	佐藤 麻里乃	280501	313
スペイン語ⅠA	齊藤 明美	280511	314
スペイン語ⅠA	横藤田 稔泰	280521	314
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	280701	315
スペイン語ⅠB	米田 博美	280801・281101	315
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	280901	316
スペイン語ⅠB	萩野 恵	280911	316
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	281201	316
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	281301	317

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
スペイン語ⅠB	上野 勝広	281701	317
スペイン語ⅠB	横藤田 稔泰	281711・353601	318
スペイン語ⅠB	石井 登	281721	318
スペイン語ⅡA	横藤田 稔泰	282101	318
スペイン語ⅡA	石井 登	282111	319
スペイン語ⅡA	大岩 功	282121	319
スペイン語ⅡA	大岩 功	282301	319
スペイン語ⅡA	山辺 弦	282401	320
スペイン語ⅡB	大岩 功	282501	320
スペイン語ⅡB	石井 登	282511	321
スペイン語ⅡB	山辺 弦	282611	321
スペイン語ⅡB	齊藤 明美	282621	322
スペイン語ⅡD	横藤田 稔泰	282801	322
スペイン語ⅡD	上野 勝広	282811	323
スペイン語ⅢA	齊藤 明美	283001	323
ロシア語ⅠA	杉山 秀子	283301	324
ロシア語ⅠA	佐野 朝子	283401	324
ロシア語ⅠA	大須賀 史和	283601	325
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	283701・283801	325
ロシア語ⅠB	木村 英明	284001	326
ロシア語ⅡA	木村 英明	284201	326
ロシア語ⅡA	杉山 秀子	284301	326
ロシア語ⅡB	木村 英明	284401	327
ロシア語ⅡB	佐野 朝子	284501	327
ロシア語ⅡD	クロチコフ、 Y.	284701	327
ロシア語ⅢA	クロチコフ、 Y.	284801	328
英語ⅠA	西田 義和	347001	328
英語ⅠA	荻野 一成	347101	329
英語ⅠA	照山 雄彦	347201	329
英語ⅠA	芝田 興太郎	347211	329
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	丸小 哲雄	346901	330
英語ⅠB	佐々木 隆	348101	331
英語ⅠB	杉本 誠	348201	332
英語ⅠB	林 孝憲	348301	332
英語ⅠB	佐藤 アヤ子	348401	332
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	高野 秀夫	348001	332
英語ⅡA	落合 和昭	349201	333
英語ⅡA	田中 保	349301	334
英語ⅡA	岡本 誠	349401	334
英語ⅡB	林 孝憲	350301	335
英語ⅡB	杉本 誠	350401	335
英語ⅡB	佐藤 アヤ子	350501	335
ドイツ語ⅠA	清水 修	351401	336
ドイツ語ⅠB	篠原 敏昭	351601	336
ドイツ語ⅡA	清水 修	351801	336
ドイツ語ⅡB	篠原 敏昭	351901	337
フランス語ⅠA	高橋 明美	352001	337
フランス語ⅠB	木下 雄介	352201	338
フランス語ⅡA	高橋 明美	352401	338
フランス語ⅡB	木下 雄介	352501	338

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語ⅠA	梅田 雅子	352601	339
中国語ⅠB	王 聡	352801	339
中国語ⅡB	王 聡	353111	340
スペイン語ⅠA	大岩 功	353401	340
スペイン語ⅡA	大岩 功	353701	340
スペイン語ⅡB	横藤田 稔泰	353801	341
ロシア語ⅠA	廣田 英靖	353901	341
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	354001	342
ロシア語ⅡA	廣田 英靖	354101	342
ロシア語ⅡB	廣田 英靖	354201	343
英語ⅠA〔再クラス〕	岩井 洋美	291501	344
英語ⅠA〔再クラス〕	小布施 圭佐三	291601	344
英語ⅠA〔再クラス〕	行廣 泰三	291701	345
英語ⅠA〔再クラス〕	松堂 啓子	291801	345
英語ⅠA〔再クラス〕	岩原 康夫	291901	345
英語ⅠA〔再クラス〕	丸小 哲雄	292001	346
英語ⅠA〔再クラス〕	埜 美智子	292301	346
英語ⅠA〔再クラス〕	梅原 敏弘	292601	347
英語ⅠA〔再クラス〕	田中 保	292701	347
英語ⅠA〔再クラス〕	飯沼 好永	292711	347
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕	前田 脩	354601・354602	348
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕	水崎 野里子	354701・354702	348
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕	大淵 利春	354901・354902	348
英語ⅠB〔再クラス〕	佐藤 孝一	293201	349
英語ⅠB〔再クラス〕	大淵 利春	293401	349
英語ⅠB〔再クラス〕	行廣 泰三	293601	350
英語ⅠB〔再クラス〕	矢島 直子	293901	350
英語ⅠB〔再クラス〕	堀 千和子	294001	351
英語ⅠB〔再クラス〕	笹倉 貞夫	294101	351
英語ⅠB〔再クラス〕	松堂 啓子	294201	352
英語ⅠB〔再クラス〕	太田 美智子	294211	352
英語ⅠB〔再クラス〕	久保 ひさ子	294221	352
英語ⅠC (会話)〔再クラス〕	ピアス、 D. M.	247101	353
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤 江里子	294601	353
英語ⅡA〔再クラス〕	竹村 恵都子	295001	354
英語ⅡA〔再クラス〕	真砂 久晃	295301	354
英語ⅡA〔再クラス〕	外池 一子	295401	354
英語ⅡA〔再クラス〕	埜 美智子	295501	355
英語ⅡA〔再クラス〕	手島 敬子	295601	355
英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕	照山 雄彦	355201・355202	355
英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕	大淵 利春	355301・355302	356
英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕	本間 俊一	355401・355402	356
英語ⅡB〔再クラス〕	安齋 薫	295801	357
英語ⅡB〔再クラス〕	行廣 泰三	295901	357
英語ⅡB〔再クラス〕	高野 秀夫	296201	358
英語ⅡB〔再クラス〕	松堂 啓子	296301	358
英語ⅡB〔再クラス〕	朝川 真紀	296501	358
英語ⅡB〔再クラス〕	本間 俊一	296901	359
英語ⅡB〔再クラス〕	川崎 笑佳	296911	359
英語ⅡC (会話)〔再クラス〕	ロンゴ、 T.	260001	360

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	レイン、 R. V.	260011	360
英語ⅡD〔再クラス〕	梅原 敏弘	260401	361
英語ⅡD〔再クラス〕	前田 脩	260501	361
英語ⅡD〔再クラス〕	岡本 誠	260601	362
英語ⅡD〔再クラス〕	水崎 野里子	260701	362
英語ⅡD〔再クラス〕	大庭 直樹	260801	363
英語ⅡD〔再クラス〕	林 明人	260901	363
英語ⅡD〔再クラス〕	相馬 美明	261001	364
英語ⅡD〔再クラス〕	依田 里花	261501	365
英語ⅡD〔再クラス〕	手島 敬子	261601・261711	365
英語ⅡD〔再クラス〕	本間 俊一	261701	366
英語ⅡD〔再クラス〕	田中 靖子	261801	366
英語ⅢA〔再クラス〕	伊藤 美代子	262301	366
英語ⅢA〔再クラス〕	岡本 誠	262801	367
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	367
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	藪下 紘一	297201	368
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	本橋 右京	297401	368
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	藪下 紘一	297411	368
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	藪下 紘一	355601・355602	369
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501・297502	369
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	杉本 正俊	297601・297602	369
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	野島 利彰	297801・297802	369
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	南 はるつ	297901・297902	370
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	森 公成	298001・298002・298003	370
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	本橋 右京	298101・298102・298103	370
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	野島 利彰	298201・298202・298203	371
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	武田 利勝	355701・355702	371
ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	藪下 紘一	268701	371
ドイツ語ⅢA〔再クラス〕	野島 利彰	268801	371
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	小黒 昌文	298801・298802・298803	372
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	小黒 昌文	299001・299002・299003	372
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	谷川 かおる	299011・299012・299013	372
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	伊藤 なお	299301・299302・299303	372
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC〔会話〕〔再クラス〕	谷川 かおる	299501・299502・299503	373
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕	長谷川 光明	355801・355802	373
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	畑中 千晶	299601・299602・299603	373
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	今関 アン	299701・299702・299703	374
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801・299802・299803	374
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	長谷川 光明	355901・355902	374

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フランス語ⅡD〔再クラス〕	大野 英士	271801	375
フランス語ⅢA〔再クラス〕	小黒 昌文	271901	375
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	秋元 翼	300601・300602・300603	375
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	天野 節	301201・301202・301203	376
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	児島 弘一郎	301301・301302・301303	376
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	布施 直子	301401・301402・301403	376
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501・301502・301503	377
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	曹 泰和	301511・301512・301513	377
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕	大久保 明男	356001・356002	377
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	本間 由香利	301801・301802・301803	378
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	大久保 明男	301901・301902・301903	378
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	李 雲	302001・302002・302003	378
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201・356202	378
中国語ⅡD〔再クラス〕	宮本 厚子	278801	379
中国語ⅡD〔再クラス〕	天野 節	278901	379
中国語ⅢA〔再クラス〕	王 聡	279101	379
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	大岩 功	302601・302602・302603	380
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	齊藤 明美	302701・302702・302703	380
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	石井 登	302801・302802・302803	380
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	荻野 恵	303001・303002・303003	381
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303011・303012・303013	381
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401・356402	381
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC(会話)〔再クラス〕	山辺 弦	303101・303102・303103	382
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC(会話)〔再クラス〕	大岩 功	303201・303202・303203	382
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC(会話)〔再クラス〕	石井 登	303301・303302・303303	382
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501・356502	383
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	横藤田 稔泰	282801	383
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	上野 勝広	282811	384
スペイン語ⅢA〔再クラス〕	齊藤 明美	283001	384
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	杉山 秀子	303501・303502・303503	385
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	木村 英明	303701・303702・303703	385

外国語科目

科目名			担当者名	履修コード	ページ
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕	ロシア語Ⅰ	安徳 ニーナ	303801・303802・ 303803	386
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕		廣田 英靖	356601・356602	386
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ロシア語Ⅱ	クロチコフ、 Y.	303901・303902・ 303903	387
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ロシア語Ⅱ	大須賀 史和	304001・304002・ 304003	387
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ロシア語Ⅱ	安徳 ニーナ	304101・304102・ 304103	387
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕		廣田 英靖	356701・356702	388
ロシア語ⅡD〔再クラス〕			クロチコフ、 Y.	284701	388
ロシア語ⅢA〔再クラス〕			クロチコフ、 Y.	284801	388
英会話Ⅰ			ウェルズ、 J. K.	264201・264301・ 264401・264501	389
英会話Ⅰ			ミックエリゴット、 J. P.	264601・264701・ 265001・265101・ 265311	390
英会話Ⅰ			レーン、 C. M.	264801・265321	390
英会話Ⅰ			ロンゴ、 T.	264901・265201	391
英会話Ⅰ			レイン、 R. V.	265301	392
英会話Ⅰ			ロビン、 G. F.	351201	392
英会話Ⅱ			セイジ、 K	287401	393
英会話Ⅱ			レイン、 R. V.	287501	394
英会話Ⅱ			ロンゴ、 T.	287601	395
英会話Ⅱ			ロビン、 G. F.	354301	396
英会話Ⅲ			ウェルズ、 J. K.	287701	397
英会話Ⅲ			ロンゴ、 T.	287801	398
英語LLⅠ			セイジ、 K	265401・265801・ 265901	399
英語LLⅠ			井伊 順彦	265501	400
英語LLⅠ			勅使河原 三保子	265601・265701	400
英語LLⅠ			甲斐 捷子	266001	400
英語LLⅠ			久保 ひさ子	266101	401
英語LLⅠ			甲斐 捷子	266111	401
英語LLⅠ			西村 祐子	351301	402
英語LLⅡ			西村 祐子	288501	403
英語LLⅡ			甲斐 捷子	288601	403
英語LLⅡ			福田 一貴	288701	404
英語LLⅡ			林 明人	354401	404
英語LLⅢ			甲斐 捷子	289301	405
英語LLⅢ			西村 祐子	289401	406
英文講読			林 明人	284901	407
英文講読			矢島 直子	285001	407
英文講読			前田 脩	285101	407
時事英語研究			田中 保	285701	408
時事英語研究			梅原 敏弘	285801	408
時事英語研究			林 明人	285811	409
時事英語研究			落合 和昭	285901	410
時事英語研究			矢島 直子	285911	411
マルチ・メディア			落合 和昭	286501	412

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601・286801	413
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286701	413
名文で味わうドイツ語	野島 利彰	285201	414
現代を読むドイツ語 時事ドイツ語	井村 行子	286001・286002	414
ドイツ語スキルアップ 上級ドイツ語	松岡 晋	286901・286902	414
ドイツ語コミュニケーションⅠ	小林 ゲアリンデ	288001	415
ドイツ語コミュニケーションⅡ	小林 ゲアリンデ	288801	415
ドイツ語ⅠA(選)	堀内 美江	289601	415
ドイツ語ⅠB(選)	井村 行子	290201	416
ドイツ語Ⅱ(選)	志真 斗美恵	290801	416
名文で味わうフランス語	東 辰之介	285301	416
現代を読むフランス語 時事フランス語	桑田 禮彰	286101・286102	417
フランス語スキルアップ 上級フランス語	遠山 博雄	287001・287002	417
フランス語コミュニケーションⅠ	ラリア 三倉、M.	288101	417
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア 三倉、M.	288901	418
フランス語ⅠA(選)	東 辰之介	289701	418
フランス語ⅠA(選)	大野 英士	289711	418
フランス語ⅠB(選)	小黒 昌文	290301	419
フランス語Ⅱ(選)	桑田 禮彰	290901	419
名文で味わう中国語	佐藤 普美子	285401	419
現代を読む中国語 時事中国語	岩崎 皇	286201・286202	420
中国語スキルアップ 上級中国語	児島 弘一郎	287101・287102	420
中国語コミュニケーションⅠ	小川 隆	288201	420
中国語コミュニケーションⅡ	陳 洲拳	289001	421
中国語ⅠA(選)	岩崎 皇	289801	421
中国語ⅠA(選)	宮本 厚子	289811	421
中国語ⅠB(選)	大久保 明男	290401	422
中国語Ⅱ(選)	三田村 圭子	291001	422
名文で味わうスペイン語	齊藤 明美	285501	422
現代を読むスペイン語 時事スペイン語	齊藤 明美	286301・286302	423
スペイン語スキルアップ 上級スペイン語	上野 勝広	287201・287202	423
スペイン語コミュニケーションⅠ	ルイズティノコ、C.	288301	424
スペイン語コミュニケーションⅡ	ルイズティノコ、C.	289101	424
スペイン語ⅠA(選)	中島 聡子	289901	424
スペイン語ⅠB(選)	齊藤 明美	290501	425
スペイン語Ⅱ(選)	佐藤 麻里乃	291101	425
名文で味わうロシア語	杉山 秀子	285601	426
現代を読むロシア語 時事ロシア語	木村 英明	286401・286402	426
ロシア語スキルアップ 上級ロシア語	クロチコフ、Y.	287301・287302	426
ロシア語コミュニケーションⅠ	安徳 ニーナ	288401	427
ロシア語コミュニケーションⅡ	安徳 ニーナ	289201	427
ロシア語ⅠA(選)	クロチコフ、Y.	290001	428
ロシア語ⅠB(選)	木村 英明	290601	428
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ、Y.	291201	429
朝鮮語ⅠA(選)	宋 美玲	290101	429
朝鮮語ⅠB(選)	宋 美玲	290701	430
朝鮮語Ⅱ(選)	宋 美玲	291211	430

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習 (室内球技)	鈴木 淳平	194501	433
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	194501	433
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	岩本 哲也	194501	434
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	194501	435
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194501	436
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	館岡 儀秋	194501	436
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	194501	437
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	内山 雅博	194501	437
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	末次 美樹	194501	438
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	194601	438
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	194601	439
健康・スポーツ実習 (サッカー)	岩本 哲也	194601	439
健康・スポーツ実習 (室内球技)	鈴木 淳平	194601	440
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	194601	440
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	194601	441
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	内山 雅博	194601	441
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194601	442
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	末次 美樹	194601	442
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	194701	443
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	194701	444
健康・スポーツ実習 (室内球技)	鈴木 淳平	194701	444
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	内山 雅博	194701	445
健康・スポーツ実習 (サッカー)	岩本 哲也	194701	445
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	館岡 儀秋	194701	446
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	194701	446
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194701	447
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	末次 美樹	194701	447
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	195011	448
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	館岡 儀秋	195011	449
健康・スポーツ実習 (室内球技)	山口 良博	195011	449
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	195011	450
健康・スポーツ実習 (サッカー)	秋田 浩一	195011	450
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	194801	451
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	岩本 哲也	194801	451
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	鈴木 淳平	194801	452
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	館岡 儀秋	194801	452
健康・スポーツ実習 (卓球)	山口 良博	194801	452
健康・スポーツ実習 (室内球技)	牧野 茂	194801	453
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	194801	453
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	山口 良博	194901	454
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	194901	454
健康・スポーツ実習 (サッカー)	岩本 哲也	194901	455
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	194901	455
健康・スポーツ実習 (室内球技)	牧野 茂	194901	456
健康・スポーツ実習 (卓球)	秋田 浩一	194901	456
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	195001	457
健康・スポーツ実習 (室内球技)	牧野 茂	195001	457
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	鈴木 淳平	195001	458

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習 (卓球)	柳 浩二郎	195001	458
健康・スポーツ実習 (サッカー)	岩本 哲也	195001	458
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	秋田 浩一	195001	459
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	舘岡 儀秋	195301	459
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	柳 浩二郎	195301	460
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	大石 武士	195301	460
健康・スポーツ実習 (室内球技)	岩本 哲也	195301	461
健康・スポーツ実習 (卓球)	秋田 浩一	195101	461
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	柳 浩二郎	195101	462
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	大石 武士	195101	462
健康・スポーツ実習 (卓球)	秋田 浩一	195201	463
健康・スポーツ実習 (室内球技)	岩本 哲也	195201	463
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	柳 浩二郎	195201	464
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195501	464
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	195501	465
健康・スポーツ実習 (室内球技)	牧野 茂	195501	465
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	195501	466
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	195501	467
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	195501	467
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	195401	468
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	光永 吉輝	195401	469
健康・スポーツ実習 (サッカー)	秋田 浩一	195401	470
健康・スポーツ実習 (室内球技)	山口 良博	195401	470
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195401	471
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	195401	471
健康・スポーツ実習 (卓球)	牧野 茂	195511	472
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195511	472
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	下谷内 勝利	195511	473
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	秋田 浩一	195511	473
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一	195511	474
健康・スポーツ実習 (室内球技)	山口 良博	195511	474
健康・スポーツ実習 (空手道)	高橋 俊介	195511	475
健康・スポーツ実習 (屋内球技)	山口 良博	195811	475
健康・スポーツ実習 (屋外球技)	村松 誠	195811	475
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	末次 美樹	195701	476
健康・スポーツ実習 (テニス)	坂井 利彰	195701	476
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	柳 浩二郎	195701	477
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	195701	477
健康・スポーツ実習 (室内球技)	山口 良博	195701	478
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	村松 誠	195601	478
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	末次 美樹	195601	478
健康・スポーツ実習 (卓球)	下谷内 勝利	195601	479
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	柳 浩二郎	195601	479
健康・スポーツ実習 (テニス)	坂井 利彰	195601	480
健康・スポーツ実習 (室内球技)	岩本 哲也	195601	480
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	末次 美樹	195801	481
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	柳 浩二郎	195801	481
健康・スポーツ実習 (卓球)	山口 良博	195801	482
健康・スポーツ実習 (テニス)	坂井 利彰	195801	482
健康・スポーツ実習 (室内球技)	岩本 哲也	195801	483

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	竹田 幸夫	195901	483
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	竹田 幸夫	196001	484
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	大石 武士	196101	484
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	竹田 幸夫	196201	484
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	末次 美樹	196301	485
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	村松 誠	196311	485
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	大石武士	340301	485
健康・スポーツ実習 (室内球技)	末次 美樹	340501	486
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	大石武士	340201	486
生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(室内球技)	渡辺 一郎	196501・196502・196503・196504	487
生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)	渡辺 一郎	196601・196602・196603・196604	487
生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)	渡辺 一郎	196701・196702・196703・196704・196901・196902・196903・196904	488
生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)	渡辺 一郎	196801・196802・196803・196804・197001・197002・197003・197004	488
生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)	大石 武士	197101・197102・197103・197104	489
生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)	大石 武士	197201・197202・197203・197204	489
生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)	大石 武士	197301・197302・197303・197304	490
生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(簡化太極拳)	大石 武士	197401・197402・197403・197404	490
生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(ボールゲーム)	村松 誠	197501・197502・197503・197504・197701・197702・197703・197704	491
生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(ボールゲーム) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(ボールゲーム)	村松 誠	197601・197602・197603・197604・197801・197802・197803・197804	491

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（バレーボール）	鈴木 淳平	197901・197902・197903・197904	492
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（バレーボール）	鈴木 淳平	198001・198002・198003・198004	492
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（バドミントン）	鈴木 淳平	198101・198102・198103・198104	492
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（バドミントン）	鈴木 淳平	198201・198202・198203・198204	493
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）	村松 誠	198301・198302・198303・198304	493
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）	村松 誠	198401・198402・198403・198404	494
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198701・198702・198703・198704	494
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198801・198802・198803・198804	495
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	198901・198902・198903・198904	495
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199001・199002・199003・199004	496
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）（ゴルフ）	牧野 茂 光永 吉輝 館岡 儀秋 下谷内 勝利 村松 誠 竹田 幸夫 鈴木 淳平 末次 美樹	199301・199302	497

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生 涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード）	下谷内 勝利 秋田 浩一 江口 淳一 岩本 哲也 鈴木 淳平 柳 浩二郎 竹田 幸夫 山口 良博 末次 美樹	199401・199402	498
健康・スポーツ論 1	下谷内勝利	199901・201111	499
健康・スポーツ論 1	江口淳一	200101	500
健康・スポーツ論 1	鈴木淳平	200201	500
健康・スポーツ論 1	高橋俊介	200401	501
健康・スポーツ論 1	秋田浩一	200501	501
健康・スポーツ論 1	大石武士	200601	502
健康・スポーツ論 1	山口良博	200801	502
健康・スポーツ論 1	光永 吉輝	200901	503
健康・スポーツ論 2	竹田 幸夫	201201	503
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201301	504
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201401	504
健康・スポーツ論 2	鈴木 淳平	201501	505
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	505
健康・スポーツ論	末次 美樹	341301	506
余暇学	竹田 幸夫	202001・202201	506
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス）	休講	199501	
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	休講	199502	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ）	休講	199601	
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	休講	199602	

II 他学部履修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
インド仏教文化史	金沢 篤	003801	509
中国仏教文化史	程 正	003901	509
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004001	509
外国語禪書講読	古山 健一	004101	510
インド哲学史	金沢 篤	004401	510
原始仏教	片山 一良	005301	511
外国語仏書講読	木村 誠司	007001	511
中国哲学史	前川 亨	007401	512
日本哲学史	久保 陽一	007411	512
仏教文献学	堀川 貴司	008901	513
近代文学研究 I	榎本 正樹	014901	514
演劇概論	阿部 由香子	016601	514
西洋思想史	河谷 淳	016701	515
比較文学	内藤 まりこ	017001	515
日本民俗学	谷口 貢	017101	515
イギリス文学特講 I	石原 孝哉	025601	516
イギリス文学特講 III	濱口 真木	025801	516
イギリス文学特講 IV	川崎 明子	025901	516
イギリス文学特講 V	モート、セーラ	026001	517
イギリス文学特講 VI	丸小 哲雄	026101	517
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	落合 和昭	026201	518
アメリカ文学特講 I	東 雄一郎	026401	519
文化地理学	小田 匡保	033101	519
人口地理学	平井 誠	035101	520
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	521
日本仏教史	松本 信道	046601	521
西洋文化史	田中 佳	046911	522
日本史特講 VII [近代]	熊本 史雄	048401	523
東洋史特講 III [近世史]	杉山 清彦	049711	524
考古学特講 III	今村 啓爾	052911	524
哲学史	山口 祐弘	053201	525
社会心理学 A	坪井 健	058331	525
社会心理学 B	坪井 健	058341	526
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	526
マス・コミュニケーション論 A	深澤 弘樹	058411	527
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	527
日本経済論	貝塚 亨	091101	528
日本経済論	羽鳥 茂	332901	528
財務会計論	小栗 崇資	092401	529
日本経済史	渡邊 恵一	093301	529
農業政策	溝手 芳計	093501	530
中国経済論	小杉 修二	094701	531
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	532
EU統合論	清水 卓	095001	532
現代西欧経済論	清水 卓	095101	533
会計監査論	森田 佳宏	097001	533
会計監査論	阿部 一人	331801	534
管理会計論 a	石川 祐二	097111	534

他学部履修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
管理会計論 b	石川 祐二	097121	535
貿易論	吉田 真広	097601	535
経済法	若林 亜理砂	119701	536
経済法	東出 浩一	325201	536
国際政治学	小堀 訓男	126601	537
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	126701	537
地方自治法	富井 幸雄	127501・326001	538
比較政治学	三竹 直哉	128201	539
現代国家論	大塚 桂	133801	540
経営学史	中川 淳平	139501	540
経営史	前田 和利	139601	541
経営労務論	鹿嶋 秀晃	140001	541
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	542
経営分析論	片桐 伸夫	141301	543
国際経済論	永田 智則	141701	543
税務会計論	高木 克己	141901	544
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	544
消費者行動論	菅野 佐織	143231	545
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	545
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	546
医療宗教学	吉津 宜英	164601	546
医療経済学	松元 和敏	164701	547
日本法制史	茂野 隆晴	324001	547
法思想史	高橋 洋城	324201	548
国際関係論	三船 恵美	325401	549
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	549
国際会計論	河合 由佳理	334001	550
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	550
情報メディア産業論 I	福家 秀紀	432001	551
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	552
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	553
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	553
グローバル創造都市論	川崎 賢一	432701	554
情報保護と社会	石川 憲洋	434301	555
映像産業論	テヅカ ヨシハル	435011	555
メディアと知識論	斎藤 信男	437101	556
上代文学研究 I	休講	014101	
中古文学研究 I	休講	014301	
中世文学研究 I	休講	014501	
近世文学研究 I	休講	014701	
雇用と労働の社会学	休講	058381	
マス・コミュニケーション論 B	休講	058421	
ロシア・東欧経済論	休講	095201	
西洋法制史	休講	324101	

Ⅲ 「日本語」・「日本事情」科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門Ⅰ a	鈴木 美希	230511・230512	559
日本語入門Ⅰ b	鈴木 美希	230521・230522	559
日本語入門Ⅱ a	鈴木 美希	230531・230532	560
日本語入門Ⅱ b	鈴木 美希	230541・230542	560
日本語Ⅰ a	佐野 典子	230611・230612	560
日本語Ⅰ a	多田羅 哲子	230631・230632	561
日本語Ⅰ b	佐野 典子	230621・230622	561
日本語Ⅰ b	多田羅 哲子	230641・230642	561
日本語Ⅱ a	佐野 典子	230711・230712	561
日本語Ⅱ a	多田羅 哲子	230721・230722	562
日本語Ⅱ b	佐野 典子	230811・230812	562
日本語Ⅱ b	多田羅 哲子	230821・230822	562
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子	230911・230912	563
日本語Ⅲ a	湯村 礼子	230921・230922	563
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子	231011・231012	563
日本語Ⅲ b	湯村 礼子	231021・231022	564
日本語Ⅳ a	鈴木 美希	231111・231112	564
日本語Ⅳ a	湯村 礼子	231121・231122	564
日本語Ⅳ b	鈴木 美希	231211・231212	565
日本語Ⅳ b	湯村 礼子	231221・231222	565
日本語Ⅴ a	石川 守	231311・231312	565
日本語Ⅴ a	多田羅 哲子	231321・231322	566
日本語Ⅴ b	石川 守	231411・231412	566
日本語Ⅴ b	多田羅 哲子	231421・231422	566
日本語Ⅵ a	石川 守	231511・231512	567
日本語Ⅵ a	多田羅 哲子	231521・231522	567
日本語Ⅵ b	石川 守	231611・231612	567
日本語Ⅵ b	多田羅 哲子	231621・231622	567
日本事情Ⅰ〔地理〕	高橋 健太郎	231701・231702	568
日本事情Ⅱ〔自然〕	清水 善和	231801・231802	568
日本事情Ⅲ〔歴史〕	浅倉 直美	231901・231902	568
日本事情Ⅳ〔思想〕	佐藤 美奈子	232001・232002	569
日本事情Ⅴ〔社会〕	李 妍炎	232101・232102	569
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹 直鼓	232201・232202	570
日本事情Ⅶ〔文学〕	湯浅 陽子	232301・232302	570
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401・232402	571
日本事情Ⅷ〔経済〕	福原 好喜	232501・232502	571
日本事情Ⅹ〔経営〕	渡辺 伊津子	232601・232602	572

IV 随意科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
東洋思想史	末木 恭彦	016802	575
日本民俗学	谷口 貢	017102	575
編集実務	長谷川 孝	017202	576
書道史	那須 隆吉	017302	577
美術史概説	北野 良枝	017802	577
民間信仰論	谷口 貢	017902	577
日本仏教史	松本 信道	046602	578
宗教人類学	佐藤 憲昭	075002	578
日本宗教文化史	小川 順敬	232701	579
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232801	579
宗教学概説	池上 良正	232901	580
宗教学概説	矢野 秀武	233001	580
宗教学概説	川上 新二	233101	580
哲学概説	末木 恭彦	233201	581
哲学概説	久保 陽一	233301	581
倫理学概説	河谷 淳	233401	581
比較思想特講	末木 恭彦	233501	582
歴史哲学	久保 陽一	233551	582
英語（海外演習）	—	—	582
フランス語（海外演習）	—	—	582
中国語（海外演習）	—	—	583

V 教職課程・資格講座科目

1. 教職課程

〔フレックスA〕

(1) 教職に関する科目（必修科目）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教職入門	藤木 篤典	076701	589
教職入門	磯山 進	076711	589
教職入門	天井 勝海	305401	590
教育基礎論	豊田 千代子	212001	590
教育基礎論	北村 三子	212101・212201	591
教育基礎論	伊藤 茂樹	212301・212401・ 212701	591
教育基礎論	萩原 建次郎	212501	591
教育基礎論	坂本 信昭	212601	592
教育制度・環境論	豊田 千代子	212901	592
教育制度・環境論	北村 三子	213001・213101	592
教育制度・環境論	伊藤 茂樹	213201・213301・ 213601	593
教育制度・環境論	萩原 建次郎	213401	593
教育制度・環境論	坂本 信昭	213501	594
学習・発達論	大浜 幾久子	213901・214001	594
学習・発達論	藤原 善美	214101	595
学習・発達論	飯田 都	214201・214601	595
学習・発達論	角野 善司	214301・214401・ 214501	595
教育課程論	大浜 幾久子	214901	596
教育課程論	大浜 幾久子	215001	597
教育課程論	藤原 善美	215101	597
教育課程論	杉山 二季	215201・215601	598
教育課程論	角野 善司	215301・215401・ 215501	598
教育とメディア	石橋 達也	076801・076901・ 077001・077101・ 077201・077301	599
教育とメディア	芝崎 順司	077401・077501・ 077601・077701	599
道徳教育の研究	藤木 篤典	077901・078001	600
道徳教育の研究	杉崎 洋一郎	078101・078201	600
道徳教育の研究	井上 勝	078301・078401	601
特別活動論	藤木 篤典	078611・078711	601
特別活動論	杉崎 洋一郎	078811・078911	602
特別活動論	井上 勝	079011・079111	602
生徒指導論（進路指導を含む）	佐藤 尚人	079301・079701・ 079801	603
生徒指導論（進路指導を含む）	遠藤 司	079401・079901・ 080001	603
生徒指導論（進路指導を含む）	目良 秋子	079501・079601	604
生徒指導論（進路指導を含む）	川原 誠司	080101	605

教職課程

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育臨床	佐藤 尚人	080301・080701・080801	606
教育臨床	遠藤 司	080401・080901・081001	606
教育臨床	目良 秋子	080501・080601	607
教育臨床	川原 誠司	081101	608
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(3)[環境教育]	北村 和夫	081501・081502	608
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(4)[近代社会と身体]	北村 和夫	081601・081602	609
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(15)[持続可能性と技術]	北村 三子	082701・082702	609
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(16)[豊かさの多様性]	北村 三子	082801・082802	609
総合演習Ⅱ(生活・人権) 総合演習(9)[教育と法律]	広沢 明	082101・082102	610
総合演習Ⅱ(生活・人権) 総合演習(10)[子どもの人権]	広沢 明	082201・082202	610
総合演習Ⅲ(福祉・ボランティア) 総合演習(1)[障害児と教育] 総合演習(2)[障害児と福祉]	遠藤 司	081301・081302・081401・081402	610
総合演習Ⅲ(福祉・ボランティア) 総合演習(7)[心の健康と教育] 総合演習(8)[心の援助と教育]	野中 弘敏	081901・081902・082001・082002	611
総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(5)[対人関係とストレス]	川原 誠司	081701・081702	612
総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(6)[学校における対人関係]	川原 誠司	081801・081802	613
総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(11)[生と死の教育]	柳堀 素雅子	082301・082302	614
総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(12)[生命倫理]	柳堀 素雅子	082401・082402	614
総合演習Ⅴ(国際理解・情報)	大浜 幾久子	082811・082821	615
宗教科教育法Ⅰ 宗教科教育法	小山 一乗	011911・011912	615
宗教科教育法Ⅱ	小山 一乗	012001	616
国語科教育法Ⅰ 国語科教育法	久保田 實	022811・022812	616
国語科教育法Ⅱ	久保田 實	022911	617
書道科教育法	那須 隆吉	023001	617
英語科教育法Ⅰ 英語科教育法	佐藤 真二	031311・031312	618
英語科教育法Ⅱ	佐藤 真二	031401	618
社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅰ	生田 清人	042701・042702	619
社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅰ	櫻井 明久	042901・042902	620
社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅰ	藤木 正国	057301・057302	620
社会科教育法Ⅳ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅱ	生田 清人	042801・042802	621
社会科教育法Ⅳ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅱ	櫻井 明久	043001・043002	622
社会科教育法Ⅳ(地理歴史) 地理歴史科教育法Ⅱ	藤木 正国	057401・057402	622
社会科教育法Ⅴ(公民) 公民科教育法Ⅰ	橋爪 敏	062401・062402・062601・062602	622
社会科教育法Ⅴ(公民) 公民科教育法Ⅰ	谷敷 正光	113401・113402	623
社会科教育法Ⅴ(公民) 公民科教育法Ⅰ	小川 光夫	134501・134502	624
社会科教育法Ⅵ(公民) 公民科教育法Ⅱ	橋爪 敏	062501・062502・062701・062702	624
社会科教育法Ⅵ(公民) 公民科教育法Ⅱ	谷敷 正光	113501・113502	625
社会科教育法Ⅵ(公民) 公民科教育法Ⅱ	小川 光夫	134601・134602	626
社会科教育法Ⅰ	磯山 進	088401	626
社会科教育法Ⅱ	磯山 進	088501	627
社会科教育法Ⅰ	小川 光夫	088601・088801	627
社会科教育法Ⅱ	小川 光夫	088701・088901	628
社会科教育法Ⅰ	二井 正浩	089001	628
社会科教育法Ⅱ	二井 正浩	089101	628
福祉科教育法	桐原 宏行	070801	629
商業科教育法	黒葛原 正展	113301	630

教職課程

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語科教育法Ⅰ a	町田 尚子	438801	631
英語科教育法Ⅰ b	町田 尚子	438911	632
英語科教育法Ⅱ a	町田 尚子	439001	634
英語科教育法Ⅱ b	町田 尚子	439111	635
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	豊田 千代子	083101・083102・ 083801・083802	636
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	坂本 信昭	083201・083202・ 083701・083702・ 084001・084002・ 084101・084102	636
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	萩原 建次郎	083401・083402	637
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	北村 三子	083501・083502	637
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	伊藤 茂樹	083601・083602	637
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	遠藤 司	083901・083902	638
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	大浜 幾久子	084151・084152	638
総合演習Ⅱ (生活・人権)	休講	082501	
総合演習 (13) [現代的学習課題とジェンダー]	休講	082502	
総合演習Ⅱ (生活・人権)	休講	082601	
総合演習 (14) [学校教育におけるジェンダー]	休講	082602	
職業科教育法Ⅰ	休講	113601	
職業科教育法	休講	113602	
職業科教育法Ⅱ	休講	114301	

(2) 教科又は教職に関する科目 (選択科目)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育関係法規	広沢 明	085101・085201	639
教育評価	大浜 幾久子	085301	639
教育哲学	北村 三子	085401	640
教育情報学	石橋 達也	085501	640
教育臨床心理学	小田切 紀子	085601	641
教育社会学	伊藤 茂樹	085701	641
教育史	山本 敏子	085801	642
教育調査	鈴木 規夫	086001	642
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	鈴木 朋夷	086201	643
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006602	643
宗教教育	小山 一乗	007102	644
生涯学習概論Ⅰ	豊田 千代子	084501	645
生涯学習概論Ⅱ	豊田 千代子	084601	645
視聴覚教育	高津 直己	084901・085001	646
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	086901	647
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	087001	647
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201・087301	648
学校図書館メディアの構成	源 昌久	087501	648
学校図書館メディアの構成	笠川 昭治	087601	648
情報メディアの活用	源 昌久	087801	649
情報メディアの活用	笠川 昭治	087901	649
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088101	649
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088201	650
介護等体験	豊田 千代子	089111	650
介護等体験	坂本 信昭	089121・089171	651

教職課程

科目名	担当者名	履修コード	ページ
介護等体験	萩原 建次郎	089131	651
介護等体験	北村 三子	089141	652
介護等体験	伊藤 茂樹	089151	652
介護等体験	遠藤 司	089161	653
介護等体験	大浜 幾久子	089181	653

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
東洋思想史	末木 恭彦	016803	654
民間信仰論	谷口 貢	017903	654
人文地理学概説	中村 剛	36901・37001	655
自然地理学概説	早船 元峰	043101	655
自然地理学概説	高木 正博	043201	656
地誌学概説	川元 豊和	037101	656
地誌学概説	湯田 ミノリ	037201	657
地誌学概説	山口 太郎	037301	657
日本史概説	野尻 かおる	056302	658
日本史概説	小泉 雅弘	056402	658
世界史概説	井村 行子	044202	659
世界史概説	小林 惣八	056502	659
社会学原論	橋爪 敏	060002	660
社会学原論	呉 炳三	133902	660
宗教人類学	佐藤 憲昭	075003	661
経済原論	梶中 貴	090103	661
経済原論	松井 柳平	090203	662
経済原論	荒木 勝啓	090303	663
経済原論	浅野 克巳	090403	664
民法Ⅰ	竹中 智香	098302	665
民法Ⅰ	須賀 昭徳	127803	665
政治学原論	山崎 望	134701	666
政治学原論	清滝 仁志	134801	667
日本宗教文化史	小川 順敬	232702	667
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232802	668
宗教学概説	池上 良正	232902	668
宗教学概説	矢野 秀武	233002	669
宗教学概説	川上 新二	233102	669
哲学概説	末木 恭彦	233202	669
哲学概説	久保 陽一	233302	670
倫理学概説	河谷 淳	233402	670

【職業】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
職業指導	洪 利志生	113801	671
産業概説	休講	113701	
商業実習	休講	113901	
工業実習	休講	114101	
農業実習	休講	114201	

【商業】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
職業指導	洪 利志生	113801	671
現代商業論	辰馬 信夫	152651	672

〔フレックスB〕

(1) 教職に関する科目(必修科目)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教職入門	天井 勝海	305401	673
教育基礎論	山本 敏子	343801	673
教育制度・環境論	山本 敏子	343901	674
学習・発達論	藤原 善美	344001	674
教育課程論	藤原 善美	344101	674
教育とメディア	石橋 達也	305501	675
道徳教育の研究	井上 勝	305601	675
特別活動論	井上 勝	305711	676
生徒指導論(進路指導を含む)	慶野 遥香	305801	676
教育臨床	慶野 遥香	305901	677
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(2)[子ども・自然・家庭]	山本 敏子	306001・306002	677
総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(2)[子ども・自然・家庭]	山本 敏子	306101・306102	677
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	伊藤 茂樹	306201・306202	678
社会科教育法Ⅰ	天井 勝海	306301	678
社会科教育法Ⅱ	天井 勝海	306401	679
社会科教育法Ⅴ(公民) 公民科教育法Ⅰ	谷敷 正光	321801・321802	680
社会科教育法Ⅵ(公民) 公民科教育法Ⅱ	谷敷 正光	321901・321902	681
社会科教育法Ⅲ(地理歴史)	休講	304601	
地理歴史科教育法Ⅰ	休講	304602	
社会科教育法Ⅳ(地理歴史)	休講	304701	
地理歴史科教育法Ⅱ	休講	304702	
商業科教育法	休講	322201	
職業科教育法Ⅰ	休講	322311	
職業科教育法	休講	322312	
職業科教育法Ⅱ	休講	322901	

(2) 教科に関する科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本史概説	菅野 洋介	304801	682
日本史概説	鈴木 雅晴	304901	682
世界史概説	見城 光威	305001	683
地誌学概説	川元 豊和	304201	683
地誌学概説	渡邊 盾夫	304301	684
人文地理学概説	渡邊 盾夫	304401	684
自然地理学概説	鈴木 倫太郎	304501	685
宗教学概説	須藤 寛人	305101・305201	685
哲学概説	河谷 淳	305301	686
政治学原論	大塚 桂	324302	686
産業概説	休講	322501	
商業実習	休講	322601	
農業実習	休講	322701	
工業実習	休講	322801	
職業指導	休講	322401	

2. 学校図書館司書教諭講座

必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	086901	689
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	087001	689
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201・087301	690
学校図書館メディアの構成	源 昌久	087501	690
学校図書館メディアの構成	笠川 昭治	087601	690
情報メディアの活用	源 昌久	087801	691
情報メディアの活用	笠川 昭治	087901	691
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088101	691
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088201	692

3. 社会教育主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会教育計画	萩原 建次郎	084401	695
生涯学習概論Ⅰ	豊田 千代子	084501	695
生涯学習概論Ⅱ	豊田 千代子	084601	695
社会教育実習	豊田 千代子	084701	696
社会教育実習	萩原 建次郎	084801	696

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会教育行政	荒井 隆	086301	696
社会教育施設	萩原 建次郎	085901	697
成人学習論	荒井 隆	086401	697
ジェンダーと教育Ⅰ	高井 葉子	082511	697
ジェンダーと教育Ⅱ	高井 葉子	082521	698
職業教育Ⅰ	塩川 正人	086701	698
職業教育Ⅱ	塩川 正人	086801	699
社会体育Ⅰ	吉田 実生	086501	699
社会体育Ⅱ	吉田 実生	086601	699
教育基礎論	豊田 千代子	212001	700
教育基礎論	北村 三子	212101・212201	700
教育基礎論	伊藤 茂樹	212301・212401・ 212701	700
教育基礎論	萩原 建次郎	212501	701
教育基礎論	坂本 信昭	212601	701
教育基礎論	山本 敏子	343801	701
教育制度・環境論	豊田 千代子	212901	702
教育制度・環境論	北村 三子	213001・213101	702
教育制度・環境論	伊藤 茂樹	213201・213301・ 213601	702
教育制度・環境論	萩原 建次郎	213401	703
教育制度・環境論	坂本 信昭	213501	703
教育制度・環境論	山本 敏子	343901	704
学習・発達論	大浜 幾久子	213901・214001	704
学習・発達論	藤原 善美	214101	705
学習・発達論	飯田 都	214201・214601	705
学習・発達論	角野 善司	214301・214401・ 214501	705
学習・発達論	藤原 善美	344001	706
教育とメディア	石橋 達也	076801・076901・ 077001・077101・ 077201・077301	706
教育とメディア	芝崎 順司	077401・077501・ 077601・077701	706
視聴覚教育	高津 直己	084901・085001	707
教育社会学	伊藤 茂樹	085701	707
教育史	山本 敏子	085801	708
教育調査	鈴木 規夫	086001	708
社会心理学A	坪井 健	058332	709

社会教育主事講座

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会心理学B	坪井 健	058342	709
青少年文化	古関 すま子	086101	710
現代社会の諸問題と教育Ⅰ	鈴木 朋実	082901	710
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	鈴木 朋実	086201	711
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006602	711
青少年指導演習	西村 寛子	006702	712
博物館学Ⅰ（概論）	太田 喜美子	056701	712
博物館学Ⅱ（資料論）	岸上 興一郎	056801	712
情報メディアの活用	源 昌久	087801	713
情報メディアの活用	笠川 昭治	087901	713
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201・087301	713

4. 博物館学講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
視聴覚教育	高津 直己	084901・085001	717
博物館学Ⅰ(概論)	太田 喜美子	056701	717
博物館学Ⅱ(資料論)	岸上 興一郎	056801	718
博物館学Ⅲ(経営論・情報論)	岸上 興一郎	056901	718
博物館実習Ⅰ(館務)	太田 喜美子 湯浅 隆 飯島 武次	057001	718
博物館実習Ⅱ(収集)	久保田 昌希 熊本 史雄 佐々木 真 小泉 雅弘 太田 喜美子 瀧音 能之 國見 徹	057101	719
博物館実習Ⅲ(見学)	酒井 清治 松本 信道 太田 喜美子	057201	719
教育基礎論	豊田 千代子	212001	719
教育基礎論	北村 三子	212101・212201	720
教育基礎論	伊藤 茂樹	212301・212401・ 212701	720
教育基礎論	萩原 建次郎	212501	720
教育基礎論	坂本 信昭	212601	721
教育基礎論	山本 敏子	343801	721
教育制度・環境論	豊田 千代子	212901	721
教育制度・環境論	北村 三子	213001・213101	722
教育制度・環境論	伊藤 茂樹	213201・213301・ 213601	722
教育制度・環境論	萩原 建次郎	213401	722
教育制度・環境論	坂本 信昭	213501	723
教育制度・環境論	山本 敏子	343901	723
生涯学習概論Ⅰ	豊田 千代子	084501	723
生涯学習概論Ⅱ	豊田 千代子	084601	724

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
インド仏教文化史	金沢 篤	003802	724
中国仏教文化史	程 正	003902	724
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004002	725
禅美術	村松 哲文	006102	725
仏教美術	村松 哲文	006202	726
仏教民俗学	佐藤 憲昭	006302	726
日本民俗学	谷口 貢	017103	727
美術史概説	北野 良枝	017803	727
現代美術	矢野 陽子	028602	727
地形学	平井 幸弘	039902	728
第四紀学	鈴木 毅彦	041102	728

博物館学講座

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本考古学概説	酒井 清治	044302	729
外国考古学概説	飯島 武次	044402	729
西洋文化史	田中 佳	046912	730
日本文化史	廣瀬 良弘	047112	730
考古発掘実習	酒井 清治 飯島 武次	046201	731
考古学特講 I	酒井 清治	052712	731
考古学特講 III	今村 啓爾	052912	732
考古学特講 V	杉山 浩平	053012	732
考古学特講 VII	矢野 和之	053032	733
西域美術史	松平 美和子	053102	733
宗教人類学	佐藤 憲昭	075003	734
考古学特講 II	休講	052812	
考古学特講 IV	休講	052922	
考古学特講 VI	休講	053022	
考古学特講 VIII	休講	053042	

5. 社会福祉主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会福祉原論	伊藤 秀一	062802	737
社会福祉原論	船水 浩行	070701	737

(2) 選択科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
法学（福祉）	鷄徳 啓登	062901	738
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063902	738
社会保障論	長尾 譲治	065002	739
公的扶助論	伊藤 秀一	065322	739
障害者福祉論	桐原 宏行	065422	740
老人福祉論	東條 光雅	065522	741
児童福祉論	村田 一昭	065622	742
女性福祉論	堀 千鶴子	065702	742
医療福祉論	宮本 博司	065822	743
地域福祉論	川上 富雄	065902	744
社会学（福祉）	武山 梅乗	066152	745
心理学（福祉）	高橋 良博	066522	745
リハビリテーション論	佐藤 将朗	064902	746
家庭福祉論	武山 梅乗	065102	746
保健福祉論	山本 哲也	065202	747
国際社会福祉論	休講	064002	

I 全学共通科目

1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	202501
科目名	仏教と人間
担当者名	熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)

「仏教と人間」は、仏教や禅の教えについての理解を深め宗教に対する正しい認識を身につけることを目標とする全学部共通の必修科目である。特に、これから仏教を専門として研究する仏教学部禅学科1年次生にとっては、この講座は、仏教の基礎を学ぶだけでなく、仏教に対する自分の問題意識とその研究方法を習得するための講座である。宗教について学ぶことの意味を考え、仏教と禅に関する諸問題や、文化や社会への影響を見ていくことで、本格的に仏教と禅について研究していくうえでの課題を発見してもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

次の6つのテーマについて、順次講義する。

1. 宗教を学ぶとは
2. 民族宗教と世界宗教
3. 仏教の歴史とその特質
4. 禅仏教の歴史とその特質
5. 曹洞宗の歴史とその特質

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席と受講態度を重視する。
年度末の筆記試験と平常点。
テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。
講義の中で随時紹介する。

履修コード	202601
科目名	仏教と人間
担当者名	長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい)

仏教の起源と伝播を概観した上で、仏教と他宗教との比較を行い、さらには、日本における歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教・宗教の意義を考える。

講義の内容／
授業スケジュール

以下のテーマに沿って、講義を進める予定である。

第1～3回：宗教の分類、第4～9回：仏教の起源と初期形態、第10～15回：大乘仏教の展開、第16～21回：仏教と他宗教との比較、第22～25回：日本仏教史概説、第26～28回：日本の主要な仏教者の言説と行動、第29～30回：まとめと補説

成績評価の方法

年度末の試験に加え、出席状況、授業時に数回書いてもらう予定の小論文などを勘案して総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しない。
授業時に適宜紹介する。

履修コード	202701
科目名	仏教と人間
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。
講義の内容／授業スケジュール	この講義では、私たちがとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。
準備学習	第1回～15回：日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。第1～5回：日本人の生死観（人生儀礼と年忌供養から）、第6～10回：彼岸と盆行事、第11～15回：日本人と仏教の関わり（仏教伝来に関わる記録や説話資料を用いて）。第16～30回：原始仏教とアジアへの仏教の広がりについて紹介していきます。第16～20回：原始仏教、第21～25回：中国・東南アジアの仏教、第26～30回：日本仏教の展開
成績評価の方法	授業準備として次回授業で取り上げる内容について教科書の該当箇所、もしくは事前に関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。
教科書／テキスト	原則として、年8回の「小試験」（出席点として処理）が2割、夏期レポート（前期試験に相当）が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
参考書	水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円、および関連資料のコピーを配布します。
	講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	202801
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>

講義の到達目標(ねらい)	「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、現実の社会の中に生きる仏教の実態に関する基礎的知識の解説に主眼をおいて、学生諸君が興味をもってそうなトピックを中心に講義を進めたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、「世界宗教」の発生・展開という人類史の大きな流れのなかで、仏教の成立過程とその意義を考察する。後期は、「仏教の土着化」というテーマで、仏教はどのようにして東アジアの民衆層に定着したのかという問題を、西欧文化との比較なども視野に入れながら考える。(1～5) 世界宗教としての仏教の誕生。(6～10) 部派仏教と大乘仏教。(11～15) 仏教の知恵。(16～23) 中国・日本における仏教の民衆化。(24～30) 仏教文化と一神教文化。
成績評価の方法	前期末と学年末の2回の筆記試験（7割）と出席状況（3割）から評価する。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	授業のなかで適宜紹介する。

履修コード	202901
科目名	仏教と人間
担当者名	矢野 秀武

講義の到達目標(ねらい)	本講義の目的は、第1に、我々の身のまわりにある仏教文化について正しい知識を身につけること、第2に、日本仏教の基本知識を身につけること、第3に諸外国の仏教について学び仏教の多様性や地域的特質を理解することにある。
講義の内容／授業スケジュール	前期では、まずお寺や仏像、お盆やお彼岸などの仏教習俗、お茶や精進料理などへの仏教の影響、駒澤大学の歴史など、身のまわりにある仏教文化について幅広く紹介する(1～8)、その後仏教の源流に遡り、仏陀の思想をとりあげ(9～12)、さらに仏教関連の世界遺産を紹介し、アジア各地への仏教伝播について考える(13～15)。 後期では、まずはスリランカ・東南アジア地域の上座仏教、チベット地域や東アジアに広まった大乘仏教など、アジア地域への仏教伝播の歴史や、各地での仏教文化の特質を紹介する(16～20)。さらに、日本仏教の歴史や、日本における葬儀や戒名などの仏教的意味について解説する(21～26)。また仏教の関わる社会活動も紹介し(27～28)、最後にまとめを行う(29～30)。
履修上の留意点	試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	出席点(各回提出のコメントシートの内容)、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
教科書／テキスト 参 考 書	なし 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)その他については、授業時に随時紹介する。

履修コード	203001
科目名	仏教と人間
担当者名	栗谷 良道

講義の到達目標(ねらい)	日本に伝承された仏教は、日本の文化と深く関わりながら、先祖供養や祈願祈祷などを行うことによって受け継がれてきました。お盆やお彼岸の先祖供養、お正月のご祈祷など、日本の仏教は人々の暮らしの中に定着している宗教と言えます。 そのような日本の仏教を理解するには、日本の固有文化である習俗や慣習などの民俗を学ぶと同時に、インドから伝わる仏教の理念としての教義を学ぶ必要があります。 この授業では、まず、日本の仏教を理解するために、その基層となっている宗教について概説し、そして、日本の文化と交流しながら発展してきた日本の仏教について学びます。さらに、より深く仏教を理解するために、仏教の理念として伝承されてきた仏教の教義についても学びます。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、宗教、特に民俗宗教、精霊信仰、祖霊信仰、先祖祭祀、仏教と民俗の関わり、などについて学びます。 後期は、仏教の開祖である釈尊の生涯と教え、釈尊滅後の仏教の流れ、日本の仏教、道元禅師の生涯と教え、などについて学びます。
履修上の留意点	授業で配布するプリントの中から学年末の試験問題を出す予定です。また、夏休み前に課すレポートは必ず提出してもらいます。
成績評価の方法	成績はレポートと学年末の筆記試験で評価します。レポートの課題は夏休み前に出し、提出は夏休み明けの予定です。詳しくは授業の中で説明します。
教科書／テキスト 参 考 書	その都度、プリントを配布します。 授業の中で適宜紹介します。

履修コード	203101
科目名	仏教と人間
担当者名	竹内 弘道

講義の到達目標(ねらい) あなたは今、自分を取り巻く社会事象や世界の動きをどれだけ把握していますか？ 周囲のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先端的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが大学生としてのあるべき姿と考えます。

しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができません。

残念ながら高校までの日本の教育制度は、若者が政治や社会に対して意見をもち、積極的に関わっていかうとする芽を育てようとはしていないように思われます。とりわけ、病的なまでに宗教を排除した戦後の教育のなかで形成された知性に、大きく欠けている部分は、宗教に関する諸知識と宗教観であると思われま。

宗教が我々の文化に深くかつ広汎に関わってきたことは、歴史を振り返ればすぐに分かることです。それは世界の歴史も同様です。現代の日本もまた、宗教の百貨店といわれるほど、世界にも希な豊かな宗教文化を内包しているながら、そのことを自覚している人は決して多くはありません。

現代に固有と思われる、脳死・臓器移植・尊厳死などの問題も、自らの背景にあるべき宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が確立していないと、問題の本質が見えないばかりか、意見を述べることもむずかしくなります。

歴史学とは過去と現代の対話といわれています。単に歴史的事実や年号を覚えることが歴史学ではなく、過去の歴史的事実から現代に生きる我々が何を学ぶかということがテーマとなります。

授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学び、それらが深く社会に浸透し展開した歴史を学ぶなかで、これまで欠落していた宗教に関する視点を補い、併せて現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思ひます。

(1～4) 釈尊の生涯と仏教の基本理念、(5～10) 大乘仏教の思想と展開、(11～15) 仏教の日本伝来とその展開、(16～20) 禅の起源と菩提達磨、(21～25) 六祖慧能と中国禅の展開、(26～28) 道元禅師の思想、(29～30) 仏教と現代

試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。

板書・プリント配布

参考書はその都度授業で紹介する。

講義の内容/
授業スケジュール

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	203201
科目名	仏教と人間
担当者名	佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸にはお墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは縁起や空を説く「教義仏教」とは大きく異なっている。この講座では、仏教文化には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを学習するとともに、教義仏教の思想と行動について考えてみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～3回 宗教学の視点と方法、第4～6回 風土と宗教、第7～9回 一神教と多神教の世界観、第10～12回 宗教文化の基盤、第13～15回 教義仏教と民俗仏教、第16～18回 原始仏教、第19～21回 上座部仏教と大乘仏教、第22～24回 禅仏教、第25～27回 曹洞宗、第28～29回 仏教徒の信仰対象、第30回 総括。

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

履修上の留意点

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

教科書/テキスト
参 考 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)
授業中に適宜紹介する。

履修コード	203301
科目名	仏教と人間
担当者名	^{オドウ} 須藤 ^{ひろと} 寛人

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、仏教をひとびととの関わりのなかでとらえます。つまりこの講義での仏教とは、ひとびとが実際に生きた仏教、ひとびとの暮らしのなかの仏教です。そこで、インド亜大陸で生まれた仏教がどのように大きくなり、私たちの住む日本に伝えられてきたのかをこの講義では学んでいただきたいと思います。ひとびとがなにを仏教に求め、また仏教はひとびとに何を与えてきたのでしょうか。それは時代と場所によっては、生きる力であったり、こころの安らかさであったり、時には生活を規制するものであったかもしれません。仏教の全体的な歴史を学びながら現在の私たちの暮らしを見直していくといった姿勢が、本講義を通して養われることを期待します。

講義の内容／授業スケジュール (1) 授業の評価と概要, (2) 仏教以前のインド, (3) 仏教誕生, (4) 仏弟子と仏教の広がり, (5, 6) 中国の宗教と仏教, (7) 日本: 仏教公傳とテラの発生, (8, 9) 聖武天皇と神仏習合 (10, 11), 密教の成立と御霊信仰, (12) 末世と浄土・地獄, (13) 鎌倉以降, (14) 江戸時代の仏教と檀家制度, (15) 明治時代の仏教: 開国と神仏分離, (16) 日本人は宗教的か? 仏教的か?, (18, 19, 20) 葬儀とその問題点, (21) 日本文化における供養, (22) 日本人と先祖崇拜, (23, 24, 25) 宗教的職能者と仏教, (26, 27) 仏教と現世利益, (28~) まとめ。

履修上の留意点 予習はとくに必要ありませんが、この科目専用のノートを用意し、講義を筆記することを望みます。またレポートの提出をお願いしますが、ネット上の内容のコピーなどにならないように、自分自身で考えたレポートを作成してください。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。レポートの提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。目安として、試験60%、レポート20%、試験20%になります。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

その他 私語は厳禁です。試験は白筆ノートのみ持ち込み可です。欠席した分については自己責任で対処するように。

履修コード	203401
科目名	仏教と人間
担当者名	^{かなざわ} 金沢 ^{あつし} 篤

講義の到達目標(ねらい) この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容／授業スケジュール この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について (5回)・世界の三大宗教 (3~4回)・ブッダの生涯 (2~3回)・ブッダの悟りと教え (2~3回)・インド仏教の展開 (2~3回)・仏教東漸 (インドから中国へ) (1回)・中国仏教の展開 (3~4回)・中国禅宗の成立と展開 (3~4回)・日本への仏教伝来とその展開 (1~2回)・道元禅の成立と展開 (1~2回)

履修上の留意点 講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法 夏休みの課題レポート (20点)、期末テスト (60点)、出席点 (20点) の三つを総合的に評価する。

教科書／テキスト プリント配布。

参考書 適宜に紹介する。

履修コード	203501
科目名	仏教と人間
担当者名	岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい) 仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したい、と考えています。

講義の内容／授業スケジュール 本講義の目的を達成するため、本講義では以下のことを行いたいと思います。
まず、教科書に沿いながら仏教の教主である釈尊から曹洞宗の両祖（道元禪師・瑩山禪師）にいたる仏教の歴史と教えを概説する。その後、道元禪師のことは抄出して明治時代に編纂された曹洞宗の読誦経典『修証義』を参考にしながら、曹洞宗の教えを紹介する。

履修上の留意点 必修科目であるので、安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法 学年末に実施する試験（定期試験）と出席点によって成績評価を行う。

教科書／テキスト 松尾剛次『仏教入門』（岩波書店、岩波ジュニア新書322）780円

参 考 書 中村元『ブッダ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、柳田聖山『禪思想』（中公新書）、鏡島元隆『道元一正法眼蔵・永平広録 禪入門2』（講談社）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

履修コード	203601
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 魯参

講義の到達目標(ねらい) 仏教はどのような宗教なのか。禅は何を教えるか。仏教を糧に生きた人びとや禅を実践した人びとは、どのような人生を実現し、どのような生涯を全うしたか。自分自身の来し方を反省し、これからの人生を設計していくために、禅仏教の強く美しい生き方のモデルを学んでもらう。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 仏教とは何か
第2回～6回 釈尊の生涯（生い立ち・出家・成道・説法・涅槃）
第7、8回 釈尊と出会った人びと
第9回～11回 釈尊滅後の展開（原始仏教・部派仏教・大乘仏教初期・中期・後期）
第12回 仏教の中国伝来と諸課題
第13回 格義仏教の超克
第14回 三蔵法師の活躍
第15回～19回 隋唐の仏教（天台宗・華嚴宗・法相宗・律宗・密宗・禅宗・浄土宗）
第20回～25回 日本の仏教（奈良・平安・鎌倉時代・道元・瑩山）

準備学習 授業中に紹介する参考書や新刊書をできるだけ多く読破すること。

履修上の留意点 「仏教と人間」のためにだけ使うノートを用意すること。できるだけ講義内容をメモすること。しっかり聴いて疑問点があったら素直に質問すること。

成績評価の方法 学期末試験を主にし、夏休みの課題レポートの提出と、出席状況を加味して行う。

教科書／テキスト 特に教科書を指定しない。

参 考 書 テーマ毎に参考書・必読書等を講義の中で紹介するので、できるだけ多く読書するようにして欲しい。

履修コード	203701
科目名	仏教と人間
担当者名	永井 政之 <small>ながい まさし</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件――オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ――は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお、「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) そもそも「宗教」とは何なのか。人間にとってどのような意味があるのかを考えます。(4～10) ブッダによって説かれた「仏教」とはどんな教えなのかを考えます。(11～30) ダルマによって中国に伝えられたという禅とはどんな風に人間を捉えるのかを紹介しつつ、道元の禅にまで論及したいと思います。

履修上の留意点 成績評価の方法 まじめに授業をうけ、私語をつつしむこと。授業には必ず出席すること。(出席をとりまます)。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書／テキスト 必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

履修コード	203801
科目名	仏教と人間
担当者名	石井 修道 <small>いしい しゅうどう</small>

講義の到達目標(ねらい) 「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容／授業スケジュール (1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。

履修上の留意点 「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法 教科書の感想文のレポート(夏休み後に提出)20点と学期末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書／テキスト 鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)693円

履修コード	203901
科目名	仏教と人間
担当者名	片山 一良

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

人間にとって宗教とは何かを考え、宗教としての仏教とは何かを考えたい。
前半は宗教一般について、1、宗教と呪術、2、神話と儀礼、3、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後半は仏教の基本的な考え方について、1、縁起と四諦・八正道、2、輪廻と涅槃、3、智慧と慈悲などについて講じる。いずれも現代の我々に身近な問題の中で取り上げ、人間、自己について考えたい。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他

心を静かに調えること。
「人間学」として把握し、学ぶことが望まれる。
レポート(夏期)、および年度末テストによる。
とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。
片山一良『ブッダのことは パーリ仏典入門』(大法輪閣)など。
随時、資料プリントを配布する。

履修コード	204001
科目名	仏教と人間
担当者名	飯塚 大展

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

仏教について基本的な概念の理解に主眼を置く。
概説(1)、釈尊の生涯(2~5)、インドにおける仏教の展開(原始仏教、部派仏教、大乘仏教、6~10)、仏教の伝播(南伝仏教、北伝仏教、東アジア圏における仏教受容、11~15)、日本仏教史(古代仏教史、中世仏教史、近世仏教史、近代仏教史を順次講義、16~23、日本禅宗史24~30)。

履修上の留意点
成績評価の方法

本講義専用のノートを準備すること。
三分の二以上の出席を前提とする。平常点及び小テスト(50点配分)と期末試験(50点)を以て評価する。

教科書／テキスト
参考書

教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書は随時紹介する。

履修コード	204011
科目名	仏教と人間
担当者名	程 正

講義の到達目標(ねらい)

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見い出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容／
授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について(3~4回)・世界の三大宗教(3~4回)・ブッダの生涯(3~4回)・ブッダの悟りと教え(2~3回)・インド仏教の展開(2~3回)・仏教東漸(インドから中国へ)(1回)・中国仏教の展開(3~4回)・中国禅宗の成立と展開(3~4回)・日本への仏教伝来とその展開(1~2回)・道元禅の成立と展開(1~2回)

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
期末テスト(60点)、授業中の小レポート(20点)、出席点(20点)の三つを総合的に評価する。但し、場合によって点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書／テキスト
参考書

プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	204021
科目名	仏教と人間
担当者名	松田 陽志

講義の到達目標(ねらい) お釈迦さま(釈迦牟尼世尊・釈尊)の生き方と教えを仏伝(釈尊の伝記)及び初期仏典の記述によって理解する。インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を理解するとともに、初期仏教と中国・日本に展開する大乘仏教との性格との違いについて考える。

講義の内容／授業スケジュール 年間を通じ、仏教の開祖、釈迦牟尼世尊(釈尊)の生涯の中からその教えが説示される立場を仏伝の記述によって理解する。特にヒンドゥー文化圏の中で釈尊の教えの独自性を、仏教教団が仏伝の中で、どのように表わそうとしたのかを、具体的に検討する。

第1回：ガイダンス、第2～4回：ヒンドゥー教の性格と出家、第5回～7回：カースト制度と仏教、第8回～10回：大乘仏教のおこる要因と性格、第11回～12回：日本・中国の死生観、第13回～14回：(釈尊伝)誕生、第15回～16回：青年時代から出家、第17～19回：禪定・苦行、第20～21回：成道にあたって、第22～23回：成道の内容、第24～25回：十二縁起と無明、第26～27回：涅槃・入滅、第28～30回：予備

履修上の留意点 配布資料を整理保存すること。講義を聞いて重要だと思ったり、興味関心を持った内容を、自分の言葉・文章で簡潔にまとめながら、ノートをとったり、資料に書き込むなどすること。

成績評価の方法 出席点とレポート、年度末試験によって評価する。
教科書／テキスト 特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。
参考書 随時紹介する。

履修コード	204101・206001
科目名	仏教と人間
担当者名	晴山 俊英

講義の到達目標(ねらい) 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容／授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 ー四諦八正道から六波羅蜜までー
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 ー五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観ー
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 ー大乘仏教の特質と思想、大乘経典ー
- 第17回～第24回：中国仏教 ー伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立ー
- 第25回～最終回：日本仏教 ー伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代ー

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。

履修上の留意点 YeStudyに登録すること (Passは授業で告知)。授業アンケートも YeStudy で行なう。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況(不定期に出欠をとります)を加味して評価する。

教科書／テキスト 特になし。プロジェクトに概要を表示・板書が中心となる。

参考書 授業において必要があれば適宜指示する。

その他 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	204201
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 道浩 <small>いけだ みちひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはない。自分自身が存在する理由を問うこともなく、神を求めることもない。しかし、人間は自らの有限性に耐えられず、何ほどか普遍的なものを想定せずにはいられない。宗教は人間だけの営みなのである。また、宗教は日常から離れたどこか遠い場所にあるのではなく、我々の日々の生活に密接に関わるものでもある。

講義の内容／授業スケジュール

本講義は、仏教とその他の諸宗教の歴史と思想を概説しつつ、現代社会における宗教のあり方を提示するものである。民俗学的な視点や人類学の知識も使用し、今日の社会や文化における宗教意識を理解することを目的とする。

(1～2) 死後の世界：死んだらどうなるのか：『おくりびと』は何をどこにおくのか (3～4) 死と葬送の宗教民俗とその思想 (5～6) 旧約聖書の世界 (7～9) キリスト教 (10～13) 現代のユダヤ教とキリスト教 (14) お盆とは何か (15) 靖国神社 (16～17) イスラム教 (18～19) 中国の宗教 (20～22) インド仏教 (23) チベット仏教 (24～25) 日本の宗教 (26～28) 中国と日本の仏教 (29～30) 現代社会における宗教風景

履修上の留意点

なお、随時、社会的文化的事例を取り上げ、問題点を提示していく。
特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになるので注意されたい。なお、欠席の多い者には評価を与えない。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席点と簡単な課題の提出、学年末の定期試験によって評価を行う。
特に使用しない。
講義中に随時紹介する。

履修コード	204301
科目名	仏教と人間
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう しゅうこう</small>

講義の到達目標(ねらい) 仏教はインドのゴータマ・シッタッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容／授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。

成績評価の方法

具体的には、前期に宗教一般の中における仏教の特徴、仏教の開祖ゴータマ・ブッタの生涯に触れ、さらに四諦八正道や三法印など仏教の基本的なものの見方について論じる。

教科書／テキスト

後期には仏教の中から特に禅宗について触れ、達磨（ダルマ）に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における禅宗の歴史の変遷について述べ、さらに仏教・禅宗における人間観・修行観・自然観などについて論じる。

参 考 書

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円、中尾良信『図解雑学・禅』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

履修コード	204401
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 練太郎

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、駒澤大学の建学の理念に基づいておこなわれるものである。この講義を通して、仏教や禅に関する基本的な知識を身につけ、その思想や文化を理解したうえで、複雑・多岐にわたる現代社会のさまざまな問題において、仏教がどのような意義を持ち、いかなる役割を果たせるかを考えていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 講義では、世界の諸宗教と比較して仏教の独自性はどこにあるのかについて考え、その後、開祖であるブッダの生涯とその思想、そして日本を初め世界各地に伝わった仏教の歴史的・思想的展開を概観し、さらに禅の歴史・思想を知った上で今日的な諸問題との関連を考えることにしたい。

授業はおおむね、第1～2回：宗教とは何か、第2～3回：世界の宗教、第4回：仏教の基本的な立場、第5～6回：仏教の起こり、第7～9回：ブッダの生涯、第10～13回：ブッダの思想、第14～15回：インドにおける仏教の展開、第16～20回：世界に広がった仏教（東南アジア、中国、チベット等）、第21～22回：日本仏教の歴史と特質、第23～25回：禅の歴史、第26～27回：禅の思想、第28～29回：道元禪師・瑩山禪師と曹洞宗、第30回：現代社会と仏教、という次第で進めていく予定である。

履修上の留意点 自分の専門領域と無関係だと決めつけず、自らの日常生活や社会問題との関わりをつねに意識しながら受講する姿勢で臨んでほしい。

成績評価の方法 年度末におこなう筆記試験と出席等の平常点によって評価する。

教科書／テキスト 教科書は特に用いない。必要に応じて資料等を配布する。

参 考 書 必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	204501
科目名	仏教と人間
担当者名	菅原 壽清

講義の到達目標(ねらい) 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半ではアジアの宗教、仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のこころなどの講義を、DVDやプロジェクターを用いて、ビジュアルな授業を進めていきます。

講義の内容／授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
 2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
3. さまざまな宗教形態（アジアの宗教、その多様な形態）
 4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈人びとの暮らしと仏教〉
5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
 6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
 7. " (日本の仏教)
 8. " —神仏習合と分離—
 9. 禅のこころ（道元禪師の教え）

（配付資料、講義中の映像などを全て Y e S t u d y で公開します。また、国内や海外調査などで撮影した多数の写真を、ホームページで公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。）

準 備 学 習 Y e S t u d y で講義に関する、配付資料、授業ノート、映像を全て公開します。

Y e S t u d y に積極的に登録して利用し、予習復習をして下さい。

履修上の留意点 必須科目なので、毎回出欠の確認を行います。

成績評価の方法 試験 + α + β （詳細は、講義の時説明）

α = 座席点（ABC で付け、積極的な授業参加を評価します）

β = レポート点（課題や参考書に基づいて提出したレポート、授業中に見たDVDの感想など、積極的な授業参加を評価します）

教科書／テキスト 特には指定しません。講義資料をプリントして配布します。

また、Y e S t u d y でも、講義ノート、映像、参考図書などを掲載します。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、なお可です。

参 考 書 Y e S t u d y でも、講義ノート、映像、参考図書などを掲載します。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

そ の 他 特になし

履修コード	204601
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>わたなべ まさひで</small> 渡部 正英

講義の到達目標(ねらい) 宗教教育としての仏教をさぐる。日本人に馴染み深い仏教を科学的な視点をもって、人々の生活に宗教としてどの様に関わってきたかを知る。前期は宗教学、仏教の歴史を通して話す。後期は仏教の実際の行事、儀礼などを参考に人々との関係を中心に話しをする。

講義の内容／授業スケジュール (1～6) 仏教と宗教学、(7～12) 歴史から見た仏教(仏教史、世界宗教として等)、(13～19) 仏教と人生(年中行事、通過儀礼などから)、(20～25) 仏教と祈り(仏像、巡礼などとの関わり)

成績評価の方法 各項目のまとめに授業内試験をする。更に最終講義の時に試験をして、総合評価をする。出席状況は考慮していく。

参 考 書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	204701
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>おかべ まさあき</small> 岡部 雅明

講義の到達目標(ねらい) 仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他の信仰との関連なども含め、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解、さらには宗教一般についての理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 【1～5】現代日本の仏教諸相(葬祭仏教・檀信徒制度・年中行事・祈祷など)【6～10】宗教現象の諸相(世界宗教・民俗宗教・シャーマニズムなど)【11～15】宗教学の基礎理論(宗教起源説・呪術・宗教論など)【16～20】初期仏教の歴史と教説(ブツタの生涯・教説など)【21～25】インド仏教の歴史と教説(部派仏教・大乘仏教など)【26～30】日本仏教の歴史と教説(仏教の受容・奈良仏教・平安仏教・鎌倉仏教など)

成績評価の方法 出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参 考 書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	204801・205111
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>むらまつ てつふみ</small> 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい) 東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容／授業スケジュール 釈尊の生涯(1～3)、釈尊の教え(4～8)、経典の内容(9～12)、仏教的世界観(13～14)、大乘仏教と小乗仏教(15・16)、中国の仏教受容(17)、中国仏教の展開(18)、日本の仏教受容(19)、日本仏教の展開(20)、仏像と仏画で見る仏教(21～30)

履修上の留意点 仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法 定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書／テキスト 適宜プリントを配布する。

参 考 書 講義中に紹介する。

履修コード	204901
科目名	仏教と人間
担当者名	吉村 誠

講義の到達目標(ねらい) 駒澤大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 (前期) (1) 仏教とは何か (2～8) ブッダとその教え (9～14) 大乘仏教の展開 (15) まとめ (後期) (1) 東アジアへの仏教伝播 (2～7) 密教の宇宙観 (8～14) 禅の人間観 (15) まとめ

成績評価の方法 教科書／テキスト 授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

出席状況と試験結果を総合して評価します。最初の授業で指示します。

履修コード	205001
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 光洋

講義の到達目標(ねらい) 現在の日本には「宗教」を毛嫌いする傾向が見られ、自身を「無宗教」と規定する人が多く存在する。しかし安易な宗教批判や宗教否定は、無批判な宗教肯定同様、実はそれ自体が“宗教的”であることが多い。

皆さんの学舎である本学は曹洞宗系の私学であり、「建学の理念」も仏教思想を背景としている。講義を通して建学の精神を理解するとともに、仏教を学ぶことによって「正しくものを見る」ことを身につけていただきたい。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他 前期は、仏教を開いた釈尊の教えと、その後の仏教史(中国・唐代まで)を学んでいきたい。後期は、中国禅の歴史と思想を学んだ後、日本曹洞宗の祖・道元禅師の教えを学習していく。専用のノートを用意すること。小作文(不定期)・前期レポート・後期試験を総合して評価する。特になし。プリントを配布。また、講義中に随時紹介する予定である。私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事情が無いかぎり入室禁止。

履修コード	205101
科目名	仏教と人間
担当者名	新井 一光

講義の到達目標(ねらい) インド仏教の歴史と基本思想を概観し、仏典及び古典インド文献の読解を通して、古代インド社会と仏教の関係を考察する。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 仏教以前のインド及びインド仏教の歴史と基本思想を概観する。(a) イントロダクションー仏教学について、(b) 仏教以前のインド(ヴェーダ、ウパニシャッド)、(c) 釈尊の伝記、(d) 原始仏教の思想(縁起説、無我説等)、(e) 部派仏教と大乘仏教、(f) 大乘仏教の展開。

授業は講義形式で進めるが、参加者に資料、テキストを読んでもらい質問を当てるので、積極的な取り組みが要求される。

年度末の試験及び数度のレポート、しばしば行う小テストによって総合的に評価する予定である。最初の授業において指示する。

履修コード	205121
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>いけがみ こうよう</small> 池上 光洋

講義の到達目標(ねらい) 現在の日本には「宗教」を毛嫌いする傾向が見られ、自身を「無宗教」と規定する人が多く存在する。しかし安易な宗教批判や宗教否定は、無批判な宗教肯定同様、実はそれ自体が“宗教的”であることが多い。

皆さんの学舎である本学は曹洞宗系の私学であり、「建学の理念」も仏教思想を背景としている。講義を通して建学の精神を理解するとともに、仏教を学ぶことによって「正しくものを見る」ことを身につけていただきたい。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

前期は、仏教を開いた釈尊の教えと、その後の仏教史(中国・唐代まで)を学んでいきたい。後期は、中国禅の歴史と思想を学んだ後、日本曹洞宗の祖・道元禅師の教えを学習していく。専用のノートを用意すること。

小作文(不定期)・前期レポート・後期試験を総合して評価する。

特になし。

プリントを配布。また、講義中に随時紹介する予定である。

私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事情が無いかぎり入室禁止。

履修コード	205201
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>おくの みつよし</small> 奥野 光賢

講義の到達目標(ねらい) 本学は仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講義が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。ただし、教科書のすべてを取り上げるのではなく、内容にしたがって重点的に解説するので、その点あらかじめお断りしておきたい。なお、教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

(前期)

(1～2) 信教の自由について
(3～4) 宗教の分類
(5～6) さまざまな宗教
(7～9) 仏教の誕生—釈尊の伝記
(10～12) 釈尊の説いた道—四諦・八正道
(13～15) 前期のまとめ

(後期)

(14～15) 戒・定・慧、戒と律
(16～17) 仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教
(18～19) 小乗仏教と大乘仏教
(20～21) 大乘仏教の教え—六波羅蜜
(22～23) 四摂法・四無量心について
(24～25) 曹洞宗の歴史と教えについて
(26～30) 宗教と医療をめぐる問題、後期のまとめ

履修上の留意点 受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教としての「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意しておいて欲しい。

成績評価の方法 学年末試験によって評価する。出席状況等も評価の対象とするがあくまで基本は学年末試験である。

教科書／テキスト 松本史朗『仏教への道』(東京書籍)定価1,400円(税別)を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参 考 書 授業中に適宜指示する。

そ の 他 「医療健康科学部」という性格に鑑み、時間的余裕があれば、「安楽死」「尊厳死」といった問題等についても考察してみたいと思う。

履修コード	205301
科目名	仏教と人間
担当者名	袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 国や政府が資本を投じて創設した assets など民間に譲渡することを privatization という。一方、capitalism のもたらす歪みを軽減するために設けられた regulation を解除することを deregulation という。しかるに privatization も deregulation も自ら責任を取りうる individuals の確立した社会にして初めて可能となるが、あたかもそれが既に実現しているかのように、経団連などを中心に進められたのが「自己責任」の強調による「終身雇用」の解体である。privatization と deregulation で自らの赤字軽減を企及とする little government は、その結果もたらされる社会不安を力によって押えるため、国内には警察権の強化を、国外には自衛隊の軍隊化を実現しようとしている。U.S.A. を中心に進められているこのような global な政策を globalism という。これは1980年代以降の PC の普及と共にあったが、本学部は、そのような globalism の一環を media を基本に学問的に確立していこうとする学部のはずである。その学部設立の idea は Buddhism に置かれている。その Buddhism を Buddhology の成果に基づいて講義する。

講義の内容／授業スケジュール

(1) 自己と他者、(2) 信仰と言葉、(3) 北西インド、(4) マガダの地、(5) 北伝の地域、(6) 南伝の地域、(7) インドの古代、(8) 開祖の伝記、(9) 三蔵の成立、(10) 発展の時代、(11) 宗教の定義、(12) 業と輪廻と、(13) 解脱と成仏、(14) 苦行と布施、(15) 無我と五蘊、(16) 縁起の思想、(17) 四諦の教義、(18) 有為と無為、(19) 一音演説法、(20) 小乗と大乘、(21) 空性と唯識、(22) 顕教と密教 以上を講義のかたわら、下記の英文を講読する。

履修上の留意点

Russell の Political Ideals 中の第5章 “National Independence and Internationalism” をプリントで配布して講読するのでそのコピーは必ず受領されたい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

学年末の定期試験によって評価する。
袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版) 2004年
袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版) 2005年

履修コード	205401
科目名	仏教と人間
担当者名	館 隆志

講義の到達目標(ねらい) インド・中国・日本における仏教の流れを概観し、あわせて、仏教や禅の教えについて考えることを目的とする。その上で、仏教に対する興味を抱いてもらい、より身近に感じる機会としてもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール

以下のテーマについて順次とりあげて、仏教に関する基礎的な知識を養うことを目指す。
「宗教」 仏教が宗教であることへの理解
「仏教の思想と歴史」 仏教の総合的な知識を得るため
「禅仏教の思想と歴史」 駒澤大学で禅仏教を学ぶ意義を考えてもらう
「日本仏教」 仏教をより身近な存在として捉えてもらう
「曹洞宗の歴史」 駒澤大学が曹洞宗を母体とする大学であったことを踏まえ
「寺院と僧侶」 有名な寺院と著名な僧侶についての知識を得ることによって
身近に存在する仏教の知識を得る

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

出席と授業態度を重視する。
出席状況、定期試験の結果を総合して評価する。
講義の中で配布するプリント

参 考 書

『図解雑学 仏教』ナツメ社、2002年、1400円
講義の中で適宜紹介する。

履修コード	205501
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>つのだ たいりゆう</small> 角田 泰隆

講義の到達目標(ねらい) 仏教の歴史や教えについて講義し、仏教についての正しい認識を身につけることを目標とする。この講義では、便宜的に「人間」「世界」「環境」「自己」「現在」「生死」「教育」などの言葉を順次取り上げ、これらと関係させながら仏教を概説したい。

講義の内容／
授業スケジュール

1～3 宗教とは何か
4～5 仏教の歴史
6～7 禅の歴史
8～9 日本の仏教
10～12 仏教の世界観
13～15 仏教の人生観
16～17 仏教と生死
18～19 仏教と環境
20～21 仏教と自己
22～22 仏教と現在
23～24 仏教と教育
25～26 禅の教え
27～30 道元禅と現代

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を調べ、講義の内容をしっかりと記録すること。(定期試験には自筆ノートの持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験と出席点によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績にかかわらず単位は認定されない。

教科書／テキスト
参 考 書 教科書はない。必要に応じて資料を配布する。
講義の中で随時紹介する。

履修コード	205601
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>くまもと えいじん</small> 熊本 英人

講義の到達目標(ねらい) 「仏教と人間」は、仏教や禅の教えについての理解を深め宗教に対する正しい認識を身につけることを目標とする全学部共通の必修科目である。日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、自分にとって宗教とは何かをあらためて考えてもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。インドにおける仏教の開祖ブッダの伝記や、仏教の歴史や人物などを取り上げながら、現代社会につながる話題として解説していく。

履修上の留意点 出席と受講態度を重視する。

成績評価の方法 年度末の筆記試験と平常点。

教科書／テキスト
参 考 書 テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。
講義の中で随時紹介する。

1～ 3 宗教を学ぶとは
4～12 ブッダの生涯と仏教の歴史
13～21 禅の歴史とその特質
22～30 日本仏教の歴史とその特質

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	石井 公成

講義の到達目標(ねらい) 仏教の基本的な教理と歴史、および日本を含めた世界の諸宗教について概観し、仏教の特色と仏教が果たした役割について考えてゆく。

講義の内容／授業スケジュール 仏教の成立とその背景について説明したのち、諸国の様々な宗教を概観し、その後で再度、仏教に戻り、アジア諸国における仏教の展開とその特色について検討してゆく。文学や芸能との関係についても注意する。

履修上の留意点 講義形式ではあるものの、毎回プリントを配布し、学生諸君に少しづつ読んでもらうほか、どんどん質問して答えてもらうため、積極的に参加する意欲が必要である。

成績評価の方法 ほぼ毎回行なう授業内容に関する小テストによる。熱心に参加している者については評価する。

教科書／テキスト プリントを配布する。

参考書 一覧のコピーを配布する。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	駒ヶ嶺 法子

講義の到達目標(ねらい) 駒澤大学の設立の目的は「仏教教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り学校教育を行うこと」です。本校ではこの目的に基づき「仏教と人間」という科目を全学部学科に開講しています。本講義もこの目的に則って行います。その為本講義では仏教と曹洞宗の基礎知識を身につけて貰うために、仏教の教主釈尊と曹洞宗の両祖道元禪師・瑩山禪師の伝記とその教えを中心に取り上げます。

講義の内容／授業スケジュール 本講義は、主に①釈尊の伝記と悟りの内容、②仏教の日本への伝播、③日本に仏教を伝えた人物の一人である道元禪師、そしてその教えを広く伝えることに努めた瑩山禪師の伝記を概観します。

(1) 授業の説明 (2～5) 釈尊の伝記 (6～9) 釈尊の教え (10～13) 釈尊入滅後の仏教 (14～17) 中国の仏教 (18～22) 日本の仏教 (23～26) 道元禪師の伝記 (27～30) 瑩山禪師の伝記

※スケジュールはあくまで目安としてください。

履修上の留意点 配布プリントを保存してください。

成績評価の方法 出席状況と学年末の定期試験で評価します。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店 7350円 4-00-080205-4
石川力山編著『禅宗小事典』法蔵館 2520円 4-8318-7064-1

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	海老澤 早苗

講義の到達目標(ねらい) 「仏教と人間」は本学の宗教教育科目であり、建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生の皆さんに理解してもらうため、全学部学科に開講されています。

従って、本講義もその趣旨に則り、一仏両祖、つまり釈尊と高祖道元禪師、太祖瑩山禪師の伝記と教え・思想を中心に、仏教への理解を深める事を主眼とします。

講義の内容／授業スケジュール (1) イントロダクション (一回)。(2) 仏教とは (一回)。(3) 釈尊の生涯と教え (七回)。(4) インドにおける仏教の展開 (二回)。(5) 仏教の伝播 (一回)。(6) 中国における仏教の展開 (二回)。(7) 日本における仏教の展開 (四回)。(8) 道元禪師の伝記と思想 (六回)。(9) 瑩山禪師の伝記と思想、及び日本曹洞宗の展開について (六回)。

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備して下さい(学期末試験には、自筆ノート及び配布資料の持ち込みを許可します)。

成績評価の方法 平常点と学期末試験を以て評価します。

教科書／テキスト 教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。

参考書 授業において随時紹介します。

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	木村 誠司

講義の到達目標(ねらい) 「仏教とは何か」ということに関しては、意外と誤解されていることも多い。本講義では、仏教についての誤解を解き、その真の姿を明らかにしていく。その際、インドの他宗派の事情にも触れ、釈迦の伝記等も一瞥する。
 文学や日常的な事柄からも仏教をみていきたい。
 受講者には、仏教の基本概念、例えば、空等について、正しい理解をしてもらいたい。また、各地の仏教に関しても、興味を持てる情報を提供したい。
 出来れば、日本の仏教、すなはち、大乘仏教のあり方も考えていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1-2回 仏教とは何か、第3-4回 釈迦の伝記、第5-6回 インド仏教の歴史、第7-10回 各地の仏教、第11-15回 『般若心経』等仏教の文献に触れる、第16-20回 日本仏教を考える、第21-25回 各地の仏教との比較、第26-30回 大乘仏教についての批判的見解。

準備学習 特になし。
 履修上の留意点 特になし。
 成績評価の方法 出席状況、講義中の平常点、年度末の試験またはレポートにより、総合的に評価する。
 教科書／テキスト すべてコピーで配布する。
 参考書 適宜指示する。

履修コード	341801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	松本 史朗

講義の到達目標(ねらい) 本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容／授業スケジュール 講義は、内容は、次の通り。(1-2) 仏教以前のインド思想、(3-10) 釈尊と原始仏教、(11-25) 大乘經典の思想、(26-30) チベット・中国・日本の仏教
 成績評価の方法 年度末の試験によって、成績を評価する。
 教科書／テキスト 松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>よしづ よしので</small> 吉津 宜英

講義の到達目標(ねらい)

この科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきます。仏教など宗教に対して、みなさんはどんなイメージを抱き、どんな意見をお持ちでしょうか。すでに特定の宗教と信じている方もありましょう。これまで宗教に無関心な方や、宗教への批判者もありましょう。私は宗教に肯定的な人にも、否定的な方にも、まず宗教や仏教への正しい知識を得てもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在します。一神や多神を信ずる宗教があり、仏教のように神や神々を信仰するのではなく、仏の教えを中心とした宗教もあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教が社会の中でどのような機能を果たしているかを考えます。また宗教をめぐるいろいろな問題点を取り上げます。宗教は人間の幸福を実現する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人たちが出ています。宗教は個人的に何かを信じ、他の人に迷惑をかけなければ良いと思いますが、教団を形成すると他の宗教を批判したり、目的のためには手段を選ばない行動を取り、公共の福祉に反することもあります。講義の全体を通じて、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えることをねらいとします。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回目は自己紹介もかねて、この講義の目的、進め方、注意事項などを説明します。前期は仏教以外の諸宗教の概説を行います。宗教類型論(2,3回)、一神教の中でユダヤ・キリスト教(4,5,6回)、イスラーム(7,8回)、多神教系でゾロアスター教(9回)、バラモン・ヒンズー教(10,11,12)、儒教・道教(13,14回)、日本の神道(15回)の内容です。後期は仏教の概説から始めます。釈尊(釈迦、お釈迦様)の教えの時代的背景(1回)、釈尊の伝記と教え(2,3,4,5回)、大乘仏教(6,7,8回)、中国仏教(9,10回)、朝鮮仏教(11回)、日本仏教(12,13回)、宗教の問題点(14,15回)です。講義内容はこの順序に行いますが、時間数は延長、短縮のあることをご了解下さい。

準備学習

強制ではありませんが、世界の諸宗教が全体的に俯瞰できるような何かの資料に眼を通しておいていただければ幸いです。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意してください。講義内容を筆記すると共に、自分の意見や疑問を書きとめ、年間を通して受講と、それをめぐる思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、出席点を最優先します。前後期の初回到課題の提出を求めます。定期試験があります。それらを総合して、評価します。

教科書／テキスト

特に使用しません。参考資料としてプリントを配布します。

参考図書

講義中に適宜参考図書などを紹介します。

その他の

講義中であっても、挙手して質問したり、意見を述べて下さい。私語は厳禁です。講義の開始時間から30分経過していたら、自主的に教場に入らないで下さい。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬

講義の到達目標(ねらい) 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思えます。

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学の基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的な事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。

また、人間そのものも自然の一部といえるわけですから、人間そのものをどの様にとらえようとしてきたのか、仏教、キリスト教や伝統宗教などから事例を取り上げて紹介してゆきたいと考えています。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：この授業の進め方、第2～3回：アニミズム論について、第4～15回：人間の外なる自然。外なる自然と人間のつながりについて、山、太陽、月、海、等をテーマとして外から来るカミ概念について紹介。第16～27回：人間の内なる自然。人間という自然について、いのち、こころ、性、人格、等をテーマとして、仏教、キリスト教、伝統宗教から事例を紹介し、これに関連する宗教学上の概念を紹介する。第28～30回：再びアニミズム論について。

準 備 学 習

授業準備として次回授業で取り上げる内容について、関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。

成績評価の方法

原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当します)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書/テキスト
参 考 書

関連資料のコピーを配布します。原則として教科書は用いません。

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武

講義の到達目標(ねらい) 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域など、社会的・文化的な影響を帯びているものもある。さらに、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は、宗教集団の形成や変容など宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識(1～5)、カルト問題やメディアと宗教の関係(6～10)、宗教の関わる観光産業やイスラーム金融など経済と宗教の関係(11～15)を取り上げる。

後期は、宗教テロリズム、宗教ナショナリズム、国家神道と靖国神社問題(16～23)、世界の国々の政教関係、宗教と法律、宗教と教育、宗教と福祉など(23～30)、宗教と政治・行政との幅広い関わりをとりあげる。

履修上の留意点

レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法

前期レポート(夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書/テキスト
参 考 書

なし
授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい)	文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教をはじめとする諸宗教を取り上げて学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	おおむね下記のテーマに沿って進める予定である。 第1－2回：「文化」概念の捉え方、第3－4回：文化としての宗教、第5－7回：文化史研究における宗教の扱い、第8－10回：日本の近代化と神道、第11－15回：日本の近代化と仏教、第16－20回：日本の近代化とキリスト教、第21－23回：日本の近代化と新宗教、第24－25回：文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉、第26－28回：日本の近代化と文化・宗教教育、第29－30回：まとめと補説
成績評価の方法	年度末の試験に、出席状況、授業時に数回書いてもらう予定の小論文などを加味して総合的に評価する。
教科書／テキスト	使用しない。
参 考 書	授業の中で適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	角田 泰隆・池上 光洋

講義の到達目標(ねらい)	駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。
講義の内容／ 授業スケジュール	今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしていよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。 坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょ。この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。 半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。 1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得) 4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です) (道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)
履修上の留意点	実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。
成績評価の方法	出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。
教科書／テキスト	適宜、プリントにて配布します。
参 考 書	『坐禅—講本—』(更生社)2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

(1) 人文分野

履修コード	357001
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	内藤 ^{ないとう} 寿子 ^{ひさこ}

講義の到達目標(ねらい)

テーマ「他者に通じる文章について学ぶ」
 文章を書くことに対して、苦手意識や不安を抱いている人のための講座です。大学生活をおくるうえで基本となる、文章力や表現力を磨くことを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

自分の中に書く内容を探す方法を身につければ、簡単な言葉や知っている知識で、他者に通じる文章を書くことができますようになります。この授業では、書く内容を自分で見つけるトレーニングをし、みなさんが今持っている日本語力で、他者に通じる文章を書くことを目指します。

(1) オリエンテーション、(2～4) 読みやすい文章を書くための注意点、(5～7) 自己アピールの方法を学ぶ、(8～10) テーマの選択について学ぶ、(11～14) 内容の展開の方法について学ぶ、(15) まとめ。

なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。

履修上の留意点

ほぼ毎回、授業中に課題に取り組んでもらいます。講義と演習を組み合わせた授業形態になりますので、人数制限をする場合もあります。第1回目の授業時に履修許可証を渡しますので、受講希望者は必ず出席してください。なお、履修許可証がない場合は、WEB登録をしても、授業を受けられないので注意してください。

成績評価の方法

適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内課題（50％）、B：学期末の教場試験（50％）をあわせて、総合的に評価をします。

教科書／テキスト
参 考 書

指定なし。適宜プリントを配布します。
 適宜授業中に指示します。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマン・セミナー」ということになった。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていない試行錯誤の状況にあることを茲に前置きする。いわば、何をどう教え何をどう見出すかの相互に確認しながら進めていく授業と云うことになる。換言すればこの科目の一教員である私と複数の学生との共同(=嚮導)授業になろう。私なりにその堂塔の心柱(しんばしら)ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に尤も大切な教養を育む時間になればと思う。

そこで、高等教育で「何を学んだのか」、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会(専門科目に細分類)といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、受講なさる方々は大学人として本学の門をくぐってきている。その査定実態の分析は総合的に委員会を通じて実施されているが、この高度な分析結果がどのようなものとなっているのか、組織だって教員に伝達されているからこそこの科目の成立に結びついていると信じたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本語の基礎について [PDF版]
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い [PDF版]
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際 [PDF版]
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果 [PDF版]
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすーその1(手書きそして縦書き)
[PDF版]
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすーその2(手書きそして横書き)
[PDF版]
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすーその3(四種類の文字と融合)
[PDF版]
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4(漢語と和語) [PDF版]
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5(洋語と日本語) [PDF版]
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6(東アジア漢文文化圏のことば)
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題リポートの提出

準備学習

「講義の事前事後の取り組み」→「駒澤大学 e-Education: YeStudy」をご利用願います。ここに、関連する事柄を学習する場を用意しました。取り組む取り組みないは、貴方自身が決めることです。決めたならことんやり抜く強い意志を持ちましょう。覚えるのではなく身につけていくことにこそ言語文化修得の道が開けています。この資料に関する質疑応答は確実に行っていきます。是非ご参加ください。そして、参加される方は、必ず受信・送信の確実なご自分の携帯メールを登録しておきましょう。休みに学校の登録アドレスだけでは見落としたり、早急な取り組みがしにくいことがあります。

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう! また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

リポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自身が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書/テキスト

随時、講義の前後に報知します。

参考書 随時、講義の前後に報知します。
 その他 『Ye Study』による講義実習活動を実施！

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関連リンク <http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい) 読む力・書く力・考える力など、学生としてのみならず、将来の社会人として必要な基礎力を少しでも高めることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業では、日本の文字や諺などの慣用語（各2～3回）や、各種の文章作法などを学ぶとともに、日本の神話や和歌や物語（各2～3回）など古典への読解力と親近感を高めながら、その所感をレポートにまとめるなどによって前記の目標に一步でも近づきたい。

準備学習 古文や現代文にかかわらず、広く良く読み、その内容を考え要約するなど、日常生活の中での学習、トレーニングが大切であることを肝に銘じてほしい。

履修上の留意点 履修の目的を忘れずに、常日頃から平常心をもって学ぶようにしてほしい。特に、新聞や雑誌などに目を通すようにしてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）などに約6割、出席状況などに約4割の配分で評価する。

教科書／テキスト 授業ではプリントの配布をもって行う。

参考書 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい) ・この講座を通して、自分の言葉で積極的に表現するきっかけをつかむこと。
 ・クラス内の多様な学部学科の新入生と積極的にコミュニケーションをとること。

講義の内容／授業スケジュール テーマ：自己表現のためのレッスン
 自分の考えをわかりやすく発言する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために、大学での学びに必要な文章力、表現力を養う手助けをする。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。

準備学習 スケジュール（予定）：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括

履修上の留意点 授業時間内に書き終わらない場合には、続きは自宅で作業となる。
 受講生は、文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求されるので、履修の際にその点を留意すること。また、この授業の性格上少人数が望ましいので、人数制限をする場合もある。第1回目の授業時に履修許可証を渡すので、受講希望者は必ず最初から出席すること。なお、履修許可をもらわなかった場合は、WEB登録をしても単位を修得できないので注意すること。

成績評価の方法 毎回の授業時に課するコメント、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）、課題で60%、最後に提出するレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書／テキスト プリント教材。

参考書 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規
講義の到達目標(ねらい)	殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的に過ごしていただき、充実した学生生活を送っていただくために手助けする科目です。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また学習したことを適切にまとめたレポートや論文が要求されることがありますので、適切な日本語表現が必要となります。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるためには、適切な言葉の伝達(日本語表現)が大切です。本授業で日本語表現と自己表現が一体のものであるということを実感する機会にしてほしいものです。
講義の内容/ 授業スケジュール	上記の目的に従って、はじめに授業のガイダンスをして、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます(第1～3回)。またコミュニケーション論の一端として、言語の断絶による疎外状況を物語る「変身譚」を取り上げて、自己表現の大切さを学んでほしい(第4～8回)。更にレポートや小論文の書き方、作文に必要な技術や知識等について解説したい(第9～15回)。
準備学習	日常的にさまざまな種類の文章を読み要約する習慣や、自分の言葉で文章を書く習慣を実に付け、言葉による伝達の意義を自覚的に実践するように努めてほしい。
履修上の留意点	「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。日常目にする新聞などででてくる四字熟語や同音異義語や慣用表現などに関心をもってチェックする習慣を持ってほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポートの成績評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象にする。
教科書/テキスト 参 考 書	授業で配布するプリントを教材とする。 授業において必要に応じて紹介する。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 園部 幹生
講義の到達目標(ねらい)	大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また、将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	1ガイダンス。2～4大学と大学生活。5～8キャリアデザインとライフスタイル。9～13表現法とレポートの書き方。14レポート提出。15まとめ。 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。
準備学習 履修上の留意点	必要に応じてその都度指示する。 受講希望者が100名を超えた場合は抽選によって履修制限をするので、必ず初回の授業で担当教員の履修許可を受けること。履修許可を受けずにweb登録しても単位を修得することはできないので注意すること。
成績評価の方法	なお、本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。また、毎時限新聞記事のコピーをとってくることを求めるので、そのことを承知のうえで履修すること。 出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。
教科書/テキスト 参 考 書	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	いしわり 石割 透

講義の到達目標(ねらい)	日本でのジャズ受容、I(戦前篇)アメリカで誕生したジャズが日本に上陸するのは、ダンスホールが開設された大正後期。以後、演奏では楽器の使用、シンコペーションの多用、強烈なリズム、ハーモニーなどに多くの影響を与え、昭和に入れば、ジャズのスタンダードナンバーの歌が日本語で歌われ、独特の和製ジャズソングを生み出し、戦争に向かう時局を諷刺する歌まで登場するが、やがて1943年にジャズの演奏、レコード販売は中止されるに至る。この時間では、異文化に対する受容の形態を探る一つの試みとして、ジャズの移入が与えた影響を考えようとするものです。
講義の内容／授業スケジュール	1アメリカにおけるジャズ誕生の歴史・発展の簡単な説明(2)、2大正10年に始まる「ダンスホール」の開設(1)、3「私の青空」を中心とするジャズのヒット曲の誕生(2)、4和製ジャズソングの誕生と日本の文学テキストに現れるジャズ(2)、5「マダムと女房」などトーキー映画の誕生とジャズ(2)、6日系二世の女性の歌うジャズソング、和製ボーカルグループの誕生など(1)、7服部良一のブルース(1)、8日本の歌唱曲のジャズ化、ハワイアン音楽、南洋音楽などの導入(2)、9和製ジャズに見られる諷刺、ユーモアの精神、10和製ミュージカルのスタイルなど(2)
履修上の留意点	ジャズの20世紀における展開は、目くるめくほどに急激に変貌し、それはジャズを誕生させたアメリカにおけるアフリカ系アメリカ人のアメリカでの地位とも連動します。そして現在では、ジャズはあらゆる現代音楽に影響を与え、いろいろな音楽に流れ込み、ジャズというジャンルも消滅しつつあります。この時間では、所謂1930年代のスイングジャズ誕生、流行まで、それらが日本では如何に受け止められたかを検討します。それには、アメリカのジャズの展開を予め簡単に学習し、明治大正期の日本の歌謡の展開の歴史についての基本的な知識が必要とされます。授業の中でも説明しますが、それらについてできるだけ深い関心を持って授業に臨んでください。
成績評価の方法	出席状態を加味し、ジャズ受容や歌詞、映画の感想などについての、レポートを提出、それによって評価する。
教科書／テキスト	授業時に指示する。
参 考 書	授業時に指示する。
そ の 他	講義形式で授業を進め、CD、レコードを聴くことを多用し、幾つかの映画も見て、必要に応じてプリントなどを準備する。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	こばやし 小林 治

講義の到達目標(ねらい)	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ(第一作は1969年公開)とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』『故郷』『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。そのことはきっと、同時にフレッシュマンとして大学に入学したばかりの君たちが、今後、高度経済成長後の現代という時代に生きていく上で、どこにそのスタートラインを置くべきかを考える契機になることだろう。
講義の内容／授業スケジュール	上記の映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。
履修上の留意点	(1~2)山田洋次へ連なるところの時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜(3~5)戦後高度経済成長の概要・その光と影(6~7)『家族』の分析(8~9)『故郷』の分析(10~11)『同胞』の分析(12~13)『幸福の黄色いハンカチ』の分析(14~15)『遙かなる山の呼び声』の分析
成績評価の方法	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
教科書／テキスト	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
参 考 書	適宜プリントを配布する。 授業時に指示する。

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)	大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方など実務的な事項を確認しながら、＜読む／書く＞、＜話す／聞く＞の日本語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーション（ワークショップ）を体験する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 大学で何をするか (2-3) コミュニケーションとは何か (4-5) シアターゲームを体験する (6-7) キャリア意識と自己表現 (8-9) 「ケータイ」世代のコミュニケーション (10-11) 演劇を通して「社会と人間」の関係を考える (12-13) 論理的な思考と表現 (14-15) レポートの書き方
履修上の留意点	大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、毎回休まずに出席することを前提とする。遅刻の場合は出席と認めない。
成績評価の方法	前期定期試験期間中に論述式の筆記試験を行う。その点数が60%、出席状況と授業中の提出物等による平常点が40%として評価する。出席が2/3に満たない場合は単位を取得できない。
教科書／テキスト その他の他	指定しない。 初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。この授業は抽選科目ではないが、少人数制の指導を基本としているので、受講希望者が多い場合は初回の授業で「受講許可証」を発行して履修人数の制限を行う。この「受講許可証」を所持していない場合は、履修登録をしても単位を取得することはできない。なお、同じ時間帯の後期科目「日本文化基礎（松田）」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない（してもよい）。

履修コード	357811
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 陽子 <small>めあき ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要である。これらの基礎力を半期で段階的に身につけ、専門課程にスムーズに移行できる力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回【はじめに】オリエンテーション、自己紹介
- 第2回【聴く】情報収集（インタビュー）と他己紹介
- 第3回【書く】できる人のノート・テイキング法
- 第4回【読む】リーディングの基本スキル
- 第5回【読む】より深いリーディングのために
- 第6回【調べる】大学図書館における情報収集
- 第7回【調べる】インターネットによる情報収集
- 第8回【整理する】情報の整理
- 第9回【まとめる】アカデミック・ライティングの基本スキル
- 第10回【考える】効果的なアカデミック・ライティングのために
- 第11回【伝える】パソコンによるライティング・スキル
- 第12回【表現する】プレゼンテーションの基本スキル
- 第13回【表現する】わかりやすいプレゼンテーションのために
- 第14回【伝える】プレゼンテーションの実際
- 第15回【伝える】プレゼンテーションの実際

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定する。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になるので要注意。

なお、履修登録希望者が多い場合は、抽選となる可能性がある。その場合の発表は、Active Mail により、授業後一両日中に行うので、メールチェックを忘れずに。

受講を許可された人が、第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲るので、もし、事前連絡をする必要がある場合は下記までどうぞ。

連絡先：yuasa@komazawa-u.ac.jp

成績評価の方法

成績評価は出席点 (30)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30)、および提出された課題点 (40) の総合獲得点により行う。

教科書／テキスト

適宜指示する

参 考 書
そ の 他

適宜指示する

パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターするための自助努力を課す。総合情報センター自習室の PC には優れたタイピング練習ソフト (Type Quick) が入っている。第1回目の授業時にこのソフトの使用方法を聞いた後は、授業外の自習時間を作って練習に励むこと。

履修コード	168901
科目名	日本文化テーマ研究 A
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

人間の住む現実世界に対し、神や妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを読みながらその意義や背景などを考察していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

授業では、その代表的な『竹取物語』の後半を中心に読んだ後 (6~7回)、さらに『風土記』(2~3回) や『今昔物語集』(2回) やその他の関連する作品 (2回) を読みながら、その文化史的社会的意味あいを考察していきたい。

準 備 学 習

よく知られている物語であるが、事前に作品の内容を確認しておかれることが大切である。

履修上の留意点

漫然と授業に出るのではなく、目的意識と注意力をもってでほしい。作品が発するシグナルを的確にキャッチできるように努めてほしい。各自の感性を大切しながらよく味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法

折り折りの提出物や期末試験 (筆記またはレポート) に約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。

教科書／テキスト

授業はプリントの配布をもって行う。

参 考 書

必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	168911
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい)	人間の住む現実世界に対し、神や妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを読みながらその意義や背景などを考察していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	授業では、その代表的な『竹取物語』の後半を中心に読んだ後(6~7回)、さらに『風土記』(2~3回)や『今昔物語集』(2回)やその他の関連する作品(2回)を読みながら、その文化的社会的意味あいを考察していきたい。
準備学習	よく知られている物語であるが、事前に作品の内容を確認しておかれることが大切である。
履修上の留意点	漫然と授業に出るのではなく、目的意識と注意力をもってでてほしい。作品が発するシグナルを的確にキャッチできるように努めてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や期末試験(筆記またはレポート)に約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。
教科書／テキスト	授業はプリントの配布をもって行う。
参考書	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169001
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい)	奈良・平安時代の社会の底辺に生きた一般庶民は、日常の生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れたか等々、その思想や感情の一端にふれ、理解することを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	授業では、それらがよく描出されている『日本霊異記』や『今昔物語集』の説話をもとに、前半では観音・地藏・阿弥陀仏など現代人にも馴染みの深い諸仏信仰に関するもの(各2~3回)を読み、後半では、霊鬼や妖怪の話や古伝承(各2~3回)を読み進めながら上記の目標に迫っていく。
準備学習	教材の理解には丹念に繰り返し読むことが大切。特に授業後に繰り返し読むことと、集中力を持って対処することが肝要である。
履修上の留意点	説話は短く内容も単純であり、類話も多い。従って、教材だけでなく自主的に対象を広げていく努力が求められる。説話が発するメッセージを見逃さぬためにも、労を惜しまず丹念に読むという態度を養ってほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)に約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。
教科書／テキスト	授業にはプリントの配布をもって行う。
参考書	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	『とりかへばや物語』(抄出)を読みながら、古典文学に描かれる〈男〉らしさ、〈女〉らしさの表現についての認識を深める。また、物語の中の〈暴力〉や〈差別〉などの問題について自分の意見を持ち、自分の言葉で表現できるようになる。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：古典文学で考える〈男〉の生き方・〈女〉の生き方 『とりかへばや物語』の話の筋に沿って問題を提起しながら読み進み、解説していく。 スケジュール：(1)ガイダンス、(2)『とりかへばや物語』について、(3~7)〈異装〉の主人公たち、(8~10)物語世界における〈異境〉、(11~14)〈男〉／〈女〉らしさを考える、(15)総括 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
準備学習	後学期科目目なので、夏休み中に教科書の現代語訳の部分だけでも通読し、あらすじを理解しておくこと。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)60%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)40%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書／テキスト	ビギナーズ・クラシックス日本の古典『とりかへばや物語』角川ソフィア文庫、角川書店、743円
参考書	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169101
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)

日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。その伝承の中から「異類怪婚譚」をとりあげる。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・草木のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという不思議な物語である。こうした伝承は世界各地にも伝えられる世界大物語であり、原始の時代から現代までそれぞれの時代の思想や観念を反映して、さまざまな伝承の型を示す。その諸相を学ぶことで、民間伝承への関心を持ってほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

今年度も異類女房譚を考える。異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。本年も羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～15）。

準備学習

講義の事前・事後において昔話など口承文学への関心を高めるため、郷土の昔話あるいは伝説などを、どのようなものがあるか調査することは大切である。必ずしも地域に伝承がなくとも日本や世界各地の伝説などを事典類で調査しておくことは関心も高まる。

履修上の留意点

「風土記」逸文における羽衣伝説の古伝承や平安時代の伝奇物語『竹取物語』、室町時代物語草子（御伽草子）の『鶴の草子』などの物語の内容を理解する上で古文で作品を読解することが多いので、注釈書類で口語訳を確認して下さい。また異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらうレポートの評価80％に、出席点を20％に換算して加算対象にする。

教科書／テキスト

授業において配布するプリントを教材とする。

参考書

授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい)

日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割まで考察してみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10他の文献における受容。11～13実態と散佚に関する推定。14教場試験。15まとめ。

準備学習

必要に応じてその都度指示する。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求め、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書／テキスト

プリントを配布する。

参考書

必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169201
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい)	室町時代物語草子(御伽草子)群には「異類怪婚物語(人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語)」が多く存在する。古代の『風土記』等に登場する古伝承とは自ずから違った室町時代の思想的背景をもとに成立したものである。民間伝承に取材した怪婚譚であっても室町時代特有の創作性が認められる。こうした中世期の怪婚譚の文学的特質を考察してもらいたい。
講義の内容/ 授業スケジュール	室町時代物語草子の中から異類怪婚物語を取り上げて、中世期特有の思想背景を考察する。室町時代物語草子の怪婚譚の特質や文学的意義を解説(1・2)、異類怪婚物語として『浦島太郎』(3～6)・『本幡狐』(7・8)・『蛤の草子』(9・10)を取り上げて読解する。最後に全くの創作小説である『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう(11～15)。
準備学習	『日本文化テーマ研究C』では「空」を郷土とする天人女房伝説(羽衣伝説)系統を中心に考察してきたが、「テーマD」ではその他の「海」や「陸地」を郷土とする異類女房譚を取り上げるのでは非前期開講の「テーマC」を併せて受講していただくと幸いである。
履修上の留意点	室町時代物語草子のうち『浦島太郎』『本幡狐』『蛤の草子』『雁の草子』の4作品を読んで解説するが、古典作品あるから、あらかじめ注釈書で口語訳を目にしていなければならない。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポートの評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象とする。
教科書/テキスト 参 考 書	授業時にプリント教材を配布する。 授業において適宜紹介する。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	蘭部 幹生 <small>そのべ みきお</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。
講義の内容/ 授業スケジュール	1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 垂流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可)。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書/テキスト 参 考 書	プリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169301
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「メディアに描かれた子ども」
講義の内容／ 授業スケジュール	メディアに描かれた子どもの姿を読み解きながら、現代日本の諸問題について考えていきます。 講義では、様々なメディアを具体的に分析しながら、「現代日本における子どものあり方」(『児童虐待』をめぐるイメージ、「赤ちゃんの権利」など)について考えていきます。講義の目標は、受講者みなさんの問題として、「現代日本における子どものあり方」をとらえられるようになることです。 なお、最新のニュースを取り入れながら、講義をすすめます。その都度、進度や授業内容も調整していきます。
履修上の留意点	(1)オリエンテーション、(2～5)「児童虐待」をめぐるイメージ、(6～9)「こうのとりのゆりかご」から考える、(10～14)映画『私は二歳』から考える、(15)まとめ。 担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内レポート(50%)、B：学年末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト	指定なし。適宜プリントを配布します。
参考書	適宜授業中に指示します。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	小林 治

講義の到達目標(ねらい)	宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』広告文)へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にもみていく予定。 (1～3) 宮澤賢治の軌跡 (4～7)『なめとこ山の熊』の分析と読解 (8～11)『ポラーノの広場』の分析と読解 (12～15)『風の又三郎』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きい迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書／テキスト	宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫)1,000円
参考書	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	169401
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「メディアに描かれた女性／男性」 メディアに描かれた女性および男性の姿を読み解きながら、現代日本の諸問題について考えていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	さまざまなメディアを具体的に分析しながら、「現在の日本における女性のあり方／男性のあり方」(「性」をめぐる権利、「男女の関係性」の描かれ方など)について考えていきます。講義の目標は、受講者みなさんの問題として、「現在の日本における女性のあり方／男性のあり方」をとらえられるようになることです。 なお、最新のニュースを取り入れながら、講義をすすめます。その都度、進度や授業内容も調整していきます。
履修上の留意点	(1) オリエンテーション、(2～5) ドキュメンタリー映像のなかの女性／男性、(6～9) ドラマのなかの女性／男性、(10～14) 近現代日本における男女の関係史、(15) まとめ。 担当者の一方向的な講義にならないよう、(見る)〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内レポート(50%)、B：学年末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 適宜授業中に指示します。

履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	小林 治

講義の到達目標(ねらい)	異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年(1956年)、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風采坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマニズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマニズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	具体的には上記の深沢の作家としての特質を、『楳山節考』、『笛吹川』、『甲州子守歌』等の代表的作品の読解などによって明らかにしていきたい。
履修上の留意点	(1～3) 深沢七郎の軌跡 (4～7) 小説『楳山節考』の分析と読解 (8～11) 『楳山節考』原作と映画(二度の映画化)の比較考察 (12～15) 小説『笛吹川』、『甲州子守歌』の分析と読解 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書／テキスト 参 考 書	深沢七郎『楳山節考』(新潮文庫) その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	169501
科目名	日本文化テーマ研究G (夏季集中)
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義の到達目標(ねらい) 「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素(表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など)を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容／授業スケジュール (1) 基本講義：ワークショップとは何か？ (2-3) 講義：心と体はつながっている (4-6) 実技：シアターゲーム (7-9) 実技：インプロの練習 (10-12) 実技：インプロのグループ発表 (13-15) まとめとレポート試験

履修上の留意点 集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができる服装(靴はスニーカーなど)で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法 授業への参加状況による評価が60%、「インプロ」のグループ発表の結果が20%、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が20%として算出する。

教科書／テキスト 指定しない。

参 考 書 絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円

そ の 他 授業日程：8月2日の3～5限と、8月3日～8月5日のそれぞれ2～5限、合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限(台風による休講等があれば、予備日に発表・レポート試験を行うことになる)。

履修コード	169601
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義の到達目標(ねらい) 講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言われるほど、近代という時代の「ものの見かた」と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。

講義の内容／授業スケジュール (1-2) 映画とは何か (3-4) 映画の技術と歴史 (5-7) 映画の文法 (8-10) 映画の記号論 (11-13) 映画の中の日本 (14-15) シナリオの構造

履修上の留意点 実際に映像作品を授業で見ていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法 出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が50%、定期試験期間中に行う筆記試験が50%として算出する。

教科書／テキスト ジェイムズ・モナコ『映画の教科書ーどのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とする。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい)	奈良・平安朝の古典文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを広く探って行くことをテーマとしたい。
講義の内容／授業スケジュール	授業では、『古事記』や『万葉集』や『風土記』、さらに『竹取物語』や説話集などを対象として、前半は、古代人の物に対する見方や考え方たる『呪物信仰』の視点から5～6回に渡って見ていく。後半は、言葉に対する思想として「言霊（ことだま）信仰」の面から5～6回に渡って見ていきたい。物と言葉の両面から古代人の心性や思想に迫っていく。
準備学習	古代人の心性に迫るには、まず現代人としての先入観を捨てることが大切。それと同時に単純・素朴な感性をもって日常の中に古代人の痕跡を探して見るのが大切である。
履修上の留意点	現代は古代の延長線上にある。従って、現代人の中や日常の中に古代人の面影が随所に残っているはずである。まず、それらを探するなどしながら、古代人への関心と親しみの気持ちを持って接するようこころがけることが望ましい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）に約6割、出席状況などに約4割の配分で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業ではプリントの配布をもって行う。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読み取りながら現代につながる生き方の問題について理解する。あわせて古典文学のおもしろさを味わい、現代の私たちが古典を読み継いでゆくことの意味を確認する。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：古典文学に見る〈家族〉 家族関係、特に親子関係に着目して、古典文学を読む。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、夫婦の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなどについて、古典作品の一節を読みながら解説する。講義では古文（原文）を読むが、現代語訳を用意する。 スケジュール：(1) ガイダンス、(2～4) 古代前期の家族・『古事記』『万葉集』を中心に、(5～8) 平安時代の貴族の家族・『蜻蛉日記』『源氏物語』を中心に、(9～13) 説話の世界に見る家族像の変遷・『日本霊異記』『沙石集』を中心に、(14) 家族の問題を考える・古代から現代へ、(15) 総括
準備学習	予め配布するプリントに目を通しておくとよい。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）60%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）40%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書／テキスト 参 考 書	プリント教材。 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>さかぐち ひろみ</small> 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)	日本文化を伝統的な日本人の美的精神・美意識というものから考察する。即ち、日本人はかつてどのようなことに感動し、またその感動をどのように表現してきたかを考える。古典文学に表された美的感動表現の歴史的展開を概観して、日本文化の諸相に対する関心を深める機会となれば幸いである。
講義の内容／ 授業スケジュール	日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。第1回：ガイダンス・日本文学のジャンル発生、第2～4回：古代前期の文学とその美意識、第5～8回：古代後期の文学とその美意識、第9～11回：中世の文学とその美意識、第12～15回：近世の文学とその美意識。
準備学習	半期の授業の限られた時間の中で古典文学に見る美的精神について網羅的に概観することは難しいので、美意識成立の背景となるそれぞれの時代の歴史を事前に確認していただければ幸いである。
履修上の留意点	日本文学における美的精神を理解する上では、それぞれの時代背景の理解が大切であり、また古典文学史の理解が必要ですので、高校で使用した文学史のテキストなどを目にしてほしい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	最終日に提出してもらってレポート評価（80％）に出席点（20％）を加えて評価する。 必要に応じて適宜プリントを配布する。 授業内で紹介する。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>そのべ みさお</small> 蘭部 幹生

講義の到達目標(ねらい)	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト 参考書	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義の到達目標(ねらい) ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進入と共に、日本で確固たる芸術として、アフリカ系アメリカ人の生んだ文化として、その発生の歴史が認識され、文学者などにも影響を与えてきた。この時間は、そうしたジャズの、敗戦から安保条約、新安保条約下での日本でのジャズ受容の展開を検討し、戦後の文化の一端を考察しようとするものです。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 敗戦と駐留軍クラブにおけるジャズ (1)、2 東京ブギウギの流行など笠置シズ子の活躍を中心に (2) 3 サンフランシスコ講和条約後の、ジャズと呼ばれた日本のポピュラー音楽 (2)
- 4 ジャズショウとミュージカル映画 (2)、5 ジャズ喫茶文化について (2)、6 日活アクション映画、「嵐を呼ぶ男」を中心に (2)、7 シネ・ジャズについて (2)、8 大江健三郎「飼育」松本清張「黒地の絵」などをめぐって (2)、9 ビートゼネレーションの文学の移入 (2)、10 「真夏の夜のジャズ」など (2)、11 61年正月のアートブレイキーの来日公演 (1)、12 朗読詩 (1) できれば、以後の倉橋、中上、村上などの文学に与えた影響も考えていきたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

アメリカのジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。
マイク・モラスキイ「戦後日本のジャズ文化」(青土社)、倉田善弘「日本レコード文化史」(岩波書店)など。授業時に指示する。
映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい) 宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばまわってきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはなつてくるのである。

講義の内容／授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。
(1~3) 宮澤賢治の軌跡 (4~6) 『シグナルとシグナレス』の分析と読解 (7~9) 『氷河鼠の毛皮』の分析と読解 (10~12) 『どんぐりと山猫』の分析と読解 (13~15) 『水仙月の四日』の分析と読解

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円
その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	まつだ なおのり 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POP への道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合という観点から見た近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容／授業スケジュール	(1-2) 基本の楽理 (3-4) 明治における西洋音楽の移入 (5-6) 浅草オペラとモダニズム (7-8) 流行歌の誕生 (9-10) 戦後の歌謡曲 (11-13) ビートルズとロックの時代 (14-15) 歌謡曲から J-POP へ
準備学習 履修上の留意点	音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力が必要となる。受動的に講義を聴くだけに終わらないようにするため、数名ずつのグループを編成し、各自の音楽体験に基づく感じ方の違いなどを比較する意見交換をした上で、自らの考えを深める「ワークショップ形式」で進める。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。遅刻の場合は出席と認めない。
成績評価の方法	定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を60%、出席状況と授業での提出物による評価を40%として採点する。
教科書／テキスト 参考書	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書

履修コード	358601
科目名	日本文化基礎
担当者名	ないどう けいこ 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「食文化を考える」 食文化を窓口に、現代日本の諸問題について考えていきます。また、「食」について表現する文章力も磨いていきます。
講義の内容／授業スケジュール	日本が経済大国としての地位を確立した1980年代から、徐々に日本の食文化は変わってきました。たとえば、現在、東京では世界のあらゆる国の食文化を体験することができますが、このような豊かさを支えるものは、いったい何なのでしょう。講義では、「食」をめぐるメディアを題材に現代日本をとらえなおしていきます。 (1) オリエンテーション、(2～4) 私たちの食の生い立ちを探る、(5～7)「おふくろの味」について考える、(8～10)「料理本」について考える、(11～14)「料理番組」について考える、(15) まとめ。
履修上の留意点	なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。
成績評価の方法	講義と演習を組み合わせた授業形態になります。文章力や表現力を磨くことも目的としますので、授業中に〈書く〉という作業を頻繁におこなってもらいます。 適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内課題（50%）、B：学期末の教場試験（50%）をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参考書	指定なし。適宜プリントを配布します。 適宜授業中に指示します。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理念を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化(仏教聲明・平曲・謡曲)と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容／授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明—しつらい—
 02の講義内容 年中行事・お月見—日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
 03の講義内容 寺子屋に学ぶ—日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際—
 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
 その研究領域の一般活用と手続き
 (中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)
 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)
 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)
 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)
 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)
 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)
 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本)
 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)
 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(イスラエルと日本)
 15の講義内容 期末課題リポートの提出

準備学習

日本語文化のキーワード…「しつらい」「年中行事」「往来物」「寺子屋」「世界地図」「風土」といったことばの重みを学んでおこう。

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう!また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にリポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書／テキスト

随時、講義の前後にて報知します。

参考書

随時、講義の前後にて報知します。

その他

*YeStudy、による講義実習活動を実施! 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関連リンク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力(情報利活用力)は、社会人としての必須能力である。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れ―「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」―の5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指す。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしている。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 授業の進め方: 「YeStudy」コース登録方法と課題提出の仕方、KT2000、Type Quick について
- 第2回 情報表現力とは 《確認小テスト》
- 第3回 文章表現力1-1(前半)《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2(後半)《課題1-2、確認小テスト》KT2000
- 第5回 Drill-1
- 第6回 文章表現力2《課題2-1&2-2、確認小テスト》KT2000
- 第7回 文章表現力3《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書《課題5-1&5-2、確認小テスト》KT2000
- 第9回 その他の文書《課題5-3、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2
- 第11回 ビジュアル表現力1《課題8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》KT2000
- 第12回 ビジュアル表現力2《課題10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill-3
- 第14回～15回 まとめ、KT2000

履修上の留意点

各回とも、提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなるので、早めの対応が必要である。

前期中に Web 履修登録を行っておく必要がある。

後期第1回目の授業で、指示された教場にて授業の進め方の説明を受け、その後は、常に「YeStudy」に入って当該授業日の指示を事前に確認しながら、ある程度自己管理の下に課題をこなしていく授業形態である。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

課題が多く出るので、課題提出締切日に注意していただきたい。

課題(40)、確認小テスト(30)、Drill(30)の総合得点により評価する。

noa 出版 『伝える力がつければ変わる!情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ¥1,766

課題作成に際しては、使用するアプリケーションソフト(Word、Excel および PowerPoint)の入っているパソコンが必要である。ソフトの使い方が分からない場合は、授業時に自分から質問するか、書店に並んでいる操作説明書を参考に自己解決すること。

そ の 他

この授業は E-education「YeStudy」を使用して行う。後期最初の授業に「登録キー」を伝えるので、欠席すると受講の仕方が分からなくなるので注意すること。

スポーツも芸ごととも「基本が大切」とは、よく言われること。PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事である。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」である。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力为中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものである。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってほしい。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	秋原 義雄

講義の到達目標(わらい)

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

★駒澤大学 e-Education : YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入って次に「実務表現 (秋原)」にアクセスします。ここに休暇中における課題提出ができるようにしてありますので御利用願います。

講義の内容/
授業スケジュール

0、「デジタル・ブックA」1、「デジタル・ブックB」の機能を知る。製作を実際担当した特別ゲスト講師をお呼びして、その機能性と将来性について、皆様方にも実際体験学習をしていただくことでその実感を学んでいただきます。

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
「デジタル・ブック」の機能を知る。製作を実際担当した岡ベラさん (CSE 社長) を特別ゲスト講師をお呼びして、その機能性と将来性について、皆様方にも実際体験学習をしていただくことでその実感を学んでいただきます。

世界情報のキャッチと日本一「テレビジョン・ラジオ番組」の動向と未来

2008年、私はイタリアのローマ・ミラノ・ウルビノに約16日間滞在し、ここで四月から開始する講義資料の構想と展開をどう進めて行くのか日々練ってきました。

こうしたなかで、イタリア PC 情報プログラムの世界で画期的な動きを見せている PC 世界各国のラジオ&テレビ放送番組を皆さんにまず紹介していきましょう。

同じ地球上で人々が今何を考え、何を求めてどのような活動しようとしているのか、しているのかを知ること、どの分野であっても上に立つ指導者として最も身につけておきたい大切な洞察能力ではないでしょうか？

報道は常に自由でなくてはならないという精神もときには腹立ち怒るものであれば人の愚かさを露呈するにすぎません。常に沈静清浄な心身で見ることが忘れてはなりません。

また、世界言語を学び、異国で活動する能力を身につけるにも最高の学習の場をここでは実にリアル・タイムで提供していると私は考えています。

さらに、言語の分野を「自然」「文化」「社会」の三基軸に分類して、個々の己自身が探求したい分野ごとの世界を幾つか選択して、且つ比較しながら進めて行くことも此処では可能でしょう。

その結果、一歩眺める視線を変えることが可能でしょう。芸術・文化活動の企画書・報告書のまとめにもきっと大いに役立つでしょう。

前置きはこのくらいにして実際のこの扱いサイトを見ていくことにしましょう。まず下記のサイトに入りましょう！

<http://www.guardatv.it/country/18>

では、始めていきましょうか。

02の講義内容「D-BOOK」に寄せて

話すこと書くこと… 「D-BOOK (デジタル・ブック)」の世界ようこそ！。先回、講義概要に換えて「D-BOOK」について直接イタリア国の私の友人でもある一人のアーティスト Lisa Sotilis さんの一代物語を今年三月「D-BOOK」に編集された岡ベラさんに直接皆さん方に話しかけて貰いました。いかがでしたか？本日は、そのとき貴方が本当に何を思い何を感じたのか、そのあるがままを文章にして表現してみてください。岡さんはこのお話しはなかで、皆さんに一つのテーマ課題をプレゼントしていただきました。それは「人を感動させること」……。

具体的には「小説・随筆集・詩集・名言集・写真集・画集・雑誌・写真集・絵本……」などという作品素材から今後貴方自身が見つけ出す作業が待っています。

また、先回出席できなかった方につきましては、駒澤大学 e-Education : YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入ってください、次に「実務表現 (秋原)」にアクセスしてその内容をご確認願います。

03の講義内容 ○で創る絵本 [PPT 版]

04の講義内容 ●で創る絵本 —その2「実践編」フォーラム —

05の講義内容 ●で創る絵本 —その3「実践編」フォーラム —

07の講義内容 ●で創る絵本 —その4「実践編」フォーラム —

08の講義内容 異文化そして価値観「●で創る絵本」集の公開 —その5「応用編」—

09の講義内容 感動を形にする (音楽編②) 駒澤大学 e-Education : YeStudy
—音楽をことばで表現する&色彩の効果について—

10の講義内容 もし私が絵本作家だったら 駒澤大学 e-Education : YeStudy

11の講義内容 日本語のリズム 駒澤大学 e-Education : YeStudy

12の講義内容 世界をも変える映画の力—その1喜劇王チャーリー・チャップリン編— [PDF 版]

13の講義内容 映画は総合芸術である—その2喜劇王チャーリー・チャップリン編— [PDF 版]

14の講義内容 お話を学ぶ・語る・伝える「忘れられない贈り物」 [PDF 版]

- 15の講義内容 日本の伝統芸能 その1 (能・狂言)
 16の講義内容 日本の伝統芸能 その2 (歌舞伎)
 17の講義内容 本を出版するための準備 「本のタイトルを命名する方法」PDF版
 各自、制作しようとする本のタイトルを提出します。
 ジャンル別にグループ分けをし、グループによるディスカッションを実施。
 18の講義内容 製作の段階にしたがった作業過程について
 手書き文字は、どうすれば巧く書けるようになるのか? PDF版
 19の講義内容 「レイアウトの基本」の継続と応用理論
 20の講義内容 「レイアウトの基本」の継続と応用理論—本の表紙をデザインしましょう—
 パワーポイントの使用方法〔基本編〕PDF文書
 21の講義内容 本文の体裁及び編集—その1 作品を作る上でのアイデア ファイル—
 22の講義内容 本文の体裁及び編集—その2 ストーリー作りについて ファイル —
 23の講義内容 本文の体裁及び編集—その3 ファイル —
 24の講義内容 本文の体裁及び編集—その4 ファイル —
 25の講義内容 提出作品の公開セレモニーA D-BOOK 版
 26の講義内容 提出作品の公開セレモニーB D-BOOK 版
 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。

準備学習

★駒澤大学 e-Education : YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入って次に「実務表現 (萩原)」にアクセスします。ここに休暇中における課題提出ができるようにしてありますので御利用願います。

履修上の留意点

※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がり度合いを許に評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書/テキスト
その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi/> を使用する。

YeStudy による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料は HP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関連リンク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(ねらい)

社会では、若者のコミュニケーション能力不足が問題視されて久しい。文明の利器がいくら発達しようとも、人間同士の肝心なコミュニケーションは相変わらず「Face to Face」であり、就職に際しての若者のコミュニケーション能力への企業の期待は高まるばかりである。

一方、スピード時代の現在、何ごとも電話などで済ますことができるが、最終的には文書化して、記録・証拠とすることが通例である。「話す」コミュニケーションと共に、「書く」コミュニケーションも、相変わらず必要とされる所以である。

ビジネス文書の役割は、情報の「伝達」と「保存」である。その目的は、「事実を記録すること」「相手に行動を起こさせること」「情報を提供すること」「好意を伝えること」といえる。

また、コンピュータ機器の普及により、電子メールやインターネットなどのディスプレイ上での文書も今後ますます増大していくであろう。これらのOA機器を通しての文書作成は、操作技能とマナーを十分に知ることはもとより、ヒューマンタッチを忘れないことが大切である。

この授業を通して、話すコミュニケーション、書くコミュニケーション双方の能力の基礎を再確認し、自分に不足しているものを自分で気づくことにより、自分自身でそれを補う努力をしてほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 コミュニケーション上手になるために
- 第3回 「～になる」(自分の世界を広げてみよう)
- 第4回 自分を知る
- 第5回 聞く技術(話し上手は聞き上手)
- 第6回 伝える技術
- 第7回 場面別にプレゼンテーションを設計する
- 第8回 面接のコミュニケーション
- 第9回 接客のコミュニケーション
- 第10回 心理学を活かしたコミュニケーション
- 第11回 プレゼンテーション実習(1)
- 第12回 プレゼンテーション実習(2)
- 第13回 プレゼンテーション実習(3)
- 第14回 ビジネス文書はなぜ必要か
- 第15回 文書の基礎知識(1)
- 第16回 文書の基礎知識(2)
- 第17回 ビジネス文書(1) ビジネス文書の種類と特徴、作成上の注意点、メール文書作成上の注意点
- 第18回 ビジネス文書(2) 社外文書の書き方・演習
- 第19回 ビジネス文書(3) 社外文書の書き方・演習
- 第20回 ビジネス文書(4) 社外文書の書き方・演習
- 第21回 一般文書(1) 横書きと縦書きの構成、改まった文書の書き方
- 第22回 一般文書(2) 手紙の常識、便箋の書き方・演習
- 第23回 一般文書(3) ハガキの書き方・演習、封筒の書き方・演習
- 第24回 ことばの常識(敬語表現の常識、尊敬語・謙譲語・演習)
- 第25回 文書表現関連知識(見やすい文書の工夫、レイアウトやグラフの使用)
- 第26回以降 まとめ

準備学習

YeStudyを利用して授業当日の詳細や教材提示、課題提出等を行うため、自宅のPCがインターネット接続してあることが望ましい。その環境ができていない場合は、頻りに総合情報センター自習室を利用し、指示を確認する必要がある。

また、Microsoft Power Pointを使用してプレゼンテーションの作成実習や、ビジネス文書作成を行うため、PCでの文字入力に困らぬよう、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための自助努力を課す。

履修上の留意点

特に後期の「ビジネス文書」作成には、「KT2000テスト(英字)」で10分間に1,200文字以上のレベルが必要となるため、前期中に要求レベルに達するよう、授業外での練習に励むこと。

この授業はPCを一人1台確保するために、人数制限を行う。第1回目のオリエンテーション時に、履修登録許可者を決定し、その場で当科目のYeStudyコース登録を済ませた者のみとする。

Web履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になる。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものとみなす。(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

出席点(40)、合計3回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(20)、および「話す」「書く」の提出課題点(40)の合計点により評価する。

教科書/テキスト

適宜指示する。

参 考 書 適宜指示する。
 そ の 他 課題作成に際しては要求される入力レベルに達するよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト（Type Quick）でタッチタイピングのレベルアップに励むこと。

履修コード	169701
科目名	日本文化研究ⅠA
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい) 約4500首もの和歌を収めるわが国最古の歌集である『万葉集』の中から、特に異色の作風で知られる山上憶良の作品を読みながら、その人間像や思想を探求することを目的とした。一人の人物に焦点を当てながら、同時に柿本人麻呂など他の歌人との比較を試みつつ、憶良という古代の巨人の生きざまを見ていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 憶良を理解するには、その全作品を精読することが第一。それとあわせ、時代や社会などその背景も視野に入れる必要がある。授業では、全77首の和歌のほか、漢詩や散文なども含めて、創作年代順に1年間を通して読んでいく。それとともに、和歌史上における憶良の位置なども考えていきたい。

準備学習履修上の留意点 授業に先立って、予め作品に目を通しておくなど、予習した上で授業に出られる事が大切である。古典文学を理解するには労を惜まず、何度も繰り返し読むことが肝要である。味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）などに約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。

教科書／テキスト 土橋 寛編「作者別万葉集」（おうふう刊） 定価1,800円。
 参 考 書 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	171101
科目名	日本文化研究ⅠA
担当者名	坂口 博規

講義の到達目標(ねらい) 平安末期から鎌倉時代にかけて生きた一女性の和歌集をもとに、当時の女性の人生観である「契り（＝前世からの約束事）」という宿世の認識を考察してもらおう。平家全盛の時代、平清盛の娘建礼門院徳子に仕えた「右京大夫」と呼ばれた女房の個人歌集を通して、作品中に語られた二人の男性との恋愛交渉を中心に、作品を講読する。平安時代の一夫多妻の不安定な女性の生き方を通して、「契り」という宿命観を考察してほしい。

講義の内容／授業スケジュール 最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し、特に日記文学に見る女性の自己観照のあり方を考えてもらい（第1～3回）、作者の閨歴や周辺人物の紹介（第4～6回）、以後前期において高倉天皇中宮徳子の宮廷で女房生活や、平資盛との出会いを中心に作品を読み（第7～15）、後期は似絵（肖像画）の名手で歌人の藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩する姿に「契り」の体験を考えてもらい（第16～20回）、やがて資盛との愛が再燃しても満たされぬ思いをするうちに、資盛が平家一門と共に都落ちや西海流浪の果て壇の浦で入水して死ぬという悲運に翻弄される姿や（第21～26回）、大原に徳子を訪問したり、後に後鳥羽天皇の宮廷に再出仕する後半生などを読解する（第27～30回）。

準備学習履修上の留意点 通年で作品の内容を紹介するために古文読解をしてゆくので、授業の事前・事後いずれかにおいて、注釈書により口語訳を目にするなど作品内容の確認をしてほしい。

成績評価の方法 生涯結婚することなく平資盛の菩提を弔う生活を選択した作者の、「契り（＝前世からの約束事）」という宿命に殉じて行く生き方を通して、この時代の女性の人生観を考察してほしい。

教科書／テキスト 本位田重美編『校注建礼門院右京大夫集』（武蔵野書院）735円
 参 考 書 授業時に適宜紹介する。

履修コード	171201
科目名	日本文化研究ⅠA
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	代表的な歌物語である『伊勢物語』と『大和物語』を読みながら、歌物語の本質について理解する。あわせて『伊勢物語絵巻』など絵画資料についても触れるので、古典作品がどのように享受されてきたか理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール	テーマ：歌物語を楽しむ スケジュール：(1) ガイダンス、(2～3)「一代記」の始まり・伊勢初段、(4～6) 大和161段と伊勢3、76段、(7～11) 伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段(12～14) 伊勢6段・12段と大和155段、(15) 前期総括、(16～19) 伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20～21) 伊勢63段と大和156段、(22～24) 伊勢40段と大和64段、(25～27) 伊勢65段、69段と源氏物語、(28～29) 業平の終焉・伊勢124、125段と大和158段、(30) 総括
準備学習	授業では古文(原文)を読むが、予習用に現代語訳等のプリントを用意するので、予め目を通しておくとよい。
履修上の留意点 成績評価の方法	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。 前期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)30%、後期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)30%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書／テキスト 参考書	徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』(和泉書院)、その他プリント教材。 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究ⅠA
担当者名	菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい)	日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6～12 宇治拾遺物語の特徵と問題。13～23 編者論。24～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト 参考書	中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫 『駒澤国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	170201
科目名	日本文化研究 I B
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義の到達目標(ねらい) 1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。
主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・江戸川乱歩ら——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。

講義の内容／授業スケジュール 1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」(3) 2、芥川龍之介「芋粥」(4) 3、谷崎潤一郎「小さな王国」(3) 4、江戸川乱歩「人間椅子」(4) 5、志賀直哉「焚火」(3)、6、谷崎潤一郎「春琴抄」(4) 7、芥川龍之介「秋」(3) 8、江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」「D坂の殺人事件」など(3)

履修上の留意点 授業に際して、各々の作品を前もって充分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法教科書／テキスト 年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。
特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」(ちくま文庫)、志賀直哉「小僧の神様」(新潮文庫)など。

参 考 書 年表の会編『近代文学年表(双文社出版)、他は授業時に指示する。
そ の 他 講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

履修コード	175501
科目名	日本文化研究 I B
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい) 現代文学の作家と映画の関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げ、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についても、ネオリアリズム、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。

講義の内容／授業スケジュール 代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。
(1～3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4～6) 安部公房の映画製作について (7～9) ネオリアリズムとの関わり (10～12) シュールレアリズムとの関わり (13～15) 映画『おとし穴』について (16～18) 映画『砂の女』について (19～21) 映画『他人の顔』について (22～24) SF的方法と小説『第四間氷期』について (25～26) SFの歴史 (27～30) SF文学と映画の比較

履修上の留意点 授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法教科書／テキスト 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。
安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 476円
その他、適宜プリントを配布する。

参 考 書 授業時に指示する。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究ⅠB
担当者名	まつだ なおみ 松田 直行
講義の到達目標(ねらい)	始原から現代に至るまでの日本の芸能史を概観し、ジャンルの枠を超えた発想から日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を考える。視覚教材を用いて様々な芸能を見ながら、そこから単に知識を得るだけではなく、広い視野から文化事象に対して自らの見識を持つことができるようになることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1-3) 芸能とは何か (4-6) コンテンポラリー・ダンス (7-9) 大道芸と見世物 (10-12) 異界との交流 (13-15) 能・歌舞伎・文楽 (16-19) 相撲の歴史と芸能史 (20-22) 落語と漫才 (23-25) 近代の音楽劇：浅草オペラと宝塚 (26-28) 現代演劇を見る
履修上の留意点	受動的に講義を聴くだけに終わらないようにするため、自分の感じ方・考え方を書いて提出していただき、翌週はそれに対するコメントを元にして授業を進める双方向のコミュニケーションを基本として授業を進める。また数名ずつのグループを編成して意見を交換するワークショップ形式を進める場合もある。基本的に毎回きちんと出席することを前提とし、2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさない。
成績評価の方法	前期・後期それぞれの最終授業日に論述式の授業内試験を行う。前期試験の点数が30%、後期試験の点数が40%、出席状況と授業での提出物による評価が30%として配分し評価する。
教科書／テキスト その他	指定しない。 この授業で扱う内容の専門性を深め、少人数によるワークショップ形式を取り入れた「日本文化研究ⅠB(松田)」も開講している。希望者はまずIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。

履修コード	215731
科目名	日本文化研究ⅠB
担当者名	ないどう ひさこ 内藤 寿子
講義の到達目標(ねらい)	テーマ「戦後日本の絵本文化」 日本の絵本文化について、具体的に作品を分析しながら学び、個々の作品の意義を考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	児童文学をとりまく日本の現状は複雑です。子どもの活字離れはつねに問題とされていますが、その一方で、「ハリーポッター・シリーズ」をはじめ、空前の売れ行きをみせる活字メディアも登場しています。また、「読みきかせ」がコミュニケーションの手段として注目されるなど、現在、児童文学を「読む」という行為は多様化しています。このような現状からは、児童文学というジャンルの特徴だけでなく、現在の子どもたちが直面している諸問題も浮かびあがってくるはずですが、講義では、「現在」を意識しながら歴史をふりかえり、日本社会における児童文学(絵本)の位置を考えていきます。 (1) オリエンテーション、(2～7) 日本における絵本文化の特徴(『ぐりとぐら』ほか)、(8～13) 物質としての絵本の特徴(『はらぺこあおむし』ほか)、(14～19) 絵本の分類について考える、(20～25) 絵本と「タブー」、(26～29) 専門出版社が果たす役割(福音館書店ほか)、(30) まとめ。
履修上の留意点	担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内レポート(50%)、B：前期末のレポート(25%)、C：学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 鳥越信編『はじめて学ぶ日本児童文学史』(ミネルヴァ書房 2001年) 鳥越信編『はじめて学ぶ日本の絵本史 1～3』(ミネルヴァ書房 2002年) このほか、授業中にも指示します。

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究 I
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>プレゼンテーションとは、そのための立案・企画を含めた発表・説明行為である。情報を相手に正確に伝え、納得させること、宣伝 (PR) 活動を意味することもあり、プレゼンという略称もよく耳にするようになった。</p> <p>本講義では、視覚情報 (ビジュアル) プレゼンテーションに的を絞り、効果的な作成技法を学び、授業の総まとめとして、各人が、テーマに沿ったプレゼン発表を行う。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1～2) タッチタイピングの重要性、プレゼンテーションの基本</p> <p>3～4) プレゼンテーションの作成</p> <p>5～6) 訴求力のあるスライド作成の基本</p> <p>7～8) 訴求力のあるスライドの作成</p> <p>9～10) 紙面デザインの基本</p> <p>11～12) ポスター・ちらしの作成</p> <p>13～14) カタログ冊子の作成</p> <p>15) 予備日</p> <p>16～17) オートデモの作成</p> <p>18～19) Web ページの作成</p> <p>20～21) フォトアルバムの作成</p> <p>22～23) PDF ファイルの作成</p> <p>24～30) まとめ (個別のプレゼン作成と発表)</p>
履修上の留意点	<p>第 1 回目の授業時に、履修登録許可者を決定する。たとえ Web 履修登録を授業前に行っているも、第 1 回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になる。</p> <p>なお、履修登録を許可された学生が第 2 回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲るので、事前連絡をする必要性がある場合は、下記までどうぞ。</p>
成績評価の方法	<p>連絡先：yuasa@komazawa-u.ac.jp</p> <p>出席点 (20)、授業内で何回か計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30)、および提出された課題点 (50) により行う。</p>
教科書／テキスト	<p>富士通エフ・オー・エム株式会社 『よくわかる Power Point 2007ビジネス活用編』 FOM 出版 ¥2,415 ISBN978-4-89311-716-8</p>
そ の 他	<p>タッチタイピング (手元を見ないで入力する方法) をマスターするため、自習室の PC にインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励むこと。</p>

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究Ⅰ
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを受講者各で認識していただきます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
- 03の講義内容 文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語學資料へ
「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たるにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 —『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」 PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習字 PDF版
かなについて 貴族階級とことば教育 佛教界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版
カタカナ文献資料について
—『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一〇〇六年寫—
漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版
—『今昔物語集』(京都大学附属図書館藏国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版
—鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連続連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版
—徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字—
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる疊字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化について PDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
冬季課題の提出

準備学習

手書きの文章に目を向けよう。活字文字の文章とは異なった自筆原稿の有効性をあなた自身で確かめておきたい。「感じる漢字」があなたの言語文化の歴史意識を引き出していく。

履修上の留意点

※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書/テキスト

紀田順一郎著『日本の書物』[勉誠出版、3000円(税別)]

参 考 書

インターネット公開型テキスト「国語史」[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(空間書院)3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6

そ の 他

^Y e s t u d y、による講義実習活動を実施! 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関 連 リ ン ク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	<small>しおざき まりこ</small> 塩崎 真理子

講義の到達目標(ねらい)

『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして周辺文学の『伊勢物語』『今昔物語集』『源氏物語』、その後の時代の文学作品などと比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。

講義の内容 / 授業スケジュール

- 1) ガイダンス
- 2) 『大和物語』とは
- 3) 生田川伝説
- 4) 蘆刈伝説
- 5) 采女入水譚
- 6) 龍田山伝説
- 7) 安積山伝説
- 8) 姨捨山説話
- 9) 三輪山伝説
- 10) 二人妻説話・二人夫説話
- 11) 『大和物語』と『源氏物語』

履修上の留意点

古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々なジャンルの作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。

教科書/テキスト

授業時に、プリントを配布する。

参 考 書

適宜、教場で指示する。

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	川島 淳史 <small>かわしま あつし</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治初年代から四十年代にかけての歴史的背景と時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察する。
講義の内容／授業スケジュール	今年度は文学作品を通して、明治という時代をとらえ直してみたいと考えている。本講義では、特に日清戦争前後から日露戦争前後にかけての文学作品を読み進めつつ、日本の近代化における諸問題を明らかにしていきたい。また、明治という時代に生きた文学者たちが、時代や社会をどのように見つめ、作品に書きあらわしていったのかも考えていきたいと思う。なお、講義の大まかな予定は次の通りである。
準備学習	(1) ガイダンス、(2)～(5) 明治初年代・十年代の文学、(6)～(15) 明治二十年代の文学、(16)～(25) 明治三十年代の文学、(26)～(29) 明治四十年代の文学、(30) まとめ
履修上の留意点	国文学科以外の人も、高等学校で学習した程度の文学史の基本的な知識は持ってほしい。国語便覧(国語図説)などを読み直しておくことよと思う。
成績評価の方法	この講義では、可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品や配布されたプリントは事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してくること。また、受講後は各自紹介された文献にあたり、レポート作成の準備をしておくことが必要。授業中の私語・退席は厳禁。
教科書／テキスト	講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。年3～4回のレポートと出席状況で評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。なお、授業態度の不真面目な者は、レポートや出席状況がよくても単位不認定となることがある。
参考書	詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。
	その都度、講義の中で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本の古典文学の中でも「旅・旅人の文学」を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。漂泊者たちとは疎外されて中央・都あるいは体制から脱落したり、あるいは自ら求めて中央・体制を脱出してゆく者たちであり、その「さすらいの旅・旅人像」を考察したい。各時代の代表的な旅人の考察を通して、その歴史的背景とか思想的背景とか旅人の意識の深層を理解してほしい。
講義の内容／授業スケジュール	はじめに古典文学における「旅・漂泊」の例を紀行文学の歴史を通して概観し(1・2)、泊者としてのヤマトタケル像(3～6)、ついで在原業平の東下り(7～9)、西行の旅(10～15)、源義経の平泉逃亡(16～18)、阿仏尼の鎌倉下向(19～21)、後深草院二条の旅(22～26)、芭蕉の旅(27～30)等々を考察してもらう。
準備学習	特に事前に準備することはないが、漂泊・彷徨・流浪等など「さすらい」あるいは「さすらい人」への憧憬ハ洋の東西や時代の新古を問わず根強い伝統を形成しており、こうした漂泊者への関心も高い。ある者は異邦人として、ある者は求道者として漂泊生活に自己追求の方法を求めている。そうした自己追求の在り方なども理解するよう努めてほしい。
履修上の留意点	授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。古文作品をもとに授業をするので、注釈書で口語訳などを確認してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポート評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象とする。
教科書／テキスト	授業時に配布するプリントを教材とする。
参考書	授業時に適宜紹介する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	いしわり とうわら 石割 透

講義の到達目標(ねらい)	日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の藝術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。
履修上の留意点	前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。 特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村 家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。
参 考 書 そ の 他	授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい) 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に涉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
- 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
- 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
- 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
- 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
- 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
- 18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)
- 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干祿字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻を響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

準備学習
履修上の留意点

まず本を読もう！そして、知りたい聞きたい見たいものを見つけ出そう。
※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

成績評価方法
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi> を使用する。
『紀田順一郎著作集』第6巻—知の職人たち／生涯を賭けた一冊—〔三一書房1997刊〕
*YeStudy、による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関連リンク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 保

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ文学の大潮を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。
講義の内容／ 授業スケジュール	[1] アメリカ文学の大潮（1～15） [2] 主要な作家の作品研究（1～15）
準備学習	初回の授業で紹介する参考書を予め読んで出席すれば、授業内容をよく理解できるようになります。
履修上の留意点	前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表をしていただきます。
成績評価の方法	ノート・レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価します。

履修コード	207401
科目名	文学〔「ドイツ文学」〕
担当者名	武田 利勝

講義の到達目標(ねらい)	現実社会と自己の理想との間に煩悶し、結局は現実には敗れ、この挫折のなかに一種の美的（あるいは悲劇的）ユートピアの実現を求め——18世紀の後半、ゲーテが『若きヴェルテルの悩み』の主人公を失恋させ、彼を自殺へと追いやり、この物語が巨大な喝采を博したときに、その後のドイツ文学の方向性は決定されたといえるかもしれません。現実と理想との絶望的な乖離のなかで、いかにして世界を、人間を、そして自己を語るか。ドイツ語圏において、芸術はその実験のための器官となり、長い実験の過程において、多くの文学作品が生まれ、多くの主人公たちがさまざまな運命を辿りました。彼らの振る舞い、言葉、また生きざまは、現代社会を生きる私たちにとって、ただの「文化遺産」ではありません。私たち自身が抱えているか、あるいは単に気づかないでいる多くの矛盾、疑問、苦悩といったものを、多彩な言葉で名指し、語っているのです。本講義では、そうした名作のいくつかを紹介し、受講者数によっては、自由討論形式にできればと考えています。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) オリエンテーション——「文学」と「ドイツ文学」(2) ゲーテ『若きヴェルテルの悩み』(3) シラー『群盗』(4～6) ゲーテ『ファウスト』(7) レッシング『賢者ナータン』(8～10) ロマン主義文学 (11～12) クライストの主人公たち (13) シャミッソー『影をなくした男』(14) ビューヒナー『ヴォイツェク』(15～18) ワグナーと文学 (19) Th. マン『トニオ・クレガー』(20～21) Th. マン『魔の山』(22) ヘッセの主人公たち (23) 20世紀文学とは？ (24～26) カフカの寓話 (27～28) グラスと戦後文学
準備学習	1750年前後～1949年までのドイツ語圏の歴史の概略を理解しておく方が、講義中の話も判りやすいと思います。特にフランス革命期や両大戦期における西洋史の基礎知識は必要です。
履修上の留意点	受講者の読書体験を豊かにし、文学を通じて世界の多様さと多彩さを感じてもらうのが講義の目的です。授業ではいわば読書案内をするわけですが、授業前、あるいは少なくとも授業後には当該の作品を読んで下さい。したがって、読書の苦手な方（正確には、読書したい気持ちのない方）の履修はお勧めしません。
成績評価の方法	出欠は取らない代わりに、各回の授業終了時にレスポンス・カードを書いてもらいます。それを平常点とします。また、夏季休暇および学年末にレポートを課し、それらを総合して評価します。内訳は、平常点5割、レポート5割とします。
教科書／テキスト	『ドイツ文学 名作と主人公』保坂一夫編、自由国民社

履修コード	207701
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	<p>テーマ「近現代日本文学入門」</p> <p>作品を具体的に分析しながら、近現代日本文学の特徴について学びます。</p> <p>文学作品を読み解いていくことで、文学史に関する基本的な知識を身につけると同時に、近現代日本におけるさまざまな問題について考えていきます。文学作品を読むことのむずかしさと楽しさを味わいながら、既知の言葉であるはずの日本語との新鮮な出会いを体験してもらえればと考えています。</p> <p>(1) オリエンテーション、(2～7) 近現代日本文学と「語り手」(『吾輩は猫である』ほか)、(8～13) 近現代日本文学と「話型」(『お伽草子』ほか)、(14～19) 近現代日本文学と「メディア」(『それから』ほか)、(20～25) 近現代日本文学と「家族」(『檜山節考』ほか)、(26～29) 近現代日本文学におけるテーマの諸問題、(30) まとめ。</p> <p>なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。</p>
講義の内容／授業スケジュール	
履修上の留意点	<p>担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。</p>
成績評価の方法	<p>適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内レポート（50％）、B：前期末のレポート（25％）、C：学年末の教場試験（25％）をあわせて、総合的に評価をします。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>指定なし。適宜プリントを配布します。</p> <p>適宜授業中に指示します。</p>

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 大輔

講義の到達目標(ねらい)	<p>平安時代の作り物語である『源氏物語』を扱う。物語の流れだけではなく、作中人物の相関関係や巻名の由来、作中に詠まれた和歌など原文を鑑賞し言葉がもつ豊かさを学び、1000年もの間読み継がれてきた作品世界を味わう講義である。</p> <p>また、『源氏物語』を通して、平安時代の文化や風習・風土などについても学び、日本人らしさの追求・発見を目的とし、豊かな社会人となるための知識・考える力を身に付けることを主とする。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 源氏物語の世界の概要 3) 平安時代という時代について 4) 源氏物語成立の背景 5) 「桐壺」巻（光源氏の誕生） 6) 「帚木」巻（女性たちとの恋の始まり） 7) 「空蝉」巻（光源氏の恋） <p style="text-align: center;">・</p> <p style="text-align: center;">・</p> <p style="text-align: center;">「須磨」巻（都から去る光源氏）</p>
履修上の留意点	<p>※以降、順次巻順に数場面ずつ取り上げて読み進める。</p> <p>54帖全では扱わない。「須磨」巻前後まで読み進める予定。</p> <p>現代語訳や漫画(『あさきゆめみし』)などでよいので、事前に読んで内容を知っておくと原文の楽しさ豊かさをより深く知識として身に付けられる。また、学期末には試験を行うので、配布プリントを整理しておくこと。出席重視なので、授業中に私語をしている者は退出してもらおう(出席扱いとして認めない)。</p>
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	<p>出席状況(60%)と試験(40%)などにより評価します。</p> <p>毎時間、プリントを配布します。</p> <p>『源氏物語』(新編日本古典文学全集、小学館)(新日本古典文学大系、岩波書店)</p> <p>(新潮日本古典集成、新潮社)など</p> <p>三田村雅子『源氏物語 物語空間を読む』(ちくま新書)</p> <p>秋山虔『源氏物語』(岩波新書)</p>

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	中西 亮太 <small>なかにし りょうた</small>

講義の到達目標(ねらい)	この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じます。短歌の内容を読み解くには、日常の一般的な話し言葉や書き言葉を理解する場合は異なる作法が必要になります。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで、以下のことをこの講義の到達目標にします。第一に、短歌の読み解き方の基本を身に付けること。第二に、短歌の響きとリズムを味わえるようになること。第三に、その上で、近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めること、です。
講義の内容／授業スケジュール	原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、前期に与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉など、後期に斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などを予定しています。なお、講義をより効果的なものにするために、前期に一度、実習として、教室の外に出て短歌を作り歌会をします。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」(斎藤史『魚歌』)
準備学習	前の回の授業内容を復習するのは当然のことですが、とりわけ到達目標の第一、第二のためには前の回の授業で取り上げた歌を暗唱することが単純ながら効果的です。
履修上の留意点 成績評価の方法	積極的な姿勢での受講を望みます。授業後の質問を歓迎します。 学年末試験(8割)と授業内での課題(2割)をもとに評価します。その際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト 参考書	指定しません。授業中に参考プリントを配付することがあります。 高野公彦編『現代の短歌』(講談社学術文庫、1,450円。明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録)。

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	伊藤 達氏 <small>いとう たつし</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、松尾芭蕉の発句を読む。芭蕉の発句は年代によって変遷があり、その変遷過程を読むことによって、芭蕉の俳諧における営為を見定めることを目標にする。また、発句以外の作品(俳文・紀行文・連句)も観ることで総合的に芭蕉の文芸活動に迫る。なお、同時代俳人の発句や時代状況を参考にし、江戸時代初期の俳諧のありようも見渡す。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：本講義のガイダンス、第2回：俳諧と俳句の違い、第3回：江戸時代初期の俳諧、第4回：貞門派と談林派の俳諧、第5回：芭蕉の青年期、第6回：談林時代の芭蕉、第7～8回天和年間の芭蕉、第9～14回：貞享年間の芭蕉、第15～20回：元禄年間前期の芭蕉、第21～26回：元禄年間後期の芭蕉、第27回元禄年間の紀行文(『おくのほそ道』)、第28～30回：蕉門の連句
準備学習	講義で取り上げる発句を事前に読むこと。
履修上の留意点	欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問に思った事があれば積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	学期末試験(8割)を主とし、授業内で提出を求めるレポート(2割)を基本に評価する。出席状況も勘案する。
教科書／テキスト 参考書 その他	指定しない。授業中に適宜資料を配布する。 中村俊定校注『芭蕉俳句集』岩波文庫(黄206-3)、940円 なし

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	今野 慶信 <small>こんの よしのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい) 歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。

講義の内容／授業スケジュール 講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年活況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。

履修上の留意点 遅刻、途中退席は一切認めない。また、授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書／テキスト なし。随時コピーを配布する。

参 考 書 随時紹介する。

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	千葉 基次 <small>ちば もとつぐ</small>

講義の到達目標(ねらい) 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参 考 書 授業の中で紹介する。

履修コード	208001
科目名	歴史学〔禅の歴史と地域社会〕
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の文化に大きな影響を与えた禅宗とその歴史、そして禅宗の展開と地域社会とのかかわりというところをテーマに考えてみたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 日本の禅宗受容と禅宗の地方伝播(1～2)
禅の展開の時期と地域(3)
山岳信仰・地域神と禅僧(4～6)
禅僧と温泉(7～9)
在地武士と禅僧(10～11)
禅僧の法要と地域社会(12～13)
禅寺と地域社会の秩序(14～15)
禅と葬祭と人々の戒名(16～18)
授戒会の活動(18～21)
禅僧と戦国社会(22～24)
禅寺とアジール(避難所)(25～27)
禅と日本文化・生活文化(28)
江戸時代の葬祭と禅僧(29～30)

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書／テキスト 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参 考 書 廣瀬良弘著 『禅宗地方展開史の研究』吉川弘文館
廣瀬良弘編著 『禅と地域社会』吉川弘文館

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋近代史〕
担当者名	^{ひじかた しおり} 土方 史織

講義の到達目標(ねらい) 西洋近代史の概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのか理解することを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 以下の内容を講義形式で進めます。
前期：18世紀～19世紀 国民国家建設（フランス革命～アメリカ独立～産業革命）
後期：19世紀～20世紀 帝国主義形成（植民地主義～第一次大戦）
適宜プリントを配布し、プロジェクトなども使用して理解が深められるようにします。

準備学習履修上の留意点 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。
地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。

成績評価の方法 期末試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。

参考書 大下尚一他編『西洋の歴史〔近現代編〕増補版』ミネルヴァ書房1998年。
近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。
井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』（興亡の世界史 第16巻）講談社2007年。
『ヨーロッパ史入門』（全10冊）岩波書店

その他 授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近世史〕
担当者名	^{でくち ひろゆき} 出口 宏幸

講義の到達目標(ねらい) 近世とは、いかなる時代であったのか。政治・経済・社会・文化と幅広くその社会の出来事を取り上げ、わかりやすく解説を加えていきたい。140年ほど前に終えんを迎えたとはいえ、江戸時代の社会のあり方は、近代以降にも影響を及ぼしたため、その点を念頭に置きつつ、話を進めていく。この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待する。

講義の内容／授業スケジュール (講義の内容)
全国的に成立した都市は、領主支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場であった。両空間の成立がもたらした、あらたな展開（身分・家格、社会的分業、文書社会化など）を通して、近代の直前に位置した近世社会について考える。

履修上の留意点 (1) 授業のガイダンス (2・3) 戦国から近世へ (4) 江戸幕府の成立 (5・6) 近世都市の形成 (7・8) 領主支配と村 (9～11) 幕府改革－享保・寛政・天保 (12) 都市の災害 (13・14) 都市文化の隆盛 (15・16) 山村と漁村－近世村としての一一般性 (17) さまざまな集団 (18) さまざまな事件 (19) 大坂と江戸 (20) 全国市場と藩領域市場 (21) 近世商人の登場 (22) 専売制の展開と中央市場 (23) 近世の貨幣制度 (24) 商業信用の成立 (25) 市場構造の変化 (26・27) 株仲間の形成と展開 (28) 開港と商品流通の変化 (29) 幕末期江戸湾の風景 (30) 近世の終えん

積極的に講義に取り組むことで、近世という社会を理解すること。ただ、記憶するのではなく、授業を通して社会のしくみやその時代を生きた人々について考え、この時代から何かを得る機会としてほしい。

成績評価の方法 基本的には、年度末の定期試験を成績評価の対象とする。ただし、授業の出欠状況も参考とする。

教科書／テキスト 各回にプリント（資料含む）を配布する。

履修コード	208301
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	井上 桂子

講義の到達目標(ねらい)

日中交流史—近代から現代へ—中国は日本をどう見たか、日本は中国をどう見たか—
 中国近代史は百年足らずの時代区分ではあるが、西欧列強の侵入、清王朝の崩壊、孫文らの中華民国の成立、日中戦争、国民党と毛沢東らの共産党との内戦、共産党による中華人民共和国の成立と、激動の変化と事件が起きた時代であった。中国人でさえも十分に理解するのは難しいと言われる中国近現代史だが、日中交流史という日中関係の視点から整理していくことでアプローチしやすいものとする。近代から現代中国への流れと具体的な日中交流に重きを置く。
 講義形式を基本とし、後期は各自がそれぞれのテーマを研究して発表、ディスカッションをする中で分析力とプレゼンテーションの力を養う。

講義の内容/
 授業スケジュール

- ・第1回 ガイダンス 授業の進め方
 テーマ発表とアウトライン作成の説明
- ・第2回 近代以前の日中関係1—軽視から重視へ—
- ・第3回 近代以前の日中関係2—研究の対象に・注視が始まる—
- ・第4回 近代以前の日中関係3—日本人の中国観の転換点—
- ・第5回 アヘン戦争1—アヘン戦争前の中国と日本・閉関と鎖国—
- ・第6回 アヘン戦争2—情報の日本への伝播・日本人はどう見たか—
- ・第7回 アヘン戦争3—日本への影響と開国をめぐる日中の比較—
- ・第8回 太平天国の乱1—日本人はどう理解したか・高杉晋作の視点—
- ・第9回 太平天国の乱2—日本への影響・明治維新との関係—
- ・第10回 太平天国の乱3—日本への影響・日中人物交流から見えてくるもの—
- ・第11回 戊戌維新と清朝の滅亡1—日清戦争—
- ・第12回 戊戌維新と清朝の滅亡2—戊戌維新と日本、伊藤博文の中国行—
- ・第13回 戊戌維新と清朝の滅亡3—この時代に起こった日中韓の改革運動の比較—
- ・第14回 義和団事件—八国連軍と日本・日本軍国主義の萌芽—
- ・第15回 辛亥革命1—日本留学ブーム—
- ・第16回 辛亥革命2—東京で中国同盟会成立—
- ・第17回 辛亥革命3—日本の朝・野の支持と反応—
- ・第18回 辛亥革命4—忘れられた視点・「日中黄金の十年」—
- ・第19回 日中戦争から新中国1—凍河の下に流れていた交流と現在に至る日中関係の
 人脈—
- ・第20回 日中戦争から新中国2—凍河の下に流れていた交流と現在に至る日中関係の
 人脈—
- ・第21回 日中戦争から新中国へ3—凍河の下に流れていた交流と現在に至る日中関係の
 人脈—
- ・第22回 1949年から現在までの日中交流の道程1—歴代内閣、政党と日中関係—
 テーマ発表と合評
- ・第23回 1949年から現在までの日中交流の道程2—歴代内閣、政党と日中関係—
 テーマ発表と合評
- ・第24回 新中国成立から現在までの日中交流の道程3—歴代内閣、政党と日中関係—
 テーマ発表と合評
- ・第25回 1949年から現在までの日中交流の道程4—経済関係の変遷—
 テーマ発表と合評
- ・第26回 1949年から現在までの日中交流の道程5—経済関係の変遷—
 テーマ発表と合評
- ・第27回 1949年から現在までの日中交流の道程6—経済関係の変遷—
 テーマ発表と合評
- ・第28回 1949年から現在までの日中交流の道程7—日中民間交流—
 テーマ発表と合評
- ・第29回 1949年から現在までの日中交流の道程8—日中民間交流—
 テーマ発表と合評
- ・第30回 1949年から現在までの日中交流の道程9—日中民間交流—
 テーマ発表と合評

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書/テキスト

全授業の1/3以上欠席した者は定期試験参加資格を認めない。
 定期試験(50%)と出席、授業態度・テーマ発表などの平常点(50%)により総合的に評価する。
 なし
 適宜プリント配布する
 開講時に指示する

参 考 書

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	はやし あきら 林 彰

講義の到達目標(ねらい)

幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備されていく。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にたどってみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗ないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容／
授業スケジュール

最初に、オリエンテーション、次に現在の日本に残存する過去の歴史の問題（在日朝鮮人問題など）を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、幕末から敗戦までたどっていく。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

履修上の留意点

幕末から多くの人物が登場し、それを講義においても紹介していく。歴史上のいろいろな「人物」の登場は、受講生にとっても、ためになり、将来の人生を歩んでいくための豊かな知識や経験となるであろう。そういう「人物」を、自ら調べて深めることは重要である。

成績評価の方法

前期は試験の代わりに、レポート提出（夏休みの課題レポート）。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はあげない。定期試験は、追試験も実施する。

教科書／テキスト

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』、大月書店、2002年。1800円＋税
ISBN4-272-52068-7C0021

参 考 書

講義中に適宜紹介する。

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	こばやし そうはち 小林 惣八

講義の到達目標(ねらい)

経済発展のめざましい中国の歩みを世界史的立場に立って平易に講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回～15回：中国史全般の歩みを、第16回～30回：ヨーロッパ諸国のアジアへの進出を扱い新生中国の誕生までを扱う。

準備学習

毎回レポート課題やディスカッションを取り入れて歴史の見方や考え方の定着を図る。

履修上の留意点

「継続は力なり」根気強く取り組む姿勢を求む。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。

教科書／テキスト

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

そ の 他

出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	山口 洋 <small>やまぐち ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	アジア史の事例を通して、歴史的なものの方角を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。 アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。
講義の内容／授業スケジュール	●第1回：ガイダンス ●【歴史学の基礎】 第2回：アジアの風土 第3回：紀年法 第4回・第5回：歴史記録とは何か 第6回・第7回：紙と印刷の歴史 ●【中国史の基礎】 第8回：伝説の古代 第9回・第11回：皇帝の登場 第12回・第13回：官僚制と科挙 第14回：塩と歴史 第15回：民衆と宗教 ●【交通の歴史】 第16回・第17回：中国人の世界観 第18回・第19回：中国と西域 第20回・第21回：駅伝制 第22回・第24回：遣隋使遣唐使 第25回・第26回：鄭和の遠征 第27回・第29回：長崎貿易と船舶往来 第30回：筆記試験
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	参考文献を中心に予習復習をしましょう 出席不良者の単位修得は認めない 筆記試験 50% (後期最後) レポート 30% (前期夏休みのレポート) 出席 20% (全体の3分の1以上を休んだ場合は、その時点で「不可」とします) (筆記試験は必須)
教科書／テキスト 参考書	史料をプリントで配布する 寺田隆信著『中国の歴史』(中公新書) 他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 良枝 <small>きたの よしえ</small>

講義の到達目標(ねらい)	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。
講義の内容／授業スケジュール	前期 室町から桃山時代の絵画 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3)～(7) 禅林の水墨画 (8) 阿弥派 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派 (11)～(12) 狩野正信・元信 (13)～(15) 狩野永徳と桃山画壇 後期 江戸時代の絵画 (16) 江戸時代の狩野派 (17)～(20) 琳派 (21)～(22) 浮世絵 (23) 南蘋派 (24) 文人画 (25)～(26) 秋田蘭画と司馬江漢 (27) 伊藤若冲と曾我蕭白 (28) 円山四条派 (29)～(30) 江戸から明治へ
履修上の留意点 成績評価の方法	授業中の私語は厳禁。 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 陽子 <small>やの ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では、14、15世紀から18世紀末、19世紀初頭まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの西洋絵画を主な対象とします。前期は、時代の流れに沿って、毎回主要な作品を1点取り上げ、さまざまな角度から見ていきます。後期は、西洋絵画の主題別に講義を進めます。特に伝統的な西洋絵画に数多く描かれてきた神話・宗教の主題を理解できるようになることを目指します。代表的な作品を分析し、表現様式や受容のされ方などに意識を向けることによって、私たちとは異なる文化から生まれてきた西洋美術をより深く理解することを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2~4) 初期ルネサンスの絵画 (5~7) 盛期ルネサンスの絵画 (8~9) マニエリスムの絵画 (10~13) 17世紀の絵画 (14~15) 18世紀の絵画 (16~18) 神話画 (19~23) 宗教画 (24~25) 寓意画 (26~30) 肖像画、風俗画、風景画、静物画

履修上の留意点

作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。

参 考 書

高階秀爾(監修) カラー版『西洋美術史』美術出版社
ジェームズ・ホール『西洋美術解説事典』河出書房新社

そ の 他

授業内容と関連するものに限らず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子 <small>うらもと ゆうこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア
後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：試験またはレポート
後期：試験

教科書／テキスト

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』(音楽之友社)

参 考 書

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』(東京書籍)
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』(音楽之友社)
岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝口 清栄

講義の到達目標(ねらい) 西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くなる。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多くの思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると看しても、言い過ぎではないだろう。

講義の内容／授業スケジュール 西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。

前期 ① 万物のはじめをもとめて(ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する)、② ポリスの思想家たち(ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど)

後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち(エピクロス、初期ストア派の思想家たち)、② 中世の思想(アウグスティヌス、トマス・アクィナスなど)、③ 近代の幕開け

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト(前期の最終授業時)と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。

教科書／テキスト 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

履修コード	208801
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁

講義の到達目標(ねらい) 哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシア及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ丁寧に触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容／授業スケジュール (1) 概論：哲学とはどのような学問か(2~9) ソクラテス以前の哲学(10~15) ソクラテス・プラトン(16)~(20) アリストテレス(18~23) ヘレニズム期の哲学・教父思想とアラビア哲学(23、24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学(25)~(28) 盛期スコラ学(29、30) 後期スコラ学

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書／テキスト 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	河谷 淳

講義の到達目標(ねらい) この授業では、西洋思想の二大源流であるギリシア哲学(古代哲学)とキリスト教哲学(中世哲学)とを主要なテーマとして取り上げる。これらふたつの源流は不連続性と連続性の両面を併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業では、できるだけ身近で具体的な事例をあげながら、基本的な哲学用語について理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容／授業スケジュール A ギリシア哲学(哲学の始まり)：序論(1,2)、ソクラテス以前の哲学(3~6)、ソクラテスの「無知の自覚」(7~9)、プラトンのイデア論(10~12)、アリストテレスの質料形相論(13,14)、ヘレニズム期の哲学(15)、B キリスト教哲学(信仰と合理性)：アウグスティヌスの時間論(16)、神の存在証明(アンセルムス、トマス・アクィナス)(17,18)、普遍論争(唯名論と実在論)(19,20)、C 近代哲学：大陸合理論(デカルト)(21~23)、イギリス経験論(ロック、バークリ、ヒューム)(24~26)、カント哲学(コペルニクスの転回)(27~29)、まとめ(30)

成績評価の方法 中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書／テキスト 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	<small>ふるた ともあき</small> 古田 知章

講義の到達目標(ねらい)

現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 近代の人間観・世界観の源流

第1回：ガイダンス

第2～4回：哲学における基礎的な問題の整理

－人間と世界について問うこと－

第5～7回：古代ギリシアの思想 (1) －哲学的探究の始まり－

第8～10回：古代ギリシアの思想 (2) －哲学の基盤の成立－

第11～13回：キリスト教思想と中世の哲学 －思索の新たな展開－

第14～15回：中世から近世への連続と変動 －様々なルネサンス－

〔後期〕 近世・近代の人間観・世界観

第16回：前期のまとめ

第17～19回：ルネサンスから近世の思想－人間観・世界観の変革－

第20～22回：科学の発展と世界観の変化との関係

－法則的世界と人間－

第23～26回：《コギト (思惟する私)》としての人間存在

－思考の働きの能動性－

第27～30回：現代の存在論

－見えるものを支える見えない枠組み－

成績評価の方法

二回の定期試験 (中間試験、年度末試験、各4割) と平常点 (出席状況、夏期レポート、合計で2割) で評価する。

教科書／テキスト

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参 考 書

講義の際にその都度紹介する。

履修コード	209101・343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	<small>さとう あきら</small> 佐藤 暁

講義の到達目標(ねらい)

科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1) 概論：人間と人間観、世界と世界観 (2)～(18) イギリス経験論 (ホブズ・ベーコン・ロック・ヒューム) (19～25) 大陸合理論 (デカルト、スピノザ) (26～30) カントとドイツ観念論 (カント・ヘーゲル)

成績評価の方法

学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書／テキスト

久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	小島 優子

講義の到達目標(ねらい) 近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。

近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心的な問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きることの意味について学生諸君に考えてもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 哲学とは何か
- 2 近代以前の哲学
 - ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－
 - ② 中世哲学とキリスト教神学
- 3 近代哲学の特徴
 - ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－
 - ② 自然科学の哲学への影響
 - ③ 人間中心主義の世界観

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書 1回の定期試験（中間試験）と、1回の学期末試験と平常点（出席状況）で評価する。
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社
小島優子著『最新哲学がよ〜くわかる本』秀和システム

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛

講義の到達目標(ねらい) 近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容／
授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
 2. 「知識」は何のためにあるのか
 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
 4. 近代的自由の類型：自己決定と自律
 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか
 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
 7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割り切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。
教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい) 現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を(翻訳ではあるが)実際に読みつつ、その思想を紹介していく。

講義の内容／授業スケジュール 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。

履修上の留意点 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選挙する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。

成績評価の方法 ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、マルクス、ニーチェ、ウィトゲンシュタインを前期に、キルケゴール、サルトル、メルロ＝ポンティ、レヴィ＝ストロースを後期に扱った。

教科書／テキスト 教科書を必ず入手しておくこと。

参 考 書 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。

講義中に適宜指示する。

履修コード	209501
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい) 現代文明と人間の関係について反省し、われわれが現実に対していかに対処すべきかを考える。現代の哲学では、一方で近代の科学技術では把握しきれない世界の真相を捉えようとする傾向や、他方で逆に科学的見方を尊重しつつも、「意識」による世界の根拠づけから「言語分析」へ転換しようとする傾向、また実践を重んじ社会のあり方を批判しようとする傾向がある。授業では近代哲学を踏まえた後で、これらの考え方を学び、現代文明における人間のあり方について考える力を養うことを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期：＜近代哲学＞デカルト、心身問題、認識論、カント、ドイツ観念論（フィヒテ、シェリング、ヘーゲル）、＜現代哲学；19世紀後半＞マルクス、キルケゴール、ニーチェ、デイルタイ

後期：＜20世紀前半＞新カント派、ウェーバー、フッサール、ハイデッガー、ラッセル、論理実証主義、プラグマティズム

＜20世紀後半＞クワイン、オースティン、ガダマー、ハーバーマス

履修上の留意点 私語、途中退席をつつしむこと。ノートをよく取ること。分からないところは遠慮なく尋ねること。

成績評価の方法 成績は、出席、前・後期試験およびレポートによって評価する。

教科書／テキスト 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社刊）3200円

参 考 書 久保陽一『ドイツ観念論への招待』（放送大学教育振興会）

久保陽一『生と認識』（知泉書館）

渡辺二郎『現代の哲学』（放送大学教育振興会）

そ の 他 哲学は、既に確定した知識があって、それを暗記すれば良いものではない。一人一人が主体的に自分の問題に取り組む姿勢が大事である。カントが言ったように、哲学の内容は――例えば、法律の条文とか物理学の法則を教えられるように、――教えることができず、各自が主体的に「哲学すること」の大切さを教えることができるのみである。とはいえ、素人がまったくゼロから自己流で始めることは困難であり、得策ではない。やはり、既に存在する過去の優れた哲学者の知識を「学ぶこと」は大切なことである。むしろ「学ぶこと」を通して初めて自主的に「哲学すること」が少しづつ形成されるだろう。この点を肝に銘じて、くりかえし学習しつつ、思索や作文を試みてもらいたい。

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	<small>たきさつ せいし</small> 滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい) 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

講義の内容／授業スケジュール ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの(翻訳ではあるが)を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

履修上の留意点 本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

成績評価の方法 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。

教科書／テキスト 最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからベーコンまでを検討することになると思われる。

参 考 書 教科書を必ず入手しておくこと。
中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。
講義中に適宜指示する。

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	<small>すずき さとる</small> 鈴木 聡

講義の到達目標(ねらい) 本講義のねらいは、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題について徹底的に考え抜くという態度を受講者に身につけさせることである。

講義の内容／授業スケジュール (1) プロローグ・(2) 問いの構造・(3・4) 懐疑論・(5・6) 意識・(7) 誤謬推理・(8・9) 他人の心・(10) ロボットと人間・(11) 意味・(12) 生命倫理・(13) 性・(14・15) 道徳と宗教・(16・17) 道徳に関する2つの見方・(18) 芸術の定義・(19) 知識・(20) 帰納法・(21・22) 時間・(23・24) 自由意志と決定論・(25・26) 功利主義・(27・28) 人格の同一性・(29・30) パラドクス

履修上の留意点 欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。

成績評価の方法 成績は、出席状況・講義中の発表によって評価する。

教科書／テキスト 開講時に指定する。

履修コード	209601・209801
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>すずき さとる</small> 鈴木 聡

講義の到達目標(ねらい) 論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことである。

講義の内容／授業スケジュール (1) プロローグ・(2) 文論理における文の記号化・(3) 文論理の言語・(4~7) 文論理の意味論・(8~14) 文論理の統語論・(15) 中間試験・(16・17) 第一階量化論理の基本概念・(18・19) 第一階量化論理の言語など・(20・21) 多重量化・(22・23) 第一階量化論理の意味論・(24) 第一階量化論理のメタ論理・(25~29) 第一階量化論理の統語論・(30) 期末試験

履修上の留意点 数学が不得意な者は、単位取得が相当困難なので、履修をすすめない。

成績評価の方法 成績は、中間試験・期末試験で評価する。

教科書／テキスト 開講時に指定する。

参 考 書 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

履修コード	209701
科目名	論理学 [科学方法論と現代論理学]
担当者名	山口 祐弘

講義の到達目標(ねらい) 論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期
- ①論理学の課題と目標
 - ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
 - ③伝統的論理学と弁証法
 - ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
 - ⑤推理の方法、直接推理
 - ⑥推理の方法、間接推理
 - ⑦蓋然的推理、帰納と類推
 - ⑧誤謬論
 - ⑨パラドックス
 - ⑩論理と科学
- 後期
- ①記号論理学の起源
 - ②命題論理学
 - ③命題関数と真理表
 - ④標準形
 - ⑤命題論理の公理体系
 - ⑥体系の無矛盾性と完全性
 - ⑦命題の内部構造
 - ⑧述語論理学の基本概念
 - ⑨定理の演繹
 - ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。
中間および期末試験による。
山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

履修コード	209901
科目名	論理学 [科学方法論と現代論理学]
担当者名	滝口 清栄

講義の到達目標(ねらい)

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなかろうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容/
授業スケジュール

教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。

前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理(定言三段論法、仮言三段論法など)、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

成績評価の方法
教科書/テキスト

年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。
山下太郎他著『新しい認識の論理』(公論社) 3,200円

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	いこた まさる 伊古田 理
講義の到達目標(ねらい)	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など:期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書／テキスト	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書:大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本:野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書その他	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	かわらに あつし 河谷 淳
講義の到達目標(ねらい)	論理学とは、前提から結論への妥当な「流れ」(推論の形式)とはどのようなものであるのかを考える学だと言することができる。この授業の目的は、論理学入門(三段論法、帰納、命題論理、述語論理)を通じて「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。
講義の内容／授業スケジュール	序論(1,2)、A)伝統的論理:(a)論理学の基本概念(概念・命題・推論)(3,4)、(b)演繹推理(定言・仮言三段論法の妥当性の判定)(5~9)、(c)帰納推理(ミルの方法、仮説演繹法)(10~12)、(d)虚偽論(13~15)、B)現代論理(記号論理)入門:(d)命題論理(日常言語の記号化と推論の証明)(16~22)、(e)述語論理(日常言語の記号化と推論の証明)(23~29)、まとめ(30)
履修上の留意点	授業に連続して出席することは言うまでもないが、授業中あるいは授業後に各自が練習問題に積極的に取り組むことが望ましい。
成績評価の方法	中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに出席状況との総合点によって評価する。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子

講義の到達目標(ねらい)	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験（中間試験）と、一回の学期末試験、および平常点（授業時に適宜与える課題）で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書） そのつど指示する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理

講義の到達目標(ねらい)	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 論理とはなにか (2)～(6) 三段論法 (7)～(12) 命題論理 (1)－命題論理の意味論 (13) 夏期中間試験 (14)～(19) 命題論理の「証明」 (20)～(25) 述語論理 (1)－述語論理の記号表記 (26)～(30) 述語論理 (2)－述語論理の「推論」
成績評価の方法	年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題（年間通して計3回）を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書／テキスト	野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志

講義の到達目標(ねらい) 西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容／授業スケジュール (1-7)概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13)逆説・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22)原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30)後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

履修上の留意点 大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法 平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書／テキスト 特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。
参 考 書 多数。講義内にて詳細に説明します。
そ の 他 講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。

初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	高橋 秀裕

講義の到達目標(ねらい) 今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 第1~4回：近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察する。第5~15回：近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探る。第16~20回：近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。第21~25回：科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上におき、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのかを考察する。第26~30回：高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカードを配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書／テキスト 特に指定しない。
参 考 書 講義の際に適宜紹介する。
そ の 他 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	たかはし 高橋 秀裕

講義の到達目標(ねらい)	今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1～4回：近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察する。第5～15回：近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探る。第16～20回：近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。第21～25回：科学の三つの典拠として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのかを考察する。第26～30回：高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。
履修上の留意点	いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカードを配布するので、講義内容に関する感想や不明点などを書いてほしい。
成績評価の方法	随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	特に指定しない。 講義の際に適宜紹介する。 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	ふるた ともあき 知章

講義の到達目標(ねらい)	われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい!あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的な生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。
講義の内容／授業スケジュール	教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。 〔前期〕 人間観の形成の歴史とその伝統 第1回：ガイダンス 第2～4回：人間と倫理 -人間であるために- 第5～8回：古代ギリシア思想における人間観の諸相 第9～11回：中世キリスト教思想における人間観 第12～15回：人間観の転換 -ルネサンスと宗教改革- 〔後期〕 新しい時代の人間観 第16回：前期のまとめ 第17～20回：出発点としてのデカルト《コギト(思惟する私)》とパスカル「考える葦」 第21～24回：自己の内面性と他者の問題 -自由と責任- 第25～27回：人格 -ロックを手がかりに- 第28～30回：人間存在と倫理
成績評価の方法	二回の定期試験(中間試験、年度末試験、各4割)と平常点(出席状況、夏期レポート、合計2割)で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	『原典による哲学の歴史』(公論社) 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛

講義の到達目標(ねらい) 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容／
授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理―講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」: 自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法
教科書／テキスト

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えて総合評価。
教科書: 黒崎剛著『生命倫理の勉強帳 2010年度版』、定価1000円。紀伊国屋書店駒澤大学ブックセンターでのみ取り扱い。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	麻生 享志

講義の到達目標(ねらい) 人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の倫理学、本物の倫理学」に近付くための案内をする。

自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。

倫理学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 倫理学とは何か(2-3) 非実害非露見行為論、道徳の理由のために・不倫の「問題」(4-7) 東洋哲学という謎・更なる謎、儒教・「道教と仏教」へ・西洋哲学の化けの皮、カントの光と闇(8-12) 「生まれる」ときの倫理・医療諸行為をどう語るか・結婚、性、恋愛・環境とかエコとか、ダム建設をめぐって・自己の死(13-20) 大学生活を考える・合理的思考と囚人のジレンマ・人生にとって美とは・旅の思想・娯楽と快楽・住所「不定」の反対・商業道徳、企業倫理、経済思想・コンピュータ社会(21-28) 保守思想の可能性・民主主義社会の政治参加・宗教と道徳律・歴史観・リアリティー、交通道徳、日常の倫理・福祉社会の原理・都会と田舎、江戸期「分」の思想・労働観・縁故存在を問う(28-30) 無意味さ、虚無、絶望・生きがい論・基本2徳を「決める」、一年の講義のまとめ

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もらいたいと思っています。

成績評価の方法

成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および5月連休明け提出レポートおよび夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験と2度のレポート提出の4条件を満たさない場合、単位は出ません。

教科書／テキスト
参 考 書

久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円
麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合わせて読み進められたい(下欄「その他」の説明も参照)、と思います。

そ の 他

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい)	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果を紹介し、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでもなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容／授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的史的位位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。） （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書／テキスト 参考書	講義中に適宜指定する。 講義中に参照する過去の哲学説にかんしては、以下を参照のこと。久保陽一、河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他の文献については講義中に適宜指定する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	滝口 清栄

講義の到達目標(ねらい)	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。
講義の内容／授業スケジュール	本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。 こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書／テキスト	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい) 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容／
授業スケジュール 今年、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。
(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節(10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点
成績評価の方法 ノートをしっかり取る。
教科書／テキスト 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
参 考 書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)
和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫)
湯浅泰雄『和辻哲郎―近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫)
坂部恵『和辻哲郎―異文化共生の形』(岩波現代文庫)
刈部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	<small>ふるた とらあき</small> 古田 知章

講義の到達目標(ねらい) 今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性や価値基準が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上で、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容／
授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
[前期] 倫理的原理についての検討
第1回: ガイダンス
第2～5回: 倫理学における問題の所在 - 倫理的であること -
第6～9回: 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
第10～12回: 中世における宗教的倫理観
第13～15回: ルネサンスと宗教改革 - 個としての人間 -
[後期] 前期からの続きと応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
第16回: 前期のまとめ
第17～20回: 近世の転換期における倫理思想
- 主体性と自由の問題 -
第21～23回: 現代に生きる我々と倫理 - 他者との共存 -
第24～26回: 生命の尊厳と人生の質
第27～28回: 人間と環境との関係
第29～30回: 情報と倫理

成績評価の方法 二回の定期試験(中間試験、年度末試験、各4割)と平常点(出席状況、夏期レポート、合計2割)で評価する。

教科書／テキスト 『原典による哲学の歴史』(公論社)
参 考 書 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出す。(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。

成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書／テキスト 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)(岩波全書版でも可)

参考書 和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫)
湯浅泰雄『和辻哲郎--近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫)
坂部恵『和辻哲郎--異文化共生の形』(岩波現代文庫)
苅部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>

講義の到達目標(ねらい) 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

履修上の留意点 積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法 年度末の筆記試験(7割)と出席状況(3割)から評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 『岩波講座・宗教』(全10巻)(岩波書店)。『エリアーデ著作集』(せりか書房)。脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)。加藤隆『新約聖書の誕生』(講談社)。市川裕『ユダヤ教の歴史』(山川出版)。板垣雄三『イスラーム誤認』(岩波書店)。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	田中 <small>たなか</small> <small>かのこ</small> かの子

講義の到達目標(わらい) ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

準備学習 教科書を通読し、関心のある箇所をチェックしておくこと、受講にも、課題や試験の準備にも役立ちます。

履修上の留意点 既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開きましょう。

成績評価の方法 独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験。
教科書／テキスト 田中かの子『比較宗教学—「いのち」の探究—』(北樹出版)2009年、改版(第5刷発行以降)。

参考書 物事を多方面から捉えた柔軟な視点の著作(文学としても味読できるもの)を適宜、ご紹介いたします。

その他 講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用します。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 <small>おがわ</small> <small>としゆき</small> 順敬

講義の到達目標(わらい) 人間の「宗教行動」を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言えるのでしょうか。祈りやお告げといった「宗教行動」は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、「人間の行動」として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼(宗教行動)とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 第1回:この授業の進め方、第2～6回:シャーマニズムについて、第7～15回:呪術と宗教について、第16～17回:儀礼論について、第18～22回:通過儀礼論について、第23～25回:いくつかの儀礼論について、第26～27回:演技と儀礼について、第28～29回:神話と儀礼について、第30回:まとめ

準備学習 授業準備として、次回授業で取り上げる内容について配布した関連資料に眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。

成績評価の方法 原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書／テキスト 関連資料のコピーを配布します。原則として教科書は用いません。
参考書 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武

講義の到達目標(ねらい) 宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的な側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。

履修上の留意点 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書／テキスト なし

参 考 書 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清

講義の到達目標(ねらい) 人間の精神世界の根源にあって、人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、日本やアジアの人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学について、その基礎的な概説を行います。次に、「日本のなかのアジア」「アジアのなかの日本」という視点から、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどを事例として、「生活と宗教」について展開したいと思っています。特に、アジアの山地社会における人々の宗教的営み、日本の山岳信仰などに注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思っています。

講義の内容／授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

（1と2は前期授業、3と4は隔年で後期授業、と内容を変えています。今年度は、「アジアの人々の生活と宗教」として、中国雲南の山地社会を取り上げ、次年度は「日本の人々の生活と宗教」として、日本の山岳宗教を取り上げたいと思います。勿論、呪術と宗教、シャーマニズムなど宗教学の理論も押さえながら、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。）

準 備 学 習 YeStudy で、授業中の配付資料、講義ノート、パワーポイントで作成した映像、動画など、全てを公開しますので、予習や復習に利用して下さい。

履修上の留意点 講義では、国内や海外調査で写した写真やビデオなどを、プロジェクターを用いて映しながら授業を行います。また、学内のホームページ、YeStudy には、授業中の配付資料、講義ノート、パワーポイントで作成した映像、動画など、全てを公開しますので、予習や復習に利用して下さい。さらに、授業に関連した写真を私のホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVD を用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしや日本の山岳信仰に関心のある方は是非どうぞ。

成績評価の方法 試験 + α + β （詳細は、講義の時説明）
 α = 座席点（ABC で付け、積極的な授業参加を評価します）
 β = レポート点（課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します）

教科書／テキスト 特には、指定しません。講義資料をプリントして配布します。

参 考 書 講義資料をプリントして配布します。また、YeStudy でも公開します。講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

そ の 他 『宗教学ハンドブック』（世界書院）
 授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターを用いてスライドや動画を写しながら、ビジュアルな授業を展開します。国内や海外調査 Field Work に関心のある方（社会・文化人類学、宗教人類学）は是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 晴二

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思います。
講義の内容／授業スケジュール	[01] はじめに。 [02～03] 導入：今、宗教がどのようなものとしてあるのかについて、幾つか具体的な問題を取り上げて考えます。 [04～06] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践について、基礎的な事項を概観し、確認します。 [07～10] 現代社会における宗教：現代社会における宗教の位置付けについて考えます。また、宗教学の基本的な考え方についても触れます。 [11～15] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。 [16～19] 現代日本と宗教：近代以降の流れを踏まえたうえで、現代日本における宗教のあり方について考えます。 [20～29] 生活と宗教：生活と結びついた宗教のあり方について、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。 [30] おわりに。
履修上の留意点 成績評価の方法	講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。 夏期休暇中に小レポート（30点）、学期末に期末レポート（50点）を課します。これにコメントカード・平常点（20点）を合わせ、総合的に評価します。レポートの内容については講義中に指示しますが、引き写し・剽窃については厳しく対処します。悪質なものについては大学側に連絡する場合があります。
教科書／テキスト 参 考 書	特に使用しません。資料を適宜配布します。 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005 関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004 島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006
そ の 他	詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 かの子

講義の到達目標(ねらい)	人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということ、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくし自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというと、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。
講義の内容／授業スケジュール	講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。
準 備 学 習	教科書を通読し、関心のある箇所をチェックしておくこと、受講にも、課題や試験の準備にも役立ちます。
履修上の留意点	板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものすぎません。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしましょう。仏教と他宗教との関連性に注目。
成績評価の方法	創意工夫や日本語の表現力を評価する課題、学年末試験、出席状況。
教科書／テキスト 参 考 書	田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2009年、改版（第5刷発行以降）。 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。
そ の 他	これまで通り、出席カードのウラ面を、受講生からの連絡事項や質問などの記入欄として活用します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的理想力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的理想力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。

講義の内容／
授業スケジュール

次の項目を予定している。
(1) イントロダクション、(2)～(4) 東京の自然史、(5)～(9) 東京の歴史地理(明治以降の通史、同潤会、小田内通敏・今和次郎、古地図)、(10)(11) 東京の社会・経済地理(社会地図、コミュニティ、産業集積、都市ツーリズム)、(12)～(14) 都市の文化・社会地理(シカゴ学派、大阪の事例、都市テクスト論)、(15)(16) 都市計画、(17)～(20) 東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(21)～(23) 東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウン、港北ニュータウンなど)、(24)～(26) 都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷)、(27) 予備日

準備学習
履修上の留意点

特に必要としない。
出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、東京の地図があると便利である。

成績評価の方法

夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。

教科書／テキスト

特に定めない。プリントを配布する。

参 考 書

授業の中で紹介していく。

そ の 他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的にこなしてほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	櫻井 明久

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、作業を通じて主に地理学科以外の一般の学生向けに、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を紹介する。作業は、地形図の着色・読図、地図帳の利活用、ルポルタージュの活用などである。

講義の内容／
授業スケジュール

詳細な計画は示しにくいですが、まず前期には、個人と地域との関係を考えながら、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい。2.5万分の1旧版地形図などを利用して基本的な地図の見方を練習し(1～3)、着色作業しながら地形と土地利用の関係について学び、集落レベルの地理を考えたい(4～14)。夏休みには、前期で学んだ旧版地形図を活用して、各自の身近な地域について着色作業し、レポートを作成してもらおう。後期は、北西ヨーロッパを扱い、より大きなスケールで、国、超国家スケールまでの人文地理学を考える。すなわち、まず、地図帳を使って旅行計画したり、都市地図で探検のプランを計画したりしながら、地図の利用方法について学び、それらを使って各地を説明する試みを行う(15～18)。ついて、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」と「農業」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(19～30)。また、後期の後半には、何人かに夏休みのレポートを簡単に発表してもらおう予定である。

履修上の留意点

ほぼ毎授業、その時間内で作成した作品(地図)、ミニレポートを提出してもらい、次時にはそれらを反省したり、皆さんの疑問や質問を取り上げて、考察を深めたい。こうした作業活動型の授業を行うので、遅刻・欠席は作業が滞るため、厳しくチェックされる。積極的な授業参加を望みたい。なお、教科書は使用しないが、中・高校時代に利用した地図帳やそれに相当するような地図帳を利用するので、指示する時間には持参すること。また着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使うことがあるので、これも指示する時間には持参すること。こうした準備がないと授業に参加できないので十分に注意すること。

成績評価の方法

毎時のミニレポートないしは作品提出・出席：40点、夏休みレポート：40点、試験(前・後期)：計20点といったバランスで評価したい。

教科書／テキスト

なし。

参 考 書

適宜紹介する。

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎悟

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、地理学およびそれに関連する社会的問題における基礎的知識の習得を目的とし、地域的差異の発生と、その要因について議論する。今年度は、学問としての地理学の解説、そして各種分布図、資料の読み取りを行い、分析、考察を行う。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、まず地理学という学問の位置づけや、地理学の研究目的、研究意義について概説する。つぎに、文化や習慣、産業に関する地域的な差異について取り上げる予定である。 後期は、都市問題や人口問題に関する資料の分析を行い、地域差の発生要因について説明を加える。
履修上の留意点	地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。
成績評価の方法	前期中に行う中間試験と、年度末の期末試験（追試あり）、そしてほぼ毎回出される課題の内容や授業態度によって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。 とくになし。

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義の到達目標(ねらい)	我々は日常生活の中の多くの場面で、地域環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、地域や空間・距離がもつ意味をより深く理解して、それを説明できることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期には、主に都市の分布や地域の結びつきについて、後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との関係を具体例を挙げながら説明する。 第1回：オリエンテーション、第2～4回：地図、第5～8回：都市の分布と立地、第9～12回：都市や地域の結びつき、第13～17回：都市の内部構造とその変化、第18～22回：人口変動と分布・人口移動、第23～27回：都市の居住構造の形成過程、第28・29回：都市と余暇活動、第30回：都市空間における知覚と認知
準備学習	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法	学年末の試験結果(75%)と出席状況(25%)から評価する。なお、追試験は実施しない。
教科書／テキスト 参 考 書	高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
そ の 他	講義ではプリントを随時配布する。資料のバックナンバーの閲覧や急な連絡などは YeStudy を通じて行うので、履修者は開講後早めに登録を済ませること。

履修コード	169611・169621・169631
科目名	キャリアを考えるⅠ
担当者名	おかざき ひろし 岡崎 洋

講義の到達目標(ねらい)

・狙い
本講座では2年生という大切な節目に、卒業後の進路について考え、自分の夢・目標を実現するためにはどう学生時代を過ごすかをテーマにキャリア形成のための考え方や実践を学びます。

・到達目標
講義前半は「自己理解」に始まり、「働く意義」、「社会環境変化と職業理解」を学びます。次に自分は何の職業に向いているのか、さまざまな職業を比較研究しながら、適職候補を模索していきます。「なれる最高の自分」を目指して進めていきます。

講義後半は社会から求められている能力、特に文部科学省中教審提唱の「学士力」①コミュニケーション（読む、書く、聞く、話す）と②チームで考える力の基本を身につけていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 「授業の理解」 この授業の目的を確認する
- 第2回 「自分のキャリアを考える」
- 第3回 「自己理解の意義と方法」
- 第4回 「社会環境の変化を知り、進路を考える」
- 第5回 「社会が求める能力と発揮したい能力を考える」 学士力チェック
- 第6回 「さまざまな働き方を知り、自分らしい働き方を考える」
- 第7回 「対人コミュニケーションのしくみ」
- 第8回 「一方通行と双方向コミュニケーション」
- 第9回 「聴いて、訊く」 質問力でアイデアを引き出す
- 第10回 「話す」 自分の話し方をチェックする
- 第11回 「アサーションによる自己表現」
- 第12回 「プレゼンテーションスキル」
- 第13回 「文章による自己表現法」
- 第14回 「リーダーシップとチームビルディング」
- 第15回 「キャリアデザイン」自分のキャリアを描いてみよう

準備学習

過去1週間の新聞から、将来の希望進路に関連する記事を収集し、整理する作業が有益、効果的な事前学習になります。

さらに予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

日頃から、新聞、雑誌、インターネット、TV番組などで、社会環境や経済動向について関心を持つ。

この授業は「なりたい自分になるための知識や技能」を身につけるようワークショップを盛り込んだ体験型授業です。教員と受講者相互が切磋琢磨し合いながら進めていきますので、ワークには積極的に参加してください。

成績評価の方法

レポート評価(5割)及び授業内で提出を求める課題(5割)を基本に評価します。

教科書/テキスト

「キャリアを考えるⅠ, キャリア形成のススメ」岡崎洋著(株)岡崎人事コンサルタント¥1100+税 授業では教科書のワークシートを使いますので必ず購入してください。

参考書

岡崎洋他共著「楽しいキャリアデザイン」八千代出版社 ¥1400+税
ISBN978-4-8429-1491-6

関連リンク

<http://www.okazakijinjl.jp/>

履修コード	169661・169671・169681
科目名	キャリアを考えるⅡ
担当者名	岡崎 洋 <small>おかざき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)

・狙い
前期に立てた卒業後の進路を見直して、自己のキャリア形成を進展させる科目です。さまざまな業種や職種を紹介するだけでなく、自分に合った仕事は何かを模索していきます。適職に就くための、社会人基礎力と学力、自己表現力を磨いていきます。
・到達目標
多様な進路情報の中から自分に合った職業を選択するために仕事の種類と内容を紹介し、各職種について正しく理解できるように解説していきます。同時に自己表現力を高めるための文章表現、プレゼンテーションを演習します。さらに自分のやりたい仕事を見つけるための進路選択の考え方や情報収集の具体的方法を紹介します。講義に加え、興味ある職種についてはグループワークを通じて、自分の将来の方向性を考え、キャリアプラン作成を進めていきます。

講義の内容／授業スケジュール

- 第1回 豊かな人生・キャリアの方向性について考えよう
- 第2回 業界、企業情報の調べ方と活かし方
- 第3回 さまざまな業界の現状と将来性①金融、商社流通
- 第4回 さまざまな業界の現状と将来性②情報通信、コンテンツ、出版、旅行、ホテル、製造
- 第5回 さまざまな業界の現状と将来性③アパレル、化粧品、食品、運輸、住宅、不動産、教育
- 第6回 企業研究「自分に合う企業の見分け方」
- 第7回 職種研究「営業職、販売職、サービス職、教職、公務員」
- 第8回 やりたい仕事への適性を調べる
- 第9回 企業が求めている能力とは
- 第10回 言語力を磨こう
- 第11回 履歴書、エントリーシートでの自己表現
- 第12回 ファシリテーションによる課題解決
- 第13回 インターンシップで効果を上げるには
- 第14回 キャリア開発のための行動計画作成
- 第15回 総合演習

準備学習

過去1週間の新聞から、将来の希望進路に関連する記事を収集し、整理する作業が有益、効果的な事前学習になります。
さらに予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

H頃から、新聞、雑誌、インターネット、TV番組などで、社会環境や経済動向について関心を持つよう。
この授業は「なりたい自分になるための知識や技能」を身につけるようワークショップを盛り込んだ体験型授業です。教員と受講者相互が切磋琢磨し合いながら進めていきますので、ワークには積極的に参加してください。

成績評価の方法

レポート評価(5割)及び授業内で提出を求める課題(5割)を基本に評価します。
総合評価の際、出席状況も重視します。

教科書／テキスト

岡崎 洋著「キャリアを考えるⅡ学びがキャリアを開く」(株)岡崎人事コンサルタント ¥1100+税
授業では教科書のワークシートを使いますので必ず購入してください。

参考書

岡崎洋他共著「楽しいキャリアデザイン」八千代出版社 ¥1400+税
ISBN978-4-8429-1491-6
岡崎洋他共著「ベテラン人事マンが書いた面接力をつける本」東洋経済新報社 ¥1500+税
ISBN4-492-22239-1

関連リンク

<http://www.okazakijinji.jp/>

履修コード	359001
科目名	日本文化研究ⅡA
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	『古事記』『日本書紀』や『万葉集』などに見られる神話や伝承などを読みながら、古代人の心性や思想感情を考察するとともに現代人との関連性をもあわせ考えていく。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、『古事記』の上巻を中心に「国生み神話」・「天の岩屋戸神話」・「八俣の大蛇退治」(各2～3回)などのほか、『万葉集』(3～4回)などを読む。後期は、『古事記』の中巻や『日本書紀』『風土記』『万葉集』(各3～4回)、さらには説話集(2～3回)などを対象に、「夢と古代人」をテーマにみていく。
準備学習	古典の理解には何度も繰り返し読むことが肝要。労を惜しまずに立ち向かう姿勢を持ち続けることが望ましい。
履修上の留意点	新しいテーマや課題に取り組むという気概と態度を持ち続けることが大切。骨惜しみをせず、着実に歩むことを心がけてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)に約6割、出席状況に約4割の配分で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業ではプリントの配布をもって行う。 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究ⅡA
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	古典の物語における和歌の役割について理解できるようになること。また、この授業では、『源氏物語』の名場面を特に和歌に着目して鑑賞するので、『源氏物語』についての理解を深めつつ古典和歌のおもしろさを味わうことができることよい。なお、授業では原文を読むが、現代語訳も用意する。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：和歌で読む『源氏物語』 スケジュール：(1) ガイダンス、(2～4) 光源氏の父母の物語、(5～7) 光源氏の青春の物語・空蝉物語、(8～11) 光源氏の青春の物語・夕顔物語、(12～14) 光源氏の青春の物語・さまざまな女性の歌、(15) 前期の総括、(16) 和歌で読む紫の上の人生史・紫の上の登場、(17～19) 和歌で読む紫の上の人生史・紫の上の成長、(20～25) 和歌で読む紫の上の人生史・夫婦のゆくえ、(26～28) 和歌で読む紫の上の人生史・紫の上の最後、(29) 光源氏の物語の終焉・死の準備、(30) 総括
準備学習	※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	予め配布するプリントに(現代語訳の部分だけでも)目を通しておくことよい。
成績評価の方法	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。 前期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)30%、後期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)30%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書／テキスト 参 考 書	プリント教材。 参考書は、依万智『愛する源氏物語』(文藝春秋社)、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』(角川叢書・角川書店)、『源氏物語入門』(角川選書・角川書店)その他、授業中に指示する。

履修コード	359201
科目名	日本文化研究Ⅱ A
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)	古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等に登場するの歌謡について考察する。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割 (= 古代的意義) を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割 (= 文学性) を担っているか、その二つの役割を理解してもらいたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	はじめ「ウタ・韻文学」の発生について考察し (1~3)、次いで古代歌謡の種類 (4~6) や形態 (7・8) や表現様式・歌体 (9~15) などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず古代における修史事業の流れを概観し、『古事記』と『日本書紀』の成立について考察 (14~17)、その上で記紀のヤマトタケル物語を読み解きたい (18~30)。
準備学習	古代史への関心は旺盛でも『古事記』や『日本書紀』や『風土記』の内容を知る者は少ない。本授業では歌謡の考察を通して古代の文学作品へ関心を持ってほしいと考えている。努めてこれらの作品を目にする機会をもってほしい。
履修上の留意点	特に後期において、記紀のヤマトタケル物語の比較を通して物語における歌謡の役割 (= 文学性) を考察するとともに、記紀の政治的主張の差異というものを確認してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらおうレポートの評価 80% に、出席点を 20% に換算して加算対象とする。
教科書／テキスト 参考書	授業時において配布するプリントを教材とする。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	359301
科目名	日本文化研究Ⅱ A
担当者名	<small>しのべ みきお</small> 菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい)	『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3~4 編者論。5~14 作中人物論。15~28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	日本文化研究 IA を履修済みであることが望ましい。できれば同一担当 (菌部幹生) 者の日本文化研究 IA を単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。 また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で 50 点分を評価し、12 月の授業時間内に 50 点満点の筆記試験を行なう (試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト 参考書	中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫 『駒澤日本文化』2号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	359701
科目名	日本文化研究Ⅱ B
担当者名	いじわり とおろ 石割 透

講義の到達目標(ねらい)

日本近代文学と<京都>.. そうだ、京都。学ぼう。

京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした<京都>という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。

1 京都の歴史(2)、2 地理的条件(2)、3 生活習慣、行事、祭礼など(2)、4 京都言葉の特徴(3)、5 家屋構造、路地など(2)、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など(1)、7 川端康成「古都」の検討(3)、8 与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」(3)、9 東京下町趣味、長崎、祇園、溝口健二など(1)、12 映画「古都」『祇園囃子』を見る(2)、13 大仏次郎「帰郷」など(1)

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。
年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。
特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。
授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。
講義を中心として進行する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究Ⅱ B
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい)

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにあらためて対象化して考える出発点としていきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から昭和三十年代に至るまでの戦後派文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する。なお、今年度は主に同人誌『近代文学』掲載の評論ならびに安部公房と島尾敏雄の短編小説を取り上げる予定。

(1~3) 戦後文学の特色について (4~6) 同人誌『近代文学』の役割 (7~9) 安部公房の軌跡 (10~11) 『デンドロカカリヤ』の分析と読解 (12~13) 『飢えた皮膚』の分析と読解 (14~15) 『闖入者』の分析と読解 (16~17) 『R62号の発明』の分析と読解 (18~19) 『死んだ娘が歌った』の分析と読解 (20~21) 『棒』の分析と読解 (22~24) 島尾敏雄の軌跡 (25~27) 『鳥の果て』の分析と読解 (28~30) 『出発は遂に訪れず』の分析と読解

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法
教科書/テキスト

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

安部公房『水中都市、デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円

島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫) 590円

その他、適宜プリントを配布する。

参 考 書

授業時に指示する。

履修コード	359901
科目名	日本文化研究Ⅱ B
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)	原則として「日本文化研究Ⅰ B (松田)」を履修した学生を対象とし、日本と西洋のさまざまな舞台芸能を比較しながら、Ⅰ Bの授業で扱った内容をさらに深く掘り下げる。毎回全員が発言することを基本とする少人数のワークショップ形式により、意見交換をしながら授業を進め、広い視野から文化事象に対して自らの見識を持つことができるようになることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	本年度は、泥棒や犯罪者など「悪人」を主人公とする、日本と西洋の舞台芸能の比較を最初のテーマとして、(1-3) 演劇：ゴーリキー作「どん底」、(4-6) 歌舞伎「三人吉三」、(7-9) 歌舞伎「鼠小僧」、(10-12) ミュージカル「ベガーズ・オペラ」、(13-15) ミュージカル「シカゴ」を扱う。以降は受講者との議論の中から出てくる問題にかかわるものや、また受講者の希望にも応じて素材を選ぶことになる。
履修上の留意点	「日本文化研究Ⅰ B (松田)」を受講したことがない場合は、まずⅠ Bから先に履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。講義内容を見ないで登録をしても、履修は認められない。欠席して作品を見ていないと議論に加わることができなくなってしまうので、基本的には毎回休まず出席する姿勢が必要となる。
成績評価の方法	出席と授業時間のワークショップへの参加状況による評価を60%、授業の中で適宜提出を求めるとレポートや発表等による評価を40%として判定する。筆記試験は行わない。
教科書／テキスト	指定しない。

履修コード	359951
科目名	日本文化研究Ⅱ B
担当者名	ないとう ひさこ 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「活字メディアと映像メディアの接点」 文学作品の映画化など、活字メディアと映像メディアの接点について具体的に学びます。
講義の内容／授業スケジュール	昨今、ベストセラーとなった作品は、かならずと言ってよいほど映像化されます。また、文芸書を担当する編集者たちの意識も変わりつつあり、「直木賞よりロードショー」という合い言葉が口にされるほどです。こうした文学と映像の不可分な関係は、どのように形成されてきたのでしょうか。講義では、活字メディアと映像メディアの関係を多角的に考えていきたいと思えます。 (1) オリエンテーション、(2～7) メディアミックスについて考える(角川書店の仕事ほか)(8～13) 文学作品の映画化について考える(『伊豆の踊子』ほか)、(14～19) 松本清張作品について考える(『天城越え』ほか)、(20～25) 「歴史的事件」の映像化について考える(『炎上』ほか)、(26～29) 文学作品の映像化の功罪、(30) まとめ。 なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。
履修上の留意点	担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内レポート(50%)、B：前期末のレポート(25%)、C：学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 適宜授業中に指示します。

履修コード	360601
科目名	日本語文化研究Ⅱ
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本語文化研究Ⅰの「日本語の歴史」で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されています。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いなどを検証していくことにつながります。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知願集』『神風知願正義集』『伊勢物語性清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』『紫明抄』『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なく注釈書が存在します。この注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけを皆さんと一緒に精確に探っていく眼を養うことをめざします。本年は、現代日本漫画の巨匠と云われる手塚治虫全作品集に注釈は成立するか、どのような観点で注釈を施すのが良いのかをテーマにこの科目を進めていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品資料に於ける「古注釈」研究の領域と現代漫画の接度〔PDF版〕
- 02の講義内容 手塚治虫その人と作品集〔PDF版〕
- 03の講義内容 手塚治虫の作品―その1『アドルフに告ぐ』―〔PDF版〕
- 04の講義内容 手塚治虫の作品―その2『陽だまりの樹』―〔PDF版〕
- 05の講義内容 手塚治虫の作品―その3『ブツダ』―〔SWF版〕
- 06の講義内容 手塚治虫の作品―その4『旧約聖書物語』―〔SWF版〕
- 07の講義内容 手塚治虫の作品―その5『鳥人大系』―〔PDF版〕
- 08の講義内容 手塚治虫の作品における手書き文字―その1〔PDF版〕特別授業
- 09の講義内容 手塚治虫の作品における手書き文字―その2〔PDF版〕特別授業
- 10の講義内容 手塚治虫の作品―その6『どついたれ』―〔SWF版〕
- 11の講義内容 手塚治虫の作品―その7『きりひと讃歌』上・下―〔PDF版〕特別授業
- 12の講義内容 手塚治虫の作品―その8『人間昆虫記』―〔PDF版〕
- 13の講義内容 手塚治虫の作品―その9『ネオ・ファウスト』―〔PDF版〕
- 14の講義内容 手塚治虫作品集その10『地球を呑む』1・2―〔SWF版〕
- 15の講義内容 手塚治虫作品集その11『どろろ』四巻―〔PDF版〕
- 16の講義内容 手塚治虫作品集その12『人間ども集まれ!』―〔PDF版〕
- 17の講義内容 手塚治虫作品集その13『上を下へのジレット』―〔PDF版〕
- 18の講義内容 手塚治虫作品集その14『ぼくの孫悟空』―〔PDF版〕
- 19の講義内容 手塚治虫作品集その15『メトロポリス』―〔PDF版〕
- 20の講義内容 手塚治虫作品集その16『魔法屋敷』―〔PDF版〕
- 21の講義内容 手塚治虫作品集その17『ザ・クレーター』―〔PDF版〕
- 22の講義内容 手塚治虫作品集その18『ブラック・ジャック』―〔PDF版〕
- 23の講義内容 手塚治虫作品集その19『極めつき―〇〇〇ページ』―〔PDF版〕
- 24の講義内容 手塚治虫作品集その20『MW』―〔PDF版〕
- 25の講義内容 手塚治虫作品集その21『火の鳥』―〔PDF版〕
- 26の講義内容 手塚治虫―『手塚治虫物語』―〔PDF版〕

準備学習

「講義の事前事後の取り組み」→「駒澤大学 e-Education : YeStudy」をご利用願います。ここに、関連する事柄を学習する場を用意しました。取り組む取り組みないは貴方自身が決めることです。決めたからにはとことんやり抜く強い意志を持ちましょう。覚えるのではなく身につけていくことこそ言語文化修得の王道です。この掲載資料に関する質疑応答は確実に行っていきます。是非ご参加ください。そして、参加される方は必ず受信送信の確実なご自分の携帯メールを登録しておきましょう。夏休み・春休み学校の登録アドレスだけでは見落としたり、早急な取り組みがしにくいことが現実としてあります。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう!また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書収載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当

成績評価の方法

者である秋原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

手塚治虫全作品集

「YeStudy」による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関 連 リ ン ク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究Ⅱ
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力 (ICT 能力) = 情報活用力」が日々、求められている。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材 = 仕事のできる人」という図式ができあがりつつある。

講義の内容/
授業スケジュール

この動きに対応できるよう、情報基礎教育や「Office アプリケーション」操作をひとつおり学習した学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業である。

- 1 オリエンテーション、履修登録許可者決定テスト (KT2000)
- 2 「履修登録許可書」発行、ファイル・データ管理
- 3~4 インターネットコミュニケーション I&II (メール・Web ページ)
- 5~6 文書表現、KT2000
- 7 ビジュアル表現
- 8~9 プレゼンテーション I&II (プレゼンの基本と資料作成)
- 10~11 情報検索
- 12 情報運用、KT2000
- 13~15 プレゼンテーション III (プレゼン実習)
- 16~17 数値分析 I-1 (データの種類・データの加工・セル参照)、KT2000
- 18~20 数値分析 I-2 (関数の利用)
- 21~24 数値分析 II (データ分析、グラフ化)
- 25~30 データベース、KT2000

履修上の留意点

第 1 回目の授業時に、履修登録許可者を決定する。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第 1 回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になる。

履修登録を許可された学生が第 2 回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめる。(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

出席点 (20)、年間を通して5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30)、および提出された課題点 (50) の総合獲得点により行う。

教科書/テキスト

本田直也監修 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 noa 出版 (株式会社ワークアカデミー) ¥2,500 ISBN978-4-9902420-4-6

そ の 他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室の PC にインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励むこと。

(2) 社会分野

履修コード	215801・344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す(まなざし)を養い、(社会学する)実践感覚をつかむことを目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~5) 親密性と公共性、相互行為と自己(6~9) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(10~13) メディアとコミュニケーション、歴史と記憶(14~17) 空間と場所、環境と技術(18~21) 医療・福祉と自己決定、家族とライフコース(22~25) ジェンダーとセクシュアリティ、格差と階層化(26~29) 文化と再生産、社会運動と社会構想(30) 総括

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

取り上げるトピック(章)は、多少変更の可能性がありますが。
授業の進度に合わせ、事前に教科書の各章の内容を読んでおくようにして下さい。
教科書をベースに、具体的なトピックや映画を紹介しながら講義を進めます。
出席、授業毎の感想メモ、前・後期のレポートにより総合的に評価します。
長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣) 3,500円
授業中に随時紹介します。
YeStudyを活用します。

履修コード	216001・216301・215901
科目名	社会学〔現代文化を考える〕 社会学〔現代社会を考える〕 社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	呉 炳三 <small>くれ ひんざん</small>

講義の到達目標(ねらい)

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容/
授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として(3~4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7~8) 国民性についてグループ討議、(9) 日本的行為論、集団論として(10) 集団の概念、(11) 集団の類型、(12) 官僚制理論、小集団論、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト

履修上の留意点

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：
(1) 前期テストの解説、(2) 家族とは、(3~4) 家族の機能、(5) アダルトチルドレン・摂食障害についてビデオをみる、(6) 現代における恋愛、(7) 結婚、(8) 自殺について班ごとのディベート、(9) 少年犯罪についてビデオをみる、(10) 少子・高齢、(11) フリーター・ニート・引きこもり、(12) 格差社会に関する班ごとのディベート、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダーとフェミニズム(男らしさ・女らしさ)、(15) 後期テスト
以上、講義を予定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

成績評価の方法

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

教科書/テキスト
参考書

出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
開講時に説明する。
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	武山 ^{たけやま} 梅乗 ^{うめのり}

講義の到達目標(ねらい) 「文化を語ることに社会学に何ができるのか?」という問いに対して答えることは、これまで社会学にとって最も重要な使命の一つであったし、世界が「文明の衝突」や環境破壊、グローバル経済の矛盾といった危機的状況を迎えている現在、社会学において<文化>をきちんと位置づけることは喫緊の課題であるといえるでしょう。本講義は、文化を射程におさめた社会学理論を学ぶことを通じて、人と人とが共生する意義を把握すると同時に、それを援用して身近な<文化>について理解を深めることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 第1～3回：社会学における古典的な文化の理論（文化の型、社会規範、知識社会学）、第4～6回：文化とアイデンティティの問題（私とは何か、自我の社会性、アイデンティティと脱アイデンティティ）、第7～10回：国家とエスニシティ（国民国家の成立、多民族国家としての日本、エスニシティと<沖縄>、グローバリゼーション）、第11～15回：ジェンダーと家族（ジェンダーとフェミニズム、女性美とダイエット、恋愛における男らしさ、ジェンダーと家族）、第16～19回：文化と逸脱（逸脱をめぐる諸理論、ラベリング理論、非行と少年法、自殺をめぐる諸問題）、第20～24回：消費社会という文化（『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、産業社会と消費社会、記号消費、消費社会における広告の意義、ブランドとCI）、第25～27回：組織における文化（組織と官僚制、官僚制の逆機能、世界のマクドナルド化）、第28～30回：文化的再生産（文化資本とハビトゥス、社会階層、格差の問題）

履修上の留意点 講義内容に興味関心があり、主体的に講義の臨む覚悟と気力のある学生だけが履修してほしいと思います。

成績評価の方法 出席状況を勘案した上で、講義期間中に5回程度提出してもらった課題（5割）と学期末の定期試験（5割）から総合的に評価します。

教科書／テキスト 武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円
参 考 書 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	武山 ^{たけやま} 梅乗 ^{うめのり}

講義の到達目標(ねらい) 一般的に社会学は難しい学問だと思われがちですが、必ずしもそうではありません。自分というものの、自分の家族というもの、自分が暮らしているこの国やこの地球に起こっていることを身近に引き寄せて考察の対象とする力が社会学にはあると思います。本講義は、社会学の方法や理論を学ぶことを通じて、人と人とがどうすれば共生できるのかを模索すると同時に、それを援用して自分、人間、そして社会なるものについて理解を深めることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：社会とは何か、第2～5回：わたしをめぐる現象（自我、アイデンティティ・クライシス、脱アイデンティティ、患者役割論）、第6～8回：私とみんなをつなぐもの（社会的行為とダブルコンティンジェンシー、役割とドラマトルギー、社会的ジレンマ）、第9～12回：集団と組織（社会集団とそのタイプ、フォードシステムとホーソン実験、官僚制の逆機能、マクドナルド化する世界）、第13～17回：文化と価値（文化と社会意識、社会規範と逸脱、エスニシティ、<沖縄>をめぐる問題、文化資本）、第18～21回：消費社会と社会的性格（資本主義と産業社会、消費社会、社会的性格、記号消費と広告）、第22～25回：家族とジェンダー（核家族化、家族機能の変化、ジェンダーと家族、子どもと教育する家族）、第26～28回：地域社会の現在（コミュニティとは何か、国土計画と過疎過密、コミュニティとネットワーク）、第29～30回：労働問題と格差（ニートとフリーター問題、社会階層と格差）

履修上の留意点 講義内容に興味関心があり、主体的に講義の臨む覚悟と気力のある学生だけが履修してほしいと思います。

成績評価の方法 出席状況を勘案した上で、講義期間中に5回程度提出してもらった課題（5割）と学期末の定期試験（5割）から総合的に評価します。

教科書／テキスト 坪井健編『社会学の扉を開く（仮）』2010年4月学文社より刊行予定
参 考 書 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい) この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。

前期1)～8)社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。

後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

成績評価の方法 成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書／テキスト 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)
高尾・橋爪編『社会学の基礎』(厚書房)
R. ニスペット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	田中 正光

講義の到達目標(ねらい) 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出したり、自分の目的に適した分析をするためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定

準備学習 各講義の前に、図書館などで「統計学」の入門書や統計学辞典で専門用語の最低限の意味を理解していれば理想的である。

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に授業内で試験を行い、この両試験の点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書／テキスト 指定なし。

参考書 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版)2004年
室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』(東京図書)2004年
鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社)2003年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会)1997年

その他 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	216501・345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義の到達目標(ねらい) 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方や諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール

前期
1. 統計学の概要 2-4. 度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7. 確率 8. 演習 I
9-10. 確率変数と確率分布 11. 平均・分散と期待値 12. 標準化 13. 正規分布表 14. 演習 II
15. まとめ・補足
後期
16. 母集団と標本 17. 統計量と標本分布 18-19. 点推定と区間推定 20-21. 仮説検定
22-24. その他の推定・検定 25. 演習 III 26. 散布図と相関係数 27. 回帰分析
28. クロス集計表と独立性の検定 29. 期末試験 30. まとめ・補足

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

①演習 I～III：45%（各15%）＋期末試験55%

②期末試験：100%

教科書／テキスト
参 考 書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8
配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。
配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	森 雅文

講義の到達目標(ねらい) 異文化を生きる人々のリアリティを理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察する学問です。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異について見聞を拓けることではなく、人々の日常実践に顕れる多様な人間性の表現に関する妥当的な理解を探り、そのまなざしを自分の身の回りの諸事象にも向けるような知的実践にあります。この講義では、社会と文化の多様性を前提とした他者あるいは隣人を理解する枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。近年「異文化」を規定する従来の学問的営為が批判されています。他者とは何でしょうか。なぜ文化を語るのでしょうか。この現代的な問題意識も踏まえて、自己や他者に真摯に向き合う洞察力の養成を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

【受講者の関心により内容の一部を変更する場合があります】
文化概念の基礎（異文化とは何か、人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）
人間の社会化（家族と親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー）
環境への適応と文化（生業：採集狩猟・牧畜・農耕、文化圏と文化世界）
共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ）
呪術宗教の文化・観念と実体の接合（妖術、シャーマニズム、儀礼と神話）
人間と社会の存在様式（個人、身体、近代国家と民族、エスニシティ）
文化理解の現在（グローバリズム、多文化社会、異文化の翻訳）

履修上の留意点
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。
前期と後期に実施する筆記試験が100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容が15%までの加算点。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しません。
入門書・概説書は初回に紹介します。
各回の内容に関する参考書は適宜に紹介します。

そ の 他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	<small>かとう せきはる</small> 加藤 之晴

講義の到達目標(ねらい)

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか?」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキー・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

第1回：ガイダンス、第2～7回：文化人類学の視点と手法、第8回～15回：信仰と世界観、第16～22回：人間と病い、第23回～27回：文化変容とは何か、第28回～30回：まとめ

授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

教科書/テキスト

特定の教科書は用いません。毎回講義のトピックを記したプリント(レジュメ)を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。

参 考 書

授業時に必要に応じて紹介します。

社会分野

履修コード	216901・344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎい じゆんいち</small> 杉井 純一

社会分野

講義の到達目標(ねらい)

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容／
授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み(1)
3. 文化人類学の歩み(2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
6. 環境と人間(2) 牧畜民
7. 環境と人間(3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

ビデオを見た感想を問うことがあります。
夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。
祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円
佐々木宏幹・村武精編『宗教人類学』(新曜社)2,200円
できるだけ、ビデオを利用します(年に4～5回程度)。

そ の 他

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文

講義の到達目標(ねらい)

異文化を生きる人々のリアリティを理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察する学問です。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異について見聞を広げるのではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現に関する妥当な理解を探り、そのまなざしを自分の身の回りの諸事象にも向けるような知的実践にあります。この講義では、多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、観念と実体の狭間に自己を創り出す諸社会の実践に焦点をあてながら、代表的な民族誌的事例とともに解説します。

講義の内容／授業スケジュール

近年「異文化」を規定する従来の学問的営為が批判されています。他者とは何でしょうか。なぜ文化を語るのでしょうか。この現在的な問題意識も踏まえて、自己や他者に真摯に向き合う洞察力の養成を目指します。

【受講者の関心により内容の一部を変更する場合があります】
 文化概念の基礎（異文化とは何か、人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）
 儀礼の理論・構造主義を中心に（人の一生と通過儀礼、贈与と交換、境界と穢れ）
 社会とコスモロジー（妖術、神話・儀礼、シンクレティズム、聖地・巡礼）
 人間の存在様式を焦点に（呪術、シャーマニズム、個人、身体、病気と医療、老いと死）
 民族文化の近代（エスニシティ、文明の衝突、グローバリズム）
 文化理解の現在（テクノロジーと文化、多文化社会、異文化の翻訳）

履修上の留意点
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。
 前期と後期に実施する筆記試験が100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容が15%までの加算点。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しません。
 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。
 各回の内容に関する参考書は適宜に紹介します。

そ の 他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨

講義の到達目標(ねらい)

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基づく「民族」、そして「コスモロジー（宇宙論）」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として東アジアに共有される中国的宇宙論を採り上げ、コスモロジーが現実世界とどのように関係しているのか、また人間社会がそれを持つことの意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、コスモロジーを通して自己の存在意義を説明できる能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

第1部. 文化人類学と民族
 I. 「文化」と「文化人類学」（1～3）、II. 「民族」とはなにか（4～6）
 第2部. 民族とコスモロジー
 I. 「コスモロジー」とはなにか（7～8）、II. 天とひとつのコスモロジー（9～10）、III. 世界の断絶と連続（11～15）
 第3部. 中国的宇宙論の世界

履修上の留意点

I. 中国的宇宙論の基礎（16～24）、II. 風水と東アジア社会（25～30）
 講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

成績評価の方法

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

教科書／テキスト
参 考 書

期末試験（70%）と小テスト（30%）を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点数の加算も行う。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

プリントを使用する。
 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円、ISBN：4121905601
 鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（光文社知恵の森文庫、2008年）724円、ISBN：9784334785116
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円、ISBN：4409410482

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)	文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。
講義の内容／授業スケジュール	人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15-6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。 この講義では、そのように変化する異文化社会を、文化人類学ほどの様に理解しようとしてきたのか、文化人類学の学説の歴史をおって考えてみることにしたいと思います。
準備学習	第1回：この授業の進め方、第2～3回：文化人類学とその調査対象について、第4～5回：文化について、第6～7回：文化人類学の方法について、第8～9回：文化人類学の学説について、第10～15回：社会進化論と異文化、第16～21回：機能主義理論と異文化、第22～28回：文化相対主義と異文化、第29・30回：まとめ
成績評価の方法	授業準備として次回授業で取り上げる内容について教科書の該当箇所、もしくは事前に関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。
教科書／テキスト	原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
参考書	祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)。また関連資料のコピーを配布します。 講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	内山 明子 <small>うちやま あきこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々との関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからはますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1)文化人類学とは(2～6)文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム(7～12)民族と人種：様々な民族概念、民族と国家、人種主義と優生学(13～15)環境と技術(16～20)結婚と家族：インセスタブーと女性の交換、生殖医療の発展と家族研究(21～25)儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニカス(26～30)宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教
準備学習	授業で紹介する参考文献等に事前に目を通しておいってください。
履修上の留意点	授業に関連するテーマを日々の生活の中で探し出し具体的に考えていくことで、授業の内容をより身近なものとして反芻していったほしい。
成績評価の方法	終講後に行う期末試験(筆記試験)を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。
教科書／テキスト	指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	<small>かわかみ しんじ</small> 川上 新二

講義の到達目標(ねらい)	世界のさまざまな民族や社会を理解するために、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、文化人類学による文化への接近方法を理解します。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2)文化人類学について、(3～6)文化について、(7～9)言語、(10)モルガンによる婚姻の歴史、(11～12)婚姻、(13)レヴィ＝ストロースによるイトコ婚の考察、(14)「父」と「母」、(15～16)家族、(17～18)祖先とのつながり(出自)、(19)「男」と「女」、(20)タイラーによる宗教の歴史、(21)マリノウスキーの呪術論、(22～23)妖術と邪術、(24～25)憑依と脱魂、(26～28)シャーマニズムとシャーマン、(29～30)死者儀礼と祖先崇拜
準備学習 成績評価の方法	授業後には当日の配布プリント、板書、講義の内容を整理して、まとめておいてください。 学期末試験(60%)、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート(30%)、出席状況(10%)で評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	プリントを配布します。 祖父江孝男『文化人類学入門』中公新書 村武精一・佐々木宏幹『文化人類学』有斐閣Sシリーズ

履修コード	217501・344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	<small>はせがわ ひでよ</small> 長谷川 日出世

講義の到達目標(ねらい)	日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。
講義の内容／授業スケジュール	(1)講義に関する全段的説明、(2)社会秩序と法、(3)～(6)法概念の本質、(7)～(10)法の成り立ちとその分類、(11)～(12)法の解釈、(13)～(15)日本の裁判制度、(16)憲法とは何か、(17)近代憲法の構成原理、(18)日本の憲法史、(19)～(20)日本国憲法の基本原理、(21)～(26)基本的人権の保障、(27)国会、(28)内閣、(29)司法権、(30)一年間のまとめ
履修上の留意点	日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN4-7923-0399-0

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 憲一

社会分野

講義の到達目標(わらい)

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
 - 1 社会に存在する各種の規範
 - 2 法と道徳
 - 3 法とは何か
3. 法の体系と分類
 - 1 法の分類1
 - 2 法の分類2
 - 3 法の分類3
4. 法の目的
 - 1 法的安定性
 - 2 正義の実現
5. 裁判の基準（法源）
 - 1 成文法
 - 2 不文法
6. 法と裁判
 - 1 三審制度
 - 2 民事裁判の進行と原則
 - 3 刑事裁判の進行と原則
7. 法の解釈
 - 1 有権解釈
 - 2 学理解釈
8. 法と道徳をめぐる問題
9. 犯罪と刑罰

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書／テキスト

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）

○六法（例として、『ポケット六法（平成22年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）

※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

- 参 考 書 ●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）
 ●大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
 その他 その他授業の中で、随時紹介する。
 ●最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鷄徳 啓登

講義の到達目標(ねらい) よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国内的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール 法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判
 憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法 出席状況と試験による。
 教科書／テキスト 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円
 参 考 書 『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	柳瀬 昇 <small>やんせ のぼる</small>

講義の到達目標(ねらい) この講義は、法の基礎理論、日本国憲法及び民法や刑法などの実定法の解釈論ならびに司法制度論の基礎を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。

現代社会に生きる私たちは、多くの法令に拘束される一方、法令によってさまざまな権利・自由を享受することができる。例えば、一般道路を歩行するにも、道路交通法を遵守しなければならないし、商品を購入するということは民法上の売買契約を締結することを意味する。このように、法令は、気づかないところでも、私たちの市民生活に関わっているのである。あるいは、交通反則金を納付しなかったために、刑事裁判を受けなければならなくなったり、悪質なセールの被害にあってもクーリング・オフの期間を徒過してしまったために、契約を解除できなくなるなど、法令の規定を知らなかったばかりに損をすることも有る。したがって、基本的な法令の知識や法学の基本的な考え方を身につけておくことは、現代社会に生きる私たちにとって、きわめて重要なことである。

自律的な市民にとって有用な法令の解釈の手法を、この講義において、しっかりと身につけてほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

法の基礎理論、市民生活にとって身近な実定法の基礎的知識、わが国の司法制度の概要、日本国憲法の解釈論の基礎の4つについて、概括的に、かつ、平明に講述する。

第1回：法を学ぶ意義、第2回：法の基礎理論、第3-8回：実定法解釈論（家族と法、財産と法、犯罪と法）、第9-12回：司法制度論（民事裁判・刑事裁判の仕組み、国民の司法参加、法律をめぐる人たち）、第13-14回：憲法解釈論入門、第15回：前期の総括、第16-29回：憲法解釈論の基礎（憲法の私人間効力、公務員の人権、幸福追求権、法の下での平等、思想・良心の自由、信教の自由、表現の自由、学問の自由、職業選択の自由、生存権、教育を受ける権利、参政権、国会と内閣、裁判所）、第30回：後期の総括

準備学習

基本的には予習は必要ないが、その代わりに、必ず講義に出席し、復習に努めてほしい。ただし、憲法解釈論を扱う後半のうち数回は、教科書の指定されたページを読んだうえで講義に臨むことを求める。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれたい。
期末に行う筆記試験や、授業時間中に適宜行う小テスト等に基づき、総合的に判断する。
90点以上の者を「S」、80点以上の者を「A」、70点以上の者を「B」、60点以上の者を「C」とし、60点未満の者を「F」と評価する。

教科書／テキスト

前半は、教科書を使用しない（授業担当者の作成したレジュメや資料を配布する）。憲法解釈論を扱う後半では、教科書として、佐々木幸寿・柳瀬昇『憲法と教育〔第2版〕』（学文社、2009年）を使用する。

参 考 書

どの出版社のものでもかまわないので、六法（法令集）は、必ず携行されたい。なお、六法については、第1回の講義で説明する。

そ の 他

前半の講義の参考書として、伊藤正己・加藤一郎＝編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣、2005年）を挙げるほか、第1回の講義で説明する。
講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワーにおいて、対応する。確実に時間を確保したい場合には、eメールで事前に連絡をとることをすすめる。

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 講義に関する全段的説明、(2) 社会秩序と法、(3)～(6) 法概念の本質、(7)～(10) 法の成り立ちとその分類、(11)～(12) 法の解釈、(13)～(15) 日本の裁判制度、(16) 憲法とは何か、(17) 近代憲法の構成原理、(18) 日本の憲法史、(19)～(20) 日本国憲法の基本原理、(21)～(26) 基本的人権の保障、(27) 国会、(28) 内閣、(29) 司法権、(30) 一年間のまとめ

履修上の留意点

日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末の試験の成績と講義への出席の割合で評価します。
長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500＋税、ISBN4-7923-0399-0

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 <small>にった ひろし</small> 浩司

講義の到達目標(ねらい)

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることが、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考（リーガル・マインド）を養うことを目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	国家の安全保障
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	精神的自由権①
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	精神的自由権②
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由権
第5回目	法学の基礎知識④	第18回目	社会権
第6回目	法学の基礎知識⑤	第19回目	参政権
第7回目	法学の基礎知識⑥	第20回目	国務請求権
第8回目	憲法の基礎知識①	第21回目	統治機構①
第9回目	憲法の基礎知識②	第22回目	統治機構②
第10回目	日本国憲法の制定過程	第23回目	統治機構③
第11回目	日本国憲法の基本原理①	第24回目	統治機構④
第12回目	日本国憲法の基本原理②	第25回目	まとめ
第13回目	象徴天皇		

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

教科書／テキスト
参 考 書

開講時に指示する。
小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 <small>おだ てるこ</small> 晃子

講義の到達目標(ねらい)

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 法とは何か・法の目的 (2~10) 立法と司法・法の適用と解釈 (11~20) 日本国憲法と人権 (21~30) 法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による

教科書／テキスト
そ の 他

『判例法学』4版（有斐閣ブックス）、ポケット六法（有斐閣）
プリント配布

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	しげの たかはる 茂野 隆晴

講義の到達目標(ねらい) 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがどのようなものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚されて、年間の「法学」の内容の理解に取組んでほしい。

講義の内容／授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成 I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理 I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障 I・II・III
18. 統治機構 I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構 II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構 V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構 VII・VIII(裁判所)
26. 各論 I(民法・商法)
27. 各論 II(刑法・社会法)
28. 各論 III(行政法)
29. まとめ

成績評価の方法 学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。

教科書／テキスト 茂野隆晴監修・法学マテリアルズ編集委員会編 『法学マテリアルズ』 2009年刊(八千代出版) 2200円

参 考 書 茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	いけだ みる 池田 実

講義の到達目標(ねらい) 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

講義の内容／授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

成績評価の方法 出席状況、受講態度その他の平常点、および授業時間内に行われる小テスト類により、総合的に評価します。

教科書／テキスト 野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院) 2,700円+税 ISBN978-4-7823-0424-2

参 考 書 授業時に適宜指示します。

そ の 他 授業日程: 7月30日(金)・8月2日(月)~8月6日(金)
(土・日曜日除く)の1~5時限。
*初回(7月30日9:00)の授業では、履修に際しての重要事項を伝達するので、遅刻なく必ず出席すること。

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	しらとり ひろし 白鳥 浩

講義の到達目標(ねらい)

「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」とあるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。
- I、序論 政治学の基礎概念（1～4）
 - II、古代の政治理論（5～8）
 - III、中世の政治理論（9～11）
 - IV、近代政治理論の形成（12～15）
 - V、近代批判の政治理論（16～18）
 - VI、現代の政治理論（19～22）
 - VII、国際政治の理論（23）
 - VIII、現代の政治過程理論（24～26）
 - IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成（27）
 - X、現代日本の政治分析（28～30）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

関心を持って、講義に出席してください。
試験を中心とするが、総合的に判断する。
白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年
眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年
授業内で適宜、指示します。

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	<small>とみさき たかし</small> 富崎 隆

社会分野

講義の到達目標(ねらい)

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここに 있습니다。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1～2) 講義のねらいと政治を学ぶ意義
- (3～15) マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；
 - 政治・権力・国家の意味
 - 望ましい国家のあり方（国家の仕事の範囲・国家の運営方法）
 - 民主制・自由民主主義体制の意味
 - 国家の歴史的展開
 - 民主化と体制変動
 - 自由民主主義体制の比較枠組み
- (16～24) ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；
 - 政権形態
 - 政党と政党制
 - 有権者の投票行動と選挙
 - 官僚制と議会
 - 利益集団とマスメディア
 - 日本の民主政治
- (25～30) 国際政治学；
 - 国際政治の意味
 - 国際政治の主要理論潮流
 - 日本の外交政策
 - 冷戦後の世界政治をみる視点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

テスト及びレポート・出席など総合的に評価
堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10：4901253913
講義時、適時指示

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山崎 望 <small>やまざき のぞむ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。 (第1・2回) 近代社会の形成と変容 (第3・4回) 政治と権力 (第5～8回) ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義 (第9～11回) 政治体制論、民主主義論、政党論、 (第12～15回) 格差社会論、グローバル経済と福祉国家、世界恐慌論1・2 について扱います。 後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。 (第16～20回) 国民国家、ナショナリズム、同化主義、多文化主義、移民 (第21～26回) 「9・11」対米同時多発テロ以後のアメリカ、 世界秩序の多極化、「イスラーム原理主義」 人道的介入論、グローバル・テロリズム 地域主義 (EU とアジア共同体構想) (第27～30回) 新しい民主主義、フェミニズム、市民社会論、 国境を越える民主主義論
履修上の留意点 成績評価の方法	新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。 年末の試験。(ただし、病欠や公欠席などの正当な理由なくしてレスポンスカードの提出率が5割 を切る場合、試験を受けても単位の取得は認めない)
教科書／テキスト	加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12168
参 考 書 そ の 他	講義中に適宜指摘します。 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。 講義の後半10分にレスポンスカードを配るので、質問や感想を書いてください。 翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	島中 貴 <small>しまなか たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)	諸々の経済現象をよりよく理解するための理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。
講義の内容／ 授業スケジュール	経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。 後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、政府が行っている経済活動、国内総生産(GDP)、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。
履修上の留意点	講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。
成績評価の方法	基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。
教科書／テキスト	授業時に配布するプリントをテキストとする。

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	眞下 英二

講義の到達目標(ねらい)	そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。
講義の内容／授業スケジュール	春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。 秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。
履修上の留意点	この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。 また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。
成績評価の方法	成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。
教科書／テキスト 参 考 書	特に指定しない。 加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年 加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年 他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 恒雄

講義の到達目標(ねらい)	「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：政治とは何か、第2～4回：政治社会、国際政治と国内政治の違い、第5～7回：ウェストファリア・システムの成立と崩壊、現代の国際政治の特質、第8～10回：東西冷戦の形成と崩壊、その後の世界秩序、第11～13回：地球的問題群、第14～15回：地球環境破壊について、第16回：国際連合設立者の意図、第17～20回：国連改革の必要性和国際社会の対応について、第21～23回：国連改革に対する日本の対応、第24回：ハイレベルパネル報告書について、第25回：日本の国連中心主義について、第26～28回：国連が直面している問題について、第29～30回：21世紀の国連のあり方について
履修上の留意点	受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。
成績評価の方法	受講生の数にもよるが、人数が少ない場合は年2回のレポートで評価する。前期のレポートを提出した者だけが、後期レポートを提出することができるので、評価を必要とする人は、2回のレポートをそれぞれの期日までに提出すること。人数が多い場合は、前期レポート、後期筆記試験で評価する。その場合の割合は、等分とする。
教科書／テキスト 参 考 書	特定の教科書は使用しない。 授業中、随時指定。

履修コード	219101
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	森田 成也

講義の到達目標(ねらい)

はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本と利子生み資本、11、銀行資本と株式資本、12、独占資本主義と土地所有、13、国家と帝国主義

<後半>

14、明治維新と日本資本主義の成立、15、日本資本主義の動揺と侵略戦争への道、16～17、戦後改革と戦後復興、18～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点
成績評価の方法

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書／テキスト

森田成也『資本と剰余価値の理論』(作品社)、2008年刊、2300円

履修コード	219201
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	まつまえ たつよし 松前 龍宜

社会分野

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、前期にミクロ経済学、後期にマクロ経済学の基礎理論を学び、ミクロ・マクロの経済政策が、どのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。講義方針として、表とグラフの直観的理解に加え、簡単な数式モデルを使って論理的にも理解してもらうこととする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (前期)
1. ガイダンス、テキストと成績評価。
 2. 経済学の十大原理Ⅰ (第1章)
 3. 経済学の十大原理Ⅱ (第1章)
 4. 相互依存と交易からの利益Ⅰ (第3章)
 5. 相互依存と交易からの利益Ⅱ (第3章)
 6. 市場における需要と供給の作用Ⅰ (第4章)
 7. 市場における需要と供給の作用Ⅱ (第4章)
 8. 需要、供給、および政府の政策Ⅰ (第5章)
 9. 需要、供給、および政府の政策Ⅱ (第5章)
 10. 消費者、生産者、市場の効率性Ⅰ (第6章)
 11. 消費者、生産者、市場の効率性Ⅱ (第6章)
 12. 消費者、生産者、市場の効率性Ⅲ (第6章)
 13. 消費者、生産者、市場の効率性Ⅳ (第6章)

- (後期)
1. 外部性Ⅰ (第7章)
 2. 外部性Ⅱ (第7章)
 3. 国民所得の測定Ⅰ (第8章)
 4. 国民所得の測定Ⅱ (第8章)
 5. 生計費の測定 (第9章)
 6. 生産と成長Ⅰ (第10章)
 7. 生産と成長Ⅱ (第10章)
 8. 貯蓄・投資と金融システムⅠ (第11章)
 9. 貯蓄・投資と金融システムⅡ (第11章)
 10. 貯蓄・投資と金融システムⅢ (第11章)
 11. 総需要と総供給 (第12章)
 12. 総需要と総供給 (第12章)
 13. 総需要と総供給 (第12章)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

数学の知識は特に必要としない。
試験60%、レポート40%で評価する。
N. グレゴリー・マンキュー著、足立ほか訳、『マンキュー入門経済学』(2009)、東洋経済新報社、ISBN: 978-4-492-31386-2

参 考 書

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社
マクロ経済学：N. グレゴリー・マンキュー、足立ほか訳、(2008)、『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編』、東洋経済新報社

そ の 他

板書による講義形式である。

履修コード	345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	貝塚 亨

講義の到達目標(わらい)	経済学とは、モノと金を対象とした学問であると思われがちであるが、モノと金を媒介とした人間と人間との社会的な関係を明らかにするものである。そこで、本講義では、経済学の理論とともに、経済社会における人間のあり方を理解し、今後の経済社会を展望することを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	以下を予定している。 1回 講義概要 2回 経済学とは何か 3～4回 経済学の歴史 (1) 古典派経済学 5～8回 経済学の歴史 (2) 2つの流れと現代経済学 9～11回 商品・貨幣 12～15回 資本主義的生産 16～19回 金融と商業 20～23回 財政と政策 24～26回 貿易 27～29回 現代経済の課題 30回 まとめと展望
準備学習	日常的に、新聞を読むこと。
履修上の留意点	本講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めるので、受身ではなく積極的に講義に参加することを望む。
成績評価の方法	以下を合算して評価する。 リアクションペーパーの提出を含めた受講状況 夏期レポート 学年末テスト
教科書／テキスト	指定しない。
参考書	講義中に、適宜指示する。

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	大石 雄爾

講義の到達目標(わらい)	私たちがとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦闘の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。 人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。
講義の内容／授業スケジュール	1 社会科学を始めるにあたって 2～3 思考する楽しみ 4～5 社会科学とは何か 6～12 社会の歴史的発展と社会思想 13～14 社会科学の生誕：ホブズとロック 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス 25～ 現代社会の思想的諸潮流
履修上の留意点	なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説するつもりです。 1年間講義に出席し理解しようとする努力によって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。毎回出席し、丁寧にノートを取ることを勧めます。
成績評価の方法	授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験の成績で評価します。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	高嶋善哉『社会科学入門』(岩波新書) 平野喜一郎『社会科学の生誕』(大月書店) 大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』(白桃書房)

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 素雅子

講義の到達目標(ねらい)	バイオエシックスの根底に流れる思想を手がかりに、西洋思想史をさまざまな角度から分析していく。そして欧米社会にとってバイオエシックスは何のために存在するのかを分析していく。それらをもとに、現在の日本におけるバイオエシックスの諸問題の議論の有効性を検討していく。
講義の内容／授業スケジュール	1～2回 バイオエシックスの成立について。アメリカでなぜバイオエシックスが始まったのか？ 3～4回 バイオエシックスの4原則について（自律尊重原理、恩恵・仁恵原則、無危害原則、公正・正義原理） 5～7回 欧米で脳死臓器移植が進む理由 8～9回 日本で脳死臓器移植が進まない理由 10～11回 カレン・クインラン事件から始まる自然死法について 12～13回 安楽死は認められるか？キリスト教とバイオエシックスの対立 14～15回 安楽死、尊厳死問題における日本と欧米の相違点 16～17回 欧米におけるホスピスの意義とデス・エデュケーションの普及 18～21回 生殖技術の問題点。生命の始まり、中絶をめぐる問題についてのキリスト教とバイオエシックスとフェミニズムの対立 22～26回 出生前診断をめぐる倫理的問題点を捜し出す。障害者差別の問題とバイオエシックスの衝突 27～30回 バイオエシックスの問題点の総括と今後の展望について
履修上の留意点	授業中に配布した資料は必ず理解し、自分の見解を論ずることができるようにしておくこと。その際、倫理的判断基準がきちんと確立していないと自分の見解を述べるのがむずかしくなるだろう。
成績評価の方法	欠席は6回まで認める。それ以上欠席した場合は不可になる。授業中にレポート課題を与えるので、必ず提出すること。提出したレポートの内容には必ず点数をつけるので、合格点に達するように努力すること。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しない。 星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい)	本授業では今日の社会的状況における、大学生を主な対象とした青年期の心の在り方の特徴や問題点および課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、主に生涯発達観の観点から青年期の位置づけやその発達課題などについて学び、現代社会における青年期の延長やアイデンティティ確立の問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題点について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および社会的な背景要因などについて検討していきます。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：教育心理における青年の問題、第2～3回：生涯発達における青年期の意義と特徴、第4～6回：青年期に関わる心理発達の要因と過程、第7～9回：青年期をめぐる主な心理学理論、第10回：日本の青年の戦後史と今後、第11～12回：青年期における自我への関心の高まり、第13～14回：青年期の発達課題としての自我の形成、第15回：前期末試験 第16～17回：青年期におけるジェンダー、第18～20回：青年期における家族関係、第21～22回：青年期における友人関係、第23回：青年期における恋愛・異性関係、第24～25回：青年期における社会・学校との関係、第26～27回：青年期における生き方と文化との関係、第28～29回：青年期における心と行動の問題、第30回：後期末試験
準備学習	日頃から、マスメディアなどで青年に関するニュースについて関心を持つこと。
履修上の留意点	履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は、前期末と後期末の計2回の試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	中里至正・松井洋・中村真『自己理解のための青年心理学』（八千代出版）2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持って積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	枝松 正行

社会分野

講義の到達目標(ねらい)

社会科学論とは社会科学の方法についての学である。講義では、社会科学史を学び、社会科学の方法を代表する二つの立場を統一的に理解して、1929年以後の世界金融危機にあえぐ現代社会の構造と変動の全体的把握の方法を探究する。同時に社会科学としての未来社会論についても考える。

講義の内容／
授業スケジュール

社会科学論は個々の個別社会科学の成果と方法を分析・総合し、一つの総体としての生きた現実社会の運動・発展法則を解明する。この法則は、取り除くことも法令で禁止することもできないが、それを認識することによって、未来社会への分岐の苦痛を緩和することはできるからである。

前期講義と後期の前半までは、社会発展の総体的把握に不可欠な社会科学史上の方法理論を概説する。後期の後半からは、資本主義の発展諸段階のなかでこれを検証し、現代グローバル金融資本の「新世界秩序」と日本の「構造改革」や「世界金融危機」の現実を必然性の科学と合理性の科学という複眼思考で総括する。併せて、21世紀の国際社会と日本が直面する人類史的課題としての科学的な未来社会論の展望も試みる。

準備学習

(1) ガイダンス (2) 社会科学論とはどういう学問か (3) 形而上学と論理学 (4～5) 形式論理学の三大原則と矛盾 (6) アフォリズムと弁証法 (7～9) 弁証法論理学の基本法則 (10) 経済的社会構成体の歴史理論と経済学批判 (11～13) 生産力・生産関係の弁証法と唯物史観 (14) 必然性の社会科学と土台・上部構造の社会論理 (15) 中間試験 (16) 宗教社会学と理解社会学 (17～18) 理念と利害状況の複眼思考的歴史観 (19) 動機理解の社会理論と合理性の社会科学 (20) 必然性の社会科学と合理性の社会科学の総合 (21～25) 世界資本主義の発展諸段階と20世紀革命史・虚構の検証 (26～28) 「新世界秩序」と「構造改革」の破綻としての「世界金融危機」 (29) アソシエーション社会への転換 (30) 期末試験

教科書や参考書は各自読み進めておくこと。社会科学論の真の教科書は常に生成しつつある全体としての現実社会そのものであるから、現実社会の最新状況についてメディア等を通じて日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことも本講義に不可欠の予習となる。

履修上の留意点

また毎回のノートは必ず読み返して復習し、とくに専門用語は早期にマスターしておくこと。

本講義は、前半が理論編、後半が検証・応用編である。精励出席が前提であり、毎回出席を取る。講義は常に現実社会の動向を分析の俎上にのせながら進めるので質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習すること。専門用語については確認テストも随時行う。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席・平常点 (20%) と前・後期末 (計2回) の授業内試験 (80%) 等により総合的に評価する。

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書

本山美彦『金融危機後の世界経済を見通すための経済学』作品社

関岡英之『拒否できない日本』文春新書、同『奪われる日本』講談社現代新書

(3) 自然分野

履修コード	227401
科目名	基礎物理学
担当者名	佐藤 昌憲・小川 雅生

講義の到達目標(ねらい) われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 物体の運動とエネルギー
(速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量)
- (2) 温度と熱
(熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程)
- (3) 波動
(波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質)
- (4) 電磁気学

電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)

- (5) 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学 A では、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学 B では、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

基礎物理学 A・B の出席数、小テスト、定期試験により評価する。
基礎物理学 B:『電気基礎上』(東京電機大学)

履修コード	227501
科目名	基礎化学
担当者名	原田 和正

講義の到達目標(ねらい) 本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1~2) 序
- (3~6) 原子・分子・モル
- (7~10) 電子配置と周期表
- (11~15) 化学結合
- (16) 化学平衡
- (17~19) 酸・塩基
- (20~22) 酸化・還元
- (23) 溶解度と溶解度積
- (24) 気体の状態方程式
- (25~27) 反応速度論
- (28~30) 化学熱力学

成績評価の方法
教科書/テキスト

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方をを中心に』(東京化学同人) 2,850円

A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方をを中心に-問題と解答-』(東京化学同人) 1,700円

履修コード	227701
科目名	基礎数学
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>

講義の到達目標(ねらい)	本学部・学科の専門科目で必要となる基本的な数学(微分、積分)を学習する。またその際必要となるより基本的な数学知識(三角関数、指数・対数関数等)についても臨機に復習する。これにより、高校数学を完全に習得した上で、理系の大学数学への第一歩を踏み出すことを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	理系の大学生にとって数学の基本である微分・積分を徹底的に学ぶ。必要に応じて高校数学の復習も行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 整式の微分・積分(第1～3回) 整式の微分、整式の積分等 2. 微分(第4～12回) 関数の極限・連続関数、微分の基本公式、三角関数、逆三角関数、指数関数・対数関数等 3. 微分の応用(第13～22回) 微分の応用、関数の増減、極値・凹凸、高次導関数等 4. 不定積分(第23～30回) 基本的な不定積分、置換積分・部分積分、三角関数の積分、有理関数・無理関数の積分等
準備学習 履修上の留意点	スケジュール表により、きょう勉強することは何か、をしっかりと意識して授業に臨んで欲しい。数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって毎回行う演習に真剣に取り組み、今日学んだことは今日習得してしまう、という姿勢で臨むこと。ためておいて後でまとめてやろう、というやり方は身につかないことに注意すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 その他	2～3回の理解度確認テスト、および学習態度の総合点による。 矢野・石原『微分積分 改訂版』(裳華房), 2, 1000円+税, ISBN978-4-7853-1071-4 必要に応じて資料を配付する。 「解を暗記するのではなく、考え方を理解する」ということが数学力向上のポイントである。この意識をしっかりと持とう!

履修コード	219701
科目名	科学基礎論
担当者名	熊坂 さつき <small>くまが さつき</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業では大学生になったばかりの新生に対する初年度教育の一環としての教育を行う。大学で必要となるスタデイスキル、スチューデントスキルを養う他、診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育を行う。なお、科学的な問題解決法では科学的発想や医療の取り組み方に関連したビデオ鑑賞や施設見学等を行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは? 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点	最初の数回は合同授業がある。
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方、出席等で評価する。
教科書／テキスト	プリント等を配布する

履修コード	219801
科目名	科学基礎論
担当者名	佐藤 昌憲 <small>さとう まさのり</small>

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線とは」、「放射線の測定」、「パソコンの活用方法」などについて学習する。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは? 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方で評価する。
教科書／テキスト	必要によりプリントを配布する。

履修コード	219901
科目名	科学基礎論
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「未知な現象」として過去「超常現象」と思われた現象などを提示して、その現象の科学的な解明を試みる。
講義の内容／授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点	積極的に受講すること。
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方で評価する。
教科書／テキスト	必要によりプリントを配布する。

履修コード	220001
科目名	科学基礎論
担当者名	原田 和正

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「分子構造と結晶構造」などについて学習する。
講義の内容／授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点	授業に対して積極的に取り組むことを望む。
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方で評価する。
教科書／テキスト	必要によりプリントを配布する。
参 考 書	授業の中で指示する。

履修コード	220101
科目名	科学基礎論
担当者名	名古屋 安伸

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「医療被曝」などについて学習します。
講義の内容／授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点	探究心を持って始めましょう。そして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになりましょう。
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方で評価します。
教科書／テキスト	必要によりプリントを配布します。

履修コード	220111
科目名	科学基礎論
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男

講義の到達目標(ねらい) 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる学習への意欲や姿勢、学習方法を身につけること。さらに、医療人としての人格形成を目的とした導入教育である。取りわけ科学の世界では実験や観察事実 (evidence = エビデンス) を元にして、誰もが納得できる普遍的な真実を追究する。そして、その真実が個々の価値判断に偏らない普遍性を持つからこそ、公の場で事実認定 (合理的根拠) として使える。科学に「好き、嫌い」の問題が含まれると科学は合理的な根拠として使えなくなり学問でなくなる。特に、医学 (医療) においては治療や検査行為に対する価値判断を下すのは患者や家族であるから、科学的根拠に基づいた納得のいく説明を要望される。それらの前提として正しい科学 (エビデンス) が必要となり、そのエビデンスに基づいた医療の成り立ち等の基礎学問を習得する。

講義の内容 / 授業スケジュール

第1回～3回：大学生及び医療人としての心構え
第4回～8回：大学での授業の受け方、レポートの書き方、ノートのまとめ方
第9回～10回：大学図書館の利用法と文献の調べ方 (図書館で実技教授)
第11回～15回：エビデンスの基礎と医療におけるリスクマネジメント

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書 / テキスト

大学4年間で学習していく上での大切な基本内容であることを留意して授業に臨むこと。
出席状況、受講態度、前定期試験による総合評価にて決める。
特に指定しない。

履修コード	227601
科目名	情報処理技術
担当者名	こんどう けいすけ 近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい) 情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成が行えるように演習形式で授業を進める。

また、国家試験においてコンピュータや IT 関連の問題が出題されるようになってきているので、情報処理関連の基礎知識も合わせて習得を目指す。

講義の内容 / 授業スケジュール

(1) 情報倫理
(2) インターネットと電子メールの利用
(3～4) 論文・レポートの作成方法
(5～8) MS-Word による文書作成・編集・数式作成・図の作成
(9～10) 表やグラフの書き方
(11～12) MS-Excel による表計算・関数の利用・グラフの作成
(13～15) 通信技術とセキュリティ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書 / テキスト
参 考 書

演習形式で行うので、積極的に受講すること。
出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。
プリントを配布する。
授業中に紹介する。

履修コード	227621
科目名	情報処理技術
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい) 情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成が行えるように演習形式で授業を進める。
また、国家試験においてコンピュータやIT関連の問題が出題されるようになってきているので、情報処理関連の基礎知識も合わせて習得を目指す。

講義の内容／授業スケジュール
 (1) 情報倫理
 (2) インターネットと電子メールの利用
 (3～4) 論文・レポートの作成方法
 (5～8) MS-Wordによる文書作成・編集・数式作成・図の作成
 (9～10) 表やグラフの書き方
 (11～15) MS-Excelによる表計算・関数の利用・グラフの作成

履修上の留意点 演習形式で行うので、積極的に受講すること。
 成績評価の方法 出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。
 教科書／テキスト プリントを配布する。
 参考書 授業中に紹介する。

履修コード	227801
科目名	物理学序論
担当者名	佐藤 昌憲・鳥山 保

講義の到達目標(ねらい) 高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容／授業スケジュール
 1. 力と運動
 速度、加速度、運動の法則、エネルギー
 2. 波動
 波の性質、音波と光波、反射と屈折
 3. 電気
 電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
 4. 磁気
 電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点 高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論Aでは、力と波動を、物理学序論Bは、電気と磁気を中心に焦点をしばり平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法 物理学序論A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

履修コード	227851
科目名	数学序論
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい) 診療放射線技師を目指す医療健康科学部の学生には、数学は必要不可欠のものである。そこで、高校の数学が苦手だった人や数学III・Cの単位を取っていない人に対して、大学の数学に進むための高校の数学の復習をして今後の放射線技師のための授業を容易に理解できるような基礎を学習する。範囲は、数学II・数学Bから数学IIIの微分・積分の導入部分までとするので、1年次の間に基礎的な数学をしっかりと身につけて欲しい。

講義の内容／授業スケジュール
 (1～3) 指数関数、対数関数、複素数
 (4～6) 三角関数(加法定理、和積・積和の公式等)
 (7～9) 微分(微分係数、導関数の定義)
 (9～11) 微分(有理関数、合成関数、三角関数、指数関数、対数関数の微分など)
 (12～15) 積分(不定積分と定積分、部分積分と置換積分、体積と面積)

履修上の留意点 演習を中心に行いますので、積極的に参加すること。
 成績評価の方法 小テスト、レポート、授業への取り組み方から評価する。
 教科書／テキスト 石村園子、「大学新入生のための数学入門」、共立出版、2100円、ISBN4-320-01769-2

履修コード	227901
科目名	生命科学
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい)	すべての生物の基本単位となる細胞には、生命の根元物質である遺伝子 (DNA) が含まれており、遺伝子の情報に基づいて体が形作られ、また、遺伝子のコントロールのもとにあらゆる生命活動が表現されている。本講義では遺伝子の働きを中心に、現代生物学の主要な分野の基礎的な内容を解説する。
講義の内容／ 授業スケジュール	1章：生体を作る物質 (1,2回)、2章：遺伝子 (3,4回)、3章：細胞 (5回)、4章：発生 (6,7回)、5章：神経と脳 (8,9回)、6章：免疫 (10回)、7章：性と生殖 (11,12回)、8章：遺伝 (13,14回)、9章：人体 (15回)
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席点と試験の点数を合算して評価する。 講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者はYeStudyまたは指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
参 考 書 そ の 他	上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	228001
科目名	化学序論
担当者名	山本 裕右 <small>やまもと ゆうすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1) 物質・元素・単体・化合物、(2) 原子・分子・イオン、(3~6) 電子配置・周期表、(7,8) 物質の量・モル質量、(9) 化学式・化合物の名前、(10,11) 化学反応式と化学量論、(12~15) 濃度の計算 高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常の小テスト (30%)、定期試験 (70%) で評価する。 ・A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』(東京化学同人) 2,993円 ・A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』(東京化学同人) 1,785円
参 考 書	・乾 他著、『改訂 化学—物質の構造、性質および反応—』(化学同人) 2,520円 ・P.W.Atkins 他著 (千原他訳) 『物理化学の基礎』(東京化学同人) 3,570円

履修コード	220201・220301・345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい)	地球上には170万種以上の生物種が存在する(生物多様性)。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である(進化)。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される(遺伝子)。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。
講義の内容／ 授業スケジュール	1章：遺伝子と進化 (1-3回)、2章：40億年の生物進化 (4-6回)、3章：系統と分類 (7,8回)、4章：行動と進化 (9,10回)、5章：動物の人口論 (11,12回)、6章：共生と競争 (13,14回)、7章：人類の進化 (15-17回)、8章：進化論 (18,19回)、9章：生態系 (20,21回)、10章：物質の循環 (22-24回)、11章：植生遷移 (25,26回)、12章：生物多様性 (27,28回)、13章：人為と生物 (29,30回)
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。 講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者はYeStudyまたは指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
参 考 書 そ の 他	上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220401・345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義の到達目標(わらい) 地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくらうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容／
授業スケジュール

- (前期)生物の生活
- (1) 地球の歴史と生命の起源
 - ・最初の生命・地球の歴史・極限環境生物
 - (2) 生命誕生
 - ・いまここにいる奇跡・受精と発生
 - (3) 生命の維持
 - ・なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成
 - (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ
 - ・陸と海をめぐりいのちの輪
- (後期)化学物質の功罪
- (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - ・ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
 - ・ゼロエミッションという考え方
 - (2) 人工化学物質の功罪
 - ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン
 - (3) 水俣病
 - ・有害物質の蓄積と濃縮
 - (4) 人工放射性核種
 - ・原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故
 - (5) まとめ 自然とともに生きる

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書／テキスト 赤城他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
参 考 書 授業時間内に随時紹介します。
そ の 他 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	220501・346101・346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義の到達目標(わらい) 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。災害から家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

前期第1～2回：宇宙と地球の誕生、第3～4回：地球の内部構造、第5～6回：プレートテクトニクス・ブルームテクトニクス、第7～10回：地震、第11～15回：火山(地震と火山については、災害・予知も含む)、後期第15～17回：地殻の物質、第18～19回：造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、第20～24回：生命の歴史、第25～30回：環境問題(地球温暖化問題など)について触れます。

準備学習

雑誌や新聞記事などから、予定される内容に関連した最新情報(災害を含む)を集めて、整理してみましょう。

履修上の留意点

地球科学は自然現象を総合的に説明する科学であり、実生活に根ざした科学でもあります。日頃から、ある自然現象に関して、時間軸を含めた因果関係及びその範囲を考えてみてください。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、授業中に前・後期に3回ぐらいつづ、ビデオや映画鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを提出してもらいます(各5点程度)。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

特に定めなし。適宜プリントを配布。
『ニューステージ地学図表 新訂』(浜島書店)
プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	220601・220801
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義の到達目標(ねらい)

地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

〔地球の現在の姿〕

1. 地球の大きさ・形 (1, 2回)
2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス (3~5回)
3. 大陸移動とプレートテクトニクス (6~8回)
4. 火山活動とそのメカニズム (9, 10回)
5. 地震とそのメカニズム (11, 12回)
6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環 (13~15回)

〔地球環境の変遷〕

1. 地球環境の変動要因 (16, 17回)
2. 地球の形成過程 (18, 19回)
3. 環境変化と生物進化 (20~24回)
4. 生物の大量絶滅 (25, 26回)
5. 人類の誕生と進化 (27~29回)

〔未来の地球の姿〕

1. 未来の地球環境の変遷 (30回)

講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

特になし。

講義中に紹介します。

講義にて、資料プリントを配布します。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	もりや かずよし 守屋 和佳

講義の到達目標(ねらい)

地球科学の基礎と地球・生命の歴史を学ぶ

講義の内容／
授業スケジュール

私たちが住む地球は、誕生以来46億年の歴史を有し、今なおその進化を続けている。地球誕生初期には、地球の表面はマグマの海に覆われていたが、やがて大陸や海洋が形成され、海洋中では生命が誕生することとなった。前期には現在の地球のシステムや地球科学の基礎を学び、後期には地球と生命の歴史を学ぶ。

(前期)

第1回 イントロダクション 第2回 生きている地球システム 第3回 造岩鉱物と岩石 第4回 生物多様性 第5回 環境と生命 第6回 堆積物の形成環境 第7回 岩石記録の年代と比較 第8回 進化と化石記録 第9回 プレートテクトニクス 第10回 火山と噴火 第11回 地震と断層 第12回 日本列島の生い立ち 第13回 化学物質の循環 第14回 まとめ 第15回 教場試験

(後期)

第1回 太陽系と地球の誕生 第2回 海と大陸の誕生 第3回 初期生命の誕生と酸素の発生 第4回 全球凍結事件 第5回 〈古生代〉カンブリア大爆発 第6回 〈古生代〉植物と動物の“上陸” 第7回 〈古生代〉海洋の遊泳生物と陸上は虫類の誕生 第8回 〈中生代〉恐竜と哺乳類の出現 第9回 〈中生代〉被子植物の出現 第10回 〈中生代〉隕石衝突と大量絶滅 第11回 〈新生代〉哺乳類の台頭 第12回 〈新生代〉南極氷床の形成と海洋生物の進化 第13回 〈新生代〉人類の誕生 第14回 まとめ 第15回 教場試験

教場試験 (80%)、出席 (20%)

随時プリントを配布する。

・酒井治孝著 地球学入門 惑星地球と大気・海洋のシステム 東海大学出版会 (2003年)

・D. ディクソン、I. ジェンキンズ、R. T. J. ムーディ、A. U. ジュラヴリョフ著 (小島郁生監訳) 生命と地球の進化アトラス I, II, III 朝倉書店 (2003年)

成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

オフィスアワー：授業後随時、講師室

履修コード	220901・221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	市川 清士

講義の到達目標(ねらい)

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようになつてきたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容／授業スケジュール

(1) 地球科学とはどんな学問か？ (2～5) 地球の成り立ちと構造について (6～10) 大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11～15) 地震および活断層について (16～19) 氷期と間氷期【気候変動】 (20～24) 地球温暖化と我々の生活 (25～30) 南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点

日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書／テキスト

『地球学入門―惑星地球と大気・海洋のシステム―』(東海大学出版会) 2,940円

参 考 書

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	221101・221201・346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 毅

講義の到達目標(ねらい)

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容／授業スケジュール

〔地球表層の環境〕

1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
2. 気候の決定要因 (3～7回)
3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)

〔人間活動による環境変化〕

1. 公害問題の変遷 (9回)
2. 地球温暖化とその要因 (10～16回)
3. 大気汚染 (17回)
4. 酸性雨 (18回)
5. 光化学スモッグ (19回)
6. オゾン層の破壊 (20回)
7. 海洋汚染 (21, 22回)
8. 廃棄物問題 (23, 24回)
9. 資源とエネルギー (25～27回)

〔自然災害〕

1. 気候変動 (28回)
2. 地震とその災害 (29回)
3. 火山とその災害 (30回)

履修上の留意点

7月に、PC教場でインターネットを利用した大気汚染に関する実習を行います。学内でインターネットにアクセスするためのIDを持たない方は、総合情報センターで取得してください。

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書／テキスト

特になし。

参 考 書

講義中に紹介します。

そ の 他

講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221301・221401・221601
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	持丸 真里

講義の到達目標(わらい)	生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 生化学・生態学の導入 (2~3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5~6) 生物の進化と地球環境 (7~10) 地球温暖化 (11~12) 生態系内の物質循環 (13~14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16~17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19~20) 生態系の浄化作用 (21~22) 化学物質による生態系汚染 (23~24) ダイオキシン問題 (25~26) 環境ホルモン (27~28) オゾン層破壊 (29~30) 近代農業の問題
準備学習	毎回の講義の後に、YeStudyで講義内容のキーワードを掲載する。欠席したときや復習の時に役立ててほしい。
履修上の留意点	上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。
成績評価の方法	筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。
教科書／テキスト	なし
参考書	講義内で随時紹介する。
その他	YeStudyを補助的に利用するので、なるべくコース登録を行うこと。

履修コード	221501
科目名	自然環境論〔地球・太陽系環境〕
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(わらい)	人間が普段活動している地球環境(陸地、大気、海洋)の基礎的な構造やしぐみを学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境(地球磁気圏、太陽系の惑星など)についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。
講義の内容／授業スケジュール	主に地球温暖化についての諸問題と地球・太陽系環境の基礎について触れる。 1. ガイダンス(1回) 2. 地球温暖化について 基礎編(5回) 3. 地球環境システムの構造と原理(個体地球、大気・海洋、地球磁気圏)(9回) 4. 前期の確認・復習(1回) 5. 地球と太陽系惑星との比較(太陽、太陽系)(4回) 6. 地球大気の観測・オーロラについて(2回) 7. 地球温暖化について 応用編(5回) 8. トピックス(3回)
準備学習	日頃から地球温暖化などの環境問題について新聞・雑誌などで情報を収集するように努めることを推奨します。講義後は、適宜講義ノートを見直すこと。
履修上の留意点	なるべく1つ、1つ説明しますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力が必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて適宜調節します。人数によっては発表形式の講義も検討します。発表形式の場合、詳細は講義で説明します。レポートやテストの内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题するテストまたはレポート(口頭発表の場合も有り)によって行う。使用しない。適宜資料を配付する。
教科書／テキスト	
参考書	・ 住明正、「さらに進む地球温暖化」、ウェッジ、1470円、ISBN 978-4863100015 ・ 江守正多、「地球温暖化の予測は正しいか?」、化学同人、1700円、ISBN 978-4759813203 ・ 赤祖父俊一、「正しく知る地球温暖化-誤った地球温暖化論に惑わされないために」、誠文堂新光社、1470円、ISBN 978-4416208182 ・ 丸山茂徳、「地球温暖化論に騙されるな!」、講談社、1470円、ISBN 978-4062147217
その他	特に地球温暖化について考える講義をしています。講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	<small>なかむら としき</small> 中村 敏枝

講義の到達目標(ねらい)	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期) 人間の活動と地球環境—食をめぐる問題 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業—海外依存度
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しません。 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
そ の 他	その他については授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221801・221901・222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	<small>さかまき よしあき</small> 坂巻 義章

講義の到達目標(ねらい)	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構造 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験
準 備 学 習	生物や環境に関する本や新聞記事など科学一般の知識に興味を持っていて欲しい。生物学的な分野が中心になるが高校などでの生物の知識は特に無くても困らないように説明する。
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	筆記試験(前、後期の最終回を予定)を中心に出席点と合わせて行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。ただし、出席については登録人数がおおむね200人を超えた場合、時間的制約や信頼度の関係で取らないものとする。この場合は出席点なくなるので最初の講義時にその変更を告知する。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	指定しない。 指定しない。必要な場合にプリントを配布する。 講義形式の授業とする。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1～10) 宇宙と地球環境：自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成 (11～15) 地球環境の変動：宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動 (16～25) 地球環境問題：オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題 (26～30) 宇宙と地球の未来：文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査
成績評価の方法	中間試験（筆記試験かレポートか未定。講義の中で知らせる。）および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は20点までの範囲で考慮する。
教科書／テキスト 参 考 書	木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』（東京教学社）2,300円＋税 小宮山宏「地球持続の技術」岩波新書647、660円＋税 その他講義の中で適宜紹介する。
そ の 他	「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

履修コード	222201・222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず ぜんわ</small> ・篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small> ・持丸 真里 <small>もちまる まり</small> ・山縣 毅 <small>やまがた たけし</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義では自然科学部門の4人の教員（天文学、地質学、生物学、化学）がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。
講義の内容／授業スケジュール	オリエンテーション (1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源 (篠原正雄) (1) 宇宙の構造と起源 (2-3回)、(2) 宇宙の進化と物質の進化 (4-6回)、(3) 太陽系の起源と進化 (7-8回)；第2講 地球の進化 (山縣毅) (1) 大陸と海洋の形成 (9-10回)、(2) 大陸の漂流 (11-12回)、(3) 変動する地球 (13-14回)、(4) 地球と生命の共進化 (15-16回)；第3講 生命の起源と進化 (清水善和) (1) 生命の起源 (17-19回)、(2) 生物の進化と進化論 (20-21回)、(3) 人類の進化 (22回)、(4) 生物多様性 (23回)；第4講 産業の発達と環境の変化 (持丸真里) (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史 (24回)、(2) エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3) 化石燃料の化学 (26-27回)、(4) 大気環境の変化 (古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ) (28-29回)、(5) 未来のエネルギー (30回)
履修上の留意点	本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書／テキスト 参 考 書	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	とひい かりゅうぞう 鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)	微積分について学ぶ。日常的なことから経済などの複雑なテーマまで、微積分を通してさまざまな問題を解決していく能力を養う。 また、微積分学という数学の基本を学ぶことにより、社会に出てから自立して問題解決していく力、論理的思考力・思考法を身に付けることも目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1~4) 高校までの復習、微積分学の歴史、関数のグラフ (5~6) 解析関数(三角関数、指数関数、対数関数)のグラフ (7~9) 微分、微分係数と傾き、微分の公式、導関数、n次導関数 (10~15) 関数の増減とグラフの凹凸、偏微分 (16~18) 不定積分の計算、初等関数の不定積分 (19~20) 置換積分 (21~22) 部分積分 (23~25) 定積分、曲座標表示 (26~28) 面積と回転体の体積、曲線の長さ (29~30) 微積分まとめ
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前後期の試験の結果、レポートの提出、および授業への出席状況を基本に評価する。
教科書／テキスト	大村 平著『今日から使える微積分』(講談社) 2,300円(税別) ISBN4-06-155652-5
参 考 書	適宜紹介していく。
そ の 他	関数電卓などを用意する必要はないが、関数を描画するソフト(授業でいくつか紹介する)を 用いるようにしておくことが望ましい。 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	とひい かりゅうぞう 鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)	線形代数について学ぶ。線形代数の考え方は、とりわけコンピュータの分野(CGなど)では不可欠であるが、日常にある他のさまざまな例題から必要性を実感してもらいたい。 また、数学を学ぶ上で最も重要である「線形性」について学ぶことで、数学的な思考法を身に付けることも目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1~5) ベクトル、ベクトルと内積、ベクトルと図形 (6~10) 行列、行列の演算、正方行列、線形変換 (11~15) 行列式、行列式の性質、連立1次方程式、クラメールの公式 (16~19) 逆行列、一次独立と基底 (20~24) 行列の階数、基底の変換 (25~26) 固有値・固有ベクトル、行列の対角化 (27~30) 線形代数の応用例、2次式
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前後期の試験の結果、レポートの提出、および授業への出席状況を基本に評価する。
教科書／テキスト	小林 道正著『よくわかる線形代数の基本と仕組み』(秀和システム) 1,800円(税別) ISBN4-7980-1186-X
参 考 書	適宜紹介していく。
そ の 他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。 また、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容／授業スケジュール	前期：3回 論理の基礎と言語、形式論理、推論形式 2回 情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、 2回 情報、通信機器の理解と数理 2回 線型代数とその応用、ベクトル、行列 2回 線型計画法とその応用 2回 関数の定義と処理、 2回 まとめ、演習 後期：2回 数列と級数 2回 級数の応用、金利と返済 2回 確率現象と社会現象、リスクの計算、保険の数理 2回 微分法の基礎 2回 積分法の基礎とその応用 2回 微分積分の応用 3回 社会・経済現象の数理トピックス、問題演習
準備学習	講義の前に、前回のノートを見直し、内容の確認をし、疑問点を放置しない事。 高等学校の教科書は処分せずに、折に触れ見直す事。
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を80%、レポート・問題演習20%とし評価する。 出席状況については、良好の場合1.1倍、平均的で1倍、平均を下回る場合は0.9倍する。出席不足は単位認定の対象外。
教科書／テキスト	教科書は使用しない。教材、資料等を数時限に一回の割合で配布する。 また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。
参考書その他	参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。 印刷教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。

1. ガイダンス (1回)
2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現 (5回)
3. 集合と論理 (7回)
4. 順列・組み合わせ (2回)
5. 確率・統計 (13回)
6. 数学のトピックス (2回)

準備学習

前回の講義内容を見直してから、次の講義を受けるように努めること。宿題として出された問題は必ず解くこと。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野であるので講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。

成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポート、発言点およびランダムに出す小テストによって評価する。

教科書/テキスト

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書

- ・ 結城浩、「プログラマの数学」, ソフトバンク, ¥2200, ISBN 4-797329734
- ・ 鈴木 徹,「ソフトウェアのための基礎数学」, 工学図書, ¥2300, ISBN 4-7692-0430-2
- ・ 石原光/小堆光喜,「入門 情報処理数学」, 実教出版, ¥2200, ISBN 4-407-02347-3
- ・ 小島寛之,「完全独習 統計学入門」, ダイヤモンド社, ¥1800, ISBN 4-478-82009-0

その他

コンピュータ応用の講義と連携して受講することをお勧めします。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
{<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>}

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に付けることを目標とする。
教科書に従って以下の項目を解説する。
各節を2～3回かけて授業を行う。

- 第1章 集合と論理
§1 集合 §2 論理
- 第2章 関係と写像
§1 関係 §2 写像
- 第3章 代数系
§1 代数系 §2 半群と群 §3 環と体
- 第4章 順序集合と束
§1 順序 §2 束とブール代数
- 第5章 グラフ
§1 グラフ §2 平面グラフ §3 有限オートマトン

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験の結果で評価する。

教科書/テキスト

石村園子「やさしく学べる離散数学」 共立出版 2,100円(税込)

参考書

適宜紹介する。

その他

数学が苦手である人を想定して講義を進めていくので、解らないときは質問して下さい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222801・222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>

講義の到達目標(ねらい) 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は?」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等にも及ぶ。

講義の内容／授業スケジュール (1-8)「光を光線で表す」光線 影 レンズ 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色 (9-15)「光は波である」波動 光波 音波・地震波・水の波 空の青 シャボン玉の色 (16-23)「光は電磁波である」電気と磁気 電場と磁場 電磁波 ささまざまな電磁波 (24-30)「光は光子である」熱と温度 人体放射 原子と光 電磁波は粒子・電子は波 ブラックホール 光と宇宙

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらぬ。期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

成績評価の方法 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

教科書／テキスト 講義の中で適宜紹介する。

参考書 理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

その他

履修コード	223001・223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	持丸 真里 <small>もちまる まり</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。

講義の内容／授業スケジュール (1)有機化学・生化学の導入 (2~4)物質の成り立ち-原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5)水の性質 (6~8)有機化学の基礎 (9~10)繊維 (11)染料 (12~13)洗剤と洗濯のしくみ (14)合成洗剤と水質汚濁 (15)中間試験 (16)栄養の化学 (17~18)タンパク質-酵素・免疫を中心に (19~20)遺伝子 (21)ゲノム (22~23)遺伝子情報の社会への影響 (24~25)遺伝子組み換え実験とは何か (26~27)遺伝子組み換え食品 (28~29)食品の安全性 (30)化学物質の安全性評価

準備学習 毎回の講義の後に、YeStudyで講義内容のキーワードを掲載する。欠席したときや復習の時に役立ててほしい。

履修上の留意点 「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストビックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書／テキスト なし。

参考書 講義内で随時紹介する。

その他 YeStudyを補助的に利用するので、なるべくコース登録すること。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	<small>しのはら まさお</small> 篠原 正雄

講義の到達目標(ねらい)

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~2) 宇宙の科学：宇宙、観測 (3~7) 宇宙観の歴史：天動説と地動説、銀河系の発見、宇宙膨張の発見 (8~15) 宇宙：宇宙の起源、宇宙の進化、宇宙の大規模構造、銀河、銀河系、恒星 (16~22) 元素：宇宙の元素、ビッグバン元素合成、恒星と元素合成、超新星と元素合成 (23~28) 太陽系：太陽、恒星と惑星、太陽系と系外惑星 (29~30) 宇宙と人類

成績評価の方法

中間試験（筆記試験かレポートか未定。講義の中で知らせる。）および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は20点までの範囲で考慮する。

教科書/テキスト

岡村定矩他編『人類の住む宇宙（シリーズ現代の天文学第1巻）』（日本評論社）2,520円

参 考 書

講義の中で適宜紹介する。

そ の 他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

自然分野

履修コード	223401・223701・223901・224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	谷本 玲大

自然分野

講義の到達目標(ねらい) 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。

講義の内容／
授業スケジュール

01:【ガイダンス】講義・演習内容の説明、履修許可/パスワードの扱い/パスワードの作り方/USBメモリの紹介

02:【パソコンの初歩(1)】起動～ログオン～終了/Windowsリファレンス(ウィンドウサイズの操作)/日本語入力/URLの仕組み/Web閲覧・検索/クリップボードの利用とテキスト・画像の貼り付け/ファイルの保存と提出

03:【パソコンの初歩(2)】スクリーンショットの活用/電子メールの送受信(学内からアクセス/学外からアクセス)/電子メールのマナー(CC、BCC、引用など)

04:【パソコンの初歩(3)】日本語入力とWord実習/ショートカットキー/書式のコピー/添付ファイル付きメールの送信/ファイルの種類と名前の変更/拡張子について

05:【Word実習(1)】中央揃え/右揃え/段組み/段区切り/改ページ/ページ設定/ヘッダーとフッター/印刷プレビュー

06:【パソコンの初歩(4)】フォルダの管理/圧縮ファイルの扱い/タイピング練習/USBメモリの使用方法

07:【情報倫理】ウイルス対策/迷惑メール対策/スパイウェア対策/不正侵入対策/暗号化など。【Word実習(2)】ワードアート/オートシェイプ/図形の調整/順序/グループ化/クリップアート/Wordでの挨拶状作成

08:【Word実習(3)】文書設定/原稿用紙設定/縦書きの設定/ルビ/行間設定/章立て/引用とインデントの設定/脚注と引用文献/割注/引用と著作権について

09:【Word実習(4)】文字種の変換/繰り返し符号、難しい漢字や発音記号の入力方法(記号と特殊文字)/表と行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/表と行や列の挿入と削除/網掛け、印刷プレビュー

10:【Excelの基礎(1)】画面の各部分の説明/ブックとワークシート/ブックの作成と保存/文字列や数値の入力/セルの編集・コピー・切り取り・貼り付け/書式設定/書式のコピーと貼り付け/オートフィル/コメントの挿入/行の高さや幅の調整/表示と非表示/行・列・セルの挿入と削除/罫線/セルへの網掛け/ウィンドウ枠の固定/シートの挿入/削除/シート見出しの色変更

11:【Excelの基礎(3)】オートフィルタ/数式の基本/並べ替え/関数の利用/オートSUM/相対参照と絶対参照/グラフ作成/Wordへの貼り付け

12:【Excelの応用(1)】オートフィル/式の作成/関数の挿入/小数点桁位置の調節/シートの挿入とシート見出しの色変更//行列を入れ替えた貼り付け/グラフ作成

13:【Excelの応用(2)】ウィンドウ枠の固定/コメントの挿入/条件付き書式/関数の利用と式の作成

14:【Excelの応用(3)】式の自作

15:【半期のまとめ】

※進行に余裕があれば、PowerPointにも触れる。

※但し、進度により、多少の調整を行う場合がある。

※初回講義以降の予定については下記「関連リンク」にて指示する。

履修上の留意点

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法	<p>(抽選で割り振られた各学期、各時限の) 初回講義に必ず出席のこと。初回講義欠席者は単位認定しない(学習権は認める)。 受講態度や出席状況等の平常点(約40%)、課題・レポート等(約60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。 遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。 パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。 公欠の扱いは学則による。 講義中に他学生の学習権を侵害するような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。 他人のパスワードでログインして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。</p>
教科書/テキスト	<p>Web上に教材を用意する。</p>
参 考 書	<p>その他書籍などについては随時指示する。 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04刊、714円、ISBN-13:978-4061496033</p>
そ の 他	<p>※「インターネット活用編」や「新版」では【ない】点に注意。 ※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 ※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧めめる。</p>
関 連 リ ン ク	<p>http://www.tanimoto.to</p>

履修コード	223501
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 ^{やまもと} 博信 ^{ひろのぶ}

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル(訓練によって身につけることができる、技術上の能力)やコンセプト(全体を貫く「基本的な概念」のこと)・ケーパビリティ(能力、才能、可能性、将来性)を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して実施します。

アプリケーションソフトウェア (OFFICE2007) を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

第1回 端末の利用方法と履修登録

第2回 ネットワークの歴史と仕組み

第3回 ネットワークの利用と電子メール

第4回 ネットワーク倫理と著作権

第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索

第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索

第7回 情報検索入門(3) データベースの利用と学術論文の検索

第8回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア (MS-WORD2007) を用いた実習

第9回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア (MS-WORD2007) を用いた実習

第10回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア (MS-WORD2007) を用いた実習

第11回 課題2:表計算ソフトウェア (MS-EXCEL2007) を用いた実習

第12回 課題2:表計算ソフトウェア (MS-EXCEL2007) を用いた実習

第13回 課題2:DATABASE SOFTWARE (ACCESS2007) を用いた実習

第14回 課題2:DATABASE SOFTWARE (ACCESS2007) を用いた実習

第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験(確認試験として実施) 35%
- ・質問書および出席状況 30%

教科書/テキスト

授業の中で適宜紹介します。

参 考 書

『30時間でマスター:ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』¥800 (ISBN9784407307733)

『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣(実教出版) 151P、¥1890 (ISBN4407301147)

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄(パーソナルユーザ利用出版社) 237P、¥1680 (ISBN4894717220)

そ の 他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	223601・224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>

講義の到達目標(ねらい) インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー (7～15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法 その他 評価は授業時間中に出題する課題によって行う。実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	223801・224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	金尾 美穂 <small>かなお みほ</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代社会においては、すべての人が多様な場・状況で情報処理システムとかわり合っている。正しく適切な対応をするためには情報およびその扱いに関する基礎的な素養が必要である。本講義は、文理系を問わず大学生に必要な科目として、講義と演習を通しコンピューターシステムとデータの枠組みに関する基礎的な知識を理解し、さらにコンピューターシステムを用いた資料作成などの基本的なスキルを習得し楽しむことを目的とする。機器の操作やソフトウェアの利用についての学習もこの目的に沿う形で行う。

講義の内容／授業スケジュール 主な学習項目は以下のとおりである。

- 計算機システムの概要－計算機の基本構成、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク
- コンピューターにおけるデータの扱いと操作
- 応用ソフトウェア－ネットワーク情報ブラウザ、描画システム、表計算システム等
- コンピューターリテラシー－著作権・セキュリティ・ネットワークと社会

実習用の操作システムとしては windows を用いる。電子メールやインターネットを扱う際の基本的な事項と留意点について講義を行い、テキストエディタの編集や office を用いた簡単な計算やグラフ、レポート、プレゼンテーション資料の作成等の演習を行う。講義の後半では、簡単なプログラミングの例として HTML を用いたウェブサイトの作成に取り組む。

スケジュール
 1回：ガイダンス
 2回：コンピューターとファイル操作、テキストエディタの使用法
 3回：インターネット社会の落とし穴
 4回：文系にも必要なエクセル計算と円グラフの書き方
 5回：オフィスワードを用いたレポート（文書書類）作成
 6回：描画システムの利用
 7回：第一回レポート課題
 8回～：HTMLを用いたウェブサイト作成

履修上の留意点 受講に際して総合情報センターにおいてコンピューターの利用を申請し、KOMAnet ID を取得することが必要です。ID やパスワードを忘れて再申請した場合には翌日からしか大学のコンピューターを使えませんので、講義の前日17時までに申請してください。

成績評価の方法 数回のレポートと出席等と併せて成績評価を行う。

履修コード	224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信 <small>やまもと ひろのぶ</small>

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル(訓練によって身につけることができる、技術上の能力)やコンセプト(全体を貫く「基本的な概念」のこと)・ケーパビリティ(能力、才能、可能性、将来性)を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容／授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して行います。アプリケーションソフトウェア (OFFICE2007) を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベース (ACCESS 2007) の利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1: ワードプロセッサソフトウェア (MS-WORD2007) を用いた実習
- 第9回 課題1: ワードプロセッサソフトウェア (MS-WORD2007) を用いた実習
- 第10回 課題1: ワードプロセッサソフトウェアを用いた実習
- 第11回 課題2: 表計算ソフトウェア (MS-EXCEL2007) を用いた実習
- 第12回 課題2: 表計算ソフトウェアを用いた実習
- 第13回 課題2: DATABASE SOFTWARE (ACCESS2007) を用いた実習
- 第14回 課題2: DATABASE SOFTWARE (ACCESS2007) を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

- 以下の比率で総合的に評価します。
- ・課題 10%
 - ・授業最終日に実施する確認試験 25%
 - ・定期試験 35%
 - ・質問書および出席状況 30%

教科書/テキスト

授業の中で適宜紹介します。
『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣(実教出版) 151P、¥1890 (ISBN4407301147)、『30時間でマスター: ホームページ・ビルダー Ver. 7 / 8 / 9』 ¥800 (ISBN9784407307733)

参考書

『IT リテラシーへの招待』大田幸雄(パーソナルユーザ利用出版社) 237P、¥1680 (ISBN4894717220)

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	225601・225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(ねらい)	主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回) 2. 総合情報センターの利用方法 (2回) (ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPCの基本操作) 3. タイプ練習&日本語入力 (3回) 4. 電子メール (Active! mailの使い方、公用メールの書き方) (2回) 5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回) 6. WWW ウェブサイト作成 (6回)
準備学習	ブラインドタッチは継続して練習することで身につきます。できるかぎり毎日、少しでもよいので練習を続けること。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet IDの取得は必須です。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	<p>評価は授業時間中に出题する2～3回程度の課題およびタイピングテストによって行う。</p> <p>使用しない。適宜資料を配付する。</p> <p>参考書は必要に応じて紹介する。</p> <p>実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。</p> <p>講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html</p>

自然分野

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)	<p>授業前半は、Web ページを記述するための言語である HTML(Hypertext Markup Language)を理解し、写真やアニメーション、その他の素材を用いたホームページを自分で開設出来るようになることを目的とします。</p> <p>後半では、Word や Excel の基本的な使い方から、PDF ドキュメントの作成、および PowerPoint を用いたプレゼンテーションなどさまざまな知識を身につけます。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>(1～6) HTML の基礎を学ぶ。CSS や Flash などを用いたホームページの作成</p> <p>(7～9) Word や Excel の基本的な使い方、および PDF ドキュメントの作成</p> <p>(10～15) PowerPoint を用いたプレゼンテーションの組み立て方</p>
履修上の留意点	<p>毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義では、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めてどのような内容にするか考えておいて下さい。</p>
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	<p>作成したホームページやテンプレートを評価の基準にします。授業への出席状況も考慮します。</p> <p>プリントを配布し、適時紹介します。</p> <p>加藤才智・佐藤知則 著『Web制作の基本がわかる本』(毎日コミュニケーションズ) 1,980円(税別) ISBN978-4-8399-3054-7</p> <p>他、授業で適宜紹介していきます。</p> <p>講義のなかで理解できないところは、遠慮なく質問してください。</p> <p>授業日程：7月30日(金)・8月2日(月)～5日(木)の4～6時限 予備日：8月6日(金)の4～6時限</p>

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(ねらい)	主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回) 2. 総合情報センターの利用方法 (2回) (ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPCの基本操作) 3. タイプ練習&日本語入力 (3回) 4. 電子メール (Active! mailの使い方、公用メールの書き方) (2回) 5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回) 6. WWW ウェブサイト作成 (6回)
準備学習	ブラインドタッチは継続して練習することで身につきます。できるかぎり毎日、少しでもよいので練習を続けること。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、集中講義形式および実習で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。2回以上休むことが当初から予想される学生は、履修申請しないこと。KOMAnet IDの取得は必須です。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する2~3回程度の課題によって行う。
教科書／テキスト	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書	参考書は必要に応じて紹介する。
その他の	授業日程：7月30日(金)・8月2日(月)~5日(木)の1~3時限 予備日：8月6日(金)1~3時限

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	長坂 浩史

講義の到達目標(ねらい)	Web ページ作成 (HTML、CSS 入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的なファイル操作 (課題の提出方法も含む) の説明 … (第1回) ● 最終提出課題 (Web ページ) の説明 … (第1回) ● Excel の基本操作 … (第2、3回) ● Excel を用いた簡単な統計処理 (1,2次元データのさまざまな特性値の計算、相関・回帰分析、グラフ作成、曲面片の描画) … (第4、5、6回) ● HTML、CSS 入門 … (第7、8、9回) ● 自由課題 (Web ページ) 作成 … (第10~15回)
準備学習	初心者を対象にした講義なのでとくに準備学習を要求しませんが、Windows の基本操作やキーボード入力にはある程度慣れていることが望ましい。
履修上の留意点	初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作 (ファイルの基本操作) や、テキストファイルの扱いなどについては軽く触れる程度です。
成績評価の方法	提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあると課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。
教科書／テキスト	指定しません。教場で課題ごとに簡単な説明ファイルを配布します。
参考書	同上
その他の	授業日程：7/30(金)、8/2(月)~8/5(木)の1~3時限 予備日：8/6(金)1~3時限

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義の到達目標(ねらい)	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3)ガイダンス、PCの基本操作(4～6)インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー(7～15)HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他の	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7月30日(金)、8月2日(月)～8月5日(木)1～3時限 予備日：8月6日(金)1～3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義の到達目標(ねらい)	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3)ガイダンス、PCの基本操作(4～6)インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー(7～15)HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他の	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7月30日(金)、8月2日(月)～8月5日(木)4～6時限 予備日：8月6日(金)4～6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>はなきりよう</small> 花木 良

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	日常、コンピュータを使うことは多くあると思う。 この講義を通して、コンピュータの基本的理解、操作、及びコンピュータリテラシーを身につけ、効率的にコンピュータを扱えるようになることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	7/30 ガイダンス、コンピュータの基礎知識、基本的操作と便利な操作 8/2 MICROSOFT WORD の基本的操作 8/3 MICROSOFT EXCEL の基本的操作 8/4 MICROSOFT POWER POINT の基本的操作 8/5 総まとめと確認試験 8/6 予備日
履修上の留意点	※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある (★詳しくは「その他」を参照のこと★)。 初心者～中級向け。 履修当初は文字の入力ができるくらいのレベルで構わない。
成績評価の方法	※ 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。 初回講義欠席者は単位認定しない。 受講態度や出席状況等の平常点 (50%程度)、課題・レポート (50%程度)。 総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外とする。 遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。 パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとするので、気をつけること。 他人のパスワードでログオンして受講した場合は、コンピュータリテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可とする。
教科書／テキスト その他の	特に指定はしない YeStudy を活用する。
	授業日程：7月30日（金）、8月2日（月）～8月5日（木）1～3時限 予備日：8月6日（金）の1～3時限
	※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。 但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある場合、各自の自習の一環として認める。

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	はなき 花木 良

講義の到達目標(ねらい)	日常、コンピュータを使うことは多くあると思う。 この講義を通して、コンピュータの基本的理解、操作、及びコンピュータリテラシーを身につけ、効率的にコンピュータを扱えるようになることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	7/30 ガイダンス、コンピュータの基礎知識、基本的操作と便利な操作 8/2 MICROSOFT WORD の基本的操作 8/3 MICROSOFT EXCEL の基本的操作 8/4 MICROSOFT POWER POINT の基本的操作 8/5 総まとめと確認試験 8/6 予備日
履修上の留意点	※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある (★詳しくは「その他」を参照のこと★)。 初心者～中級向け。 履修当初は文字の入力ができるくらいのレベルで構わない。
成績評価の方法	※ 教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。 初回講義欠席者は単位認定しない。 受講態度や出席状況等の平常点(50%程度)、課題・レポート(50%程度)。 総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外とする。 遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。 パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとするので、気をつけること。 他人のパスワードでログオンして受講した場合は、コンピュータリテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可とする。 特に指定はしない YeStudyを活用する。
教科書／テキスト その他の	授業日程：7月30日(金)、8月2日(月)～8月5日(木) 4～6時限 予備日：8月6日(金)の4～6時限 ※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。 但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある場合、各自の自習の一環として認める。

履修コード	345701・345901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	金尾 美穂

講義の到達目標(ねらい) 現代社会においては、すべての人が多様な場・状況で情報処理システムとかかわり合っている。正しく適切な対応をするためには情報およびその扱いに関する基礎的な素養が必要である。本講義は、文理系を問わず大学生に必要な科目として、講義と演習を通しコンピュータシステムとデータの枠組みに関する基礎的な知識を理解し、さらにコンピュータシステムを用いた資料作成などの基本的なスキルを習得し楽しむことを目的とする。機器の操作やソフトウェアの利用についての学習もこの目的に沿う形で行う。

講義の内容／授業スケジュール

- 主な学習項目は以下のとおりである。
- 計算機システムの概要－計算機の基本構成、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク
 - コンピューターにおけるデータの扱いと操作
 - 応用ソフトウェア－ネットワーク情報ブラウザ、描画システム、表計算システム等
 - コンピュータリテラシー－著作権・セキュリティ・ネットワークと社会

実習用の操作システムとしては windows を用いる。電子メールやインターネットを扱う際の基本的な事項と留意点について講義を行い、テキストエディタの編集や office を用いた簡単な計算やグラフ、レポート、プレゼンテーション資料の作成等の演習を行う。講義の後半では、簡単なプログラミングの例として HTML を用いたウェブサイトの作成に取り組む。

スケジュール

- 1 回：ガイダンス
- 2 回：コンピューターとファイル操作、テキストエディタの使用法
- 3 回：インターネット社会の落とし穴
- 4 回：文系にも必要なエクセル計算と円グラフの書き方
- 5 回：オフィスワードを用いたレポート（文書書類）作成
- 6 回：描画システムの利用
- 7 回：第一回レポート課題
- 8 回～：HTML を用いたウェブサイト作成

履修上の留意点

受講に際して総合情報センターにおいてコンピューターの利用を申請し、KOMAnet ID を取得することが必要です。ID やパスワードを忘れて再申請した場合には翌日からしか大学のコンピューターを使えませんので、講義の前日17時までに申請してください。

成績評価の方法

数回のレポートと出席等と併せて成績評価を行う。

履修コード	345801・346001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(ねらい) 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)
(ホームディレクトリ、パソコンの使用上の心得、WindowsPC の基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active!mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

準備学習

ブライントタッチは継続して練習することで身につきます。できるかぎり毎日、少しでもよいので練習を続けること。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

成績評価の方法

評価は授業時間に出題する2～3回程度の課題およびタイピングテストによって行う。

教科書／テキスト

使用しない。適宜資料を配布する。

参考書

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。

講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	225801・225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義の到達目標(ねらい)	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングについて基礎知識・技術を学ぶ。また、マクロのプログラミングを通して、アプリケーション上でどのようにプログラムが利用されているかを知る。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (1回) 2. KOMAnetの使い方、タイピングについて (2回) 3. 公用電子メールの書き方 (2回) 4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回) 5. Visual Basicによるプログラミング (7回) 6. Excelのマクロについて Visual Basic for Application (2回) 7. Excel VBAの実習 (13回)
準備学習 履修上の留意点	講義を休んだ場合などは、遅れた分の作業を自主的に行っておくこと。プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	評価は授業時間中に出題する3回程度の課題によって行う。 立山秀利、「ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」、秀和システム、2310円、ISBN 978-4798017976
参 考 書	Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳、「VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1基礎編」、日経BPソフトプレス、2480円、ISBN4-89100-257-3
そ の 他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	馬場 悠男

講義の到達目標(ねらい)	ヒトとチンパンジーの共通祖先だった最初期の人類が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たちが、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サピエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文 VS 弥生など。26-28回：病いの起源、給食を正課にせよなど。29,30回：国立科学博物館見学。その他のトピックを扱うこともある。
履修上の留意点	人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。2回分は上野の国立科学博物館に見学に行く。私が企画・監修・出演したテレビ番組を活用する。
成績評価の方法	学期末の試験とともに授業中の小テストさらに出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。
教科書／テキスト 参 考 書	馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8 馬場悠男編著訳『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円 ISBN4-532-51151-8；馬場悠男解説訳『ホモ・フロレシエンシス上下』NHK ブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345；馬場悠男・道方しのぶ訳『人類進化大全』悠書館12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

履修コード	226201
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	<small>たかはし よしひろ</small> 高橋 良博

講義の到達目標(ねらい) 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容／授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。
各回ごとの講義予定は以下の通りである。

- 1 オリエンテーション (講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など)、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚 (1)、5 感覚 (2)、6 感覚 (3)、7 感覚 (4)、8 感覚 (5)、9 知覚 (1)、10 知覚 (2)、11 知覚 (3)、12 知覚 (4)、13 学習 (1)、14 学習 (2)、15 学習 (3)、16 学習 (4)、17 記憶 (1)、18 記憶 (2)、19 記憶 (3)、20 動機づけ (1)、21 動機づけ (2)、22 感情と情動 (1)、23 感情と情動 (2)、24 ストレス・適応 (1)、25 ストレス・適応 (2)、26 ストレス・適応 (3)、24 パーソナリティ (1)、25 パーソナリティ (2)、26 パーソナリティ (3)、27 パーソナリティ (4)、28 パーソナリティ (5)、29 まとめ、30 試験

履修上の留意点 履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛に講義を受講すること。

成績評価の方法 筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。

教科書／テキスト 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別

参考書 講義の中で指示する。

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	<small>なかざわ せつこ</small> 中澤 世都子

講義の到達目標(ねらい) 私たちは日々の生活の中でいろいろな情報を取り入れて生きています。見る、聞く、話す、そして人と関わるなど、あたり前のように行っていますが、そこには驚くべき優れた能力が備わっています。心理学はこうした「あたり前」を問うところから始まりましたが、ここを科学的に見ることは面白くもあり、またとても難しいことでもあります。この講義では、実際に心理テストやワークを体験しながら、さまざまな心理学の知見を概観します。その体験を積み重ねていくことにより、自分や社会に対する認識を深めていくひとつの契機となることを期待しています。

- 講義の内容／授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 心理学とは (対象, 定義, 研究方法, 歴史) (2~4)
 3. 日常体験の不思議 (見え, 学習, 記憶, 思考) (5~10)
 4. パーソナリティ (自己, パーソナリティの理解, 性格・知能検査) (11~13)
 5. 発達 (発達とは, 親子関係と子供, 性役割, 青年期, エイジング) (14~18)
 6. 対人関係 (印象形成, 対人魅力, 恋愛) (19~21)
 7. 人を動かす (説得, 同調と服従) (22~23)
 8. 援助と攻撃 (援助行動, 攻撃行動) (24~25)
 9. こころの健康 (26~28)
 10. 社会現象 (29~30)

(年間スケジュールや理解度に応じて変更する可能性があります)

履修上の留意点 インプットは静粛に、アウトプットは活発に。メリハリの利いた授業態度を期待しています。

成績評価の方法 筆記試験とレポート及び平常点により総合的に評価します。

教科書／テキスト “藤本忠明・栗田喜勝・瀬島美保子・橋本尚子・東正則 『ワークショップ心理学』ナカニシヤ出版 2000円税別 ISBN4-88848-191-1”

参考書 講義中に提示します。

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己 <small>かとう ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、131年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）

【記憶】1. 記憶の過程、2. 記憶の分類、3. 記憶の仕方、4. 記憶の変容、5. 忘却の仕方と理由

【感覚・知覚・認知】1. 感覚（感覚のモダリティ、閾値）、2. 知覚（図と地、群化、恒常性）、3. 認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）

【学習・思考】1. レスポンド条件づけ、2. オペラント条件づけ、3. その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）、4. 初期学習

【動機づけ】1. 動機づけの分類、2. 葛藤、3. コンプレックス

【情動】1. 感情の生起、2. 感情の測定

後期

【発達】1. 発達段階、2. 発達要因（遺伝と環境）、3. 愛着、4. 知覚の発達、5. 発達の研究法

【パーソナリティ】1. パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2. パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3. パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4. 知能

【社会】1. 他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2. 相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論

【心理学論】1. 「心理学」の語源、2. 定義、3. 心理学の基礎分野、4. 心理学の研究法、5. 心理学の歴史

準備学習

毎週実施される「ワーク」（前回の授業内容理解度を確かめる小テスト）に備えて、復習を怠らないこと。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。初回授業から心理学の講義を行うので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書／テキスト

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃（編）2008年『心理学 第3版』東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参 考 書
そ の 他

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

自然分野

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	杉山 雅美 <small>すぎやま まさみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマンウォッチングをもとに、各人各様の「心理学」を構築し、応用しているのではないのでしょうか。また、書籍や雑誌、テレビ番組等からの情報を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、すでに「心理学」に対する何らかのイメージや興味、知識をもっている人も多いことでしょう。 一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いがあり、それらのなかには科学的裏付けの希薄なものも散見されます。 本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を目的とします。
講義の内容／授業スケジュール	年間スケジュールや進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。 第1回：ガイダンス・心理学とは何か、第2～4回：感覚・知覚、第5～7回：学習、第8～10回：記憶、第11～13回：思考・言語、第14～16回：情動・動機づけ、第17～19回：パーソナリティ、第20～22回：発達、第23～26回：臨床、第27～29回：社会、第30回：心理学の歴史・研究法
準備学習	各学習内容について、その現象・法則が該当しそうな身近な具体例を自分なりに考えながら授業に臨むようにすると、単なる知識だけでない、より実感のともなった深い理解へとつながり、自分や周囲の他者自身、またその行動に対する客観的な捉え方のトレーニングにもなると思います。
履修上の留意点	履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん講義中は集中し、私語を慎んで臨んで下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。 教科書はとくに指定しません。 講義の中で適宜紹介していきます。

履修コード	226601
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	高橋 良博 <small>たかはし りょうひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容／授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。 1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験
履修上の留意点	(上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。) 履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事もある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書／テキスト 参 考 書	鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別 講義中に指示する。

履修コード	226701・226901・345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	すずき じゆんいち 鈴木 順一

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容/
授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】[1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり)[3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き(精神分析的人格理論)[9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】[10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。初回の授業で述べるルールを必ず確認して下さい。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

学年末定期試験及び追・再試験はありませんが、予告なしに実施される平常時の試験が数回あります。欠席した場合には、理由を問わず1欠席につき1冊の心理学参考図書を読み、レポートを提出する必要があります。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

使用しません。

必要に応じて、授業内で指示します。

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己 <small>かとう ひろき</small>

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、131年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）

【記憶】1. 記憶の過程、2. 記憶の分類、3. 記憶の仕方、4. 記憶の変容、5. 忘却の仕方と理由

【感覚・知覚・認知】1. 感覚（感覚のモダリティ、閾値）2. 知覚（図と地、群化、恒常性）、3. 認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）

【学習・思考】1. レスポンデント条件づけ、2. オペラント条件づけ、3. その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）、4. 初期学習

【動機づけ】1. 動機づけの分類、2. 葛藤、3. コンプレックス

【情動】1. 感情の生起、2. 感情の測定

後期

【発達】1. 発達段階、2. 発達要因（遺伝と環境）、3. 愛着、4. 知覚の発達、5. 発達の研究法

【パーソナリティ】1. パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2. パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3. パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4. 知能

【社会】1. 他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2. 相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論

【心理学論】1. 「心理学」の語源、2. 定義、3. 心理学の基礎分野、4. 心理学の研究法、5. 心理学の歴史

準備学習

毎週実施される「ワーク」（前回の授業内容理解度を確かめる小テスト）に備えて、復習を怠らないこと。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。初回授業から心理学の講義を行うので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書/テキスト

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃（編）2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書
その他

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	227001
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。

1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 感覚(5) 9 知覚(1) 10 知覚(2) 11 知覚(3) 12 知覚(4) 13 学習(1) 14 学習(2) 15 学習(3) 16 学習(4) 17 記憶(1) 18 記憶(2) 19 記憶(3) 20 動機づけ(1) 21 動機づけ(2) 22 感情と情動(1) 23 感情と情動(2) 24 ストレス・適応(1) 25 ストレス・適応(2) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験

(上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。)

履修上の留意点
成績評価の方法

履修者は、受講中は私語をつつしむ静粛を保つこと。

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合に得点化して、最終的な評価を行う。

教科書／テキスト
参 考 書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別
講義中に指示する。

履修コード	227101
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	ほりうち まさのこ 堀内 正彦

講義の到達目標(ねらい)

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解することである。

講義の内容／
授業スケジュール

心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。

第1回 オリエンテーション
第2～3回 心理学の視点
第4～6回 発達 -環境と遺伝-
第7～10回 学習
第11～13回 記憶
第14回 前期末試験
第15～17回 感覚・知覚
第18～21回 思考・言語
第22～24回 動機づけ・情動
第25～27回 個人差
第28～30回 社会行動

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
そ の 他

試験の結果(前期の講義内と定期試験の計2回)による。

鹿取廣人・杉本敏夫(編)『心理学 第3版』(東京大学出版会)

私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

履修コード	227201
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	桑原 正修 <small>くわはら まさのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい) 心理学は、科学的なアプローチにより「こころ」を理解しようとする学問である。本講義では、心理学的な人間の捉え方を理解し、心理学諸領域における知見を概観することで基礎知識の習得を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～3) 心理学とは、(4～6) 心理学研究法、(7～9) 感覚・知覚、(10～12) 学習、(13～15) 思考・言語、(16～18) 感情・情動、(19～21) 発達、(22～24) パーソナリティ、(25～27) 社会的行動、(28～30) 心理学の応用
(上記の流れで講義を行うが、進捗状況により変更あり)

履修上の留意点 受講中は私語を慎むこと。

成績評価の方法 試験結果、出席状況、授業態度により総合的に評価する。

教科書／テキスト 梅本・大山・岡本「心理学—心のはたらきを知る」サイエンス社 ISBN 4-7819-0926-4

参考書 適宜、紹介する。

その他の 心理学の実験や調査に参加していただく場合があります。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕(夏季集中)
担当者名	深堀 友寛 <small>ふかほり ともひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では「個」と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

第1回～第3回：オリエンテーション、心理学の学問上の性質(科学としての心理学、2種類の行動)。第4回～第8回：心理学の歴史(構成主義、ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析学等)。第9回～第13回：レスポデント条件づけ(基本概念、消去、般化、弁別、恐怖症の形成と治療)。第14回～第17回：オペラント条件づけ(三項強化随伴性、負の強化、消去抵抗、学習の適時性)。第18回～第20回：記憶(感覚記憶、短期記憶、長期記憶、忘却の諸理論、加齢と記憶力)。第21回～第25回：パーソナリティ(語源、パーソナリティの構造、類型論と特性論、無意識の構造、防衛機制)。第26回～第29回：発達心理学(発達の定義、分化と統合、発達段階説、発達の最近接領域)。第30回：終講テスト

履修上の留意点 出欠席の管理は全てYeStudyを通じて行う予定なので、履修が決まった学生は受講日までにパソコンを通じてYeStudyへの履修登録を完了させること(メインメニュー→コースカテゴリー→文学部心理学科→心理学(特1)(深堀))。授業毎の出席は各自の携帯電話からYeStudyのサイトにアクセスすることにより成立する。なお、携帯電話からYeStudyにアクセスできない等の不具合については初講日のオリエンテーション時に担当教員に申し出ること。

授業最終日のテストは、出席回数3分の2以上の学生のみ受験可能である。また、出席回数は平常点として評価の対象に加味する。

成績評価の方法 講義最終日に行われる筆記試験と出席率(3分の2以上)による総合評価。

教科書／テキスト 特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

参考書 重野純「キーワードコレクション 心理学」新曜社 3,200円+税 ISBN4-7885-0486-3
中村昭二「心理学概説」八千代出版 1,800円+税 ISBN4-8429-0890-4

その他の 授業日程：7月30日・8月2日～6日、1～5時限(土、日は除く)

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	オオサキ じゆんいち 鈴木 順一

講義の到達目標(ねらい)

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1] 学習とは? 授業方針 [2] エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3] グループ形成と集団規範 [4] コミュニケーションの促進 [5] 心とは何か [6] 性格検査による自己理解 [7] パーソナリティ理論 [8] 無意識の心の働き(精神分析的人格理論) [9] 環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10] カウンセリングの理論と技法 [11] 心理療法による自己理解と他者理解 [12] 自己肯定の人間関係 [13] 学習理論と行動療法 [14] relaxationによる心身の健康回復

講義の内容/
授業スケジュール

準備学習
履修上の留意点

最初の数回の授業で6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に到着していただき、毎回グループごとに自筆で出席を取り本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることで、全回出席することが求められます。初回の授業で述べるルールを必ず確認して下さい。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

学年末定期試験及び追・再試験はありませんが、予告なしに実施される平常時の試験が数回あります。欠席した場合には、理由を問わず1欠席につき1冊の心理学参考図書を読み、レポートを提出する必要があります。

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

成績評価の方法

教科書/テキスト
参考書
その他

使用しません。

必要に応じて、授業内で指示します。

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

自然分野

(4) 総合分野

履修コード	228201
科目名	総合Ⅰ〔仏教と社会〕
担当者名	熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 はじめに
- 2～5 仏教と戦争
- 6～13 仏教と差別
- 14～17 仏教と女性
- 18～21 仏教と家族
- 22～29 仏教と生命倫理
- 30 おわりに

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。
 適宜プリントで配布する。
 末木文美士編『現代と仏教』（佼成出版社、2006年） 2,625円
 その他、講義の中で随時紹介する。

総合分野

履修コード	228301
科目名	総合Ⅰ〔仏教と芸術〕
担当者名	村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 〔前期〕
- 仏教美術の世界（1～2）
 - インドの仏教美術（3～5）
 - 西域の仏教美術（6～8）
 - 初期の敦煌石窟（9～11）
 - 後期の敦煌石窟（12～15）

- 〔後期〕
- 炳靈寺石窟（16～17）
 - 麦積山石窟（18～20）
 - 雲岡石窟（21～23）
 - 龍門石窟（24～27）
 - 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。
 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
 プリントを配布する。
 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228401
科目名	総合Ⅱ〔駒澤大学の歴史〕
担当者名	熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘・皆川 義孝

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。駒澤大学は、平成19年(2007)に「開学125周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年(1882)を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年(1592)にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に416年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

また後期には、「世界の大学との比較」というテーマでも後述します。時代や地域によって、それぞれに求められた「教養のあり方」の差異も学び取って欲しいと思います。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに“駒澤スピリット”を感じ取り、受講生それぞれが“駒澤アイデンティティ”を形成してもらえるよう願っています。

前期：1. 授業計画とガイダンス

2. 道元と曹洞宗
3. 永平寺と総持寺
4. 吉祥寺旃檀林の誕生
5. 学寮での厳しい修行
6. 学寮から学校へ
7. 明治政府の宗教・教育政策
8. 曹洞宗大学の発足
9. 日ヶ窪から駒沢へ
10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
11. 「大正教養主義」と駒大生
12. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
13. 戦時下の駒大
14. 世界の大学との比較① ～中国における科挙制度～
15. 世界の大学との比較② ～中国の近代化構想と教育～

後期：16. 世界の大学との比較③ ～古代エジプトの教育～

17. 世界の大学との比較④ ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
18. 占領政策と新制大学の設立
19. 文系総合大学への道とマンモス校化
20. 東京オリンピックと駒大
21. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～
22. 「禅文化歴史博物館」の見学
23. 駒大建築物語
24. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
25. 学生生活今昔物語
26. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
27. 駒澤大学のいまとこれから
28. まとめ

準備学習
成績評価の方法

とくになし。
学年末の期末試験(70%)と出席状況および授業への取り組み(30%)をもとに、総合的に判断して評価する。

教科書／テキスト
参考書
その他

適宜、紹介する。
適宜、紹介する。
遅刻・私語は厳禁。

総合分野

講義の内容／
授業スケジュール

履修コード	228701
科目名	総合Ⅲ〔人権と社会問題〕
担当者名	ピアス、D. M.

講義の内容／
授業スケジュール

What does it feel like to attend a university-level course in a foreign country? This course prepares for study abroad. English will not be studied; academic topics will be studied in English. Lectures, compositions, and conversation practice will consist of social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. The history of economic and political thought, or of American sociology, may be used as lecture material.

There will be intensive practice in quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is upon communication of opinions in spoken English.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1rights	CLASS 16abortion
CLASS 2rights	CLASS 17abortion
CLASS 3rights	CLASS 18abortion
CLASS 4income	CLASS 19racism
CLASS 5income	CLASS 20racism
CLASS 6income	CLASS 21racism
CLASS 7income	CLASS 22racism
CLASS 8feminism	CLASS 23suicide
CLASS 9feminism	CLASS 24suicide
CLASS 10feminism	CLASS 25suicide
CLASS 11feminism	CLASS 26suicide
CLASS 12euthanasia	CLASS 27war
CLASS 13euthanasia	CLASS 28war
CLASS 14euthanasia	CLASS 29war
CLASS 15euthanasia	CLASS 30war

成績評価の方法

ATTENDANCE: The student is allowed six absences in the year; Five absences will probably reduce the final grade by one letter.

教科書／テキスト

EXAMINATIONS: Frequent small essay exams. Such exams are used to gradually raise ability and confidence in writing English. Exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

履修コード	228801
科目名	総合Ⅲ〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕
担当者名	しらとり 義博 白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)

TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期
初回：ガイダンス
第2回～：2～3回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。
最終回：期末テスト
後期：前期と同じ

履修上の留意点

語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます(発表やレポート、小テストなどを頻繁に課す予定)。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。

成績評価の方法

出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

鶴岡公幸等著、『新TOEFLテスト形式で学ぶ教養英語』(松柏社) ISBN: 978-4-88198-628-8
授業中に随時指示する。

履修コード	228901
科目名	総合Ⅲ〔女性学・男性学〕
担当者名	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>

総合分野

講義の到達目標(ねらい)

本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的に作られてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会的構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心にできあがっている社会を女性の視点から新たに洗い直し。批判的に分析する学問として成立した。したがって女性学の主要な課題は男性によってこれまで作り上げられたバイアス志向（男の視点からのみ見る偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスを入れ、批判的に解剖することであった。近年日本は世界に類をみない急速なる少子高齢化の波に襲われ、女性に対するバイアス志向が社会に甚大なる負の影響を与えていることによりやく気づき始めている。男性たちも男性優位の社会が社会発展上必ずしも都合のよいものではないこと、それが女性にとっても快適でないのと同様に男性にとっても快適でないことが認識されだし、日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度見直そうとする機運が高まり、男性学研究も進められている。本講座ではこれらの最新の情報にも目を配りながら、女性学・男性学の基礎を学びたい。

授業のやりかたとしては、前期では、パワーポイントやDVDをつかって現代社会における問題点を教員が基本的に提議、説明し、後期では小グループにわかれ、具体的事例について調査分析してグループごとに発表してもらう。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 性差とは何か
- 2 男らしさ、女らしさとは
- 3 性のダブル・スタンダード
- 4 性の商品化
- 5 セクハラ、パワハラ、DV
- 6 家庭と性別役割分担
- 7 現代日本の家族が抱える諸問題—非婚化、婚活、出生率低下、など
- 8 労働とジェンダー —外国人移住労働者が抱える諸問題

（なお、本講座は必ずしも上記に掲げるスケジュールで行われない場合もあることをあらかじめ、ここにおことわりしておく。）

成績評価の方法

平常評価としての出席（50％）、前期試験に代わる夏季レポート（20％）
研究調査レポート（30％）

教科書／テキスト
参 考 書

指定教科書は特にないが、授業のはじめに参考図書をパワーポイントで指示する。
同上

履修コード	229001
科目名	総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕
担当者名	はやし あきと 林 明人

講義の到達目標(ねらい)

現代のアメリカが抱えている様々な問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。尚、初めの数時間でアメリカの歴史を大まかに学び、その後具体的なトピックに入りますが、その際古いアメリカの歴史等に触れることも多々ありますので、その点予め承知しておいてください。

講義の内容/
授業スケジュール

1	世界史の中のアメリカ (1)	16	Brady Bill (1)
2	世界史の中のアメリカ (2)	17	Brady Bill (2)
3	世界史の中のアメリカ (3)	18	Brady Bill (3)
4	世界史の中のアメリカ (4)	19	official English law (1)
5	世界史の中のアメリカ (5)	20	official English law (2)
6	世界史の中のアメリカ (6)	21	official English law (3)
7	世界史の中のアメリカ小テスト	22	euthanasia (1)
8	abortion (1)	23	euthanasia (2)
9	abortion (2)	24	euthanasia (3)
10	abortion (3)	25	hate crime (1)
11	affirmative action (1)	26	hate crime (2)
12	affirmative action (2)	27	hate crime (3)
13	affirmative action (3)	28	multiculturalism (1)
14	political correctness	29	multiculturalism (2)
15	前期試験	30	後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻 (交通機関の遅延を除く) 及び授業中の出入りは認めません。

①試験 (40%) ②レポート (30%) ③出席 (30%) で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書/テキスト

プリントを配布します。

総合分野

履修コード	229101
科目名	総合Ⅳ〔新市民社会論〕
担当者名	にしむら ゆづこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい)

前期予定

(1) シアトルの自治体と草の根 NPO のかわりかたを日本と比較して市民社会と NPO について考える。

(2) JICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。

後期予定

(1) 被差別マイノリティと草の根 NPO について日本とインドなどアジア社会を中心に考える。

(2) 現在 JICA 草の根協力プロジェクトとして進行しているインドにおけるバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

前期:

1. 市民社会とはなにか。日米比較
2. NGO,NPO の役割 日米比較:まちづくり研究
3. シアトルの NPO と自治体の連携:まちづくり研究
4. NPO と自治体の連携:日米比較
5. グローバル化現象と国際協力
6. 日本の国際協力と市民社会:JICA スタッフ講義
7. 国際協力の現状と日本:まとめ (1)
8. JICA スタッフ講義:海外協力隊の一員として
9. 草の根協力和開発途上国:まとめ (2)
10. JICA スタッフ講義:グローバル化と国際協力の実情
11. 草の根協力和開発途上国:まとめ (3)
12. 途上国社会と市民セクター:NGO の役割 (1)
13. 途上国社会と市民セクター:NGO の役割 (2)

後期:

1. 日本における被差別マイノリティ
2. マイノリティと NPO
3. 被差別マイノリティのまちづくり:日本
4. インド社会の基礎知識:カーストと被差別マイノリティ
5. クラスとカースト:政治と宗教の側面から
6. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
7. インドの市民社会と NGO
8. インド地縁組織とコミュニティ開発
9. 被差別カーストとコミュニティ開発
10. 行政と NPO,NGO:公衆衛生の実情
11. 公衆衛生とバイオトイレ:グローバルな環境問題の観点から
12. 公衆衛生と途上国:グローバルな観点から
13. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用 ID を必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

出席 (25%)、毎回の小レポート内容 (30%)、前期、後期それぞれのレポート (45%)。試験はない。

教科書/テキスト

草の根 NPO のまちづくり:シアトルからの挑戦 勁草書房

参 考 書

この他の補助テキストはインターネットで配布する。

JICA に関しては <http://www.jica.go.jp/>

南インドにおけるバイオトイレ事業,エコサントイレについては以下をみしておく。<http://www.blb2.org/EcoSan/index.htm>,

<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>、<http://jp.youtube.com/watch?v=6xPqyF9CVRE>、

<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

そ の 他

希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。(例年 2 月下旬実施)

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	<small>いしはら こうさい</small> 石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)	イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。
講義の内容／ 授業スケジュール	日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。
履修上の留意点	毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えたと便利です。
成績評価の方法	レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合Ⅵ〔民族とは何か〕
担当者名	<small>おのの ゆうじ</small> 大野 祐二

講義の到達目標(ねらい)	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。
履修上の留意点	後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。
成績評価の方法	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
教科書／テキスト 参 考 書	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229801
科目名	総合Ⅵ〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	早川 紀代 <small>(はやかわのりよ)</small>

講義の到達目標(ねらい) 男性と女性、あるいは両性の関係は個人的にも、社会的にも、この20年の間に大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時代です。どのように変わり、またこれからのように変わっていくのか、あるいは変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間のあり方を考える場にしたい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが何気なく思っていること、たとえば女は優しい、男は逞しいといった感覚は根拠があるのかどうかということにメスをいれたのが、1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。ジェンダーという理論がどのようにして成立し、理論が発展したかをとりあげ、女性学や男性学と人間学との関係を考えます。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげます。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、働く意欲のある人間は誰でも働き、かつ家庭生活を楽しむ、人間としてのバランスがとれた生活を送ることができる条件はなにか、考えます。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識に過ごしている家族は、形や親子・夫妻の人間関係、家族一人ひとりの生き方も大きく変化しています。恋愛時代や結婚時代のカップルの関係はジェンダーが深く影響しています。また家族を創る人間関係もさまざまな形ができました。現在の家族をめぐる現象は暗いことが多いが、。家族を共同生活と捉え、未来の家族のあり方を模索します。

d セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深く大きいものは、人間の性にかんする考え方です。買売春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい間柄で起こる暴力などをとりあげて、性に関する固定観念から脱出する道を考えます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁です。
前期試験にかわる夏休み課題レポート 30%、後期試験 40%、日常点 30%
教科書は使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合Ⅶ〔トラブルと法的解決〕
担当者名	井上 健一・王 志安 <small>(いのうえけんいち)</small> ・大宮 隆 <small>(おのみやたかし)</small> ・奥村 公輔 <small>(おくむらこうすけ)</small> ・田中 俊企 <small>(たなかしゆんき)</small> ・原田 啓一郎 <small>(はらだけいいちろう)</small>

講義の到達目標(ねらい) 日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

講義の内容／
授業スケジュール

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

履修上の留意点

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

成績評価の方法

担当教員の順番や講義内容は、各領域3回から4回を予定している。
各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験(担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある)の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

教科書/テキスト
参考書

担当教員が実施する試験を2回以上欠席(不受験)した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。
最新版(2010年版)の六法。
各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

履修コード	230001
科目名	総合Ⅶ〔都市論〕
担当者名	早川 純貴・饗庭 伸・浦田 早苗・堀内 康史・村上 暁信

講義の到達目標(ねらい)

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会学や都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容／
授業スケジュール

5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■早川純貴『都市論』ガイダンス（1回：4月）

■早川純貴「まちづくりと住民参加」（3回：4月・5月）

いわゆる迷惑施設や再開発をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（3回：5月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

■堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

■村上暁信「都市のランドスケープ」（6回：9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■饗庭伸「市街地整備とアーバンデザイン」（6回：11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを早川が総合して評価する。

使用しない。

担当の各教員がその都度紹介する。

総合分野

3. 外国語科目

履修コード	233601
科目名	英語 I A
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) Ye-Studyを活用してオンライン上での予習復習を徹底しておこないます。

350語程度の英文を読みながら聞き取り、読解、イディオム力増強による英作文力などを統合的に向上させます。

到達目標は英検準1級(TOEIC 680)程度です。授業中TOEIC模擬を前期1回後期1回行い、どの程度向上したかをチェックしてみます。

定期試験はありません。すべて出席率、授業内の模擬試験を含む小テスト、提出物(英語・日本語サマリー、音声吹き込み)などによって判定します。

講義の内容/
授業スケジュール

1	ユニット1	(問題1, 2)	16	ユニット5	(問題5, 6)
2	ユニット1	(問題3, 4)	17	ユニット6	(問題1, 2)
3	ユニット1	(問題5, 6)	18	ユニット6	(問題3, 4)
4	ユニット2	(問題1, 2)	19	ユニット6	(問題5, 6)
5	ユニット2	(問題3, 4)	20	ユニット7	(問題1, 2)
6	ユニット2	(問題5, 6)	21	ユニット7	(問題3, 4)
7	ユニット3	(問題1, 2)	22	ユニット7	(問題5, 6)
8	ユニット3	(問題3, 4)	23	ユニット8	(問題1, 2)
9	ユニット3	(問題5, 6)	24	ユニット8	(問題3, 4)
10	ユニット4	(問題1, 2)	25	ユニット8	(問題5, 6)
11	ユニット4	(問題3, 4)	26	ユニット9	(問題1, 2)
12	ユニット4	(問題5, 6)	27	ユニット9	(問題3, 4)
13	ユニット5	(問題1, 2)	28	ユニット9	(問題5, 6)
14	ユニット6	(問題3, 4)	29	ユニット10	(問題5, 6)
15	前期試験	(授業内)	30	後期試験	(授業内)

準備学習

Ye-Studyを毎回つかうのでコンピュータIDは必須。
音声録音を自宅などでおこないオンライン上にアップさせるので音声吹き込み用のヘッドセットを用意しておく。

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めません。
①試験(30%)②発表(40%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしません。

教科書/テキスト

4月に教場で指示します。

外国語

履修コード	233701
科目名	英語 I A
担当者名	いせむら さたお 伊勢村 定雄

講義の到達目標(ねらい)

アメリカの大学生活を通して、アメリカ文化と英語の表現を会話中心に学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

授業はテキストのUnitごとに、{本文の音読+訳読→長いダイアログ→One Point Memo→短いダイアログ→ダイアログのテスト}というサイクルで行なうので、各自そのつもりで毎回準備が必要。4月は導入と発音の基礎を教科書とプリントを用いて行なう。以下、5月以降は次の通り:

4月 導入+発音注意

5月 2回、

6月 2回、

7月 1回、

10月 2回、

11月 2回、

12月 2回、

計11回のダイアログテストを行なう。

履修上の留意点

出席をきちんとすること。テキスト、辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法

ダイアログ(7割)+出席態度(1割)+出席率(1割)+他のテスト(1割)=100

教科書/テキスト

『アメリカの学園生活』、N, Harren, K. Inoue, S. Isemura 著、(英光社)、1,800円

履修コード	233711
科目名	英語 I A
担当者名	竹村 恵都子

講義の到達目標(ねらい) 基礎英語を再認識し、主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。
前期予定—オリエンテーション+ Lesson 1~12 + テスト
後期予定—テスト結果発表+ Lesson 13~24 + テスト

履修上の留意点 欠席・遅刻せず、予習を含め、積極的に授業参加をすること。

成績評価の方法 前後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。

教科書／テキスト “Spotlight on Britain” : Terry O’Brian, 他共著, 南雲堂
ISBN4-523-17509-8

履修コード	233801
科目名	英語 I A
担当者名	菅原 典子

講義の到達目標(ねらい) 楽しい短編を教材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容／
授業スケジュール テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。第1~3回: 1~2課, 第4~6回: 3~4課, 第7~9回: 5~6課, 第10~12回: 7~8課, 第13~15回: 9~10課, 第16~18回: 11~12課, 第19~21回: 13~14課, 第22~24回: 15~16課, 第25~27回: 17~18課, 第28~30回: 19~20課

準備学習 必ず辞書をひいて予習をしてください。単語のみならず、発音・イディオム・例文などにも目を通す習慣をつけましょう。

履修上の留意点 授業時には、辞書必携のこと。

成績評価の方法 前期、後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度などを入れて総合的に評価します。

教科書／テキスト L.A.Hill・安藤賢一『Amusing Tales-Readings and Exercises,』成美堂,
1680円(税込)
ISBN 978-4-7919-4023-3

履修コード	233901
科目名	英語 I A
担当者名	川崎 浩太郎

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、より効果的に自分の考えを表現できるようになることをめざします。

講義の内容／
授業スケジュール 具体的には、E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってまいります。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがって E-mail を書いてまいります。TOEIC のリスニングなどもおこなう予定です。
(1~15週) Unit1~11 (16~30週) Unit12~22

準備学習 毎時間必ず辞書を持ってこよう。

履修上の留意点 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
英訳・和訳の際に Web 上の翻訳機能を使うことを禁止しないが、あくまでも不完全なものであることを理解した上で参考程度にとどめること。Web 翻訳丸写しのレポートは一切評価しない。

成績評価の方法 出席、発表50%、レポート50%の割合で評価する。

教科書／テキスト 黒川 裕一 『Subject:E-Mail- 大学生の E メール 英作文』 南雲堂 ¥1900(税別)
ISBN4-523-17396-6

履修コード	234001
科目名	英語ⅠA
担当者名	鈴木 美貴子

講義の到達目標(ねらい) テキストに従い、これまでに学んだ文法を確認しながら、英作文力を高める

講義の内容／授業スケジュール 第1回前期オリエンテーション、第2～11回 Unit 1～10まで一課ずつ進む、第12～14回パラグラフの書き方・Review、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～26回 Unit 11～20まで一課ずつ進む、第27～29回パラグラフの書き方・Review、第30回後期試験

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する

履修上の留意点 授業に必ず辞書(英和・和英)を持参し、よくひく

成績評価の方法 出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前期・後期試験、提出物により総合的に評価する

教科書／テキスト 小山秀彦『5文型から始める大学英作文 Basic College Writing with 5 Sentence Patterns』(センダー・ラーニング株式会社、1800円)
ISBN 978-4-86312-055-6

履修コード	234101
科目名	英語ⅠA
担当者名	井出 功一

講義の到達目標(ねらい) 『コミュニケーションのための大学英語入門』というテキストを通して、「読む、書く、聞く、話す」の四技能すべてのコミュニケーション能力を高めることを目標としています。

講義の内容／授業スケジュール 下記のタイトルを、各2回ずつ行います。
「自己紹介をしてみよう」、「合衆国に残る人種差別」、「知らない人と視線を合わせない」、「合衆国の歴史を学んでおけば、アメリカ人に感銘を与えるよ」、「Rice(米)とlice(しらみ)対、給(ame)、雨(ame)」、「レストランでチップを出さないときはどんな場合」、「Kleenexとは、商標から生まれた商品名」、「アメリカの学生の服装は?」、「辞書と仲良くすることも、英語上達の近道だ」、「食卓にふさわしくない話題とは」、「合衆国は広いなあ、いろんな文化圏がある」、「セーターをはめるとき、使う表現は」、「アメリカ人は時間に几帳面ですか」、「合衆国での喫煙、今と昔でどう変わったの?」、「持ち物自慢は合衆国でも嫌われる」

履修上の留意点 なお、ときにはニュース英語や、その他の資料を使って講義を進めてゆく予定です。初回の講義には必ず出席するよう、お願いします。

成績評価の方法 全授業日数の3分の2以上の出席と、予習、辞書の携帯が必要です。

教科書／テキスト 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価
Welcome to College English
『コミュニケーションのための大学英語入門』南雲堂

履修コード	234201
科目名	英語ⅠA
担当者名	大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい) このクラスでは、大学生が最低限知っておかなければならない文法の基本事項を確認し、英語表現の基礎を固めることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール テキストに従って、毎回 One Unite を演習形式で消化していく。
受講生は、予習をしてクラスに出席していることが前提なので、クラスで演習問題の解答を発表してもらうことになる。

履修上の留意点 語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。またクラスには、予習をしてテキストの演習問題を解いて、出席すること。

成績評価の方法 成績は前・後期の定期試験と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。

教科書／テキスト 最初のクラスでお知らせします。

その他 英和・和英辞書をクラスに持ってくること

履修コード	234301
科目名	英語ⅠA
担当者名	市川 仁 <small>いちかわ ひとし</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として英語の運用力を養います。

講義の内容／
授業スケジュール 第1～15回：テキストの第1章から第8章およびまとめのテスト
第16～30回：テキストの第9章から第16章およびまとめのテスト

準備学習 指定された範囲の予習をしてください。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に積極的に参加してください。

成績評価の方法 授業中の発表(30%)と試験結果(50%)および出席(20%)を総合して判断します。なお、原則として授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教科書／テキスト 岸野英治『コミュニケーションのための英文法・英作文』(英宝社) ¥1900 ISBN4-269-32018-4 C1082

履修コード	234401・235101
科目名	英語ⅠA
担当者名	植村 恵子 <small>うえむら けいこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確かなものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と英文を構成する能力、基本的な語彙力などに重点を置き、復習も行いながら、英文を書いたり、聞き取って話したりする力を伸ばしていきたいと思ひます。

講義の内容／
授業スケジュール 使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、英文を書いたりする作業も行います。また、この授業を受講することによって TOEIC などの各種英語資格試験の受験対策としても役立つと思われるので、就職後必要と思われる人は是非チャレンジして下さい。

履修上の留意点 授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法 出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書／テキスト プリント使用予定

参 考 書 『リーダーズ英和辞典』研究社

履修コード	234501・235201
科目名	英語ⅠA
担当者名	太田 雅子 <small>おおた まさこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール テキスト・テープ・ビデオ等を用いて、目・耳・口を多に使うに英語を身につけていく。

履修上の留意点 原則、1回の授業でテキストの1章進む。

成績評価の方法 全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

教科書／テキスト 毎回の出席点、小テスト。
前・後期各最後に総合テスト。
未定

履修コード	234601
科目名	英語ⅠA
担当者名	清水 雅夫 <small>しみず まさお</small>

講義の到達目標(ねらい) 基本的な熟語の習得を通じ、英語における表現能力の向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール 短いエッセイを読み、そこで使われている熟語の用法を、英作文などの練習問題を通してマスターする。2回で1課進む。文法、語法についてプリントで学習する。

履修上の留意点 予習は、教科書の単語調べ、練習問題など。2回に1回宿題を出す。

成績評価の方法 試験(授業内、4回)および宿題80%、出席点20%、平常点(予習、授業態度など)±20%。

教科書／テキスト ジム・カヌースン、他1名著 Writing with Idioms『役に立つ口語英作文』南雲堂 1800円+税 4-523-17139-4

履修コード	234701・236301
科目名	英語ⅠA
担当者名	渡部 孝治

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎力を基にして、英語運用能力の向上を目指す。
 講義の内容／授業スケジュール リーディングは(直読直解)、リスニングは(速聴速解)、いわゆる同時通訳方式の方法で行なう。同時に英語表現にも力を入れたい。
 前期(15回程度) 前半(7回)は基礎的な文章表現を利用して行なう。後半は前半を基にして、応用表現を学ぶ。
 後期(15回程度) 前半(7回)は、前期の文章表現よりもやや難解な文章を使用して授業を進める。後半(7回)は、前半の学習を基にして、応用表現を学ぶ。
 履修上の留意点 授業中できるだけ多くの人を当てていきます。予習は予め全員がやってくること。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と前期・後期の2回のテストの成績、授業の参加度合で成績を評価します。
 教科書／テキスト 最初の授業時に指示します。
 参考書 授業時に指示します。

履修コード	234801・236501
科目名	英語ⅠA
担当者名	福田 一貴

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上を目指す。これまでに修得してきた文法を用いて、基本的な英文が書けるようになることを目標とする。
 講義の内容／授業スケジュール 基本英文法を復習しながら、その知識を活用した英文を作成する練習を行う。
 前期:第1回イントロダクション 第2回～第14回でテキストの12章まで学習し、前期試験を行う。
 後期:第1回～14回で23章(最終章)まで学習し、後期試験を行なう。また、随時、テキストとは異なる教材も扱う予定である。
 準備学習 予習の段階で一通り問題の解答を作成してきてほしい。また、復習として、その授業で学んだ英文を暗記してしまうくらい繰り返し練習してほしい。
 履修上の留意点 授業には必ず辞書(電子辞書でも可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参してほしい。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席が期末試験を受験するための条件となる。出席に加えて、課題、期末試験を総合的に検討して評価する。
 教科書／テキスト 徳永守儀、田本健一、網代敦 共著、『Building Up English Skills! Training in Basic Grammar and Composition』、成美堂、1600円(税別)、ISBN 4-7919-4905-6
 参考書 必要に応じて、授業内で紹介していく。

履修コード	234901
科目名	英語ⅠA
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、英語の総合的能力を養う。特にライティング、スピーキングの訓練に重点を置き、英語での自己表現能力を身に着ける。
 講義の内容／授業スケジュール 第1回: 導入。今後の授業の進め方や方針を説明する。自己紹介。
 第2回～5回:(基礎)英語での自己紹介をより内容豊富に、そして流暢にする。
 第6回～9回: 趣味や学生生活について語る。
 第10回～13回: 恋愛、ファッション、旅行、スポーツについて英語で語る。
 第14回～16回:(発展)教育、環境、健康問題に関して議論する。英語でのディスカッション能力を培う。
 第17回～21回: 宗教、経済、社会問題、メディアと未来社会について、自分の意見を英語で述べる。
 第21回～30回: ライティング力を強化する。
 準備学習 英語に親しむために、英字新聞を読む、映画を字幕なしでみるなど、普段から英語に接しておくこと。
 履修上の留意点 3分の2以上を出席し、発表・課題提出等演習を主軸とする授業に、積極的に参加すること。必ず辞書を持参すること。
 成績評価の方法 前後期の最後の授業で試験を行う(6～7割)。また平常の出席、個人の努力と積極性、発表や課題の提出を重視し、総合的に評価をする(3～4割)。
 教科書／テキスト Kazumi Adachi, Masahiro Nakaue 他、『English Writing for Global Communication』、金星堂、2100円、ISBN978-4-7647-3851-5 C1082

履修コード	235001
科目名	英語 I A
担当者名	^{いわなが} 岩永 ^{よしえ} 祥恵

講義の到達目標(ねらい) 本授業では語学能力に必要な4技能のうち特に聞き取り及び発話能力の向上を図る。そのために英国を紹介する映像を用いながら語彙定着を図ると共に、発話環境を高めていくことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 学習目標、授業計画、テキストの内容、成績評価基準などについて説明
第2回 イントロダクション

- 第3回 ロンドン
- 第4回 ロンドン2
- 第5回 ロンドンの歴史、名所
- 第6回 第2回から第5回までのまとめと確認学習
- 第7回 ウェールズ
- 第8回 ウェールズの歴史と名所
- 第9回 特別な橋
- 第10回 第7回から第9回までのまとめと確認学習
- 第11回 宿泊：宿泊場所の種類、予約
- 第12回 宿泊：チェックイン、朝食、オーナーへのインタビュー
- 第13回 チーズ製造
- 第14回 第11回から第13回までのまとめと確認学習
- 第15回 前期試験
- 第16回 前期試験答案返却 チーズ製造その2
- 第17回 古代の石：歴史
- 第18回 古代の石：ストーンヘンジ
- 第19回 ローマンバス、ウェルズ大聖堂
- 第20回 第16回から第19回までのまとめと確認学習
- 第21回 パブ、食事
- 第22回 スコットランド：エディンバラ
- 第23回 スコットランド：羊
- 第24回 キルトとタータン
- 第25回 第21回から第24回までのまとめと確認学習
- 第26回 バグパイプとウィスキー
- 第27回 アイルランド
- 第28回 北アイルランド
- 第29回 第26回から第28回までのまとめと確認学習
- 第30回 後期試験

履修上の留意点 予習は必須である。授業には辞書を持参すること。
成績評価の方法 前期後期試験70パーセントと平常点（出席を含む）30パーセントによる総合評価。
教科書／テキスト Discover Great Britain and Ireland （金星堂）

履修コード	235301・237501
科目名	英語 I A
担当者名	^{いわや} 岩屋 ^{たまえ} 玉江

講義の到達目標(ねらい) 既習の文法、構文、熟語、語彙を強化し英語表現力の向上を目標とします。
講義の内容／授業スケジュール 身近なトピックを扱ったテキストを中心に進めていきます。（1）ガイダンス（2～14）Self-Introduction, Introducing Others, Friends など（16～29）My Daily Routine, The Weather, Health など（15と30）前期・後期試験

履修上の留意点 授業は発表形式でおこないます。予習をして授業に臨んでください。辞書は毎回持参してください。
成績評価の方法 前期・後期試験、小テスト、出席状況（全授業回数の3分の2以上）、授業態度などを総合して評価します。

教科書／テキスト Enjoy Writing for Everyday Use 北星堂 ￥1600 ISBN4-590-01179-4

履修コード	235401
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書／テキスト New Activator (金星堂)

その他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	235501・237701
科目名	英語ⅠA
担当者名	水崎 野里子 <small>みずさき のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。教科書を使用しつつ文法問題、ヒアリング問題、単語力の向上問題などを通じ、英語の基本的ないし総合的な運用能力を身につける。また、日常会話の向上のため、リスニングと発話の練習を通じて英語でのコミュニケーションの力を高めてゆく。

講義の内容／授業スケジュール 前期・教科書 Unit1～11
後期・教科書 Unit12～22

履修上の留意点 出席には留意して欲しい。積極的な授業参加を期待する。また授業中の私語は控えるなど授業態度に注意して欲しい。

成績評価の方法 また進度や授業内容について希望や不満があれば遠慮なく教員に伝えて欲しい。
電子辞書は持参ができれば望ましい。

教科書／テキスト 出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

その他 Robert Hickling, Yasuhiro Ichikawa; English Charge! (Kinseido)
¥2000
適宜にプリントを配布するかもしれない。

履修コード	235601
科目名	英語 I A
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEIC などのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。また、プレゼンテーションを通じ、最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など
- (2) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ①
- (3) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
- (4) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③
- (5) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④
- (6) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions
- (7) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥
- (8) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦
- (9) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示
- (10) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨
- (11) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨
- (12) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩
- (13) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ
- (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
- (15) 学期末テスト
- (16) 後期予定確認, TOEFL Exercise 13 PART A, Wedding Ceremonies Expenses, We' re All Alone
- (17) TOEFL Exercise 14 PART B, Excellent power of memory, Film ①
- (18) TOEFL Exercise 16 PART C, Coin changer, Film ①
- (19) TOEFL Exercise 17 PART A, Diplomacy, Film ①～②
- (20) TOEFL Exercise 18 PART B, プレゼンテーションについて指示、説明
- (21) TOEFL Exercise 19 PART C, Film ②, She's got a way.
- (22) TOEFL Exercise 20 PART A, Film ②～③
- (23) TOEFL Exercise 21 PART B, Film ③, The Story of O-TEI
- (24) TOEFL Exercise 22 PART C, Film ③～④
- (25) TOEFL Exercise PART A-C まとめ、力だめし
- (26) プレゼンテーション 1
- (27) プレゼンテーション 2
- (28) プレゼンテーション 3
- (29) 一年のまとめ、確認
- (30) 学期末テスト

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。
出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨してもらいたい。
定期試験(40%)、レポート(10%)、出席・平常点(40%)、プレゼンテーション(10%) それらを総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。
必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	235611・239901
科目名	英語 I A
担当者名	川崎 笑佳 <small>かわさき えみか</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語能力を基盤として、文章による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じて教師の用意したその他教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFL の小テストも授業に取り入れる予定である。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

第1回：プリント使用の授業、第2～14回：Unit 1～14、第15、16回：プリント使用の授業、第17～29回：Unit 12～22、第30回：プリント使用の授業
学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。また、毎回授業の中で英作文を作成してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)

成績評価の方法

前期、後期の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。また、全授業回数において最低でも3分の2以上の出席をしなければならない。

教科書／テキスト

黒川裕一 『SUBJECT: E-MAIL---Writing Effective Messages 大学生のEメール英作文』 (南雲堂) 1995年 ISBN4-523-17396-6

履修コード	235621
科目名	英語ⅠA
担当者名	朝川 真紀

講義の到達目標(ねらい) 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容／授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は(1)オリエンテーション(2～14)不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞(15)前期試験、後期は(16～29)形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現、またTOEIC形式のリスニング練習を行います。(30)後期試験

履修上の留意点 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。

成績評価の方法 小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書／テキスト 豊永彰『英文法ピフォー・アフター』(南雲堂)700円 ISBN978-4-523-17657-2
塩見佳代子『TOEIC(R)テストリスニングとキャリア体験』(成美堂)900円 ISBN978-4-7919-1086-1

履修コード	235701
科目名	英語ⅠA
担当者名	落合 真裕

講義の到達目標(ねらい) 基本的な会話練習を通して口語表現に慣れ、英語運用能力を高めていくことをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 2つの映画を取り上げ、その中で使用されている口語的な表現を学びます。ペアワークなどを通してそれらの表現に慣れ、うまく使いこなせるようにしていきます。

(1)～(15) Part 1: Pay It Forward『ペイフォワード』
Unit 1 Introduction ~ Unit 7 Love and Courage

(16)～(30) Part 2: Night at the Museum『ナイトミュージアム』
Unit 8 Introduction ~ Unit 14 Cooperation

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況(原則として3分の2以上の出席を必要とします。)などに基づき、総合的に評価します。

教科書／テキスト 『映画で学ぶ大学英語の基礎』(Step Up with Movie English)金星堂 2,000円 ISBN978-4-7647-3897-3

履修コード	235801
科目名	英語ⅠA
担当者名	風間 則比古

講義の到達目標(ねらい) 文法・構文の基礎を確認しながらライティングの力を伸ばし、それらの知識を英語でのコミュニケーションに活かす力を身につけることを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 英語表現における考え方や文の構造について、読むこと・書くこと両面から理解を深め、簡単なプレゼンテーションで実践することを課題とします。(1～3)基本表現について(4～9)テキストを用いた練習(10～11)プレゼンテーション(12～15)フィードバックとまとめ

履修上の留意点 毎回、辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法 前・後期末の試験の結果とプレゼンテーションの評価をペースとして、小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を基本要件とします。

教科書／テキスト 未定。

履修コード	235901
科目名	英語 I A
担当者名	<small>きつあけ なおずみ</small> 吉川 直澄

講義の到達目標(ねらい) 英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。1～3章ではアメリカの風土や生活を描いた作品を題材とする。4～14章ではさまざまなジャンルの作品を鑑賞し感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明、15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。

教科書／テキスト Dramatic Cinema English (株) 南雲堂
2100円 (CD 付き)
ISBN978-4-523-17640-4 C0082

履修コード	236001
科目名	英語 I A
担当者名	<small>ながの こういち</small> 永野 光一

講義の到達目標(ねらい) 英語による意志伝達 (ライティングとスピーキング) の基礎的な力を養成。

講義の内容／授業スケジュール Q&A やペア／グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行う。(1) Orientation (2-8) Course Registration, Part-time Jobs, Comparative Culture, A Passage to Canada, Aging Society with Declining Birthrate (9-15) Sports, Endangered Languages, Carp Streamers and Doll Festival, Global Warming and Environmental Crisis, E-mail (16-23) Globalism and War, Enchanting Japanese Cuisine, Educational Reform Strays, Movie or Music?, To Smoke or Not to Smoke (24-30) Christmas and New Year, Examinations and Papers, Visits to Hot Spring Resorts, Recommendation, Job Interview

準備学習 毎回小テストを行うので、前回授業で学習した単熟語や表現、文法・構文などを復習すること

履修上の留意点 授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法 出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。

教科書／テキスト Aoki, Nobukazu and Erikawa, Haruo. (2005), "Let's Talk and Communicate!" (金星堂)
ISBN4-7647-3802-3

履修コード	236101
科目名	英語 I A
担当者名	<small>たかみ ようこ</small> 高見 陽子

講義の到達目標(ねらい) 文法や構文に関する知識をひろげながら、それを英語でのコミュニケーションに活かす能力を身につけることを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：注意点の確認・基本表現、第2～3回：グループワーク、第4～9回：文法事項の確認・英作文、第10回：スピーチ原稿準備、第11～13回：スピーチ、第14～15回：前期まとめ、第16～23回：グループワーク・文法事項の確認・英作文、第24～25回：スピーチ原稿準備、第26～28回：スピーチ、第29～30回：後期まとめ

準備学習 必ず予習して授業に臨むこと。復習も行うよう心がけてください。

履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。

成績評価の方法 前・後期末に実施する試験 (50%)、スピーチ (30%)、平常点 (20%) による総合評価とします。各項目の詳細や注意点については初回授業で説明します。

教科書／テキスト 未定

履修コード	236201
科目名	英語ⅠA
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現を、文から段落へと深めていく。
 講義の内容／授業スケジュール 毎回配布するプリントを使って、断片的でなく、まとまりのある英文を理解し、表現することを身につけていく。
 準備学習 プリントは、次回のをあらかじめ渡すので、予習しておく。
 履修上の留意点 辞書は毎回必ず持ってくる。
 遅刻は欠席に準じた扱いにするので、遅刻のないように。
 成績評価の方法 授業への出席、発表、レポートの提出の三つによる総合評価。
 教科書／テキスト プリント
 参 考 書 随時紹介する。

履修コード	236401
科目名	英語ⅠA
担当者名	市川 仁 <small>いちかわ ひとし</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、英語の運用力を養います。
 講義の内容／授業スケジュール 第1～15回：テキストの第1章から第8章およびまとめのテスト
 第16～30回：テキストの第9章から第16章およびまとめのテスト
 準備学習 指定された範囲の予習をしてください。
 履修上の留意点 必ず予習をして授業に積極的に参加してください。
 成績評価の方法 授業中の発表（30％）と試験結果（50％）および出席（20％）を総合して判断します。なお、原則として授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
 教科書／テキスト 岸野英治『コミュニケーションのための英文法・英作文』（英宝社）¥1900 ISBN4-269-32018-4 C1082

履修コード	236601
科目名	英語ⅠA
担当者名	石原 孝哉 <small>いしはら こうさい</small>

講義の到達目標(ねらい) 日常使っている平易な英文を例に、実用的な文法、作文、聴解など英語の総合力向上を目指します。
 講義の内容／授業スケジュール 前期は教科書を中心に基礎力を養い、後期はプリントなどにより応用力を身につけます。
 履修上の留意点 必ず教科書を予習して出席すること。出席を重視し、時々小テスト、レポート提出もあるので休まないこと。
 成績評価の方法 中間試験、期末試験のほか小テスト、レポートなどを総合的に判断します。
 教科書／テキスト Looking Backward— Major Events of the 20th Century
 南雲堂 1800円

履修コード	236701
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明 <small>くまさわ かずあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。
 講義の内容／授業スケジュール 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。
 成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
 教科書／テキスト New Activator（金星堂）
 その他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	236801・239701
科目名	英語ⅠA
担当者名	三輪 久恵

講義の到達目標(ねらい)

シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものを見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、後期は、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

予習をしていくことが重要です。辞書は中辞典程度のもので必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれども。

成績評価の方法

日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15～20分程度の小テスト等の提出物と40分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あり、定期試験は行なわない予定(新学期にクラスでアンケートを取ります)です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書/テキスト

Culture Riddles—America: Shaules 他著(南雲堂)1,400円+ tax.[前期]
The Spirit of New England: MIWA 編著(旺史社)1,500円+ tax.[後期]

外国語

履修コード	237001・237931・239401
科目名	英語ⅠA
担当者名	吉沢 栄治郎

講義の到達目標(ねらい)

短い和文を英訳してゆきます。

和文英訳力を高めることをねらいとします。

講義の内容/
授業スケジュール

ごく普通の日本語を英訳してゆきます。一回の授業についておよそ10題くらいの和文を英語に直す練習をしてゆきます。直訳でよい場合と意識してゆかねばならない時があると思います。辞書をまめに引いて用例を見ながら英作していくとよい場合が少なくありません。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業時に指示します。

和英辞典を有効活用してください。

ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。

とくに使用しません。

履修コード	237101
科目名	英語ⅠA
担当者名	梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)

英語でコミュニケーションをするために必要な基礎的な技術の習得を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

[講義内容]

教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、例文の聞き取り訓練を通じてリスニングコンプリヘンションの能力を高めていく予定です。

[授業スケジュール]

前期:

第1週 Orientation

第2週～14週 教科書の第1章から8章まで

第15週 前期試験

後期:

第15週～29週 9章から15章まで

第30週 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。

成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書/テキスト

Catapult -- Composition in Dialogue Style 対話形式で学ぶ英作文

著者 安浪誠祐/Richard S. Lavin

発行所 センゲージラーニング

ISBN978-4-86312-096-9

履修コード	237201
科目名	英語 I A
担当者名	三輪 ^{みつる} ^{ひさえ} 久恵

講義の到達目標(ねらい)

シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、後期は、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

予習をしていくことが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法

日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15~20分程度の小テスト等の提出物と40分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あり、定期試験は行なわない予定です(新学期にクラスでアンケートを取ります)。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書/テキスト

未定

履修コード	237211
科目名	英語 I A
担当者名	丸小 ^{まるこ} ^{てつお} 哲雄

講義の到達目標(ねらい)

グローバル・スタンダードの土俵に上がるための技術と同様に、英語コミュニケーション力の向上を目指します。英語表現力に力点を置き、基礎英語(基礎文法)に留意しながら、語彙を増やし、パラグラフの展開の仕方、コメント力の仕方を習得するよう目指します。ライティングも重視します。また消費資本主義文化の反映である広告のテキストにはからくりがあり、その隠されたイデオロギーを読むことも修得するという総合英語も目指していきます。英文レポートの課題もあります。ウォーミングアップとしてリスニング・タイムを設け、基礎文法と語彙の増やし方に留意し、リーディング・タイムでパラグラフの展開の仕方を習得し、コメント力を高め、自己表現できるように発信型の能力も涵養し、英文レポート提出課題も課していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

授業スケジュール

Introduction to this course (1回)
Listening and 'Advertising-Work' (2回~5回)
Listening and A Currency of Signs (6回~11回)
Listening and Differentiation (12回~14回)
Listening and Introduction:
'Meaning and Ideology' (15回~17回)
Listening and Product as Signified (18回~20回)
Listening and Product as Signifier (21回~24回)
Listening and Signs Address Somebody (25回~28回)

準備学習
履修上の留意点

テキストの予習と復習は語学学習の前提として不可欠です。それを前提に授業を進めます。辞書を持参すること。テキスト以外に、時々、タイムリーな時事的な記事のコピーを配布しますので、欠席の場合には研究室に取りに来て下さい。授業中の発表は評価の対象になりますので、積極的に質疑応答をしてください。なお英語による質疑応答は歓迎します。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表は評価の対象になります。

教科書/テキスト

TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 978-4-523-17533-9

Decoding Advertisements 英宝社

参 考 書

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事のコピーも配布します。

履修コード	237401
科目名	英語ⅠA
担当者名	相馬 美明

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、さまざまな英語の運用能力(発話、読解、聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、および教科書による読解問題などを通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、TOEFLのリスニング・セクションの問題にも触れ、聴解力を高めていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション、年間計画について
- (2) TOEFL EX 1, 1. Receiving a gift
- (3) TOEFL EX 2, 1. Receiving a gift, Exercises
- (4) TOEFL EX 3, 2. Introductions & greetings
- (5) TOEFL EX 4, 2. Introductions & greetings
- (6) TOEFL EX 5, 2. Exercises
- (7) TOEFL EX 6, 3. Make yourself at home
- (8) TOEFL EX 7, 3. Make yourself at home
- (9) 3. Exercises + α
- (10) 4. Embarrassing difficulties at the table
- (11) TOEFL EX 8, 4. Embarrassing difficulties at the table
- (12) TOEFL EX 9, 4. Exercises, 5. What to call professor
- (13) TOEFL EX 10, 5. What to call professor, Exercises
- (14) TOEFL EX 11, まとめ
- (15) 学期末試験
- (16) 後期計画予定, テスト返却、まとめ、プリント、We're All Alone
- (17) TOEFL EX 12, プリント 1, Eye contact
- (18) TOEFL EX 13, プリント 1-2, Eye contact, Exercises
- (19) TOEFL EX 14, プリント 3, Silence
- (20) プリント 4, Silence, Exercises
- (21) TOEFL EX 15, プリント 4, Japanese smiles
- (22) TOEFL EX 16, プリント 5, Japanese smiles, Exercises
- (23) プリント 6, American smiles
- (24) TOEFL EX 17, プリント 7, American smiles, Exercises
- (25) TOEFL EX 18, プリント 8,
- (26) Drinking places, プリント 9
- (27) TOEFL EX 19, プリント 10, Drinking places, Exercises
- (28) What do Americans do after work?
- (29) What do Americans do after work?, Exercises, まとめ
- (30) 学期末試験

準備学習

授業においては、できうる限り音読を行う予定である。家庭においてもこれをぜひ習慣化してもらいたい。

履修上の留意点

予習が絶対条件となる。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨してもらいたい。

成績評価の方法

前期・後期に行う定期試験(80%)、加えて授業で課すレポート、および授業態度(20%)などを総合的に評価する。一生懸命にがんばる人を応援したい。

教科書/テキスト

- ・Masahiro Oikawa 他 『10-Minute TOEFL listening Exercises』
(桐原書店) 825円(税別)
- ・Hiroko Nishida 他 『AMERICAN COMMUNICATION PATTERNS.』(金星堂)
1,200円(税別)

参考書

必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	237601・238101
科目名	英語ⅠA
担当者名	<small>くまざわ かずあき</small> 熊沢 和明

講義の到達目標(ねらい)	簡単な手紙文を教材にした総合教科書を使い、読む、聞く、話す、書く、の能力をバランスよく身につけます。さらに、語学学習というよりも、英語で何かできるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	ペアワーク、グループ作業、英語ゲーム、視聴覚授業などをこなしながら、毎回なにか実践作業をすることになります。
履修上の留意点	履修者は毎回の授業参加だけでなく、年一度の自主課題の提出（英語表現に関係したもので、自分が本当に興味が持てるものを見つけて自主課題として提出する）の提出も求められます。最初の授業時に詳しく説明いたします。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書／テキスト その他	Why Is That?「金星堂」 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	237801
科目名	英語ⅠA
担当者名	<small>おかもと まこと</small> 岡本 誠

講義の到達目標(ねらい)	Writing and Listening を主眼とする。これは必然的に Speaking の能力に直結していることに留意してほしい。
講義の内容／授業スケジュール	既に経験済みかもしれないが、近い将来において海外旅行を行うのではなかろうか。ツアーの場合は問題ない。しかし、若者たるものツアーは避けて、個人的に実行してほしいものである。この講義はその助けとなるであろう実践的な知識を次のような手順で確認するものである。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. English and the World 2. Time Zones 3. Driving Abroad 4. Postal Services 5. Eating Out 6. Shopping 7. Meeting People 8. Accommodations 9. Public Transportations 10. Different Sports 11. Etiquette 12. Entertainment
準備学習	Exercise をきちんとやってくるのが重要である。 次の講義に合わせて自分でも調べてくる姿勢が望まれる。即ち English and the World の項目については、英語が世界でどのような地域で使われているのか、また、Time Zones の項目では世界の時差の確認等をまず自分でやってくる、という具合である。こうすれば、さらに知識として頭に沁み込めよう。
履修上の留意点	予習してくることは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつける。欠席は授業日数の三分之一を超えないこと。辞書は必携。ケータイはオフ。被り物は教場に入るときに取る。授業中に出ていかない。
成績評価の方法	前期・後期の試験、指名されたときの発表あるいはプレゼンテーションの力、出席・遅刻状況、その他の受講態度等、その総合評価となる。
教科書／テキスト	What Are Your Travel Plans? (松柏社) ¥1,900 CDつき

履修コード	237901
科目名	英語 I A
担当者名	セイジ、 K

講義の到達目標(ねらい)

In this class we will use various types of internet materials to study English. You should be able to understand the materials, try your best to think about and communicate your own ideas to classmates in class or by writing down your ideas in mini reports. The topics will be about global topics.

講義の内容／
授業スケジュール

Class activities:

-Looking at internet materials, understanding the internet materials, talking about class topics (with the teacher & in pairs), writing about the class topics
-SOME listening and reading

Materials:

-Internet websites, pictures & graphs, news, audio & video, & etc.

Speaking:

-Pair work, in-class
-PLUS writing your preparation interviews, scripts etc.

Writing:

-On YeStudy
-Writing emails, mini-reports, etc.

Topics (about 1 topic per 4-5 weeks):

1st semester:

-2 main topics

2nd semester:

-2 main topics

履修上の留意点

We will use YeStudy in this class. You must have a computer login ID. If you have any trouble, contact the teacher for help.

成績評価の方法

1. In-class PAIR assessment activities (60-70%)

1st semester

a) Topic 1 and genre test

b) Topic 2 and genre test

2nd semester

c) Topic 3 and genre test

d) Topic 4 and genre test

***Tests will include integrated speaking and writing component and will also be based on in-class: pair work, listening and reading activities

2. Attitude and attendance (15-20%)

3. YeStudy work: mini-assignments, test preparation etc. (15-20%)

教科書／テキスト

There is no textbook for this course. YeStudy will be used to link internet materials for in-class materials. If you have trouble with computer access, please see the teacher for print outs.

関連リンク

<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	237911
科目名	英語 I A
担当者名	白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)	会話や作文をする際に英語を母国語としない日本人が苦手意識を持つ「冠詞」の使い方を、さまざまな練習を通してマスターすることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 初回：ガイダンス（予習の仕方など） 第2回～：テキストのひとつのチャプターにつき3～4回のペースで進める。各チャプター終了時をめぐりに、小テストを行う。 最終回：期末試験 (後期) 前期と同じ。
履修上の留意点	授業中の活動に積極的に参加すること。 小テストなどを頻繁に行う予定。
成績評価の方法	出席（3分の2以上）および平常点、授業内の各種テストの点、さらに期末試験の点などで総合的に評価する。
教科書／テキスト	Tom Cole, 『The Article Book.』 Revised Edition. (University of Michigan Press, 2000) ISBN: 978-0-472-08639-9

外国語

履修コード	237921
科目名	英語 I A
担当者名	西村 祐子

講義の到達目標(ねらい)	Ye-Study を活用してオンライン上での予習復習を徹底しておこないます。
講義の内容／ 授業スケジュール	350語程度の英文を読みながら聞き取り、読解、イディオム力増強による英作文力などを統合的に向上させます。 到達目標は英検準1級（TOEIC 680）程度です。授業中 TOEIC 模擬を前期1回 後期1回行い、どの程度向上したかをチェックしてみます。 定期試験はありません。すべて出席率、授業内の模擬試験を含む小テスト、提出物（英語・日本語サマリー、音声吹き込み）などによって判定します。
準備学習	1 ユニット1（問題1, 2） 16 ユニット5（問題5, 6） 2 ユニット1（問題3, 4） 17 ユニット6（問題1, 2） 3 ユニット1（問題5, 6） 18 ユニット6（問題3, 4） 4 ユニット2（問題1, 2） 19 ユニット6（問題5, 6） 5 ユニット2（問題3, 4） 20 ユニット7（問題1, 2） 6 ユニット2（問題5, 6） 21 ユニット7（問題3, 4） 7 ユニット3（問題1, 2） 22 ユニット7（問題5, 6） 8 ユニット3（問題3, 4） 23 ユニット8（問題1, 2） 9 ユニット3（問題5, 6） 24 ユニット8（問題3, 4） 10 ユニット4（問題1, 2） 25 ユニット8（問題5, 6） 11 ユニット4（問題3, 4） 26 ユニット9（問題1, 2） 12 ユニット4（問題5, 6） 27 ユニット9（問題3, 4） 13 ユニット5（問題1, 2） 28 ユニット9（問題5, 6） 14 ユニット6（問題3, 4） 29 ユニット10（問題5, 6） 15 前期試験（授業内） 30 後期試験（授業内）
履修上の留意点	Ye-Study を毎回つかうのでコンピュータ ID は必須。 音声録音を自宅などでおこないオンライン上にアップさせるので音声吹き込み用のヘッドセットを用意しておく。
成績評価の方法	遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めません。 ①試験（30％）②課題提出（40％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしません。
教科書／テキスト	教場で指示。教員の作成した電子教材を Ye-Study 上で使用する。

履修コード	237941・239601
科目名	英語ⅠA
担当者名	高野 秀夫 <small>たかの ひでお</small>

講義の到達目標(ねらい) 英字新聞、雑誌、インターネット等の英語で、日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上に努める。また日常の大学生活に役立つ口語英語表現の例文を多数英作し、ケース・パイ・ケースですぐに英語で自分の意思を伝えられるような実践的な英語表現の養成に努める。

講義の内容／授業スケジュール 授業はプリントと教科書を使って進める。
プリントでは、毎回、世間で話題になっている記事をQ & Aで進めている。
教科書では、教科書の内容に沿って年間計画を立てている。前期はPart Iの1-10章、後期はPart IIの1-10章まで進む予定にしている。

準備学習 英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
履修上の留意点 日常普段から、自分の思ったことを英語で表現するように努めること。
成績評価の方法 期末試験、平常点(出席、レポート)
教科書/テキスト The Road From Writing to Speaking (成美堂) ISBN4-7919-5026-7 C1082
その他 出席には、特に気をつけること。

履修コード	238001・238801
科目名	英語ⅠA
担当者名	笹倉 貞夫 <small>ささくら さだお</small>

講義の到達目標(ねらい) 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに、英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容／授業スケジュール (1～5) AMAZING ANIMALS、(6～10) YOUR AMAZING BODY、(11～14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16～20) AMAZING FIRSTS、(21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26～29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。
成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書/テキスト M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	238201・238901
科目名	英語ⅠA
担当者名	岩原 康夫 <small>いははら やすお</small>

講義の到達目標(ねらい) ライティングによる日常的なコミュニケーション能力の向上。

講義の内容／授業スケジュール 一定の基本的な動詞の構文と用法を学習し、その応用力を養う。
前期は“be” “go” “come” (2～5) “take” “put” (6～10) “make” “have” (11～15) などを中心に学び、後期は“get” “give” (1～4) “stay” “keep” (5～7) “lose” “find” “do” (8～12) の順で練習し、最後にパラグラフの構成を学ぶ。(13～15)

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。
成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
教科書/テキスト Shinichiro Torikai, Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2000円
ISBN4-255-15280-2 C1082

履修コード	238301
科目名	英語ⅠA
担当者名	飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。テキストの各単元とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。
成績評価の方法 成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。
教科書/テキスト 山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』(朝日出版)
1,600円 ISBN4-255-15269-1

履修コード	238401
科目名	英語 I A
担当者名	萩原 輝

講義の到達目標(ねらい)	この授業では今までに学んできた、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語による意志伝達能力を向上させることをめざす。
講義の内容／授業スケジュール	基本的には教科書の各章を授業2回から3回で進む。基本的な文法項目の説明や英作文の練習を数多くした後に、スピーチをしてもらう予定。
履修上の留意点	・必ず、英和・和英辞書を持参のこと。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位を取得できません。
成績評価の方法	授業中の学習に取り組む姿勢を重視し、定期試験、授業での発表、出席率、提出物等を合わせて総合的に評価します。
教科書／テキスト	Front-runners in the 21st Century:12 Outstanding Companies Brenda Hayashi 他著 (松柏社) ISBN4-88198-576-0

履修コード	238501
科目名	英語 I A
担当者名	久保 ひさ子

講義の到達目標(ねらい)	西洋でも、東洋でも、現代行われている自然治療法を、BBC Documentary 映像の英語字幕付のDVD 教材を使用しながら学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	1 偶発的な外国語を獲得する。 2 発音・イントネーション・リズムの使い方を学習する。 3 練習問題を解く。 4 自然なスピードで読むと同時に、内容を理解し、応用できるようにする。
準備学習	Herbal Medicine,Healing Foods, Music Dance,Body chi,Yan&Yin, Medicine Lines,Manupulation, Yoga&Meditation,Homeopathy, Dilutions,Scepticism, Massage,Manipulation,Laughter
履修上の留意点	言葉の意味は前もって調べておく。
成績評価の方法	DVD を見る時はテキストやノートは見ないでDVD 映像と音声だけに集中する。 Term-end-tests,Classwork & small tests の合計点
教科書／テキスト	Steve Lia etc. BBC Documentary Natural Remedies Longman Kirihara ¥2000+tax

履修コード	239001
科目名	英語 I A
担当者名	熊沢 和明

講義の到達目標(ねらい)	簡単な手紙文を教材にした総合教科書を使い、読む、聞く、話す、書く、の能力をバランスよく身につけます。さらに、語学学習というよりも、英語で何かできるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	ペアワーク、グループ作業、英語ゲーム、視聴覚授業などをこなしながら、毎回なにか実践作業をすることになります。
履修上の留意点	履修者は毎回の授業参加だけでなく、年一度の自主課題の提出(英語表現に関係したもので、自分が本当に興味が持てるものを見つけて自主課題として提出する)の提出も求められます。最初の授業時に詳しく説明いたします。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書／テキスト	Why Is That?「金星堂」
参考書	適宜、授業中に提示します。
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	239101
科目名	英語ⅠA
担当者名	^{たかほし} 高橋 ^{よしえ} 佳江

講義の到達目標(ねらい) 基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を速読することができるようになる。また、リスニングに慣れていく。

講義の内容／授業スケジュール 概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じて小テストを行う。

準備学習 わからない単語などは予め調べておくこと。

履修上の留意点 教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。

成績評価の方法 2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。

教科書／テキスト 初回の授業時に指示する。

その他 必ず復習をすること。

外国語

履修コード	239301
科目名	英語ⅠA
担当者名	^{たなか} 田中 ^{たもつ} 保

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。
リスニング、発音、日常英会話表現等、総合的に英語力をつけるようにする。

講義の内容／授業スケジュール [1] Greetings ~ Asking Questions (1~6), Requests ~ Appointments (7~14) ⑤ Examination [2] Apologies ~ Permissions (1~7), Invitations ~ Disagreement (8~14), ⑤ Examination

準備学習 テキスト(1),(2)を1週おきに1課進む予定ですので、毎授業1課下読みをして出席すれば、授業をよく理解できるようになります。

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。必ず下調べをし、単語の意味なども調べて積極的な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

教科書／テキスト (1) 田中保他編著 Focus on Communication ①—Through Sentences Pattern—
(『基本句型からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15442-8

(2) 田中保他編著 Focus on Communication ②—Through Pronunciation—
(『音の理解からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15443-5

履修コード	239501
科目名	英語 I A
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の内容／
授業スケジュール During most of the class period you will be talking to each other in groups or pairs. You will not be learning English, but using the English you already know. Simple conversations in mundane activities (banking, restaurants, shopping, etc.) will introduce appropriate vocabulary and speech patterns.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1addressing people	CLASS 16consumption
CLASS 2addressing people	CLASS 17courtship
CLASS 3social hierarchy	CLASS 18courtship
CLASS 4social hierarchy	CLASS 19adolescence
CLASS 5self expression	CLASS 20adolescence
CLASS 6self expression	CLASS 21social classes
CLASS 7gift-giving	CLASS 22social classes
CLASS 8gift-giving	CLASS 23candor
CLASS 9Informality	CLASS 24candor
CLASS 10Informality	CLASS 25authority
CLASS 11news coverage	CLASS 26authority
CLASS 12news coverage	CLASS 27employment
CLASS 13personal freedom	CLASS 28employment
CLASS 14personal freedom	CLASS 29politicians
CLASS 15Consumption	CLASS 30politicians

成績評価の方法 ATTENDANCE: Six absences in the year are allowed, but five absences will be detrimental to the final grade. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the maximum of 6 absences.

EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced small exams to focus attention on what is learned in each class. Question will be from parts of the textbook that we have already practiced in class.

GRADING: 70% of the final grade depends on your speaking ability, in comparison with your ability in the first class.

教科書／テキスト We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary.

履修コード	239801
科目名	英語 I A
担当者名	朝川 真紀

講義の到達目標(ねらい) 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容／
授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は(1)オリエンテーション(2~14)不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞(15)前期試験、後期は(16~29)形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現、また TOEIC形式のリスニング練習を行います。(30)後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。
小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。
本多吉彦『大学生のための基本英文法と TOEIC(R) テスト必修単語』(金星堂)1900円
ISBN978-4-7647-3856-0

履修コード	240011
科目名	英語ⅠA
担当者名	佐藤 孝一

講義の到達目標(ねらい) 基礎的英語力と運用力の向上を目指す。具体的には、英語学習の基礎となる英文法の復習をし、その構文を定着させるために応用文を書いたり、練習問題をやっていく。

講義の内容／授業スケジュール 授業の進め方は、授業のテキストとインターネットを通しての各テキストの学習内容に沿った練習問題をしていく。授業では、最初に各文法項目の説明と練習問題をこなす。

履修上の留意点 原則として、一時間で一章を消化していく。

成績評価の方法 授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。

教科書／テキスト 「Access to Simple English」 成美堂

外国語

履修コード	240021
科目名	英語ⅠA
担当者名	小布施 圭三

講義の到達目標(ねらい) 既習の語彙、構文を活用しながら、基本的な口語表現を習得します。最終目標はパラグラフ構成から自由英作文が書けるようにすることにあります。

講義の内容／授業スケジュール 1. ガイダンス(授業を展開する上で) 2. 主語の選択 3. 名詞(1) 4. 名詞(2) 5. 名詞(3) 6. 代名詞 7. 冠詞(1) 8. 冠詞(2) 9. プレテスト 10. 形容詞(1) 11. 形容詞(2) 12. 副詞(1) 13. 副詞(2) 14. 副詞(3) 15. 中間テスト 16. 比較(1) 17. 比較(2) 18. 動詞(1) 19. 動詞(2) 20. 動詞(3) 21. 時制(1) 22. 時制(2) 23. 態 24. 動名詞 25. プレテスト 26. 不定詞 27. 接続詞 28. 前置詞 29. 関係詞 30. 期末テスト

履修上の留意点 進度は各課90分で消化。授業は演習形式で行います。予習をしてきてください。英語の辞書を持参してください。

成績評価の方法 出席(30点) / レポート・授業貢献度(20点) / 小テスト・中・期末テスト(50点)などを加味して総合評価します。

教科書／テキスト 木塚晴夫/R. Northridge: Writing Updates(金星堂)1,800円
ISBN978-4-3859-1 C1082

履修コード	240031
科目名	英語ⅠA
担当者名	岩井 洋美

講義の到達目標(ねらい) 語彙表現を増やし、身近なことについて自分の考えを書き発表する。

講義の内容／授業スケジュール 第1回:テキストの1課、2回:2課、3回:3課、4回:復習テストなど、5回:発表、のパターンで年間30回の授業を進めていく。英作文、発話を重視した内容。

履修上の留意点 辞書は必須。出席とクラス内での姿勢、発言、熱心さを重視するので遅刻欠席は評価を下げます。

成績評価の方法 出席態度、学期末試験、復習テストと発表で評価。

教科書／テキスト Paul Mclean, NEW EASY WRITING, マクミランランゲージハウス, 1890円,
ISBN978-4-7773-6251-6

履修コード	240041
科目名	英語 I A
担当者名	安齋 薫

講義の到達目標(ねらい) 日常基本表現・会話に多く触れることで英語による意思伝達能力『書く力』と『話す力』の習得を目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 Introduction
 第2.3回 Asking for Repetition
 第4.5回 Natural Responses
 第6.7回 Thanks and Apologies
 第8.9回 Greetings and Farewells
 第10.11回 Meeting People on the Campus
 第12.13回 Making Appointments
 第14.15回 まとめ・テスト
 第16.17回 Suggestions and Advice
 第18.19回 Intentions and Wishes
 第20.21回 Techniques for Carrying
 第22.23回 College Life
 第24.25回 Physical Appearance
 第26.27回 Friends and Dating
 第28.29.30回 まとめ・テスト

履修上の留意点 予習をしてくること
 成績評価の方法 出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。
 教科書／テキスト The Road From Writing to Speaking 成美堂 ￥1600 ISBN4-7919-5026-7

外国語

履修コード	240101
科目名	英語 I A
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ、基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。

前期
 1. Orientation
 2～6. Greetings ～ Thanks
 7～11. Appointments ～ Invitations
 12～14. Agreement ～ Disagreement
 15. Examination

後期
 1～5. Reduction ～ Elision
 6～10. Assimilation ～ Liaison
 11～14. Conjugation of Sound(1) ～ (2)
 15. Examination

履修上の留意点 あらかじめ予習をしておいてください。
 成績評価の方法 前期・後期試験（50%）、出席や発表などの平常点（50%）により評価する。
 教科書／テキスト 前期：Focus on Communication (1) ISBN 978-4-255-15442-8 ￥1,400
 後期：Focus on Communication (2) ISBN 978-4-255-15443-5 ￥1,400
 朝日出版社

履修コード	240201
科目名	英語ⅠA
担当者名	<small>おがた しげまさ</small> 尾形 重政

講義の到達目標(ねらい) これまでの英語を基礎として、より高度な英語の運用能力を目指します。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現からダイアログを目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストに沿って進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合があります。

準備学習 教科書学習範囲をしっかりと読むこと。また課題英作文等は提出することを想定してやってくること。

履修上の留意点 予習をしっかりとやること。予習してきていることを前提に授業を進めます。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書/テキスト 第1回目の授業時に教場で伝達します。

参 考 書 英和辞典を持参してください。

そ の 他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	240211
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	<small>おちあひ かずあき</small> 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の基礎から中級（英検三級、準二級、二級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、リスニングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

「講義の内容」：講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『大学英語』 Unit 1
- 第三回 『文法』 Lesson 1
- 第四回 『大学英語』 Unit 2
- 第五回 『文法』 Lesson 2
- 第六回 『大学英語』 Unit 3
- 第七回 『文法』 Lesson 3
- 第八回 『大学英語』 Unit 4
- 第九回 『文法』 Lesson 4
- 第十回 『大学英語』 Unit 5
- 第十一回 『文法』 Lesson 5
- 第十二回 『大学英語』 Unit 6
- 第十三回 『文法』 Lesson 6
- 第十四回 『大学英語』 Unit 7
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『文法』 Lesson 7
- 第十七回 『大学英語』 Unit 8
- 第十八回 『文法』 Lesson 8
- 第十九回 『大学英語』 Unit 9
- 第二十回 『文法』 Lesson 9
- 第二十一回 『大学英語』 Unit 10
- 第二十二回 『文法』 Lesson 10
- 第二十三回 『文法』 Lesson 11
- 第二十四回 『文法』 Lesson 12
- 第二十五回 『文法』 Lesson 13
- 第二十六回 『文法』 Lesson 14
- 第二十七回 『文法』 Lesson 15
- 第二十八回 プリントによる応用問題
- 第二十九回 プリントによる応用問題
- 第三十回 後期試験

外国語

※上記の『大学英語』は『大学英語ディクテーションのエッセンス』を、『文法』は『話せて書けるコミュニケーション・イングリッシュ・文法』を指す。なお、ヒヤリング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取るため、学生の積極的な参加を求める。「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価（課題・授業中の発表・小テスト等を含む）」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書／テキスト

- 1) 『大学英語ディクテーションのエッセンス』 ISBN4-255-15282-9 C1082 朝日出版社 900円
ISBN978-4-255-15442-8 C1082
- 2) 『話せて書けるコミュニケーション・イングリッシュ・文法』 ISBN978-4-269-33038-2 英宝社 600円
- 3) プリント

履修コード	240221
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	松堂 啓子
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容／ 授業スケジュール 準備学習 成績評価の方法 教科書／テキスト	<p>反復練習を通して、コミュニケーションに必要な語彙力、基本的文法力の習得を目指す。</p> <p>毎回一章ずつテキストを進めていく予定です。各章のテーマや文法のポイントを理解し、リスニングや英文作成のエクササイズを通して、基礎力を養成していきます。</p> <p>授業時に指示します。</p> <p>ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。</p> <p>『コミュニケーションのためのベーシック・グラマー』成美堂 1,900円 ISBN978-4-7919-1088-5</p>

履修コード	240231
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	広川 治

外国語

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

映画のセリフと歌の歌詞を教材として用い、英語表現を学んでいくことを目標とする。

映画と歌のプリントを毎回配布して授業を進める。何の映画、歌を取り上げるかについては、受講者の人数、男女比を確認し、初回にアンケートを行ってから決めて発表する。映画や演劇のレポートを課題とすることもある。

<前期>

1. ガイダンス、アンケート
2. 歌
3. 歌
4. 映画(1)
5. 映画(2)
6. 映画(3)
7. 映画(4)
8. 映画(5)
9. 歌
10. 中間テスト(映画)
11. 歌
12. 歌
13. 期末テスト(歌)
14. 前期成績発表
15. 再テスト

<後期>

1. 歌
2. 歌
3. 映画(1)
4. 映画(2)
5. 映画(3)
6. 映画(4)
7. 映画(5)
8. 歌
9. 中間テスト(映画)
10. 歌
11. 歌
12. 期末テスト(歌)
13. 歌
14. 年間成績発表
15. 再テスト

準備学習
履修上の留意点

授業内に指示する。

遅刻も欠席扱いとしてカウントしていくほか、授業中の居眠りなど、授業に集中して参加していない者は、欠席扱いとする。特に、隠れて携帯や他の授業の予習、読書などを行っている者は、出席と偽って参加していない不正行為、すなわちカンニング(cheat)に等しいので、発覚時点で出席停止、単位不可とする。

成績評価の方法

前期・後期の試験。出席・遅刻状況。その他の受講態度。欠席は年間で4回以内。病気、あるいは部活動の大会等で欠席が増える場合でも、年間で3分の1(約9回)の欠席まで。

教科書／テキスト

プリント配布。

履修コード	240301・240701
科目名	英語ⅠB
担当者名	白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)

高校までの英語力をより実践的なものへと高めるために、TOEIC テスト対策用の問題集を使ってリスニングとリーディングの練習を行います。現代社会のさまざまな分野で必要な語彙を身につけることや、文法項目の復習、あるいは課題文の首読と暗誦の練習にも力を注いで、基礎的な英語力を高めます。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期)
初回：ガイダンス
第2回～：各回テキストのひとつのユニットを進める
最終回：期末試験

履修上の留意点

(後期)
前期と同じ
*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
はじめのうちは難しいと思うかもしれないが、次第に慣れてゆくかと思う。ぜひあきらめないで努力してほしい。

成績評価の方法

平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。

教科書／テキスト

田中清美等著『TOEIC テスト：スコアアップのための総合英語』(南雲堂)
ISBN: 978-4-523-17622-0

履修コード	240401・240501
科目名	英語 I B
担当者名	吉沢 栄治郎

講義の到達目標(ねらい) 小説を読んでゆきます。
英文読解力を高めることをねらいとします。

講義の内容／
授業スケジュール 原文を板書しますのでそれを筆写してもらいます。同時にその参考訳も併せて板書しますので、それも筆写していただきます。1回の授業について、原文2ページ前後をペースにして読解してゆきます。メモしながら情景を想像し、登場人物の心理状態を把握してゆくことが望ましいです。

準備学習
履修上の留意点 授業時に指示します。
成績評価の方法 英和辞典を大いに使用してください。
ペーパーテスト、出席状況、レポート提出等で総合評価します。

履修コード	240411
科目名	英語 I B
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、様々な分野の英文を読みこむ。

講義の内容／
授業スケジュール 高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。テキストは平易な教材を用い、日本語訳を介さずに文章の意味を理解する能力の向上も視野に入れる。

前期

1. Orientation
- 2-6. Animals: Fictional and Real ~ Literature: The Reading Boom
- 7-11. Eating Habits: Changing Tastes ~ Population: Food for Thought
- 12-14. Antiques: Older Is Often Better
15. Examination

後期

- 1-5. Edinburgh: A City of Festivals ~ Television: Reflecting Our Lives
- 6-10. Structures of the Millennium ~ Leisure: Indoor and Outdoor
- 11-14. Education in the UK ~ Pedal Power
15. Examination

履修上の留意点 あらかじめ予習をしておいてください。

成績評価の方法 前期・後期試験(50%)、出席や発表などの平常点(50%)で評価します。

教科書／テキスト Insight into Britain
Anthony Allan 他著
ISBN 978-4-7647-3902-4 金星堂 ¥1,800

履修コード	240601・241301・241701・242101・246901
科目名	英語 I B
担当者名	尾形 重政

講義の到達目標(ねらい) これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいは TOEIC 問題などを使用する場合があります。

準備学習 教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。
②練習問題を解く。
③知らない語句は辞書で確認しておく。

履修上の留意点 予習をしっかりとすること。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書／テキスト 第1回目授業時に教場で伝達します。

参考書 英和辞典を持参してください。

その他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	240801・241201・242001
科目名	英語 I B
担当者名	勅使河原 ^{てしがわら みほこ} 三保子

講義の到達目標(ねらい) 英文の段落構造について学び、その知識を生かして読み物が読めるようになる。視聴覚資料も用いて英語音声に慣れ、簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 3、4回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、小テストで締めくくる。前期1～2：導入、3～6：国際語としての英語、7～10：学生生活と将来の夢、11～14：世界で活躍する日本人。後期1～10：さらにテーマを3つ、11～14：ポスター発表（小グループに分かれてテーマを決め、英語でポスターを作製、発表）。

成績評価の方法 小テスト6回（60%）、ポスター発表（30%）、平常点（出席・本学 E-learning システム YeStudy 活用 10%）

教科書／テキスト 配布物およびオンライン資料。

履修コード	240901・241501・242901
科目名	英語 I B
担当者名	国見 ^{くにみ あきこ} 晃子

講義の到達目標(ねらい) 洋楽、海外ドラマ、映画、演説などの題材を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると同時に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容／授業スケジュール 前半：小テストを毎授業行います。
後半：洋楽、海外ドラマ、映画、演説などから、まずプリントで英語や時代背景を学び、後でDVDやPC上の動画で音声と映像を鑑賞し、知識が身についたかを確認します。

履修上の留意点 小テストと授業参加度が成績評価の主な対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。年間授業回数の3分の1（8回）休んだ時点で、評価は不可となります。

成績評価の方法 毎回行う小テストの結果、授業参加度、出席状況により、総合的に評価します。

教科書／テキスト ・小テスト用のテキストは、第一回目の授業で皆さんと話し合ってから決めます。
・後半行う題材の英語は、プリントを使用します。

履修コード	241001・243101
科目名	英語 I B
担当者名	依田 ^{よだ りか} 里花

講義の到達目標(ねらい) この授業は、リーディングとリスニングの両方の力をつけることが目的です。リーディングは精読が中心で、文法、構文、表現などに注意しながら、じっくりと理解することに時間をかけていきます。リスニングでは、音から意味がとれるように、また、音が既習の単語や表現とつながるように、様々な練習を行っていきます。毎回、課題がありますので、しっかり準備して出席してください。一年後には、必ず力がつきます！

講義の内容／授業スケジュール 第1回：オリエンテーション／第2回以降：学生による発表と解説、内容理解の問い、リスニングと映像、小テストなど／前期最終日と後期最終日は、定期試験を行います。

準備学習 毎回、予習となる課題を出します。復習には、小テストを行います。こつこつ積み上げていきましょう。

履修上の留意点 ・英和の辞書を持参してください。（電子辞書可）
・原則として、全授業数の三分の一以上欠席すると単位は取得できません。
・遅刻3回で1回の欠席になります。

成績評価の方法 授業に取り組む姿勢を重視し、定期試験、小テスト、課題、授業中の発表などから、総合的に判断して評価します。

教科書／テキスト Louis Sachar 著、書名 HOLES、出版社 YEARLING、ISBN 978-0-440-41480-3（原書のペーパーバック）

参 考 書 適宜、授業で紹介します。

外国語

履修コード	241101
科目名	英語 I B
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}

講義の到達目標(ねらい) 日本文化論を扱う。語彙を増やし、英語のヴァリエーション、パラグラフの把握の仕方・作成の仕方に留意し、コメント力を高め、そして速読の要領を得るように目指します。また、時々、現代的な問題意識を抱くために生の英字新聞・雑誌のコピーを配布し、幅広い英文の読みの涵養も目指します。

講義の内容／授業スケジュール ウォーミングアップとしてリスニング・タイムを設け、リーディング・タイムの読みのプロセスにおいて自己表現できるように発信型の能力も涵養していきます。レポート課題もあります。

授業スケジュール

Introduction to this course (1回)
 Smaller IS Better: Boxes Within Boxes (2回～6回)
 The Fan-Fold It, Hold It, Bring It Closer (7回～11回)
 The Anesama Doll--Take Away And Pare Down (12回～14回)
 The Well-Stuffed Box Lunch--Pack It In (15回～20回)
 Reductionism Today (21回～25回)
 Expansionism And The Japan Of Today (26回～28回)

準備学習
履修上の留意点

課題を出しますので、準備するよう要請します。
 辞書を持参のこと。テキスト以外にタイムリーな時事的記事のコピーを配布しますので、欠席の場合には研究室に取りに来てください。授業中の発表は評価の対象になりますので、積極的に質疑応答をして下さい。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表は評価対象になります。

教科書／テキスト

Short Listening 成美堂 4-7919-4507-7
 The Compact Culture 英宝社 4-269-17012-3 C1082

参考書

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事のコピーも配布します。

外国語

履修コード	241401
科目名	英語 I B
担当者名	高橋 ^{たかはし} 佳江 ^{よしえ}

講義の到達目標(ねらい) 基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。

講義の内容／授業スケジュール 概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。

準備学習

わからない単語などは予め調べておくこと。

履修上の留意点

教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。

成績評価の方法

2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。

教科書／テキスト

初回の授業時に指示する。

その他の他

必ず復習をすること。

履修コード	241601
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに基礎的な読解力などを中心とした総合的な英文を読むと同時に、実際に会話文を繰り返し発音することで、英語の語感を鋭敏にし実用英語の演習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、癖のないしっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英語の基本的な「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから、後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、日本語の和訳は要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。
準備学習	英語の辞書（電子辞書を含む）は、必ず持参し、授業中でもつねに引くことを習慣づけることが大切です。辞書の選定にあたっては、開講時に指示します。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	The Complete Guide to the TOEFL Test Reading iBT Edition 著者 Bruce Rogers 出版社 CENGAGE Learning. ISBN978-981-265-986-6

外国語

履修コード	241801
科目名	英語 I B
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい)	環境問題を扱う。語彙を増やし、英語のヴァリエーション、パラグラフの把握の仕方・作成の仕方に留意し、コメント力を高め、そして速読の要領を得るように目指します。また、時々、現代的な問題意識を抱くために生の英字新聞・雑誌のコピーを配布し、幅広い英文の読みの涵養も目指します。
講義の内容／授業スケジュール	ウォーミングアップとしてリスニング・タイムを設け、リーディング・タイムの読みのプロセスにおいて自己表現できるように発信型の能力の涵養も努めます。レポート課題もあります。 授業スケジュール 前期 Introduction to the First Term and Introduction of the Text (1回) Postharvest (2回～3回) Preservatives (4回～5回) Fats (6回～7回) Meat (8回～9回) Genetically Engineered Food (10回～11回) Drinking-Water Pollution (12回～13回) The First Term Test 後期 Introduction to the Second Term (14回) Flouride (15回～16回) Washing and Cleaning (17回～18回) Tobacco (19回～20回) Dioxin and PCBs (21回～22回) Heavy Metals (23回～24回) EMFs (25回～26回) Energy Independence (27回) Conclusion: The Beginning Of Safer Lives ? (28回) The Final Test
準備学習	課題を出しますので、準備するよう要請します。
履修上の留意点	辞書を持参すること。テキスト以外にタイムリーな時事的記事のコピーも配布しますので、欠席の場合には研究室に取り来てください。授業中の発表は評価の対象になりますので、積極的に質疑応答をしてください。
成績評価の方法	出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表は評価の対象になります。
教科書／テキスト	Your Ear for English 金星堂 4-7647-3672-1 C1082 Danger in Daily Life 英宝社 4-269-1800-2 C-1082
参考書	随時指示し、タイムリーな生の時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	241901・242601
科目名	英語ⅠB
担当者名	<small>ほんま あさお</small> 本間 章郎

講義の到達目標(ねらい)	<p>授業の目標は、英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成、英単語の語彙の増加、そしてTOEICに慣れることの3点です。</p> <p>使用する教科書は、環境問題、文化、教養、健康、ビジネス活動など、現代社会において歓心の高いテーマを扱い、比較的、読みやすい英文で書かれています。英文を読む上での基本的な構文を確認しながら、内容を的確に把握し、それぞれのテーマに関連する語彙を習得してもらいたいと思います。</p> <p>また、小テストとしてTOEIC用の問題を使用します。リスニング問題などに対して、特に抵抗感を感じる方もいるかもしれませんが、小テストを重ねることで、TOEICに類出するビジネスに関連する語彙を学び、TOEICという試験自体に慣れてもらえればと思います。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス</p> <p>第2～15回：教科書11章～20章</p> <p>第16～27回：教科書1章～10章</p> <p>第28回：テスト</p> <p>第29回：テストの返却および授業のまとめ</p> <p>第30回：追試</p> <p>教科書の進度は、1回から2回の授業で1つの章を終えたいと思います。進度に応じて、授業では扱わない章もあるので、気を付けてください。</p>
準備学習	<p>毎回、事前に教科書などの予習が必要です。十分な時間をかけて、準備を行って授業に臨んでください。</p>
履修上の留意点	<p>語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。欠席が多いと、成績評価の対象にはならないので注意してください。</p>
成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書から出題する学年末テスト 2. 授業でおこなう小テスト 3. 授業の出席が皆勤など、授業における平常点
教科書／テキスト	<p>ジョアン・ペロケティ他 Eco-navigation and Society (『エコナビゲーション社会』) 南雲堂 1900円＋税 ISBN978-4-523-17635-0</p>

履修コード	242201
科目名	英語 I B
担当者名	^{ほんま あきお} 本間 章郎

講義の到達目標(ねらい) 授業の目標は、英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成、英単語の語彙の増加、そしてニュース英語を聞きながら、英語の音声に慣れることの3点です。

使用する教科書は、BBCで放映された、さまざまな現代の社会問題などを扱ったニュースを編集した教科書です。実際にBBCで放映された映像と音声から、それぞれのニュースの内容を的確に把握し、英語の音声を聞き取ることを練習していきます。英語の音声を聞き取ることに抵抗感を感じる方もいるかと思いますが、教科書は段階的に内容を把握していくことができるように編集されているので、徐々に英語の音声に慣れていくことができるのではないかと思います。

音声を聞き取る練習の後、英語の基本的な構文や重要な語彙を確認しながら、英文の内容を確認していきます。この授業が、的確に英文の内容を総合的に把握する力を育む機会になればと思います。

外国語
講義の内容/
授業スケジュール

第1回：授業ガイダンス
第2～15回：教科書1章～8章
第16～27回：教科書9章～15章
第28回：テスト
第29回：テストの返却および授業のまとめ
第30回：追試

準備学習

教科書の進度は、2回から3回の授業で1つの章を終えたいと思います。進度に応じて、授業では扱わない章もあるので、気を付けてください。

履修上の留意点

毎回、事前に教科書などの予習が必要です。十分な時間をかけて、準備を行って授業に臨んでください。

成績評価の方法

語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。欠席が多いと、成績評価の対象にはならないので注意してください。

教科書/テキスト

成績評価は次の諸点から総合的に判断します。

1. 教科書から出題する学年末テスト
2. 授業でおこなう小テスト
3. 授業の出席が皆勤など、授業における平常点

小野田 榮他
BBC Understanding the News in English 7
(『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える7』)
金星堂
2400円+税
ISBN978-4-7647-3894-2 C1082

履修コード	242301・242401・243001
科目名	英語 I B
担当者名	^{たかはし あきこ} 高橋 明子

講義の到達目標(ねらい) 優れた英語学習素材である洋画を通して、言葉の背景にある文化に触れながら、リスニングやリーディングの基礎的な力を養います。

外国語
講義の内容/
授業スケジュール

前期は、テキストのPart1 (PAY IT FORWARD) 各Unitを二回の授業を目安にして進めます。後期は、テキストのPart2 (NIGHT AT THE MUSEUM) 各Unitを二回の授業を目安にして進めます。映像を観たりシーンの音声を聴いたりしてリスニングの練習をし、各Unitの内容をまとめた英文を読むことで語彙力や読解力、基本的な文法事項の知識を養成します。

準備学習

テキストの下読みをして、わからない単語やイディオムを調べてください。

履修上の留意点

遅刻・欠席をしないよう心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価の方法

平常点(出席状況や発表など)と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書/テキスト

『Step Up with Movie English 映画で学ぶ大学英語の基礎』(金星堂) 2,000円+税
ISBN978-4-7647-3897-3

履修コード	242311
科目名	英語 I B
担当者名	^{たかはし} ^{よしえ} 高橋 佳江

講義の到達目標(ねらい) 語彙数を増やして、日常や旅行の際に使える表現を学び、最終的には辞書を余り引かなくても、案内、表示など速やかに読み取れるよう、学習していく。

講義の内容／授業スケジュール 授業：聞き取り、ディクテーション、読解、作文の分野をバランス良く学んでいく。最低限の予習と十分な復習が必要になる。辞書は必携。
授業 1 回目はガイダンス、2 回目以降、1 回につき約 1 課ずつ進んでいく。前期、後期とも、授業最終時に試験を行う。

履修上の留意点 教科書、ノート、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法 試験：授業時試験。1／3 以上欠席の場合は受験を認めない。欠席は、前期後期合わせて概ね 7 回まで。遅刻 3 回につき欠席 1 回とする。なお、部活、病欠、忌引、電車等の遅延の場合は届けを出すこと。試験の点数が前期後期の試験の得点の平均が 60 点以上の者を合格とする。出席点はないが、授業時の発言点を成績に加味する。

教科書／テキスト 初回授業時に指示

履修コード	242321
科目名	英語 I B
担当者名	^{ますだ} ^{けいこ} 増田 恵子

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は 1～2 回で 1 章を終える予定です(第 2～7 回、第 9～14 回、第 16～21 回、第 23～28 回)。第 29 回：講義のまとめ。テストは年 4 回(第 8、15、22、30 回)。

準備学習 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。

履修上の留意点 3 分の 2 以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法 年 4 回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト テリー・オプライエン 他著 The UK and the USA 南雲堂 1900円
ISBN978-4-523-17642-8

履修コード	242501
科目名	英語 I B
担当者名	^{ますだ} ^{けいこ} 増田 恵子

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は 1～2 回で 1 章を終える予定です(第 2～7 回、第 9～14 回、第 16～21 回、第 23～28 回)。第 29 回：講義のまとめ。テストは年 4 回(第 8、15、22、30 回)。

準備学習 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。

履修上の留意点 3 分の 2 以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法 年 4 回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト 深山 晶子 他著 First Steps to SciTech English Basic 桐原書店 1900円
ISBN978-4-342-55000-3

履修コード	242701
科目名	英語 I B
担当者名	増田 恵子

講義の到達目標(ねらい)

英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です(第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回)。第29回：講義のまとめ。テストは年4回(第8、15、22、30回)。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。年4回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト

Adrian Tennant 他著 Synergy2 マクミラン ランゲージハウス 2500円
ISBN978-4-7773-6082-6

外国語

履修コード	242801
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)

TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに総合的な英文をたくさん読み、英語の語感を鋭敏にし、実用的な英語力の演習を行います。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は癖のないしっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから、後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、日本語の和訳は要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。

準備学習

英語の辞書(電子辞書を含む)は、必ず持参すること。辞書は、予習の段階で引くことはもちろん、授業中であっても、どんどん引くこと。どのような辞書を選んだらよいかは、開講時に指示します。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回程度)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書／テキスト

Reading Explorer 3 著者 Nancy Douglas 出版社 CENGAGE Learning. ISBN978-1-4240-2935-8

履修コード	243201・246001
科目名	英語 I B
担当者名	樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい)

入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と習得をはかり、参考文献として日本文学の翻訳本等にふれ、専門的興味をもたせる。

講義の内容／
授業スケジュール

上記目標達成の為、大学生として色々な社会的一般教養を英文を通して学習する為に、興味ある内容とする。

履修上の留意点
成績評価の方法

世界の教育(1-6) 社会学(7-12) 健康・医学・医療(13-18) 環境・資源(19-24) 経済(25-30)

教科書／テキスト

日頃から世界の情報に注意を払い、教材の予習をはかる。
年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価します。
Shawn M. Clankie
VOA Special English
南雲堂 1785円(価格)
ISBN 978-4-523-17617-6 C0082

履修コード	243301
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに会話文などを中心とした総合的な英文を読み、繰り返し発音することで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	前期は癖のないしっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから、後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、日本語の和訳は要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。
準備学習	普段から英字新聞や英文雑誌などを意識して読むことを心掛けてください。同時に、音声言語としての英語を意識し、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語を聴くように習慣づけることが大切です。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書（電子辞書を含む）は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	Reading Explorer 3 著者 Nancy Douglas 出版社 CENGAGE Learning ISBN 978-1-4240-2935-8

外国語

履修コード	243401
科目名	英語 I B
担当者名	真砂 久晃

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解の基礎を身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回目の授業では、オリエンテーションを行う。テキストを購入して授業に出ること。テキストが入荷されていない場合は、予約しておくこと。 第2回以降は、テキストのUnit 1から順番に英文を読み、問題を解いて行く。
準備学習	予習は必ずしておくこと。
履修上の留意点	学生諸君には、授業中にテキストの英文を読んで訳したり、問題を解いたりしてもらう。
成績評価の方法	授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とする。 平常点+テストの点数=成績、となる。 試験は前期と後期、それぞれ1回ずつ行う。 詳細は最初の授業で説明する。
教科書／テキスト	塩澤正 他著、『Why Is That?』1890円、ISBN4-7647-3751-5、金星堂

履修コード	243701
科目名	英語 I B
担当者名	近藤 真彰

講義の到達目標(ねらい)	英字新聞記事の正確な読解力を養い、英語を通じて世界の動きを知る習慣を身につける。
講義の内容／授業スケジュール	【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがって時事英語の読み方の基本を学ぶ。 第14,15週：復習 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：前期で学んだことを確認しながらリアルタイムで様々な英字新聞の記事を読んでいく。第14,15週：復習
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績（50％）と平常点（50％）を総合して評価する。
教科書／テキスト	『時事英語の総合演習 - 2010年度版 - 』（朝日出版社）1500円＋税 ISBN978-4-255-15484-8

履修コード	243801
科目名	英語 I B
担当者名	^{みよし やすよし} 三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに会話文などを中心とした総合的な英文を読み、繰り返し発音することで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、アメリカ英語の語法・発音・イントネーションをじっくり身につけます。口頭によるシャドウイングを徹底的に行い、発話の練習を反復します。同時に、日常会話によく用いられるイディオマティックな表現も練習します。後期は、日常会話文の聞き取りと並行して短文から長文の読みも取り入れ、徐々に速読による多読へと発展させていきます。
準備学習	普段から英字新聞や英文雑誌などを意識して読むように心掛けてください。同時に、音声言語としての英語を意識し、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語を聴くように習慣づけることが大切です。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書(電子辞書を含む)は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	Listen Up! For Better Active Communication 篇著者 新井恭子 他 出版社 音羽書房鶴見書店

外国語

履修コード	243901
科目名	英語 I B
担当者名	^{ひわたり しゆんこう} 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい)	国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的な Business English の習得をはかる。
講義の内容／ 授業スケジュール	国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。 America of the School ID Tags ・他 (1-6) Hackers ・他 (7-12) イギリスの話題 ・他 (13-18) 認知症の問題 ・他 (19-24) 南アフリカ問題 ・他 (25-30) 副教材: Business English, Japan Times 等を授業内に取り入れる。
履修上の留意点	教材の予習、辞書持参
成績評価の方法	年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価
教科書／テキスト	Richard Best The World at a Glance 南雲堂 1500円+税 ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	244001
科目名	英語 I B
担当者名	^{はまぐち まさき} 濱口 真木

講義の到達目標(ねらい)	読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、英文を読みこむ。
講義の内容／ 授業スケジュール	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。日本語訳を介さずに文章の意味を理解する能力の向上も視野に入れる。
履修上の留意点	前期
成績評価の方法	1. Orientation
教科書／テキスト	2-10. Prologue ~ Part1 Extracts from Famous English Speeches 11-14. Part2 Great English Speeches 15. Examination
	後期
	1-10. Part2 Great English Speeches 11-14. Part3 The Nobel Prize Acceptance Speech ~ Epilogue 15. Examination
	あらかじめ予習をしておいてください。
	出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
	Great English Speeches 英語名演説集 荒井良雄、尾崎寛著 ISBN 978-4-87097-126-4 栄光社 ¥1,800

履修コード	244011
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子 <small>いらぶ あきこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文と speed reading の基礎を身につける。テキストの精読に加えて、段落や文章の大意を把握する。

講義の内容／授業スケジュール 第1～2回：眠っているような田舎町、英語教育の中心に変身、第3～4回：血液型で性格が決まるのか？等 12 の topics で構成されています。大体、2回の授業で 1 unit 終える予定です。

履修上の留意点 辞書を持つてくること。

成績評価の方法 前期・後期の試験、課題の提出、授業時の平常点、出席で総合評価する。

教科書／テキスト 高橋俊身 / 伊藤典子 / Richard Powell 編著、『1/2版：ニュースメディアの英語－演習と解説2010年度版』 朝日出版社、¥1100 ISBN 978-4-255-15483-1

履修コード	244101・244501
科目名	英語 I B
担当者名	吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small>

講義の到達目標(ねらい) 英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容／授業スケジュール H.G.Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

前期
1、2、3、4回 1章 The Beginning of Cultivation
5、6、7、8回 2章 The First American
9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing
13、14回 4章 Primitive Nomadic Peoples
15回 試験日

後期
16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples
20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria
24、25、26回 7章 The Primitive Aryans
27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire
30回 試験日

履修上の留意点 予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようになって欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法 前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。追試験は行わない。

教科書／テキスト H.G.Wells 著“A Short History of the World”（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）教室で販売する。

参 考 書 授業中に推薦する。

履修コード	244201
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに会話文などを中心とした総合的な英文を読み、繰り返し発音することで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、癖のないしっかりとした英文を読み、その構造や語法の解説に時間を割き、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の確認をしてから後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、日本語の和訳は要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。
準備学習	普段から英字新聞や英文の雑誌などを意識して読むように心掛けてください。同時に、音声言語としての英語を意識し、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語を聴いたり、音読を習慣づけることが大切です。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書(電子辞書を含む)は、必ず携帯し、授業中であってもつねに引くことを習慣づけること。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書/テキスト	Reading Explorer3 著者 Nancy Douglas 出版社 CENGAGE Learning. ISBN978-1-4240-2935-8

外国語

履修コード	244301
科目名	英語 I B
担当者名	杉村 初枝

講義の到達目標(ねらい)	身近なニュースを集めたテキストを使用し、難解な文章でも正確に読みこなすための、文法、構文、語彙に留意した読解練習と、映像を見ながら大意を把握する練習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	第1回オリエンテーション、第2回～4回 Unit1、第5～6回 Unit2、第7～8回 Unit3、第9～10回 Unit4、第11回テスト①、第12～13回 Unit5、第14回～15回 Unit6、第16回～17回 Unit7、第18回～19回 Unit8、第20回テスト②、第21回～22回 Unit9、第23回～24回 Unit10、第25回～26回 Unit11、第27回テスト③
準備学習	授業は発表中心に行うので、各自十分な予習をして授業に積極的に参加してください。
履修上の留意点	予習の段階でわからない箇所を曖昧にせず、各自が徹底的に調べる習慣を心がけてください。英和辞典は中辞典以上のものを用意することをお勧めします。
成績評価の方法	授業中の発表、レポート、小テスト、試験(年3～4回)の成績に基づき、総合的に評価します。ただし、出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。評価の詳しい配分については、開講時に配布するマニュアルに掲載します。
教科書/テキスト	金森 強・Braven Smillic 編『ニューヨーク街物語』(金星堂、2300円) ISBN978-4-7647-3871-3

履修コード	244401・244621
科目名	英語 I B
担当者名	石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)	英語の読解力向上を目指します。特に速読、全体理解が主な課題です。言葉の多義性、音を重ねた言葉遊びなど、英語の楽しさにもふれてもらいます。
講義の内容／授業スケジュール	イギリスの歴史の中から、今まで知られていなかったさまざまなエピソードを取り上げ、英語を通じて、歴史、社会、文化などを学習します。教科書には付録のDVDがあり、そこには教科書に関連した豊富な例文や、写真、動画、HPなどが収録されています。意欲的な学生諸君の自習には最適な環境が整っています。授業スケジュールは最初の授業で説明します。
準備学習	必ず予習して出席すること。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	年2回の学期試験、小テスト、予習の状態などの平常点、レポートの良否などを総合して評価します。
教科書/テキスト	Horrible Histories: England 南雲堂 2000円+税 ISBN978-4-523-17578-0

履修コード	244601
科目名	英語 I B
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、様々な分野の英文を読みこむ。

講義の内容／授業スケジュール 高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。テキストは平易な教材を用い、日本語訳を介さずに文章の意味を理解する能力の向上も視野に入れる。

前期

1. Orientation
- 2-6. All You Have to Do Is Press a Key ~
Crusaders: Their Influence Is Still Felt
- 7-11. Beethoven, the First Composer to Keep His Independence ~
You Could Be a Great Runner
- 12-14. The Face That Tells the Truth
15. Examination

後期

- 1-5. Character and Blood Type ~ If We Didn't Eat So Many Hamburgers
- 6-10. What Happens When You Use a Barcode Reader? ~
Prehistoric Creatures
- 11-14. Family Names or Given Names: Which Are Better? ~
I'll never Get Rid of My Microwave
15. Examination

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価。

教科書／テキスト Power Reading 1 — Reading in Chunks —

湯舟英一他著

ISBN 978-4-7919-3111-8 成美堂 ¥1,800

履修コード	244611
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と speed readding の基礎を身につける。テキストの精読に加えて、段落、文章の大意を把握する。

講義の内容／授業スケジュール 第1～2回：Reliving History, 第3～4回：Yoga, Old but New 等 15 unit の topics があります。大体、2回の授業で 1 unit 終える予定です。

履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法 前期・後期の試験、課題の提出、授業時の発表、出席で総合評価する。

教科書／テキスト Braven Smillie, Takehisa Tsuchiya 編著、『What's Happening USA (アメリカ再発見)』、金星堂、¥1800、ISBN 978-4-7647-3901-7

履修コード	244631
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身につける。テキストの精読に加えて、段落、文章の大意を把握する。

講義の内容／授業スケジュール 第1～2回：Pursuing American Dream, 第3～4回：America's Immigrant Roots 等20章がありますが、大体、2回の授業で1chapterを終える予定です。

履修上の留意点 辞書を持ってくること。

成績評価の方法 前期・後期試験、課題提出、授業時の発表、出席で総合評価します。

教科書／テキスト Gary Dendo/ Masako Dendo, 『America in Motion (アメリカの過去・現在・未来を読む)』、成美堂、¥1800 ISBN 978-4-7919-3128-6

履修コード	244641
科目名	英語 I B
担当者名	杉村 ^{すぎむら} 初枝 ^{はつえ}

講義の到達目標(ねらい)	身近なニュースを集めたテキストを使用し、難解な文章でも正確に読みこなすための、文法、構文、語彙に留意した読解練習と、映像を見ながら大意を把握する練習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	第1回オリエンテーション、第2～4回 Topic1、第5～6回 Topic2、第7～8回 Topic3、第9～10回 Topic4、第11回テスト①、第12～13回 Topic5、第14～15回 Topic6、第16～17回 Topic7、第18～19回 Topic8、第20回テスト②、第21～22回 Topic9、第23～24回 Topic10、第25～26回 Topic11、第27回テスト③
準備学習 履修上の留意点	なお、授業の進捗状況によってはスケジュールの変更もあります。 授業は発表形式で進めるので、各自が十分な予習をして積極的に授業に参加してください。予習の段階でわからない個所を曖昧にせず、各自が徹底的に調べる習慣を心がけてください。英和辞典は中辞典以上のものを用意することをお勧めします。
成績評価の方法	授業中の発表、レポート、小テスト、試験(年3～4回)の成績に基づき、総合的に評価します。ただし、出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。評価の詳細な配分については、開講時に配布するマニュアルに掲載します。
教科書／テキスト	John S Lander 編 『ビデオが語る世界のトピック』(朝日出版社、1800円) ISBN4-255-15398-1

外国語

履修コード	244701
科目名	英語 I B
担当者名	藤井 ^{ふじい} 道行 ^{みちゆき}

講義の到達目標(ねらい)	程よい長さで書かれた多様で、発展性のあるトピックを、速く、正確にキャッチする訓練をします。テキストに掲載されている写真の数々は、リーディングの内容に対する好奇心を高め、理解を深めるうえで何よりも役立ちます。
講義の内容／授業スケジュール	1回目：ガイダンス 2～6回目：Unit 1～3 7回目：試験(1) 8～14回目：Unit 4～6 15回目：試験(2) 16～22回目：Unit 7～9 23回目：試験(3) 24～29回目：Unit 10～12 30回目：試験(4)
成績評価の方法	前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。
教科書／テキスト	Nancy Douglas, Paul Macintyre Reading Explorer Book 3 (センゲージラーニング) 2,100円 ISBN 978-1-4240-2935-8

履修コード	244801
科目名	英語 I B
担当者名	木元 ^{きもと} 喜久子 ^{きくこ}

講義の到達目標(ねらい)	現代日本が抱える、少子高齢化や若年労働者の不足、外国人労働者の受け入れなどの社会問題に鋭く切り込んだリーディング教材を読みながら、これらの困難を克服する道を一緒に考えると共に、実践的な英文読解スキルの習得を目指す。
講義の内容／授業スケジュール	前期：Ch.1 - 5, Living in Japan today, Aging society, Whatever happened to lifetime employment? A word to remember: "precarious" Nursing and care workers from abroad, 後期：Ch.6 - 10 Do Asian countries have nurses to spare? Reviving villages, relieving lakes, Generations apart, How one 84-year-old lives alone in England, また、短いリスニング教材を使った聞き取り練習。
履修上の留意点 成績評価の方法	十分な予習と積極的な参加と発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。 成績は出席率(全授業の3分の2以上)、授業中の課題、発表やリスニングの小テストと前・後期試験の結果を総合して評価する。(欠試は不可)
教科書／テキスト	David Dykes, 角岡賢一(編著), "Living in Japan 日本の未来を探る"(成美堂), ISBN978-4-7919-3129-3

履修コード	244901
科目名	英語ⅠB
担当者名	みたま やすこ 海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい) Reading－英国を代表する日刊紙 The Times と The Guardian より論説を中心に編集されたテキストを読む。Listening－BBC World のニュースの聞き取り。

講義の内容／授業スケジュール 毎回 授業の始め20分間は BBC World のニュースの聞き取り。 1回2回 抗うつ剤依存 3回－5回 移動診療 6回－8回ファッションモデル 9回10回合成生物学 11回12回 人体冷凍保存 13回14回ゲーム機 15回試験 16回17回 テスコの環境保護 18回－20回 英国マクドナルド 21回22回 デビアスのアフリカ支援 23回24回エアバス社 25回26回 O-157汚染 27回－29回バイオ燃料 30回試験

準備学習 毎日 ニュースのヘッドラインをチェックすること。

履修上の留意点 毎日 Web上 テレビ 新聞等で 国際問題 科学 医療 環境問題のニュースに注目すること。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書／テキスト 田中孝信 筒井香代子 野田三貴 編著 Reading the World through The Times and The Guardian 「タイムズ」と「ガーディアン」で読む今日の世界 音羽書房鶴見書店 1800円 ISBN978-4-7553-0351-7

外国語

履修コード	245001
科目名	英語ⅠB
担当者名	かゆだ みさこ 亀田 三重子

講義の到達目標(ねらい) テキストの英文の内容をしっかりと把握させ、関連した実用英語の訓練を行なう。

講義の内容／授業スケジュール テキストを読み進め、内容を吟味する。関連した記事も読んでゆく。毎回 DVD を使用して listening の訓練をする。ほとんど毎回あたります。

準備学習 必ず予習をしてくる事。

履修上の留意点 予習。辞書必携、私語厳禁。

成績評価の方法 ①授業への参加度。学習意欲 ②ミニテスト、宿題、前期、後期の試験結果。

教科書／テキスト CNN：ビデオで見る世界のニュース(11) ¥2000 朝朝日出版社 2010年1月30日発行

履修コード	245101
科目名	英語ⅠB
担当者名	みたま やすこ 海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい) Reading--最新の科学、医療、環境をテーマにした評論を読む。Listening--BBC-World のニュースの聞き取り。

講義の内容／授業スケジュール 毎回授業の始め20分間は BBC World のニュースの聞き取り。 1回2回 建築鳥 3回4回 記憶 5回6回 外来種 7回8回 臭覚 9回10回 ローラーコースター 11回12回 英国の地形 13回14回 動物の危機感知 15回 試験 16回－18回 Newton 伝説 19回20回 日干し煉瓦 21回22回 ハワイの天文観測 23回24回 単細胞生物 25回26回 サング 27回28回 風力発電 29回 月探検 30回 試験

準備学習 毎日 ニュースのヘッドラインをチェックすること

履修上の留意点 毎日、Web上、テレビ、新聞等で国際問題 科学 医療 環境問題のニュースに注目すること。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書／テキスト Kevin Cleary 野崎嘉信 松本和子著 Science Square「科学の愉しみ」成美堂1800円 ISBN978-4-7919-1083-0

履修コード	245201
科目名	英語 I B
担当者名	木元 喜久子

講義の到達目標(ねらい) 地球規模で深刻化する食料、人口、環境、エネルギーなどの問題を論じたエッセイを読みながら、国際的視野や感覚を磨き、学生が自ら考えていく力を養うと共に、実践的な英文読解スキルの習得を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期 Ch.1- 4 Information and Misinformation, Saving Tropical Rainforests, Concerning Happiness, Gizmo Addiction,
後期 Ch.5 - 10 Coping with Noise, The Whaling Debate, Food : Not Just a Commodity, Sweatshop Labor, Japan's Declining Population, Poverty : Meeting the Millennium Development Goals また エッセイのトピックスと関連した短いリスニング教材を使った聞き取り練習。

履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加、発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。
成績評価の方法 成績は出席率（全授業の3分の2以上）、授業中の課題、発表やリスニングテストと前・後期試験の結果を総合して評価する。(欠試は不可)

教科書／テキスト David Peaty 著、及川正博他編注、“Confronting the Issues- 世界に向き合うための12章”（金星堂）ISBN978-4-7647-3886-7

履修コード	245501
科目名	英語 I B
担当者名	木元 喜久子

講義の到達目標(ねらい) 現代日本が抱える、少子高齢化や若年労働者の不足、外国人労働者の受け入れなどの社会問題に鋭く切り込んだリーディング教材を読みながら、これらの困難を克服する道を一緒に考えると共に、実践的な英文読解スキルの習得をめざす。

講義の内容／授業スケジュール 前期 : Ch.1 - 5, Living in Japan today, Aging society, Whatever happened to lifetime employment, A word to remember: “precarious”, Nursing and care workers from abroad,
後期 : Ch.6 - 10 Do Asian countries have nurses to spare? Reviving villages, Relieving lakes, Generations apart, How one 84-year-old lives alone in England, また、短いリスニング教材を使った聞き取り練習。

履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。
成績評価の方法 成績は出席率（全授業の3分の2以上）、授業中の課題、発表やリスニングの小テストと前・後期試験の結果を総合して評価する。(欠試は不可)

教科書／テキスト David Dykes, 角岡賢一（編著）, “Living in Japan Tomorrow 日本の未来を探る”（成美堂）ISBN978-4-7919-3129-3

履修コード	245601
科目名	英語 I B
担当者名	藤井 道行

講義の到達目標(ねらい) 英文を受身的でなく、アクティブに読むコツを多様な素材から身につけることを目的とした授業です。とにかく、たくさんさんの英文を読み、たくさんさんの問題に取り組みます。

講義の内容／授業スケジュール
1回目 : ガイダンス
2～6回目 : Chapter 1～5
7回目 : 試験 (1)
8～14回目 : Chapter 4～6
15回目 : 試験 (2)
16～22回目 : Chapter 7～9
23回目 : 試験 (3)
24～29回目 : Chapter 10～12
30回目 : 試験 (4)

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書／テキスト Andrew E. Bennett
Reading Pass 2 (南雲堂) 2,310円
ISBN978-4-523-17609-1 C0082

履修コード	245701
科目名	英語 I B
担当者名	<small>みたま やすこ</small> 海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい) Reading-- 英語学習に不可欠なヨーロッパ文化について10都市をめぐりながらヨーロッパ史の基礎ヨーロッパの街の基本構造を中心に視野を広げていく。Listening--BBC World のニュースの聞き取り。

講義の内容／授業スケジュール 授業の始め20分間は BBC World のニュースの聞き取り。2009年8月、私は16年ぶりのスイス、Zurich, Lucern, Bern, Geneve と盟約によって結ばれた中世都市として発展してきた街を訪れた。アメリカ人の描くヨーロッパ10都市を一年間でめぐる。私の体験、写真 ビデオ等で視覚的にも楽しめる授業とする。 1回 EU EURO について 2回 ヨーロッパの街の基本構造 3回 言語 4回-6回 Paris 7回8回 Brussels 9回10回 Amsterdam 11回12回 Venice 13回14回 Florence 15回 試験 16回-18回 Rome 19回20回 Geneva 21回22回 スイスについて 23回24回 Prague 25回26回 Vienna 27回28回 Berlin 29回 ドイツについて 30回 試験

準備学習 毎日 ニュースのヘッドラインのチェックをすること。
履修上の留意点 国際ニュースの中で特に EU ヨーロッパに注目し 新聞 Web上 テレビ等で情報収集に努めること。
EU 東方拡大 Lisbon 条約の行方 ヨーロッパ中央銀行の動向等 現在進行形の問題に焦点をあわせて新しい情報をとりいれていくこと。そのとき過去のヨーロッパ史に目を向けないと理解できない問題があることにきずくことと思う。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%
教科書／テキスト Gary B.Rodgers 米田紘一 森茂著 European Vacation「ヨーロッパ周遊案内」 松柏社 1600円 ISBN4-88198-565-5

外国語

履修コード	245801
科目名	英語 I B
担当者名	<small>かめだ みさこ</small> 亀田 三重子

講義の到達目標(ねらい) listening は毎回のニュースを聞く事で慣らし、ある程度まで聞けるようにする。
reading は多少易しくてもスムーズに読める事を目的に英語の文章に慣らすようにする。興味があれば英字新聞なども時々使って読めるようにする。

講義の内容／授業スケジュール 毎回、CNNのニュースの listening する。それに関連した問題をやったり、関連の記事など読む事あり。2授業に1回はあたります。発表や作文もあります。

準備学習 予習は必ずして来る事。
履修上の留意点 予習は必須。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかみならず携行のこと (電子辞書も可)。私語厳禁。

成績評価の方法 前期・後期、中間試験、の結果および出席状況、授業中の参加度、等をかみ評価する。
教科書／テキスト English for the global age with CNN(11) ￥2000 朝日出版社

履修コード	246101
科目名	英語 I B
担当者名	<small>いせむら さだお</small> 伊勢村 定雄

講義の到達目標(ねらい) E-mail の Reading を通して、高校の英語の点検をしつつ、一段上の大学レベルの英語読解を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 詳しくは初回の導入で説明するので、必ず出席のこと。授業の進度は以下の通り。ほぼ教科書の順序で進む。
{音読→訳読→設問} の形態で各 Unit を進む。なお進度は以下の通り：
4月 導入+1課
5月 2~3課
6月 4~5課
7月 期末考査+他
10月 6~7課
11月 8~9課
12月 10課+期末考査

履修上の留意点 予習不可欠。全員があたります。辞書持参のこと！
成績評価の方法 考査 (7割) +出席率 (1.5割) +授業態度 (1.5割) =100
教科書／テキスト A Practical Approach to E-mails, Sadao Isemura 著、英光社、1800円。

履修コード	246201・246501
科目名	英語 I B
担当者名	塚本 利男

講義の到達目標(ねらい) 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 現代社会で話題になっていることがらなどを読みます。1. 若者文化 2. 健康 3. 社会 (2～8)、4. ビジネス 5. 環境問題 6. 言語 (9～14)、7. 経済 8. 科学技術 9. 教育 (16～22) 10. 伝記 11. 文化 12. 心理学 (23～29) の24課から構成される英文です。1回目に授業の説明、15回目に前期試験、30回目に後期試験を実施します。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点 必ず毎回、授業の予習をすること。辞書(電子辞書可)を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前期・後期の試験などに基づき総合的に評価します。

教科書/テキスト 『リーディング エキスパート2 実践編』
 宍戸真・Bruce Allen (株)成美堂 1,800円+税
 ISBN978-4-7919-3113-2

履修コード	246301
科目名	英語 I B
担当者名	矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) 辞書を引いて授業で扱う教科書の英文を読めるようになること。また英語の聞き取りにも慣れること。

講義の内容／授業スケジュール 講義内容は、英語の長文を聞き、読んで意味を取って、問題に答えてもらうもの。授業スケジュール 1回目—授業の説明、2,3回目—1章。4～14回目(計11回) --2～12章。15回目—前期末試験。16回目—前期末試験の解説と13章。17回目—13章。18～28回目(計11回) 14～24章。29回目—質問に答えるか、クマのパディントンの物語一巻の英文を読むか、学生に選んでもらいます。

準備学習 辞書で単語の意味を調べたうえで、授業で扱う範囲の英文全体の意味を理解し、設問があれば解いてくること。

履修上の留意点 どんどん当てて本文の意味を取ってもらい、問題に答えてもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法 平常点と出席状況に加えて前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。全出席数の三分の一以上欠席すると、原則として受験資格がなくなるので注意すること。

教科書/テキスト 宍戸真、他『リーディング エキスパート 一実践編一』、成美堂、1,800円、ISBN 978-4-7919-3113-2

履修コード	246401・246731
科目名	英語 I B
担当者名	福田 一貴

講義の到達目標(ねらい) これまでに習得した文法や語法の復習をしながら、的確に英文の内容を把握できる力を養うことを目指す。また、内容を把握できた英文の音声を繰り返し聴くことによって、リスニング力も訓練していく。

講義の内容／授業スケジュール 毎回、イギリスの文化を紹介する英文を読み内容を理解したのち、CDによるリスニングの練習を行っていく。前期：第1回イントロダクション、第2回～第14回で Chapter 1～10を学習し、第15回に前期試験を行う。後期：第1回～第14回で Chapter11～20を学習し、第15回に後期試験を行う。

履修上の留意点 授業には必ず辞書(電子辞書は可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参してほしい。

成績評価の方法 3分の2以上の出席が、期末試験の受験の条件となる。出席に加えて、課題、期末試験を総合的に検討して評価する。

教科書/テキスト 和久豊、Bill Benfield 著、『Cultural Walks in Britain 「イギリス文化散策」』、成美堂、1800円(税別)、ISBN4-7919-0542-3

履修コード	246601
科目名	英語 I B
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	現代アメリカ文化と社会を見直しつ、英語読解力の点検を行ないつつ一段上の大学英語を目指す。 各授業は主に、 (音読→訳読→設問) という手順で進めるが、詳細は初回の導入で説明する。 なお、日程は以下の通り。 4月 導入1課 5月 2～4課 6月 5～8課 7月 9～10課+期末考査 10月 11～13課 11月 14～17課 12月 18～20課+期末考査
履修上の留意点	なお、テキスト内容に加えてアメリカの文化についての言及とともに、わが国の状況に対する理解を促すので、そのつもりで様々なことに興味を抱きつつ比較検討して欲しい。 予習不可欠！辞書持参のこと！ なお、希望者には毎回予習ノートをコピーで出すことを進めています。一応大体のことは教師がチェックしますが、基本的には予習の習慣をつけて欲しいからです。また、その提出の結果は成績に反映する予定です。
成績評価の方法 教科書/テキスト	考査結果 (7割) + 出席率 (1.5割) + 授業態度 (1.5割) = 100 Changing America 『これからのアメリカ』、Jim Knudsen, 南雲堂、2010 (1900円)

外国語

履修コード	246711
科目名	英語 I B
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に着ける。精読だけでなく、段落、文書の大意を素早く理解することや、リスニングによる、聞きながらの文章把握を目標とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回：導入。今後の授業の進め方や方針を説明する。 第2回～15回：読解スキルを身に着ける。読解に必要な推測能力を強化し、段落ごとの speed reading、その結果としての文章全体の意味の把握と内容確認、そしてリスニングによる重要単語の確認を、様々なトピックを扱う教科書を用いて行う。 第16回～30回：より速く、的確なリーディングが出来るようにする。教科書を変え、1段落が長い文章でも大意が把握出来る様に、そして文章全体の内容を理解出来るようにする。
準備学習	英語に親しむために、英字新聞を読む、映画を字幕なしで見ると、普段から英語に接しておくこと。
履修上の留意点	3分の2以上出席すること。また、毎回必ず予習をし、辞書を持参すること。
成績評価の方法	前後期の最後の授業で試験を行う (6～7割)。また平常の出席、個人の努力と積極性、課題の提出を重視し、総合的に評価する (3～4割)。
教科書/テキスト	Masanori Terauchi, Atsushi Koiso 他、『Reading Wizard』、金星堂、1800円、ISBN978-4-7647-3903-1 C1082 Christopher Belton, 廣田典子、『The Uncaning Face of Great Britain』、金星堂、1500円、ISBN978-4-7647-3797-6 C1082

履修コード	246721
科目名	英語 I B
担当者名	塚本 利男

講義の到達目標(ねらい)	絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。
講義の内容／授業スケジュール	Part 1: Reading Skills(Unit 1-10)では、「大人」になる年齢?、数字についての迷信、食事と健康、リサイクリングあれこれ、余暇の過ごし方など(2~14)の英文を読みリーディングのスキルを学びます。Part 2: Developing Reading Fluency(Unit11-24)では人生とは、占術とは、チョコレートの効用、食生活と環境の問題、環境保護の課題などの英文を読み、さらに応用した読み方ができるように練習します。授業の概要を説明(1)する。前期・後期のテストを実施する(15と30)。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。
履修上の留意点 成績評価の方法	必ず毎回、授業の予習をすること。辞書(電子辞書可)を持ってくること。 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前期・後期の試験などに基づき総合的に評価します。
教科書／テキスト	『リーディングスキルの実践演習』 Neil J Anderson・川又正之(株)成美堂 1,700円+税 ISBN4-7919-0069-3

外国語

履修コード	246741
科目名	英語 I B
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(ねらい)	英語の授業である以上、授業では、発音から読解にいたるまで、これまでの英語力の点検に加えて、より高度な大学の英語習得を旨とする。方法としては初回に詳しく説明するが、英語の言葉から英語を読む読解を旨とする。予習は必ず済ませて臨むこと。
講義の内容／授業スケジュール	各授業のやり方はほぼ以下の方法で進めるものとする。 教科書にそって、〈音読→訳読→設問〉の順序ですすむが、音読は全員で行なうので、積極的に参加して欲しい。 また、各月の進捗は以下の通り： 4月 導入+1~3課 5月 4~6課 6月 7~10課 7月 11~13課+期末考査 10月 14~17課 11月 18~22課 12月 23~24課+期末考査
履修上の留意点	当初にはどのような予習をすればいいか不明な学生も徐々に、出来るだけ早く、何を教師が求めているかを察知し、授業の態勢を整えてほしい。準備できることこそが天才を作るのだから!皆さんも仲間入りを果たそう! なお、日本語の説明は自分で読んでおくこと。テキストの設問はうめておくこと。 予習不可欠。
成績評価の方法	辞書持参のこと。 成績は主に以下の方法でつける。 考査結果(7割)+出席率(1.5割)+s授業態度(1.5割)=100 なお、英語に自信にない人は毎回予習ノートをコピーで提出することをすすめる。これは成績の参考とする。
教科書／テキスト	Touring Australia 丸橋他註、ビデオ教材、英光社、1800円

履修コード	246801
科目名	英語 I B
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、様々な分野の英文を読みこむ。

講義の内容／授業スケジュール 高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。テキストは平易な教材を用い、日本語訳を介さずに文章の意味を理解する能力の向上も視野に入れる。

前期

1. Orientation

2-6. All You Have to Do Is Press a Key ~

Crusaders: Their Influence Is Still Felt

7-11. Beethoven, the First Composer to Keep His Independence ~

You Could Be a Great Runner

12-14. The Face That Tells the Truth

15. Examination

後期

1-5. Character and Blood Type ~ If We Didn't Eat So Many Hamburgers

6-10. What Happens When You Use a Barcode Reader? ~

Prehistoric Creatures

11-14. Family Names or Given Names: Which Are Better? ~

I'll never Get Rid of My Microwave

15. Examination

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

あらかじめ予習をしておいてください。

前期・後期試験(50%)、出席や発表などの平常点(50%)で評価します。

Power Reading 1 --- Reading in Chunks ---

湯舟英一他著

ISBN 978-4-7919-3111-8 成美堂 ¥1,800

外国語

履修コード	246911
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい) TOEIC や TOEFL のような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに基礎的な英文を読み、多読をすることで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。

講義の内容／授業スケジュール

前期は英文の構造を文法的な観点から解説し、正確な読みを心掛け、じっくり読むことを主眼とします。さらにアメリカン・アクセントを身につけるために口頭練習の基礎をを行い、それに並行して、テキストの基礎的な会話英文などもしっかり読み、語法・発音・イントネーションをじっくり身につけます。後期は徐々に多読を併用していくことによって、英語の語感を培うことを目指します。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

英語辞書(電子辞書を含む)の持参を義務付けます。

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書／テキスト

『スキット基礎英語 Welcome to Japan』編著者大石和欣 他 出版社 音羽書房鶴見書店

履修コード	246921・246941
科目名	英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	碓波 俊光

講義の到達目標(ねらい) 国際人としての英語力を身につける為に、高度な英語の構文の理解と習得をはかり、参考文献として英文で書かれた日本史にふれて専門的興味をもたせる。

講義の内容／授業スケジュール 色々な社会的分野に関して英文を通して興味ある内容とする。
水の問題・他(1-6) 健康問題・他(7-12) 学生生活・他(13-18) Levi物語・他(19-24)
女性の社会的地位・他(25-30)
又日本史に関する英文資料の利用

履修上の留意点 日頃から新聞、テレビ等を通して世界の情報に興味をもち、教材の予習をはかる。

成績評価の方法 年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価。

教科書／テキスト Robert Hickling
Get Reading!
金星堂 1950円
ISBN 978-4-7647-3877-5

履修コード	246931
科目名	英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	亀田 三重子

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎固めを行い、英語に親しみを持たせたい。

講義の内容／授業スケジュール 文法を中心に、しっかり英文を読めるようにする。又、英会話などを行う。DVDを使ってlistening も行う。

履修上の留意点 私語厳禁。辞書は必ず持ってくる事。

成績評価の方法 ①授業への参加度、授業態度、②ミニテスト、前、後期の試験結果を総合的に判断する。

教科書／テキスト BBC Short Clips on DVD ￥2300 成美堂

履修コード	246951
科目名	英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を単語のレベルからゆっくりやりなおすクラスです。多種多様な反復練習を繰り返すことで、基本的な項目の習熟を目指します。

講義の内容／授業スケジュール (前期)
初回：ガイダンス
第2回～：毎回、テキストのChapterを1つ進めてゆく。
最終回：期末試験
(後期)
前期と同じ
*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。

履修上の留意点 授業中の活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法 出席状況、平常点、授業中に行うテストの成績などから総合的に評価する。

教科書／テキスト 山田雄一郎著『英語基礎力養成ビルダー1』(金星堂、2009年) ISBN: 978-4-7647-3887-4

履修コード	248201
科目名	英語ⅡA
担当者名	前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 英語的思考方法を学び、外国文化を理解します。同時に日本文化の深い理解につなげます。

講義の内容／授業スケジュール 一回の授業で一レッスン進みます。その他は自由な課題で英語表現を行います。日本文化に特徴的な言葉やものを英語で説明してもらいます。

準備学習 予習復習の準備は必ずしてください。

履修上の留意点 日ごろから英語に親しむよう、英字新聞やテレビで英語ニュースなどに接してください。

成績評価の方法 日常評価を40%、前期テストを10%、小テストを10%、後期テストを40%の割合で評価します。

教科書／テキスト リーディングエキスパート実践編 成美堂 ￥1800 ISBN 978-4-7919-3113-2

履修コード	248301・249901
科目名	英語ⅡA
担当者名	江田 ^{えだ さちこ} 幸子

講義の到達目標(ねらい) 英語の総合的能力(読む、聞く、表現する=書く、話す)を養成し、実際に使うことができるようにするための、基礎力の強化、向上を目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 主に、文法的な基礎を学んで、英語表現を中心にした講義内容になります。

日本語にはないために、感覚的には解りづらい、例えば、名詞につく定/不定冠詞、不自然な日本語に訳される未来形、語法や前置詞、などなど、どのような場合にどう使えばいいのか、もう一度学習します。

出来るだけわかりやすく説明して、習得できたかどうか、黒板や口頭で表現して確認していくことを繰り返す授業になります。

履修上の留意点 テキスト、辞書、筆記用具が必要な授業です。授業に集中できない人(携帯を見る、寝る、など)は教室から退去していただきますので、予め了解して、受講してください。

成績評価の方法 ①前期・後期の最終授業で行う筆記試験、及び、授業中に適宜行う小テストの素点評価。

②授業中の発表状況(予習が出来ており、努力のあとが見られる)、授業参加への積極性、学習意欲が優れている場合は、上記①が及第点60点を割っていても、及第の評価をします。

③出席状況:欠席は一年間で4、5回以内が限度です。学生として、勉学に対する真摯さが見て取れるかどうか。現時点で英語力が素点の及第点に満たなくとも、出席を通して、向上しようとする意欲が見られる場合は、②と同じ評価をします。

④欠席が7回～10回以上に及ぶ人は、原則として、評価対象外〔落第〕ですが、実力のある人は評価しますので、自信のあるひとは、学期末に行う筆記試験を受けることを認めます。

ただし、その場合、満点以外は(A)評価は出しません。65点以上で(C)評価となりますので了承しておいて下さい。試験結果が芳しくなかったという理由で、課題は一切、出しません。了解しておいて下さい。

教科書/テキスト English Quest Basic 編著者: Hiroshi Ono 他 KIRIHARA SHOTEN(桐原書店) ¥1900+税

外国語

履修コード	248401
科目名	英語ⅡA
担当者名	太田 ^{おおた みちこ} 美智子

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAの内容を発展させ、さらなる英作文能力の向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 毎回Ⅰ章を進めたい。しかし、ユニットの難易度に応じて差異がある。何よりも大切なのは学習者の理解度に即しての授業展開することである。

履修上の留意点 予習をしてもらうこと。辞書をもってもらうこと。

成績評価の方法 前後期の定期試験、授業への参加度、課題提出などからの総合評価である。肝要なのは、授業中の真摯な姿勢である。

教科書/テキスト Scaffolding 基礎からはじめる英作文 成美堂 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	248501
科目名	英語ⅡA
担当者名	大淵 ^{おおふち としはる} 利春

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAをふまえ、さらなる英語ライティング力の向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 授業の最初に15分程度リスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。

具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。

前期

Course Introduction (1)、I-1(2,3)、I-2(4,5)、I-3(6,7)、I-4(8,9)、I-5(10,11)、I-6(12,13)、Test/Review(14,15)

後期

Introduction(16)、I-7(17,18)、I-8(19,20)、I-9(21,22)、I-10(23,24)、

II-1(25,26)、II-2(27,28)、Test/Review(29,30)

準備学習 テキストの予習をしてもらうこと。

履修上の留意点 英和辞書を持参すること。

成績評価の方法 前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。

教科書/テキスト 山口俊治、Timothy Minton、『The Road from Writing to Speaking』成美堂、1600円 ISBN4-7919-5026-7 C1082

履修コード	248601
科目名	英語ⅡA
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)	IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。
準備学習	必ず予習をする。
履修上の留意点	わからない単語は辞書で調べておく。 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。
成績評価の方法	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。 年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。
教科書／テキスト	『English Checklist』(南雲堂)1,890円

外国語

履修コード	248701
科目名	英語ⅡA
担当者名	岩永 祥恵

講義の到達目標(ねらい)	英語IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけることを到達目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	特に作文能力の向上を図る。テキストに従い以下のトピックについてパラグラフライティングの基礎を定着させ、エッセイライティングに発展させる。 (1) イントロダクション、コンピュータ社会 (2) コンピュータ社会その2 (3)～(4) 森林破壊 (5)～(6) バイオテクノロジー (7)～(8) 英語と国際化 (9)～(10) 地球温暖化 (11)～(12) いじめ (13)～(14) 高齢化社会 (15) 前期試験 (16) 前期試験答案返却、人種差別 (17) 人種差別その2 (18)～(19) 年功序列 (20)～(21) 安楽死 (22)～(23) 大学教育 (24)～(25) フリーター (26)～(27) 携帯電話 (28)～(29) まとめ (30) 後期試験
履修上の留意点	辞書は必携。予習は必須。
成績評価の方法	前期後期試験及び小テスト(70パーセント)、出席点(30パーセント)による総合評価。
教科書／テキスト	Point by Point (南雲堂)

履修コード	248801
科目名	英語ⅡA
担当者名	すぎもと まこと 杉本 誠

講義の到達目標(ねらい) 現代社会は、オゾン層の破壊、熱帯雨林の伐採、温暖化現象、砂漠化といった多岐にわたる深刻な環境問題に直面している。このような状況下、「環境に優しい」を合言葉に環境保護に向けて様々な取り組みがなされ始めている。そこで、授業では『熱い地球2』のテキストを用いて、「第一部：修復へのシナリオ」「第二部：日常の環境保護」の各表題のもとに再利用、再生、脱化石燃料、省エネ、代替エネルギーなど12項目にわたって日常生活で我々が少しでも気を配れば、自然保護の一助と成り得る方法について学ぶことにする。

講義の内容／授業スケジュール 各章は、それぞれ Warm Up, Reading それに続く Listening, Vocabulary, Writing, Grammar の練習問題を通して、英語の総合的な能力を向上させるように構成されている。授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主題を置き、さらに練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目的とする。授業は Lesson 1～6 を前期でおこない、Lesson 7～12 を後期でおこなう。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書／テキスト 『Earth Day Volume 2』(オセアニア出版) 1,400円 ISBN4-87203-083-4 C1082

履修コード	248901
科目名	英語ⅡA
担当者名	ひわたり しゅんこう 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい) 国際人としての英語での communication 能力の向上の為に、基礎的音声技術の修得とともに日米の表現の違いを学習する。

講義の内容／授業スケジュール 授業の前半は比較的短い会話表現に、後半は長めの文章の暗記、応用に重点を置き、簡単なグループ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して実践することを課題とします。(1～3) 基本表現について(4～9) テキストを用いた練習(10～11) プレゼンテーション(12～15) フィードバックとまとめ

履修上の留意点 毎回、辞書を必ず持参してください。
成績評価の方法 前・後期末の試験の結果と小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を基本要件とします。
教科書／テキスト 未定

履修コード	249001
科目名	英語ⅡA
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい) 一年時に履修した「英語ⅠA」を基礎として、より高度な英語運用能力を身につけることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール テキストに従って、毎回 One Unite を演習形式で消化していく。
受講生は、予習をしてクラスに出席していることが前提なので、クラスで演習問題の解答を発表してもらうことになる。
後期からは、テキストに加えて、英語の映画を観ながら、実際に使われている英語の表現についても検討していく。

履修上の留意点 語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。またクラスには、予習をしてテキストの演習問題を解いて、出席すること。
成績評価の方法 成績は前・後期の定期試験と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。
教科書／テキスト 最初のクラスで指示します。
その他 英和・和英辞書をクラスに持ってくること。

履修コード	249101・252701
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>とのおけ かずこ</small> 外池 一子

講義の到達目標(ねらい)	IAで身につけた英語力を基礎として、より高度な英語のspeakingとwritingの運用能力を身につけることをめざす。また、会話に必要なlisteningの能力の強化にも力を入れ、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得もめざす。授業はテキストを中心に進める。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	第1週：オリエンテーションと小作文、第2-15週(前期)：毎週1unitを目標にテキストを進める、第16-27週(後期)：毎週1unit以上を目標にテキストを進める、第28-30週：課題発表。 必ず予習をして授業に出席すること。辞書を持ってくること。予習をしていない場合や、授業中に私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。 前期・後期ともに授業の進度に合わせて小テストを行う場合があるので、毎週復習を欠かさないこと。
成績評価の方法	授業の進度に合わせて行う試験(60%)と出席、小テスト、提出物、発表などの平常点(40%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視し、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となる。
教科書／テキスト	開講時に指示する。

履修コード	249201
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>ふじい みちゆき</small> 藤井 道行

講義の到達目標(ねらい)	多様なテーマに基づいた聞き取りのタスクに取り組みながら、自分のアイデアを英語として発信する意欲と、それを支える確かなスキルを身につける訓練をします。授業で用いるテキストは、「聞くこと」と「話すこと」の有機的な結びつきにアクセントを置いています。
講義の内容／ 授業スケジュール	1回目：ガイダンス 2～14回目：Unit 1～5 15回目：試験 16～29回目：Unit 6～10 30回目：試験
成績評価の方法	年間2度、前期・後期末に実施する試験と、授業内の活動が評価の決め手となります。
教科書／テキスト	Jennifer P.L. Schmidt Text: NorthStar 3 Listening and Speaking (Third Edition) (Pearson Longman) 2,730円 ISBN978-0-13-613313-1

履修コード	249301
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>こんどう まほり</small> 近藤 真彫

講義の到達目標(ねらい)	英語による意志伝達(speaking/writing)の訓練として、さまざまなテーマについてのディスカッション、また、複数のパラグラフからなるエッセイを作成できるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがってテーマを設定し、身近なトピックについて英語での論述を訓練する。第14,15週：復習 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：教科書にしたがってテーマを設定し、自分の意見や分析を英語で論理的に述べる練習を行う。第14,15週：復習
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。
教科書／テキスト	石谷由美子、Emma Andrews『Skills for Better Writing・構造で書く英文エッセイ 改訂版』(南雲堂、ISBN: 9784523176046) 1995円

履修コード	249401・252201
科目名	英語ⅡA
担当者名	高野 ^{たかの} 秀夫 ^{ひでお}

講義の到達目標(ねらい) 英字新聞、雑誌、インターネット等の記事を使い、日常生活の出来事を伝える英文で身近な英語表現能力の養成に努める。また出来るだけ多くの明快な英文を作り、正確な英語の文章表現能力の向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 授業はプリントと教科書を使って進める。プリントでは、毎回、世間で話題になっている記事を Q & A で進めている。教科書では、教科書の内容に沿って年間計画を立てている。前期は 1 - 10 課、後期は 11 - 20 課まで進む予定である。

準備学習 英語による質疑応答があるので予習は欠かせないこと。

履修上の留意点 日常、普段から、自分の思ったことを英語で表現するように努めること。

成績評価の方法 期末試験、平常点(出席、レポート)

教科書／テキスト 20・Site Listening Tour (弓プレス) ISBN4-8034-1161-1 C1082
Unique English Composition Vol. 1 (成美堂) ISBN4-7919-5020-8 C1082

その他 出席には、特に気をつけること。

履修コード	249501
科目名	英語ⅡA
担当者名	岩井 ^{いはい} 洋美 ^{ひろみ}

講義の到達目標(ねらい) モデルダイアログ(会話)、モデルスピーチを通して語彙と表現力をつける。その後会話、スピーチの実践で発話の力をつける。

講義の内容／授業スケジュール 1回の授業でテキストを1課ずつ進めていく。間にクラス内の課題としてペアでの会話、グループ発表、個人スピーチを年にそれぞれ数回行っていく。

履修上の留意点 出席とクラス内の姿勢、発言を重視するので遅刻欠席をする学生は評価が下がる。予習をしてくること。

成績評価の方法 出席態度20%、学期末試験40%、クラス内課題40%

教科書／テキスト 仲谷都, John Pak, SPEAKING IN PUBLIC, 成美堂, 1900円, ISBN978-4-7919-1081-6

履修コード	249601
科目名	英語ⅡA
担当者名	松堂 ^{まつどう} 啓子 ^{ひろこ}

講義の到達目標(ねらい) リスニングのエクササイズを通して、語彙、表現力の強化をはかる。要旨を把握するための練習も併せて行う。

講義の内容／授業スケジュール 前期は一章から七章を中心に、後期は八章から十五章を中心に学習していく。また、テーマの理解に役立つような映像資料を適宜使用する。各学期末にまとめの試験を行う予定。

履修上の留意点 単位取得には三分の二以上の授業出席が必要です。

成績評価の方法 試験結果(8割) 平常点(2割)

教科書／テキスト Mikako Fujioka/Christopher Belton, Listening Strategies for the TOEIC TEST, センゲージラーニング、¥2100 ISBN978-4-86312-052-5

外国語

履修コード	249701
科目名	英語ⅡA
担当者名	セイジ、 K

講義の到達目標(ねらい)

In this class we will use various types of internet materials to study English and some issues in global society. You should be able to understand the materials, be familiar with key terms, think critically about ideas; then, give your ideas about them via controlled speaking in pairs and by writing down your ideas in mini reports. There will be about 4 main topics throughout the year.

講義の内容/
授業スケジュール

Class activities:

- Understanding the topics from the internet materials
- Talking and giving your ideas about class topics (with the teacher & in pairs)
- Writing down your ideas and opinions about the class topics
- SOME listening and reading from the internet materials

Materials:

- Internet websites, news articles, audio & video from YouTube, current Affairs sites, etc.

Speaking:

- Pair work, in-class
- Exchanging ideas and opinions with classmates on class topics

Writing:

- On YeStudy
- Thinking critically about your own ideas
- Writing down your ideas and opinions about class topics

Global Issues Topics (about 1 topic per 4-5 weeks):

1st semester:

- 2 main Global Society topics

2nd semester:

- 2 main Global Society topics

履修上の留意点

We will use YeStudy in this class. You must have a computer login ID. If you have any trouble, contact the teacher for help.

成績評価の方法

1. In-class integrated PAIR assessment activities (60-70%)

1st semester:

- a) Topic 1 and integrated speaking and writing genre test
- b) Topic 2 and integrated speaking and reading genre test

2nd semester:

- c) Topic 3 and integrated speaking and listening genre test
- d) Topic 4 and integrated 4 skills genre test

***Tests will include integrated skills - combine the 4 skills - speaking, reading, writing and listening, and will also be based on in-class discussions

2. Attitude and attendance (15-20%)

3. YeStudy work: mini-assignments, test preparation etc. (15-20%)

教科書/テキスト

There is no textbook for this course. YeStudy will be used to link internet materials for in-class materials. If you have trouble with computer access, please see the teacher for print outs.

関連リンク

<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	250001
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>おおみち としはる</small> 大淵 利春

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅠAの学習をふまえ、さらなる英語ライティング力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業の最初に15分程度のリスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。 前期 Course Introduction (1)、Lesson1(2,3), Lesson2(4,5), Lesson3(6,7), Lesson4(8,9),Lesson5(10,11), Lesson6(12,13), Test/Review(14,15) 後期 Introduction(16), Lesson7(17,18), Lesson8(19,20), Lesson9(21,22), Lesson10(23,24), Lesson11(25,26), Lesson12(27,28), Test/Review(29,30)
準備学習	テキストの予習が必要。
履修上の留意点	英語の辞書を持参すること。
成績評価の方法	前、後期試験の結果 (7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点 (3割)。
教科書／テキスト	Yumiko Ishitani, 『Point by Point.』南雲堂 2100円 ISBN978-4-523-17652-7

外国語

履修コード	250101
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>おおせ けいさう</small> 小布施 圭佐三

講義の到達目標(ねらい)	この講義のねらいは、パラグラフライティングの skills を伸ばすことにあります。最終的には、自由英作文 (700語程度) を年に3~5回提出できるようにします。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス (授業を展開する上で) 2. 品詞・文型 (1) 3. 品詞・文型 (2) 4. 句・節・文 5. 名詞 (1) 6. 名詞 (2) 7. 代名詞 8. 冠詞 (1) 9. 冠詞 (2) 10. プレテスト 11. 形容詞 (1) 12. 形容詞 (2) 13. 副詞 (1) 14. 副詞 (2) 15. 中間テスト 16. 比較 (1) 17. 比較 (2) 18. 動詞 (1) 19. 動詞 (2) 20. 動詞 (3) 21. 時制 (1) 22. 時制 (2) 23. 態 24. 動名詞 25. プレテスト 26. 不定詞 27. 分詞 28. 接続詞 29. 前置詞 30. 期末テスト
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。授業は演習形式で行います。予習をしてきてください。英語の辞書を持参してください。
成績評価の方法	出席 (30点) / レポート・授業貢献度 (20点) / 小テスト・中・期末テスト (50点) などを加味して総合評価します。
教科書／テキスト	編著者：小中秀彦 / Basic Grammar for College Students (大学生のための基礎英文法) (成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4909-9 C1082

履修コード	250121
科目名	英語ⅡA
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫

講義の到達目標(ねらい) Writing 能力の向上とともに、さらに使える習得を目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 Introduction
 第2,3回 Takeshi Kitano
 第4,5回 Tadahito Iguchi
 第6,7回 Tadao Ando
 第8,9回 Kaguya
 第10,11回 Two Important Museums
 第12,13回 Japanese Agriculture
 第14,15回 まどめ・テスト
 第16,17回 Millet
 第18,19回 Yacon
 第20,21回 Black Vinegar
 第22,23回 MOS Burger
 第24,25回 Enterprise Mecca
 第26,27回 Radio controlled watch
 第28,29回 Forest Recycling
 第30回 テスト

履修上の留意点 予習をしていくこと。
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)、前後期試験、レポートで評価する。
 教科書/テキスト Sustainable Life and Economics (南雲堂) ¥1900+税 ISBN978-4-523-17573-5

外
国
語

履修コード	250201
科目名	英語ⅡA
担当者名	ことみ たけし 古富 猛

講義の到達目標(ねらい) アメリカ社会を、理解するには多民族国家であることを、認識することも必要だが、先住民を忘れてはならない。その事実に基づいて、勉強したい。

講義の内容／
授業スケジュール 1:ガイダンス 2~4:文法事項の説明 5~30:各自、予習して、発表すること。

履修上の留意点 前期、後期の試験に、発表の点数を加算するので、必ず予習を怠らないこと。
 成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書/テキスト テキストは、教場にて指示します。
 参 考 書 教場にて、説明します。

履修コード	250301
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい) 日英語の表現上の違いに注意をはらいながら、正確な英語表現力の基礎を身につけることを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール [講義内容]
日本人が犯しやすい英語表現上の誤りを文法的、語彙的観点から分析し、単元ごとに整理した教科書を勉強します。

[授業スケジュール]
第1週 オリエンテーション
第2週～14週 教科書の前半部分
第15週 前期試験
後期
第16週～29週 教科書の後半部分
第30週 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法 練習問題はアットランダムにあてますので、しっかり予習してきてください。
成績評価は、前期、後期の試験を中心に、出席・予習のし具合を加味して行います。年間授業回数
の3分の1以上欠席した場合は単位は取得できません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書／テキスト COMMON ERRORS IN ENGLISH WRITING SIXTH EDITION
著者 木塚晴夫
発行所 MACMILLAN LANGUAGEHOUSE
ISBN978-4-7773-6359-9

外国語

履修コード	250401
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>さとう えりこ</small> 佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと語彙力の強化。

準備学習 必ず予習をする。

わからない単語は辞書で調べておく。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。

定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。授業態度を重視する。

教科書／テキスト 『5分間ライティング』(南雲堂)700円+税

『5分間 TOEIC テスト・サプリメント文法・語法』(南雲堂)700円+税

履修コード	250501
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>こんどう まほり</small> 近藤 真彫

講義の到達目標(ねらい) 正確な英文読解力を養うと同時に、自分の意見を英語で表現できるようにする

講義の内容／
授業スケジュール 【前期】第1週:ガイダンス 第2～13週:教科書にしたがって様々な社会問題を扱った英文を正確に読解し、それについての意見をセンテンスで述べる訓練をする。第14,15週:復習

【後期】第1週:前期試験の解答 第2～13週:前期に続き教科書を読み進めながら、パラグラフでの意見の英作を行う。第14,15週:復習

成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。

教科書／テキスト Gillian Flaherty『賛否両論 - 英語で表現する社会問題 - For and Against: Expressing opinions and exchanging ideas』成美堂 2200円+税
ISBN978-4-7919-4621-1

履修コード	250801
科目名	英語ⅡA
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の到達目標(ねらい) リスニングと日常使える英語表現を覚えることを目的とします。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

講義の内容/ 授業スケジュール	1	ユニット1	16	ユニット5
	2	ユニット1	17	ユニット6
	3	ユニット1	18	ユニット6
	4	ユニット2	19	ユニット6 (テスト)
	5	ユニット2	20	ユニット7
	6	ユニット2	21	ユニット7
	7	ユニット3	22	ユニット7
	8	ユニット3	23	ユニット8
	9	ユニット3 (テスト)	24	ユニット8
	10	ユニット4	25	ユニット8
	11	ユニット4	26	ユニット9
	12	ユニット4	27	ユニット9
	13	ユニット5	28	ユニット9 (テスト)
	14	ユニット5	29	ユニット10
	15	前期試験	30	後期試験

準備学習
履修上の留意点 普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

成績評価の方法 ①試験(40%) ②発表(30%) ③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書/テキスト
参 考 書 4月第1週に指示します。
おりにふれて教室で指示する。

履修コード	250901
科目名	英語ⅡA
担当者名	小泉 和弘 <small>こいずみ わずひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
講義の内容/
授業スケジュール テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したリスニング教材でも会話表現を学ぶ。随時エッセイを提出して頂く。

前期スケジュール: 1回目オリエンテーション, 2~4回目 Unit 1~2, 5~7回目 Unit 3~4, 8~10回目 Unit 5~6, 11~13回目 Unit 7~8, 14回目エッセイの書き方, 15回目試験

後期スケジュール: 16回目オリエンテーション, 17~19回目 Unit 9~10, 20~22回目 Unit 11~12, 23~25回目 Unit 13~14, 26~28回目 Unit 15~16, 29回目エッセイの書き方, 30回目試験

履修上の留意点 必ず辞書(英和・和英)を持参する。
成績評価の方法 出席状況(出欠席・授業への姿勢), 前・後期試験, 提出物により総合的に評価する。
教科書/テキスト 「Life and Health 生活と健康」(鳳書房, 1800円)
ISBN978-4-902445-17-5 c1082

履修コード	251001
科目名	英語ⅡA
担当者名	町田 成男

講義の到達目標(ねらい) IIAを基礎として、時事・社会科学系の教材を用いて、高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 1. 教材と英語の話し 2. Lesson 1 3. Lesson 2 4. Lesson 3 5. Lesson 4 6. Lesson 5 7. Lesson 6 8. Lesson 7 9. Lesson 8 10. Lesson 9 11. Lesson 10 12. Lesson 11 13. Lesson 12 14. Lesson 13 15. 試験 16. Lesson 14 17. Lesson 15 18. Lesson 16 19. Lesson 17 20. Lesson 18 21. Lesson 19 22. Lesson 20 23. Lesson 21 24. Lesson 22 25. Lesson 23 26. Lesson 24 27. Lesson 25 28. Lesson 26 29. Lesson 27 30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書／テキスト 未定

履修コード	251101・254461
科目名	英語ⅡA
担当者名	三幣 友行

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAで学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の更なる向上を目指すとともに、その際必要な文法表現も同時に強化していきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1回～第2回 Lesson 1
第3回～第4回 Lesson 2
第5回～第6回 Lesson 3
第7回～第8回 Lesson 4
第9回～第10回 Lesson 5
第11回～第12回 Lesson 6
第13回～第14回 Lesson 7
第15回～第16回 Lesson 8
第17回～第18回 Lesson 9
第19回～第20回 Lesson 10
第21回～第22回 Lesson 11
第23回～第24回 Lesson 12
第25回～第26回 Lesson 13
第27回～第28回 Lesson 14
第29回～第30回 Lesson 15

準備学習 次回の授業でどのくらい進むかを予測し、予習をしておくこと。

履修上の留意点 予習を前提として授業を進める。教科書、辞書（電子辞書でも可）を毎回持参すること。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。

成績評価の方法 出席点、平常点、小テスト点、前期試験、後期試験を総合的に評価する。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

履修コード	251201
科目名	英語ⅡA
担当者名	鈴木 美貴子

講義の到達目標(ねらい) テキストに従い、日常生活の色々な場面や社会問題について、表現力を高める

講義の内容／授業スケジュール 第1回前期オリエンテーション、第2～11回 Part I Chapter 1～5・Part II Chapter 13～17まで、テキストのPart I・IIを交互に一課ずつ進む、第12～14回エッセイの書き方・Review、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～22回 Part I Chapter 6～8・Part II Chapter 18～20、第23～26回 Part I Chapter 9～12、第27～29回エッセイの書き方・Review、第30回後期試験

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する

履修上の留意点 授業に必ず辞書（英和・和英）を持参し、よくひく

成績評価の方法 出席状況（出欠席・授業への姿勢）、前期・後期試験、提出物により総合的に評価する

教科書／テキスト 安達一美『グローバル社会の英語作文 English Writing for Global Communication』（金星堂、1950円）
ISBN 978-4-7647-3834-8 C1082

履修コード	251301
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>まちだ しげお</small> 町田 成男

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAで学んだことを基礎として、英語表現能力のさらなる向上を目指す。
講義の内容／ 予習を前提として授業をすすめる。
授業スケジュール

- 第1回 lesson 1
- 第2回 lesson 1 Exercise
- 第3回 lesson 2
- 第4回 lesson 2 Exercise
- 第5回 lesson 3
- 第6回 lesson 3 Exercise
- 第7回 lesson 4
- 第8回 lesson 4 Exercise
- 第9回 lesson 5
- 第10回 lesson 5 Exercise
- 第11回 lesson 6
- 第12回 lesson 6 Exercise
- 第13回 lesson 7
- 第14回 lesson 7 Exercise
- 第15回 lesson 8
- 第16回 lesson 8 Exercise
- 第17回 lesson 9
- 第18回 lesson 9 Exercise
- 第19回 lesson 10
- 第20回 lesson 10 Exercise
- 第21回 lesson 11
- 第22回 lesson 11 Exercise
- 第23回 lesson 12
- 第24回 lesson 12 Exercise
- 第25回 lesson 13
- 第26回 lesson 13 Exercise
- 第27回 lesson 14
- 第28回 lesson 14 Exercise
- 第29回 lesson 15
- 第30回 lesson 15 Exercise

履修上の留意点 欠席数が全体の1/3を超えたら単位は認めない。
成績評価の方法 前期テスト、後期テスト、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
教科書／テキスト 未定。開講時に指示する。
そ の 他 授業への積極的な参加を望む。

履修コード	251401
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>かわさき こうたろう</small> 川崎 浩太郎

講義の到達目標(ねらい) ⅠAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とします。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。
具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

(1～15週) Unit1～6 (16～30週) Unit7～13

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習

毎時間必ず辞書を持ってくること。

履修上の留意点

常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。

出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

成績評価の方法
教科書／テキスト

英訳・和訳の際に Web 上の翻訳機能を使うことを禁止しないが、あくまでも不完全なものであることを理解した上で参考程度にとどめること。Web 翻訳丸写しのレポートは一切評価しない。

出席点、発表点50%、授業中のレポート50%の割合で評価する。

石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) -- 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

履修コード	251601
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>あした かずひと</small> 定田 和人

講義の到達目標(ねらい) 英語の文法と思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文作成を学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロ (1) 2 英文の構成法 (2～12) 3 前期のまとめ (13～14) 4 前期試験 (15) 5 長文英語の構成法 (16～27) 6 後期のまとめ (28～29) 7 後期試験 (30)

履修上の留意点 出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。

成績評価の方法 出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。

教科書／テキスト 授業開始時に指示する。

履修コード	251701
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>いらい のぶこ</small> 井伊 順彦

講義の到達目標(ねらい) 現代アメリカの社会問題や文化を題材とした教科書などを用いて、おもに英語を「書く」力および「聴く」力を伸ばしてゆく。発音の上達にも取り組みたい。

講義の内容／授業スケジュール 毎回かなりの時間が、教科書の本文を「聴く」こと、およびなんらかのかたちで英文を「書く」ことに費やされる。また場合に応じて視覚教材も活用する。おおよそ二回の授業で一課を終わらせる速度で進む予定だが、クラスの実力を見定めて調整してゆく。

準備学習 教科書に付属しているCDを活用するのが望ましいが、詳しくは教室で説明する。

履修上の留意点 毎回おそらく少なくとも約半数の学生に対して、なんらかのかたちで指名し、解答してもらうことになろう。積極的な姿勢を求めたい。

成績評価の方法 「数回の小テストの成績」、「質疑応答や提出課題の出来」、「出席数」を柱として評価するが、詳しくは教室で説明する。

教科書／テキスト Social Issues in a Contemporary World
(『リスニングで学ぶ現代の社会事情』 成美堂 2000円(税別))

参 考 書 必要に応じて教室で指示する。

履修コード	251801・254601
科目名	英語ⅡA
担当者名	西田 ^{にしだ} 義和 ^{よしかず}

講義の到達目標(ねらい)	英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文がある程度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。 第1回と2回は文の攻略法について 第3回と4回は動詞の構文攻略法について 第5回と6回は時制の構文攻略法について 第7回と8回は仮定法の構文の攻略法について 第9回と10回は態の構文攻略法について 第11回と12回は不定詞の構文の攻略法について 第13回は14回は動名詞の構文の攻略法について 第15回は中間試験 第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法について 第18回と19回は助動詞の構文攻略法について 第20回と21回は名詞の構文攻略法について 第22回と23回は冠詞の構文攻略法について 第24回と25回は代名詞の構文攻略法について 第26回と27回は形容詞の構文攻略法について 第28回と29回は総復習 第30回は期末試験 *その他時間があったらテープを聞いたりして、listening力を身につけるようにしたい。
履修上の留意点 成績評価の方法	予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。
教科書／テキスト	現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

外国語

履修コード	251901・254501
科目名	英語ⅡA
担当者名	高見 ^{たかみ} 陽子 ^{ようこ}

講義の到達目標(ねらい)	英語で表現する場合の考え方や文章構造について理解を深め、自分の意見を述べたり議論したりするうえで必要な英語表現や、話の展開の仕方に慣れることを目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：注意点の確認・基本表現、第2～3回：グループワーク、第4～9回：文法事項の確認・英作文、第10回：スピーチ原稿準備、第11～13回：スピーチ、第14～15回：前期まとめ、第16～23回：グループワーク・文法事項の確認・英作文、第24～25回：スピーチ原稿準備、第26～28回：スピーチ、第29～30回：後期まとめ
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	予習して授業に臨むこと。復習も行うよう心がけてください。 必ず辞書を持参すること。全授業回数分の3分の2以上の出席が必要です。 前・後期末に実施する試験(50%)、スピーチ(30%)、平常点(20%)による総合評価とします。 各項目の詳細や注意点については初回授業で説明します。
教科書／テキスト	未定

履修コード	251911
科目名	英語ⅡA
担当者名	塚本 利男

講義の到達目標(ねらい) より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列挙」「原因と結果」「比較」など(2～14)、さらに「定義」「意見」「類推」など(16～25)の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方(26～29)を学ぶ。授業の概要の説明(1)をする。前・後期のテスト(15と30)を実施する。授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文(約30分)を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 必ず毎回、授業の予習をすること。辞書(電子辞書可)を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験などにに基づき総合的に評価します。

教科書/テキスト 山村三郎・兼頭満里子他 『大学生の英語ライティング—センテンスからパラグラフへ』(株)金星堂 1,900円+税 ISBN978-4-7647-3835-5

履修コード	251951・349411
科目名	英語ⅡA
担当者名	芝田 興太郎

講義の到達目標(ねらい) 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容／授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書/テキスト 黒川祐一著 SUBJECT: E-MAIL 南雲堂 1900円

履修コード	251961
科目名	英語ⅡA
担当者名	萩原 輝

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎として、より高度な英語の運用能力(ライティング・スピーキング)を身につけることを目標とする。自分の考えを英語で表現する練習を数多く行うことで、自信を持って英語での自己表現が出来るようになってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 基本的には、教科書の各章を授業2回から3回で進む予定。毎時間、英語で表現する練習を数多く行うことで英語表現のコツを身につけてもらう。

履修上の留意点 英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法 授業に取り組む姿勢、レポート等の提出物、出席率、前期・後期試験の結果等の総合評価。

教科書/テキスト Moving ahead in the 21st Century:12 Forward-looking Companies
Brenda Hayashi 他・著(松柏社)
ISBN978-4-88198-616-5

外国語

履修コード	251971
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>こいずみ かずひろ</small> 小泉 和弘

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期
1. ガイダンス
 2. Chapter 1
 3. Chapter 1
 4. Chapter 2
 5. Chapter 2
 6. Chapter 3
 7. Chapter 3
 8. Chapter 4
 9. Chapter 4
 10. Chapter 5
 11. Chapter 5
 12. Chapter 6
 13. Chapter 6
 14. まとめ
 15. 試験
- 後期
1. 夏休み課題試験
 2. Chapter 7
 3. Chapter 7
 4. Chapter 8
 5. Chapter 8
 6. まとめとテスト
 7. Chapter 9
 8. Chapter 9
 9. Chapter 10
 10. Chapter 10
 11. Chapter 11
 12. Chapter 11
 13. Chapter 12
 14. Chapter 12
 15. 試験

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

テキストに目を通しておくこと。
全員、英和辞典または電子辞書を持参すること。
出席、平常点 : 40%
試験 : 60%

教科書/テキスト
参 考 書

「Life and Health 生活と健康」 鳳書房 1,800円
教場で指示。

履修コード	252301・253001
科目名	英語ⅡA
担当者名	風間 ^{かざま} 則比古 ^{のりひこ}

講義の到達目標(ねらい)	英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を中心に行ない、練習問題で総合的な学習ができるようにした。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1週：授業の概要説明 第2週～第3週：Reminiscences of Childhood Readings 第4週～第5週：Metabolism : The Key to Energy 第6週～第7週：Vegetables from the Sea 第8週～第9週：Weight and Health 第10週～第11週：Frozen Foods 第12週～第13週：Milk : Nature' s Miracle Food 第14週：Food Additives 第15週：前期試験 第16週～第17週：Bacteria : Friend or Fiend? 第18週～第19週：Stress and Aromatherapy 第20週～第21週：Fears of Aging 第22週～第23週：Big Bang 第24週～第25週：The Backbone of the Japanese Economy 第26週～第27週：Better Rice and Blue Flowers : Genetic Engineering 第28週～第29週：Local Beer 第30週：後期試験
履修上の留意点	英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。
成績評価の方法	成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点（出席数や授業態度など）を総合して評価します。
教科書／テキスト	千葉 剛、'Prosperous Life' (『豊かな生活』)、南雲堂

外国語

履修コード	252401
科目名	英語ⅡA
担当者名	吉川 ^{きつかわ} 直澄 ^{なおずみ}

講義の到達目標(ねらい)	1年次に学んだ技術を基にして、英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。1～3章ではアメリカの風土や生活を描いた作品を題材とする。4～14章ではさまざまなジャンルの作品を鑑賞し感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明、15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。
履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持ってくること。
成績評価の方法	授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。
教科書／テキスト	Dramatic Cinema English (株) 南雲堂 2100円 (CD付き) ISBN978-4-523-17640-4 C0082

履修コード	252501
科目名	英語ⅡA
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)	IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	(1)小テスト①、(2～7)『風と共に去りぬ』Unit1-4、(8)確認テスト①、(9～14)『若草物語』Unit5-8、(15)確認テスト②、(16)小テスト②(17～22)『オズの魔法使い』Unit9-12、(23)確認テスト③、(24～29)『アラバマ物語』Unit13-16、(30)確認テスト④
準備学習	必ず予習をする。
履修上の留意点	わからない単語は辞書で調べておく。 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
成績評価の方法	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。 年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。 定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『American Spirits in Movies』(成美堂)2,400円(税別)

外国語

履修コード	252601
科目名	英語ⅡA
担当者名	高橋 明子

講義の到達目標(ねらい)	世界遺産の映像を観ながら、英語表現に不可欠な語彙力やリスニング力を習得し、英文作成や会話の能力を養成します。
講義の内容／授業スケジュール	テキストの各Unitを二回の授業を目安にして進めます。前期はUnit8まで、後期はUnit15までを学習します。また、テキストのほかにプリント教材によるリスニングを適宜取り入れます。
準備学習	テキストの下読みをして、わからない単語やイディオムを調べてください。
履修上の留意点	遅刻・欠席をしないよう心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。
成績評価の方法	平常点(出席状況や発表など)と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。
教科書／テキスト	『Exploring World Heritage on DVD DVDでめぐる世界遺産』(成美堂)2,300円+税 ISBN978-4-7919-3118-7

履修コード	253101
科目名	英語ⅡA
担当者名	落合 真裕

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅡAで培った英語力を基礎として、ライティングによる内容伝達力の向上を目指します。
講義の内容／授業スケジュール	前期には、日本語を英訳するときに、和製英語にならないよう注意したい重要事項を確認し、英語らしい構文、表現を身につけていきます。後期には、例題を通してパラグラフの構成要素、アウトライン、展開方法を学び、目的に従ってある程度まとまった英文が書けるよう練習していきます。 (1)～(15) 第1部 英文を書くときに注意すべき重要事項 Unit 1「名詞表現」を用いて表現する～Unit 10「省略」 (16)～(30) 第2部 パラグラフの書き方 Unit 11 パラグラフライティングの基礎Ⅰ～Unit 18 意見・理由 第3部 各種書式の書き方
履修上の留意点	毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
成績評価の方法	前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況(原則として3分の2以上の出席を必要とします。)などに基づき、総合的に評価します。
教科書／テキスト	『基礎からパラグラフ・ライティングへ』(Writing in English from Basics to Paragraphs) 成美堂 1,600円 ISBN978-4-7919-5037-9

履修コード	253201
科目名	英語ⅡA
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の内容／
授業スケジュール

This advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Conversational practice in quotidian situations such as banking, telephone, and business will continuously introduce new vocabulary and appropriate speech patterns. Students will improve their English composition and aural comprehension by correcting materials they themselves have produced. Advanced conversation practice is crucial for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1conversation	CLASS 16wages
CLASS 2conversation	CLASS 17marriage
CLASS 3ranking	CLASS 18marriage
CLASS 4ranking	CLASS 19youth
CLASS 5opinions	CLASS 20youth
CLASS 6opinions	CLASS 21wealth
CLASS 7gratitude	CLASS 22wealth
CLASS 8gratitude	CLASS 23honesty
CLASS 9modesty	CLASS 24honesty
CLASS 10modesty	CLASS 25submission
CLASS 11politics	CLASS 26submission
CLASS 12politics	CLASS 27ambition
CLASS 13Liberty	CLASS 28ambition
CLASS 14Liberty	CLASS 29scholarship
CLASS 15Wages	CLASS 30scholarship

成績評価の方法

ATTENDANCE: Speaking ability is directly proportional to the amount of practice. Six absences in the year are allowed, but the final grade will suffer starting from five absences. Please attend all of the classes.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, frequent small, unannounced exams will intensify long-term learning. Exam questions will be from the textbook and previously practiced in class.

GRADING: The final grade depends 70% on your improvement on comparison with your ability in the first class. Attendance is extremely important, and the examinations have subordinate effect on the final grade.

教科書／テキスト

We will probably use Sociology, Economics, Political Science, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2006, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary.

外国語

履修コード	253301
科目名	英語ⅡA
担当者名	にしはら かつまさ 西原 克政

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

身体の一部を用いた慣用表現を日常生活で使えることを目指す。
1. オリエンテーション 2. Lesson1:Reading 3. Lesson1:Writing 4. Lesson2:
Reading 5. Lesson2:Writing 6. Lesson3:Reading 7. Lesson3:Writing
8. Lesson4:Reading 9. Lesson4:Writing 10. Lesson5:Reading 11. Lesson5:
Writing 12. Lesson6:Reading 13. Lesson6:Writing 14. Lesson7:Reading
15. Lesson7:Writing 16. Lesson8:Reading 17. Lesson8:Writing
18. Lesson9:Reading 19. Lesson9:Writing 20. Lesson10:Reading
21. Lesson10:Writing 22. Lesson11:Reading 23. Lesson11:Writing
24. Lesson12:Reading 25. Lesson12:Writing 26. Lesson13:Reading
27. Lesson13:Writing 28. Lesson14:Reading 29. Lesson14:Writing
30. Lesson15:Reading

履修上の留意点
成績評価の方法

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。
出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。ライティングなどの課題の発表を総合的に評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

ジム・クヌーセン『身体で書く英作文』南雲堂 1890円
授業中に適宜指示する。

外
国
語

履修コード	253701
科目名	英語ⅡA
担当者名	えだ きらこ 江田 幸子

講義の到達目標(ねらい)

英語の総合的能力(読む、聞く、表現する=書く、話す)を養成し、実際に使うことができるようにするための、基礎力の強化、向上を目標とします。

講義の内容/
授業スケジュール

主に、文法的な基礎を学んで、英語表現を中心にした講義内容になります。

日本語にはないために、感覚的には解りづらい、例えば、名詞につく定/不定冠詞、不自然な日本語に訳される未来形、語法や前置詞、などなど、どのような場合にどう使えばいいのか、もう一度学習します。

履修上の留意点

出来るだけわかりやすく説明して、習得できたかどうか、黒板や口頭で表現して確認していくことを繰り返す授業になります。

成績評価の方法

テキスト、辞書、筆記用具が必要な授業です。授業に集中できない人(携帯を見る、寝る、など)は教室から退去していただきますので、予め了解して、受講してください。
①前期・後期の最終授業で行う筆記試験、及び、授業中に適宜行う小テストの素点評価。
②授業中の発表状況(予習が出来ており、努力のあとが見られる)、授業参加への積極性、学習意欲が優れている場合は、上記①が及第点60点を割っていても、及第の評価をします。
③出席状況:欠席は一年間で4、5回以内が限度です。学生として、勉学に対する真摯さが見て取れるかどうか。現時点で英語力が素点の及第点に満たなくとも、出席を通して、向上しようとする意志が見られる場合は、②と同じ評価をします。
④欠席が7回~10回以上に及ぶ人は、原則として、評価対象外〔落第〕ですが、実力のある人は評価しますので、自信のあるひとは、学期末に行う筆記試験を受けることを認めます。ただし、その場合、満点以外は(A)評価は出しません。65点以上で(C)評価となりますので了承しておいて下さい。試験結果が芳しくなかったという理由で、課題は一切、出しません。了解しておいて下さい。

教科書/テキスト

Writing Primer Basic Grammar in English Writing, Haruo Kizuka TSURUMI SHOTEN (鶴見書店)
¥1800+税

履修コード	253801
科目名	英語ⅡA
担当者名	吉沢 栄治郎

講義の到達目標(ねらい)

短い和文を英訳してゆきます。
和文英訳力を高めることをねらいとします。

講義の内容／
授業スケジュール

ごく普通の日本語を英訳してゆきます。一回の授業についておよそ10題くらいの和文を英語に直す練習をしてゆきます。直訳でよい場合と意識してゆかねばならない時があると思います。辞書をまめに引いて用例を見ながら英作していくとよい場合が少なくありません。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業時に指示します。
和英辞典を有効活用してください。
ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。
とくに使用しません。

履修コード	254001
科目名	英語ⅡA
担当者名	高橋 明子

講義の到達目標(ねらい)

世界遺産の映像を観ながら、英語表現に不可欠な語彙力やリスニング力を習得し、英文作成や会話の能力を養成します。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストの各Unitを二回の授業を目安にして進めます。前期はUnit8まで、後期はUnit15までを学習します。また、テキストのほかにプリント教材によるリスニング練習を適宜取り入れます。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

テキストの下読みをして、わからない単語やイディオムを調べてください。
遅刻・欠席をしないよう心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。
平常点(出席状況や発表など)と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。
『Exploring World Heritage on DVD DVD でめぐる世界遺産』(成美堂) 2,300円+税
ISBN978-4-7919-3118-7

外国語

履修コード	254101
科目名	英語ⅡA
担当者名	堀 千和子

講義の到達目標(ねらい)	自分の意見を英語で的確に書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで、自分の伝えたいことを英語で書くことを、また、main idea, topic sentence, controlling idea, supporting sentences によって有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期には、5～6段落からなるエッセイを書くことを目標にして、その技術を学んでいきます。
講義の内容／授業スケジュール	(1) プリント使用の授業 (2)～(3) Brainstorming (4)～(5) Time order 自叙伝を書く (6)～(7) 空間的配列 (8)～(9) Picture composition (10)～(11) パラグラフの構造 (12)～(13) My Home Town 有機的なパラグラフを書く (14)～(15) 映画とプリント使用の授業 (16)～(17) エッセイの構造 (18)～(19) Process writing (20)～(21) Explanation(statistics) (22)～(23) Definition (24)～(25) Classification (26)～(27) Comparison & Contrast (28)～(29) Cause & Effect (30) エッセイの提出に向けて ・文法事項を復習し、それを応用しながら英作文をしてもらいます。ライティングだけでなく、一般的な英語の力をつけてもらうエクササイズも取り入れます。 ・毎時、授業中に勉強したことの理解度を見るために、簡単な提出物を出してもらいます。(平常点となる)
履修上の留意点	前期は、いつどのようなことを授業で扱ったかがわかる「出席シート」に記入をし、後期は、エッセイ・ライティングに備えて、文法の正確さを気にせず制限時間内に多くの英語を書くフリー・ライティングをしてもらいます。 ・毎回授業中に英作文を書いてもらうので、辞書を用意すること。 ・最後に提出するエッセイのトピックは、自分の興味のある分野で書いてもらうので、平日頃から英語での情報を収集することを勧めます。
成績評価の方法	・前期試験(30%)、後期試験(30%)、前期提出物(10%)、夏休みレポート(5%)、後期提出物(20%)、発表や発言などの授業への貢献度、授業へのまじめな取り組み(5%)から総合的に判断します。 ・遅刻は3回で1回の欠席となります(授業開始30分以上たって来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とします。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも欠席をしないこと。 ・公的な欠席と認められるのは、忌引き、体育会の試合当日、法定伝染病にかかった場合、教育実習などの実習である。 ・試験は、前期、後期と両方受験しなければ単位は取得できない。
教科書／テキスト	未定。追って指示をします。

履修コード	254201
科目名	英語ⅡA
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)	ⅠAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。Writing/Speakingのどちらにおいても、英語での自己表現が出来るように、単語レベルからパラグラフ、そしてセンテンスへの発展を目指す。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導入。今後の授業の進め方や方針を説明する。 第2、3回：自分や大学に関することを英語で表現出来るようにする。 第4～10回：文化や社会問題、スポーツなど、多岐に渡る内容に関して英語でディスカッションし、また書けるようにする。 第11回～21回：教育問題、映画や音楽、そして季節の行事や試験に関して英語でディスカッションし、また書けるようにする。 第22～30回：ライティング力を強化する。
準備学習 履修上の留意点	英字新聞を読む、映画を字幕なしで見るなど、普段から英語に接しておくこと。 3分の2以上を出席し、発表、課題提出等の演習を主軸とする授業に、積極的に参加すること。必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	前後期の最後の授業で試験を行う(6～7割)。また平常の出席、個人の努力と積極性、発表や課題の提出を重視し、総合的に評価する。英文レポートの提出あり(3～4割)。
教科書／テキスト	Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa, 『Let's Talk and Communicate!』, 金星堂, 1900円, ISBN978-4-7647-3802-7 C1082

履修コード	254301
科目名	英語ⅡA
担当者名	田中 <small>たなか</small> 靖子 <small>やすこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 文法的に正しく、読み手に明確に伝わる言い方を選んで英文が書けることをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール 前期(1～14)一文を正確にかくための文法事項の理解を確認する。疑問詞、時制、名詞、動名詞、分詞の攻略法 (15)総括
後期(1～14)二つの文を適切に表す方法を学習する。 助動詞、関係詞、名詞節、仮定法の攻略法 (15)総括

履修上の留意点 本授業は事前に課題を出しそれを基に授業を展開します。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は、前期、後期テスト、課題の評価、授業への参加状況を総合して行います。

教科書／テキスト 教場にて指示します

履修コード	254401
科目名	英語ⅡA
担当者名	岡本 <small>おかもと</small> 誠 <small>まこと</small>

講義の到達目標(ねらい) Writing や Speaking を目標とするものの、やはり平行してある程度の読む能力の涵養も必要である。比較的平易な文体のものをまず読みこなし、続いて設問に答える、さらにCDを聴いた上での設問にも答える、という形式で行っていく。

講義の内容／
授業スケジュール 教材では「太平洋の懸け橋」となった現代あるいは歴史上の人物を取り上げている。現代人の教養として、この程度の人物については知識をわきまえてほしい、という担当者の希望も含まれている。次に掲げているような人物についてまず紹介があり、各々に設問が用意されている。

- ・ Douglas MacArthur
- ・ Matthew Perry
- ・ William Clark
- ・ Edwin O. Reischauer
- ・ Donald Keene
- ・ Yukichi Fukuzawa
- ・ Hayao Miyazaki
- ・ Momohuku Ando
- ・ Umeko Tsuda
- ・ Steve Jobs
- ・ Haruki Murakami
- ・ Soichiro Honda
- ・ The McDonald Brothers and Ray Kroc
- ・ Shigeru Yoshida
- ・ John Manjirou
- ・ Hideo Nomo

準備学習
履修上の留意点 まだ他にも取り上げられているが、代表的な人物を記した。事前に予習を行っておくこと。外国語の学習はこれにつける。指名されたら発表すること。こちらは予習してあるものとして進めていく。ご存知のように、欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取って教場に入ること。ケータイはオフ。

成績評価の方法 前・後期の試験の結果、指名されたときの発表状況、欠席・遅刻状況等を総合的に評価する。

教科書／テキスト Across the Pacific Ocean (「日米の懸け橋になった人々」)、成美堂 ¥2,200 (CDつき)

履修コード	254451
科目名	英語ⅡA
担当者名	町田 成男

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

色々な場面の会話表現を学びながら英作文力をつける。
テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したリスニング教材でも会話表現を学ぶ。随時エッセイを提出して頂く。
前期スケジュール：1回目オリエンテーション、2～4回目Unit 1～2、5～7回目Unit 3～4、8～10回目Unit 5～6、11～13回目Unit 7～8、14回目エッセイの書き方、15回目試験
後期スケジュール：16回目オリエンテーション、17～19回目Unit 9～10、20～22回目Unit11～12、23～25回目Unit13～14、26～28回目Unit15～16、29回目エッセイの書き方、30回目試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

必ず辞書(英和・和英)を持参する。
出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
「日常会話の英作文 Lively Writing」(南雲堂、1800円)
ISBN4-523-17388-5 C0082

履修コード	254471
科目名	英語ⅡA
担当者名	小泉 和弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

一年次の英語力をもとにリスニング、ライティングの更なるスキルアップを目指す。

1. ガイダンス
2. Chapter 1
3. Chapter 1
4. Chapter 2
5. Chapter 2
6. Chapter 3
7. Chapter 3
8. Chapter 4
9. Chapter 4
10. Chapter 5
11. Chapter 5
12. Chapter 6
13. Chapter 6
14. まとめ
15. 試験
16. Chapter 7
17. Chapter 7
18. Chapter 8
19. Chapter 8
20. Chapter 9
21. Chapter 9
22. Chapter 10
23. Chapter 10
24. Chapter 11
25. Chapter 11
26. Chapter 12
27. Chapter 12
28. まとめ
29. ビデオ学習
30. 試験

準備学習
履修上の留意点

テキストに目を通しておくこと。
辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的な授業への参加を期待する。

成績評価の方法
教科書/テキスト

3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。
「Life and Health 生活と健康」 鳳書房 1,800円

履修コード	254481
科目名	英語ⅡA
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(ねらい)	様々なアメリカ文化を通して、アメリカの英語表現を、ダイアログを通して学ぶ。その他に口語と文語の距離についても言及し、文体を意識できるようにまでもって行きたいものである。ただし、本科は英語Aのクラスであるので口語の練習を主としたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1回 イントロ 発音+イントネーションの注意 2回 テキストUnit 1 (テキストの進め方は、音読→訳読→小 dialogue →コラム→長 dialogue) というパターンで繰り返す。以下同じ。 3回 4回 ダイアログテスト 5回 Unit 2 6回 7回 8回 ダイアログテスト 9回 Unit 3 10回 11回 12回 ダイアログテスト 13回 Unit 4 14回 15回 ダイアログテスト 16回 Unit 5 17回 18回 ダイアログテスト 19回 Unit 6 20回 21回 ダイアログテスト 22回 Unit 7 23回 24回 ダイアログテスト 25回 Unit 8 26回 27回 ダイアログテスト 28回 Unit 9 29回 30回 ダイアログテスト
履修上の留意点	予習+辞書携帯は必須！ 小テストと出席が良い者は基本的に落とすことはないが、怠けてばかりでは授業に出にくくなりますので、ご注意ください！ 積極的な参加者は評価します。
成績評価の方法	基本的にダイアログテストの合計で判断し、かつ出席率の良い者は最高で15点まで与えることがある。(参考：欠席0回→15点、1回→13点、2回→10点 etc...) また、予習状態、出席態度等も加味する。
教科書/テキスト	『アメリカン・ライフショートスケッチ (レポートとダイアログから)』 著者 Sadao Isemura/ Dennis R. Kogge 私家版(開講時に教室で担当者から購入してもらう予定、または本屋で)ただしまだどちらになるかについては未定部分あり。

外国語

履修コード	254701
科目名	英語ⅡB
担当者名	前田 脩

講義の到達目標(ねらい)	英語を通じて英米と日本の思考過程と文化の違いを学びます。
講義の内容／ 授業スケジュール	一回に一レッスン進みます。テキストだけでなく、英字新聞のプリントを使用します。
準備学習	予習復習は必ずしてください。
履修上の留意点	毎回必ず授業の前に予習すること。
成績評価の方法	日常評価を50%、前期テストと小テストを20%、後期テストを30%として評価します。
教科書/テキスト	世界事情拝見 南雲堂 ￥1500 ISBN 4-523-17525-X C0082

履修コード	254801・254901・2599G1
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 ^{おおた} 由紀子 ^{ゆきこ}

講義の到達目標(ねらい)	映画を題材にすることで、英語と親しむ機会としたい。作品中に英詩が登場する映画20編を扱うが、これにより奥行きをもった鑑賞が可能となろう。愛、生そして死の主題などを考察する中で、背景となる歴史や文化などにも興味を持ってほしい。
講義の内容／授業スケジュール	映画の内容を紹介する英文エッセイと練習問題で、映画と英詩の双方に対する理解を深める。映画については、入手できるものに限り、その一部を上映する。これによりエッセイが現実感を伴ってくるであろうし、一方、情景とともに会話を聴くことで、英語が深部に達するであろう。基本的にテキストの順番に沿って20編の映画を扱うこととする。
準備学習	映画の内容を紹介する英文エッセイを予め読み、テキストに指定された簡単な練習問題を行っておく。
履修上の留意点	毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書／テキスト	松浦暢ほか『The Poetry of Film (『英詩で味わう映画』) 金星堂 1900円(税別) ISBN: 4-7647-0977-5
参考書	安井稔『英文法総覧』(開拓社)、江川泰一郎『英文法解説』(金子書房)

履修コード	255001
科目名	英語ⅡB
担当者名	石原 ^{いしはら} 孝哉 ^{こうさい}

講義の到達目標(ねらい)	日常会話に起こりがちな間違え易い表現を毎回のテーマに沿って学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	前期はイントロダクションに続き、Chapter 1から2、後期はChapter 3から4まで進める。
履修上の留意点	辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的な授業への参加を期待する。
成績評価の方法	3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。
教科書／テキスト	More Odds & Ends. 成美堂

履修コード	255011
科目名	英語ⅡB
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の到達目標(ねらい) To raise English proficiency for good results in the shushoku katsudo. This is the highest level of English conversation practice offered by the university; higher levels of English conversation will be practiced intensively.

講義の内容／授業スケジュール PROGRAM: Topics in economics, sociology, and politics will be practiced in conversation, organized in dialogues or groups. You will exchange opinions orally about topics practiced in the dialogues. We will pursue three levels of speech practice: 1) Practice in daily conversation of such as that of which you are already capable. 2) Semi-abstract conversation, elicited by a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue. The third level introduced a new level of vocabulary and speech pattern. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

ALIA: Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1addressing people	CLASS 16consumption
CLASS 2addressing people	CLASS 17courtship
CLASS 3social hierarchy	CLASS 18courtship
CLASS 4social hierarchy	CLASS 19adolescence
CLASS 5self expression	CLASS 20adolescence
CLASS 6self expression	CLASS 21social classes
CLASS 7gift-giving	CLASS 22social classes
CLASS 8gift-giving	CLASS 23candor
CLASS 9Informality	CLASS 24candor
CLASS 10Informality	CLASS 25authority
CLASS 11news coverage	CLASS 26authority
CLASS 12news coverage	CLASS 27employment
CLASS 13personal freedom	CLASS 28employment
CLASS 14personal freedom	CLASS 29politicians
CLASS 15Consumption	CLASS 30politicians

履修上の留意点 Three absences per semester permitted. Tests are didactic, not disciplinary, and unannounced. Grading is likely to be generous, as people in this class are sincere and self-motivated. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

成績評価の方法 The final grade depends 70% on your class performance; in this class you will be expressing your own opinions constantly. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to score well, because final grade is relative to improvement over initial ability.

履修コード	255501
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 美智子

講義の到達目標(ねらい) コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容／授業スケジュール リスニング能力の向上を主眼とする。情報を正確に聞き取るための訓練を重ねる。
理想的には毎回1章を進めたい。テキスト以外のナチュラル・スピードのものも用いるので挑戦してもらいたい。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。積極的な授業参加を高く評価する。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書／テキスト Strange But True マクミラン・ランゲージハウス

履修コード	255601
科目名	英語ⅡB
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスの目標は現代英文(主として、口語英文)を読めるようにすることである。口語英文を速く読めるようになるためには、リスニングの向上が欠かせない。リスニング力が向上するに連れて、口語英文の読むスピードが上がる。そのため、現代口語英文の読解とリスニングは、平行する形で、授業は進めていく。このクラスのレベルは英語の中級(英検二級、準一級)程度とし、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『イディオム』 Lesson 1、 『アメリカ』 Lesson 1
- 第三回 『イディオム』 Lesson 2、 『アメリカ』 Lesson 2
- 第四回 『イディオム』 Lesson 3、 『アメリカ』 Lesson 3
- 第五回 『イディオム』 Lesson 4、 『アメリカ』 Lesson 4
- 第六回 『イディオム』 Lesson 5、 『アメリカ』 Lesson 5
- 第七回 『イディオム』 Lesson 6、 『アメリカ』 Lesson 6
- 第八回 『イディオム』 Lesson 7、 『アメリカ』 Lesson 7
- 第九回 『イディオム』 Lesson 8、 『アメリカ』 Lesson 8
- 第十回 『イディオム』 Lesson 9、 『アメリカ』 Lesson 9
- 第十一回 『イディオム』 Lesson 10、 『アメリカ』 Lesson 10
- 第十二回 『イディオム』 Lesson 11、 『アメリカ』 Lesson 11
- 第十三回 『イディオム』 Lesson 12、 『アメリカ』 Lesson 12
- 第十四回 『イディオム』 Lesson 13、 『アメリカ』 Lesson 13
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『イディオム』 Lesson 14、 『アメリカ』 Lesson 14
- 第十七回 『イディオム』 Lesson 15、 『アメリカ』 Lesson 15
- 第十八回 『イディオム』 Lesson 16、 『アメリカ』 Lesson 16
- 第十九回 『イディオム』 Lesson 17、 『アメリカ』 Lesson 17
- 第二十回 『イディオム』 Lesson 18、 『アメリカ』 Lesson 18
- 第二十一回 『イディオム』 Lesson 19、 『アメリカ』 Lesson 19
- 第二十二回 『イディオム』 Lesson 20、 『アメリカ』 Lesson 20
- 第二十三回 『イディオム』 Lesson 21、 『アメリカ』 Lesson 21
- 第二十四回 『イディオム』 Lesson 22、 『アメリカ』 Lesson 22
- 第二十五回 『イディオム』 Lesson 23、 『アメリカ』 Lesson 23
- 第二十六回 『イディオム』 Lesson 24、 『アメリカ』 Lesson 24
- 第二十七回 『イディオム』 Lesson 25、 26 『アメリカ』 Lesson 25
- 第二十八回 『イディオム』 Lesson 27、 28
- 第二十九回 『イディオム』 Lesson 29、 30
- 第三十回 後期試験

※ 上記の『イディオム』は『イディオム表現のマルチ習得法』、『アメリカ』は、『リスニング教材 アメリカ25都市めぐり』を指す。なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取るのので、学生の積極的な参加を求める。「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価(課題・授業中の発表・小テスト等を含む)」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト

- 1) 『イディオム表現のマルチ習得法』 ISBN4-590 01180-8 北星堂 1,700円
- 2) 『リスニング教材 アメリカ25都市めぐり』 ISBN4-7553-0109-2 C1082 鶴見書店 1,288円
- 3) プリント

履修コード	255701
科目名	英語ⅡB
担当者名	白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい) 精読や速読など、さまざまな方法での演習を通して、語彙力と読解力の向上を目指す。同時に、テキストで取り上げられる様々な話題についても掘り下げて追及し、英文読解に必要な現代社会の諸問題の知識を広げ、理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール
初回：ガイダンス
第2回～：テキストの各 Lesson につき2～3回をかけて進める
最終回：期末試験
(後期)
前期と同じ

履修上の留意点 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
授業中の活動に集中して参加することが大事です。指示された部分は予習が必要。必要に応じて発展的なプリント教材を追加します。テキストの内容や背景にも興味を持って取り組んで下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
出席状況、平常点、授業内試験の成績などから総合的に評価する。
『現代人の思考と心理』(南雲堂、2010年) ISBN: 978-4-523-17636-7

外国語

履修コード	255801
科目名	英語ⅡB
担当者名	伊藤 美代子

講義の到達目標(ねらい) IBを基礎としてより高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。いわゆる「読解」ではなく、英語による理解を目的とする。リーディングだけでなくスピーキング、リスニング、ライティング、発音矯正も行い、総合的な英語力の強化をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール
原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できる限り英語を使用するが、構文等の説明には日本語を使用する。

準備学習
履修上の留意点
1単元を1回半の授業で終了する。
予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。
予習が絶対条件。また、正当な理由なく半期に4回以上欠席したのものには単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法
教科書／テキスト
各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。
Wonders of the World of the Web(南雲堂)

履修コード	255901・259981
科目名	英語ⅡB
担当者名	大淵 利春

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅡBの内容を踏まえ、英語リーディング力、リスニング力の向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール
2時間で1ユニットのペースで時事問題を扱ったテキスト(新聞記事が中心)を読み進める。同時に、ニュース英語を聴いてリスニング力の向上を図る。具体的な授業の進行に関しては以下の通り。(カッコ内は授業回数を示す)

前期
Course Introduction(1), Unit 1(2,3), Unit 2(4,5), Unit 3(6,7), Unit4(8,9), Unit5(10,11), Unit6(12,13), Test/Review (14,15)

後期
Introduction (16), Unit7(17,18), Unit8(19,20), Unit9(21,22), Unit10(23,24)
Unit11(25,26), Unit12 (27,28), Test/Review(29,30)

準備学習
履修上の留意点
テキストの予習が必要となる。
単位取得には、3分の2以上の出席が必要である。また、英和辞書を持参すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。
Kimio Sato, Bill Benfield, 『New Windows on the World.』成美堂 1800円 ISBN4-7919-1043-5

履修コード	256001・257201
科目名	英語ⅡB
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)	IB (Reading/Listening Comprehension) を基礎として、多読・速読をめざす。テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎から TOEIC 等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール 準備学習	(1)小テスト、(2～4)Unit1,2、(5～7)Unit3,4、(8～10)Unit5,6、(11～13)Unit7,8、(14～16)Unit9,10、(17～19)Unit11,12、(20～22)Unit13,14、(23～25)Unit15,16、(26～28)Unit17,18、(29～30)Unit19,20 必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。 定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税

外国語

履修コード	256101
科目名	英語ⅡB
担当者名	堀 美智子

講義の到達目標(ねらい)	1年次の読解力を基礎として徐々にリーディングのレベルを深め、より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。授業は基本的にテキストを中心に行う。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	英語力を高めるために様々な話題や出来事について関心を抱くと同時に楽しく多面的な英語学習を行う。 出席は大切ですので重視します。語学の特質として持続の心構えが大切ですので宿題や課題提出を求めることがあります。
成績評価の方法	出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、前期、後期試験の総合評価で示します。
教科書／テキスト	‘Science Square’「科学の愉しみ」 Kevin Cleary、他 成美堂 ¥1,800
参考書 その他	開講時に指示します。 欠席はなるべく避けて下さい。

履修コード	256121
科目名	英語ⅡB
担当者名	古富 猛

講義の到達目標(ねらい)	主に、民話を読むことによつて、アメリカ社会を、先住民を含めて理解したい。物語から、文型を学び、会話へも発展したい。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	1. ガイダンス 2～4. 文法説明 5～30. 各自予習発表 平常点とする。 必ず予習をしてくること。できるだけ文型を憶えること。
成績評価の方法	出席点、前期、後期の試験、予習点、によつて評価します。
教科書／テキスト	最初の授業で、指示します。指定の書店で、必ずもとめてください。
参考書 その他	教場にて、適宜、指示します。 受講についての心構え(例えば、ノートの作り方、辞書の使用方法、予習で調べることなど)、開講時にお話しします。

履修コード	256301
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	秋原 輝

講義の到達目標(ねらい) 英語 IB の学習を基礎として、なるべく数多くの英文を読みながら、より高度な英文を正確に読む力を身につける事を目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 毎回プリントを配布する。日本文化を扱った英文や、時事英語、TOEIC のリーディング問題など様々な英文を読む予定。

履修上の留意点 毎時間英和辞典を持参すること。真剣な気持ちで学習に取り組む姿勢が求められる。

成績評価の方法 授業中の学習態度、出席率、提出物、前・後期の試験結果、等の総合評価。

教科書／テキスト 毎時間、プリントを配布する。

履修コード	256401
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	市川 仁

講義の到達目標(ねらい) より多くの量の英文が読めるようになることを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 第1～15回：Chapter 1-10 本文解釈および練習問題・まとめのテスト
第15回～第30回：Chapter 11-20 本文解釈および練習問題・まとめのテスト

準備学習 必ず予習をしてください。

履修上の留意点 授業に積極的に参加してください。

成績評価の方法 授業中の発表（30％）と試験結果（50％）および出席（20％）を総合して評価。全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教科書／テキスト 石原孝哉他『英語で楽しむ秘録・イングランド史外伝』（南雲堂）¥2000 ISBN978-4-523-17578-0 C0082

履修コード	256501
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	太田 雅子

講義の到達目標(ねらい) 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。

講義の内容／授業スケジュール 最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。原則1回の授業でテキストの1章進む。

履修上の留意点 予習は必須。

成績評価の方法 平常点と前期・後期試験

教科書／テキスト 未定

履修コード	256601
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	吉川 直澄

講義の到達目標(ねらい) 英語 IB を基礎として、大意の把握を心がけつつ、英文を正確に理解する技術を総復習する。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回で、テキストの Lesson4まで学習し、前期試験を行ない。後期15回で、Lesson7（最終章）まで学習し、後期試験を行なう。

履修上の留意点 英語は演習科目に相当する。出席は、原則として、3分の2以上必要であり、授業内課題（宿題、小テスト等）は重視される。

成績評価の方法 出席、課題、前期後期試験を総合的に検討して評価する。

教科書／テキスト Intensive Training for thr TOEIC Test 成美堂 2500円（CD付き）
ISBN-4-7919-1047-8

参 考 書 Elizabeth Bronfen, Home in Hollywood: Film and Culture, Columbia University Press, 2004. (ただし、購入の必要はない。)

履修コード	256701
科目名	英語ⅡB
担当者名	大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい) 英語の読解力を身につけるためのクラスである。したがって、できるだけ多くの英文を読んで、それらを理解し要約する力を養うことがこのクラスの目標である。

講義の内容／授業スケジュール 読む能力とは、外国語を聞いたり話したり能力の一番重要な基礎となるものである。読めるということは、文法の基本構造がわかっており、単語を数多く知っているということにほかならないからである。このことは、いくら強調しても強調し過ぎることはない。インターネットの時代、最も必要になるのは、「共通語」である英語を読む力であるといえる。

履修上の留意点 講読のクラスとしては、最新の出来事を、英字新聞・外国の雑誌・インターネットから入手して英文を読んでいくという方法もあるが、このクラスでは、ある一定のテーマを決めて、その分野についてある程度の基礎的知識を得ることを目的として英文を読み込んでいく。

成績評価の方法 このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、キリスト教の起り、その歴史、またキリスト教とヨーロッパ文明の関わりを論じたものを選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、「旧約聖書」の抜粋、「新約聖書」に収められているイエスの譬え話なども読んでいく。このクラスで一年間に課せられるキリスト教の文献を読みこなせば、受講生のキリスト教についての知識はかなりのレベルに達することになる。

教科書／テキスト クラスには必ず予習をして臨み、文献の内容把握に努めること。そして、問題点を整理して、クラスに参加すること。

出席状況(実授業回数)の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容)及び前期・後期試験による。

前半はプリント、後半からテキストを使用する。

テキストについては、教場にて指示します。

外国語

履修コード	256801
科目名	英語ⅡB
担当者名	清水 雅夫

講義の到達目標(ねらい) 単語力、構文を把握する力を増強する。

講義の内容／授業スケジュール 環境問題に対処するためのテクノロジーや、それを応用したビジネスを扱った文章を読む。レベルは中の下ぐらい。授業2回で1課進む。全20課から12課を選ぶ。

履修上の留意点 予習は、本文中の単語調べ、練習問題の指定箇所。復習は本文中の指定箇所など。

成績評価の方法 試験(授業内、4回)80%、出席20%、平常点(予習、授業態度など)±20%。

教科書／テキスト ジョアン・ペロケティ、他4名著
Eco-Navigation and Society 『エコナビゲーション社会』 南雲堂 1900円+税
978-4-523-17635-0

履修コード	256901
科目名	英語ⅡB
担当者名	植村 恵子

講義の到達目標(ねらい) 新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)

講義の内容／授業スケジュール 使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercise1の問題を解きながら読み、最後にExercise2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。

履修上の留意点 授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法 出席状況(実授業回数)の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書／テキスト 堀江・加藤他『時事英語の総合演習—2010年度版—』(朝日出版社)1,500円
ISBN978-4-255-15484-8

参 考 書 『リーダーズ英和辞典』(研究社)
『現代用語の基礎知識』(自由国民社)

履修コード	257301
科目名	英語ⅡB
担当者名	伊藤 ^{いとう} 美代子 ^{みよこ}

講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎として、より高度で実社会に直結した英文の理解をめざす。また、リーディングだけでなくスピーキング、リスニング、ライティング、発音矯正も行い、社会に出ても通用するよう総合的な英語力の強化をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容理解を図る。また現代のビジネスに直結する語彙の習得をめざす。授業にはできる限り英語を使用するが、風雑な構文や背景についての説明には日本語を使用。 前期6章、後期6章を学習することでテキストを終了する。
準備学習 履修上の留意点	予習が絶対条件。予習しなければ授業の内容の理解は不可能。 予習が絶対条件。 正当な理由なく半期に4回以上欠席したものには単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りは平常点(出席率、小テスト、提出物、授業態度等)により評価する。
教科書／テキスト	Moving ahead in the 21st Century (躍進する企業)(松柏社)

外国語

履修コード	257401
科目名	英語ⅡB
担当者名	岡本 ^{おかもと} 誠 ^{まこと}

講義の到達目標(ねらい)	英語なる外国語学習もいよいよ終盤。英語の実力が試されるのはなんといっても「なにが書いてあるか読み取れる」ということである。この英語ⅡBという講義はその最終仕上げである、と思ってほしい。
講義の内容／授業スケジュール	商学科の学生諸君によからうと、いずれも日本を代表する、あるいは新進気鋭の企業がどのような活動内容であるか、各企業の紹介・歴史等も含めて読んでいく。それらの企業とは以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. キリン 2. エドウィン 3. エヌ・ビー・シー 4. 小林製薬 5. 亀田製菓 6. 浦和レッドダイヤモンズ 7. テルモ 8. ダイセキ 9. キッコーマン 10. SHOEI 11. ヤマハ 中には自分も使っている、というようなお馴染みの企業名があるのではなかろうか。親しみを感じて読んできてほしい。
準備学習 履修上の留意点	事前に予習を行っておくこと。外国語の学習はこれにつける。 自分なりに考えてきているものとして講義は行われる。下見がなされていない場合は授業に参加していないのと同様なり。ご存知のように、欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取って教場に入ること。ケータイはオフ。
成績評価の方法	前期・後期の試験、指名されたときの発表状況、出席・遅刻状況、その他の受講態度等を総合的に評価する。
教科書／テキスト	Moving ahead in the 21st Century (「躍進する企業」) 松柏社 ￥2,000

履修コード	257501
科目名	英語ⅡB
担当者名	田中 保

講義の到達目標(ねらい)	基礎的な構文を正確に理解し、英文の大意を把握する力をつけるとともに、次第に読む量を徐々に多くして、読む速度も速めていく。
講義の内容／授業スケジュール	[1] Unit 1 Bloody Badly ~ Unit 14 Pisa Dilemma(1~14) Examination(15) [2] Unit 15 Out of Hong Kong ~ Unit 28 Luring Indian Women to Smoking (1 ~ 14) Examination(15)
準備学習	前期はテキストを毎授業1課進む予定ですので、1課下読みをして毎授業出席すれば、授業をよく理解できるようになります。
履修上の留意点	授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。わからない単語の意味を調べて、必ず予習をして授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。
教科書／テキスト	『The World Today: the Good, the Bad, the Ugly.』(『数が語る世界』) 南雲堂、1890円 ISBN 17218-5 B-218 044746

履修コード	257511
科目名	英語ⅡB
担当者名	飯沼 好永

講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎として、より高度な英文を正確且つ速く理解する英語力を身に付けることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	基本的な文法事項も確認しながら、さまざまな内容の英文を読んでいきます。一つのプリントを2週で進む予定です。
履修上の留意点	予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。
成績評価の方法	成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。
教科書／テキスト	プリント使用

履修コード	257551
科目名	英語ⅡB
担当者名	照山 雄彦

講義の到達目標(ねらい)	平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の運用能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのため多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 講義の内容説明、(2~6)最も重要と思われる名詞、動詞とその表現、(7~25)対話、主語、時制、述部、助動詞比較、仮定表現、形容詞、副詞、各節、非定形動詞と実践、(26~30)まとめ、応用表現
履修上の留意点	辞書は必ず持参すること。予習、復習は必ずすること。
成績評価の方法	出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求めた課題を評価する。
教科書／テキスト	授業の第1日めに教場にて紹介する。
参考書	授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	257561
科目名	英語ⅡB
担当者名	福田 一貴

講義の到達目標(ねらい)	英語IBを基礎として、やや難易度の高い英文を正確に理解できるようになることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	イギリスの大学生活について書かれた文章をじっくり読んでいく予定である。異国の大学生活を知ること、日本の大学生活の良い点、改善すべき点などが自分なりに見つけられたらと思う。少し難易度が高いかもしれないが、英語IBで得た知識を活用しながら、しっかりと読み込んでいく。そのため、進度はそれほど早くはならないと思われる。前期:第1回イントロダクション、第2回~第14回でChapter 1を読み進み、第15回に前期試験を行う。後期:第1回~第14回でChapter 2を読み進め、第15回に後期試験を行う。
準備学習	予習の段階で、自分の力で英文を読んできてほしい。
履修上の留意点	授業には必ず辞書(電子辞書でも可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参してほしい。
成績評価の方法	3分の2以上の出席が期末試験を受験するための条件となる。出席に加えて、期末試験、授業内の課題などを総合的に検討して評価する。
教科書／テキスト	M.C. Mobbs 著、益田出註解、『Universities Observed: Portraits Of Four British Universities From A Historical Perspective (イギリスの大学生活)』、成美堂、1200円(税別)、ISBN 4-7919-1169-5

履修コード	257571
科目名	英語ⅡB
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)	A B C放送のアメリカ国内向けTVニュース番組を通して、英語の運用能力をさらに高めることがこの授業の目的です。ニュース現場の臨場感を楽しみながら、内容を正確に聞き取り、読み、話せるように学びます。多岐にわたるニュース内容を英語で学ぶことは、一般教養科目を英語で学ぶのと同等の効果があります。授業内容を確実に消化し得た場合、英米語圏で生活し、学習するための十分な下地が築けるでしょう。
講義の内容／授業スケジュール	1/2/3: Unit 1. Speech Patterns 4/5: Unit 2. Taxing Soda 6/7: Unit 3. Lifting the Ban 8/9: Unit 4. Dress Down Days 10/11: Unit 5. Help Wanted Radio 12/13: Unit 6. Person of the Week 14/15: Unit 7. First Lady 16/17: Unit 8. Job Swap 18/19: Unit 9. Person of the Week 20/21: Unit 10. Blue Eyes 22/23: Unit 11. A Girl's Best Friend 24/25: Unit 12. Country in Crisis 26/27: Unit 13. Mystery Donor 28/29: Unit 14. Shock Value 30: Unit 15. In Search of Shelter 以上全30回。
準備学習	テキスト付属のDVDを事前に学習し、スクリプトの空欄を埋めた上で、授業に出ること。徐々に正確に出来るようになりますから、初めのうちは出来なくても気にせず、準備学習を続けることです。
履修上の留意点	授業を休まないこと。5回欠席すると、得点数が基準に達しないので、注意すること。小テスト、中間試験、定期試験を休まないこと。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10% (ただし、皆勤の場合)、中間試験30%、定期試験30%、小テスト30%とします。
教科書／テキスト	ABC World News 12 金星堂 ¥2,300 (ISBN)978-4-7647-3893-5

外国語

履修コード	257801
科目名	英語ⅡB
担当者名	川崎 浩太郎

講義の到達目標(ねらい)	IBで学んだ英語力を基礎として、英語を理解する能力の向上を目的とします。リーディングに関しては、現代アメリカを理解する上で必要不可欠なトピックを紹介した英文を、より速く正確に読む訓練を行っていきます。リスニングに関しては、TOEICのリスニング問題等を毎時間行う予定です。
講義の内容／授業スケジュール	(1~14週)Chapter1~7 (15週)テスト (16~29週)Chapter 8~15 (30週)テスト
準備学習	毎時間必ず辞書を持ってくること。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
履修上の留意点	欠席は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。 毎時間全員を指名する予定なので、教科書の予習は不可欠。
成績評価の方法	出席、発表50%、テスト50%の割合で評価する。
教科書／テキスト	Christopher J. Armstrong/Anthony Piccolo/板倉 巖一郎 『Reading Contemporary America:15 Critical Views of Culture and Society 問題意識を持って読むアメリカ 15のトピック』 松柏社 ¥2100(税別) ISBN978-4-88198-640-0

履修コード	257901
科目名	英語ⅡB
担当者名	勅使河原 三保子

講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎として、さらにより効果的に英文が読めるようになる。視聴覚資料も用いてさらに英語音声に慣れ、筆記、口頭での応答に躊躇しないようになる。
講義の内容／授業スケジュール	3、4回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、小テストで締めくくる。前期1~2: 導入、3~6: 国際語としての英語、7~10: 学生生活と将来の夢、11~14: 世界で活躍する日本人。後期1~11: さらにテーマを3つ、12~14: 最終課題 (各自テーマを決め、提出物あるいは実演)。
成績評価の方法	小テスト6回 (60%)、最終課題 (30%)、平常点 (出席・本学 E-learning システム YeStudy 活用10%)
教科書／テキスト	配布物およびオンライン資料。

履修コード	258001
科目名	英語ⅡB
担当者名	鈴木 美貴子

講義の到達目標(ねらい) 英文読解力を高める
 講義の内容／
 授業スケジュール 第1回前期オリエンテーション、第2～13回Unit1～6、第14回Review、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit7～12、第29回Review、第30回後期試験

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する
 履修上の留意点 予習必須。授業に必ず辞書を持参し、授業中もよくひく
 成績評価の方法 出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前期・後期試験、提出物により、総合的に評価する
 教科書／テキスト 岡雅子『Legal Matters-Dramatic Stories behind the Legal Scenes』(センゲージラーニング株式会社、2000年)
 ISBN 978-4-86312-150-8

外国語

履修コード	258101
科目名	英語ⅡB
担当者名	山口 晃

講義の到達目標(ねらい) IBの勉強を土台にして、英語の読解力をさらに深める。
 講義の内容／
 授業スケジュール 毎回の授業では、英文を深く理解し、解釈するための練習を行なう。
 履修上の留意点 毎回十名前後の学生がこの練習・発表を行なう。
 成績評価の方法 辞書はかならず毎回持ってくる。
 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行なう。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。
 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。
 教科書／テキスト 毎回プリントを配布する。
 参考書 随時紹介する。

履修コード	258201・259301
科目名	英語ⅡB
担当者名	井出 功一

講義の到達目標(ねらい) テキストは世界各地域の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。
 講義の内容／
 授業スケジュール 食文化は私たちの日常生活そのものです。そこに出てくる英文を十分に聞いたり、読んだりして、英語力の向上と食育の知識を深めることを目標とします。
 イギリスのお茶(2回)、中国のお茶(2回)、茶の湯(2回)、コーヒーの道(2回)、ナイフ・フォーク文化圏(2回)、手食の文化圏(2回)、中華料理(2回)、フランス料理(2回)、日本料理(2回)、アメリカ料理(2回)、パン食文化圏(2回)、根菜農耕文化(2回)、世界の麺類(2回)、牛乳の文化(2回)、香辛料(2回)
 なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャブテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」(New Zealand Spinach)、歴史の古い「蜂蜜酒」(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)、フランス、イタリア原産で、サラダに最適のニュー野菜「トレビス」(Trevise)なども説明します。
 また、ときにはニュース英語や、その他の資料を使って講義を進めてゆく予定です。
 履修上の留意点 初回の授業には必ず出席するよう、お願いします。
 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。
 成績評価の方法 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価
 教科書／テキスト 『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化)成美堂
 参考書 『Q&A早分かり食育基本法』(大成出版社)
 『食育基本法、学校で取り組むQA事典』(明治図書)
 『いままで知らなかった本当の食育』(東山書房)

履修コード	258301
科目名	英語ⅡB
担当者名	渡部 孝治

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

1年生の時学んだ学習を基にして、英語運用能力の向上を目指す。
リーディングは(直読直解)、リスニングは(速聴速解)、いわゆる同時通訳方式で行なう。同時に英語表現にも力を入れたい。
前期(15回程度) 前半(7回)は基礎的な文章表現を利用して行なう。後半は前半を基にして、応用表現を学ぶ。
後期(15回程度) 前半(7回)は、前期の文章表現よりもやや難解な文章を使用して授業を進める。後半(7回)は、前半の学習を基にして、応用表現を学ぶ。
授業中できるだけ多くの人を当てていきます。予習は予め全員がやってくること。
3分の2以上の出席と前期・後期の2回のテストの成績、授業の参加度合で成績を評価します。
最初の授業時に指示する。
授業時に指示する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	258601
科目名	英語ⅡB
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

ⅡBを基礎として、さらに多くの文章を、速く読めるようする。精読だけでなく、段落、文章の大意を素早く理解することや、リスニングによる、聞きながらの文章把握を目指す。
第1回：導入。今後の授業の進め方を説明する。
第2回～30回：イギリスに関する内容を扱った2冊のテキストを併用する。1冊はリーディング力の強化に用いるもので、様々なテーマについて書かれた400words前後の短い文章を段落ごとに速読し、それから文章全体の内容理解を行う。また文中の重要構文や文法も確認する。もう1冊はリスニング力の強化に用いる。アメリカ英語よりも子音の発音がはっきりしているために聞き取りやすいイギリス英語に耳を慣らし、また発音できるようにする。

準 備 学 習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

英字新聞を読む、映画を字幕なしで見ると、普段から英語に接しておくこと。
3分の2以上出席すること。また、毎回必ず予習をし、辞書を持参すること。
前後期の最後の授業で試験を行う(6～7割)。また平常の出席、個人の努力と積極性、発表や課題の提出を重視し、総合的に評価する。英文レポート提出あり(3～4割)。
Anthony Allan, Tetsuya Iseki 他、『Insight into Britain』, 金星堂, 1890円, ISBN978-4-7647-3902-4 C1082

Scott Berlin, Chisako Nakayama, 『Discover Great Britain and Ireland』, 金星堂, 2200円, ISBN978-4-7647-3864-5 C1082

履修コード	258701
科目名	英語ⅡB
担当者名	井伊 順彦

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

現代アメリカの社会問題や文化を題材とした教科書などを用いて、おもに英語を「読む」力と「聴く」力を伸ばしてゆく。「書く」練習もなるべく取り入れたい。
毎回かなりの時間を使って教科書の内容を把握する練習や、本文に関する英語の質問を聴き、口頭または筆記で答える作業をおこなう。場合に応じて視覚教材も活用したい。一回の授業のペースはクラスの実力を見定めて調整するが、速い場合は一課全体、遅い場合は一課の六割程度となろう。
教科書に付属しているCDを聴くなどしてほしいが、詳しくは教室で説明する。
毎回おそらく半数ほどの学生に対して、なんらかのかたちで指名し、解答してもらおうことになろう。積極的な姿勢を求めたい。
「数回の小テストの成績」、「質疑応答や提出課題の出来」、「出席数」などを柱とするが、詳しくは教室で説明する。

準 備 学 習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

Letters from America (『現代アメリカを探る』) 南雲堂 2000円(税別)
必要に応じて教室で指示する。

履修コード	258801
科目名	英語ⅡB
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>
講義の到達目標(ねらい)	英IBを基礎にして、さらに多くの英文を、深く読めるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	単に断片的な英文の理解ではなく、文化的な背景や歴史をあわせて考えながら、深く理解する習慣を身につける。
準備学習	プリントは、次回のもも渡しておくので、予習をしておくこと。
履修上の留意点	辞書は毎回必ず持ってくること。 遅刻は欠席に準じた扱いにするので、遅刻のないように。
成績評価の方法	授業への出席、発表、レポートの提出の三つで、総合的に評価。
教科書／テキスト	プリント
参考書	随時紹介する

外国語

履修コード	258901
科目名	英語ⅡB
担当者名	足田 和人 <small>あした かずひと</small>
講義の到達目標(ねらい)	英文に対しての思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文読解および、速読法を学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 イントロ (1) 2 英文の構成速読法 (2~12) 3 前期のまとめ (13~14) 4 前期試験 (15) 5 長文英語の読解法 (16~27) 6 後期のまとめ (28~29) 7 後期試験 (30)
履修上の留意点	出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。
成績評価の方法	出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。
教科書／テキスト	What's up? 20010-11 Intermediate および、付属の確認問題集 (桐原書店)

履修コード	259401
科目名	英語ⅡB
担当者名	塚本 利男 <small>つかもと としお</small>
講義の到達目標(ねらい)	絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	簡潔明瞭な本文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。 オリエンテーション (1)、スフィンクス、左利きは天才?、ジェファニー・ロベス、油漏れにご注意など (2~14)、スピードデート、メジャーリーグ、砂丘を歩こう、芸術は爆発だなどの内容の英文を読みます (16~29)。前期・後期のテストを実施する (15と30)。
履修上の留意点	必ず毎回、授業の予習をすること。辞書(電子辞書可)を持ってくること。
成績評価の方法	授業における発表、テキストの練習問題の成績、前期・後期のテストなどに基づき総合的に評価します。
教科書／テキスト	『速読の発展演習』 Casey Malarcher・森田彰・原田慎一 (株)成美堂 1,700円+税 ISBN978-4-7919-4625-9

履修コード	259501
科目名	英語ⅡB
担当者名	永野 光一 <small>ながの こういち</small>
講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎として、より高度なリーディング力を養成。
講義の内容／ 授業スケジュール	現代社会のさまざまな問題に関する英文テキストを読み進め、大意の把握やより速く正確に英文を読む練習をする。(1) Orientation (2-8) Men Are From Mars, Women Are From Venus, Chocolate, Product Placement, Fart Tax, Letter from an Iranian Girl, (9-15) Blogs, The Placebo Effect, Sedna, The Amazon, Space Junk, ID Theft, Euthanasia (16-23) Venice, Honorifics, Beauty in the Media, Salzburg, Sweatshops, Aroma Oils (24-30) German Education, Peter Jackson, Women in New Zealand, Wine in France, The Pygmalion Effect, Multinational Business
準備学習	毎回小テストを行うので、前回授業の学習内容を復習してこよう
履修上の留意点	授業に積極的に取り組むこと。原則として3分の2以上出席すること。
成績評価の方法	出席と授業への積極的な取り組み、時事および基本英語表現の小テストを重視し、総合的に評価。
教科書／テキスト	Shishido, Makoto and Allen, Bruce (2010), "Reading Expert 2 (リーディング エキスパート 実践編)" (成美堂) ISBN978-4-7919-3113-2

履修コード	259701
科目名	英語ⅡB
担当者名	岩永 祥恵

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	現代社会が抱える様々なパッセージを読み読解力をつける。構造で理解する読解を目指す。 (1) イントロダクション、不気味の谷 (2) 不気味の谷その2 (3)～(4) ビオトープ (5)～(6) 光の教会 (7)～(8) エネルギー効率の良い家 (9)～(10) ユニバーサルデザイン (11)～(12) ロボットと暮らそう (13)～(14) いまだに進化を続ける人体 (15) 前期試験 (16) 前期試験答案返却、完璧なパスワード (17) 完璧なパスワードその2 (18)～(19) リナックス (20)～(21) 幹細胞 (22)～(23) 古くて新しい地球電池 (24)～(25) 脳科学最前線 (26)～(27) ヒートアイランド現象 (28)～(29) ロボギブリ (30) 後期試験
履修上の留意点	予習を必ずすること。
成績評価の方法	授業参加度(出席点、小テストを含む) 30% 学期末テスト 70%
教科書/テキスト	Paragraph Reading(南雲堂)

外国語

履修コード	259801
科目名	英語ⅡB
担当者名	落合 真裕

講義の到達目標(ねらい)	様々なジャンルの英文を読む力を養っていきます。また、速読の練習を通して素早く正確に英文を理解する力を身につけていきます。
講義の内容/ 授業スケジュール	写真や映像を通して、文化、社会学、旅、サイエンス、アドベンチャーなど、多彩な分野の英文を読んでいき、読解力とともに、頻出度の高い語彙の習得も図ります。また、英語のグラフや図についても理解力を高めていきます。 (1)～(15)Unit 1 Words and Pictures ～ Unit 6 Conservation Challenges (16)～(30)Unit 7 Song and Dance ～ Unit 12 Quality of Life
履修上の留意点	毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
成績評価の方法	前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況(原則として3分の2以上の出席を必要とします。)などにに基づき総合的に評価します。
教科書/テキスト	Reading Explorer 4 (センゲージラーニング) 2,142円 ISBN978-1-4240-2936-5

履修コード	259811
科目名	英語ⅡB
担当者名	西原 克政

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ英語の書き言葉と話し言葉の相違を学んでゆく。
講義の内容/ 授業スケジュール	アメリカの「変化」「危機」「矛盾」「挑戦」といったテーマを焦点にして、文化・経済・政治のあり方を考察する。 1.オリエンテーション2.Introduction 3.Sharing My Thoughts 4.Chapter1 5.Chapter1 6.Chapter1 7.Chapter2 8.Chapter2 9.Chapter2 10.Chapter2 11.Chapter3 12.Chapter3 13.Capter3 14.Chapter4 15.Chapter4 16.Chapter4 17.Chapter5 18.Chapter5 19.Chapter5 20.Chapter6 21.Chapter6 22.Chapter6 23.Chapter7 24.Chapter7 25.Chapter7 26.Chapter8 27.Chapter8 28.Chapter8 29.Conclusion 30.まとめ
履修上の留意点	授業に際して予習に最も力を入れてもらいたい。原則として授業回数の3分の2以上出席をすること。
成績評価の方法	出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。授業中のプレゼンテーションをその都度総合的に評価する。
教科書/テキスト	ジョン・マコーネル『今日のアメリカとそのゆくえ』金星堂、1838円 ISBN 978-4-7647-3-3704-4
参 考 書	授業中に適宜指示する。

履修コード	259901・350511
科目名	英語ⅡB
担当者名	きさき たかし 佐々木 隆

講義の到達目標(ねらい) 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の実践的コミュニケーション能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのために多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。聞く、読む、訳す、さらには書くなどの分野を連動させながら進める。

講義の内容／授業スケジュール (1) 講義の内容説明、(2～14) テキスト等を順次行なう。なお、TOEICの練習問題なども毎回行なう予定である。(15) 夏休み前に大きな試験を実施予定。(16～29) テキスト等を順次行なう。なお、英作文的な要素も取り扱う予定である。(30) まとめの試験を実施 *全体的にはテキストや補助教材を毎回コンスタントに進める。なお、補助教材はこちらで用意する。

準備学習 サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。授業中の活動は多くなる予定である。なお、リーディングについてはスピードよりもリズムを重視して下さい。

履修上の留意点 教科書、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したもの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。

教科書／テキスト Hiroko Katanoda / Thian Wong. TOEIC TEST LISTENING 450 南雲堂 定価(本体700円+税) ISBN978-523-17589-6

参考書 授業中に順次指示する

関連リンク <http://www.ssk.econfn.com>

履修コード	259951
科目名	英語ⅡB
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 英語による思考方法を学び、外国文化を学びます。同時に日本文化のより深い理解を望みます。一回の授業で一レッスン進みます。その他は英字新聞、雑誌などのコピーを使用します。

講義の内容／授業スケジュール 日ごろから英語に親しむように、英字新聞やテレビの英語ニュースに接してください。

履修上の留意点 日常評価40%、前期テスト10%、小テスト10%、後期テスト40%の割合で評価します。

成績評価の方法 ニュースメディアの英語一演習と解説-2010版 朝日出版社 ¥1600 ISBN 978-4-255-15482-4

教科書／テキスト

履修コード	259971
科目名	英語ⅡB
担当者名	こごみ なほし 古富 猛

講義の到達目標(ねらい) アメリカ社会を理解するには、民話をよむことも、大切である。さらに、先住民の存在も、忘れてはならない。速読によつて、文型も増やし、会話能力も、高める。

講義の内容／授業スケジュール 1. ガイダンス 2～4. 文法説明 5～30. 各自予習発表 平常点とする。

履修上の留意点 出席点、前期、後期、の試験、予習発表の成績で、評価する。

成績評価の方法 試験の結果(8割)、課題等(2割)。

教科書／テキスト 教場にて、指示します。指定の書店にて、必ずもとめてください。

履修コード	260001
科目名	英語ⅡC (会話)
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい) The students will work on improving their communicative and listening skills.

講義の内容／
授業スケジュール

Class 1 Introduction
2-3 Meeting people
4-5 Feelings
6-7 Places
8-9 Movies
10 Review
11-12 What happened
13-14 Yes or No
15 Review
16 Speech
17-18 Remembering
19-20 Planning
21-22 Problem + Solution
23 Review
24-25 My story
26-27 My opinion
28-29 The Future
30 Review

履修上の留意点 4 absences in one semester is poor attendance.
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法 Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書／テキスト The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	260011
科目名	英語ⅡC (会話)
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(ねらい) This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容／
授業スケジュール

[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final Exam using selected textbook activities.

準備学習 In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.

履修上の留意点 Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法 Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書／テキスト author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

参 考 書 none
そ の 他 none

履修コード	260401
科目名	英語ⅡD
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

専門書を読むために必要な英文読解力の養成を目標とします。

[講義内容]

論理的な文章を読みこなすためには正確で幅広い語彙力と同時にしっかりした構文に対する知識が不可欠です。それと同時に英語の思考方式に慣れることも必要です。授業ではテキストの一字一句をゆるがせにしない精読をしていきます。英語の思考の流れにそって理解していけるよう、できる限り頭から訳していくよう指導していくつもりです。

[授業スケジュール]

前期

第1週 オリエンテーション

第2週-14週 教科書の前半部分の講読

第15週 前期試験

後期

第14週-29週 教科書の後半部分の講読

第30週 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

予習はしっかりやってきてください。

成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書/テキスト
参 考 書

塩野弘明編『POINT OF LAW (法廷百話)』(南雲堂) 1,600円+税

学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

外国語

履修コード	260501
科目名	英語ⅡD
担当者名	<small>まえだ おさむ</small> 前田 脩

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

法律を通じて日本と英米の思考方法の違いを学びます。

章わけにしてあるユニットを一回に一ユニットづつすすみます。英字新聞から法律に関係のある記事を取り上げてプリントにして配布します。

履修上の留意点
成績評価の方法

毎回授業前にしらべておくこと。

日常評価を40%、前期テスト10%、小テストを10%、後期テストを40%の割合で評価します。

教科書/テキスト

Legal Matters センゲージ ラーニング株式会社 ¥2000 978-4-86312-150-8

履修コード	260601
科目名	英語ⅡD
担当者名	おかもと まこと 岡本 誠

講義の到達目標(ねらい) テキストを用意するので、自分の Reading の力をあらためて認識・養成するようにしてほしい。読解力養成のいよいよ最後のチャンスである。

講義の内容／授業スケジュール 我々の日常生活に好むと好まざるにかかわらず影響を及ぼしてくるのがアメリカであり、アメリカの抱えている問題である。まさしく現在の時点で世界が不況にあえいでいるのはアメリカが世界にばら撒いた毒素、つまり証券化されたサブプライムローンが原因であったことはまだ記憶に新しい。そこで、本講義ではアメリカが直面している、あるいは経験した次のようなトピックスを読んでいく。

- Pursuing the American Dream
- America's Immigrant Roots
- The Trail of Tears
- Harriet Tubman: An American Heroine
- Jews and American Culture
- The Japanese American Internment
- The Illegal Immigration Problem
- The American "Gun Society"
- Barack Obama: Breaking Through the Glass Ceiling
- Envy, Greed and Financial Collapse
- The Tradition of American Philanthropy
- American Megachurches
- Interracial Marriages—Then and Now
- Fast Food vs. the Sustainable Food Movement

準備学習 事前に予習を行っておくこと。外国語の学習はこれにつきる。

履修上の留意点 予習してあることを前提に進めていくことは言うまでもない。語学力を高めていくにはこの方法しかない。辞書は携帯のこと。ケータイはオフ。ご存知のように、欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取ってから教場に入る。授業中外へ出ていかない。

成績評価の方法 前期・後期の試験、指名されたときの発表・プレゼンテーション力、出席・遅刻状況、その他の受講態度等総合的に評価する。

教科書／テキスト America in Motion (「アメリカの過去・現在・未来を読む」) 成美堂 ¥1,800

外国語

履修コード	260701
科目名	英語ⅡD
担当者名	みずさきのりこ 水崎 野里子

講義の到達目標(ねらい) 社会科学の英文のテキストを読んで行く。英文のパラグラフを適宜に把握できる読解力の向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 毎時間配布する英語プリントを指定時間内で概要を把握する練習をする。翻訳ではない、内容把握をあくまでも目的としたい。

履修上の留意点 毎時間プリントを配布する。時間を与え、教場で与えられた英語パラグラフの概要意味を把握する練習をする。

成績評価の方法 適宜に文法事項などを説明する。英文の読解に興味を持つ方向で授業を進行させたい。

教科書／テキスト 英和辞典の活用をのぞみます。

ペーパーテストと出席状況、及び提出物の総合評価とします。

学生の読解力に応じて毎回英文のテキストをプリントする。

参考のために日本語への翻訳を提示する。日本語訳を参照し、内容理解の向上と読解力を深めて欲しい。

ホートソング・ジグメ：青い空の下に(詩画工房) ¥1000

履修コード	260801
科目名	英語ⅡD
担当者名	大庭 直樹 <small>おおいば なおき</small>

講義の内容／授業スケジュール 英語の読解力を身につけるためのクラスである。したがって、できるだけ多くの英文を読んで、それらを理解し要約する力を養うことがこのクラスの目標である。
読む能力とは、外国語を聞いたり話したり能力の一番重要な基礎となるものである。読めるということは、文法の基本構造がわかっており、単語を数多く知っているということにほかならないからである。このことは、いくら強調しても強調し過ぎることはない。インターネットの時代、最も必要になるのは、「共通語」である英語を読む力であるといえる。

履修上の留意点 語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。クラスはテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

成績評価の方法 成績は前・後期の定期試験と、平常点（出席数や授業態度など）を総合して評価します。

教科書／テキスト 最初のクラスで指示します。

その他 英和辞典を持ってくること。

外国語

履修コード	260901
科目名	英語ⅡD
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の到達目標(わらい) 少し難易度の高い英文を読みます。直接現代社会と関連のあるテキストを読むつもりです。

講義の内容／授業スケジュール

1	pp.1-2	教科書指示	16	pp.1-2プリント(2)配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4(試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6
4	pp.7-8		19	pp.7-8
5	pp.9-10		20	pp.9-10
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12(試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14
8	pp.15-16		23	pp.15-16
9	pp.17-18		24	pp.17-18
10	pp.19-20		25	pp.19-20
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22(試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24
13	pp.25-26		28	pp.25-26
14	pp.27-28		29	pp.27-28
15	前期試験		30	後期試験

履修上の留意点 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。

成績評価の方法 ①試訳（40％）②試験（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書／テキスト 4月の最初の授業で指示します。

履修コード	261001
科目名	英語ⅡD
担当者名	相馬 美明

講義の到達目標(ねらい)

授業は講読を中心としたフォー・スキルズの育成を目的とする。基本的にテキストにそって進められるが、テキストに加え日常の会話表現を身につける目的として、たとえば映画のディクテーションやTOEIC, TOEFL などさまざまなリスニング問題、ウィットに富んだ物語などにも触れ、表現力を身につけていきたい。そして最終的に発話（表現力）として、簡単なテーマについて自分の考えを英語でまとめ、プレゼンテーションを行ってもらう予定である。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など
- (2) Lesson 1, Film ①
- (3) Power Exercises, Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
- (4) Lesson 2, Film ②
- (5) Power Exercises, Film ③
- (6) Lesson 3, Film ③～④, Top of the world (Background of the singer), Questions
- (7) Power Exercise, (True or False questions), Film ⑤
- (8) Lesson 4, Film ⑤～⑥
- (9) Power Exercises, Film ⑥, レポート内容説明、指示
- (10) Lesson 5, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑥～⑦
- (11) Power Exercises, Film ⑧
- (12) Lesson 6, Film ⑧～⑨
- (13) Power Exercises, Film ⑨～⑩
- (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
- (15) 学期末テスト
- (16) 後期予定確認、リスニング問題、Wedding Ceremonies Expenses, We're All Alone
- (17) Lesson 7, Excellent power of memory, Film ①
- (18) Power Exercises, Coin changer, Film ①
- (19) Lesson 8, Diplomacy, Film ①～②
- (20) Power Exercises, プレゼンテーションについて指示、説明
- (21) Lesson 9, Film ②, She's got a way.
- (22) Power Exercises, Film ②～③
- (23) Lesson 10, Film ③, The Story of O-TEI
- (24) Power Exercises, Film ③～④
- (25) プレゼンテーション確認、まとめ、力だめし
- (26) プレゼンテーション ①
- (27) プレゼンテーション ②
- (28) Lesson 11, Film ④
- (29) Power Exercises, 一年のまとめ
- (30) 学期末テスト

準備学習

学生には、自らの無限の可能性を信じ、新たなる自分探しをしてもらいたい。授業は学生のやる気を大切にすすめていくつもりである。

履修上の留意点

予習が絶対条件となる。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨としてもらいたい。真剣に取り組む姿勢を期待している。

成績評価の方法

出席・平常点（10％）、学期末試験（70％）、レポート（10％）、プレゼンテーション（10％）、真剣に打ち込む姿勢を評価したい。

教科書／テキスト

和田晋一、大東俊一ほか、『YOUR ACCESS TO THE FUTURE』, NAN' UN-DO PHOENIX, およびプリント配布

参 考 書

必要に応じ、適宜指示する。

外国語

履修コード	261501
科目名	英語ⅡD
担当者名	依田 梨花 <small>よだ りあ</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、テレビの映像を使って、様々な話題にふれながら、リスニングとリーディングを中心に、総合的に英語の力を高めていきます。また、ジャパンタイムズやデイリー読売などの英字新聞から、法律に関連した記事を取り上げて、文法や構文、表現などに注意しながら、精読を行います。リスニングでは、音から意味がとれるように、また、音が既習の単語や表現とつながるように、色々な練習を行います。毎回、課題がありますので、きちんと準備して出席してください。一年後には、必ず力がつきます！
講義の内容／授業スケジュール	第1回：オリエンテーション／第2回以降：各ユニットを1～2回の授業で進めていきます／前期最終日と後期最終日は、定期試験を行います。
準備学習	毎回、予習となる課題を出します。復習には、小テストを行います。こつこつ積み上げていきましょう。
履修上の留意点	・英和の辞書を持参してください。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の三分の一以上欠席すると単位は取得できません。 ・遅刻3回で1回の欠席になります。
成績評価の方法	授業に取り組む姿勢を重視し、定期試験、小テスト、課題、授業中の発表などから、総合的に判断して評価します。
教科書／テキスト	塚野壽一 他著、『Exploring World Heritage on DVD ― DVD でめぐる世界遺産 ―』成美堂、¥2,300、ISBN978-4-7919-3118-7
参考書	適宜、授業で紹介します。

履修コード	261601・261711
科目名	英語ⅡD
担当者名	手島 敬子 <small>てじま けいこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅡBに引き続き「読解力の向上」を目標に、語彙、文法に対する理解に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を効率よく、かつ正確に読み取る練習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～第14回：CASE1からCASE10の中から5～6ケースを取り上げて進める予定。第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：CASE11からCASE20の中から5～6ケースを取り上げて進める予定。 第30回：後期末試験
準備学習	予習を前提に授業を進めていきます。受講者は、教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
履修上の留意点	前期・後期末試験の受験と授業の2/3以上の出席が評価の必要条件となります。
成績評価の方法	前期・後期末試験(70%～80%)、課題、出席状況、授業への参加度に基づき総合的に行います。
教科書／テキスト	Richard Powell『法社会の落とし穴』 マクミランランゲージハウス ¥1800 ISBN:9784895852357

履修コード	261701
科目名	英語ⅡD
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>

講義の到達目標(ねらい) 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。

習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール 4月 ガイダンス
4月中旬～7月 Text Unit1～Unit4 の学習
7月後半 前期授業内テスト
9～11月 Text Unit5～Unit8の学習
12月 後期授業内テスト

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。

授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書／テキスト The Third Man (朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15335-3
参 考 書 授業内で紹介の予定。

外国語

履修コード	261801
科目名	英語ⅡD
担当者名	田中 靖子 <small>たなか やすこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 本授業では世界史に残る名演説の英文を講読しながら、語彙力、文法力、背景知識の習得をめざしていくことをねらいとします。

講義の内容／
授業スケジュール 前期 (1～14) リンカーン、マザー・テレサ、キング牧師のスピーチとその時代背景を学ぶ。読解力を向上させるために、文法事項や英語の構造を確実に理解する。(15)総括

後期 (1～14) ケネディの就任演説、ヘレン ケラー、アウンサン スーチのスピーチとその時代背景を学ぶ。(15)総括

履修上の留意点 本授業は事前の予習を前提に進めていくので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は、前期、後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書／テキスト 『心に残る言葉 (Words to Remember)』 桐原書店 580円

履修コード	262301
科目名	英語ⅢA
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) IA、IIA からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一歩進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についてのリスニングの訓練も行う。

履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。

教科書／テキスト 1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』(南雲堂) ¥1,600

2. 同上:『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262801
科目名	英語Ⅲ A
担当者名	岡本 誠

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

Ⅱ A を基礎として、時事・社会科学系の教材を用いて、高度な英語運用能力を身につける。経営学部の学生諸君を念頭に経済・経営関連の話題を基本的には読み、また聴く。取り上げる教材はアメリカのVOAという放送に求める。4月なら4月、5月なら5月、そのときそのときのリアルタイムのトピックスを追求していくので、このシラバス入力の時時点でどんなものを読んだり、聴いたりするかは明記できないわけだが、過去の事例が参考になると思われるので、紹介しておく。あくまで例えばこんな話題、ということである。

- ・ Making Sense of a Weak Dollar
- ・ Why Oil Continues Its Climb
- ・ Helping Subprime Borrowers: Too Little? Too Much?
- ・ Petroleum: A Short History of Black Gold
- ・ World Bank Finds China's Economy 40% Smaller Than Thought
- ・ Quick Action Sought on Plan to Rescue Banks From Bad Debts
- ・ The Credit Crisis Spreads to Banks Around the World
- ・ Similarities, but Also Big Differences, Between Today's Crisis and 1930s
- ・ Stock Market: The Business of Investing

準備学習

おそらく、講義開始後も「ドル安の行方」であるとか、「その後の世界の景気動向」あるいは「環境問題と企業経営」といったトピックスを扱うことになると思われる。

履修上の留意点

教材は事前に渡すので、予習しておくこと。また、自分で同じサイトにアクセスし、自分なりにさらに学習を幅広くすることが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

指名されたら発表すること。こちらは予習してあるものとして進めていく。ご存知のように、欠席は授業日数の三分之一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取って教場に入る。ケータイはオフ。辞書を持参すること。前・後期の試験の結果、指名されたときの発表状況、欠席・遅刻状況等を総合的に評価する。「講義の内容」でも記したように、特定の教科書を使用するわけではない。教材は担当者から渡す。

履修コード	266201・266501
科目名	ドイツ語Ⅰ A
担当者名	松岡 晋

講義の到達目標(ねらい)

初等ドイツ語の文法を文字の説明から行います。それによってドイツ語の文章の組み立て方を学び、一年後には平易なドイツ語の文章なら独和辞書を用いて内容を理解できる程度になることを、共通の目標といたします。この授業では、ドイツ語の文章を組み立てる際の最小単位として「不定詞」(= 動詞の原形)、「不定詞句」(= 不定詞の発展した形)という概念をまず徹底して説明し、それに慣れ親しんでいただきます。これがクリアできれば前途洋々です! あとは定動詞(= 動詞の変化形)と名詞の格変化(= 「が・の・に・を」の表し方)を学べば基礎は万全ですから。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ドイツ語のアルファベットと発音の原則 [コピー配布] (2) 人称代名詞 / 動詞の現在人称変化 [1] (3~4) sein と haben の現在人称変化など (4~5) 名詞の性・数と冠詞 / 冠詞と名詞の格変化 (6) 不定冠詞類の格変化 (7~8) 動詞の現在人称変化 [2] / 命令文 (9~10) 定冠詞類の格変化 / 人称代名詞の格変化 (11~13) 前置詞 (14) 筆記試験 (15~16) 語法の助動詞 / 分離動詞 (17~18) 動詞の三基本形 / 現在完了 (19~20) 過去時制 / 従属接続詞と副文 (20~21) 受動態 (22~22) 非人称の es/ zu 不定詞 (23~24) 形容詞の格変化と比較変化 (25~26) 再帰動詞 (27~28) 関係代名詞 (29~30) 接続法

準備学習
履修上の留意点

次回学習箇所についてその都度予告しますので、教科書の当該部分に目を通しておいてください。語学の学習は継続性が重要です。従って定期的に出席することを何よりも望みます。なおこの授業は、4~7月と9月の期間は、土曜日開講のドイツ語 IB(武田利勝先生担当)と連携して行われます。

成績評価の方法

1年間に数回行う予定の記述試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。記述試験と平常点の比率は7対3と考えてください。

教科書/テキスト

新野ほか著『シュトラッセ・ノイ』、朝日出版社、¥2,600
ISBN978-4-255-25297

参 考 書

初回の授業で適切な独和辞典を紹介いたしますので、毎回それを持参してください。

履修コード	266301・266701
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	武田 利勝

講義の到達目標(ねらい)	1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。
講義の内容／授業スケジュール	(1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (21～23) 接続詞、受動文、zu不定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ
履修上の留意点	外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的な参加が望まれます。具体的には、ノートをしっかりと取る、そして考える、学んだことをすぐに実践する……これが、真剣な学びの場を楽しむために皆さんがするべきことです。
成績評価の方法	各学習事項についての小テストのスコアを平常点とし、前期・後期にそれぞれ行う期末試験のスコアと合わせて評価します。配分は、前者が4割・後者6割とします。
教科書／テキスト 参考書 その他	『ドイツ語の時間——話すための文法』(清野智昭著、朝日出版社) 独和辞典は必ず購入して下さい。初回授業時に案内します。 小テストは授業開始時に行います。遅刻者・欠席者の受験は認めません。各回の学習事項をしっかりと復習し、知識を構築・発展させて行くのが小テストの意義です。くれぐれも軽んじないように。どうしても出席できない場合は、あらかじめ届けること。

外国語

履修コード	266401
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	堀内 美江

講義の到達目標(ねらい)	音楽や哲学など、ヨーロッパの文化において重要な役割を果たしてきた一方、現代でもなお優れた環境および技術的水準を保つドイツという国を、言葉を通して体験しましょう。スタートラインは皆同じ。初めてのドイツ語を、ゆっくりと丁寧に、そして着実に学習していきます。
講義の内容／授業スケジュール	新しい言葉を学ぶということは、新しい考え方、価値観を学ぶことでもあります。ドイツ語を学習することが皆さんの視野をより広げる手助けになることでしょ。テキストに沿って授業を進めますが、各課の最初は必ず短い会話の練習を導入し、すぐに使える表現を体験していきます。以下のスケジュールは皆さんの学び具合によって多少変更することがあります。 前期 第1回：オリエンテーション 第2回：発音 第3回～第13回：教科書1課から6課まで 第14回：期末試験 第15回：解答返却・7課の学習 後期 第16回：休暇明けの復習時間 第17～第28回：教科書8回から14課まで 第29回：期末試験 第30回：解答返却・15/16課の学習
準備学習 履修上の留意点	予習よりも復習の時間が作れるとよいですね。半年もたてばその効果が実感できるでしょう。ゆっくりじっくり、皆さんのペースで授業を進めていきますから、安心して参加してください。授業中は間違っても結構。間違いながら覚えていきましょう。質問は大歓迎ですので、小さなこと、すぐに習ったことでも遠慮なく尋ねてください。ただし欠席が続くと内容についていけなくなります。とにかく顔を出すこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	テスト：出席：平常点（発表、課題等）＝4：4：2の割合で評価する予定です。 在間進『新生ドイツ語文法 V5』朝日出版社 定価2400円

履修コード	266601
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	杉本 正俊 <small>すぎもと まさとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	初めてドイツ語を学ぶ人々に、ドイツ語の根底に横たわるドイツ文法を初めから丁寧に教える。あわせて、発音、語彙など多くの側面からドイツ語への案内を行う。基礎的な知識をしっかりと身に付けてもらい、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたい。
講義の内容／授業スケジュール	所定の教科書に従って一年間授業を進める。第1～2回：アルファベットと発音。第3～14回：教科書7課まで。第15回：中間テスト。第16～30回：教科書8～15課まで。夏休み以降の適当な時期に動詞の「3基本形暗記テスト」を行う（その日については授業中に指示する）。以上を進路の目安とするが、必要に応じて既習事項の復習をする。最後に定期試験を行う。
履修上の留意点	予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題は、しっかりと行う事。授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。
成績評価の方法	きちんと授業に参加しているかどうかをととも高く評価します。中間テスト、秋に行う動詞の「3基本形暗記テスト」、年度末の定期試験も評価の基準になる。
教科書／テキスト	大谷弘道・Ursula Otani 著『新・聞かせるドイツ語』（改訂版）初級表現練習読本 三修社 ¥2600

履修コード	266901
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	志真 斗美恵 <small>しま ともみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語の初級文法を1年間でマスターし、辞書をつかってドイツ語の文章を理解できるようになることを目標とします。同時に、発音練習をくりかえし、簡単な挨拶程度の会話ができるようにします。
講義の内容／授業スケジュール	はじめてドイツ語を学ぶ方のためのクラスです。ABCの発音からはじめ接続法まで、ドイツ語の初級文法を学びます。 1回目アルファベット・発音 2回目発音の復習(挨拶) 3～14回目1～7課 15回目前期テスト 16～29回目8～14課 30回目後期テスト
準備学習	語学をマスターするには復習が大切です。かならず練習問題に自身でとりくみ、それまで学習したことを確認しておきましょう。
履修上の留意点	かならず出席して、積極的に授業に参加し、毎回の内容を自分のものにしてください。語学は積み重ねが大切です。前期・後期試験のほかに、随時小テストを行いません。
成績評価の方法	前期・後期試験と小テスト・平常点により総合的に評価します。
教科書／テキスト	1) 春日正男・松澤淳著 2) 『怖くはないぞドイツ文法』 3) 朝日出版社 4) 2400円+税 5) ISBN978-4-255-25323-7 C1084

履修コード	267101・267401
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	武田 利勝 <small>たけだ としかつ</small>

講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語 I A で学習した文法事項を、練習問題や読解を通じて応用的に実践し、理解を深めます。前期は I A と協同して文法学習を進め、後期からはグループによるドイツ語長文の読解作業にシフトしていきます。
講義の内容／授業スケジュール	前期 (1~2) オリエンテーション、発音練習 (3~4) 動詞の現在人称変化 I (5~6) 名詞の性と格変化 (7~8) さまざまな冠詞類 (9~10) 動詞の現在人称変化 II、代名詞の格変化 (11~12) 前置詞、話法の助動詞 (13~14) 分離動詞、動詞3基本形、現在完了 後期 (15) 復習テスト (16~18) 前期までの学習事項を用いた作文練習 (19~28) IA での学習事項と並行しつつ、ドイツ語長文読解
履修上の留意点	前期はほぼ毎回小テストを行います。出席はもちろん、必ず学習事項の復習を怠らないように。後期は、少人数でのグループ作業を中心に授業を進めますので、積極的な授業参加が不可欠となります。チームワーク力をみがくための、いい練習にもなるはずです。
成績評価の方法	前期各授業時の小テスト、また後期第 1 回目の中間テスト、後期期末テストの総合点での評価となります。比率はそれぞれ3分の 1 とします。小テストは授業開始時に行いますが、出席状況確認も兼ねています。くれぐれも遅刻はしないこと、また欠席の場合は予め届け出ること。
教科書／テキスト	前期に用いる教科書は、ドイツ語 I A と同じ (『シュトラッセ・ノイ』朝日出版社) です。重複購入に気をつけましょう。
参 考 書	後期はそのつどプリントを配布します。 初回授業時にご案内します。

外国語

履修コード	267201
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	南 はるつ <small>みなみ はるつ</small>

講義の到達目標(ねらい)	比較的容易な練習問題を解きながらドイツ文化に関する文章を読みます。初級文法の基礎を身につけるとともにドイツについての知識を深めることを目標にします。
講義の内容／授業スケジュール	前期：範囲：教科書 Lektion1~5 / 問題集1~6,12,14,15 第 1 回 (ガイダンス、参考書等の紹介、発音)、第 2~3 回 (人称代名詞、規則動詞の現在人称変化)、第 4~5 回 (長文読解 Lektion1~2)、第 6~7 回 (名詞の性、前置詞、定冠詞・不定冠詞)、第 8~10 回 (不規則動詞の現在人称変化)、第 11~12 回 (定冠詞類・不定冠詞類、形容詞の格変化)、第 13~14 回 (長文読解 Lektion3~5)、第 15 回 (ビデオ鑑賞) 後期：範囲：教科書 Lektion6~10 / 問題集7,9,10,11,16,17,18 第 1 回 (前期の復習)、第 2 回 (中間試験)、第 3~4 回 (形容詞の比較級)、第 5~6 回 (分離動詞・非分離動詞)、第 7~8 回 (長文読解 Lektion6~8)、第 9~10 回 (再帰動詞、接続詞、話法の助動詞)、第 11~12 回 (未来形、命令形、過去形、現在完了形)、第 13~14 回 (長文読解 Lektion9~10)、第 15 回 (試験)
履修上の留意点	ドイツ語を習得するためには休まず授業に出席し、きちんと宿題をして復習することが大切です。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書／テキスト	岩村偉史・岩村玉慶著 『異文化としてのドイツ』 白水社 2310円 ISBN:4-560-01367-5 C3084 大岩信太郎・岸佳子編著『実力アップ ドイツ語練習ノート』 同学社 1900円 ISBN:4-8102-0685-8 C1084
参 考 書	随時紹介する他、授業に必要なプリントを配布します。

履修コード	267301
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	<small>おかもと ときこ</small> 岡本 時子

講義の到達目標(ねらい)	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかも併せて考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようにします。後期は辞書を使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。
履修上の留意点	初修語学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう！
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書／テキスト 参 考 書	保阪良子著『ドイツ・サラダ』 朝日出版 必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	267501
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	<small>おかもと ときこ</small> 岡本 時子

講義の到達目標(ねらい)	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかも併せて考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようにします。後期は辞書を使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。
履修上の留意点	初修語学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう！
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書／テキスト 参 考 書	清野智明著『ドイツ語の時間』 朝日出版 必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	267601
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰

講義の到達目標(ねらい)	日本語とドイツ語との違いに視点を置き、1Aで学んだばかりの文法を利用しながらドイツ語の簡単な文章を読みます。
講義の内容／授業スケジュール	前期は毎回、動詞変化表を発音練習に使い、発音と同時に不規則動詞変化を覚えます。その後で各課に入ります。原則として一回で一課進む予定です。
履修上の留意点	ただ聞いているだけで出来るようになる外国語はありません。自分で辞書を引き、訳し、練習問題を解き、その上で分からないことを授業で質問すれば、理解できるようになります。授業の前に必ず予習しておいて下さい。予習してあれば、授業の進度は決して速くありません。
成績評価の方法	小テスト、七月と一月の試験の成績(7割)、出席回数(3割)、で評価します。なお授業中、質問に答え、率先して練習問題に解答すれば成績評価に加算します。
教科書／テキスト	竹中、土井著『開け、ごまー初級ドイツ語13課』 郁文堂 2730円

履修コード	267801
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義の到達目標(ねらい)	教科書の各課の冒頭にあるドイツ語の文章の理解を通して、ドイツ語の文章構造、発音に慣れ親しんでもらうことをこの講義の目標とします。重要な箇所では説明と例文提示のためのコピーを配布いたします。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2)文字と発音の原則 (3～4)第1課「人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)」(5～6)第2課「名詞の性と冠詞」(7～9)第3課「動詞の現在人称変化(2)、命令法、分離動詞」(10～11)第4課「前置詞、人称代名詞の3格と4格」(12～14)第5課「定冠詞類・不定冠詞類・形容詞」(15～16)第6課「語法の助動詞、形容詞の比較変化」(17～19)第7課「未来時制、複文、zu不定詞」(20～22)第8課「動詞の三基本形、過去時制、現在完了」(23～25)第9課「受動態、再帰動詞」(26～27)第10課「関係代名詞」(28～29)第11課「接続法」(30)まとめ
準備学習	教科書の各課の最初にあるドイツ語の文章に、あらかじめ目を通し、疑問点を把握しておいてください。
履修上の留意点	語学の授業は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
成績評価の方法	一年間に数度行う記述試験と小テストに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を加味して成績評価します。記述試験と平常点の割合は7対3とを考えてください。
教科書/テキスト	橋本政義ほか著『フィール・シュパース! Ver. 3』、郁文堂、¥2,400 ISBN978-4-261-01235-4
参考書	初回の授業で独和辞典を数種類、紹介いたします。

外国語

履修コード	268101・268311
科目名	ドイツ語 II A
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義の到達目標(ねらい)	一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、適宜、文法の説明・復習も行います。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。
講義の内容／授業スケジュール	(1)第1課 Rätsel: Was ist das?/Grüß Gott! (2)第2課 Europa ist ein Kontinent./Das Planetarium. (3～4)第3課 EU/Im Restaurant (5～6)第4課 “Du” oder “Sie”?/Ich möchte auch nach Liechtenstein fahren. (7)文法の復習: 分離動詞・zu不定詞・命令文 (8～9)第5課 Einige Tips./Karl holt mich mit dem Auto ab. (10)文法の復習: 動詞の三基本形・過去時制 (12～13)第6課 Das Alphabet./Es war einmal... (14)文法の復習: 完了時制 (15～16)第7課 Europas Grenzen./Ich habe heute noch nicht gefrühstückt. (17)文法の説明: 形容詞について (18～19)第8課 “Je mehr, desto besser” oder “Je weniger, desto lieber”? (20)文法の復習: 再帰動詞・非人称の es (21)第9課 Im Café (22)文法の説明: 関係代名詞 (23～24)第10課 Multikulturelle Gesellschaft. (25～26)第11課 Deutschsprachige Medien und Internet. (27)文法の説明: 受動態 (28)第12課 Der Klammeraffe. (29)文法の説明: 接続法 (30)第13課 Japan und Europa.
準備学習	各課の読章にあらかじめ目を通して、疑問点を把握しておいてください。それらを授業中に質問していただければ、回答いたします。
履修上の留意点	定期的な出席と課題の忠実な実行が望まれます。なお授業に際しては、つねに独和辞典を携帯してください。
成績評価の方法	一年間に数度行う筆記試験に、平常点(出席の度合い、授業中の課題の実行の具合など)を加味して成績評価いたします。筆記試験と平常点の割合は7対3とを考えてください。
教科書/テキスト	諏訪功ほか著『文法読本 --- ヨーロッパとは何か 新訂版』、郁文堂、¥2,000 ISBN 4-261-01189-1
参考書	特になし。

履修コード	268111
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	山崎 雄介

講義の到達目標(ねらい)

一年次に学習した文法事項や表現などの知識を総動員して、ドイツ語の文章を読む練習をする。まず前半の春学期では、比較的平易な文体で書かれた50～100単語程度の文章を初見で読むが、その際、はじめの10～20分で受講者各自が黙読、続く10～20分で5人程度のグループ作業により読み合わせや意見交換、残りの時間で訳案の発表や教員による解説等、といった授業進行を予定している。取り扱うテーマは学生の興味・関心や理解度に応じて多岐にわたるものとなろう。そして後半の秋学期の早い段階から文章の分量や難易度を若干アップさせる予定であるが、その場合、文章は授業の都度配布されるのではなく予め配布されたものを予習したうえで授業に臨んでいただくこととなろう。

講義の内容/
授業スケジュール

春学期

初回：「オリエンテーション」 顔合わせ、グループ分け、力試しなど。

第2回：「ドイツ語読み方入門」 辞書の引き方など。

第3回：「ドイツ語文章読み方入門」 文と文とのつながり、語順など。

第4回～第8回：「ドイツ語読み方ウォーミングアップ」読むという作業の勘どころなど。

第9回以降：「ドイツ語読み方実践」 平易な文章を読むことに慣れる練習。

第15回：「春学期末試験」 なお、この日に夏休みの課題を配布する。

秋学期

第16回：「発表会」 夏休みの課題をもとに発表・議論

第17回：「再ウォーミングアップ」 夏休みのプランクを取り戻す。

第18回～第20回：「ドイツ語読み方実践」春学期同様、平易な文章を読むことに慣れる練習。

第21回～第25回：「ドイツ語読み方レベルアップ」 若干レベルアップ（語彙、文法、分量など）した内容を扱い、基礎力の確認をする。第6回以降は教材を予め配布され、多少の予習が求められる。

第26回以降：「ドイツ語読み方さらにレベルアップ」 さらにレベルアップした内容を扱い、応用力を試す。予習は必須となる。

第30回：「秋学期末試験」

履修上の留意点

成績評価に関わってくることであるから、とにかくなるべく多く出席することが求められる。そのうえ、単に出席するだけでなく積極的に授業に参加する姿勢が重要である。秋学期の途中からは多少の予習も必要となってくる。なお、授業時には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

授業の性格上、単純に学期末試験での点数をもって成績評価をすることはできず、どれだけ積極的に参加したかが成績評価の際に問われることとなる。当然のことながら出席率も成績評価の参考となろう。よって、成績評価の際の比率を次のように定める：

定期試験 6割、平常点 4割。

※平常点とは、参加態度や予習の有無や出席率などの総合点である。

教科書/テキスト

授業で教材として用いる文章はその都度教員が配布することになるので、特定の教科書の購入は不要。なお、教員推奨の文法書に関しては次項「参考書」を参照されたい。詳しいことは第1回の授業で話すので、慌てて購入する必要はない。

参 考 書

中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧：「必携ドイツ文法総まとめ」白水社2003年 1680円。

難解だと思われがちなドイツ語の文法がわかりやすく解説されている。例文も理解の助けとなろう。巻末の索引にも気配りが感じられる。

浜崎長寿・野入逸彦・板山真由美：「インデックス式ドイツ文法表」白水社2005年 1680円。

アドレス帳のようにインデックスがあり、短時間で文法事項を確認するのに最適。非常にコンパクトなので持ち歩きにも適している。

清野智昭：「中級ドイツ語のしくみ」白水社2008年 2940円。

単なる文法解説や表の羅列ではなく、むしろドイツ語の文法の裏に潜む「心」に言及しており、読み物としての性格が強い。それゆえ、より多角的かつ立体的にドイツ語を深めることを志す学生に勧めたい。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	野島 利彰

講義の到達目標(ねらい)

ドイツ語の読む力を訓練します。

講義の内容/
授業スケジュール

1年次で学習した文法事項を確認しつつ、前期は簡単な読み物、後期に少しレベルアップしたものを読みます。前期の教科書が終わった段階で、次に何を読むか皆さんと相談します。

履修上の留意点

語学は予習が大切です。予習をして分からないことを授業で解決し、もし解決できなければ質問する、といった積み重ねが必要です。必ず予習をして授業に出て下さい。

成績評価の方法

七月と一月の試験の成績（7割）、出席回数（3割）、で評価します。なお率先して訳読をすれば成績評価に加算します。

教科書/テキスト

本橋、ヴント著『グリム童話で学ぶドイツ語』 郁文堂 2100円

履修コード	268401
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	<small>いづか きみむね</small> 飯塚 公夫

講義の到達目標(ねらい) 一年の文法事項がおよそのみこめていることを前提にして、その応用となる文章を読んで理解できること。その際「読み」と「理解」の間の重要事項として、「考える」ことが出来るようになること。

講義の内容／授業スケジュール 教科書を1章から順番にできるところまでやっていきます。手順は次の通りです。①文章を読む②文法説明(ただし退屈と思うので長々とした説明はしません。各人の理解がまちまちなので、わからなかった人は個別に質問してください。またときどき質問はないかと聞くので、そのときにご確認ください。)③読解(あらかじめ当てずにその都度読んで訳してもらいます)④練習問題(テキストの内容についての質問と文法問題)。

履修上の留意点 辞書を毎回持ってくる(完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい)。辞書を引く気のない人は出ないでください。ところで、教科書は「ドイツ語圏音楽都市めぐり」ですが、担当者は音楽については門外漢を自認していますので、この点での興味は満たしてあげられません。ただ、これからドイツ音楽を知りたい人の欲求は満たしてあげられませんが、逆にすでにドイツ音楽にある程度詳しい人でドイツ語も知っておきたい人には興味を持てる授業になるかもしれません。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験及び平常点(=発表点)。
教科書／テキスト Kirsten Weisswenger/山路朝彦・著「ドイツ語圏音楽都市めぐり」(朝日出版社)2200円。
その他 近年「わからないからつまらない」という人が多いですが、その逆「わかるからおもしろい」では、別に勉強する必要はありませんね。「わかるからおもしろくなる」ためには「わからないけどやってやる」の段階がなければ意味がないでしょう。外国語は「わからない」のが当たり前です。とにかく机に座り、声を出して読み、辞書を引いて勉強することです。

外国語

履修コード	268501
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	<small>やぶした こういち</small> 薮下 統一

講義の到達目標(ねらい) 中級ドイツ語を辞書を引きながら訳す。

講義の内容／授業スケジュール 毎週学生さんに当てて読んで訳してもらいます。毎日が試験をしているようです。前期20ページ、後期20ページを目安として読んでいきます。(毎回1.5ページずつこなしていく)

準備学習 家で必ず辞書を引いてきてください。そうしないとお客さんになってしまいます。

履修上の留意点 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。1回2ページぐらいのつもりでいてください。

成績評価の方法 前・後期各1回40点満点の試験を実施。残りの20点は平常点とします。平常点とは幾つ講義中に読んで訳せたかです。

教科書／テキスト 藤戸編：カフカ小品集：同学社：0412x、1200円。

履修コード	268511
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	<small>もり こうせい</small> 森 公成

講義の到達目標(ねらい) 初級から中級にかけての講読中心の授業ですが、まずは初学者用の文法読本を用いてドイツ語の基礎をしっかりと復習し、それから、まとまった文を読む予定です。

講義の内容／授業スケジュール 前期で(遅くとも10月までには)以下のテキストを終わらせ、その後、プリント(こちらで用意します)によって授業を進めます。

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書／テキスト 小塩節著『ドイツ こころの旅』(朝日出版社)2,200円

履修コード	268701
科目名	ドイツ語ⅡD
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一

講義の到達目標(ねらい) 1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらにワンランク上の、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつづじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。これくらいのテキストは自分でドシドシ訳していけるようにしたい。

講義の内容／授業スケジュール 9課に分かれています。各課に3講時を当てて読む訳をつける、逆に担当者から質問する、と講義を進めて行きます。ドイツにいるような気分になってくる内容です。

準備学習 予習が絶対に欠かせません。ドシドシ当てます。3分の2以上出席すること。

履修上の留意点 聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが積極的に取り組む授業にしたいと思っています。かならず予習をしたうえで、辞書を持って授業に臨んでください。

成績評価の方法 前期後期に50点満点の試験を実施する。その点数によく学んだか、サボったか、が表れます。

教科書／テキスト 須澤 (他)：体験するドイツ語：郁文堂：2600円＋税：ISBN-261-01207-3 c 1084

履修コード	268801
科目名	ドイツ語ⅢA
担当者名	のじま としあき 野島 利彰

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語の力を総合的に訓練します。

講義の内容／授業スケジュール 聴く、音読する、訳す、を基本に授業を進めます。

履修上の留意点 教科書に添付されているCDを何度も聞いてください。

成績評価の方法 七月と一月の試験の合計点(5割)、出席回数(3割)、予習の程度(2割)で成績を評価します。

教科書／テキスト 佐藤、ピナウ、中村著『新ドイツに行ってみませんか』 郁文堂 2625円

履修コード	269101
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	さとう くみこ 佐藤 久美子

講義の到達目標(ねらい) フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：導入；第2～5回：発音の基礎、名詞と動詞の現在形；第6～10回：形容詞、否定形；第11～15回：疑問文、指示・所有形容詞；第16～20回：部分冠詞、過去形1、数字；第21～25回：さまざまな代名詞、代名動詞；第21～25回：非人称動詞、命令形、過去形2；第25～30回：未来形、特殊な代名詞、受動態

準備学習 単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておいてもらいたい。

履修上の留意点 出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。

成績評価の方法 授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書／テキスト 佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』改訂版(白水社) ISBN978-4-560-06097-1 C3885 2,300円＋税

参考書 仏和辞典(初回の授業で紹介)を授業時に必ず持参すること。

その他 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	269201
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	あづま たつのすけ 東 辰之介

講義の到達目標(ねらい) フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(15) 文法の基礎(主語人称代名詞／動詞の直説法現在／形容詞の性・数／名詞／冠詞など) (16)～(29) 文法の発展(疑問代名詞／補語人称代名詞／比較／動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

準備学習 授業時に説明します。

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

教科書／テキスト 太田浩一他著『新装版 フランス語文法の<基礎>』(駿河台出版社)2,500円+税 ISBN978-4-411-00765-0

参考書 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	269301・269601
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	とおやま ひろお 遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩と発音の基礎を学ぶこと。

講義の内容／授業スケジュール (1～7) 授業方針の説明、音の単位の紹介、発音基礎、名詞、冠詞、規則動詞と最基本不規則動詞の現在形、否定・疑問表現；(8～15) 形容詞の使い方、規則動詞・不規則動詞の現在形、命令形、所有形容詞；(16～24) 形容詞・副詞の比較級・最上級、動詞の過去形、関係代名詞、疑問形容詞、動詞の目的語の代名詞；(25～30) 受動態、動詞の未来形、動詞の過去形のつづき、中性代名詞、現在分詞。//はじめに詳しい説明をし、後で練習問題をやります。プリントによる補足もあります。

準備学習 宿題をやってくること。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験(40点+20点+40点)をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。

教科書／テキスト 斉藤昌三、『新版・フランセ』、白水社、1750円+税、ISBN978-4-560-06052-0 C3085

その他 最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	269401
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	おぐろ まさあみ 小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：アルファベ・挨拶・自己紹介／動詞の活用／疑問文／名詞の性・数／形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：比較級・最上級／動詞の活用／命令法／複合過去／直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介します)。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト 伊勢晃、谷口千賀子著『ヴワラ!』早美出版社、2100円+税 ISBN 978-4-86042-047-5

参考書 適宜紹介。

履修コード	269501
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	佐藤 久美子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。
第1回：導入；第2～5回：発音の基礎、名詞と動詞の現在形、形容詞；第6～10回：否定文、疑問文、所有・疑問・指示形容詞；第11～15回：近接未来・過去、疑問代名詞；第16～20回：目的語人称代名詞、命令法；第21～25回：関係代名詞、代名動詞；第21～25回：非人称動詞、中性代名詞；第25～30回：様々な過去形、未来形、受動態

準備学習
履修上の留意点

単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておいてもらいたい。
出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。

成績評価の方法

授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書/テキスト

添田里子・後藤美和子著『プティ・フランセ』（早美出版社）
ISBN978-4-86042-050-5 C3085 2,300円+税

参考書
その他

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。
教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	269901
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	伊藤 なお

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。
1)～3)受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～15)文法の基礎(名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 16)～29)文法の発展(比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 30)復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)

履修上の留意点

※毎回、発音練習・聴き取り練習問題・文法練習問題に取り組みます。
授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

伊勢 晃他著『ヴワラ!』（早美出版社）2100円+税

履修コード	270101・270501
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	桑田 禮彰

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

フランス語初級。総合基礎クラス。文法・発音・講読・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。
まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

(1)受講上の諸注意/ alphabet (2)～(4)発音の基本 (5)～(15)文法の基礎(名詞の性・数/不定冠詞・定冠詞/形容詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在など) (16)～(29)文法の発展(部分冠詞/縮約/目的語人称代名詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)
*毎回、発音練習・練習問題を行ないます。

成績評価の方法

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト
参考書

小笠原洋子著『ピエールとユゴー』（白水社）本体2,500円+税 ISBN978-4-560-06100-8
そのつど授業で指示します。

履修コード	270201・270601
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	とおやま ひろむ 遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	文法の初歩を重ねて学び、それを応用して簡単なスケッチを読み取り、発音すること。 (1～7) 授業方針の説明、音の単位の紹介、発音の基礎。名前・国籍・職業・年齢・家族・好きな物・持ち物をいう。友達についていう。(8～15) 尋ねる。近い過去・未来をいう。時間・天候をいう。数量を表す。紹介する。(16～24) 一日を語る。頼む・命令する。未来のことを語る。過去のことを語るⅠ。(25～30) 過去のことを語るⅡ。人やものについて語る。比較する。受身の形を使う。//はじめに詳しい説明をします。その後、練習問題や本文に各自取り組みます。宿題をやってくること。
準備学習 履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。
成績評価の方法 教科書/テキスト	3回の筆記試験(40点+20点+40点)をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。 藤田裕二他、『新・東京一ぱり、初飛行』、駿河台出版社、2,200円+税、ISBN978-4-411-01110-7 C1085
その他	最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	270301
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	でぐち まさとし 出口 雅敏

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、フランス語の基礎を総合的に学習してゆきます。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習します。フランス語の音やフランス文化に親しみながら、入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意/Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎(名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/疑問文・否定文/形容詞/冠詞の縮約/疑問詞/中性代名詞/動詞の現在時制/非人称構文など) (16)～(29) 文法の発展(補語人称代名詞/代名動詞/命令文/比較文/関係代名詞/受動態/動詞の過去・未来時制/条件法・接続法など) (30) 復習と今後のフランス語学習への橋渡し
準備学習	「宿題」をきちんとやってくることはもちろんですが、毎回、予定されている各課の項目にも目を通し、不明な単語については辞書を引き調べて授業に出席することで、より効果的な学習となります。
履修上の留意点	毎回、「小テスト」を行います。「辞書」は必ず持参してください。ただし、電子辞書やポケット版辞書は不可とするので注意すること。
成績評価の方法 教科書/テキスト	前期・後期の期末試験と平常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。 藤田裕二ほか著『新・東京一ぱり、初飛行』2009年刊(駿河台出版社)2,310円(税込み) ISBN978-4-411-01110-7 C1085
参考書	授業中に指示します。
その他	出席を重視します。

履修コード	270401
科目名	フランス語 I B
担当者名	<small>でぐち さとし</small> 出口 雅敏

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、フランス語の基礎を総合的に学習してゆきます。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習します。フランス語の音やフランス文化に親しみながら、入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (主語人称代名詞／名詞の性・数／冠詞／冠詞の縮約／疑問文・否定文／命令文／形容詞／疑問詞／動詞の現在時制／非人称構文など) (16)～(29) 文法の発展 (補語人称代名詞／代名動詞／中性代名詞／比較文／動詞の過去・未来時制／条件法・接続法／関係代名詞・強調構文など) (30) 復習と今後のフランス語学習への橋渡し
準備学習	「宿題」をきちんとやってくることはもちろんですが、毎回、予定されている各課の項目にも目を通し、不明な単語については辞書を引き調べて授業に出席することで、より効果的な学習となります。
履修上の留意点	毎回、「小テスト」を行います。「辞書」は必ず持参してください。ただし、電子辞書やポケット版辞書は不可とするので注意すること。
成績評価の方法	前期・後期の期末試験と平常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。
教科書／テキスト	小笠原洋子著『ピエールとユゴー』2010年刊 (白水社) 2,500円＋税 ISBN978-4-560-06100-8 C3885
参考書その他	授業中に指示します。 出席を重視します。

履修コード	270901
科目名	フランス語 I B
担当者名	<small>あづま たつゆき</small> 東 辰之介

講義の到達目標(ねらい)	フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 基本的表現 (挨拶／自己紹介／持っているものを言う／好きなものを言う／頼む、など) (16)～(29) 発展的表現 (過去のことを語る／未来のことを語る、など) (30) 復習と今後のフランス語学習について
準備学習	授業時に説明します。
履修上の留意点	授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。
教科書／テキスト	藤田裕二他著『新・東京ーパリ、初飛行』(駿河台出版社) 2,200円＋税 ISBN978-4-411-01110-7
参考書	仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	271201
科目名	フランス語 II A
担当者名	<small>あづま たつゆき</small> 東 辰之介

講義の到達目標(ねらい)	長文読解 (主に名画の鑑賞文) と対話文の書き取りを通じて、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／発音の復習 (2)～(15) 初級文法の復習と、初級レベルの長文読解 (アングル、ルノワール、セザンヌ等の絵画について) (16)～(30) 文法未習事項の学習と、中級レベルの長文読解 (ゴッホ、モネ、マネ等の絵画について)
準備学習	授業時に説明します。
履修上の留意点	授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。
教科書／テキスト	中山眞彦著『オルセー美術館にて』(朝日出版社) 2,500円＋税 ISBN4-255-35128-7

履修コード	271211
科目名	フランス語ⅡA
担当者名	はまざき せつ夫 浜崎 設夫

講義の到達目標(ねらい) 1年の文法を基礎から復習しながら、基本的なコミュニケーションの仕方を身につけると共に、1年ではほとんど勉強していない接続法も十分に学習して、微妙な感情表現もできるようになってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール (1～5) 1年次の復習、(6～15) 復習から発展へ(動詞の直説法の過去形、未来形、受動態等)、(16～24) 発展学習(動詞の条件法、接続法、現在分詞等)。新しい項目に入るたびにまず文法の説明をするので、その後教室や自宅で各自取り組んでもらいます。(25～30) 教科書を終了し、プリントで応用読解を行います。

準備学習 新しい文法項目に入るたびに、1年生のときに使用した教科書とノートを前もって見ておく必要があります。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。文法の説明は授業の始めにすることが多いので、遅刻しないこと。ノートを用意し、課題はノートにやってくる。読みの練習では大きな声を出すこと。

成績評価の方法 前期末と後期末の2回の筆記試験を基本に、出席状況、課題、授業態度などを勘案し、総合的に評価します。

教科書/テキスト オ・パ・カマラッド! --- 足並みそろえてフランス語! ---
藤本武司、藤田義孝他著 駿河台出版社
ISBN978-4-411-00822-0 C1085 定価2625円

外国語

履修コード	271301
科目名	フランス語ⅡA
担当者名	おぐろ まさふみ 小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい) 初級から中級への橋渡しのクラスです。文章読解を中心としながら、すでに学習した文法事項を復習し、文法の基礎固めと運用能力の向上を目指します。フランスの風土・文化についての意識を高める契機としてください。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 中級への橋渡し [導入編]：初級文法の復習および応用 (16)～(29) 中級への橋渡し [実践編]：未習文法事項の学習と実習 (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書/テキスト 野村二郎『フランス 言葉と文化の旅』第三書房 2600円+税 ISBN 978-4-8086-2067-7
参 考 書 適宜紹介。

履修コード	271401
科目名	フランス語ⅡA
担当者名	いませき あん 今関 アン

講義の到達目標(ねらい) 1年次に習得した初級文法を復習しながら、少し読み応えのある文章を読んでいく。練習問題を通じて、読む力と書く力、発音なども同時に伸ばすつもりである。

講義の内容／授業スケジュール 教科書のテーマは、フランコフォニー(フランス語圏)を扱っており、フランス語を使用する諸国についての幅広い知識も身につけていきたい。

前期：(1) ガイダンス、座席決め (2～5) 冠詞、主要動詞の活用1、世界におけるフランコフォニー、フランスの言語、ヨーロッパにおけるフランス語 (6～10) 主要動詞の活用2、北米のフランス語 (11～14) 不規則動詞、カリブ海のフランス語 (15) 前期末授業内試験

後期：(1～7) 補語人称代名詞、過去時制1、マダガスカルのフランス語、アフリカのフランス語 (8～11) 過去時制2、アジアのフランス語、太平洋のフランス語 (12～14) 未来の時制、接続法、条件法 (15) 定期試験

履修上の留意点 漫然と机に座っているだけでは出席と認めない。積極的に授業に参加する必要がある。

成績評価の方法 平常点(小テスト、訳読、練習問題)40%+定期テスト(前期30%+後期30%)

教科書/テキスト 『フランコフォニーへの旅』駿河台出版社

履修コード	271501
科目名	フランス語Ⅱ B
担当者名	^{すがや} ^{きとる} 菅谷 暁

講義の到達目標(ねらい) フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書／テキスト ボームルー著『セレクション・時事フランス語3』(朝日出版社) 1,890円

履修コード	271601
科目名	フランス語Ⅱ B
担当者名	^{はたなか} ^{ちあき} 畑中 千晶

講義の到達目標(ねらい) 繰り返し CD を聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス／詩の暗唱 (2) ～ (8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10) ～ (12) 4-1／4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17) ～ (21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23) ～ (27) 8-1～9-2 (28) 復習／発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

準備学習 課題用のプリントに取り組んでください。

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはしません。参加することに意義がある、というものです。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書／テキスト 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

参考書 西村牧夫・曾我祐典・田島宏『コレクションフランス語3 文法』1990年刊(白水社)

その他 YeStudyの当該コースに自宅学習用の課題(クラスで配布するプリントと同じもの)をアップします。欠席した場合は、この課題をダウンロードして使用してください。

履修コード	271611
科目名	フランス語Ⅱ B
担当者名	^{とみやま} ^{ひろお} 速山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 1年次の習得事項を復習しながら、さらに学習を継続し、知識を広げていくこと。実践練習により、簡単な表現力を文字と音で身につけること。(訳読の授業ではありません。)

講義の内容／授業スケジュール (1～8) 直説法現在、代名動詞、疑問詞；(9～15) 直説法複合過去、形容詞・副詞の比較級・最上級、直説法単純未来；(16～22) 直説法半過去、関係代名詞、直説法大過去、代名詞各種；(23～30) 現在分詞・ジェロンディフ、接続法、条件法、二種の話法、直説法単純過去。//はじめに文法説明をします。その後各自で取り組みます。

準備学習 宿題をやってくること。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験(40点+20点+40点)をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。

教科書／テキスト 中村敦子・加藤行男、『(改定版) クリク!クリケ!2年目のフランス語』、第三書房、2,300円+税、ISBN978-4-8086-2065-3 C1085

履修コード	271801
科目名	フランス語Ⅱ D
担当者名	<small>おおの ひでし</small> 大野 英士

講義の到達目標(ねらい)	少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、会話、文法、演習、聞き取りなど、総合的なフランス語能力を養成するクラスです。仏検4級に合格できる実力を養成することを旨とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4) 郵便・手紙 (5)～(6) ホテル (7)～(8) ヴァカンス (9)～(10) 失業問題 (11)～(12) 環境問題 (13) 中間テスト (14)～(16) 礼儀作法 (17)～(19) ジャーナリズム (20)～(21) 教育制度 (22)～(23) フランスから見た日本 (24)～(25) フランス語圏 (26)～(29) 文学・思想 (30) 総復習
履修上の留意点	語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書 そ の 他	出席点、前期末中間テスト、定期試験で総合的に評価します。 藤田裕二著『新訂版・えすかるご2』(朝日出版社) 授業開始時に教室で指示します。 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。 必ず辞書(クラウン仏和辞典、プチ・ロワイヤル仏和辞典、DICO 仏和辞典など、書籍版の辞書を推奨します)を用意し、予習段階から活用すること。

外国語

履修コード	271901
科目名	フランス語Ⅲ A
担当者名	<small>おぐろ まさみ</small> 小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい)	初級文法の基礎知識を確認しながら、平易なテキストの読解を進めてゆきます。中級への足場固めとして活用してください。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) ガイダンス：受講上の注意 (2)～(15) 初級文法の知識に基づいたテキスト読解、および中級への橋渡し (16)～(29) 中級文法の習得と実践を目的としたテキスト読解 (30) 総復習と今後の学習の展望
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介します)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書/テキスト 参 考 書	授業開始時に受講者と相談のうえ決定。 適宜紹介。

履修コード	272201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	根岸 政子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。
(前期)
第1回: ガイダンスー中国語とはどんな言葉か
第2回: 声調と単母音
第3回: 複合母音・子音
第4回: 鼻母音・発音の規則
第5回: 人称代名詞・動詞述語文
第6回: 数詞・名詞述語文・「有」と「在」
第7回: 形容詞述語文・正反疑問文
第8回: 時刻の言い方・連動文
第9回: 名前の言い方・選択疑問文
第10回: 中間試験
第11回: 年月日の言い方・数量表現・完了の「了」
第12回: 時点と時間・助動詞「会」・「一点儿」
第13回: 主述述語文・前置詞「在」「給」・助動詞「能」・動詞の重ね型
第14回: 期末試験
(後期)
第15回: 存現文・様態補語・持続の「着」
第16回: 要〜了・金銭の言い方・経験表現
第17回: 結果補語・是〜的・禁止表現
第18回: 「怎么」・単純方向補語
第19回: 方向補語・兼語文
第20回: 中間試験
第21回: 比較表現・「先〜再〜」
第22回: 「往〜」・受身表現
第23回: 「从〜」・複合方向補語
第24回: 使役表現・進行の「在」・持続表現
第25回: 「除了〜以外」・並列表現・ことわざ
第26回: 「把」構文・可能補語・二重目的語文
第27回: 近未来表現・強調構文・連用修飾
第28回: 期末試験

履修上の留意点

この中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることのできるDVDつきの教科書をつかいます。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるはずです。

成績評価の方法

土曜第2時限「中国語ⅠB(下出宣子先生)」と必ずセットで履修すること。
同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。
教室でも、家で復習するときも大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのでは遅いので、毎日こつこつ単語を覚えましょう。

教科書/テキスト

中間・期末試験の成績(70%)に、出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績は1A、1Bの担当教員がそれぞれ評価します。
楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税

履修コード	272301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	小栗山 恵

講義の到達目標(ねらい)

発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容/
授業スケジュール

内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1、2)、第一課から第八課「是」構文、助動詞(3から12)、第九課から第十八課副詞、存現文(13〜)

履修上の留意点

土曜日2時限「中国語ⅠB(徳間佳信先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法

試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。

教科書/テキスト

余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	272401
科目名	中国語ⅠA
担当者名	橋本 幸枝

講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10・11回目は第3課、第12・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は期末テスト
準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んで下さい。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。
成績評価の方法	もう一人の教師は張潤涛先生で、張先生の授業は土曜日の2限です。 わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。
教科書／テキスト	試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。 趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

外国語

履修コード	272501
科目名	中国語ⅠA
担当者名	本間 由香利

講義の到達目標(ねらい)	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容／ 授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
履修上の留意点	土曜日2限のIB(曹先生担当)と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
教科書／テキスト 参 考 書	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ』(金星堂) 2,380円+税 授業の中で紹介する。

履修コード	272601
科目名	中国語ⅠA
担当者名	岩崎 皇

講義の到達目標(ねらい)	中国語の基礎力を身につける
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストに沿って学んでいきます。火曜日3限の「中国語1A」(岩崎)と土曜日2限の「中国語1B」(布施)は連続した授業になります。1Aと1Bをあわせて、最初の6~8回は発音の説明と練習を集中的に行い、その後、1課を2~3回のペースで進んでいきます。
履修上の留意点	授業には欠席せず、教室では大きな声で積極的に練習に参加してください。 この授業は必ず、布施先生の「中国語1B」(土曜日2限)とペアで履修してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、中国語1Aと1Bをあわせて、年間4回行う試験で判断します。
教科書／テキスト	楊凱榮・張麗群「身につく中国語(改訂版)」白帝社、2,400円(税別)

履修コード	272701
科目名	中国語ⅠA
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい) 初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。

講義の内容／
授業スケジュール 第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。

準備学習 予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。

履修上の留意点 土曜日2限のI B(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。
発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。

成績評価の方法 出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税
ISBN: 978-4-255-45167-1

履修コード	272711
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞き取れないと言う弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／
授業スケジュール 内容 授業はI AとI Bで一冊の教科書をリレー式で進めていく。発音の基礎をしっかりと身につけるとともに初級文法、初級表現を学ぶ。／スケジュール 前期の最初に、ピンイン(中国式ローマ字表記)の読み方や四声を学ぶ。その後、初級文法の前半、「是」「有」「在」の文などを学習する。後期は引き続き発音練習を重視しながら、初級文法の後半、主に助動詞、介詞、補語などを学ぶ。

履修上の留意点 土曜日2時限「中国語ⅠB(小栗山恵先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスも休まずに出席すること。授業中は大きな声で発音練習をすること。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況・授業中の取り組み・提出物(3割)等により総合的に評価する。

教科書／テキスト 本間 史・孟広学『中国語ポイント55』白水社 2300円+税

履修コード	272901
科目名	中国語ⅠA
担当者名	根岸 政子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。
(前期)
第1回: ガイダンス - 中国語とはどんな言葉か
第2回: 声調と単母音
第3回: 複合母音・子音
第4回: 鼻母音・発音の規則
第5回: 人称代名詞・動詞述語文
第6回: 数詞・名詞述語文・「有」と「在」
第7回: 形容詞述語文・正反疑問文
第8回: 時刻の言い方・連動文
第9回: 名前の言い方・選択疑問文
第10回: 中間試験
第11回: 年月日の言い方・数量表現・完了の「了」
第12回: 時点と時間・助動詞「会」・「一点儿」
第13回: 主述述語文・前置詞「在」「給」・助動詞「能」・動詞の重ね型
第14回: 期末試験
(後期)
第15回: 存現文・様態補語・持続の「着」
第16回: 要～了・金銭の言い方・経験表現
第17回: 結果補語・是～的・禁止表現
第18回: 「怎么」・単純方向補語
第19回: 方向補語・兼語文
第20回: 中間試験
第21回: 比較表現・「先～再～」
第22回: 「往～」・受身表現
第23回: 「从～」・複合方向補語
第24回: 使役表現・進行の「在」・持続表現
第25回: 「除了～以外」・並列表現・ことわざ
第26回: 「把」構文・可能補語・二重目的語文
第27回: 近未来表現・強調構文・連用修飾
第28回: 期末試験

履修上の留意点

この中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進度の状況によって多少ずれることがあります。中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることのできるDVD付きの教科書をつかいます。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるはずですよ。
土曜第1時限「中国語ⅠB(下出宣子先生)」と必ずセットで履修すること。

成績評価の方法

同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。
教室でも、家で復習するときも大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのは遅いので、毎日こつこつ単語を覚えましょう。
中間・期末試験の成績(70%)に、出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績はⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。

教科書/テキスト

楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税

履修コード	273001
科目名	中国語ⅠA
担当者名	本間 由香利

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

成績評価の方法

土曜1限のIB(曹先生担当)と必ずセットで履修すること。
練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書/テキスト
参 考 書

内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ』(金星堂) 2,380円+税
授業の中で紹介する。

外国語

履修コード	273101
科目名	中国語ⅠA
担当者名	橋本 幸枝
講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第12回目は第13課、第14回目は第15課、第15回目期末テスト。
準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んでください。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。 もう一人の教師は張渭涛先生で、張先生の授業は土曜日の1限です。
成績評価の方法	わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。
教科書／テキスト	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

履修コード	273201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	小栗山 恵
講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞くとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	内容ⅠAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、ⅠBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1～2)第一課から第八課“是”構文、助動詞(3～13)、第九課から第十八課 副詞“在”、存現文(14～)
履修上の留意点	土曜日1時限「中国語ⅠB(徳間佳信先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書／テキスト	余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	273301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	佐藤 普美子
講義の到達目標(ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(ⅠA、ⅠB)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	土曜日1限のⅠB(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。 発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。
教科書／テキスト	薫燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社) 2500円+税 ISBN: 978-4-255-45167-1

履修コード	273311
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼
講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・表現において中国語がどんな言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞き取れないと言う弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	内容ⅠAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主にを行い、ⅠBではその定着のために問題演習を行う。／スケジュール 発音(1. 2)、第一課から第八課“是”構文、助動詞(3から12)、第九課から第十八課 副詞、存現文(13～)
履修上の留意点	土曜日1時限「中国語ⅠB(小栗山恵先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声で発音練習をすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	試験の成績(6割)、出席状況・授業の取り組み・提出物(4割)等により総合的に評価する。 余 慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎篇』南雲堂フェニックス 2500円+税

履修コード	274101
科目名	中国語ⅠA
担当者名	曹 泰和
講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
講義の内容／授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 (授業:1回目～14回目; 15回目:前期期末テスト。) ②文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。 (授業:16回目～29回目; 30回目:後期期末テスト。) ③半期15回、通年30回
履修上の留意点	月曜日1限のⅠB(三田村担当)と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	前期と後期の中間試験、期末試験は80%;出席、授業態度20% 内田慶市ほか『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円+税 授業開始時に説明する。

履修コード	274201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	宮本 厚子
講義の到達目標(ねらい)	中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
講義の内容／授業スケジュール	1～4回 発音 以降は、1週間に1課のペースで進める。 前期は7課まで。
履修上の留意点	月曜第1限「中国語ⅠB(陳洲拳先生)」と必ずセットで履修すること。 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前後期の中間、期末の4回のテストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。 楊凱栄・張麗郡著『身につく中国語』2400円+税(白帝社)

履修コード	274211
科目名	中国語 I A
担当者名	児島 弘一郎

講義の到達目標(ねらい)	外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行いますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。
講義の内容／授業スケジュール	開講後5月上旬までは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、テキストに沿って基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、標準的な発音を身につけることが最も重要な課題です。学習者の状況を見つつ、全8ユニットから成るテキストを、大体3～4回に1ユニットずつ進めます。
準備学習	予習の必要はありませんが、既習事項を確実に使えるようにするため、テキストの暗誦してもらいます。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を求めます。遅刻厳禁。初級は音声の習得が第一なので、恥ずかしがらずに大きな声で発音することが大事です。
成績評価の方法 教科書／テキスト その他	4分の3以上の出席を前提とし、年間8回実施する試験(8割)、暗誦(2割)によって評価します。 董燕・遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社/2500円+税) 月曜日1限のIB(児島担当)と必ずセットで履修すること。

履修コード	274301
科目名	中国語 I A
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚える。学習1年間終了時には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。(第1～7回) ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第8～14回) 第15回 試験 ③文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16～29回) 第30回 試験
履修上の留意点	出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。
教科書／テキスト 参考書 その他	内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円 978-4-7647-0659-0 授業開始時に説明する。 李雲先生(IB)と三田村(I A)のペアであることに注意すること。

履修コード	274401
科目名	中国語 I A
担当者名	岩崎 皇

講義の到達目標(ねらい)	中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容／授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。月曜日1限の「中国語1 B」と木曜日4限の「中国語1 A」は連続した授業となります。前半(20課分に相当)は2回で1課の割合で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、急引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語1 Aと1 Bそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得はできません。この授業は必ず、月曜日1限「中国語1 B」(岩崎担当)とペアで履修してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、中国語1 Aと1 Bをあわせて、年間5～6回行う試験で判断します。
教科書／テキスト その他	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社) 2,500円(本体) MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。

履修コード	274601
科目名	中国語 I B
担当者名	下出 暁子 <small>しむいで のがこ</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。

(前期)

- 第1回：ガイダンス——中国語とはどんな言葉か
- 第2回：声調と単母音
- 第3回：複合母音・子音
- 第4回：鼻母音・発音の規則
- 第5回：人称代名詞・動詞述語文
- 第6回：数詞・名詞述語文・動詞「有」と「在」
- 第7回：形容詞述語文・正反疑問文
- 第8回：時刻の言い方・連動文
- 第9回：名前の言い方・選択疑問文
- 第10回：中間試験
- 第11回：年月日の言い方・数量表現・完了の「了」
- 第12回：時点と時間・助動詞「会」・「一点儿」
- 第13回：主述述語文・前置詞「在」「給」・助動詞「能」・動詞の重ね型
- 第14回：期末試験

(後期)

- 第15回：存現文・様態補語・持続の「着」
- 第16回：「要～了」・金銭の言い方・経験表現
- 第17回：結果補語・「是～的」・禁止表現
- 第18回：「怎么」・単純方向補語
- 第19回：方向補語・兼語文
- 第20回：中間試験
- 第21回：比較表現・「先～再～」
- 第22回：前置詞「往」・受身表現
- 第23回：前置詞「从」・複合方向補語・「一点儿都～」
- 第24回：使役表現・進行の「在」・持続表現
- 第25回：「除了～以外」・並列表現・ことわざ
- 第26回：「把」構文・可能補語・二重目的語文
- 第27回：近未来表現・強調構文・連用修飾
- 第28回：期末試験

この中国語1Bと中国語1Aの授業各1回ずつ(あわせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進度の状況によって多少ずれることがあります。

中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることができるDVD付きの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるでしょう。

履修上の留意点

同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。火曜日3限のIA(根岸担当)と必ずセットで履修して下さい。

教室でも、家で復習するときも、大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのは遅いので、毎日こつこつと単語を覚えましょう。

成績評価の方法

中間・期末試験の成績(70%)に出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績は1A、1Bの担当教員がそれぞれ評価します。

教科書/テキスト

楊凱榮、張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税

履修コード	274701
科目名	中国語ⅠB
担当者名	徳間 佳信

講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	内容 IA では課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IB ではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1, 2回)、第一課から第八課“是”構文、助動詞(3から12回)、第九課から第十八課副詞、存現文(13回～)
準備学習	予習、復習を常に行うこと。
履修上の留意点	火曜日3限のIA(小栗山担当)と必ずセットで履修して下さい。休まず出席し、大きな声で発音して下さい。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等(以上3割)により総合的に評価する。
教科書／テキスト	余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	274801
科目名	中国語ⅠB
担当者名	張 渭涛

講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10・11回目は第3課、第12・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は期末テスト
準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んで下さい。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。 もう一人の教師は橋本幸枝先生で、橋本先生の授業は火曜日の3限です。
成績評価の方法	わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。
教科書／テキスト	趙秀敏・冨田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

履修コード	274901
科目名	中国語ⅠB
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
講義の内容／授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(授業:1回目～14回目; 15回目:前期期末テスト。) ②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(授業:16回目～29回目; 30回目:後期期末テスト。) ③半期15回、通年30回
履修上の留意点	火曜日3限のIA(本間担当)と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、期末試験は80%;出席、授業態度20%
教科書／テキスト	内田慶市ほか『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円+税
参考書	授業開始時に説明する。

履修コード	275001
科目名	中国語 I B
担当者名	布施 直子

講義の到達目標(ねらい) 中国語の基礎力を身につけることが目標です。

講義の内容／授業スケジュール テキストに沿って学んでいきます。火曜日3限の「中国語 I A」(岩崎)と土曜日2限の「中国語 I B」(布施)は連続した授業になります。I AとI Bをあわせて、最初の6～8回は発音の説明と練習を集中的に行い、その後、1課を2～3回のペースで進んでいきます。

履修上の留意点 授業には欠席せず、教室では大きな声で積極的に練習に参加してください。

成績評価の方法 この授業は必ず、岩崎先生の「中国語 I A」(火曜日3限)とペアで履修してください。

教科書／テキスト 4分の3以上の出席を前提とした上で、中国語 I AとI Bをあわせて、年間4回行う試験で判断します。

楊凱栄・張麗群『身につく中国語(改訂版)』白帝社、2400円(税別)

履修コード	275101
科目名	中国語 I B
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい) 初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。

準備学習 予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。

履修上の留意点 火曜日3限のI A(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。

発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。

成績評価の方法 出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税
ISBN: 978-4-255-45167-1

履修コード	275111
科目名	中国語 I B
担当者名	小栗山 恵

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・表現において、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール 授業はI AとI Bで一冊の教科書をリレー式を進めていく。発音の基礎をしっかりと身につけるとともに、初級文法・初級表現を学ぶ。／スケジュール 前期の最初に、ピンイン(中国式ローマ字表記)の読み方や四声を学ぶ。その後、初級文法の前半、「是」「有」「在」の文などを学習する。後期は引き続き発音練習を重視しながら、初級文法の後半、主に助動詞・介詞・補語などを学ぶ。

履修上の留意点 火曜日3時限「中国語 I A(秋元翼先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。

教科書／テキスト 本間 史・孟 広学『中国語ポイント55』白水社 2300円

履修コード	275301
科目名	中国語 I B
担当者名	^{しもいで} 下出 ^{のぶこ} 宣子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。
(前期)
第1回: ガイダンス——中国語とはどんな言葉か
第2回: 声調と単母音
第3回: 複合母音・子音
第4回: 鼻母音・発音の規則
第5回: 人称代名詞・動詞述語文
第6回: 数詞・名詞述語文・動詞「有」と「在」
第7回: 形容詞述語文・正反疑問文
第8回: 時刻の言い方・連動文
第9回: 名前の言い方・選択疑問文
第10回: 中間試験
第11回: 年月日の言い方・数量表現・完了の「了」
第12回: 時点と時間・助動詞「会」・「一点儿」
第13回: 主述述語文・前置詞「在」「給」・助動詞「能」・動詞の重ね型
第14課: 期末試験
(後期)
第15回: 存現文・様態補語・持続の「着」
第16回: 「要～了」・金銭の言い方・経験表現
第17回: 結果補語・「是～的」・禁止表現
第18回: 「怎么」・単純方向補語
第19回: 方向補語・兼語文
第20回: 中間試験
第21回: 比較表現・「先～再～」
第22回: 前置詞「往」・受身表現
第23回: 前置詞「从」・複合方向補語・「～一点都～」
第24回: 使役表現・進行の「在」・持続表現
第25回: 「除了～以外」・並列表現・ことわざ
第26回: 「把」構文・可能補語・二重目的語文
第27回: 近未来表現・強調構文・連用修飾
第28回: 期末試験

外国語

履修上の留意点

この中国語1Bと中国語1Aの授業各1回ずつ(あわせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進行の状況によって多少ずれることもあります。
中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることができるときのDVD付きの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるでしょう。
同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。火曜日4限のIA(根岸担当)と必ずセットで履修して下さい。

成績評価の方法

教室でも、家で復習するときも、大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのは遅いので、毎日こつこつと単語を覚えましょう。

教科書/テキスト

中間・期末試験の成績(70%)に出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績は1A、1Bの担当教員がそれぞれ評価します。
楊凱栄、張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税

履修コード	275401
科目名	中国語 I B
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(ねらい) 発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容／授業スケジュール ①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(授業：1回目～14回目；15回目：前期期末テスト)
②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(授業：16回目～29回目；30回目：後期期末テスト)
③半期15回、通年30回

履修上の留意点 火曜日4限のIA(本間担当)と必ずセットで履修すること。
出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。
授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。

成績評価の方法 前期と後期の中間試験、期末試験は80%；出席、授業態度20%
教科書／テキスト 内田慶市ほか『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円＋税
参 考 書 授業開始時に説明する。

外国語

履修コード	275501
科目名	中国語 I B
担当者名	張 渭涛

講義の到達目標(ねらい) まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。
後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第12回目は第13課、第14回目は第15課、第15回目期末テスト。

準備学習 発音を身につけるには繰り返し練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んでください。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。

履修上の留意点 二人の教師が連携して授業を進めます。
もう一人の教師は橋本幸枝先生で、橋本先生の授業は火曜日の4限です。
わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。

成績評価の方法 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。

教科書／テキスト 趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円＋税

履修コード	275601
科目名	中国語 I B
担当者名	徳間 佳信

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール 内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1～2回)第一課から第八課“是”構文、助動詞(3～12回)、第九課から第十八課 副詞“在”、存現文(13回～)

準備学習 予習、復習を常に行うこと。
履修上の留意点 火曜日4限のIA(小栗山担当)と必ずセットで履修して下さい。
休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等(以上3割)により総合的に評価する。

教科書／テキスト 余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	275701
科目名	中国語 I B
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	火曜日4限のI A(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。 発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。
教科書/テキスト	董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税 ISBN: 978-4-255-45167-1

履修コード	275711
科目名	中国語 I B
担当者名	小栗山 恵

講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1. 2)、第一課から第八課“是”構文、助動詞(3から12)、第九課から第十八課副詞、存現文(13～)
履修上の留意点	火曜日4時限「中国語I A(秋元翼先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書/テキスト	余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	276501
科目名	中国語 I B
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、学習1年間終了後には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを到達目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第1回～1.4回) 第1.5回 試験 ②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第1.6回～2.9回) 第3.0回 試験
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験・期末試験は80%、授業態度と出席などの平常点を20%とし、総合評価する。
教科書/テキスト	内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円 978-4-7647-0659-0
参考書	授業開始時に説明する。
その他	必ずIA(曹 泰和)とIB(三田村 圭子)をセットで履修すること。

履修コード	276601
科目名	中国語 I B
担当者名	陳 洲拳 <small>ちん しゅうきま</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容／授業スケジュール 1～4回 発音
以降は、1週間に1課のペースで進める。
前期は7課まで。

履修上の留意点 木曜第4限「中国語 I A (宮本厚子先生)」と必ずセットで履修すること。
授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 前後期の期末テストの成績で評価する。

教科書／テキスト 楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』2400円＋税(白帝社)

履修コード	276611
科目名	中国語 I B
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容／授業スケジュール 開講後5月上旬までは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、テキストに沿って基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、標準的な発音を身につけることが最も重要な課題です。学習者の状況を見つつ、全8ユニットから成るテキストを、大体3～4回に1ユニットずつ進めます。

準備学習 予習の必要はありませんが、既習事項を確実に使えるようにするため、テキストの暗誦してもらいます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。遅刻厳禁。初級は音声の習得が第一なので、恥ずかしがらずに大きな声で発音することが大事です。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とし、年間8回実施する試験(8割)、暗誦(2割)によって評価します。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社/2500円＋税)

その他 木曜日4限のIA(児島担当)と必ずセットで履修すること。

履修コード	276701
科目名	中国語 I B
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>

講義の到達目標(ねらい) 発音(ピンイン＝中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚える。学習1年間終了時には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える(第1～7回)
②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第8～14回)
第15回 試験
③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16～29回)
第30回 試験

履修上の留意点 出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。

教科書／テキスト 内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円 978-4-7647-0659-0

参考書 授業開始時に説明する。

その他 李雲先生(IB)と三田村(I A)のペアであることに注意すること。

履修コード	276801
科目名	中国語ⅠB
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容／授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。月曜日1限の「中国語ⅠB」と木曜日4限の「中国語ⅠA」は連続した授業となります。前半(20課分に相当)は2回で1課の割合で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得はできません。この授業は必ず、木曜日4限「中国語ⅠA」(岩崎担当)とペアで履修してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、中国語ⅠAとⅠBをあわせて、年間5～6回行う試験で判断します。
教科書／テキストその他	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社) 2,500円(本体) MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。

履修コード	277201
科目名	中国語ⅡA
担当者名	上原 かおり <small>うえはら かおり</small>

講義の到達目標(ねらい)	一年次に学んだ発音と基礎文法を復習しつつ、文章読解力を養成します。
講義の内容／授業スケジュール	中国の生活に関する内容の文章が書かれた教科書を使います。全10課あり、1課を2～3回の授業で終わらせる予定です。音読練習を行い、必要な文法事項はそのつど説明します。
準備学習	自分なりに本文の読解を試みたうえで出席すると、より深く理解できるようになります。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を求めます。恥ずかしがらず、あきらめず、授業に参加してください。
成績評価の方法	授業への取り組み、前期・後期の試験、小テスト、出席状況によって総合的に評価します。
教科書／テキスト	孟広学、本間史『中国は今』(白水社) 1900円+税

履修コード	277301・353001
科目名	中国語ⅡA
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まきこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

- ・中国語の簡体字を読んで意味がわかるようになる。
- ・中国語の音を聞いて意味を理解できるようになる。
- ・ピンインをきれいに発音できるようになる。
- ・文法項目を使って、自分でオリジナルの文章を作れるようになる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 一課ごとの授業の流れ
- 1:「新出語句」小テスト(発音→簡体字と日本語の意味を書く)
 - 2:「文法のポイント」解説
 - 3:「文法のポイント」例文の意味確認と発音練習
→文法ポイントを使ったオリジナル文は宿題
 - 4:「語順の仕組み」確認
 - 4:本文確認(日本語の意味)と発音練習
 - 5:練習問題の確認と答え合わせ
 - 6:教科書を閉じて、本文の音を聞き、中国語によるQ&A

準備学習

- ★会話ドリルは省略する(テスト範囲からも除外)
- 小テストなどは事前に予告するので必ず自宅で準備してくることを。満点を狙いましょう。

履修上の留意点

- ・3/4以上の出席が必要
- ・読み間違いやすいピンインに注意!

成績評価の方法

- 子音: q, x, c
- 母音: ian (yan), si の i など
- ・前期と後期期末試験70パーセント
- ・平常点(出席、小テスト)30パーセント
- ・欠席1回ごとに-2点
- ・3回遅刻=1回欠席

教科書/テキスト

呉凌非『ジョイフル中国語』郁文堂 ISBN978-4-261-01858-5 2500円+税

★教科書の特徴

- ・各課の文法ポイントが3つだけと少ないのが特徴。無理なく中国語の文章を学ぶことができる。
- ・文法で一番大切な語順も分かりやすく解説してある。
- ・本文もはじめは短めで負担が少ない。

参考書

辞書を持ってくること。
日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
自分の持っている辞書に該当する単語が載っていない場合は、
図書館で大きめの辞書を調べることを。

その他

授業進捗等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@komazawa-u.ac.jp

履修コード	277401・277811
科目名	中国語ⅡA
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま ひろいちろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国の生活・習慣・文化などに関する簡単な文章を読解する訓練を行ないます。テキストは「会話」と「短文」から構成されていますが、特に後者は暗誦することにより、実際に使える表現を増やしていきましょう。

講義の内容／
授業スケジュール

会話・語法・短文・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・語法・構文の解説、ペアによる対話、短文の暗誦などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

準備学習

予習の必要は基本的にありませんが、既習事項を実際に使いこなせるようになるため、テキストの暗誦をしてもらいます。

履修上の留意点

4分の3以上の出席を求めます。遅刻厳禁。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とし、前期・後期の試験(8割)、暗誦(2割)によって評価します。

教科書/テキスト

内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道一浅きより深きへー』(金星堂/2300円+税)

参考書

辞書や役に立つ読み物などは教場で紹介します。

その他

教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277501
科目名	中国語ⅡA
担当者名	弘兼 加奈子

講義の到達目標(ねらい) やや長めの文章を読んでいます。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

講義の内容／授業スケジュール 全8課の内、2課ごとにテストを行います。(1課は6頁あります)
年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で2課ずつ進むことになります。教科書の学習がすべて終わった場合は、こちらでプリントを用意し、少し難しい文にチャレンジします。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書／テキスト 池上貞子 他 『中国ってこんな国!』朝日出版社 1900円 ISBN978-4-255-45154-1 C1087

履修コード	277511
科目名	中国語ⅡA
担当者名	橋本 幸枝

講義の到達目標(ねらい) あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちんと読めるようになることを目指します。その為に既習の文法を復習しながら、更に補語や複文表現を学んでいきます。また新しい単語をどんどん覚えていきます。

講義の内容／授業スケジュール 発音についても、より正確に美しく発音できるよう練習します。
前期：第1回目・第2回目は第1課、第3回目・第4回目は第2課、第5回目・第6回目は第3課、第7回目は復習、第8回目・9回目は第4課、第10回目・11回目は第5課、第12回目・13回目は第6課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。
後期：第1回目・第2回目は第7課、第3回目・第4回目は第8課、第5回目・第6回目は第9課、第7回目は復習、第8回目・9回目は第10課、第10回目・11回目は第11課、第12回目・13回目は第12課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。

準備学習 何度も復習したり、練習したりしないと身につけませんので、とにかくよく復習をするようにして下さい。

履修上の留意点 欠席しないこと。出された宿題をきちんとやってくること。

成績評価の方法 テストの成績を75%、出席状況、宿題、授業中の態度を25パーセントとし、これ等を総合して判断します。

教科書／テキスト 杉野元子・黄漢青『大学生のための現代中国12話』(白帝社) 2500円+税

履修コード	277601
科目名	中国語ⅡA
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい) Iで学んだ文法事項を復習し、確実に基礎力を定着させながら、応用レベルに進む力を養う。

講義の内容／授業スケジュール テキストは会話体と文章体の両方が載っており、会話及び講読の両面において基礎力を固めることができる。発音練習を重視しながら、課ごとの練習問題きちんとやって応用力を高めていく。前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで進む予定。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常の学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト 内田慶市・奥村佳代子他『中国語への道【準中級編】』金星堂 2300円+税

履修コード	277701
科目名	中国語ⅡA
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)

一年次の会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習をします。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況と一致しているので、ぜひ実際に中国へ行って、学習したことを使ってもらいたいと思っています。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

授業はテキストに沿って進めていきますが、テキスト全16課のうちの12課分をやる予定です。授業は音読練習を中心に、2回の授業で1つの課が終わります。

成績評価の方法

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

教科書／テキスト

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。

試験はおよそ80%が単語の書き取りです。この書き取りは原則として半分以上できなければなりません。

試験は授業時間内に前期2回、後期2回行います。試験に2回以上欠席すると評価できません。

石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2,000円+税

履修コード	277801
科目名	中国語ⅡA
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>

講義の到達目標(ねらい)

一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むこととなります。

成績評価の方法

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

教科書／テキスト

4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

履修コード	278001
科目名	中国語ⅡB
担当者名	上原 かがり <small>うえはら かがり</small>

講義の到達目標(ねらい)

一年次に学んだことを基に、簡単な内容を声や文字で表現する能力を育成します。

講義の内容／
授業スケジュール

身近な中国の話題を取り入れた会話体の教科書を使います。全12課あり、1課を平均2回の授業で終わらせる予定です。

準備学習

本文の基本会話を声に出して何度も読み、暗記すると、実際の表現力・会話力につながります。

履修上の留意点

4分の3以上の出席を求めます。恥ずかしがらず、あきらめず、授業に参加してください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書／テキスト

尹景春、竹島毅『中国語つぎへの一步』(白水社) 2200円+税

履修コード	278101
科目名	中国語ⅡB
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>

講義の到達目標(ねらい) ・文字に頼らず、ぱっと中国語が発音できるようになる (反応力)
 ・自分の力で中国語を話せるようになる (自発能力)
 ・教科書にない言い方もできるようになる (応用力)
 ・会話の最中に困ったことがあっても解決できる (問題解決能力)
 ・恥ずかしがらずに話すことができる (積極性)

講義の内容/
授業スケジュール

授業の流れ:1課を一回または二回で終わらせる。

- 1: その課の単語小テスト
- 2: ひとつこと会話 (よく使うフレーズ練習)
- 3: その課で使う単語の発音練習 (絵カード・文字カードを使って)
- 4: 文型練習 (置き換え練習)
- 5: Q & A (ペア練習またはクラス全体で行うグループ練習)
- 6: ペアごとに発表。もしくはリレー式に発表。
- 7: 教科書の練習問題

外国語

準備学習

- ・小テストは事前に予告するので、必ず自宅で準備すること。
- ・必ず復習すること

履修上の留意点

- 3/4以上の出席が必要。
- 積極的に練習する。
- 辞書 (日中・中日) 持参。
- 添付の CD を何度も聞くこと。
- 適宜単語を補充する (教科書の単語がとても少ないため)

★特に学生諸君に求めること

- 1: ぱっと中国語で言ってみる (反応力)
- 2: シャイな気持ちを乗り越える (積極性)
- 3: 会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言うまたは行動を起こす (問題解決能力の育成)
- 4: 問いかけには必ず反応する (コミュニケーションの基本です)

成績評価の方法

前期・後期試験70パーセント
 平常点 (出席・小テストなど) 30パーセント

教科書/テキスト
参 考 書

山下輝彦『你好!中国語』金星堂 2200円+税
 日中・中日辞典を持ってくこと。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

そ の 他

- なぜ中国語が話せるようにならないのでしょうか?
 - ①1課あたりの学習項目 (単語・文法) が多く、未消化のまま次の課に進んでいたから。
 - ②いつも先ず日本語で考えてから中国語に直していたから。
 - ③いつも先生 (または CD) の後について発音していたから。
 - ④いつも教科書の文字を見ながら発音していたから。
 - ⑤オリジナルの中国語を考える練習が少なかったから。
- ★この授業ではこれらの問題を克服しながら進めていきます。

履修コード	278111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 色々なシーンに役立つ中国語を身につけることを目標としていきます。

聞き取りが中心となりますが、本文も充実しています。

バランスの取れた学力向上を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書/テキスト

テキストは全15課で、本文と練習問題から構成されています。ヒアリングが中心になります。年間30回の授業では、テストを含めずに、授業2、3回で1課ずつ進むことになります。成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断します。

相原茂 他 『中国語 スピーキング倶楽部』 2300円+税 ISBN4-255-45065-X C1087

履修コード	278301
科目名	中国語ⅡB
担当者名	児島 弘一郎

講義の到達目標(ねらい) 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容／授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話練習などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

準備学習 予習は基本的に必要ありませんが、毎回の授業のはじめに、既習事項を使った簡単な質問をし、中国語で答えてもらうので、そのための復習と準備が必要です。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。遅刻厳禁。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とし、前期・後期の試験(8割)、対話練習(1割)、質問に対する応答(1割)によって評価します。

教科書／テキスト 塚本慶一監修・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語Ⅱ』(白水社/2200円+税)

参考書 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

外国語

履修コード	278401
科目名	中国語ⅡB
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい) Iで学んだ文法事項を復習し、確実に基礎力を定着させながら、応用力を養う。特に音声面での基礎力を養うことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール Iで学んだ文法事項を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒアリングと発音を繰り返し練習する。前期は1課から5課まで、後期は6課から10課まで進む予定。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常の学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト 高橋良行・村上公一・陸明『楽しい中国語コミュニケーション 改訂版』同友社、2100円+税

履修コード	278501
科目名	中国語ⅡB
担当者名	李 雲

講義の到達目標(ねらい) 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。1-7回は中国語Iで習った文型と単語の復習に重点を置く。8-14回は助動詞の使いわけ、「不」と「没有」の違いなどを練習する。15回目は試験。16-29回は「介詞」の使いわけ、受身、使役などを練習する。30回目は試験。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。4分の1以上の欠席がある場合、評価しない。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書／テキスト 坂口直樹等「ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語」朝日出版社 2300円

参考書 授業中で指示する。

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	278511
科目名	中国語Ⅱ B
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>

講義の到達目標(ねらい)

比較的簡単なテキストを用い、基本文法を系統立てて整理し、復習します。

朗読目標：発音矯正と安定の為の訓練を行い、単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。

文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

テキストには観光地の写真や、中国文化の紹介等も有るので言語以外の知識も学べます。

まずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。

必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。

授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。

『旅して学ぶ中国語』楊凱榮ほか 朝日出版社 2,500円

授業内で指示する。

履修コード	278801
科目名	中国語Ⅱ D
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

中国語の平易な文章を読んでゆく。

辞書を引けば、自分で中国語の文章を読めるよう、読むための基礎を身につける。

1課を前期は2回、後期は2～3回のペースで進めてゆく。

前期は6課まで。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

必ず予習をして、授業にのぞむこと。

本文を自分で訳し、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

前後期の中間・期末テストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。

崎原麗霞『音読したい中国語 中級』(朝日出版社) 2300円+税

中日辞典(授業の時必ず携帯すること)

履修コード	278901
科目名	中国語Ⅱ D
担当者名	天野 せつ <small>あまの せつ</small>

講義の到達目標(ねらい)

中国社会への関心に応える文章に慣れ親しみ、原文を読むための基礎作りをする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 2009年念頭の願い、“不折騰”(2～3)
- (2) “家電を農村へ”政策を巡って(4～5)
- (3) 簡体字論争とネット言語論争(6～7)
- (4) 魅惑の地麗江、風趣満載(8～9)
- (5) 明日の仕事は一体どこに(10～11)
- (6) 震災後の北川、初めての集団結婚(12～13)
- (7) “四不象”里帰りの物語(2～3)
- (8) ネットで嫁さん募集、真剣なんです！(4～5)
- (9) 漢族の民族服はいかが(6～7)
- (10) 男女の退職年齢一本化、路険し(8～9)
- (11) 中国人をファッションステージに(10～11)
- (12) 二つの故宫博物館(12～13)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。

授業内テスト+出席+課題および授業態度の総合評価

三瀧正道・陳祖蓓『2010年版時事中国語の教科書』2010年刊(朝日出版)1,900円

履修コード	279101
科目名	中国語ⅢA
担当者名	王 聡

講義の到達目標(ねらい) 中国語を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール

前期
第1回 ガイダンス・復習
第2回～第13回 話題：「あいさつの話」・「中国茶の話」・「接客の話」・「十二支の話」・「外国語学習の話」・「外来語の話」・「方言の話」
文法：「要是」・前置詞の「給」・「一～就～」・兼語文・受身文・比較文・結果補語・可能補語など。
第14回～第15回 復習と前期テスト

後期
第1回 復習・練習問題
第2回～第13回 話題：「漫画の話」・「趣味の話」・「色の話」・「お土産の話」・「天気の話」・「環境の話」・「映画の話」・「休日の話」
文法：「会」・「能」・「把」構文・動詞の重ね型・動作の進行・使役文など
第14回～第15回 復習と後期テスト

履修上の留意点 辞書を用意し、予習と復習をちゃんとすること。

成績評価の方法 前期テスト40%、後期テスト40%、平常点（出欠席状況、授業態度など）20%

教科書／テキスト 相原茂他著『ドリル式中国語テキストII—日本と中国』、くろしお出版、1,800円＋税、ISBN4-87424-098-4 C3087

参 考 書 特に指定がありません。

外国語

履修コード	279401・279801
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 佐知

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。

講義の内容／授業スケジュール (1～2) 表記法・発音・アクセント (3～8) SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法 (4～15) 一般不規則動詞の活用と用法、表現練習 (16～23) 目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法 (24～30) 線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け

履修上の留意点 授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること（初回の授業で辞書の紹介をします）。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。

成績評価の方法 期末試験と平常点（出席状況・提出物・小テスト）を総合的に判断して評価する。

教科書／テキスト 平常点（出席・課題等）30点、試験の点数70点
福嶋教隆「動く！スペイン語」（“Español Dinámico”）2008（朝日出版社）2600円

履修コード	279501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイズティノコ、C.

講義の到達目標(ねらい) この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身につけることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞、不規則動詞、現在完了、再帰動詞、点過去、線過去まで学ぶ予定である。（第1～15回）
後期は、未来形、過去未来、接続法、命令形などを学ぶ予定である（第16～30回）。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点 毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。

成績評価の方法 前期と後期の試験（70%）と授業参加の状態（30%）で評価する。

教科書／テキスト 『やさしくくわしいスペイン語の基礎』 西川喬 第三書房

履修コード	279601・280001
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	中島 聡子

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行いません。

前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 テスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト 1. 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円
2. 西和辞書(「西和中辞典」小学館、あるいは「現代スペイン語辞典 改訂版」白水社 電子辞書も可)

参 考 書 初回の授業で紹介します。

外国語

履修コード	279611
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法 年間4回のテスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円

参 考 書 初回の授業で紹介します。

履修コード	279901
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円

参 考 書

初回の授業で紹介します。

外国語

履修コード	280501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>

講義の到達目標(ねらい)

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化(現在形)、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。

準備学習

語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法

試験(前期・後期各1回の予定)80%、出席率20%。

教科書／テキスト

木村琢也『スペイン語の基礎』朝日出版社

辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280511
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語の初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけ、日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。

7月には簡単なあいさつや自己紹介、道を聞くことが、12月には簡単な雑談や自分の意見が言え、さらに西検6級の力がついているでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション (1)
- (2) ホテルに泊まる (発音、アクセント、あいさつ、ser など) (2-5)
- (3) 入学手続き (estar、名詞、冠詞・形容詞、数字など) (6-9)
- (4) 自己紹介 (規則動詞など) (10-13)
- (5) おさらい、中間試験 (14、15)

後期

- (6) 学校での会話 (不規則動詞、時刻、接続詞、前置詞) (16-19)
- (7) 友人との会話 (母音変化動詞、目的語、gustar など) (20-23)
- (8) サッカーのテレビ観戦 (所有詞、比較、最上級など) (24-27)
- (9) おさらい (28、29)
- (10) 定期試験 (30)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

YeStudyを使用しますので予習・復習に役立ててください
出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
出席 (20%) + 授業態度・積極性 (10%) + 7月中間試験 (25%) + 12月期末試験 (30%) + 小テスト (5月後半 (5%)、11月前半 (5%) + 毎回の授業の確認テスト (YeStudy上) (5%)
福嶋 (ふくしま) 『Español Dinámico 動く! スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
オフィスアワーは毎週火・木曜日12:15~13:00です。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

履修コード	280521
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	よこふじた としやす 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地 (マドリード、セビーリャ、バルセローナなど) を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／
授業スケジュール

スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。授業内容の目安は次のようになります。

前期: マドリードとセビーリャ (アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、ser と estar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など)

後期: セビーリャとバルセローナ (語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など)

履修上の留意点

授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法

試験70% (前期と後期の二回実施) 出席等30%

教科書/テキスト
参 考 書

福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円
推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	280701
科目名	スペイン語 I B
担当者名	佐藤 ^{さとう} 麻里乃 ^{まりの}

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
準備学習

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。
語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。
教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。試験(前期・後期各1回の予定) 80%、出席率20%。
木村他『コンティゴ! 1』第三書房
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280801・281101
科目名	スペイン語 I B
担当者名	米田 ^{よねだ} ひろみ ^{ひろみ} 博美

講義の到達目標(ねらい)

国際経済危機という困難な状況に遭遇するなか、私たちは不透明な時代を生きています。国際的にも経済、環境などの世界が直面する課題解決の点で、先進国サミットのG8から、新興諸国G20の重要性が高まっています。世界のGNPの85%、世界人口の3分の2を占めるG20の協力なくして、地球的規模での真の解決はないでしょう。中国、インドの他、ラテンアメリカではメキシコ、アルゼンチン・ブラジルなどが参加国です。不確実性の時代において確実なものを身につけることは重要であります。アメリカだけでも約4000万、スペインを初め、20ヵ国、約4億人が話すスペイン語圏諸国の文化、芸術、自然遺産は世界遺産として登録され、多様で魅力に溢れています。経済的には、天然資源、食糧資源の重要な供給源として、又、自動車、電子・機械製品の生産拠点として大きな役割を果たし日本との関係も拡大しています。明るく楽しいラテン気質も学び、大いにスペイン語圏諸国の魅力に触れ、スペイン語の学習によりその窓を開けてください。

講義の内容/
授業スケジュール
準備学習

スペイン語の重要性を認識し、「神が話す言葉」と言われる美しい言語の発音、文法の基礎、文章読解の方法を中心に学び、スペイン語圏世界の文化の多様性をDVD(世界遺産)やCD(音楽)でも鑑賞し、スペイン語への関心を高めることが目標です。
年間スケジュールとして、下記テキストの1～6課までを前期に、7～10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、先の課を説明することもあります)

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、テキストの予習やNHKの語学講座などで補完すると、より高い関心をもつことができ講義の理解が深まります。
授業の初めには前週の講義内容の復習を若干しますが、自習や復習を心がけてください。講義内容がよく理解できれば、スペイン語を学ぶ楽しさ、意欲が倍増します。語学学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。最初の数回の授業は欠席しないように。特に最も大切な基礎が理解できないと、以後の授業の理解が難しくなります。

成績評価の方法

成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、期末テストなどにより総合的に判断します。

教科書/テキスト
参 考 書

教科書:「英語からスペイン語へ」(細川幸夫他著、弘学社)
辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)を初めとして、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)、「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。

そ の 他

文法的事項の説明は一方的なものとならないよう、インターアクティブな授業形態をとり、発音も重視します。

外国語

履修コード	280901
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい) 基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形の文法、後期は過去形(1-8回)および再帰動詞(9-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト(活用・単語・作文)を実施。

履修上の留意点 前後期各1回程度中間テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法 中間テスト20%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験80%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書／テキスト 栗林ゆき絵ほか著「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3

参 考 書 (辞書)『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1
ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円)
ISBN4-09-506131-6

履修コード	280911
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	荻野 めぐみ 恵

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎文法、初級講読、リスニングをバランスよく身につけていきます。

講義の内容／授業スケジュール

前期

- 1 文字と発音
- 2～4 主語人称代名詞・定冠詞・動詞活用
- 5～7 不定冠詞・複数形の作り方
- 8～10 目的格人称代名詞・形容詞
- 11～13 gustar 型動詞・所有詞
- 14～15 まとめと試験

後期

- 1～2 点過去形・過去を表わす副詞
- 3～4 再帰動詞・時間表現・比較表現
- 5～6 線過去形・現在完了形
- 7～8 未来形・現在分詞・天候の表現
- 9～10 命令形・感嘆文
- 11～12 命令形・知覚動詞
- 13～14 接続法現在形・過去未来形
- 15 試験

履修上の留意点 辞書については授業中に紹介します。辞書と親しみながら予復習を心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価の方法 各学期最終授業日に実施する試験(8割)と出席状況(2割)を総合して評価します。

教科書／テキスト 小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語—マドリッド編』(朝日出版社)

履修コード	281201
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	佐藤 まりの 麻里乃

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。

準備学習 語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 試験(前期・後期各1回の予定) 80%、出席率20%。

教科書／テキスト 土井他『君もやってみよう!スペイン語』朝日出版社
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	281301
科目名	スペイン語 I B
担当者名	<small>いりばやし ゆきえ</small> 栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	<p>前期60文、後期60文、年間で計120文程度の基本表現と、主要な会話表現30程度を身につける。 1年間で下記教科書の第1課～第7課および第10課を中心に学習する。余裕があれば8課9課も扱う予定。</p> <p>前期は、挨拶・数字と発音(1-2回)、現在形(3-10回)、復習(11-15回)、の予定。 後期は、目的語代名詞・好き嫌いの文(1-2回)、過去形(3-10回)、基本動詞(*)の現在形・過去形を用いた自己紹介の表現(11-12回)、復習(13-15回)の予定。</p> <p>毎回、初めに簡単な復習問題(表現集・会話練習)の単語・活用形を実施する予定。 (基本動詞=hablar, comer, vivir, conocer, ver, tener, poder, querer, ser, ir, hacer, estar, venir, gustar, salir, llamarse, levantarse, decir, leer, saber)</p>
準備学習 履修上の留意点	<p>毎回授業の最初に小テストを行う。前回の復習をしておくこと。 平常点を重視するので、積極的に参加すること。考えたうえで間違えるのは構わないが、やる気のない者は出席扱いにはしない。</p>
成績評価の方法 教科書/テキスト	<p>平常点60%、前後期の期末試験40%とする。前後期各5回以上欠席した者には単位を与えない。 栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3</p>
参考書	<p>〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1 ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6</p>

外国語

履修コード	281701
科目名	スペイン語 I B
担当者名	<small>うえの かつひろ</small> 上野 勝広

講義の到達目標(ねらい)	<p>スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。</p>
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。</p> <p>前期(1) 導入、アルファベート (2～5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6～10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11～15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など</p> <p>後期(16～20) 語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21～25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など</p>
履修上の留意点	<p>少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音 CD のスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。 また最低限の復習も欠かせません。</p>
成績評価の方法 教科書/テキスト	<p>年間4回のテストの結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。</p>
参考書	<p>上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円 初回の授業で紹介いたします。</p>

履修コード	281711・353601
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	<small>よこふじた としやす</small> 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリャ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／授業スケジュール スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。授業内容の目安は次のようになります。
前期：マドリードとセビーリャ(アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、serとestar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など)
後期：セビーリャとバルセローナ(語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など)

履修上の留意点 授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法 試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%
教科書／テキスト 福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円
参 考 書 推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	281721
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	<small>いしい のぼる</small> 石井 登

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser、estar動詞、形容詞など、(6～10)直説法現在の規則動詞、不規則動詞など、(11～15)目的語の人称代名詞、gustar動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16～20)点過去、線過去、現在分詞など、(21～25)過去分詞、再帰動詞など、(26～30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
教科書／テキスト 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社2600円 978-4-255-55023-7

履修コード	282101
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	<small>よこふじた としやす</small> 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) 1年時に学習した内容の復習と新しい文法事項(再帰動詞、点過去・線過去、現在完了、接続法現在)の習得をめざします。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリャ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／授業スケジュール 前期は1年時の文法項目の復習が中心となります。後期は新しい文法事項を中心に学習していきます。もちろん、受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては次のようになります。
前期：バルセローナとバンブローナ(不規則動詞、gustar型動詞、再帰動詞、現在完了)
後期：サン・セバスティアンとラ・コルーニャ(点過去、線過去、未来形、接続法現在)

履修上の留意点 授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法 試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%
教科書／テキスト 福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円
参 考 書 推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	282111
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	石井 登

講義の到達目標(ねらい) すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。

講義の内容／授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション、(2～5) ser, estar の用法、直説法現在の活用(6～12) gustar 動詞、再帰代名詞を伴う動詞、人称代名詞(13～15) 点過去など。
後期は(16～20) 線過去、過去分詞、現在完了、過去完了など。(21～23) 直説法未来・過去未来、(24～27) 接続法現在、命令文(28～30) 接続法過去、接続法の用法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書/テキスト 木村琢也『スペイン語の基礎』朝日出版社2100円 978-4-255-55038-1

履修コード	282121
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	大岩 功

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に付けながら、スペイン語圏の生活や文化への理解を深めることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回 1つの長文を2回～3回の授業で読み進めます。スペイン語Ⅰで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、完了時制、未来時制、などを学習します。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点-10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書/テキスト 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社
※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。

参 考 書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	282301
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	大岩 功

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回 1つの長文を2回～3回の授業で読み進めます。スペイン語Ⅰで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、完了時制、未来時制、などを学習して行きます。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書/テキスト 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参 考 書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	282401
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	山辺 弦 <small>やまべ げん</small>

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習した内容の発展を目指します。前期では新しい文法事項の習得、後期では一通り初級文法事項を終えた後、これまでの復習を兼ねスペイン語の長文を読解することを主眼に置きます。適宜プリントや補助教材を活用し、教科書の内容を補いつつ多面的な理解を目指します。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用い、既習事項の復習の後、途中の課から始めます。前期は10課から始めて15課まで、後期は16課から巻末の読み物に進みます。

前期

- (第1回) オリエンテーション
- (第2～5回) 既習事項の復習 (テキスト9課まで)
- (第6～10回) 再帰動詞、直説法現在完了・点過去の活用、感嘆文 など
- (第10～14回) 比較表現、直説法線過去・未来・過去未来の活用 など
- (第15回) 定期試験

後期

- (第16～17回) 前期学習事項の復習
- (第18～21回) 命令文、接続法現在・過去の活用 (プリント使用) など
- (第22～25回) 巻末長文読解 (7～10課分)
- (第26～29回) 巻末長文読解 (11～14課分)
- (第30回) 定期試験

準備学習 随時、練習問題やその他の課題を課します。後期は自分で辞書を引いて予習することが必要です。

履修上の留意点 各課のスキット部分や練習問題などは随時指名して音読や回答をしてもらいます。

成績評価の方法 年2回実施するテストの結果を70%、出席点および授業態度・授業参加による平常点を30%として評価します。

教科書／テキスト 青砥清一他『プラサ・マヨールⅠ ソフト版』朝日出版社、1900円

履修コード	282501
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回 1つの記事を2回～3回の授業で読み進めます。点過去・線過去の形と用法を学習することが文法を中心となります。

後期15回 記事を読み進める速度は徐々に速くなります。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。

(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。

履修上の留意点 必ず予習しておくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書／テキスト 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社

※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。

参 考 書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社 (または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	282511
科目名	スペイン語Ⅱ B
担当者名	いしひ のぼる 石井 登

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。
教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
前期は、(1)オリエンテーション、(2～5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など、(11～15)点過去、線過去など。
後期は、(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
福嶋教隆『生き活きスペイン語』朝日出版社2000円 978-4-255-55013-8

履修コード	282611
科目名	スペイン語Ⅱ B
担当者名	やまべ のぶ 山辺 敏

講義の到達目標(ねらい)

スペイン語Ⅰで学習した基礎を確認しつつ、さらなる文法の理解を深めます。前期は主に既習事項の復習に当てます。初歩的な文法知識を一通りマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な力をつけることが目標です。

講義の内容/
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は0課～10課まで、後期は11課～18課を学習します。

前期

- (第1回) オリエンテーション
- (第2～4回) 冠詞・形容詞の変化、ser, estarの用法、直説法現在の規則的活用など
- (第5～9回) 不規則動詞の活用、代名詞、gustar型動詞の用法 など
- (第10～14回) 再帰動詞、直説法点過去・線過去・現在完了の活用、無人称文など
- (第15回) 定期試験

後期

- (第16回) 前期学習事項の復習
- (第17～21回) 現在分詞、関係詞、比較級など
- (第22～26回) 直説法未来・過去完了・過去未来形の活用、感嘆文など
- (第27～29回) 接続法現在・過去形の活用、命令表現など
- (第30回) 定期試験

準備学習
履修上の留意点

随時、練習問題やその他の課題を課します。
各課のスキット部分や練習問題などは随時指名して音読や回答をしてもらいます。理解度をみながら進めるので、上記授業スケジュールには多少の変更が生じることがあります。

成績評価の方法

年2回実施するテストの結果を70%、出席点および授業態度・授業参加による平常点を30%として評価します。

教科書/テキスト

田村さと子『アニモ!』白水社、2200円

外国語

履修コード	282621
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	さいとう あけみ 齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 一年次で学習した基礎文法を復習しながら、過去形、現在完了形、再帰動詞や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材などを通して学びます。

7月にはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたり、12月には短期語学留学に無理なく参加できる力がついていることでしょう。西検5級合格(努力次第で4級)の実力がついているでしょう。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション・自己紹介(1)
- (2) 7課:過去のことを語る1 (点過去、疑問詞)(2-5)
- (3) 8課:過去のことを語る2・買い物(線過去、haber, 連結、数字)(6-9)
- (4) 9課、電子メール(現在分詞、hacer, 季節、不定語、否定語など)(10-14)
- (5) 中間試験(15)

後期

- (6) 10課 パーティー(過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞)(16-19)
- (7) 11課 ミニ観光(再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞)(20-23)
- (8) 12課 テスト(接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など)(24-27)
- (9) 一年間のまとめ(28、29)
- (10) 定期試験(30)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

YeStudyを使用しますの毎回の授業の予習・復習に役立ててください
出席三分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
出席(20%) + 授業態度・積極性(10%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(5月後半(5%)、11月前半(5%)) + 毎回の授業の確認テスト(YeStudy上)(5%)

教科書/テキスト
参考書
その他

福嶋(ふくしま)『Español Dinámico 動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

履修コード	282801
科目名	スペイン語ⅡD
担当者名	よこぶた としやす 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) 初級で学んだスペイン語の文法知識の向上を目指します。テキストはこれまで学習した文法事項の復習とともに、新しい文法事項も学べる初級~中級の講読本となっています。

これを毎回読み進めていくことにより、短いスペイン語の文章なら読むことのできる力が身につくはずです。

講義の内容/
授業スケジュール

受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては、1課をだいたい2回かけて進め、文法などの補足説明や練習問題を行う予定です。また、DVDも鑑賞する予定です。

前期:第1課から第6課(動詞の活用の確認、目的格代名詞、再帰動詞、現在完了、点過去・線過去など)

後期:第7課から第12課(関係詞、未来形、過去未来、接続法現在など)

履修上の留意点

授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%
福嶋教隆『愛でる!スペイン語』(朝日出版社)、2500円
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282811
科目名	スペイン語ⅡD
担当者名	<small>うえの かつひろ</small> 上野 勝広

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Ⅰで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容／ 授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を学習します。必要な文法事項を補充し、口頭および筆記の練習をしてゆきます。 スペイン語圏にある世界遺産を話題にした対話文を通じて、読解力だけでなく平易なスペイン語での表現力向上も図りましょう。 前期(1)オリエンテーション (2～5)直説法現在、指示詞など (6～10)点過去、比較表現など (11～15)時間・天候等の表現、数詞など 後期(16～20)関係詞、など(21～25)接続法現在、など(26～30)接続法現在完了、接続法過去完了、など
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法 教科書／テキスト	年間4回のテストの結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。 禪野美帆、他『世界遺産を訪ねて』(朝日出版社) 2,300円

外国語

履修コード	283001
科目名	スペイン語ⅢA
担当者名	<small>さいとう あけみ</small> 齋藤 明美

講義の到達目標(ねらい)	三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。文法は勿論のこと専用問題集を利用して幅広い語彙習得やヒアリング能力を高めます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)現在形の復習(1-3) (2)再帰動詞、比較、現在完了、受け身、無人称の復習(4-6)、(3)点過去の復習(7, 8) (4)線過去の復習(9, 10) (5)未来形、過去未来(11, 12) (6)命令形(13) (7)復習(14) (8)中間試験(15) (9)接続法現在①(16-18) (10)接続法現在②(19-21) (11)接続法現在③(22-24) (12)接続法過去(25・26) (13)条件文(27・28) (14)まとめ(29) (15)後期試験(30)
履修上の留意点	新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席(20%) + 授業内の発言、態度(20%) + 前期・後期試験(それぞれ25%) + 小テスト(10%) GIDE 語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円 テキストは毎回配布します
参 考 書 そ の 他	参考書 講義中に推薦する辞書から自分に合うもの活用しましょう。 オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15～13:00)です。

履修コード	283301
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	すぎやま ひでこ 杉山 秀子

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は国連の6つの公用語(英語、中国語、スペイン語、ロシア語、フランス語、アラビア語)のうちの一つで、面白い文字を持った独特な言葉です。宇宙では今秋アメリカのスペース・シャトルの引退後もロシアのソユーズが堂々40年以上の現役を続投する予定です。ソユーズで行われる宇宙飛行士の訓練用語はすべてロシア語でおこなわれますのでまさに今後も目が離せない注目度の高い言語といえます。

本講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらビデオを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

4、5、6、7月はイントネーションや発音に力点をおき、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

正しい発声のために口の周りの筋肉をゆっくり、大きく動かす運動をあらかじめしておきましょう。

成績評価の方法

正しい発声のために常日頃姿勢に気をつけ、胸を張って歩くようにしましょう。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書/テキスト
参 考 書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

『露和辞典』

履修コード	283401
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	しの あさこ 佐野 朝子

講義の到達目標(ねらい)

初めてロシア語を学ぶ学生が、平易なテキストを発音し、辞書を用いて訳せるようになることを目標とします。

講義の内容/
授業スケジュール

前期：発音と文法の基礎を学習します。

発音 —— 母音と子音(5回)

文法 —— 名詞(2回)、形容詞(3回)、動詞(3回)、格変化(1回)

後期：教科書を一課ごと辞書を用いて読んでいきます。各課に沿って更なる必要文法事項の説明を加え、読解力をつけていきます。その他に、発音・会話力・単語力をつけるためのテキストも併用します。

準備学習
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

後期からは辞書引きの予習が必要となります。また随時、短いテキストの発音テストを行います。

平常点 —— 発音テスト、訳の発表、出席状況を総合的に判断します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 定価1,890円

『露和辞典』が必要になりますが、初回に説明しますので、その後購入してください。

履修コード	283601
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義の到達目標(ねらい) ロシア語人口はまだまだ日本では少ないが、国連の6つの公用語(英語、中国語、スペイン語、フランス語、アラビア語、ロシア語)のうちのひとつである。21世紀は個性化時代。ロシア語をやって他の学生と差異化をはかろう。

講義の内容／授業スケジュール 1～5回:文字と発音、6～10回:ロシア語の簡単な文と名詞的表現、11～15回:動詞を使った文、16～20回:動詞の過去と形容詞などを使った表現、21～25回:色々な動詞表現、26～30回:数詞を使った表現など

準備学習 新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果がある方法なので、大学で学ぶためのトレーニングと考えるとよいでしょう。

履修上の留意点 初級段階では辞書が重要です。電子辞書もありますが、説明の詳しい初級用辞書から始める方が安くて効果があります。

成績評価の方法 平常点(5割)と期末試験(5割)で総合的に評価します。

教科書／テキスト 安徳二一他『21世紀のロシア語』大学書林

参考書 米重文樹編『パスポート初級ロシア語辞典』白水社

関連リンク <http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/>

外国語

履修コード	283701・283801
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	<small>ひろた ひでかず</small> 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい) ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年秋にも退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。

2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。

3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。

4) 基礎的な初等文法を学びます。

5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。

4-7月は発音、イントネーションに重点をおき、9-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書／テキスト 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書 範囲 1課から10課まで。
『露和辞典』

履修コード	284001
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(ねらい) ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、欧州地域ではもっとも話者人口の多い言語でもあります。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、コミュニケーションツールとして受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。

講義の内容／授業スケジュール 2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。
前期(4月-7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。後期(9-12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーション的な例文を用い、音声面に十分な注意を払っていくようにします。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いるようにします。

履修上の留意点 受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しんで声を出して授業に参加してください。

成績評価の方法 授業の出席と平常の受け答えを重視し、定期試験の試験結果も加味して評価します。

教科書/テキスト 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
参 考 書 『露和辞典』

外国語

履修コード	284201
科目名	ロシア語ⅡA
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(ねらい) この授業では、さまざまなトピックを取り上げた文章を講読しながら、ロシア語Ⅰで学習した文法事項を再確認し、さらに中級文法の習得へと歩を進める。たんにロシア語を日本語に置き換えていくだけでなく、国連の公用語として言わば「世界語」であるロシア語を使ってコミュニケーションできる力を身につけることにも十分留意したい。

講義の内容／授業スケジュール 教科書にそって、前期(4月-7月)は自己紹介、ユーモラスな小話、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Ⅰの初級文法を復習しながら読み進める。後期(9月-12月)はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくことにする。

履修上の留意点 毎回、受講者にはロシア語を発声してもらうので、積極的な参加を望む。

成績評価の方法 出席と平常点を重視する。

教科書/テキスト 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
参 考 書 『露和辞典』
そ の 他 適宜プリント配布を配布する。

履修コード	284301
科目名	ロシア語ⅡA
担当者名	杉山 秀子

講義の到達目標(ねらい) 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容／授業スケジュール 4月-7月
○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。

9月-12月
○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
○中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書/テキスト 『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。
参 考 書 露和辞典
そ の 他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284401
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は日本の隣国の言葉であることに加えて、国連の公用語として国際社会で広く使われている言葉でもある。この授業では、ロシア語Ⅰで学んだ初級文法事項を再確認し、さらに語彙を増やしながら中級文法の習得を目指す。基本的に講義形式の授業であるが、実用的な例文を用いて文法の練習を行い、コミュニケーションに役立つロシア語が身につくように配慮する。
講義の内容／授業スケジュール	教科書にそって、前期(4月-7月)は自己紹介、ユーモラスな小話、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Ⅰの初級文法を復習しながら読み進める。後期(9月-12月)はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくことにする。
履修上の留意点	各受講者に毎回ロシア語を発声してもらおうが、間違いを恐れず、積極的な参加を望む。
成績評価の方法	基本的に平常点で評価する。
教科書／テキスト	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。
参 考 書	『露和辞典』
そ の 他	適宜プリントを配布する。

外国語

履修コード	284501
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	辞書を用いて、初・中級レベルのテキストを正確に読んでいく力をつけます。
講義の内容／授業スケジュール	初3回で、初級文法の基礎の総復習を行います。よって、教科書の最初のテキストは5回ほどかけてやります。その後、学年末まで辞書引きの作業を地道に続け、その間に文法の新たな説明および復習(不定人称文、-ся動詞、正書法、格変化、数量・否定・部分生格、動詞の体、無人称文、複文、運動動詞、仮定法、副・形動詞等)を徹底していきます。
準備学習	辞書引きを必ず行って下さい。
成績評価の方法	平常点——訳の発表、出席状況を総合して評価します。
教科書／テキスト	『やさしいロシア語読本：26の短いおはなし』(大学書林) 定価1751円
参 考 書	『露和辞典』

履修コード	284701
科目名	ロシア語ⅡD
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／授業スケジュール	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 4-7月 発音、イントネーション 9-12月 文法と会話に力を入れる
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書／テキスト	『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語ⅢA
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。 4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。 9-12月 応用会話を展開する。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

外国語

履修コード	347001
科目名	英語ⅠA
担当者名	^{にしだ よしかず} 西田 義和

講義の到達目標(ねらい)	講義のねらい：これまで得た知識をふまえながら、さらに多くの練習問題を行うことによってより高度な英語の表現力や理解力等を高める指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へと一段とステップアップすることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期・後期を通じて可能な限り、練習問題を多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間訳をしたりして、質問なりが必ずあると思って授業に参加してください。年間の授業スケジュールを以下に示したい。(もちろんこのことは諸君の予習の程度や、その他やむを得ない事情で示したように進まないこともありえることは了承してもらいたいとおもっている。その他時間ありましたら、テープを聞いたりして listening 力を身につけるようにしたい。 第1回と2回は文の構造について、 第3回と4回は進行形の構造について 第5回と6回は完了形の構造について 第7回と8回は態の構造について 第9回と10回は仮定法の構造について 第11回と12回は不定詞の構造について 第13回と14回は動名詞の構造について 第15回は中間試験 第16回と17回は分詞の構造について 第18回と19回は分詞構文の構造について 第20回と21回は関係代名詞の構造について 第22回と23回は関係副詞の構造について 第24回と25回は冠詞の構造について 第26回と27回は比較の構造について 第28回と29回は無生物主語の構造について 第30回は期末試験
履修上の留意点	当然授業は予習や復習は必ずやってくる、授業には教科書、ノート、そして辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席状況、発表の内容、テスト等を総合して評価をする。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。
教科書／テキスト	現在ではまだ未定ですが、四月の開講時に指示する。

履修コード	347101
科目名	英語ⅠA
担当者名	荻野 一成

講義の到達目標(ねらい) 中学高校時代に英語で苦労した人は多いが、まさしくそういう「辛酸をなめた」人に、英文の内容が分かった時の喜びを味わってもらうためのクラスである。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、パンフレットや広告など様々な媒体を材料に、いかに日本の日常生活を英語抜きで過ごせないかを実感してもらい、素早く必要な情報をつかむコツを習得する。後期は実践として短編ミステリーを読み通す。

履修上の留意点 予復習はもとより、関心を持って積極的に授業参加する姿勢が求められる。

成績評価の方法 平常授業時の出席を重視する。その上で小プレゼンテーションや前後期のレポート・試験等を総合的に評価する。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

参考書 辞書必携（電子辞書含む）

その他 主に講義形式だが、小グループによる活動も多い。

履修コード	347201
科目名	英語ⅠA
担当者名	照山 雄彦

講義の到達目標(ねらい) 日本人と英米人の間には、概念の相違による思考、意志の表現に違いがあり、またそれぞれの生得の語感に異なった部分がある。本授業では英語を正しく理解するための基礎とその運用能力をめざす。

講義の内容／授業スケジュール (1) 講義の内容説明(2～15) 主語、動詞、目的語、補語、句、節、基本文型と重要構文(16～24) 注意すべき文型、Itを含む文型、to-不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書／テキスト 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参考書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	347211
科目名	英語ⅠA
担当者名	芝田 興太郎

講義の到達目標(ねらい) 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容／授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書／テキスト 黒川祐一著 SUBJECT: E-MAIL 南雲堂 1900円

履修コード	346901
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	^{まるこ} 丸小 ^{てつお} 哲雄

講義の到達目標(ねらい)

基本英語（基本文法）に立ち返りながら、英文を読むためのパラグラフの構成のあり方やコメント力を高めるように目指していきます。同時に英文の実際に触れることで、英文の読みの確認をしていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

ウォーミングアップとしてリスニング・タイムを設け、基礎文法と語彙の増やし方に留意し、そして読みの実際の中でパラグラフの把握とコメント力を高めるようにするために日本文化論のテキストを利用しコミュニケーション力の向上を図ります。毎回リスニングと基礎文法を学習した後で、以下の要領でテキストの読みも行います。

前期

Introduction to the First Term (1回) Lesson 1 (2回～3回) Lesson 2 (4回～5回)
Lesson 3 (6回～7回) Lesson 4 (8回～9回) Lesson 5 (10回～11回) Lesson 6 (12回～13回) Lesson 7 (14回)

後期

Introduction to the Second Term (15回) Lesson 8 (16回) Lesson 9 (17回～18回)
Lesson 10 (19回～20回) Lesson 11 (21回～22回) Lesson 12 (23回～24回) Lesson
13 (25回～26回) Lesson 14 (27回～28回)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

課題を出しますので、準備するよう要請します。

辞書を持参すること。授業中の発表は評価の対象になります。積極的に質疑応答をしてください。

出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表も評価の対象になります。

教科書／テキスト

Better Grammar 南雲堂 978-4-523-17657-2

Multicultural Japan 南雲堂 978-4-523-17644-2

参 考 書

随時指示し、タイムリーな生の時事英語ニュース記事のコピーも配布します。

履修コード	348101
科目名	英語 I B
担当者名	佐々木 隆 <small>ささき たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

入学時の英語力をさらにアップさせるため、Listening Comprehension を中心に、大意を把握する能力を身に付けさせる。なお、最初に使用するテキストは比較的容易ものを用意した。終了後はこちらで別の教材を準備したものでさらにステップアップさせたい。時間内にできるだけ多くの作業をしてもらうようにしたい。

講義の内容/
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 補助教材 + Lesson 1
3. 補助教材 + Lesson 1～2
4. 補助教材 + Lesson 2～3
5. 補助教材 + Lesson 3
6. 補助教材 + Lesson 3～4
7. 補助教材 + Lesson 4
8. 補助教材 + Lesson 5
9. 補助教材 + Lesson 5～6
10. 補助教材 + Lesson 6
11. 補助教材 + Lesson 6～7
12. 補助教材 + Lesson 7
13. 中間試験
14. 補助教材 + Lesson 8
15. 補助教材 + Lesson 8～9
16. 補助教材 + Lesson 9
17. 補助教材 + Lesson10
18. 補助教材 + Lesson10～11
19. 補助教材 + Lesson11
20. 補助教材 + Lesson11～12
21. 補助教材 + Lesson12
22. 補助教材
23. 補助教材
24. 補助教材
25. 補助教材
26. 補助教材
27. 補助教材
28. 補助教材
29. 補助教材
30. 補助教材 まとめテスト

準備学習

サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。授業中の活動は多くなる予定である。なお、リーディングについてはスピードよりもリズムを重視して下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法

辞書等は必携。
出席（3分の2以上を原則）と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したもの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。

教科書/テキスト
参 考 書
関 連 リ ン ク

ブルスミス『Active Communication』南雲堂、1300円+税、ISBN4-523-17424-5 C0082
授業中に適宜紹介する。
<http://www.ssk.econfn.com>

外国語

履修コード	348201
科目名	英語 I B
担当者名	杉本 誠

講義の到達目標(わらい) 21世紀をどのような時代にするかを考え、議論し、行動するには20世紀から引き継がれた問題を丹念に検討する必要があります。授業ではこれらの諸問題を11の読みやすい評論文の形で提示した総合英語のテキストから学ぶこととします。特に情報、文化、教育、環境、政治経済などの問題から重点的に学びます。

講義の内容／授業スケジュール 経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。授業は Lesson 1～6を前期でおこない、Lesson7～11を後期でおこなう。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期試験、小テスト、日常の発表、出席率などを総合して評価する。

教科書／テキスト 『World Events』(オセアニア出版) 1,500円
ISBN4-87203-089-3 C1082

外国語

履修コード	348301
科目名	英語 I B
担当者名	林 孝憲

講義の到達目標(わらい) 近年英字新聞で取り上げられる頻度が高いビジネスや社会問題を中心とする時事的な内容を取り扱い、正確に構文を理解して読んでゆく。リスニングはプリントを配布して行う。特に精読を心掛けて進めてゆき、英字新聞を読む準備としたい。

講義の内容／授業スケジュール 単語の意味調べなどの予習が必要になる。

履修上の留意点 平常での発表・出席および前後期の試験結果を含め総合的に評価する。

成績評価の方法 『エコナビゲーション社会』(南雲堂) 1900円+税 ISBN978-4-523-17635-0

教科書／テキスト

履修コード	348401
科目名	英語 I B
担当者名	佐藤 アヤ子

講義の到達目標(わらい) 英文法を基礎からしっかり学びなおすことで、〈わからない英語〉から〈わかる英語〉への展開をはかります。

講義の内容／授業スケジュール はじめに英語文章の要素と文型をしっかり学び、次に英語文章や英語作文の前提となる英文法を学んでいきます。

準備学習 復習を十分すること。

履修上の留意点 外国語の上達法は単語・文章の暗記です。よって毎回単語テストおよび短い文章の暗写テストを行います。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法 日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書／テキスト プリント+教科書。教科書は開講時に指示します。

履修コード	348001
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	高野 秀夫

講義の到達目標(わらい) プリントと教科書で授業を進める。

講義の内容／授業スケジュール プリントでは、英字新聞、雑誌、インターネットの記事を取り上げ、日常生活に役立つ英文を読む。教科書では、イギリスの片田舎で展開される一人の男性の物語を読む。日本と比較することで、多様な視点からイギリスについての理解を深め、英語の面白さを味わいながらリーディングの能力向上を目指す。Natural Speed で英文を読み、聞き取る。逐語訳しながら英語による質疑応答で物語の内容理解に努め、また英語の基本構文、特に動詞に焦点を当てながら、リーディングの能力養成を図る。

準備学習 プリントの授業では、毎回、世間で話題になっている記事を Q&A で進めている。教科書の授業は、教科書の内容にそって年間計画を立てている。前期は 1 - 9 章、後期は 10 - 18 章まで進む予定である。

履修上の留意点 英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法 普段から、興味の感じられる英文の本や記事には積極的に眼を向けること。

教科書／テキスト 期末試験、平常点 (出席、レポート)
George Eliot : Silas Marner (Penguin Readers) ISBN 0-582-41640-X
出席には、特に気をつけること。

履修コード	349201
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	おちあい かずみ 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する(一人の場合と、対話形式の場合がある)。

年間の授業計画は次の通りである。

第一回 オリエンテーション

第二回 『チェックブック』 Lesson 1

第三回 『TOEIC』 UNIT 1

第四回 『チェックブック』 Lesson 2

第五回 『TOEIC』 UNIT 2

第六回 『チェックブック』 Lesson 3

第七回 『TOEIC』 UNIT 3

第八回 『チェックブック』 Lesson 4

第九回 『TOEIC』 UNIT 4

第十回 『チェックブック』 Lesson 5

第十一回 『TOEIC』 UNIT 5

第十二回 『チェックブック』 Lesson 6

第十三回 『TOEIC』 UNIT 6

第十四回 『チェックブック』 Lesson 7

第十五回 前期試験

第十六回 『TOEIC』 UNIT 7

第十七回 『チェックブック』 Lesson 8

第十八回 『TOEIC』 UNIT 8

第十九回 『チェックブック』 Lesson 9

第二十回 『TOEIC』 UNIT 9

第二十一回 『チェックブック』 Lesson 10

第二十二回 『TOEIC』 UNIT 10

第二十三回 『チェックブック』 Lesson 11

第二十四回 『TOEIC』 UNIT 11

第二十五回 『チェックブック』 Lesson 12

第二十六回 『TOEIC』 UNIT 12

第二十七回 『チェックブック』 Lesson 13

第二十八回 『TOEIC』 UNIT 13

第二十九回 『チェックブック』 Lesson 14

第三十回 後期試験

※『チェックブック』は『役に立つ英語表現チェックブック』、『TOEIC』は『語彙と文法で攻略する TOEIC テスト』を指す。なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%(課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎日提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける)。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト

1) 『役に立つ英語表現チェックブック』 ISBN4-523-17435 南雲堂 1,200円

2) 『語彙と文法で攻略する TOEIC テスト』 ISBN978-4-7647-3875-1 C1082 金星堂 1,900円

3) プリント

外国語

履修コード	349301
科目名	英語ⅡA
担当者名	田中 保 <small>たなか たもつ</small>

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	英語による意志伝達のための総合的な英語運用能力の向上を目指す。 テキストと補助プリントを使用して授業を進めていきます。 [1] Chapter1～10 / プリント (1～14) Examination (15) [2] Chapter11～20 / プリント (1～14) Examination (15)
準備学習	テキストは毎授業1章進む予定ですが、よく下読みをして授業に出席すれば理解できます。課題のプリントをときどき配布し、各自学習し提出していただきますので予習を怠らないようにお願い致します。
履修上の留意点	授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。必ず予習をして授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。
教科書/テキスト	Build Up Your English ② (『英語基礎力養成ビルダー 2』) 金星堂、1,950円 ISBN978-4-7647-3888-1 C1082

履修コード	349401
科目名	英語ⅡA
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義の到達目標(ねらい)	Writing や Speaking を目標とするものの、やはり平行してある程度の読む能力の涵養も必要である。比較的平易な文体のものをまず読みこなし、続いて設問に答える、さらに CD を聴いた上での設問にも答える、という形式で行っていく。
講義の内容/ 授業スケジュール	教材では「太平洋の懸け橋」となった現代あるいは歴史上の人物を取り上げている。現代人の教養として、この程度の人物については知識をわきまえてほしい、という担当者の希望も含まれている。次に掲げているような人物についてまず紹介があり、各々に設問が用意されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Douglas MacArthur ・ Matthew Perry ・ William Clark ・ Edwin O. Reischauer ・ Donald Keene ・ Yukichi Fukuzawa ・ Hayao Miyazaki ・ Momohuku Ando ・ Umeko Tsuda ・ Steve Jobs ・ Haruki Murakami ・ Soichiro Honda ・ The McDonald Brothers and Ray Kroc ・ Shigeru Yoshida ・ John Manjirou ・ Hideo Nomo
準備学習 履修上の留意点	まだ他にも取り上げられているが、代表的な人物を記した。 事前に予習を行っておくこと。外国語の学習はこれにつきる。 こちらは予習はしてあるものとして進めていく。辞書の携帯は必須。ケータイは必ずオフ。授業中は外へ出ない。被り物は取ってから教場へ入る。欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。
成績評価の方法 教科書/テキスト	前期・後期の試験、出席・欠席・遅刻状況、授業中の発表状況等、総合的に評価する。 Across the Pacific Ocean (『日米の懸け橋になった人々』)、成美堂 ¥2,200 (CDつき)

履修コード	350301
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	林 孝憲

講義の到達目標(ねらい) 速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 中級の英文をできるだけ早く読めるようにし、必要に応じて精読も行う。内容は時事的な自然科学である。

履修上の留意点 単語の意味調べなどの予習が必要となる。

成績評価の方法 平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。

教科書／テキスト 『Outlook on Society』(南雲堂) 1700円+税 ISBN978-4-523-17560-5

履修コード	350401
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	杉本 誠

講義の到達目標(ねらい) 世界の文化、政治経済、情報、教育、科学、環境、娯楽、スポーツなどのあらゆる分野のニュースを通して Reading, Listening, Speaking, Writing のバランスのとれた英語運用力を養うことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主眼をおきます。さらに、練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目指します。授業は Lesson 1～6 を前期でおこない、Lesson 7～12 を後期でおこないます。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書／テキスト 『1/2版：ニュースメディアの英語2010年度版』(朝日出版) 1,100円
ISBN978-4-255-15483-1

履修コード	350501
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	佐藤 アヤ子

講義の到達目標(ねらい) 英語のパラグラフの読み方を学びます。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフの構造、基本構造を理解し、速読の技術を身につける訓練を英文読解を通して行います。授業前に前回行った授業の単語テストを行います。

講義内容
1-2. What is a paragraph?
3-4. The topic sentence
5-6. Supportig sentence
7-8. Time order
9-10. Space order
11-12. Process and direction
13-15. Reviews + test
16-17. Cause and effect
18-19. Examples
20-21. Definition
22-23. Classification
24-25. Comparison and contrast
26-30. From a paragraph to a short essay + test

準備・学習 毎回単語テストを行います。復習を十分してください。

履修上の留意点 毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法 日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書／テキスト 『効果的なパラグラフの書き方』、南雲堂 2100円、
ISBN:978-4-523-17593-3

履修コード	351401
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	清水 修 <small>しみず おさむ</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容／授業スケジュール ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点 必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法 普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書／テキスト 早川東三著『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社)

参考書 ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

履修コード	351601
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	篠原 敏昭 <small>しのはら としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用い、DVD教材を使った授業をおこないます。ドイツ人の生活や考えなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

前期
 第1～2回 アルファベットと発音の原則 第3～6回 動詞の現在人称変化
 第7～10回 名詞の性、定冠詞／不定冠詞 第11～14回 名詞の複数形、不規則動詞
 第15回 前期末試験

後期
 第16～19回 分離動詞、接続句と語順 第20～23回 冠詞類、前置詞
 第24～27回 語法の助動詞、現在完了形 第28～29回 復習と応用
 第30回 後期末試験

履修上の留意点 欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト 『モデル1 問題発見のドイツ語(改訂版)』(三修社) 2,600円

参考書 辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他 DVDを活用した授業をおこなう予定です。

履修コード	351801
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	清水 修 <small>しみず おさむ</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容／授業スケジュール 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。

履修上の留意点 ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法 主に平常点で評価します。

教科書／テキスト プリントを用意します。

参考書 授業中に指示します。

履修コード	351901
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	<small>しのほら としあき</small> 篠原 敏昭

講義の到達目標(ねらい)	1年次で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。
講義の内容／授業スケジュール	下記のテキストを用い、DVD教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験(4級)の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。 前期 第1～2回 1年次学習内容の復習確認 第3～6回 西暦の読み方、序数、動詞の過去形 第7～10回 形容詞の格変化、形容詞の比較変化 第11～14回 再帰動詞、zu不定句 第15回 前期末試験 後期 第16～19回 受動文、werdenの用法 第20～23回 関係代名詞、接続法Ⅱ式 第24～27回 接続法Ⅱ式の用法 意見の述べ方 第28～29回 復習と応用 第30回 後期末試験
履修上の留意点 成績評価の方法	課題を必ずこなしてくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	『CD付き モデル2』(三修社) 2,700円 授業の中で指示します。 DVDを活用する授業をおこなう予定です。

外国語

履修コード	352001
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	<small>たかはし あけみ</small> 高橋 明美

講義の到達目標(ねらい)	初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。
講義の内容／授業スケジュール	前期(第1回～第15回):(1)発音と読み方のルール(2)名詞の性・数(3)基本動詞(4)形容詞(5)否定文・疑問文(6)近接未来・近接過去(7)疑問詞 後期(第16回～第30回):(1)比較級・最上級(2)さまざまな不規則動詞(3)命令法(4)非人称構文(5)複合過去(6)目的語人称代名詞(7)関係代名詞(8)代名動詞
履修上の留意点 成績評価の方法	積極的に講義に参加すること。極力欠席を避けること。宿題と復習を怠らないこと。期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。
教科書／テキスト	『ヴィルジニー!』～パリのある女高生の生活～ 中島万紀子他編 早美出版社 2200円

履修コード	352201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	<small>きのした ゆうすけ</small> 木下 雄介

講義の到達目標(ねらい)	フランス語の基本文法を習得する。
講義の内容／ 授業スケジュール	教科書の章立てにそって授業を行います。 第1回 一般的な説明、辞書の紹介、発音。 第2回～第30回 2回で1課のペースで授業を進める。
準備学習	予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入してこること。
履修上の留意点	初めて学ぶ外国語ですから、もちろん予習復習が必要です。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりなので、きちんと勉強していれば、修得は難しくありません。学生諸君の努力に期待します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。 石川・清水・須長・中川『ゆっくりいそげフランス語』(弘学社、2400円＋消費税、ISBN978-4-902964-32-5 C1085)
参考書	仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は初心者には向かないので使用しないこと。 ・『ジュネス仏和辞典』(大修館) ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館) ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社) ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社) ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

履修コード	352401
科目名	フランス語ⅡA
担当者名	<small>たかはし あけみ</small> 高橋 明美

講義の到達目標(ねらい)	初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
講義の内容／ 授業スケジュール	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。 前期(第1回～第15回):1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法 後期(第16回～第30回):接続法、文章読解
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。 『アベセデ フランセ』佐藤領時・佐藤久美子著 白水社 2300円

履修コード	352501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	<small>きのした ゆうすけ</small> 木下 雄介

講義の到達目標(ねらい)	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。
講義の内容／ 授業スケジュール	平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。 第1回 テキストの紹介・一般的な説明。 第2回～第30回 説明をまじえながら、テキストを読み進める。
準備学習	予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入してこること。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにのった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書／テキスト	最初の授業のときにプリントを配布します。

履修コード	352601
科目名	中国語 I A
担当者名	梅田 雅子

講義の到達目標(ねらい) ・ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。
 ・身の回りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。
 ・文法に基づいて、中国語の文章を作れるようになる。

講義の内容／授業スケジュール ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。

一課につき、主に梅田が前半・文法を、王が後半・応用練習を担当する。

準備学習
履修上の留意点

各課を文法、応用練習各一回の割合で進む。一週間に一課ずつ進む予定。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

小テストについては事前に予告するので、自宅で準備してくること。

★中国語1B（金曜：王聡 担当）も必ず合わせて履修すること。

4分の3以上の出席を要する。

授業中は積極的に声を出して発音練習をすること。

恥ずかしがらずに何度もチャレンジすること。

成績評価の方法

平常点（平常の出席状況・学習態度・理解度）および期末テスト（前期後期）の成績で総合的に評価する。

小テストは

 得点率90%以上 = +2

得点率80%以上 = +1

得点率60%以上 = ±0

得点率60%以下 = -1

得点率50%以下 = -2

として、平常点に加味する。

教科書／テキスト

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』白水社、2200円＋税

外国語

履修コード	352801
科目名	中国語 I B
担当者名	王 聡

講義の到達目標(ねらい) ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。
 身の回りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。
 異文化理解を一定程度深める。

講義の内容／授業スケジュール

★前期

第1回：ガイダンス。第2～6回：発音（ピンイン）。第7～9回：第1～2課（名前の言い方、疑問文など）。第10～12回：第3～4課（移動に関する表現、所有に関する表現、お金の言い方など）。第13～14回：第5課（実現や完了に関する表現、所在に関する表現、食事の表現など）。第15回：テスト。

★後期

第1回：復習。第2～4回：第6～7課（曜日、時間、家族、存在などに関する表現）。第5～7回：第8～9課（職業、時間量、経験などに関する表現）。第8～10回：第10～11課（料理、食品、能力、可能性、程度、興味、動作の進行などに関する表現）。第11～13回：第12～13課（名所、比較などに関する表現、簡単な文章）。第14回：決まり文句。第15回：テスト

準備学習

1. 予習すること。

2. 宿題を完成すること。

履修上の留意点

1. 4分の3以上の出席を要する。授業中積極的に声を出して発音練習をすること。

2. 中国語 I A（火曜、梅田雅子担当）も合わせて履修すること。

成績評価の方法

平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』白水社、2200円＋税

履修コード	353111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	おう そう 王 聡

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。 (前期) 第1回 ガイダンス・復習 第2回～第13回 会話：中国人の姓・中国人の呼び方・中国人の金銭感覚・中国人同士の付き合い方・中国の地名・中華料理・中国人の時間感覚・中国人のお土産習慣・春節のいろいろ 文法：形容詞述語文・修飾語いろいろ・連動文・動詞の重ね形・助動詞「想」・所在文・方位詞・時刻と時間量・前置詞・副詞 第14回～第15回 復習と前期テスト (後期) 第1回 復習・練習問題 第2回～第13回 会話：中国の一人っ子政策・中国の台所事情・中国の住宅事情・中国の交通事情・中国人の休暇の過ごし方・中国人昼寝の習慣・中国人の寝方・中国の列車事情 文法：アスペクト助詞「了」・助動詞「会」「能」・語気助詞「了」・助動詞「可以」・結果補語・アスペクトの未然相と経験相・動作の進行・動量補語・様態補語・程度補語・方向補語・アスペクト助詞「着」 第14回～第15回 復習と後期テスト
履修上の留意点	辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする。
成績評価の方法	前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(欠出席状況・授業態度など)20%。
教科書/テキスト	三浦正道・楊光俊『たのしく話そう中国語』(CD付)(朝日出版社)2205円

履修コード	353401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。 後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)
準備学習	次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。
履修上の留意点	必ず予習していただくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書/テキスト 参考書	『AVENTURA』立岩礼子他著 同社社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	353701
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Ⅰで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期15回 不規則活用動詞、直接目的語と間接目的語、gustar型の動詞の用法と応用を学習します。 後期15回 再帰動詞、過去分詞と完了時制、線過去・点過去時制を学習します。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)
準備学習	次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。
履修上の留意点	必ず予習していただくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書/テキスト 参考書	『AVENTURA』立岩礼子他著 同社社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	353801
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	よこふじた としやす 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい)

1年時に学習した内容の復習と新しい文法事項(再帰動詞、点過去・線過去、現在完了、接続法現在)の習得をめざします。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリッド、セビーリャ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は1年時の文法項目の復習が中心となります。後期は新しい文法事項を中心に学習していきます。もちろん、受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては次のようになります。

前期：バルセローナとパンプローナ(不規則動詞、gustar型動詞、再帰動詞、現在完了)
後期：サン・セバ스티アンとラ・コルーニャ(点過去、線過去、未来形、接続法現在)

履修上の留意点

授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%

福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円

推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

外
国
語

履修コード	353901
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年秋にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

4—9月はイントネーションや発音に力点を置き、10—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの名メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円

範囲 1課から10課まで。

『露和辞典』

履修コード	354001
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい) ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年秋にも退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。

4—7月はイントネーションや発音に力点をおき、9—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

範囲 1課から10課まで。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

『露和辞典』

履修コード	354101
科目名	ロシア語ⅡA
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい) ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、

9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林)の後半および

『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,800円

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

『露和辞典』

外
国
語

履修コード	354201
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい) ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット(小話)や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、
9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

履修上の留意点

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。
ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

『21世紀のロシア語』の後半および
『やさしいロシア語読本』(大学書林)1,800円

参 考 書

『露和辞書』

外国語

履修コード	291501
科目名	英語 I A [再クラス]
担当者名	岩井 洋美
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 履修上の留意点	語彙を増やし発音を学びながら、基礎的な聞き取り発話ができるようにする。 約5回の授業でテキストを3課進み、その後復習テストや課題を行う。このペースを1年間繰り返していく予定(5回×6)。 出席と授業での発言と姿勢を重視しますので遅刻欠席は減点となります。テキストがない場合は欠席、1/3以上遅刻欠席した場合単位の取得はありません。就職活動の学生は4月に申し出てください。
成績評価の方法 教科書/テキスト	学期末試験50%、出席態度25%、復習テスト課題等25% Graeme Todd『On Air: Listen and Communicate.』金星堂 2100円 ISBN978-4-7647-3895-9

履修コード	291601
科目名	英語 I A [再クラス]
担当者名	小布施 圭三
講義の到達目標(ねらい)	既習の語彙、構文を活用しながら、基本的な口語表現を習得します。最終目標はパラグラフ構成から自由英作文が書けるようにすることにあります。
講義の内容/ 授業スケジュール	1. ガイダンス(授業を展開する上で) 2. 主語の選択 3. 名詞(1) 4. 名詞(2) 5. 名詞(3) 6. 代名詞 7. 冠詞(1) 8. 冠詞(2) 9. プレテスト 10. 形容詞(1) 11. 形容詞(2) 12. 副詞(1) 13. 副詞(2) 14. 副詞(3) 15. 中間テスト 16. 比較(1) 17. 比較(2) 18. 動詞(1) 19. 動詞(2) 20. 動詞(3) 21. 時制(1) 22. 時制(2) 23. 態 24. 動名詞 25. プレテスト 26. 不定詞 27. 接続詞 28. 前置詞 29. 関係詞 30. 期末テスト
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。授業は演習形式で行います。予習をしてきてください。英語の辞書を持参してください。
成績評価の方法	出席(30点)/レポート・授業貢献度(20点)/小テスト・中・期末テスト(50点)などを加味して総合評価します。
教科書/テキスト	木塚晴夫/R. Northridge: Writing Updates(金星堂)1,800円 ISBN978-4-3859-1 C1082

履修コード	291701
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	行廣 泰三

講義の到達目標(ねらい) 文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に延ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。

講義の内容／授業スケジュール
 1、オリエンテーションと小テスト
 2・3、be 動詞を使つての表現
 4・5、一般動詞を使つての表現
 6、第1～第5講義の復習と小テスト
 7・8、未来形を使つての表現
 9・10、進行形を使つての表現
 11、第7～第10講義の復習と小テスト
 12・13、助動詞を使つての表現
 14・15、態を使つての表現
 16、第12～第15講義の復習と小テスト
 17・18、準動詞を使つての表現
 19・20、完了形を使つての表現
 21、第17～20講義の復習と小テスト
 22・23、名詞と代名詞を使つての表現
 24・25、形容詞と副詞を使つての表現
 26、第22～第25講義の復習と小テスト
 27・28、接続詞と関係代名詞を使用しての表現
 29、第27・28講義の復習と小テスト
 30、総まとめとテスト

履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻3回で欠席1回と数える。

成績評価の方法
 教科書/テキスト 小テスト60%、期末テスト25%、出席15%の割合にて判断いたします。
 『English Grammar : Onward & Upward』芝垣、Hiraiwa、奥田、他(センゲージ ラーニング社、¥2,000+税) ISBN 978-4-86312-054-9

外国語

履修コード	291801
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子

講義の到達目標(ねらい) 学習したテーマについて、自分の考えを様々な方法で表現できるようにする。
 講義の内容／授業スケジュール 二回の授業で、一章分のペースで授業を進めていきます。前期は一章から七章を後期は八章から十四章を学習します。音声をよく聞き、英語の特徴をつかみながら、語彙を増やし、文法力を高めるエクササイズを繰り返します。

履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。

成績評価の方法
 教科書/テキスト 試験の結果と平常点。単位取得には三分の二以上の出席が必要です。
 『BBCドキュメンタリーの世界へようこそ』成美堂 2,300円+税 ISBN978-4-7919-1085-4

履修コード	291901
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

講義の到達目標(ねらい) 多文化社会の問題と発信型のライティング・スキルの向上。
 講義の内容／授業スケジュール 多文化社会の問題を日本の問題として捉えながら、英語のパラグラフの構成を理解し、そのパラグラフを書くための基礎的なライティング・スキルを磨く。前期は lesson 1(2～3), lesson 2(4～5), lesson 3(6～7), lesson 4(8～9), lesson 5(10～11), lesson 6(12～13), lesson 7(14～15), 後期は lesson 8(1～2), lesson 9(3～4), lesson 10～11(5～7), lesson 12～13(8～10), lesson 14～15(11～13)の順で学習し、最後に各人が関心を抱いたテキストのテーマを一つ選び、自らの意見を短い文章にする練習を行う。(14～15)

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
 教科書/テキスト Carolyn Wright et al., Multicultural Japan (Nan'un-do) 1,785円
 ISBN978-4-523-17644-2 C0082

履修コード	292001
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい) 文化の多様性と多元性を扱う。そのために基礎英語(基礎文法)に立ち返りながら、語彙を増やし、パラグラフの把握の仕方・作成の仕方に留意し、英文の読みのコメント力を高めることを目指します。時に現代の問題意識をもつために生の英字新聞・雑誌も配布して、実際の実用英語を習得していきます。

講義の内容／授業スケジュール 前期
Introduction to the First Term (1回) Lesson 1 (2回～3回) Lesson 2 (4回～5回) Lesson 3 (6回～7回) Lesson 4 (8回～9回) Lesson 5 (10回～11回) Lesson 6 (12回～13回) Lesson 7 (14回)

後期
Introduction to the Second Term (15回) Lesson 8 (16回～17回) Lesson 9 (18回～19回) Lesson 10 (20回～21回) Lesson 11 (22回～23回) Lesson 12 (24回～25回) Lesson 13 (26回～27回) Lesson 14 (28回)

準備学習 課題を出しますので、準備するよう要請します。
履修上の留意点 辞書を持参すること。授業中の発表は評価の対象になります。積極的に質疑応答をしてください。
成績評価の方法 出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表は評価の対象になります。

教科書／テキスト The Essence of College English Dictation 朝日出版社 4-255-15282-9
Multicultural Japan 南雲堂 978-4-523-17644-2

参考書 随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記のコピーも配布します。

外国語

履修コード	292301
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	埜 美智子

講義の到達目標(ねらい) より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現や会話表現へとステップアップする。

講義の内容／授業スケジュール テキストを中心に行い、英語力を高めるために様々な話題や出来事について関心を抱きそれらに対する意見を英語で表現するテクニックを取得しようとする心構えを持つ。

履修上の留意点 出席は大切ですので重視します。語学の特質として持続の心構えが大切ですので宿題や課題提出を求めることがあります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、前期、後期試験の総合評価で示します。

教科書／テキスト 'What Should We Think About?' — Reading & Writing
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」 松柏社 ¥1900

参考書 その都度、黒板に板書します。
その他の 欠席はなるべく避けて下さい。

履修コード	292601
科目名	英語 I A [再クラス]
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい) 英語運用能力のしっかりした基礎を作ることを目的とします。
 講義の内容／授業スケジュール [講義内容]
 教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、例文の聞き取り訓練を通じてリスニングコンプリヘンションの能力を高めていく予定です。

[授業スケジュール]

前期：
 第1週 Orientation
 第2週～14週 教科書の第1章から8章まで
 第15週 前期試験

後期：
 第15週～29週 9章から15章まで
 第30週 後期試験

履修上の留意点 練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。
 成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数^の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書／テキスト Catapult -- Composition in Dialogue Style 対話形式で学ぶ英作文
 著者 安浪誠祐/Richard S. Lavin
 発行所 センゲージラーニング
 ISBN978-4-86312-096-9

外国語

履修コード	292701
科目名	英語 I A [再クラス]
担当者名	<small>たなか たろう</small> 田中 保

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。
 リスニング、発音、日常英会話表現等、総合的に英語力をつけるようにする。

講義の内容／授業スケジュール [1] Greetings ~ Asking Questions (1~6), Requests ~ Appointments (7~14) ⑮ Examination [2] Apologies ~ Permissions (1~7), Invitations ~ Disagreement (8~14), ⑮ Examination
 準備学習 テキスト(1),(2)を1週おきに1課進む予定です。毎授業1課下読みをして出席すれば、授業をよく理解できるようになります。

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。
 必ず下調べをし、単語の意味なども調べて積極的な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

教科書／テキスト (1) 田中保他編著 Focus on Communication ①—Through Sentences Pattern---
 (『基本文型からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
 ISBN 978-4-255-15442-8
 (2) 田中保他編著 Focus on Communication(②—Through Pronunciation---
 (『音の理解からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
 ISBN 978-4-255-15443-5

履修コード	292711
科目名	英語 I A [再クラス]
担当者名	<small>いづま よしなが</small> 飯沼 好永

講義の到達目標(ねらい) 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容／授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各Unitとプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。

教科書／テキスト 登美博之/Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions
 朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	354601・354602
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>まえだ おさむ</small> 前田 脩
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	英語を学んで日本と英米の思考過程、文化の違いを学びます。 一回に一章づつ進みます。英字新聞からのプリントも使用します。前期に二度、後期に二度自由英作文を行います。 必ず毎回予習してくること。 日常評価を40%、前期テスト20%、後期テスト、小テストを40%の割合で評価します。 ニュースメディアの英語—演習と解説— 朝日出版 ￥1600 ISBN 978-4-255-15482-4

履修コード	354701・354702
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>みずさき のりこ</small> 水崎 野里子
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	Eメール英作文のテキストを使用しつつ、実用的な英作文の運用力の向上を目指す。 【前期】第1週：ガイダンス 以降1クラスに教科書Unit1課ずつ、教科書Unit11まで予定。 【後期】Unit12-Unit22まで予定。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	毎度Eメールの模範文を参考に、有用な基本英文の学習、挨拶や感謝の表現など実用的な日本語文章の英語変換・英語表現を学んで行く。 最後には自力でEメール英作文が書けるようになって欲しい。 授業には必ず辞書を持参してください。 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。 Yuichi Kurosawa; Subject E-Mail, Writing Effective Messages(NAN'UN=DO) (大学生のEメール英作文：南雲堂) ￥1900
その他	適宜にプリントを配布するかもしれない。

履修コード	354901・354902
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>おおし としはる</small> 大淵 利春
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	英語の総合的な運用能力を身につける。 授業の最初に15分程度のリスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。また、英字新聞の記事も読んでいく。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。 前期 Course Introduction (1)、1(2,3)、2(4,5)、3(6,7)、4(8,9)、5(10,11)、6(12,13)、Test/Review(14,15) 後期 Introduction(16)、7(17,18)、8(19,20)、9(21,22)、10(23,24)、11(25,26)、12(27,28)、Test/Review(29,30)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	予習が必要。また、英語の辞書を持参すること。 前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。 Haruo Kizuka, 『Writing English Through Current Topics』金星堂 1,400円 ISBN4-7647-0548-6

履修コード	293201
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	佐藤 孝一

講義の到達目標(ねらい)	授業では、基本的に単語の正確な発音やリズムに注意しながら英文を正しく読む練習と、パラグラフに注目して読みながら、大まかな内容を把握をする習慣を養い、かつ理解力をつけていきます。
講義の内容／授業スケジュール	現在の社会・生活環境に関しての最新的话题を学んでいきます。大学生に身近な話題を題材にしてあるので、興味や関心を持つことができると思います。全体で15章ありますので、基本的には2時間で一章を消化していきます。
履修上の留意点	事前に発表者を決め、予習をする時間を与えます。発表した者には発表点がつきます。授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験(6割)、出席点(2割)、その他(発表点、復習クイズ等)(2割)で総合的に評価します。欠席と遅刻は減点制にします。但し、授業は全体回数の7割以上出ない場合は評価の対象になりません。
教科書／テキスト 参 考 書	「Quality of Life - Making Smart, Healthy Choices」 南雲堂 なし

外国語

履修コード	293401
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	大瀨 利春

講義の到達目標(ねらい)	英語リーディング力、リスニング力の向上を目指す。
講義の内容／授業スケジュール	授業の最初に15分程度のリスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。
履修上の留意点	前期 Course Introduction (1)、1(2,3)、2(4,5)、3(6,7)、4(8,9)、5(10,11)、6(12,13)、Test/Review(14,15) 後期 Introduction(16)、7(17,18)、8(19,20)、9(21,22)、10(23,24)、11(25,26)、12(27,28)、Test/Review(29,30) 予習をしてくること。英語の辞書を持参すること。
成績評価の方法	前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。
教科書／テキスト	William M. Balsamo, 廣田典子、『New Issues for Global Change and Challenges』 金星堂 ISBN978-7647-3820-1

履修コード	293601
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	<small>ゆきひろ たいぞう</small> 行廣 泰三

講義の到達目標(ねらい) 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

1、オリエンテーションと小テスト
2・3、英文のルールと品詞＋短文
4・5、be 動詞と一般動詞＋短文
6、復習と小テスト
7・8、完了形と未来形＋短文
9・10、多様な疑問文と進行形＋短文
11、復習と小テスト
12・13、接続詞＋短文
14・15、名詞と関係代名詞＋短文
16、復習と小テスト
17・18、一般動詞＋短文
19・20、文型＋短文
21、復習と小テスト
22・23、態＋短文
24・25、準動詞＋短文
26、復習と小テスト
27・28、分詞構文＋短文
29、復習と小テスト
30、まとめ・小テスト

履修上の留意点 予習は必ずしておいて下さい。

成績評価の方法 出席 (15%)、期末試験 (25%)、小テスト (60%) の総合評価。

教科書／テキスト 「Attack Your Problems with English Grammar」 著者 表正幸 (松柏社) 1900 + 税 円
ISBN978-4-88198-639-4

外国語

履修コード	293901
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	<small>やしま なおこ</small> 矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) 辞書を引いて授業で扱う英文を読めるようになること。また、英語の聞き取りにも慣れること。

講義の内容／
授業スケジュール

講義内容は、英語の長文を聞き、読んで意味を取って、問題に答えてもらうもの。
前期：1回目－授業全体の説明。2、3回目－1章。4～14回目－2～12章。15回目－前期末試験。後期：16回目－前期末試験の解説と13章。17回目－13章の続き。18～28回目－14～24章。29回目－試験前の説明。30回目－後期末試験。

準備学習 辞書で単語の意味を調べたうえで、授業で扱う範囲の英文全体の意味を理解し、設問があれば解いてくること。

履修上の留意点 授業中はどんどん当てますから、英語を読んで意味を取れるようにしておくこと。また、練習問題にも答えられるようにしてきてください。

成績評価の方法 平常点と出席状況、および前期末・後期末の試験の結果などから総合的に評価します。全出席数の三分の一以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなりますから注意すること。

教科書／テキスト 穴戸真、他、『リーディング エキスパート 一実践編-Ⅱ』、成美堂、1、800円、ISBN 978-4-7919-3113-2

履修コード	294001
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	堀 千和子

講義の到達目標(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前半では、映画を見ながら、英文読解を中心として、英語の四技能を鍛えるエクササイズをしていきます。 ・授業の後半では、教科書に関連したトピックの副教材（英字新聞やインターネット記事などのプリント、英語ニュース、歌など）を使用して、さらに英文を読むことに集中してもらう予定です。
講義の内容／授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> （1）オリエンテーション（2）ポキャブラリー・チェック、教科書 Introduction（3）教科書 Unit 1（4）教科書 Unit 2（5）教科書 Unit 3（6）教科書 Unit 4（7）教科書 Unit 5（8）前期中間テスト（9）教科書 Unit 6（10）教科書 Unit 7（11）教科書 Unit 8（12）教科書 Unit 9（13）教科書 Unit 10（14）前期のまとめ（15）前期試験（16）前期試験返却、前期の復習（17）教科書 Unit 11（18）教科書 Unit 12（19）教科書 Unit 13（20）教科書 Unit 14（21）教科書 Unit 15（22）後期中間テスト（23）教科書 Unit 16（24）教科書 Unit 17（25）教科書 Unit 18（26）教科書 Unit 19（27）教科書 Unit 20（28）副教材を使って（29）後期のまとめ、試験について、質問受付（30）後期試験
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時、理解度のチェックのために、出席確認シートに課題をして提出してもらいますので（平常点となる）、教科書はもちろんのこと、辞書を持参すること。 ・YeStudyを使用します。予習、復習、課題の作成と提出に役立ててください。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1. 前期試験（30%）、2. 後期試験（35%）、3. 前期中間テスト（10%）、4. 後期中間テスト（10%）、5. 夏期レポート（5%）、6. 発表や発言、質問などの授業への貢献度、積極的な姿勢（5%）、7. 出席確認シートの課題（5%）から総合的に判断します。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格となり、試験を受けることができない。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも遅刻、欠席しないように注意すること。 ・公的な欠席と認められるのは、忌引、体育会の試合当日、教育実習、法定伝染病にかかった場合となる。（証明書を提出すること） ・遅刻は3回で1回分の欠席となる。授業開始45分以上遅れた場合は、欠席扱いとなるので、注意すること。
教科書／テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 1) 著者：Hiromi Akimoto & Mayumi Hamada 2) 書名： American History in Focus 3) 出版社：マクミラン・ランゲージ・ハウス 4) 価格： 2,100円 5) ISBN： 978-4-7773-6028-4

外国語

履修コード	294101
科目名	英語 I B [再クラス]
担当者名	世倉 貞夫

講義の到達目標(ねらい)	近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに、英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	(1~5) AMAZING ANIMALS, (6~10) YOUR AMAZING BODY, (11~14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16~20) AMAZING FIRSTS, (21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26~29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト
履修上の留意点	予習・復習重視、辞書持参。
成績評価の方法	前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書／テキスト	M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	294201
科目名	英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子
講義の到達目標(ねらい)	ミステリーを楽しみながら、文法力、語彙力の向上を目指す。また、テキスト以外にも各自、より多くの物語、小説等を読む機会が増えることが望ましい。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期はThe Red-Headed Leagueを後期はThe Adventure of The Copper Beechesを学習する。読解のポイントや鑑賞のポイント、語彙、文法事項の解説等を適宜加えながら、テキストを読み進めていく。ストーリー要約の練習やリスニングも併せて行う。
履修上の留意点	授業には必ず辞書を持参してください。
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
教科書／テキスト	『シャーロック・ホームズと巡るミステリーの旅』 センゲージ ラーニング 1785円 ISBN978-4-86312-113-3

外国語

履修コード	294211
科目名	英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	太田 美智子
講義の到達目標(ねらい)	I(B)の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英語を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。
講義の内容／ 授業スケジュール	基本的に毎回I章を進めたい。 各ユニットのすべてのタスクをこなすのではなく、柔軟に対処する。リスニングとリーディングを重視し、基礎力の向上を目指そう。
履修上の留意点	学習する態勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。
成績評価の方法	前期・後期に定期的に行う筆記試験、提出物などの平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。
教科書／テキスト	Hit Parade Listening マクミラン・ランゲージハウス ISBN4-89585-455-8 C3082

履修コード	294221
科目名	英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	久保 ひさ子
講義の到達目標(ねらい)	健康、医療、看護に関する用語を覚える。たとえ、自分が、海外に居る場合でも、当地の医療機関も使いながら、自分の心身の健康は、自分で保つことができるのをねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	教科書は閉じ、テキストは見ないで、テープを聴く方法を用いる。 Designer Foods,Cancer,Depression,Heart Disease,The Art of Medicine
準備学習	授業箇所は、一体、何(主語)が、何(目的語)をすると、述べているのか、細かい部分はさておき、概略を考えて、出席して欲しいです。
履修上の留意点	後期は、なるべく本文の和訳をしないで、聞いている英語から、直接理解してしまう方法を目指す。
成績評価の方法	Attendance,Term-end Tests,Class work & small tests の合計点
教科書／テキスト	瀬谷幸男他/Healthy Living/南雲堂/1165円

履修コード	247101
科目名	英語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の内容／
授業スケジュール

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; you must have a will to use what you already know. Your English should become sufficient for foreign travel, light exchanges with foreigners, and script-type conversation: buying things, getting information, making reservations. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns will help to attain good employment or study positions in the future.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1addressing people	CLASS 16consumption
CLASS 2addressing people	CLASS 17courtship
CLASS 3social hierarchy	CLASS 18courtship
CLASS 4social hierarchy	CLASS 19adolescence
CLASS 5self expression	CLASS 20adolescence
CLASS 6self expression	CLASS 21social classes
CLASS 7gift-giving	CLASS 22social classes
CLASS 8gift-giving	CLASS 23candor
CLASS 9Informality	CLASS 24candor
CLASS 10Informality	CLASS 25authority
CLASS 11news coverage	CLASS 26authority
CLASS 12news coverage	CLASS 27employment
CLASS 13personal freedom	CLASS 28employment
CLASS 14personal freedom	CLASS 29politicians
CLASS 15Consumption	CLASS 30politicians

成績評価の方法

ATTENDANCE: Six absences in the year are permitted, but five or more absences may be detrimental to the final grade. Weddings, funerals, seminars, sports activities, etc. do not form exceptions to the 6-absence limit.

EXAMINATIONS: Frequent small, unannounced quizzes will maintain the pace of the class. Exam questions will be taken from parts of the textbook that we have already covered in class.

GRADING: 70% of the final grade depends on your spoken English, in comparison with your ability as it was in the first class period. Examinations have minor effect on the final grade.

教科書／テキスト

We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary.

外国語

履修コード	294601
科目名	英語 II A [再クラス]
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)

IA を基礎とし、より高度な英語 (Writing/Speaking) の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC 等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 小テスト、(2~6)Unit1-5、(7) 確認テスト①、(8~12)Unit6-10、(13) 確認テスト②、(14~18)Unit11-15、(19) 確認テスト③、(20~24)Unit16-20、(25) 確認テスト④、(26~30) 文法のまとめと自由英作文。

準備学習

必ず予習をする。

わからない単語は辞書で調べておく。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私話をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験 (50%) と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点 (50%) から総合的に評価する。

定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。授業態度を重視する。

教科書／テキスト

『スヌーピーと覚える日常表現』(朝日出版社) 1,700円+税

履修コード	295001
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	竹村 恵都子

講義の到達目標(ねらい) 基礎英語を再認識し、主として Speaking や Writing の英語運用能力を高め、四技能の達成を目標とします。

講義の内容／授業スケジュール テキストを中心に、テープを使用しながら演習形式で授業を進めます。
前期予定—オリエンテーション+ Lesson 1～12 + テスト
後期予定—テスト結果発表+ Lesson 13～24 + テスト

履修上の留意点 欠席・遅刻をせず、予習を含めて積極的に授業に取り組むこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを考慮して総合的に評価します。

教科書／テキスト “A Trip to Britain” ; Terry O'Brien 他共著、南雲堂
ISBN4-523-17367-2

履修コード	295301
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	真砂 久晃

講義の到達目標(ねらい) 英語の基本である、英文読解、英作文、リスニングの復習をしつつ、応用力を養う。

講義の内容／授業スケジュール 第1回目の授業では、オリエンテーションを行う。テキストを購入して授業に出ること。テキストが入荷されていない場合は、予約しておくこと。
第2回以降は、テキストの Unit 0 から順番に進んで行く。

準備学習 予習は必ずしておくこと。

履修上の留意点 学生諸君には、授業中にテキストの英文を読んで訳したり、問題を解いたり、英文リスニングの練習をしてもらう。

成績評価の方法 授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とする。
平常点+テストの点数=成績、となる。
試験は前期と後期、それぞれ1回ずつ行う。
詳細は最初の授業で説明する。

教科書／テキスト 津村修志 他著、『GOOD JOB!』1950円(税別)、ISBN978-4-7647-3876-8、金星堂

履修コード	295401
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	外池 一子

講義の到達目標(ねらい) IA で身につけた英語力を基礎として、より高度な英語の speaking と writing の運用能力を身につけることをめざす。また、会話に必要な listening の能力の強化にも力を入れ、TOEIC 等の各種検定にも対応できる英語力の習得もめざす。授業はテキストを中心に進める。

講義の内容／授業スケジュール 第1週：オリエンテーションと小作文、第2-15週(前期)：毎週1Unitを目標にテキストを進める、第16-27週(後期)：毎週1unit以上を目標にテキストを進める、第28-30週：課題発表。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に出席すること。辞書を持ってくること。予習をしていない場合や、授業中に私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
前期・後期ともに授業の進度に合わせて小テストを行う場合があるので、毎週復習を欠かさないこと。

成績評価の方法 授業の進度に合わせて行う試験(60%)と出席、小テスト、提出物、発表などの平常点(40%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視し、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となる。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

外国語

履修コード	295501
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	<small>はなわ みちこ</small> 埴 美智子

講義の到達目標(ねらい)	一年時の読解能力を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。文章表現や会話表現の力を養うことを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	テキストに基づいて進めて行き、英語の理解・運用に不可欠な文法項目もその内容に沿って勉強していく。スクリプトも併せて学習する。ビデオやCDも活用し、聞き取りや会話表現を取得する。授業を休むと欠如する部分が多くなるので継続して学習する態度が大切である。
履修上の留意点	練習問題は内容の理解度に比例するので、復習、予習を行うこと。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況が大切であり、前期・後期の学期末試験の結果、授業中の態度、小テスト、提出物などの総合評価となる。
教科書／テキスト	‘Science World Vol.2’ (ビデオで発見：サイエンス・ワールド(2)) John S. Lander 朝日出版 ¥1800
参考書	開講時に指示します。

履修コード	295601
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	<small>てしま けいこ</small> 手島 敬子

講義の到達目標(ねらい)	DVD教材を用い、語彙や基本的な文法事項の理解に留意しながら、映像と音声の面から、自然に無理なく英語力の強化を図ります。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～第14回：Chapter1からChapter7まで進める予定 第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：Chapter8からChapter14まで進める予定 第30回：後期末試験
履修上の留意点	前期・後期末試験の受験と授業の2/3以上の出席が評価の必要条件となります。原則、遅刻は3回で欠席1回となります(ただし30分以上の遅刻は1回でも欠席)。
成績評価の方法	前期・後期末試験(70%～80%)、課題、出席状況、授業への参加度に基づき、総合的に評価します。
教科書／テキスト	森田彰他 『BBCドキュメンタリーの世界へようこそ』 成美堂 ¥2300 ISBN-9784791910854

履修コード	355201・355202
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>てるやま ゆうひこ</small> 照山 雄彦

講義の到達目標(ねらい)	この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようなになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 授業の内容説明、(2～15) 基本文型と重要構文、注意すべき文型、Itを含む文型、to—不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文
履修上の留意点	実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
教科書／テキスト	授業の第1日めに教場にて紹介する。
参考書	授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	355301・355302
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	^{おおふら} 大淵 ^{としはる} 利春

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

英語の総合的な能力の向上を目指す。
授業の最初にテキストの TOEIC テスト形式のリスニング問題を行う。その後テキストを読み進める。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。
前期
Course Introduction (1)、Chapter1(2,3)、Chapter2(4,5)、Chapter3(6,7)、Chapter4(8,9)、Chapter5(10,11)、Chapter6(12,13)、Test/Review(14,15)
後期
Introduction(16)、Chapter7(17,18)、Chapter8(19,20)、Chapter9(21,22)、Chapter10(23,24)、Chapter11(25,26)、Chapter12(27,28)、Test/Review(29,30)
予習は必須。授業には英和辞書をかみならず携行のこと。
前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。
Emiko Kiyochi, Cindy H. Granger『Culture Watch U.S.A.』成美堂 定価 1,800円
ISBN 978-4-7919-0543-0

履修コード	355401・355402
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	^{ほんま} 本間 ^{としかず} 俊一

講義の到達目標(ねらい)

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
副教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。

講義の内容/
授業スケジュール

4月 ガイダンス
4月中旬～7月 Text Chapter1～Chapter9の学習
7月後半 前期授業内テスト
9～11月 Text Chapter10～Chapter17の学習
12月 後期授業内テスト

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書/テキスト

Anne of Green Gables(講談社インターナショナル)693円
ISBN4-06-186057-7

履修コード	295801
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	あんざい かける 安齋 薫

講義の到達目標(ねらい)	Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 Introduction 第2,3,4回 My heart will go on 第5,6,7回 Open arms 第8,9,10回 Oasis 第11,12,13回 A whole new world 第14,15回 まとめ・テスト 第16,17,18回 Kiss of life 第19,20,21回 Every time I close my eyes 第22,23,24回 Life 第25,26,27回 The stranger 第28,29回 All I want for Christmas is you 第30回 テスト
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況（2／3以上の出席が原則）前後期試験、レポートで評価
教科書／テキスト	English with Hit Songs（成美堂） ¥1700＋税 ISBN4-7919-4581-6

外国語

履修コード	295901
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	ゆきひろ たいぞう 行廣 泰三

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、聴解力を通して基本的な読解力の向上を目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	1講義に付き、教科書の一つの単元（Unit）を講義していく予定です。 （教科書必須です）

第一回 Unit 1-A Why Study English + 簡単なオリエンテーション
 第二回 Unit 1-B Getting Ready
 第三回 Unit 2-A Listening to CDs
 ・
 ・
 ・
 第三十回 Unit 15-B Summary

履修上の留意点
 第六・十一・十六・二十一・二十六・二十九・三十回の講義において小テストを行います。
 復習と予習をしっかりとして下さい。

成績評価の方法
 教科書／テキスト
 授業スケジュールにも記載しましたが、小テストを第6・11・16・21・26・29・30回の講義の際に行いますので授業日程（日にち）の確認を、しっかりと自分で行って下さい。
 小テスト60％ 期末25％ 出席15％ の割合で総合的に判断いたします。
 『JUMP-START YOUR ENGLISH』(株)英宝社 著者 染矢正一・Fred Ferrasci 他 定価1600＋税
 ISBN978-4-269-66021-2

履修コード	296201
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	^{たかの ひでお} 高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい)	プリントと教科書で授業を進める。プリントでは英字新聞、雑誌、インターネット等の記事で、日常生活に役立つ英文を読み、教科書では、イギリスのロンドンで展開される一人の人生の物語を読む。Natural Speed で英文を読み、聞きとり、逐語訳をしながら、英語による質疑応答で本文の内容理解を図る。日本と比較し、いろいろな視点でイギリス文化についての知識を深め、英語の面白さを味わいながらリーディングの能力向上に努める。
講義の内容／授業スケジュール	プリントでの授業は、毎回、世間で話題になっている記事をQ&A で進めている。教科書の授業では、教科書の内容にそって年間計画を立てている。前期は9-23 ページ、後期は24-43 ページまで進む予定である。
準備学習	英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
履修上の留意点	普段から、興味を感じられる英文の本や記事には積極的に眼を向けること。
成績評価の方法	期末試験、平常点(出席、レポート)。
教科書／テキスト	Mrs. Dalloway (南雲堂)
その他	出席には、特に気をつけること。

履修コード	296301
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	^{まつどう ひろこ} 松堂 啓子

講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎としてSF小説を楽しみながら、語彙力、読解力を強化していく。また、テキスト以外にも各自、より多くの物語、小説等を読む機会が増えることが望ましい。
講義の内容／授業スケジュール	授業二回で、一章分のペースで学習を進めていきます。「読解のポイント」や「鑑賞のポイント」を参考にしながら本文を読み、適宜、語彙や文法事項の解説をするスタイルをとります。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
教科書／テキスト	Let's Enjoy SF Short-Shorts (開文社) 1, 700円+税 ISBN978-4-87571-746-1

履修コード	296501
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	^{あさかわ まさ} 朝川 真紀

講義の到達目標(ねらい)	より高度な英文を、文章論理の流れや中心概念をとらえ、また必要な情報を探し、Skimming や Scanning ができるようになることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期は映画『ベイフォワード』後期は『ナイトミュージアム』を使用し、読解活動コミュニケーション活動を行います。1回目(オリエンテーション)2回目~14回目(Unit1 Introduction, Unit2 Assignment, Unit3 Put it into ACTION, Unit4 Forgiveness, Unit5 Exposure, Unit6 Do it for Someone Else, Unit7 Love and Courage),15回目中間テスト、16回目~29回目(Unit8 Introduction, Unit9 Responsibility, Unit10 The First Night at the Museum, Unit11 Getting Prepared, Unit12 Man on a Mission, Unit13 Conspiracy, Unit14 Cooperation)30回目後期テストを行います。
履修上の留意点	必ず予習をしてきてください。辞書を毎回忘れずに持参してください。
成績評価の方法	平常点、小テスト、前期後期試験によって、総合的に評価します。
教科書／テキスト	井村誠『映画で学ぶ大学英語の基礎』金星堂2000円 ISBN978-4-7647-3897-3

履修コード	296901
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	ほんま としかず 本間 俊一

講義の到達目標(ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Lesson1～Lesson7の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Lesson11～Lesson17の学習 12月 後期授業内テスト
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書／テキスト	Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

外国語

履修コード	296911
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	かわさき えみか 川崎 笑佳

講義の到達目標(ねらい)	一年時の読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じてTOEIC、TOEFLその他の教材を利用する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業、第2～13回：Unit 1～10、第14回：プリント使用の授業、第15回：試験、第16回：プリント使用の授業、第17～28回：Unit 11～20、第29回：プリント使用の授業、第30回：試験
履修上の留意点	学生全員が予習していることを前提として授業を進める。事前の準備がない場合は出席とみなさないのでそのつもりで授業にのぞむこと。
成績評価の方法	3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末試験の結果をもとに総合的に評価する。
教科書／テキスト	大月実『News for You 2010/2011 Edition やさしいメディア英語2010/2011年版』(成美堂) 1900円 ISBN978-4-7919-3127-9

履修コード	260001
科目名	英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい) The students will work on improving their communicative and listening skills.

講義の内容／
授業スケジュール

Class 1 Introduction
 2-3 Meeting people
 4-5 Feelings
 6-7 Places
 8-9 Movies
 10 Review
 11-12 What happened
 13-14 Yes or No
 15 Review
 16 Speech
 17-18 Remembering
 19-20 Planning
 21-22 Problem + Solution
 23 Review
 24-25 My story
 26-27 My opinion
 28-29 The Future
 30 Review

履修上の留意点 4 absences in one semester is poor attendance.
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法 Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書／テキスト The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	260011
科目名	英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(ねらい) This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容／
授業スケジュール

[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final Exam using selected textbook activities.

準備学習 In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.

履修上の留意点 Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法 Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書／テキスト author: Steven Molinsky and Bill Bliss
 title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
 publisher: Longman
 date: 2003
 ISBN 0-13-183937-3

参考書 none
 その他 none

履修コード	260401
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	^{うめはら としひろ} 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	<p>専門書を読むために必要な英文読解力の養成を目標とします。</p> <p>[講義内容]</p> <p>論理的な文章を読みこなすためには正確で幅広い語彙力と同時にしっかりした構文に対する知識が不可欠です。それと同時に英語の思考方式に慣れることも必要です。授業ではテキストの一字一句をゆるがせにしない精読をしていきます。英語の思考の流れにそって理解していけるよう、できる限り頭から訳していくよう指導していくつもりです。</p> <p>[授業スケジュール]</p> <p>前期 第1週 オリエンテーション 第2週～14週 教科書の前半部分の講読 第15週 前期試験 後期 第14週～29週 教科書の後半部分の講読 第30週 後期試験</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>予習はしっかりやってきてください。</p> <p>成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。</p>
教科書/テキスト 参 考 書	<p>塩野弘明編『POINT OF LAW (法廷百話)』(南雲堂) 1,600円+税</p> <p>学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。</p>

外国語

履修コード	260501
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	^{まえだ おさむ} 前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	<p>法律を通じて日本と英米の思考方法の違いを学びます。</p> <p>章わけにしてあるユニットを一回に一ユニットづつすすみます。英字新聞から法律に関係のある記事を取り上げてプリントにして配布します。</p> <p>毎回授業前にしらべておくこと。</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>日常評価を40%、前期テスト10%、小テストを10%、後期テストを40%の割合で評価します。</p>
教科書/テキスト	<p>Legal Matters センゲージ ラーニング株式会社 ￥2000 978-4-86312-150-8</p>

履修コード	260601
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>おかもと まこと</small> 岡本 誠

講義の到達目標(ねらい)	テキストを用意するので、自分の Reading の力をあらためて認識・養成するようにしてほしい。読解力養成のいよいよ最後のチャンスである。
講義の内容／ 授業スケジュール	我々の日常生活に好むと好まざるにかかわらず影響を及ぼしてくるのがアメリカであり、アメリカの抱えている問題である。まさしく現在の時点で世界が不況にあえいでいるのはアメリカが世界にばら撒いた毒素、つまり証券化されたサブプライムローンが原因であったことはまだ記憶に新しい。そこで、本講義ではアメリカが直面している、あるいは経験した次のようなトピックスを読んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Pursuing the American Dream ・ America's Immigrant Roots ・ The Trail of Tears ・ Harriet Tubman: An American Heroine ・ Jews and American Culture ・ The Japanese American Internment ・ The Illegal Immigration Problem ・ The American "Gun Society" ・ Barack Obama: Breaking Through the Glass Ceiling ・ Envy, Greed and Financial Collapse ・ The Tradition of American Philanthropy ・ American Megachurches ・ Interracial Marriages—Then and Now ・ Fast Food vs. the Sustainable Food Movement
準備学習 履修上の留意点	事前に予習を行っておくこと。外国語の学習はこれにつきる。予習してあることを前提に進めていくことは言うまでもない。語学力を高めていくにはこの方法しかない。辞書は携帯のこと。ケータイはオフ。ご存知のように、欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取ってから教場に入る。授業中外へ出ていかない。
成績評価の方法	前期・後期の試験、指名されたときの発表・プレゼンテーション力、出席・遅刻状況、その他の受講態度等総合的に評価する。
教科書／テキスト	America in Motion (「アメリカの過去・現在・未来を読む」) 成美堂 ￥1,800

履修コード	260701
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>みずさき のりこ</small> 水崎 野里子

講義の到達目標(ねらい)	社会科学の英文のテキストを読んで行く。英文のパラグラフを適宜に把握できる読解力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	毎時間配布する英語プリントを指定時間内で概要を把握する練習をする。翻訳ではない、内容把握をあくまでも目的としたい。 毎時間プリントを配布する。時間を与え、教場で与えられた英語パラグラフの概要意味を把握する練習をする。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	適宜に文法事項などを説明する。英文の読解に興味を持つ方向で授業を進行させたい。 英和辞典の活用をのぞみます。 ペーパーテストと出席状況、及び提出物の総合評価とします。 学生の読解力に応じて毎回英文のテキストをプリントする。 参考のために日本語への翻訳を提示する。日本語訳を参照し、内容理解の向上と読解力を深めて欲しい。 ホートソング・ジグメ：青い空の下に（詩画工房） ¥1000

履修コード	260801
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	おおいば なおき 大庭 直樹

講義の内容／
授業スケジュール

英語の読解力を身につけるためのクラスである。したがって、できるだけ多くの英文を読んで、それらを理解し要約する力を養うことがこのクラスの目標である。

読む能力とは、外国語を聞いたり話したり能力の一番重要な基礎となるものである。読めるということは、文法の基本構造がわかっており、単語を数多く知っているということにほかならないからである。このことは、いくら強調しても強調し過ぎることはない。インターネットの時代、最も必要になるのは、「共通語」である英語を読む力であるといえる。

履修上の留意点

語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。クラスはテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他

成績は前・後期の定期試験と、平常点（出席数や授業態度など）を総合して評価します。最初のクラスで指示します。
英和辞典を持ってくること。

履修コード	260901
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	はやし あきと 林 明人

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

少し難易度の高い英文を読みます。直接現代社会と関連のあるテキストを読むつもりです。

1	pp.1-2	教科書指示	16	pp.1-2プリント (2) 配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4 (試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6
4	pp.7-8		19	pp.7-8
5	pp.9-10		20	pp.9-10
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12 (試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14
8	pp.15-16		23	pp.15-16
9	pp.17-18		24	pp.17-18
10	pp.19-20		25	pp.19-20
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22 (試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24
13	pp.25-26		28	pp.25-26
14	pp.27-28		29	pp.27-28
15	前期試験		30	後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。
①試訳（40％）②試験（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書／テキスト

4月の最初の授業で指示します。

履修コード	261001
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>さうま よしあき</small> 相馬 美明

講義の到達目標(ねらい) 授業は講読を中心としたフォア・スキルズの育成を目的とする。基本的にテキストにそって進められるが、テキストに加え日常の会話表現を身につける目的として、たとえば映画のディクテーションやTOEIC, TOEFLなどさまざまなリスニング問題、ウィットに富んだ物語などにも触れ、表現力を身につけていきたい。そして最終的に発話(表現力)として、簡単なテーマについて自分の考えを英語でまとめ、プレゼンテーションを行ってもらう予定である。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など
- (2) Lesson 1, Film ①
- (3) Power Exercises, Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
- (4) Lesson 2, Film ②
- (5) Power Exercises, Film ③
- (6) Lesson 3, Film ③～④, Top of the world (Background of the singer), Questions
- (7) Power Exercise, (True or False questions), Film ⑤
- (8) Lesson 4, Film ⑤～⑥
- (9) Power Exercises, Film ⑥, レポート内容説明、指示
- (10) Lesson 5, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑥～⑦
- (11) Power Exercises, Film ⑧
- (12) Lesson 6, Film ⑧～⑨
- (13) Power Exercises, Film ⑨～⑩
- (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
- (15) 学期末テスト
- (16) 後期予定確認, リスニング問題, Wedding Ceremonies Expenses,
We' re All Alone
- (17) Lesson 7, Excellent power of memory, Film ①
- (18) Power Exercises, Coin changer, Film ①
- (19) Lesson 8, Diplomacy, Film ①～②
- (20) Power Exercises, プレゼンテーションについて指示、説明
- (21) Lesson 9, Film ②, She' s got a way.
- (22) Power Exercises, Film ②～③
- (23) Lesson 10, Film ③, The Story of O-TEI
- (24) Power Exercises, Film ③～④
- (25) プレゼンテーション確認, まとめ, 力だめし
- (26) プレゼンテーション ①
- (27) プレゼンテーション ②
- (28) Lesson 11, Film ④
- (29) Power Exercises, 一年のまとめ
- (30) 学期末テスト

準備学習

学生には、自らの無限の可能性を信じ、新たなる自分探しをしてもらいたい。授業は学生のやる気を大切にすすめていくつもりである。

履修上の留意点

予習が絶対条件となる。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨してもらいたい。真剣に取り組む姿勢を期待している。

成績評価の方法

出席・平常点(10%)、学期末試験(70%)、レポート(10%)、プレゼンテーション(10%)、真剣に打ち込む姿勢を評価したい。

教科書／テキスト

和田晋一、大東俊一ほか、『YOUR ACCESS TO THE FUTURE』, NAN' UN-DO PHOENIX, およびプリント配布

参考書

必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	261501
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	依田 ^{よだ} 梨花 ^{りか}

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、テレビの映像を使って、様々な話題にふれながら、リスニングとリーディングを中心に、総合的に英語の力を高めていきます。また、ジャパンタイムズやデイリー読売などの英字新聞から、法律に関連した記事を取り上げて、文法や構文、表現などに注意しながら、精読を行います。リスニングでは、音から意味がとれるように、また、音が既習の単語や表現とつながるように、色々な練習を行います。毎回、課題がありますので、きちんと準備して出席してください。一年後には、必ず力がつきます！
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：オリエンテーション／第2回以降：各ユニットを1～2回の授業で進めていきます／前期最終日と後期最終日は、定期試験を行います。
準備学習	毎回、予習となる課題を出します。復習には、小テストを行います。こつこつ積み上げていきましょう。
履修上の留意点	・英和の辞書を持参してください。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の三分の一以上欠席すると単位は取得できません。 ・遅刻3回で1回の欠席になります。
成績評価の方法	授業に取り組む姿勢を重視し、定期試験、小テスト、課題、授業中の発表などから、総合的に判断して評価します。
教科書／テキスト	塚野壽一 他著、『Exploring World Heritage on DVD — DVD でめぐる世界遺産 —』、成美堂、¥2,300、ISBN978-4-7919-3118-7
参考書	適宜、授業で紹介します。

外国語

履修コード	261601・261711
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	手島 ^{てじま} 敬子 ^{けいこ}

講義の到達目標(ねらい)	英語 IB に引き続き「読解力の向上」を目標に、語彙、文法に対する理解に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を効率よく、かつ正確に読み取る練習を行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～第14回：CASE1からCASE10の中から5～6ケースを取り上げて進める予定。第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：CASE11からCASE20の中から5～6ケースを取り上げて進める予定。 第30回：後期末試験
準備学習	予習を前提に授業を進めていきます。受講者は、教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
履修上の留意点	前期・後期末試験の受験と授業の2／3以上の出席が評価の必要条件となります。
成績評価の方法	前期・後期末試験(70%～80%)、課題、出席状況、授業への参加度に基づき総合的に行います。
教科書／テキスト	Richard Powell『法社会の落とし穴』 マクミランランゲージハウス ¥1800 ISBN-9784895852357

履修コード	261/01
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の到達目標(ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を公表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。 習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。 教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。
講義の内容／授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Unit1～Unit4 の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Unit5～Unit8の学習 12月 後期授業内テスト
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。 授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休職中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書／テキスト 参 考 書	The Third Man (朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15335-3 授業内で紹介の予定。

履修コード	261801
科目名	英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	田中 靖子

講義の到達目標(ねらい)	本授業では世界史に残る名演説の英文を講読しながら、語彙力、文法力、背景知識の習得をめざしていくことをねらいとします。
講義の内容／授業スケジュール	前期(1～14) リンカーン、マザー・テレサ、キング牧師のスピーチとその時代背景を学ぶ。読解力を向上させるために、文法事項や英語の構造を確実に理解する。(15) 総括 後期(1～14) ケネディの就任演説、ヘレン ケラー、アウンサン スーチのスピーチとその時代背景を学ぶ。(15) 総括
履修上の留意点	本授業は事前の予習を前提にして進めていくので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。
成績評価の方法	前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は、前期、後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。
教科書／テキスト	『心に残る言葉 (Words to Remember)』 桐原書店 580円

履修コード	262301
科目名	英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義の到達目標(ねらい)	IA、IIA からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一歩進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についてのリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書／テキスト	1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』(南雲堂) ¥1,600 2. 同上:『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262801
科目名	英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	岡本 誠

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

ⅡAを基礎として、時事・社会科学系の教材を用いて、高度な英語運用能力を身につける。経営学部の学生諸君を念頭に経済・経営関連の話題を基本的には読み、また聴く。取り上げる教材はアメリカのVOAという放送に求める。4月なら4月、5月なら5月、そのときそのときのリアルタイムのトピックスを追求していくので、このシラバス入力の時点でどんなものを読んだり、聴いたりするかは明記できないわけだが、過去の事例が参考になると思われるので、紹介しておく。あくまで例えばこんな話題、ということである。

- Making Sense of a Weak Dollar
- Why Oil Continues Its Climb
- Helping Subprime Borrowers: Too Little? Too Much?
- Petroleum: A Short History of Black Gold
- World Bank Finds China's Economy 40% Smaller Than Thought
- Quick Action Sought on Plan to Rescue Banks From Bad Debts
- The Credit Crisis Spreads to Banks Around the World
- Similarities, but Also Big Differences, Between Today's Crisis and 1930s
- Stock Market: The Business of Investing

準備学習

おそらく、講義開始後も「ドル安の行方」であるとか、「その後の世界の景気動向」あるいは「環境問題と企業経営」といったトピックスを扱うことになると思われる。

履修上の留意点

教材は事前に渡すので、予習しておくこと。また、自分で同じサイトにアクセスし、自分なりにさらに学習を幅広くすることが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

指名されたら発表すること。こちらは予習してあるものとして進めていく。ご存知のように、欠席は授業日数の三分の一を超えないこと。遅刻も極力避ける。被り物は取って教場に入る。ケータイはオフ。辞書を持参すること。

前・後期の試験の結果、指名されたときの発表状況、欠席・遅刻状況等を総合的に評価する。「講義の内容」でも記したように、特定の教科書を使用するわけではない。教材は担当者から渡す。

履修コード	297101
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義の到達目標(ねらい)

伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。

講義の内容/
授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものにします。(1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2-3) 発音の練習 (4-6) 動詞の変化、その1 (7-10) 名詞の格変化のいろいろ (11-15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16-20) 動詞の変化、その2 (20-23) 接続詞、受動文など (24-26) 形容詞、序数 (27-28) 関係代名詞と関係文 (29-30) まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社)2004年刊 2300円+税
ISBN978-4-8102-0839-7

外国語

履修コード	297201
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	藪下 絃一

講義の到達目標(ねらい) さまざまな理由でもう一度ドイツ語ⅠAを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

講義の内容／授業スケジュール ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。前期は、7課分離動詞まで、後期で、14課接続法まで終えます。

履修上の留意点 ドイツ語は決して難しくありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。

成績評価の方法 前期・後期試験および平常点(毎回その日の授業内容の復習練習をし点検します)で総合的に評価します。

教科書／テキスト 在問、ランドルフ:『ヴェーラとヴェルナー』、朝日出版社、2400円+税、ISBN978-4-255-25323-7C1084

履修コード	297401
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義の到達目標(ねらい) 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級-5級程度の力を身につけます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容／授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2-3) 発音の練習 (4-6) 動詞の変化: その1 (7-10) 名詞の格変化のいろいろ (11-15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16-20) 動詞の変化: その2 (21-24) 接続詞、関係代名詞と関係文 (25-28) 形容詞、序数 (29-30) 受動文など

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、予習・復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書／テキスト 春日・松澤『ブラーヴォ!ブラーヴォ!ブラーヴォ!』(郁文堂)2010年刊 2500円+税 ISBN978-4-261-01237-8

履修コード	297411
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	藪下 絃一

講義の到達目標(ねらい) 今年こそは単位をとって、専門の勉強に熱を入れて頑張るぞ、と言う気になって単位をとってもらいたい。だから文法の基礎をもう一度習って、ドイツ語を取ってよかったと思って欲しい。

講義の内容／授業スケジュール 19課あるテキストを、各課に1.5回を当てて講義を進めたい。練習問題はもとより地の文の訳も当ててもらいます。毎日が試験だと思ってください。

準備学習 これは絶対予習しないとダメです。青い顔をして勉強をしてください。教室で恥じかいて、赤い顔になって、覚えてください。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 前、後期ともに40点満点の試験ををし、平常点20点です。

教科書／テキスト 本郷(他):気分はドイツ:三修社:ISBN978-4-384-12260-2

その他 慣れるためにテレビやラジオのドイツ語講座も利用して下さい。

履修コード	355601・355602	
科目名	ドイツ語 I A [再クラス]	ドイツ語 I B [再クラス]
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一	

講義の到達目標(ねらい) ドイツ旅行をしている気分、口頭練習をして、これなら私でも話せる、と思える様になってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 1 2 課+アルファからなるテキストを1課に2講時を当てて勉強します。旅行中に出て来る場面で、どんなドイツ語を使ったら良いか分かるようになっています。それを覚えましょう。

準備学習 特に復習をしてください。

履修上の留意点 理解できるためには予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 前期、後期、ともに30点満点の試験を実施する。残りの40点は平常点です。

教科書/テキスト 大谷：言ってみよう、ドイツ語で！：同学社：2500+税 ISBN4-8102-0713-7 c1084

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	297501・297502	
科目名	ドイツ語 I B [再クラス]	ドイツ語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	しいづか きみね 飯塚 公夫	

講義の到達目標(ねらい) 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・キーセンテンスの暗記・文章の内容の理解が中心となります。

講義の内容／授業スケジュール 各回の内容の難易度と出席メンバーの顔ぶれによって、進度に差が出るので、各回きちんと決めておくことはせず、教科書通り、発音練習・文法説明・キーセンテンス暗記・練習問題・文章の読解という手順で、進められる所までやります。

準備学習 教科書を予習しておくこと。その際は、発音が間違っても声に出して読んでみるのが大事です。

履修上の留意点 語学なので、毎回当ててやってもらうわけですが、声を出してもらわないと授業が成立しないので、はじめから声を出す気のない人、あるいは極端に小さな声しか出す気のない人は、参加してもらいたくありません。(ただし、障害のある方及び、まだ日本語がうまく出来ない留学生の方は、事前に知らせてください。一番前に座ってもらって、特に気をつけて対応させていただきます。)

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。

教科書/テキスト 阪根良子著『ドイツ・サラダ [DVD 付]』(朝日出版社) 2,600円

履修コード	297601・297602	
科目名	ドイツ語 I B [再クラス]	ドイツ語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊	

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語に再チャレンジする人々にも、初めて学ぶ人々にも、ドイツ語を学ぶ楽しさを知って頂きたい。基礎的な知識を初めから丁寧に学びつつ、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたいと思う。

講義の内容／授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間の授業を進める。第1～2回：発音練習。第3～14回：教科書1～5課。第15回：中間テスト。第16～30回：教科書6～12課。発音を重視し、教科書の文や練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。また、必要に応じて復習を行う。最後に定期試験を行う。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題はしっかりと行い、授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかをととても高く評価します。中間テストと年度末の定期試験も評価の基準になる。

教科書/テキスト 関口一郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』 白水社 ¥2200

履修コード	297801・297802	
科目名	ドイツ語 I B [再クラス]	ドイツ語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	のじま としあき 野島 利彰	

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語の音と文に慣れるようにします。

講義の内容／授業スケジュール 練習問題の多い教科書なので、授業はその問題を皆さんにやってもらう形で進めます。出来る限り一回で、一課進む予定です。

履修上の留意点 練習問題の多くが、CDを聞くと、その中にドイツ語で答が出ていて、答が分かる仕組みになっています。従って、予習はCDを聴くことです。

成績評価の方法 七月と一月の試験の成績(7割)と出席回数(3割)で評価しますが、率先して練習問題に答えるなど授業に対する貢献度があればそれを加算します。

教科書/テキスト 大谷弘道著『新・問いかけるドイツ語』 三修社 2730円

履修コード	297901・297902
科目名	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	南 はるつ

講義の到達目標(ねらい) 文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。

講義の内容／
授業スケジュール 前期：範囲：教科書 Lektion1～5
第1回(ガイダンス、参考書等の紹介、発音)、第2～3回(人称代名詞、規則動詞の現在人称変化)、第4～5回(名詞の性、前置詞)、第6～7回(定冠詞・不定冠詞)、第8～10回(不規則動詞の現在人称変化)、第11～12回(定冠詞類・不定冠詞類)、第13～14回(形容詞の格変化)、第15回(ビデオ鑑賞)

後期：範囲：教科書 Lektion6～12

第1回(前期の復習)、第2回(中間テスト)、第3～4回(形容詞の比較級)、第5～6回(分離動詞・非分離動詞)、第7～8回(再帰動詞、接続詞)、第9～10回(語法の助動詞、未来形)、第11～12回(命令形、過去形)、第13～14回(現在完了形、関係代名詞)、第15回(試験)

履修上の留意点
成績評価の方法 ドイツ語を習得するためには授業にきちんと出席し、宿題をすることが不可欠です。夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書／テキスト 高橋泰雄・城間宏明著『おしゃれなドイツ語』 朝日出版社 2520円
ISBN:978-4-255-25316-0

参 考 書 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

外国語

履修コード	298001・298002・298003
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	森 公成

講義の到達目標(ねらい) 文法を最初から学びなおし、ある程度の読解力を身につける。
講義の内容／
授業スケジュール 一年をかけて、下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。前期は5課ないしは6課までを予定しています。
履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書／テキスト 小塩節著『ドイツ こころの旅』(朝日出版社)2,200円

履修コード	298101・298102・298103
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義の到達目標(ねらい) 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。基本的な表現は使えるようになりますよ！

講義の内容／
授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。テキストはできるだけ多くの表現練習を通して、基本的な仕組みを反復して身につけることを目指しています。

履修上の留意点 1-3) あいさつと自己紹介 4-7) 買い物をする 8-15) 家族のことを話す 16-20) 週末を予定は? 21-25) 駅やレストランで 26-30) Berlin 旅行の後で/お礼の手紙
テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
教科書／テキスト 山本 淳『じゃあ、またあした! -コンパクト版』(同学社)2010年刊 2500円+税、ISBN978-4-8102-0731-6

履修コード	298201・298202・298203		
科目名	ドイツ語Ⅱ A〔再クラス〕	ドイツ語Ⅱ B〔再クラス〕	ドイツ語Ⅱ C〔会話〕〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰		
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	ドイツ語の力を総合的に訓練します。 教科書に添付されているCDは家で聴いて来たものとして授業進めます。授業では何度もドイツ語を声を出して読んでもらいます。次に大まかに訳してもらいます。そして練習問題に入ります。練習問題を終えたら、もう一度本文に戻り、詳しく訳してもらいます。		
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	教科書に添付されているCDを何度も聞いてください。 七月と一月の試験の合計点(5割)、出席回数(3割)、予習の程度(2割)で成績を評価します。 佐藤、ピナウ、中村著『新ドイツに行ってみませんか』 郁文堂 2625円		

履修コード	355701・355702		
科目名	ドイツ語Ⅱ A〔再クラス〕	ドイツ語Ⅱ B〔再クラス〕	
担当者名	武田 利勝		
講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語文法の基礎をじっくり学習します。文法学習を通じてドイツ語という外国語の特徴を学ぶことで、異文化理解の楽しみを味わってもらえればと思います。		
講義の内容/ 授業スケジュール	前期(1~3)オリエンテーション、発音練習(4~5)動詞の現在人称変化(6~8)名詞の性と格変化、複数名詞(9~10)冠詞のさまざま(11~14)人称代名詞、疑問詞、前置詞		
履修上の留意点	後期(15)前期復習テスト(16~17)語法の助動詞(18)分離動詞(19)再帰動詞(20~22)動詞の3基本形、完了形(23)過去形(24~25)受動態(26~27)副文、従属接続詞(28)まとめ 予習は必要ありませんが、毎回の学習事項の復習は必須です。毎回、既習事項の小テストを行います。したがって、継続した出席が必要不可欠となります。欠席の場合は、予め必ず申し出ること。また、ノートは必ず取るように。		
成績評価の方法	いわゆる平常点として、毎回の小テストのスコアを勘案します。また後期初回授業に中間試験を、後期末に年度末テストを行います。評価の比率はそれぞれ全体の3分の1とします。		
教科書/テキスト 参...考...書	毎回プリントを配布します。 独和辞典は必携のこと。未購入の人には、『アポロン独和辞典』(同学社)をお勧めしておきます。		

履修コード	268701		
科目名	ドイツ語Ⅱ D〔再クラス〕		
担当者名	数下 紘一		
講義の到達目標(ねらい)	1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらにワンランク上の、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつうじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。これくらいのテキストは自分でドシドシ訳していけるようにしたい。		
講義の内容/ 授業スケジュール	9課に分かれています。各課に3講時を当てて読む訳をつける、逆に担当者から質問する、と講義を進めて行きます。ドイツにいるような気分になってくる内容です。		
準備学習 履修上の留意点	予習が絶対に欠かせません。ドシドシ当てます。3分の2以上出席すること。 聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが積極的に取り組む授業にしたいと思っています。かならず予習をしたうえで、辞書を持って授業に臨んでください。		
成績評価の方法 教科書/テキスト	前期後期に50点満点の試験を実施する。その点数によく学んだか、サボったか、が表れます。 須澤(他):体験するドイツ語:郁文堂:2600円+税:ISBN-261-01207-3 c1084		

履修コード	268801		
科目名	ドイツ語Ⅲ A〔再クラス〕		
担当者名	野島 利彰		
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	ドイツ語の力を総合的に訓練します。 聴く、音読する、訳す、を基本に授業を進めます。		
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	教科書に添付されているCDを何度も聞いてください。 七月と一月の試験の合計点(5割)、出席回数(3割)、予習の程度(2割)で成績を評価します。 佐藤、ピナウ、中村著『新ドイツに行ってみませんか』 郁文堂 2625円		

外国語

履修コード	298801・298802・298803
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	おぐろ まさふみ 小黑 昌文

講義の到達目標(ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い〔導入編〕：アルファベ・挨拶・自己紹介／動詞の活用／疑問文／名詞の性・数／形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い〔発展編〕：比較級・最上級／動詞の活用／命令法／複合過去／直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な参加・発言を期待しています。私和辞典はかならず持参すること（初回の授業で紹介いたします）。

成績評価の方法 前期末授業内試験（50％）と学年末試験（50％）を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書 伊勢晃、谷口千賀子著『ヴワラ！』早美出版社、2100円＋税 ISBN 978-4-86042-047-5
適宜紹介。

履修コード	299001・299002・299003
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	おぐろ まさふみ 小黑 昌文

講義の到達目標(ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い〔導入編〕：名詞の性・数／冠詞／主語と動詞／形容詞／不規則動詞の活用 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い〔発展編〕：疑問形容詞・所有形容詞／命令法／比較級・最上級／複合過去／関係代名詞／人称代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な参加・発言を期待しています。私和辞典はかならず持参すること（初回の授業で紹介いたします）。

成績評価の方法 前期末授業内試験（50％）と学年末試験（50％）を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書 斎藤昌三『ル・フランセ（新版）』白水社 1750円＋税 ISBN 978-4-560-06052-0
適宜紹介。

履修コード	299011・299012・299013
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	たにかわ かおる 谷川 かおる

講義の到達目標(ねらい) フランス語に親しみながら、基本文法を学び直す。

講義の内容／授業スケジュール 自己紹介―カフェでの注文―簡単な日常会話などを学ぶ。毎週、簡単なフレーズをいくつか暗記する。

履修上の留意点 出席重視。なるべく積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 前期・後期の暗唱テスト、筆記テストの点を基準とし、小テストの点を加算する。

教科書／テキスト
参 考 書 伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ？』、早美出版、2400円。
授業中に指示する。

履修コード	299301・299302・299303
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	いとう なお 伊藤 なお

講義の到達目標(ねらい) フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容／授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～15) 文法の基礎(名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など)と会話練習および読解 16)～29) 文法の発展(補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など)と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)

履修上の留意点 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。

成績評価の方法 前期末授業内試験（50％）と学年末試験（50％）を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書／テキスト 藤田祐二著『新・彼女は食いしん坊！1』（白水社）本体2500円

履修コード	299501・299502・299503
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	^{たにかわ かおる} 谷川 かおる

講義の到達目標(ねらい) フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容／授業スケジュール (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算する。
 教科書／テキスト フランク・デルパール他著『パス・パルトゥ』駿河台出版社、2,625円
 参考書 参考書は授業中に指示する
 その他 出席重視。

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	^{はせがわ みつあき} 長谷川 光明

講義の到達目標(ねらい) 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。
 講義の内容／授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形
 履修上の留意点 * 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
 成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
 教科書／テキスト 伊勢晃他『ヴワラ!』(早美出版社) 2,100円

履修コード	299601・299602・299603
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	^{はたなか ちあき} 畑中 千晶

講義の到達目標(ねらい) やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
 講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス／L1 (2) ~ (6) L2-4 (7) 復習 (8) ~ (13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出／L8 (17) ~ (21) L9-11 (22) 復習 (23) ~ (27) L12-14 (28) 復習／発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
 履修上の留意点 ① 毎回、辞書を持参してください。② 基本的に予習は不要。その代わり宿題を出します(平常点としてカウント)。
 成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
 教科書／テキスト リリアヌ・ラタンジオ／村松定史『続・小さなコント―読解からコミュニケーションへ―(CD付)』2004年刊(駿河台出版社) 2,500円+税

履修コード	299701・299702・299703
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	いまざき あん 今関 アン

講義の到達目標(ねらい)	2年次に習得できなかったフランス語理解を確実にするために、初級文法にさかのぼって復習しながら、テキストを読み進めていく。 時事や文化をテーマにしたテキストであるから、簡単なものでも興味を持って授業に臨めるであろう。
講義の内容／授業スケジュール	あわせてフランス語検定4級程度の実力をつけることを目的にする。 前期：(1) ガイダンス (2～7)「フランス語圏の国々」「ガリレオ対GPS」「国境なき医師団」、名詞、冠詞、主要動詞、規則動詞、否定形、疑問形 (8～14)「映画とブランド」「エスカルゴ」所有・指示形容詞、不規則動詞 (15) 前期末授業内試験 後期：(1～7)「テニス全仏オープン」「ステーキ」「フライドポテト」疑問形容詞・代名詞、比較級、命令法 (8～14)「アフリカのサッカー選手」「イブ・サン・ローラン」「カルフル」、目的の代名詞、過去時制、関係代名詞 (15) 定期試験
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	YeStudyに予習範囲、宿題、課題など随時告知するので、必ず確認しておくこと。 課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。 小テスト40%+定期テスト(60%) 『初級文法で読むフランス事情』駿河台出版社

外国語

履修コード	299801・299802・299803
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	くわた のりあき 桑田 禮彰

講義の到達目標(ねらい)	フランス語中級。
講義の内容／授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の文章をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。 (1) 受講上の諸注意 (2) 発音の基本の復習 (3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解 (16)～(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解 (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。特に4月授業開始時数回の授業は絶対に欠席しないこと。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト 参考書	授業開始時に受講者と相談の上決定。 そのつど授業で指示します。

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	はせがわ みつあき 長谷川 光明

講義の到達目標(ねらい)	フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意/つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞/半過去・大過去/関係代名詞・命令形・補語人称代名詞/現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞/受動態/強調構文・中性代名詞/条件法/接続法/間接話法・時制の一致 *毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト 参考書	沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社)2,200円

履修コード	271801
科目名	フランス語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義の到達目標(ねらい)	少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、会話、文法、演習、聞き取りなど、総合的なフランス語能力を養成するクラスです。仏検4級に合格できる実力を養成することを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	(1)～(2)受講上の諸注意／綴り字と発音の復習 (3)～(4) 郵便・手紙 (5)～(6) ホテル (7)～(8) ヴァカンス (9)～(10) 失業問題 (11)～(12) 環境問題 (13) 中間テスト (14)～(16) 礼儀作法 (17)～(19) ジャーナリズム (20)～(21) 教育制度 (22)～(23) フランスから見た日本 (24)～(25) フランス語圏 (26)～(29) 文学・思想 (30) 総復習
履修上の留意点	語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。
成績評価の方法	出席点、前期末中間テスト、定期試験で総合的に評価します。
教科書／テキスト	藤田裕二著『新訂版・えすかるご2』(朝日出版社)
参考書	授業開始時に教室で指示します。
その他	最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(クラウン仏和辞典、プチ・ロワイヤル仏和辞典、DICO 仏和辞典など、書籍版の辞書を推奨します)を用意し、予習段階から活用すること。

外国語

履修コード	271901
科目名	フランス語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小黒 昌文 <small>おぐら まさふみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	初級文法の基礎知識を確認しながら、平易なテキストの読解を進めてゆきます。中級への足場固めとして活用してください。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス：受講上の注意 (2)～(15) 初級文法の知識に基づいたテキスト読解、および中級への橋渡し (16)～(29) 中級文法の習得と実践を目的としたテキスト読解 (30) 総復習と今後の学習の展望
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介します)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	授業開始時に受講者と相談のうえ決定。
参考書	適宜紹介。

履修コード	300601・300602・300603
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>

講義の到達目標(ねらい)	発音や文法を丁寧に説明し、再履修の学生が初級中国語を挫折しないで最後まで学び終わられるようにする。
講義の内容／授業スケジュール	発音、初級文法・初級表現を学ぶ。前期はピンイン・四声をしっかり学び直し、「是」「有」「在」の文など初級文法の前半を勉強する。後期は引き続き発音練習を重視しながら助動詞・介詞・補語など初級文法の後半を学び終える。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を要する。今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。
教科書／テキスト	本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税

履修コード	301201・301202・301203
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>あまの せつ</small> 天野 節

講義の到達目標(ねらい) 中国語の発音、初級文法を修得する
 講義の内容／
 授業スケジュール (1) 発音表記の仕方と発音練習 (1～4)
 (2) 人称代名詞、指示代詞。動詞、形容詞述語文等 (5～7)
 (3) 数詞、時間詞、動量詞。名詞述語文等 (8～10)
 (4) 助動詞、動態助詞等 (11～13)
 (5) 補語 (1)、比較文等 (14～16)
 (6) 補語 (2)、“把”構文等 (17～19)
 (7) 受身、使役文等 (20～22)
 (8) 存現文、関連詞等 (23～25)

履修上の留意点 遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
 成績評価の方法 授業内テスト+出席+課題および授業態度の総合評価
 教科書／テキスト 王紅艶他『話す中国語・読む中国語 你好!晴佳』2010年発行(朝日出版社)2300円

履修コード	301301・301302・301303
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>こじま こういちろう</small> 児島 弘一郎

講義の到達目標(ねらい) 外国語としての中国語の基礎をゼロから学び直します。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容／
 授業スケジュール 開講後しばらくは中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、テキストに沿って基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、標準的な発音を身につけることが最も重要な課題です。学習者の状況を見つつ、全20課から成るテキストを、大体1課ずつ進めます。折に触れて附録の映像も使い、中国および中国語への興味を喚起します。

準備学習 予習の必要はありませんが、テキストを使った対話練習を毎回行なってもらいます。よどみなく正確に発音できるよう、準備が必要です。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。遅刻厳禁。初級は音声の習得が第一なので、恥ずかしがらずに大きな声で発音することが大事です。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とし、年間4回実施する試験(8割)、対話練習(2割)によって評価します。
 教科書／テキスト 楊凱栄・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社 ¥2500円+税)
 その他 授業内容を自宅で効率的に復習できるよう、YeStudyを活用します。

履修コード	301401・301402・301403
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>ふせ なおこ</small> 布施 直子

講義の到達目標(ねらい) 入門初級段階をていねいにゆっくり学習。

講義の内容／
 授業スケジュール 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。

履修上の留意点 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。

成績評価の方法 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
 教科書／テキスト 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502・301503
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子

講義の到達目標(ねらい) 当初は、発音や基本的な文法の確認を行います。テキストは文法説明と練習問題、簡単な会話文から構成されています。

講義の内容／
授業スケジュール

一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指していきます。

- 第1回 発音・声調確認 他
第2回～第14回 本文・練習問題等
(うち1回は中間テスト)
第15回 期末テストの予定
第16回～第29回 本文・練習問題等
(うち1回は中間テスト)
第30回 学年末テスト

成績評価の方法

課が終了するごとに、チェック用のプリントを配ります。
テストはプリントの中から出し、6～7割取れるように作成します。
成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断します。
中国語Ⅰは、中級中国語の基礎となるものなので、出席しているだけでは単位は取れません。
ある程度の成績を取るようになしてください。

教科書／テキスト

南雲 智 他『始めよう!中国語』白水社 2100円 ISBN 978-4-560-06912-7

外国語

履修コード	301511・301512・301513
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(ねらい)

中国語・中国に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容／
授業スケジュール

基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。(半期15回、通年30回)

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。ただし、私語厳禁。出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書／テキスト

竹島金吾監修 尹 景春・竹島 毅著『中国語はじめての一步』(白水社) 2200円+税

参 考 書

開講時に説明する。

履修コード	356001・356002
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義の到達目標(ねらい)

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：中国語の特徴、中国語を学ぶ意義について、第2-3回：発音、簡単なあいさつ、第4-8回：動詞、形容詞の基本文型、疑問文、助動詞、第9-13回：日付・曜日・時刻の言い方、比較表現、前置詞、第14-15回：前期試験、解説。第16-21回：完了形、様態補語、存現文、第22-27回：進行形、持続形、結果ほど、方向補語、第28-30回：復習、後期試験、解説。

準備学習

*基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

予習、復習すること。

成績評価の方法

中国語を学ぶ意義を充分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。

教科書／テキスト

出席率(4割)、定期試験の成績(3割)、平常点(3割)の三項目で総合評価する。

南雲智・趙暉『始めよう!中国語』白水社、2100円+税

履修コード	301801・301802・301803
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>
講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。 前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。 授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。 陳淑梅ほか『しゃべっていいとも中国語』朝日出版社 2,300円 授業内で指示します。

履修コード	301901・301902・301903
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男 <small>おおくぼ あきお</small>
講義の到達目標(ねらい)	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。 中国の歴史、文化、社会などに対する理解を深めること。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回：中国語の特徴、中国語を学ぶ意義について、第2-3回：発音、簡単なあいさつ、第4-8回：動詞述語文、形容詞述語文、疑問文、助動詞、第9-13回：日付・曜日・時刻の言い方、前置詞、数量補語、第14-15回：前期試験、解説。第16-21回：二重目的語、連動分、動詞の重ね型、第22-27回：比較の表現、可能の表現、数字、第28-30回：復習、後期試験、解説。 *基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	毎回予習、復習すること。 中国語を学ぶ意義を心得、つねに意欲的、積極的に授業に参加すること。 出席率(4割)、試験の成績(3割)、平常点(3割)の三項目で総合評価する。 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 スリム版1』朝日出版社、1500円+税

履修コード	302001・302002・302003
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	李 雲 <small>り 雲</small>
講義の到達目標(ねらい)	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト そ の 他	平常の練習が大切なので必ず出席すること。 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。 内田慶子等「中国語への道—近きより遠きへ—」金星堂2380円 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	356201・356202
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>
講義の到達目標(ねらい)	やや長めの文章を読んでいきます。 一步進んだ語学力を身につけ、中国に対する理解を深めることを目標としていきます。
講義の内容/ 授業スケジュール	全8課の内、2課ごとにテストを行います。(1課は6頁あります) 年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で2課ずつ進むこととなります。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
成績評価の方法 教科書/テキスト	4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。 池上貞子 也『中国ってこんな国!』朝日出版社 1900円+税 ISBN 978-4-255-45154-1 C 1087

履修コード	278801
科目名	中国語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(わらい) 中国語の平易な文章を読んでゆく。
 辞書を引けば、自分で中国語の文章を読めるよう、読むための基礎を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 1課を前期は2回、後期は2～3回のペースで進めてゆく。
 前期は6課まで。

履修上の留意点 必ず予習をして、授業にのぞむこと。
 本文を自分で訳し、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法 前後期の中間・期末テストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。

教科書／テキスト 崎原麗霞『音読したい中国語 中級』(朝日出版社) 2300円+税

参考書 中日辞典(授業の時必ず携帯すること)

履修コード	278901
科目名	中国語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	天野 節 <small>あまの せつ</small>

講義の到達目標(わらい) 中国社会への関心に応える文章に慣れ親しみ、原文を読むための基礎作りをする。

講義の内容／授業スケジュール (1) 2009年念頭の願い、“不折騰”(2～3)
 (2) “家電を農村へ”政策を巡って(4～5)
 (3) 簡体字論争とネット言語論争(6～7)
 (4) 魅惑の地麗江、風趣満載(8～9)
 (5) 明日の仕事は一体どこに(10～11)
 (6) 震災後の北川、初めての集団結婚(12～13)
 (7) “四不象”里帰りの物語(2～3)
 (8) ネットで嫁さん募集、真剣なんです！(4～5)
 (9) 漢族の民族服はいかが(6～7)
 (10) 男女の退職年齢一本化、路険し(8～9)
 (11) 中国人をファッションステージに(10～11)
 (12) 二つの故宮博物館(12～13)

履修上の留意点 遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。

成績評価の方法 授業内テスト+出席+課題および授業態度の総合評価

教科書／テキスト 三瀬正道・陳祖裕『2010年版時事中国語の教科書』2010年刊(朝日出版)1,900円

履修コード	279101
科目名	中国語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	王 聡 <small>おう そう</small>

講義の到達目標(わらい) 中国文化を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 前期
 第1回 ガイダンス・復習
 第2回～第13回 話題:「あいさつの話」・「中国茶の話」・「接客の話」・
 「十二支の話」・「外国語学習の話」・「外来語の話」・「方言の話」
 文法:「要是」・前置詞の「給」・「一～就～」・兼語文・受身文・比較文・結果補語・
 可能補語など。
 第14回～第15回 復習と前期テスト

後期
 第1回 復習・練習問題
 第2回～第13回 話題:「漫画の話」・「趣味の話」・「色の話」・「お土産の話」・
 「天気の話」・「環境の話」・「映画の話」・「休日の話」
 文法:「会」・「能」・「把」構文・動詞の重ね型・動作の進行・使役文など
 第14回～第15回 復習と後期テスト

履修上の留意点 辞書を用意し、予習と復習をちゃんとする。

成績評価の方法 前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(出欠席状況、授業態度など)20%

教科書／テキスト 相原茂他著『ドリル式中国語テキストⅡ—日本と中国』、くろしお出版、1,800円+税、ISBN4-87424-098-4 C3087

参考書 特に指定がありません。

履修コード	302601・302602・302603
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさか 大岩 功

講義の到達目標(ねらい) 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容／
授業スケジュール 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習
履修上の留意点 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。
必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書／テキスト 『Aventura』立岩礼子他著 同学社

参考書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

外国語

履修コード	302701・302702・302703
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語の初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけ、日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。7月には簡単なあいさつや自己紹介、道を聞くことが、12月には簡単な雑談や自分の意見が言え、さらに西検6級の力がついているでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール (1)オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
(2)1課:こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser)、2課:私の母です(estar)、3課:このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-10)
(3)4課:君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(11-14)
(4)中間試験(15)

(5)5課:私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞)(16-19)
(6)6課:一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(20-23)
(7)7課:何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課:ああ残念!(直説法現在3)(24-29)
(8)期末試験(30)

準備学習
履修上の留意点 YeStuDayを使用しますので各自、予習・復習に役立ててください。
出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。

成績評価の方法 出席(20%) + 授業態度・積極性(10%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(5月後半(5%)、11月前半(5%) + 毎回の授業の確認テスト(YeStuDay上)(5%)

教科書／テキスト 内田/尾尻/稲森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円

参考書 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。
オフィスアワーは毎週火・木曜日12:15~13:00)です。

履修コード	302801・302802・302803
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	いしい のぼる 石井 登

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1~6課、後期は7~12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser、estar動詞、形容詞など、(6~10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11~15)目的語の人称代名詞、gustar動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16~20)点過去、線過去、現在分詞など、(21~25)過去分詞、再帰動詞など、(26~30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書／テキスト 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社2600円978-4-255-55023-7

履修コード	303001・303002・303003
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	おきの めぐみ 荻野 恵

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストにそって、文法の説明と練習を進める。 前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。 後期：不規則動詞、再帰動詞など。
成績評価の方法 教科書／テキスト	成績は出席(2割)、テスト(8割)を総合して評価する。 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

履修コード	303011・303012・303013
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	さとう まりの 佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい)	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、(それを証明できる文書等を提出した場合に限り)後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。
教科書／テキスト	未定(プリント配布の場合もあり)

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	くりはやし ゆき絵 栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい)	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-10)、再帰動詞(11-13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書／テキスト	栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参 考 書	『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	303101・303102・303103		
科目名	スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕
担当者名	山辺 絃		

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習した基礎を確認しつつ、さらなる文法の理解を深めます。前期は主に既習事項の復習に当てます。初歩的な文法知識を一通りマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な力をつけることが目標です。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は0課～10課まで、後期は11課～18課を学習します。

前期
 (第1回) オリエンテーション
 (第2～4回) 冠詞・形容詞の変化、ser、estarの用法、直説法現在の規則的活用など
 (第5～9回) 不規則動詞の活用、代名詞、gustar型動詞の用法 など
 (第10～14回) 再帰動詞、直説法点過去・線過去・現在完了の活用、無人称文など
 (第15回) 定期試験

後期
 (第16回) 前期学習事項の復習
 (第17～21回) 現在分詞、関係詞、比較級など
 (第22～26回) 直説法未来・過去完了・過去未来形の活用、感嘆文など
 (第27～29回) 接続法現在・過去形の活用、命令表現など
 (第30回) 定期試験

準備学習 随時、練習問題やその他の課題を課します。

履修上の留意点 各課のスキット部分や練習問題などは随時指名して音読や回答をしてもらいます。理解度をみながら進めるので、上記授業スケジュールには多少の変更が生じることがあります。

成績評価の方法 年2回実施するテストの結果を70%、出席点および授業態度・授業参加による平常点を30%として評価します。

教科書／テキスト 田村さと子『アニモ!』白水社、2200円

外国語

履修コード	303201・303202・303203		
科目名	スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕
担当者名	大岩 功		

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Ⅰで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力を深化させることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回 1つの長文を2回～3回の授業で読み進めます。スペイン語Ⅰで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
 後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、完了時制、未来時制、などを学習します。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。
 履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書／テキスト 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社

※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。

参 考 書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	303301・303302・303303		
科目名	スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	スペイン語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕
担当者名	石井 登		

講義の到達目標(ねらい) スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。

前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser、estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11～15)点過去、線過去など。

後期は(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書／テキスト 福嶋教隆『生き生きスペイン語』朝日出版社2000円 978-4-255-55013-8

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりばやし ゆきえ</small> 栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい)	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。
講義の内容／授業スケジュール	前期は現在・点過去・線過去の復習(1回)、再帰動詞(2-4回)、現在完了(5-7回)、分詞(8-10回)、読み物(11-15回)の予定。 後期は、未来と過去未来(1-3回)、接続法(4-6回)、命令文(7-9回)、読み物(10-13回)、復習(14-15回)の予定。 余裕があれば、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読を行う。 最終授業時は作文と和訳の試験を実施する。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。平常点の配分を高くしているので日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 いかなる理由でも、試験(課題)のみの参加者には単位を認めない。 辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点60%(授業態度40%、出席20%)、期末試験40% 栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参 考 書	(辞書)『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

外国語

履修コード	282801
科目名	スペイン語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>よこふじた としやす</small> 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい)	初級で学んだスペイン語の文法知識の向上を目指します。テキストはこれまで学習した文法事項の復習とともに、新しい文法事項も学べる初級～中級の講読本となっています。 これを毎回読み進めていくことにより、短いスペイン語の文章なら読むことのできる力が身につくはずです。
講義の内容／授業スケジュール	受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては、1課をだいたい2回かけて進め、文法などの補足説明や練習問題を行う予定です。また、DVDも鑑賞する予定です。 前期：第1課から第6課(動詞の活用の確認、目的格代名詞、再帰動詞、現在完了、点過去・線過去など) 後期：第7課から第12課(関係詞、未来形、過去未来、接続法現在など)
履修上の留意点	授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30% 福嶋教隆『愛でる!スペイン語』(朝日出版社)、2500円 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282811
科目名	スペイン語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Ⅰで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容／ 授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を学習します。必要な文法事項を補充し、口頭および筆記の練習をしてゆきます。 スペイン語圏にある世界遺産を話題にした対話文を通じて、読解力だけでなく平易なスペイン語での表現力向上も図りましょう。 前期(1)オリエンテーション (2～5)直説法現在、指示詞など (6～10)点過去、比較表現など (11～15)時間・天候等の表現、数詞など 後期(16～20)関係詞、など(21～25)接続法現在、など(26～30)接続法現在完了、接続法過去完了、など
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法 教科書／テキスト	年間4回のテストの結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。 禅野美帆、他『世界遺産を訪ねて』(朝日出版社) 2,300円

外国語

履修コード	283001
科目名	スペイン語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	齊藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な上台の完成に努めます。文法は勿論のこと専用問題集を利用して幅広い語彙習得やヒアリング能力を高めます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)現在形の復習(1-3)(2)再帰動詞、比較、現在完了、受け身、無人称の復習(4-6)、(3)点過去の復習(7, 8) (4)線過去の復習(9, 10)(5)未来形、過去未来(11, 12)(6)命令形(13)(7)復習(14)(8)中間試験(15) (9)接続法現在①(16-18) (10)接続法現在②(19-21) (11)接続法現在③(22-24) (12)接続法過去(25・26) (13)条件文(27・28) (14)まとめ(29) (15)後期試験(30)
履修上の留意点	新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席(20%) + 授業内の発言、態度(20%) + 前期・後期試験(それぞれ25%) + 小テスト(10%) GIDE 語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円 テキストは毎回配布します
参考書 その他	参考書 講義中に推薦する辞書から自分に合うもの活用しましょう。 オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15～13:00)です。

履修コード	303501・303502・303503
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{すやま ひでこ} 杉山 秀子

講義の到達目標(わらい)

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

4—7月はイントネーションや発音に力点をおき、9—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

試験は行わず、平常点で評価します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書

外国語

履修コード	303701・303702・303703
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{きむら ひであき} 木村 英明

講義の到達目標(わらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、ユーラシア大陸全域で幅広く通じる言語です。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、ますますグローバル化する社会において、コミュニケーションツールとしても、受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。

前期(4月—7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。後期(9—12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーション例文を用い、音声面に十分な注意を払っていくようにします。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いたいと思います。

受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しく声を出して授業に参加してください。

授業の出席と平常の受け答えを重視し、年2回の定期試験の結果も加味して評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
『露和辞典』

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	303801・303802・303803
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	安徳 <small>あんどく にーな</small> ニーナ

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語とともに国連の公用語に指定されています。また、欧州地域では話者人口が最も多い言語でもあります。ロシア語を学習することは、学問や芸術の理解を深めるだけでなく、ビジネスなど実用的な見地からも大きな意義があります。

講義の内容／
授業スケジュール

この授業では、ロシア文字の読み方、発音から始まり、基本的な文法と表現の習得を目指します。教科書に基づいて講義を進めます。

前期（4—7月）文字と発音、イントネーションの練習をしながら、初級文法を使った簡単な会話を練習します。

後期（9—12月）初級文法の事項を確認しながら、徐々に語彙を増やしてやや長い文の読み書き、会話の受け答えを学びます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

要点の復習は必ずしてほしい。

講義の中で時々行う練習問題への取り組み方、日ごろの学習態度など平常点を重視します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）

必要に応じてその都度資料を配布します。

外
国
語

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	廣田 <small>ひろた ひでやす</small> 英靖

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語（英、仏、中、露、スペイン、アラビア語）の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション（ISS）に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年秋にも退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。

4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,890円

範囲 1課から10課まで。

参 考 書

『露和辞書』

履修コード	303901・303902・303903
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	4—7月 発音、会話を学ぶ。 9—12月 会話力を一層高める。 出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半、 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林 定価1751円、 その他プリント配布。
その他	ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

履修コード	304001・304002・304003
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義の到達目標(ねらい)	発音や初級文法から見直して、きちんとしたロシア語が使えるようになります。
講義の内容／ 授業スケジュール 準備学習	1～10回：発音・初級文法の復習、11～15回：初級文法の発展、16～20回：初級文法の完成、21～30回：やさしいロシア語文章の読解 新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果があるので、そのためのトレーニングと考えるとよいでしょう。
履修上の留意点	言語の学習は少しずつコツコツと行えば、必ず結果がでます。語学学習を通して確実性や安定性を身につけましょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点（5割）と期末試験（5割）で総合的に評価します。 安德ニーナ他『21世紀のロシア語』大学書林 笹尾道子『やさしいロシア語読本』大学書林
参 考 書 関 連 リ ン ク	木村彰一他編『博友社ロシア語辞典』博友社 http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/

履修コード	304101・304102・304103
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどく にーな</small> 安德 ニーナ

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連の公用語として、英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国際社会で重要な位置を占める言語です。ユーラシア大陸全域で広く通じる言葉でもあり、今後日本人がロシア語を学ぶ意義はますます増大するはずで この授業では、ロシア語Ⅰで学習した初級文法をもとに、よりコミュニケーションなロシア語のスキルを高めることを目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	教科書と配布資料に基づいて講義を進めます。 前期（4—7月）日常の会話表現に重点を置きながら、ロシア語Ⅰで習得した文法事項を復習します。 後期（9—12月）比較的平易なテキストの読解と、その内容についての受け答えを通して会話練習をします。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	要点の復習は必ずしてほしい。 授業の中で時々行う練習問題や会話練習など、平常の学習態度を重視します。 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林） 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	ひろた ひさやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめがめます。
講義の内容／ 授業スケジュール	○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。 ○4-7月 基礎文法の復習 ○9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。
履修上の留意点	PC 教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	出席と平常点を重視します。 既習の教科書と文法表。 『露和辞書』 プリント配布。教場にて指示します。

外国語

履修コード	284701
科目名	ロシア語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 4-7月 発音、イントネーション 9-12月 文法と会話に力を入れる
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。 4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。 9-12月 応用会話を展開する。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

履修コード	264201・264301・264401・264501
科目名	英会話 I
担当者名	ウェルズ、 J. K.

講義の到達目標(ねらい) WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

講義の内容/
授業スケジュール

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting)is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

履修上の留意点

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書/テキスト

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

そ の 他

The first class is VERY important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

外国語

履修コード	264601・264701・265001・265101・265311
科目名	英会話 I
担当者名	ミックエリゴット、 J. P.

講義の到達目標(ねらい) This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容／授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

履修上の留意点 This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

成績評価の方法 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

教科書／テキスト GPA 方式
Dale Fuller & Clyde Grimm 著 New Airwaves Developing Better Listening Skills
Macmillan Language House ¥2,100

参 考 書 Bilingual dictionary

外
国
語

履修コード	264801・265321
科目名	英会話 I
担当者名	レーン、 C. M.

講義の到達目標(ねらい) WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容／授業スケジュール First Semester: Pairwork in which students will practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be a three minute presentation.

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your speaking skills. Also, small group discussion and pairwork about more serious issues will be studied. Your final exam will be another presentation but slightly longer and about a more serious topic than in the first semester.

履修上の留意点 There is a maximum of 30 students in this class. If there are more than 30 students the first day of class, I will choose 30 students after giving a short written interview. So please DO NOT take this class if you are not sincere about learning. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important, and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during a semester. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

成績評価の方法 Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 30 students in the classroom!

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書／テキスト There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I will provide you with in the class. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with A4 sized prints so a file larger than A4 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

そ の 他 I really enjoy teaching and hope that you will enjoy the class too. All you have to do is try to speak. Fluency is the most important thing! Communicating is more important than worrying about speaking and so staying quiet. If you feel you would like to try to speak out in class in English then please come to my class!

履修コード	264901・265201
科目名	英会話 I
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい)

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容／
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when...? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of...? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書／テキスト

Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	265301
科目名	英会話 I
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(わらい) This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容／
授業スケジュール [1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final Exam using selected textbook activities.

準備学習 In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.

履修上の留意点 Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法 Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書／テキスト author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

参 考 書 none
そ の 他 none

外
国
語

履修コード	351201
科目名	英会話 I
担当者名	ロビン、 G. F.

講義の到達目標(わらい) This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.

講義の内容／
授業スケジュール Lesson 1 and 2: Abilities
Lesson 3 and 4: Time and Date
Lesson 5 and 6: Daily Routine
Lesson 7 and 8: Location and Moving Things
Lesson 9 and 10: Directions
Lesson 11 and 12: Personal Information
Lesson 13 Speaking test
Lesson 14 and 15: Family
Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes
Lesson 18 and 19: About Tomorrow
Lesson 20 and 21: The Past
Lesson 22 and 23: Describing People
Lesson 24 and 25: In a Restaurant
Lesson 26 and 27: Making comparisons
Lesson 28 Review
Lesson 29: Rehearsal for speaking test
Lesson 30: Speaking test

成績評価の方法 40 attendance and participation in class
40 speaking tests
20 homework assignments

教科書／テキスト Fifty-Fifty, Book 1
by Warren Wilson and Roger Bernard
Longmans

履修コード	287401
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	セイジ、 K

講義の到達目標(ねらい) Semi-challenging pair based discussion course. The course aims to build on your discussion skills - agreeing and disagreeing and compromising on global issues in society. The teacher is a facilitator in this class and students will be expected to contribute their own ideas or provide support material for in class topics from online current affair type websites.

講義の内容/
授業スケジュール

Each class:
-Pair work, discussion, give opinions on certain topics
-Agree, disagree and compromise on certain topics and others' opinions

Topics:
-Current world affairs from the internet
-Global and societal issues from the internet

English skill focus: SPEAKING, BUT...
- LIGHT reading of internet materials linked to YeStudy, will be encouraged before and after class.
- Individually, you must contribute to class topics by finding your own supporting articles/materials in English on the internet, then link to YeStudy.

Tests:
1st semester:
1-2 x mini-pair rotation
1 x individual with teacher

2nd semester:
2 x extended pair
1 x individual with teacher

準備学習

Keep up to date with world current affairs and global issues via online internet websites - in English is preferable.

履修上の留意点

English discussion focus; so, review in class readings and be prepared to come to every class ready to discuss your own ideas.

成績評価の方法

An interview test may be conducted to check proficiency if student numbers are too high, but ultimately your attitude is everything.

1. Speaking Tests (70-80%)
1st semester:
a) mini pair rotation speaking test 1
b) mini pair rotation speaking test 2
c) individual speaking test with teacher 1
2nd semester:
d) extended pair speaking test 3
e) extended pair speaking test 4
f) individual speaking test with the teacher 2

2. Attitude (class contributions & activeness) & attendance (10-20%)

3. YeStudy work: individual contributions to & use (10% -20%)

Review and brief reading of YeStudy linked internet materials will be essential to your success in this course

教科書/テキスト

There is no textbook. Some printouts will be given, but mainly online internet articles linked to YeStudy will provide our study material.

関連リンク

<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

外国語

履修コード	287501
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(ねらい) This discussion-oriented class will help students to think critically, make opinions and express those opinions in English. This course will also help students better understand how TV commercials are crafted as well as better understand the differences between the American and Japanese cultures as seen in each country's TV commercials.

講義の内容／
授業スケジュール [1] Class introduction with a discussion of the criteria we will use in class to evaluate TV commercials. [2-29] During the first half of the class students will be shown selected American TV commercials and the effectiveness of each commercial will be discussed. During the second half of each class students will show the class a Japanese TV commercial and discuss that commercial's effectiveness with the class. [30] Exam.

準備学習 Students will prepare an evaluation of a Japanese TV commercial at home and discuss the commercial with other students during class.

外国語 履修上の留意点 It is recommended that students have access to a VHS video player [or a friend who does]. This is a discussion class so students must speak English during class and share their ideas with other students. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法 Students will be graded on their TV commercial evaluations and the Final Exam.

教科書／テキスト none

参考書 none

履修コード	287601
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい)

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容／
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when...?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書／テキスト

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	354301
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ロビン、 G. F.

講義の到達目標(ねらい) This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade. This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials.

Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects.

Enjoy and Learn!

講義の内容／授業スケジュール 1 unit every 2 weeks from the texts and other activities using other materials.

Week

1 Introduction

2 Asking Question

3 Unit 1

4 Unit 1

5 Unit 2

6 Unit 2

7 Unit 3

8 Unit 3

9 Unit 4

10 Unit 4

11 Unit 5

12 Unit 5

13 Review

14 Rehearsal for Speaking Test

15 Test

16 Unit 6

17 Unit 6

18 Unit 7

19 Unit 7

20 Unit 8

21 Unit 8

22 Unit 9

23 Unit 9

24 Unit 10

25 Unit 10

26 Review

27 Review

28 Conversation activities

29 Rehearsal

30 Test

履修上の留意点 1) Speak English whenever possible.

2) Do homework if assigned.

3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note.

4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.

成績評価の方法 40 attendance and participation in class

40 speaking tests

20 homework assignments

教科書／テキスト

1) Inside English, High Beginner Student Book, Susan Kay et al., (Longmans)

履修コード	287701
科目名	英会話Ⅲ
担当者名	ウェルズ、 J. K.

講義の到達目標(ねらい) English Conversation III

講義の内容/
授業スケジュール

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held(in most cases)entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

First Semester:

Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!

履修上の留意点

Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.

ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class.

There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.

成績評価の方法

Attendance: 50%

Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書/テキスト

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded.

Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used.

そ の 他

Notebooks will be checked in the second class.

I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.

If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class.

SEE YOU IN CLASS!

外
国
語

履修コード	287801
科目名	英会話Ⅲ
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい) Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
 講義の内容／ Class 1 Introduction
 授業スケジュール

- 2-3 Food
- 4-5 Sport
- 6-7 Travel
- 8-9 Entertainment
- 10 Review
- 11-12 Things
- 13-14 Health
- 15 Review
- 16 Speech
- 17-18 Fashion
- 19-20 Likes + Dislikes
- 21-22 Time
- 23 Review
- 24-25 Illness
- 26-27 Music
- 28-29 People
- 30 Review

外国語

履修上の留意点 As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult.

成績評価の方法 (ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Individual presentation 10%
 (エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書／テキスト Students will choose the textbook(s) at the first class.

履修コード	265401・265801・265901
科目名	英語LLI
担当者名	セイジ、 K

講義の到達目標(ねらい)

This is an integrated English skills course in the computer rooms. You will be expected to use computers (YeStudy) and also integrate the 4 skills - a little bit of: reading, listening, writing and speaking - in pairs for class activities. It should be a challenging course for some, but the teacher will give you time and help in class.

講義の内容/
授業スケジュール

Each class:
-Pair work activities or small group work activities
-Internet based activities from YeStudy (computer work)
-Interactive classroom activities

Topics:
-Global topics introduction from the internet
-Social issues introduction from the internet
-Student ideas for topics chosen from the internet

English skill focus:
-Sometimes speaking, sometimes reading, sometimes listening, sometimes writing and always mixed with either speaking, reading, listening or writing

1st semester:
2-3 x mini in-class integrated activity tests

2nd semester:
3 x mini in-class integrated, staged activity tests

準備学習
履修上の留意点

Be prepared to use YeStudy. Teacher help and helpdesk available.
Make sure you have a computer login ID. 1st class registration is essential. There may be an entrance test, depending on numbers of students wishing to take this course.

成績評価の方法

1. Integrated activity tests (60-70%)
1st semester:
a) mini-pair presentation with Q&A activity
b) pair rotation activity
c) other activity

2nd semester:
d) mini-individual presentation with Q&A activity
e) pair rotation and Q&A activity
f) knowledge exchange pair rotation activity
2. Attitude (class contribution & activeness) & attendance (15-20%)
3. YeStudy work: individual contributions to & use (15-20%)
You must review YeStudy materials before and after class

教科書/テキスト
関連リンク

There is no textbook. Online internet materials linked to YeStudy will be used.
<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

外国語

履修コード	265501
科目名	英語 L L I
担当者名	井伊 順彦

講義の到達目標(ねらい) 日本人が苦手とする英語の発音について具体的に説明し、日本式発音からの脱却をめざすほか、聴き取りや書き取りを通して実践的な英語力の増強をめざす。

講義の内容／授業スケジュール クラスの実力を見定めたいうえで、適正なペースで教科書の問題に取り組んでゆくほか、必要に応じてDVDやビデオも活用する。

準備学習 教科書に付属しているCDを活用するなどが考えられるが、詳しくは教室で指示する。

履修上の留意点 毎回、こちらの指導のもと、学生諸君が自主的な発音練習をしたり、質問に対して口頭で解答したりするなどの機会を設ける。積極的な姿勢を求めたい。

成績評価の方法 本授業の性格上、希望者が多数の場合には、なんらかの選考をおこなう必要があるため、第一回目の授業に出席することを履修の条件とする。

教科書／テキスト 「数回の小テストの成績」、「毎回の授業での活動状況」、「出席数」を柱とするが、詳しくは教室で説明する。

Listening World (『話すためのリスニング』) 南雲堂 1,900円(税別)

履修コード	265601・265701
科目名	英語 L L I
担当者名	勅使河原 三保子

講義の到達目標(ねらい) 英語による口頭コミュニケーション力を養成する。英語のリズムに慣れ、聴解力を向上させ、口頭での応答に、より自信を持てるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 前期：毎回授業時間の半分ほど英語のリズムに関する口頭練習を行い、残りをペア・グループによる会話練習等に充てる。後期：環境問題など、今日的な3つのテーマを取り上げ、3、4回にわたりオンライン視聴覚資料等を用いて聞き取り、書く、話す訓練を行う。前後期2回ずつ大小の英語によるプレゼンテーションをしてもらう。

履修上の留意点 できるだけ英語で授業を行いたいため、特に聞き取りが苦手な人は配布物、本学E-learningシステムYeStudyを活用してよく復習するように。また、1年の授業を通して、少々内容がわからなくても躊躇しない度胸を養ってほしい。

成績評価の方法 プレゼンテーション4回(80%)、平常点(授業態度、出席、YeStudy活用20%)

教科書／テキスト 配布物およびオンライン資料。

履修コード	266001
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい) 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。前期授業では発音の基礎を、後期授業ではアメリカ英語の本領である、語の連結を学びます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけではなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容／授業スケジュール 1: Lesson 1/2; 2: Lesson 3/4; 3: Lesson 5/6 4: Lesson 7/8; 5: Lesson 9/10; 6: Lesson 11/12; 7: Lesson 13/14; 8: Lesson 15/16; 9: Lesson 17/18; 10: Lesson 19/20; 11: Lesson 21/22; 12: Appendix 1; 13: Appendix 2; 14: Appendix 3; 15: Appendix 4; テキスト1: 以上全15回。16: Unit 1; 17: Unit 2; 18: Unit 3; 19: Unit 4; 20: Unit 5; 21: Unit 6; 22: Unit 7; 23: Unit 8; 24: Unit 9; 25: Unit 10; 26: Unit 11; 27: Unit 12; 28: Unit 13; 29: Unit 14; 30: Unit 15. テキスト2: 以上全15回。合計全30回。

準備学習 準備学習は必要ありませんが、必ず復習をしてください。何事も、反復練習なしに身に付くことはありません。

履修上の留意点 クラス人数を制限します。開講時に試験または抽選を行います。他のクラス同様、このクラスにおいても、欠席しないこと、小テスト、中間試験、定期試験を欠席しないことが原則です。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%(ただし、皆勤の場合)、中間試験30%、定期試験30%、小テスト30%とします。

教科書／テキスト 1. Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス ¥2,100 (ISBN): 978-4-8958-5304-0
2. Sounds Like American センゲージラーニング ¥2,100 (ISBN)978-4-86312-117-1. 以上2冊を使用します。

参考書 テキスト以外の資料も使用する場合には、その都度、明らかにします。

その他 特になし。

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ^{くぼ} ひさ子

講義の到達目標(ねらい) 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

準備学習 教科書右ページの解説文を前もって読んでおく。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書／テキスト マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	266111
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 ^{かい} かつ子

講義の到達目標(ねらい) 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。前期授業では発音の基礎を、後期授業ではアメリカ英語の本領である、語の連結を学びます。音の習得が出来れば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身に付きます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修して頂きたい授業です。

講義の内容／授業スケジュール 1: Lesson 1/2; 2: Lesson 3/4; 3: Lesson 5/6; 4: Lesson 7/8; 5: Lesson 9/10; 6: lesson 11/12; 7: Lesson 13/14; 8: Lesson 15/16; 9: Lesson 17/18; 10: Lesson 19/20; 11: Lesson 21/22; 12: Appendix 1; 13: Appendix 2; 14: Appendix 3; 15: Appendix 4; テキスト1 : 以上全15回。
16: unit 1; 17: Unit 2; 18: Unit 3; 19: Unit 4; 20: Unit 5; 21: Unit 6; 22: Unit 7; 23: Unit 8; 24: Unit 9; 25: Unit 10; 26: Unit 11; 27: Unit 12; 28: Unit 13; 29: Unit 14; 30: Unit 15. テキスト2 : 以上全15回。合計全30回。

準備学習 準備学習は必要ありませんが、必ず復習をしてください。何事も、反復練習なしに身に付くことはありません。

履修上の留意点 クラス人数を制限します。開講時に試験または抽選を行います。他のクラス同様、このクラスにおいても、欠席しないこと、小テスト、中間試験、定期試験を欠席しないことが原則です。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10% (ただし、皆勤の場合)、中間試験30%、定期試験30%、小テスト30%とします。

教科書／テキスト 1. Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス ¥2,100 (ISBN)978-4-8958-5304-0
2. Sounds Like American センゲージラーニング ¥2,100 (ISBN)978-4-86312-117-1 以上2冊を使用します。

参考書 テキスト以外の資料も使用する場合には、その都度、明らかにします。

履修コード	351301
科目名	英語 L L I
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。

イディオムや重要な基本表現をできるだけ暗記して授業のなかでつかってみる。英語のイントネーション、アクセントなどを矯正して明快な英語がはなせるようにする。

TOEIC レベルで650程度(準一級)をめざす。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点
成績評価の方法

全員コンピュータIDを習得しておくこと。

平常点、出席点:30%

小テスト、課題提出:40%

TOEIC 模擬試験:30%

定期試験は実施しない。

教場にあるPCソフト教材をつかう。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

教場で指示。

ウェブ上でおこなう宿題はYestudyなどをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておく
と便利。

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい)	1. TOEIC 判定で 7 5 0 以上 (授業中模擬 TOEIC あり)。 2. レベル 1 で学んだ基礎的な英語での発表スキルを向上させ、英語で時事問題などをサマリーし発表できる力を養う。 3. インターネット上で提供される英語の情報を速やかに読み取り内容を英文で要約できること。
講義の内容/ 授業スケジュール	1 振り分けテスト 2-1 3 ペアワーク、小グループスタディを活用、オンライン上の教材を選択し、英語によるサマリーとディスカッション。 1 4 小テスト (TOEIC 形式) 1 5 英語による発表 (前期テスト) 1 6-2 0 英語による小エッセイを書き、英語で発表。 2 1-3 0 ペアワーク、小グループスタディを活用、オンライン上の教材を選択し、英語によるサマリーとディスカッション。
準備学習	オンライン上で英語の吹き込み課題があるのでヘッドセットを用意しておく。(自宅からの吹き込み用)。
履修上の留意点	授業はすべて英語でおこなう。質問 (メール合) も英語で。 LL1の基礎レベルを終了程度であることが望ましい。(振り分けテストで落ちた場合は LL1をすすめる)。 少人数でおこないたいので履修は 2 5 名程度に制限する。 YeStudy を毎回使用するので課題提出が多い。
成績評価の方法	1. 出席率 (2 0 %) 2. 小テスト (3 0 %) 3. YeStudy による課題提出 (3 0 %) 4. 発表 (2 0 %)
教科書/テキスト 参 考 書	インターネット上での英語教材を使用。(BBC,VOA、YouTUbe、The Japan Times など)。 インターネット上の英字新聞の定期的な講読をすすめる。 The Japan Times, The Herald Tribune, The New York Times, BBC, VOA など。

外国語

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	かい かづこ 甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)	主人公のタケシ君と一緒にニューヨークへ旅をして、帰国するまでの間に遭遇する様々な出来事を、臨場感のある Dialogue を通して学習し、英語のスピーキング力を高めることがこの授業の目的です。アメリカへの旅行、短期滞在には困らないだけの英語力が身に付くでしょう。
講義の内容/ 授業スケジュール	1/2: Unit 1. 機内 3/4: Unit 2. 到着 5/6: Unit 3. ケイトと再会 7/8: Unit 4. 自由の女神 9/10: Unit 5. メトロポリタン美術館 11/12: Unit 6. レストラン 13/14: Unit 7. ミュージカル 15/16: Unit 8. 体調不良 17/18: Unit 9. スーパーでの買い物 19/20: Unit 10. スポーツ観戦 21/22: Unit 11. ワシントンDCへ 23/24: Unit 12. ホテル 25/26: Unit 13. ホワイトハウス 27/28 Unit 14. 大学訪問 29/30: Unit 15. 帰国 以上全 3 0 回。
準備学習	付属のCDがありますから、予復習に役立ててください。CDを聞いて、予め各単元の空欄を埋めて下されば、なお結構です。
履修上の留意点	クラス人数を制限します。開講時に試験または抽選を行います。他のクラス同様、このクラスにおいても、欠席しないこと、小テスト、中間試験、定期試験を欠席しないことが原則です。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席 1 0 % (ただし、皆勤の場合)、中間試験 3 0 %、定期試験 3 0 %、小テスト 3 0 % とします。
教科書/テキスト 参 考 書	Let's Go Abroad!: Takeshi's Journey to the US センゲージラーニング ¥2,100 テキスト以外の資料も使用する場合には、その都度、明らかにします。

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	ふくだ かずたか 福田 一貴

講義の到達目標(ゆらい) 映画のスク립トを用いてリスニングの訓練をする。

講義の内容／授業スケジュール 基本的にテキストに従い授業を行っていく。それに加えて、各 Unit で扱う映画の場面に相当する原書個所の読解、聴解を行っていく予定である。これより、映画と原書との比較をし、様々な英語のリスニング力を訓練することを目指す。前期：第1回イントロダクション、第2回～第14回テキスト Unit 1～5を扱い、第15回で前期試験を行う予定である。後期：第1回～第14回で残り Unit 6～10を扱い、最後に後期試験を行う予定である。

履修上の留意点 授業には必ず辞書(電子辞書は可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参してほしい。

成績評価の方法 3分の2以上の出席、授業内での課題、試験などを総合的に評価していく。

教科書／テキスト Aline Brosh McKenna 著、神谷久美子、Kim R. Kanel 編著、『The Devil Wears Prada: 映画総合教材「プラダを着た悪魔」』、松柏社、2200円(税別)、ISBN 978-4-88198-636-3

参 考 書 必要に応じて、授業内で紹介していく。

外国語

履修コード	354401
科目名	英語 L L II
担当者名	はやし あきと 林 明人

講義の到達目標(ゆらい) リスニング用のテキストを使用します。CD がテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

講義の内容／授業スケジュール

1	ユニット 1	(問題 1, 2)	16	ユニット 5	(問題 5, 6)
2	ユニット 1	(問題 3, 4)	17	ユニット 6	(問題 1, 2)
3	ユニット 1	(問題 5, 6)	18	ユニット 6	(問題 3, 4)
4	ユニット 2	(問題 1, 2)	19	ユニット 6	(問題 5, 6)
5	ユニット 2	(問題 3, 4)	20	ユニット 7	(問題 1, 2)
6	ユニット 2	(問題 5, 6)	21	ユニット 7	(問題 3, 4)
7	ユニット 3	(問題 1, 2)	22	ユニット 7	(問題 5, 6)
8	ユニット 3	(問題 3, 4)	23	ユニット 8	(問題 1, 2)
9	ユニット 3	(問題 5, 6)	24	ユニット 8	(問題 3, 4)
10	ユニット 4	(問題 1, 2)	25	ユニット 8	(問題 5, 6)
11	ユニット 4	(問題 3, 4)	26	ユニット 9	(問題 1, 2)
12	ユニット 4	(問題 5, 6)	27	ユニット 9	(問題 3, 4)
13	ユニット 5	(問題 1, 2)	28	ユニット 9	(問題 5, 6)
14	ユニット 5	(問題 3, 4)	29	ユニット 10	(問題 1, 2)
15	前期試験		30	後期試験	

準備・学習 普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法 試験(30%) ②発表(40%) ③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書／テキスト 4月に教場で指示します。

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、ニューヨークの街に生きる人々とのインタビューを通して、今までに身に付けた英語の運用能力を、さらに高めることを目的としています。会話の臨場感を楽しみながら、その内容を正確に聞き取り、読み、話せるように学びます。多岐にわたるインタビューの内容を英語で学ぶことは、一般教養科目を英語で学ぶのと同等の効果があります。授業内容を確実に消化し得た場合、英米語圏で生活し、学習するための十分な下地が築けるでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

1/2: Mothers, Single by Choice 3/4: Fragrance by Design 5/6: Fashionably Green 7/8: Super Dad 9/10: Inventive New Toys 11/12: Relaxing by Yoga 13/14: Healing with Balloons 15/16: Good Trash 17/18: Pet Rescue 19/20: Saving Art from the Big Spenders 21/22: Tasty Business 23/24: Musical Impact 25/26: Flea Market, Brooklyn Style 27/28: Fighting Global Warming 29/30: 試験予備日。以上全30回。

準備学習
履修上の留意点

テキスト付属のDVDを予め学習し、スクリプトの空欄を埋めた上で、授業に出ること。
希望者多数の場合は、クラス人数を制限します。開講時に試験または抽選を行います。他のクラス同様、このクラスにおいても、欠席しないこと、小テスト、中間試験、定期試験を欠席しないことが原則です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%（ただし、皆勤の場合）、中間試験30%、定期試験30%、小テスト30%とします。

教科書／テキスト
参考書

New York Streets 金星堂 ¥2,300 (ISBN)978-4-7647-3871-3
テキスト以外の資料も使用する場合には、その都度、明らかにします。

外国語

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) インターネット上でえられる情報を利用して時事問題を討論する。
欧米の大学レベルでの基礎的な情報整理の訓練を英語でおこなう。

前期は英語による情報収集、サマリー、ディスカッションに軸をおく。

後期はエッセイライティング、プレゼンテーションを中心に読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、社会問題について自分の考えが明確に英語で表現できるような英語力をつける。

授業はすべて英語でおこなう。質問（メール含む）もすべて英語でおこなう。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：

- (1) 自己紹介、The Japan Times の記事にもとづくディスカッション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The Japan Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) TOEIC 形式模擬テスト (1)
- (5) TOEIC 形式模擬テスト (2)
- (6) テーマにそったまとめとディスカッション (1)
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション (2)
- (9) Herald Tribune の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) The Japan Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (11) まとめと英語サマリー提出
- (12) 小テスト
- (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題のまとめ：ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribune より記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション (2)
- (9) The New York Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC 形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC 形式模擬試験 (2)

履修上の留意点

本クラスの受講者は例年 TOEIC で 750 点以上のレベルなので、英語力がこれ以下である場合はレベル II を推奨する。

成績評価の方法
教科書／テキスト

発表を含む平常点 (40%)、提出物40%、小テストスコア (20%) など。
オンラインで入手できる英字新聞 (The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など) および教場にある英語学習ソフト、youtube などのオンラインによるビデオ教材。

参 考 書
そ の 他

教場で指示する。
PC 教場にある英語学習ソフトも使用するので持ち帰り用として USB メモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット (マイクつき) を用意しておくとうい。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義の到達目標(ねらい) 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

講義の内容／ 授業スケジュール	1 pp.1-2	プリント (1) 配布	16 pp.1-2	プリント (2) 配布
	2 pp.3-4	(試訳提出)	17 pp.3-4	(試訳提出)
	3 pp.5-6		18 pp.5-6	
	4 pp.7-8		19 pp.7-8	
	5 pp.9-10		20 pp.9-10	
	6 pp.11-12	(試訳提出)	21 pp.11-12	(試訳提出)
	7 pp.13-14		22 pp.13-14	
	8 pp.15-16		23 pp.15-16	
	9 pp.17-18		24 pp.17-18	
	10 pp.19-20		25 pp.19-20	
	11 pp.21-22	(試訳提出)	26 pp.21-22	(試訳提出)
	12 pp.23-24		27 pp.23-24	
	13 pp.25-26		28 pp.25-26	
	14 pp.27-28		29 pp.27-28	
	15 前期試験		30 後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書/テキスト 教員が作成したものを 사용합니다。

外国語

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) 昨夏ロンドンで観たイギリス人劇作家の戯曲を読みます。辞書を引いて英語を理解すること、現実に近い英語会話と戯曲の読み方を学びます。原作は児童文学(モーバーゴ作の『軍馬』)ですが、芝居は子供からお年寄りまで楽しめる感動的な作品です。

講義の内容／
授業スケジュール 戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。
授業スケジュール 前期：1回目—授業の説明、2～14回目—各回2～4ページずつ進む。15回目—前期末試験。後期：16回目—前期末試験の解説、17～29回目—各回2～4ページずつ進む。慣れれば進度をあげます。30回目—後期末試験。

準備学習 少なくとも一冊は日本語の戯曲を読んでおいてください。辞書で英単語の意味を調べるだけでなく、一回の授業で扱う範囲全体の意味を理解しておくこと。

履修上の留意点 どんどん当てますから、必ず予習をしておくこと。1回目の授業から出て下さい。
成績評価の方法 平常点と出席状況に加えて前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。全出席数の三分の一以上欠席すると、原則として受験資格がなくなりますから注意すること。

教科書/テキスト Nick Stafford, War Horse, faber and faber, £ 9.99, ISBN 978-0-571-24015-9.

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 17世紀のフランス式整形庭園から、それに対立するかのようには登場したイギリス式風景庭園までの過程を英文による庭園史の中で見てゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール 一回にテキスト二章ずつ進みます。テキストが終わったのち、The Formal Garden の中からプリントを配布します。

準備学習 西洋風庭園や日本庭園を実際あるいは写真で見せておいてください。

履修上の留意点 あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。

成績評価の方法 日常評価を40%、前期テストを20%、後期テストを30%の割合で評価します。

教科書/テキスト English Garden (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200
ISBN4-523-18506-9

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	<small>たなか たもつ</small> 田中 保

講義の到達目標(ねらい)	英語の総合力の向上とアメリカ文化理解を深めることを主眼にします。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストと補助プリントを使用して授業を進めていきます。 [1] Unit 1～8 / プリント (1～14) Examination(15) [2] Unit 9～15 / プリント (1～14) Examination(15)
準備学習	テキストは毎授業1単元進む予定ですので、よく下調べをして授業に出席すれば理解できます。課題のプリントをときどき配布し、各自学習し提出していただきますので予習を怠らないようにして下さい。
履修上の留意点	授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。必ず予習をして授業に臨むこと。 [履修制限について] 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。
成績評価の方法	初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。
教科書／テキスト	EYE ON AMERICAN CULTURE (『移民の国アメリカ文化の散歩道—VAからNASAまで—』) 英宝社、1,800円 ISBN978-4-269-42011-3 C1082

外国語

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)	新聞英語・放送英語の特徴を身につけることを目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	[講義内容] できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び、講読していきます。放送英語にもなれるため、録音されたニュースも教材として使用します。 [授業スケジュール] 第1週 オリエンテーション 第2週～14週 英文記事の購読、リスニングコンプリヘンション 第15週 前期試験 第16週～29週 英文記事の購読、リスニングコンプリヘンション 第30週 後期試験
履修上の留意点	予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景的知识も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようにしてください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。
教科書／テキスト	使用しません。ハンドアウトを配布します。
参 考 書	学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等) を利用してください。

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	林 ^{はやし} 明人 ^{あきと}

講義の到達目標(ねらい) 海外の雑誌からの記事や社説を読みます。少し手ごわい内容になるかもしれませんが、そういうものに慣れていただければと思っています。詳しくは4月第1週の授業で指示します。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

講義の内容/ 授業スケジュール	1 ユニット1	16	ユニット5
	2 ユニット1	17	ユニット6
	3 ユニット1	18	ユニット6
	4 ユニット2	19	ユニット6 (テスト)
	5 ユニット2	20	ユニット7
	6 ユニット2	21	ユニット7
	7 ユニット3	22	ユニット7
	8 ユニット3	23	ユニット8
	9 ユニット3 (テスト)	24	ユニット8
	10 ユニット4	25	ユニット8
	11 ユニット4	26	ユニット9
	12 ユニット4	27	ユニット9
	13 ユニット5	28	ユニット9 (テスト)
	14 ユニット5	29	ユニット10
	15 前期試験	30	後期試験

準備学習
履修上の留意点 日本の新聞や雑誌でいろいろな記事に触れておくこと。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

成績評価の方法 ①試読(40%) ②テスト(30%) ③出席(20%) ④発表(10%)で総合評価するが、①、②、④のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書/テキスト プリントを使用します。

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の中級から上級(英検二級、準一級、一級)程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『21世紀』 Chapter 1
- 第三回 『21世紀』 Chapter 2
- 第四回 『21世紀』 Chapter 3
- 第五回 『21世紀』 Chapter 4
- 第六回 『21世紀』 Chapter 5
- 第七回 『21世紀』 Chapter 6
- 第八回 『21世紀』 Chapter 7
- 第九回 『21世紀』 Chapter 8
- 第十回 『21世紀』 Chapter 9
- 第十一回 『21世紀』 Chapter 10
- 第十二回 『21世紀』 Chapter 11
- 第十三回 『21世紀』 Chapter 12
- 第十四回 プリントによる応用問題
- 第十五回 前期試験

- 第十六回 『CNN』 UNIT 1
- 第十七回 『CNN』 UNIT 2
- 第十八回 『CNN』 UNIT 3
- 第十九回 『CNN』 UNIT 4
- 第二十回 『CNN』 UNIT 5
- 第二十一回 『CNN』 UNIT 6
- 第二十二回 『CNN』 UNIT 7
- 第二十三回 『CNN』 UNIT 8
- 第二十四回 『CNN』 UNIT 9
- 第二十五回 『CNN』 UNIT 10
- 第二十六回 『CNN』 UNIT 11
- 第二十七回 『CNN』 UNIT 12
- 第二十八回 プリントによる応用問題
- 第二十九回 プリントによる応用問題
- 第三十回 後期試験

履修上の留意点

※ 上記の『21世紀』は『21世紀の企業一成功の舞台裏』、『CNN』は『CNN: ビデオで見る世界のニュース(11)』を指す。なお、ヒアリングは毎回行う。
授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。また、教室の座席数よりも、履修しようとする学生が多い場合は、最初の授業で、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない場合には、このクラスは受講できない場合がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト

- 1) 『21世紀の企業一成功の舞台裏』ISBN4-88198-C308 松柏社 1,900円
- 2) 『CNN: ビデオで見る世界のニュース(11)』朝日出版社 2,000円
- 3) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	^{やじま} ^{なほこ} 矢島 直子

講義の到達目標(ねらい)

辞書を引いて英文のニュースを読めるようになること。また聞き取りにも慣れてもらいたいです。今回は、教科書で扱うのは日本の英字新聞で、日本事情が中心ですが、教科書を終えたら、英米の新聞記事（またはオンラインニュース）を取り上げます。教科書で英語のニュースの読み方を学び、その後注釈のない英米の新聞記事を読む練習をすることになります。

講義の内容／
授業スケジュール

講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらい、問題を解くもの。

授業スケジュール

前期：1回目—授業の説明。2, 3回目—1章、4～14回目—2～12章、15回目—前期末試験。

後期：16回目—前期末試験解説と13章、17～23回目—14～20章、24～29回目—英米の最近の新聞記事を使っての授業、30回目—後期末試験。

準備学習

辞書で単語の意味を調べたうえで、一回の授業で扱う範囲全体の意味を理解して、設問があれば解いてくること。

履修上の留意点

どんどん当てて意味を取ってもらい問題に答えてもらいますから、必ず予習して授業に臨むこと。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点と出席状況に加えて前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

深山晶子、他、『世界を読むメディア英語入門2010』、金星堂、1,900円、ISBN 978-4-7647-3891-1

外国語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おちかい かざあき</small> 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスの副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級(二級、準一級、一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上をはかる。

講義の内容/
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『話しことば』 1-1
- 第三回 『話しことば』 1-2
- 第四回 『話しことば』 1-3
- 第五回 『話しことば』 1-4
- 第六回 『話しことば』 1-5
- 第七回 『話しことば』 1-6、7
- 第八回 『話しことば』 1-8、9
- 第九回 『話しことば』 1-10、11
- 第十回 『話しことば』 1-12、13
- 第十一回 『話しことば』 1-14、15
- 第十二回 『話しことば』 1-16、17
- 第十三回 『話しことば』 1-18、19
- 第十四回 『話しことば』 1-20
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『映画』 UNIT 1
- 第十七回 『映画』 UNIT 2
- 第十八回 『映画』 UNIT 3
- 第十九回 『映画』 UNIT 4
- 第二十回 『映画』 UNIT 5
- 第二十一回 『映画』 UNIT 6
- 第二十二回 『映画』 UNIT 7
- 第二十三回 『映画』 UNIT 8
- 第二十四回 『映画』 UNIT 9
- 第二十五回 『映画』 UNIT 10
- 第二十六回 その他の映画台本(プリント)
- 第二十七回 その他の映画台本(プリント)
- 第二十八回 その他の映画台本(プリント)
- 第二十九回 その他の映画台本(プリント)
- 第三十回 後期試験

※『話しことば』は『話しことばの英作文』、『映画』は『映画総合教材『ブラダを着た悪魔』を指す。なお、ヒアリングは毎回行う。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他(課題、小テスト、授業中の発表等)は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書/テキスト

- 1) 『話しことばの英作文』 成美堂 ISBN4-7919-5030-5 C1082 1, 500円
- 2) 映画総合教材『ブラダを着た悪魔』 松柏社 ISBN978-4-88198-636-3 1, 900円
- 3) プリント

履修コード	286601・286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹

講義の内容／
授業スケジュール

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。インターネットの時代、最も必要になるのは、世界中で流通する英語を読む能力である。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフト(ウェブ上にあるフリーソフト、Mind42.com, Free MInd)を使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。更に、図式化された概念を、WordあるいはEditorを使って文章化し、それをアウトラインプロセッサの形式で肉付けしていく訓練を積んでいく。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。更なる英語力を身につけるには、語彙力を補強していく必要がある。そのために、辞書で調べて語彙を整理しておく必要がある。その整理をExcelでおこなう。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

第5の課題は、受講生にPowerPointを使ってプレゼンテーションをしてもらう。与えられたテーマについて、充分な下調べと発表の準備をして、一人20～30分程の発表をしてもらう。
 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他の他

受講生は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補習すること。また、受講生は自分のパソコンを持っていることが望ましい。

外国語

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	うめはら としひろ 梅原 敏弘

講義の到達目標(ならい)
講義の内容／
授業スケジュール

映画の英語に慣れることを目標とします。
 [授業内容] 1942年に製作されたアメリカ映画 Casa Blanca を教材として使用します。この映画を十分鑑賞するためには、時代背景などの知識が不可欠ですが、まずは各場面で行われている英語がある程度理解できなくてはなりません。授業はリスニング・コンプリヘンションと英語字幕の理解を中心としますが、日常会話で使えるような表現をピックアップし学習することによって、英語での表現力の向上をも目指します。
 [授業スケジュール] 第1週 オリエンテーション 第2週～14週 映画の前半部分の理解と表現演習。第15週 前期試験 第16週～29週 映画の後半部分の理解と表現演習。第30週 後期試験

履修上の留意点

映画の英語の聞き取りは難しいので、途中で give up しないこと。
 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、予習のしぐあいを加味して行います。年間授業回数3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書／テキスト

使用しません。

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰
講義の到達目標(ねらい)	前期にエーリヒ・ケストナーの割合やさしい短編を読み、後期はトーマス・マンの作品を読みます。まずやさしい文章で文章の読み方に慣れ、そのうえでより高度な文学作品を読む力を養います。トーマス・マンの作品に関してはいろいろな作品からその一部分を読みます。
講義の内容／授業スケジュール	前期では定動詞はどれか、主語・目的語はどれか、なぜ後置されているかなど、こちらから文法事項を質問し、皆さんが文章の構造を把握できるようにします。後期は内容に関し互いに意見を出し、より深く理解できるようにします。
履修上の留意点	分かりにくい単語、複雑な文法事項は前もって解説します。予習を十分して下さい。間違えることを恐れては先に進めません。
成績評価の方法	試験を行わず、率先して訳読に挑戦するなど授業への貢献度(7割)と、出席回数(3割)で成績を評価します。
教科書／テキスト	前田敬作著『ケストナーのティル・オイレンシュピーゲル』朝日出版 1680円 後期はプリントの予定です。

履修コード	286001・286002
科目名	現代を読むドイツ語 時事ドイツ語
担当者名	<small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子
講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語の新聞、雑誌、ホームページなどを読み、現代ドイツについての知識を深めます。
講義の内容／授業スケジュール	私が関心ある領域は歴史、移民、映画などですが、この授業を選択して下さる皆さんがたの関心によって最終的なテーマを決めたいと思います。
成績評価の方法	前期・後期の筆記試験の成績と平常点を合わせて総合的に評価します。
教科書／テキスト	こちらで教材を用意します。

履修コード	286901・286902
科目名	ドイツ語スキルアップ 上級ドイツ語
担当者名	<small>まつおか すずお</small> 松岡 晋
講義の到達目標(ねらい)	「ドイツ語技能検定試験」(「独検」、毎年6月と11月に実施)の5級・4級・3級に合格するレベルに到達することを、この講義の目標にします。そのためには初等文法知識のほかにも、ある程度の語彙力、リスニング能力が必要とされますので、それらの訓練もあわせて毎回行うことになります。
講義の内容／授業スケジュール	各回の授業内容は下記のとおりですが、単なる文法説明ではなく、筆記、リスニング、口頭練習が中心だと考えてください。 (1) 受講者の実力判定 [4~5級試験の過去問が材料] (2~4) 人称代名詞 / 動詞の現在人称変化と練習問題 (5~7) 名詞の性 / 定冠詞・不定冠詞 / 名詞の格変化と練習問題 (8~10) 人称代名詞の3格と4格 / 疑問代名詞 / 前置詞と練習問題 (11~13) 定冠詞類・不定冠詞類 / 否定文と練習問題 (14~16) 分離動詞・非分離動詞 / 従属接続詞と副文および練習問題 (17~19) 語法の助動詞・未来の助動詞と練習問題 (20~21) 形容詞の格変化と比較変化および練習問題 (22~24) 再帰動詞 / zu 不定詞 / 非人称の es および練習問題 (25~26) 動詞の三基本形 / 過去時制と練習問題 (27) 現在完了 / 受動態と練習問題 (28) 関係代名詞 / 指示代名詞と練習問題 (29~30) 接続法と練習問題
準備学習	文法に関する練習問題および語彙に関しては、あらかじめ宿題を与えますので、それらの準備を必ず行ってください。
履修上の留意点	この授業が検定試験の合格を目標にしている点に留意され、初級ドイツ語で「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを真剣に望む方々の受講を切に望みます。なお独検2級以上の受験を希望される方々には、相談の上、個別に対応いたします。
成績評価の方法	記述試験は行わず、平常点にて成績評価いたします。
教科書／テキスト	プリント配布予定。
参考書	授業中にその都度指示します。

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションⅠ
担当者名	小林 ^{こばやし げありんて} ゲアリンデ

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口頭対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書／テキスト Kursbuch + Arbeitsbuch "Schritte international I" (Hueber)

その他の他 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡ
担当者名	小林 ^{こばやし げありんて} ゲアリンデ

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語を1年次(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 話す方、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口頭対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書／テキスト 当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

その他の他 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語ⅠA(選)
担当者名	堀内 ^{ほりうち みえ} 美江

講義の到達目標(ねらい) 音楽や哲学など、ヨーロッパの文化において重要な役割を果たしてきた一方、現代でもなお優れた環境および技術的水準を保つドイツという国を、言葉を通して体験しましょう。スタートラインは皆同じ。初めてのドイツ語を、ゆっくりと丁寧に、そして着実に学習していきます。

講義の内容／授業スケジュール 新しい言葉を学ぶということは、新しい考え方、価値観を学ぶことでもあります。ドイツ語を学習することが皆さんの視野をより広げる手助けになることでしょう。

準備学習 予習よりも復習の時間が作れるとよいですね。半年もたてばその効果が実感できるでしょう。ゆっくりじっくり、皆さんのペースで授業を進めていきますから、安心して参加してください。授業中は間違っても結構。間違いながら覚えていきましょう。質問は大歓迎ですので、小さなこと、すでに習ったことでも遠慮なく尋ねてください。

履修上の留意点 ただし欠席が続くと内容についていけなくなります。とにかく顔を出すこと。

成績評価の方法 テスト：出席：平常点(発表、課題等) = 4：4：2の割合で評価する予定です。

教科書／テキスト 在間進『新生ドイツ語文法 V 5』朝日出版社 定価2400円

履修コード	290201
科目名	ドイツ語ⅠB(選)
担当者名	井村 行子

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語の知識を得るとともに、ドイツについての知識を深めます
 講義の内容／授業スケジュール 教科書に沿って、大体、会話練習、聞き取り、読み書き、文法のまとめの順に進めます。全部で12課なので、前期に第6課程度まで進めたいと思います
 成績評価の方法 前期・後期の筆記試験の成績と平常点を合わせて総合的に評価します
 教科書／テキスト 『ゲナウ！ コミュニケーションのドイツ語』(第三書房)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語Ⅱ(選)
担当者名	志真 斗美恵

講義の到達目標(ねらい) ひととおりドイツ語を学んだ方が、ワンランク上の読解力と文法、そして表現力を身につけることを目標とします。
 講義の内容／授業スケジュール 初級文法を復習しながら、DVDやCDを用いて生きたドイツ語に触れ、聞き取りや発音練習を通して、発信するためのドイツ語・表現力を身につけていきます。また日常生活に使える365フレーズの会話文を暗記します。
 準備学習 1回目オリエンテーション・ドイツ語で挨拶と自己紹介 2～14回目1～6課 15回目前期テスト 16回目前期テストについて・夏休みの宿題小テスト 17～29回目7～12課 30回目後期テスト
 履修上の留意点 テキストの本文・練習問題の予習をして出席してください。
 語学力は反復練習によって身につきます。毎回かならず出席して積極的に授業に参加してください。
 成績評価の方法 前期・後期の試験と平常点で総合的に評価します。
 教科書／テキスト 1) 清野智明著
 2) 『ドイツ語の時間 [ビデオ教材 恋するベルリン] DVD付き』
 3) 朝日出版社
 4) 2600円+税
 5) ISBN978-4-255-25303-9 C1084

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	東 辰之介

講義の到達目標(ねらい) 素朴で平明な文体をもつ魅力的なミシェル・トゥルニエの短編を教材として、フランス文学に親しむことを目的とします。
 講義の内容／授業スケジュール テキストを音読し、日本語に訳していただきます(理解できた範囲の訳で構いません)。その後、担当教員が解説します。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、さしあたり以下のように考えています。(1) ガイダンス、(2)～(15)「音楽とダンスの伝説」「香りの伝説」(16)～(30)「絵画の伝説」「パンの伝説」
 準備学習 授業時に説明します。
 履修上の留意点 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。授業には必ず仏和辞典と自分の使った初級フランス語の教科書を持参してください。
 成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。
 教科書／テキスト 伊藤晃、芳川泰久編注『トゥルニエの4つのお話』(白水社)1,000円+税 ISBN4-560-01154-0

履修コード	286101・286102
科目名	現代を読むフランス語 時事フランス語
担当者名	桑田 禮彰

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
前期は、比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。後期は、実際のフランスの新聞記事をゆっくり読んでいく予定です。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
(1) 受講上の諸注意 (2)(3) よみがえる巡礼 (4)(5) パックスって? (6)(7) 母の名はX… (8)(9) 「石」の値段 (10)～(14) フランス名物ストライキ?、他 (15)～(29) Le Monde 記事 [配布]
(30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点
成績評価の方法

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

ミシェル・サガズ、加藤晴久共著『時事フランス語 2010年度版』(朝日出版社)
本体1,900円+税 ISBN978-4-255-35208-4

参 考 書

そのつど授業で指示します。

外国語

履修コード	287001・287002
科目名	フランス語スキルアップ 上級フランス語
担当者名	遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい)

既習の知識を確認しながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること。(初級文法の復習授業ではありません。)

講義の内容/
授業スケジュール

(1～7) 名詞、冠詞、形容詞、基本動詞の直説法現在形、疑問文、否定文;(8～15) 命令形、動詞現在形のつづき、疑問形容詞、指示形容詞;(16～23) 形容詞・副詞の比較級・最上級、直説法複合過去、代名動詞、接続法、直説法半過去、関係代名詞;(24～30) 現在分詞、中性代名詞、条件法、語法。

履修上の留意点
成績評価の方法

続けて出席すること。(既使用の) 文法教科書持参が望ましい。
平常点を原則とします。

教科書/テキスト

松村剛、『はじめての仏作文』、朝日出版社、2、200円+税、ISBN4-255-35134-1 C1085

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーション I
担当者名	ラリア・三倉、M.

講義の到達目標(ねらい)

教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

講義の内容/
授業スケジュール

あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。

(1) Alphabet / 興味を持たせるための簡単な会話と表現 / フランス語発音練習 (2)～(4) Leçon 1 (5)～(7) L2 (8)～(10) L3 (11)～(13) L4 (14)～(16) L5 (17)～(19) L6 (20)～(22) L7 (23)～(25) L8 (26)～(28) L9 (29)～(30) L10

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。

教科書/テキスト

高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房
ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションⅡ
担当者名	ラリア・三倉、 M.

講義の到達目標(ねらい) フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。

講義の内容／授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。
 (1) 受講上の諸注意／à l'Aéroportの1回目 (2)～(4) à l'Aéroport (5)～(7) à l'hôtel (8)～(10) Paris, la nuit (11)～(13) Au café (14)～(16) Le train (17)～(19) Le téléphone (20)～(22) invitations (23)～(25) les courses (26)～(28) Au Restaurant (29)～(30) まとめと復習

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。

教科書／テキスト 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語ⅠA(選)
担当者名	東 辰之介

講義の到達目標(ねらい) フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容／授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(15) 文法の基礎(主語人称代名詞／動詞の直説法現在／形容詞の性・数／名詞／冠詞など) (16)～(29) 文法の発展(疑問代名詞／補語人称代名詞／比較／動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

準備学習 授業時に説明します。

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

教科書／テキスト 太田浩一他著『新装版 フランス語文法の<基礎>』(駿河台出版社)2,500円+税 ISBN978-4-411-00765-0

参考書 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	289711
科目名	フランス語ⅠA(選)
担当者名	大野 英士

講義の到達目標(ねらい) フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。仏検5級から4級程度のフランス語力をつけることを目標にしたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(4) 発音の基礎・綴り字の読み方 (5)～(15) 文法の基礎(名詞の性・数／主語人称代名詞／冠詞、疑問文・否定文・命令文／形容詞／冠詞の縮約／動詞の現在時制など) (16)～(29) 文法の発展(目的語人称代名詞／中性代名詞／比較／代名動詞／関係代名詞／動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書／テキスト 金子美都子、猪口好彦他著『プチボワソン』ISBN978-4-560-06093-3 定価 本体2300円+税

履修コード	290301
科目名	フランス語 I B (選)
担当者名	小黒 昌文 <small>おぐろ まさふみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：フランス語の読み方／名詞と冠詞／動詞の活用 [1]・肯定形と否定形／指示形容詞と所有形容詞／動詞の活用 [2]・疑問文／形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：動詞の活用 [3]／比較級・最上級／命令法／疑問形容詞・疑問副詞／目的語人称代名詞／複合過去 etc. (30) 一年間のまとめ
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること（初回の授業で紹介します）。
成績評価の方法	前期末授業内試験（50％）と学年末試験（50％）を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	中島万紀子、一條由紀『ヴィルジニー！』早美出版社 2 2 0 0 円＋税 ISBN 978-4-86042-063-5 適宜紹介。

履修コード	290901
科目名	フランス語 II (選)
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容／授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終わった人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。 (1) 受講上の諸注意 (2)(3) プーム！日本文化 (4)(5) エッフェル塔 120歳 (6)(7) ルノワール あくなき探求者 (8)(9) 点字の発明者 プラユ (10)～(29) くず屋のシスター、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験（50％）と学年末試験（50％）の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	ミシェル・サガズ、加藤晴久共著『時事フランス語 2010年度版』(朝日出版社) 本体1,900円＋税 ISBN978-4-255-35208-4 そのつど授業で指示します。

履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	さまざまなジャンルの古今の名文を精読し、中国語の書き言葉の特色と魅力を探る。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導論とウォーミングアップ。第2～5回：エッセイ（文学関連）。第6回～9回：エッセイ（社会科学関連）。第10～13回：短編小説。第14～17回：詩歌。第18～21回：演説。第22～25回：手紙文。第26～29回：評論。第30回：学期末試験。
準備学習 成績評価の方法	授業は演習形式で進めるので、担当時は特に予習を十分に行い、音読できるようにしておくこと。学期末試験（30点×2）＋平常点（40点）を合わせて総合的に評価します。ただし、「平常点」≠「出席点」。
教科書／テキスト 参 考 書	随時プリントを配布します。 辞書は必携。下記 URL を参考にしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho

履修コード	286201・286202
科目名	現代を読む中国語 時事中国語
担当者名	<small>いわさき ひろし</small> 岩崎 暲

講義の到達目標(ねらい) インターネットを通して中国のさまざまな世相を見て行きます。古いイメージを離れて、ありのままの中国を見てみましょう。

講義の内容／授業スケジュール 中国の人民網にある写真投稿コーナー「図説中国」に投稿されたさまざまな写真を題材にして、自分の感想や調べたことをワードにまとめて行きます。授業は講義形式ではなく、受講生各自の作業が中心となります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。

成績評価の方法 また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。履修上の留意点にある出席回数を満たした上で、各自が作成したコンテンツにより評価します。

外国語

履修コード	287101・287102
科目名	中国語スキルアップ 上級中国語
担当者名	<small>こじま こういちろう</small> 児島 弘一郎

講義の到達目標(ねらい) 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。類出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。さらに、中国語による情報処理能力を養い、中文インターネット上で情報を収集・選別できるようになることも目指します。

講義の内容／授業スケジュール

1. 中国で留学生向けに出版されたテキストを講読し、文法・語彙力を培います。1課をおよそ2回～3回の授業で扱います(教材は教員が配布)。
2. 中国での実況録音を中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に触れ、聴き取りの力を養います。
3. 随時パソコン及びインターネットを利用し、中文による情報処理能力を高めるための課題を提出してもらいます。
4. 下記テキスト(『中国語の文法基本例文暗唱ドリル』)の例文を毎回10個指定し、暗唱テストを行ないます。

準備学習 講読テキストの予習・復習、毎回行なう暗唱テストの準備が必要です。

履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さ、旺盛な好奇心を求めます。遅刻厳禁。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とし、暗唱テスト(4割)、授業への取り組み(4割)、提出課題(2割)によって総合的に評価します。

教科書／テキスト 本間史『中国語の文法基本例文暗唱ドリル』(アルク/2200円+税)

参考書 辞書や役立つ検定対策教材・読み物などは、教場で紹介します。

その他 自主的な家庭学習を促すべく、YeStudyを活用します。なお、検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーション I
担当者名	<small>おがわ たかし</small> 小川 隆

講義の内容／授業スケジュール 大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。かつて中国語 IA・IB を履修した、でもその内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

履修上の留意点 受講希望者が多い場合、履修制限をする可能性がある。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版(朝日出版社) ¥2500+税 ISBN978-4-255-45167-1

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションⅡ
担当者名	陳 洲拳 <small>ちん しゅうきま</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話表現を口でスムーズに应答できるように習得する。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

講義の内容／授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

準備学習 教科書のCDをよく聞き、繰り返し音読すること。

成績評価の方法 中間テストと期末テストの成績で評価する。

教科書／テキスト 陳洲拳他『中国語耳留学』CD2枚つき 隆美出版 2600円+税

履修コード	289801
科目名	中国語ⅠA(選)
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語の会話に必要な能力を養うために、練習をしていきます。

講義の内容／授業スケジュール テキストに沿って、ほぼ2回で1課の割合で進みます。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。
なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とした上で、年間4回行う試験の成績により評価します。

教科書／テキスト 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2,200円(本体)

その他の MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。

履修コード	289811
科目名	中国語ⅠA(選)
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語の基礎を学ぶ。

習得の難しい発音を繰り返し練習する。

講義の内容／授業スケジュール 基本的な文法や語彙を習得し、簡単な文が聞いて理解でき、話せるように、訓練する。

履修上の留意点 1～5回は発音。
それ以降は、1課を2回位のペースで進んでゆく。
前期は4課まで。
必ず復習すること。

成績評価の方法 適宜小テストを行うので、それに備えることが復習になるはずである。
後期の中間、前後期の期末の3回のテストの成績の平均(70%)と平常点(30%)とで評価する。

教科書／テキスト 方如偉・王智新・鐘屋一 新編『中国語10課』(白水社)2000円(+税)

履修コード	290401
科目名	中国語ⅠB(選)
担当者名	大久保 明男

講義の到達目標(ねらい) 中国語の基礎(発音、基本文法、文型、慣用句など)を確実に習得し、会話力や文章読解力を養うとともに、中国に対する認識や理解を深めていくことを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：中国語の特徴、中国語を学ぶ意義について、第2-3回：発音、簡単なあいさつ、第4-8回：動詞述語文、名詞述語文、疑問文、形容詞述語文、助動詞、第9-13回：日付・曜日・時刻の言い方、完了形、前置詞、存現文、様態補語、第14-15回：前期試験、解説。第16-21回：結果補語、方向補語、兼語文、受け身表現、第22-27回：使役表現、程度補語、持続形、可能補語、二重目的文、第28-30回：復習、後期試験、解説。

準備学習 授業中に折に触れて現代中国の社会情勢や、学生諸君と同年代の中国若者の生活や文化などを紹介していく予定。

履修上の留意点 毎回授業前の予習が欠かせない。

成績評価の方法 中国語を学ぶ意義を認識し、つねに意欲を持って授業に臨むこと。
出席(4割)、試験成績(3割)、平常点(担当時の出来具合や討論への参加、授業に臨む姿勢など=3割)で総合評価する。

教科書/テキスト 楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』朝日出版社、2500円+税

履修コード	291001
科目名	中国語Ⅱ(選)
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい) 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。また1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を習得することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。(第1回～14回)
第15回 試験
②教科書の進捗にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。(第16回～29回)
第30回 試験

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。
欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。
本文の暗記も点数に加算する。

教科書/テキスト 董燕・遠藤光暁著『話す中国語 北京篇2』(朝日出版社) 2500円 4-255-45072-2 C1087

参 考 書 辞典や参考書については、授業開始時に説明する。

そ の 他 辞典を持っていることが望ましい。

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけ講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。前期では、直説法現在形、未来形、過去形(点過去、線過去)の復習を、後期は接続法現在などの中級文法習得も視野に入れます。スペイン語圏を代表する名曲の歌詞を題材にしヒヤリング力と発音の向上も図ります。講義が終わるころにはスペイン語の小説を辞書をたよりに読める実力がついていでしょう。西検4級合格も目指せます。

講義の内容／授業スケジュール (1)スペイン語ポップスの名曲に親しむ(1-7)
(2)カリブのリズム(サルサ・メレンゲなど)を感じる(8-14)
(3)メキシコ、アンデス音楽を楽しむ(15-23)
(4)スペインの民謡(フラメンコ、クリスマスの歌など)を味わう(24-30)

履修上の留意点 初級文法修了者を対象とします。
出席3分の2以上を求めますが、やむをえない理由の欠席は考慮します。

成績評価の方法 平常点(出席(20%) + 授業態度、発言(30%))と年二回の演習課題(各25%)によります。

教科書/テキスト GIDE 語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円
テキストは毎回配布します。

参 考 書 推薦辞書：『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

そ の 他 講義内容の順序が前後する場合があります。
オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15～13:00)です。

履修コード	286301・286302
科目名	現代を読むスペイン語 時事スペイン語
担当者名	さいとう あけみ 齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。さらにインターネット等を利用した実践的な情報収集能力、情報発信力を高めます。

前期終了時には、簡単な記事を理解したり、ネットを使っでの旅行の計画や現地の友人とメールのやり取りができるようになります。

後期が終了するころには、新聞記事を理解する力やインターネット等を利用して現地で住居や仕事を探せる力がついていることでしょう。またフォーマルな文書も書けるようになります。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション(コース説明、辞書紹介、スペイン語キーボード) (1)
- (2) スペイン語圏の食習慣、レシピ等 (1-3)
- (3) スペイン語圏の余暇(旅行(交通手段、ホテル予約)、スポーツ等) (4-7)
- (4) 職業と賃金に関する簡単な記事を読んでみよう (8-10)
- (5) 近況報告レター(読解、メール、インフォーマルレターの書き方) (11-13)
- (6) 映画を通したスペイン社会(批評記事の読解+鑑賞+感想) (14-15)

後期

- (7) スペインの住宅事情(記事の読解と物件の検索) (16-17)
- (8) 新聞記事(若者と格差社会) (18-20)
- (9) スペイン人学生の就職活動(面接風景のビデオ) (21-22)
- (10) 求人サイト検索、スペイン語履歴書作成、フォーマルレター作成 (23-25)
- (11) スペインで活躍する日本人紹介記事+応援レター作成 (27-28)
- (12) 映画を通したラテンアメリカ社会 (29-30)

準備学習
履修上の留意点

この授業ではYeStudyを使用します。

初級文法修了者対象。

出席3分の2以上を求めますがやむおえない理由の欠席は考慮します。

成績評価の方法

出席(20点)+授業中の発言・態度(30点)+各テーマの演習問題(20点)+夏休み課題(15点)+後定期試験または課題(15点)によります。

教科書／テキスト

GIDE 語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円
テキストは毎回配布します。

参 考 書
そ の 他

推薦辞書:『西和辞典』(小学館)『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)等
講義内容の順序が前後する場合があります。
オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

履修コード	287201・287202
科目名	スペイン語スキルアップ 上級スペイン語
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容／
授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など

後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。

教科書／テキスト

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房)2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションⅠ
担当者名	ルイズティノコ、C.
講義の到達目標(ねらい)	この授業では基本的な文法を学び、練習をしながらスペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。
講義の内容／授業スケジュール	前期は挨拶、アルファベット、発音、規則動詞、不規則動詞、再帰動詞、現在完了、などまで学ぶ予定。(第1～15回) 後期は比較表現、点過去、線過去、未来形、過去未来、接続法、などを学ぶ予定(第16～30回) ビデオを見ることもある。
履修上の留意点	毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。出席を重視する。
成績評価の方法	前期と後期試験(70%)と授業参加の状態(30%)で評価する。
教科書／テキスト	「スペイン語のリズムで」、EUGENIO DEL PRADO、HANAKO SAITO、SHINJI NAKAMICHI、同学社

外国語

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションⅡ
担当者名	ルイズティノコ、C.
講義の到達目標(ねらい)	この授業ではスペイン語の基礎的な文法を復習しながら様々な表現と用法を少しずつ練習をしながらコミュニケーション能力を高めることを目指す。
講義の内容／授業スケジュール	前期は「知っている」、誘いの表現、GUSTAR動詞の表現、過去を表す語、接続法の表現、点過去の表現、線過去の表現、などまで学ぶ予定。(第1～15回) 後期は不定詞の用法、現在分詞の用法、未来形の用法、過去完了の用法、接続法の用法、謝罪の表現、非現実的な条件文、などを学ぶ予定。(16～30回) ビデオを見ることもある。
履修上の留意点	以前に学んだ文法をしっかり復習してください。毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。
成績評価の方法	前期と後期試験(70%)と授業参加の状態(30%)で評価する。
教科書／テキスト	「コンテイーゴ!」2、木村琢也、泉水浩隆、高澤美由紀、第三書房

履修コード	289901
科目名	スペイン語ⅠA(選)
担当者名	<small>なかにま さとこ</small> 中島 聡子
講義の到達目標(ねらい)	スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
講義の内容／授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。 前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞ir、yoの活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など 後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer、poderの使い方、その他の不規則動詞、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など
履修上の留意点	外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法	テスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。
教科書／テキスト	1. 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円 2. 西和辞書(『西和中辞典』小学館、あるいは『現代スペイン語辞典 改訂版』白水社 電子辞書も可)
参 考 書	初回の授業で紹介します。

履修コード	290501
科目名	スペイン語ⅠB (選)
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容／授業スケジュール 前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。スペイン語検定試験では6級合格レベルになります。

- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、2課：バス停にて(直説法現在、規則動詞)(2-8)
- (3) 3課：大学で(ser動詞とestar動詞(不規則動詞1)) 4課：どこ出身?(形容詞の性質と用法)(9-14)
- (4) 中間試験(15)
- (5) 5・7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在、不規則動詞など)(16-25)
- (6) 8課：歓迎会にてgustar型動詞など(26-28)
- (7) まとめ(29)
- (8) 定期試験(30)

準備学習 履修上の留意点 YeStudayを使用しますので各自予習・復習に役立ててください
出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。やむをえない理由で欠席する場合は証明書等を提出すること。

成績評価の方法 出席(20%) + 授業態度・積極性(10%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(5月後半(5%)、11月前半(5%) + 毎回の授業の確認テスト(YeStuday上)(5%)

教科書／テキスト 菊田 / 丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円
参 考 書 初回の授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。
そ の 他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

履修コード	291101
科目名	スペイン語Ⅱ(選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい) 原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ諸特徴への理解を深める。
講義の内容／授業スケジュール 受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。

準備学習 毎回必ず予習(わからない単語は辞書で調べ、全文を和訳できるように)してくる。

成績評価の方法 試験(前期・後期各1回の予定)70%、平常点(出席率と予習状況)30%。

教科書／テキスト プリント配布

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	杉山 秀子

講義の到達目標(わらい)

ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、独創性、奥深さが伝わってきます。

本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しく、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。

講義の内容／授業スケジュール

インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講読を行います。

4-7月 ○基礎文法の復習と

○中級文法の導入

○ロシア語版のソフトになれるようにする

9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。

履修上の留意点

PC 教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。

積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書／テキスト

教場にてプリント配布。

履修コード	286401・286402
科目名	現代を読むロシア語 時事ロシア語
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(わらい)

21世紀のロシアは、豊かな天然資源を基盤に、新興国 BRICS の一角を担って著しい経済成長維持している。また、天然資源のみならず、長い歴史と多様な民族、そして人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、人類の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容／授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

前期(4-7月) 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。

後期(9-12月) 現在のロシアが直面する社会的課題と政治の対応に焦点を当てた論文を読み解く。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書／テキスト

プリントを配布する。

参 考 書

辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	287301・287302
科目名	ロシア語スキルアップ 上級ロシア語
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(わらい)

ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。

会話練習。

簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。

講読した内容について自由会話を行う。

ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容／授業スケジュール

4-7月 初歩の会話を学ぶ。

9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。

履修上の留意点

出席を重視します。

試験は一週間に一度簡単なテストを行います。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書／テキスト

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。

プリント配布。

学生の要望も考慮してテキストを選びます。

ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションⅠ
担当者名	安徳 <small>あんどく にーな</small> ニーナ

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国でもあり、日本人がロシア語を学ぶ意義は大きいものがあります。

この授業では、ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだ文法や語彙を復習しながら、初歩的な会話表現を学習することにします。徐々に平易な文書も読みこなせるようにしていきます。音声に重点を置きながら、実用的なロシア語の習得を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

教科書にそって、会話中心の授業を進めます。前期ではロシア語の簡単な受け答えを学び、後期には徐々に長い文章も読み、聞き、話せるようにしていきます。

会話中心の授業なので、間違いを恐れずに積極的にロシア語を話してください。

通常の定期試験は行わず、授業で行う練習問題を主として、学習意欲を参考に、平常点で評価します。

教科書/テキスト
参 考 書

杉山秀子他著「21世紀のロシア語」(大学書林)

必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションⅡ
担当者名	安徳 <small>あんどく にーな</small> ニーナ

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで、国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国の言語でもありながら、日本では授業がない大学がほとんどです。ロシア語を学ぶことは、学生の皆さんの将来にとってもきっと役立つはずですよ。

この授業では、平易な日常的な話題に始まり、さまざまな社会的な話題についても一定の表現ができることを目指します。徐々に、新聞や雑誌の内容も理解できるようにしていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

資料にもとづいて、会話練習に重点を置いた授業を進めます。4月から7月の前期の授業では、比較的平易なロシア語の日常会話をモデルに、応用練習を重ねます。9月から12月の後期の授業では、新聞や雑誌の記事などを参考に、より語彙や表現を広げた会話を練習していきます。

履修上の留意点
成績評価の方法

会話中心の授業なので、間違いを恐れずに、積極的にロシア語を話すようにしてください。

通常の定期試験は行わず、授業で行う会話練習を主として、学習態度も参考に、平常点で評価します。

教科書/テキスト

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します(学生の関心対象、希望も考慮します)。学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。

そ の 他

授業の内容に応じ、ビデオ等を使用しつつ、現在のロシアの様子やロシア語についても話をします。

履修コード	290001
科目名	ロシア語ⅠA (選)
担当者名	クロチコフ、Y.

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディール・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初級文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

出席を重視します。

試験は一週間に一度簡単なテストを行います。

期末試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。

ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

『露和辞典』

外
国
語

履修コード	290601
科目名	ロシア語ⅠB (選)
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は国連の公用語であるだけでなく、欧州地域では最も話者人口の多い言語です。ロシア語の習得は、世界とコミュニケートするための有効なツールといえます。アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的にとっても混迷しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケートできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

この授業では、前期(4月-7月)はロシア文字の読み方・発音、文のイントネーションなど音声面に力を入れながら、挨拶文などを中心に短い日常表現を練習します。後期(9月-12月)では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用していく予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会うような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

試験は行わず、平常点で評価します。

黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参 考 書

学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。

辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語Ⅱ (選)
担当者名	クロコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	4-7月 発音・会話を学ぶ。 9-12月 会話力を一層高める。 出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半、 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。 その他プリント配布。
参 考 書	ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

外国語

履修コード	290101
科目名	朝鮮語ⅠA (選)
担当者名	宋 美玲

講義の到達目標(ねらい)	朝鮮語Ⅰの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。
講義の内容／ 授業スケジュール	IAのクラスは話し言葉中心、IBのクラスは書き言葉中心ではあるが、初歩的な学習事項はIAとIBクラスほぼ同様である。後期からIAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。 第1回：オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回：韓国語の文字と発音 第7回：小テスト(文字)及び単語の読み 第8～9回：発音の変化と日本語のハングル表記 第10～11回：第9課と小テスト及び韓国を紹介するDVD鑑賞 第12～13回：第10課～第11課 第14回：テスト及び韓国情報 第15回：前期のまとめ 第16回：小テストー前期の内容 第17～19回：第12課～第13課及び小テスト 第20～24回：第14課～第16課及び小テストと応用練習 第25回：映画鑑賞 第26～28回：第17課～第18課及び応用練習 第29回：テストと韓国情報 第30回：後期のまとめ
準備学習 履修上の留意点	約2週ごとに暗記及び暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習と予習が重要である。 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	暗誦・暗記などの小テストの成績(60%)、出席(30%)・授業への参加度(10%)により、総合的に評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)2,400円+税 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語ⅠB(選)
担当者名	宋 美玲

講義の到達目標(ねらい) 朝鮮語Ⅰの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容／授業スケジュール IBのクラスは書き言葉中心で、IAのクラスは話し言葉中心ではあるが、初歩的な学習事項は両クラスほぼ同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による書きと読みを力を注いでいく。

第1回：オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回：韓国語の文字と発音 第7回：小テスト(文字)及び単語の読み 第8～9回：発音の変化と日本語のハングル表記 第10～11回：第9課と小テスト及び韓国を紹介するDVD鑑賞 第12～13回：第10課～第11課 第14回：テスト及び韓国情報 第15回：前期のまとめ 第16回：小テスト-前期の内容 第17～19回：第12課～第13課及び小テスト 第20～22回：第14課～第15課及び小テストと応用練習 第23～24回：第16課及び小テストと応用練習 第25回：映画鑑賞 第26～28回：第17課～第18課及び応用練習 第29回：テストと韓国情報 第30回：後期のまとめ

準備学習
履修上の留意点

約2週ごとに暗記及び暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習と予習が重要である。最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

暗誦・暗記などの小テストの成績(60%)、出席(30%)・授業への参加度(10%)により、総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社)2,400円+税
野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

外
国
語

履修コード	291211
科目名	朝鮮語Ⅱ(選)
担当者名	宋 美玲

講義の到達目標(ねらい) 基本的な文法内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるよう、表現能力を養成する。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容／授業スケジュール テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦する。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を強化し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。

第1回～第5回(第6課～10課)は初級の復習を行う。第6回からはテキストの内容に沿って進めていくが、新しい課が終わると次回の授業では、前回の会話内容を暗誦及び暗記する小テストを行う。

準備学習
履修上の留意点

約2週ごとに暗誦及び暗記などの小テストを行うため、毎週復習と予習が重要である。

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Ⅰのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

小テストの成績(60%)、出席(20%)、授業への参加度(20%)により総合的に評価する。

浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社2,400円+税
野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	鈴木 ^{すずき} 淳平 ^{じゆんへい}

講義の到達目標(わらい)	本講義では、バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バトミントン等の室内で行なわれる競技種目を教材とし、その競技種目で用いられる身体運動等を学習する。基本的に毎時間ゲームを行い、種目ごとに用いられる技術・戦術等を体得し、同時に体力の増強を図ることを主要なねらいとする。同時に、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係を構築することを副次的なねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目はオリエンテーションを行う。 2～5 時限目 バスケットボール 6～9 時限目 バレーボール 10～13時限目 バトミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。
成績評価の方法	授業出席を重視し、評点の80％とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (空手道)
担当者名	高橋 ^{たかはし} 俊介 ^{しゆんすけ}

講義の到達目標(わらい)	空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：空手道の歴史と技の説明 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打 7 時限目：総合的に反復して練習 8 時限目：総合的に反復して練習 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。 11時限目：総合的に反復して練習 12時限目：総合的に反復して練習 13時限目：総合的に反復して練習 14時限目：総合的に反復して練習 15時限目：実技試験
履修上の留意点	服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法	授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	岩本 ^{いわもと} 哲也 ^{てつや}

講義の到達目標(ねらい) ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基盤を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 4時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 5時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：総合練習、ゲーム
- 8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：総合練習、ゲーム
- 10時限目：ゲーム（リーグ戦1）
- 11時限目：ゲーム（リーグ戦2）
- 12時限目：ゲーム（リーグ戦3）
- 13時限目：ゲーム（リーグ戦4）
- 14時限目：ゲーム（リーグ戦5）
- 15時限目：ゲーム（リーグ戦6）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。

成績評価の方法

シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。
評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	みつなが ^{よして} 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション

2時限：体力測定

3時限：最大筋力測定

4時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7時限：ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング

8時限：ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング

9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10時限：トレーニング

11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12時限：トレーニング

13時限：トレーニング・最大筋力測定

14時限：体力測定

15時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内用)を用意すること。

出席、トレーニング内容(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法

そ の 他

器具のいらないトレーニング方法(一人で、対人で)などを講義する。

保健
体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。
成績評価の方法	成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を点数に換算して実技点とする。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)
担当者名	館岡 儀秋 <small>たておか よしあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。
講義の内容／授業スケジュール	1週目：オリエンテーション 2週目：ゴルフスイングの基礎(グリップ、アドレス、スイング) 3週目：打撃練習(9アイアン) 4週目：打撃練習(ピッチングウェッジ・9アイアン) 5週目：打撃練習(ピッチングウェッジ・9アイアン) 6週目：打撃練習(9アイアン・7アイアン) 7週目：打撃練習(7アイアン・1ウッド) 8週目：打撃練習(7アイアン・1ウッド) 9週目：打撃練習(アプローチショット) 10週目：打撃練習(アプローチショット) 11週目：パッティング(ゴルフコース・クラブの解説) 12週目：パッティングラウンド(マナー、エチケットの解説) 13週目：ラウンドプレー(模擬コース) 14週目：ラウンドプレー(模擬コース) 15週目：実技テスト
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。
その他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	<small>しもやち かつし</small> 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト その他の	特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健
体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (ジョギング)
担当者名	<small>うちやま まさひろ</small> 内山 雅博

講義の到達目標(ねらい)	健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約30年になろうとしている比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：諸注意・心拍数測定・体重測定 2時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩、12分/kmで歩く） 3時限目：〃 4時限目：ゆっくりとしたジョギング（時間走、距離走、12分/kmで走る） 5時限目：〃 6時限目：〃 7時限目：12分間走 8時限目：ジョギング（10分/kmでの時間走、距離走） 9時限目：〃 10時限目：〃 11時限目：〃 12時限目：ジョギング（10分/km～6分/kmのペースで自由走） 13時限目：〃 14時限目：12分間走 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装：実技のできる服装とする。 シューズ：ランニングシューズ、トレーニングシューズに限る。陸上競技用のスパイクシューズはトラック保護の立場から不可とする。 事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと。給水を怠らないことなど）ジョギングによって相当量の発汗を伴うための着替えの用意が必要である。
成績評価の方法 その他の	出席を重視する。積極性、平常点（授業への参加度）を加味する。 雨天時は歩行・走運動のための補助（技術を高める）・補強運動（筋力等を高める）を実施する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい)

この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与する。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書／テキスト
その他

特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。
グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習
履修上の留意点

体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他の

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)

サッカーにおける、止める(トラップ)、蹴る(キック)、運ぶ(ドリブル)の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム
- 3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム
- 4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム
- 5時限目：インステップキック(浮き球、グラウンダー)、ゲーム
- 6時限目：インフロントキック、ゲーム
- 7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム
- 8時限目：基本技術の応用1、ゲーム
- 9時限目：基本技術の応用2、ゲーム
- 10時限目：基本技術の応用3、ゲーム
- 11時限目：リーグ戦1
- 12時限目：リーグ戦2
- 13時限目：リーグ戦3
- 14時限目：リーグ戦4
- 15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。

シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
(取替え式スパイクは不可)

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	<small>すずき じゆんべい</small> 鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バドミントン等の室内で行なわれる競技種目を教材とし、その競技種目で用いられる身体運動等を学習する。基本的に毎時間ゲームを行い、種目ごとに用いられる技術・戦術等を体得し、同時に体力の増強を図ることを主要なねらいとする。同時に、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係を構築することを副次的なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1時限目はオリエンテーションを行う。
2～5時限目 バスケットボール
6～9時限目 バレーボール
10～13時限目 バドミントン
14・15時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点 授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 授業出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点评価します。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	<small>みつなが よしてる</small> 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい) トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容／
授業スケジュール 初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単かつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション
2時限：体力測定
3時限：最大筋力測定
4時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング
6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
7時限：ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング
8時限：ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング
9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
10時限：トレーニング
11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
12時限：トレーニング
13時限：トレーニング・最大筋力測定
14時限：体力測定
15時限：まとめ

履修上の留意点 <授業の内容は前後する場合があります。>
成績評価の方法 服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内用)を用意すること。
出席、トレーニング内容(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

そ の 他 器具のいらないトレーニング方法(一人で、対人で)などを講義する。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 ^{たかはし} 俊介 ^{しゅんすけ}

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	内山 ^{うちやま} 雅博 ^{まさひろ}

講義の到達目標(ねらい) ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。また高等学校の体育実技の授業においては、3学年の選択授業の種目として取り上げられることが多い。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。また、「レクリエーションの延長として気軽に実施出来る種目」として実践するとともに、危険の予知・防止能力、安全管理能力を高めるよう努力したい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2 時限目：＼
- 3 時限目：試合（勝ち点制）
- 4 時限目：＼
- 5 時限目：＼
- 6 時限目：＼
- 7 時限目：＼
- 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9 時限目：＼
- 10 時限目：試合（勝ち点制）
- 11 時限目：＼
- 12 時限目：＼
- 13 時限目：＼
- 14 時限目：＼
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与する。（各自の用具を持参することも許可する）
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは人工芝保護の立場から不可。

成績評価の方法
そ の 他

出席を重視する。積極性、平常点、試合毎の勝ち点も加えて評価する。
雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。また、施設使用の条件によっては、他のスポーツ種目、トレーニング等を行う。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	やなぎ こうじろう 柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)
担当者名	すえつぐ みさ 末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返して稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分そう・白鶴亮翅
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
5時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
7時限目：第五組 高探馬・右とう脚・双峰貫耳・轉身左とう脚
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
10時限目：第八組 轉身撒らん捶・如封似閉・十字手・收勢
11時限目：総合
12時限目：総合
13時限目：総合
14時限目：総合
15時限目：テスト

履修上の留意点

服装：上下とも身軽に動きやすいものがよい。基本的に裸足で行うが、シューズを用意しても構わない。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	みづなが ましる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1時限：オリエンテーション
- 2時限：体力測定
- 3時限：最大筋力測定
- 4時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。
- 5時限：有酸素運動と心拍数の関係の解説 トレーニング
- 6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
- 7時限：ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング
- 8時限：ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング
- 9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
- 10時限：トレーニング
- 11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
- 12時限：トレーニング
- 13時限：トレーニング・最大筋力測定
- 14時限：体力測定
- 15時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ(室内用)を用意すること。

出席、トレーニング内容(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

履修上の留意点
成績評価の方法

その他の

器具のいらないトレーニング方法(一人で、対人で)などを講義する。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 ^{たかはし} 俊介 ^{しゅんすけ}

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 ^{すずき} 淳平 ^{じゅんぺい}

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バドミントン等の室内で行なわれる競技種目を教材とし、その競技種目で用いられる身体運動等を学習する。基本的に毎時間ゲームを行い、種目ごとに用いられる技術・戦術等を体得し、同時に体力の増強を図ることを主要なねらいとする。同時に、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係を構築することを副次的なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目はオリエンテーションを行う。
- 2～5時限目 バスケットボール
- 6～9時限目 バレーボール
- 10～13時限目 バドミントン
- 14・15時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法

授業出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	内山 <small>うちやま まさひろ</small> 雅博

講義の到達目標(ねらい)

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。また高等学校の体育実技の授業においては、3学年の選択授業の種目として取り上げられることが多い。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。また、「レクリエーションの延長として気軽に実施出来る種目」として実践するとともに、危険の予知・防止能力、安全管理能力を高めるよう努力したい。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
2時限目：＼
3時限目：試合（勝ち点制）
4時限目：＼
5時限目：＼
6時限目：＼
7時限目：＼
8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
9時限目：＼
10時限目：試合（勝ち点制）
11時限目：＼
12時限目：＼
13時限目：＼
14時限目：＼
15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与する。（各自の用具を持参することも許可する）
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

成績評価の方法
その他

出席を重視する。積極性、平常点、試合毎の勝ち点も加えて評価する。
雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。また、施設使用の条件によっては、他のスポーツ種目、トレーニング等を行う。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	岩本 <small>いわもと てつや</small> 哲也

講義の到達目標(ねらい)

サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム
3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム
4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム
5時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
6時限目：インフロントキック、ゲーム
7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム
8時限目：基本技術の応用1、ゲーム
9時限目：基本技術の応用2、ゲーム
10時限目：基本技術の応用3、ゲーム
11時限目：リーグ戦1
12時限目：リーグ戦2
13時限目：リーグ戦3
14時限目：リーグ戦4
15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
（取替え式スパイクは不可）

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

講義の到達目標(わらい)	ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。
講義の内容/ 授業スケジュール	1週目：オリエンテーション 2週目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング） 3週目：打撃練習（9 アイアン） 4週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン） 5週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン） 6週目：打撃練習（9 アイアン・7アイアン） 7週目：打撃練習（7アイアン・1ウッド） 8週目：打撃練習（7アイアン・1ウッド） 9週目：打撃練習（アプローチショット） 10週目：打撃練習（アプローチショット） 11週目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説） 12週目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説） 13週目：ラウンドプレー（模擬コース） 14週目：ラウンドプレー（模擬コース） 15週目：実技テスト
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一

講義の到達目標(わらい)	テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。 本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。 また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。
講義の内容/ 授業スケジュール	1：オリエンテーション、授業目標の説明 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術 5：フォアハンド・バックハンドボレー 6：スマッシュ、サービスの基本技術 7：ラリーの応用練習 8～10：半面でのシングルスゲーム 11：ダブルスのルールと戦術 12～14：ダブルスのゲーム 15：まとめ
準備学習 履修上の留意点	体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。 ① 履修者の技術レベルは問わない。 ② 服装は一般的な運動服装とする。 ③ ラケットは貸与する。
成績評価の方法 その他	出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。 雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はの中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他の

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)
担当者名	末次 美樹 <small>すえつぐ みき</small>

講義の到達目標(ねらい)

キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
3時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
4時限目：キックの練習
5時限目：コンビネーション
6時限目：フットワークの練習
7時限目：コンビネーション(音楽に合わせる)
8～14時限目：総合
15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。裸足でも良いが、なるべくシューズ(室内専用)があったほうが良い。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	光永 吉輝 <small>みつなが よしてる</small>

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション

2時限：体力測定

3時限：最大筋力測定

4時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング

8時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング

9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10時限：トレーニング

11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12時限：トレーニング

13時限：トレーニング・最大筋力測定

14時限：体力測定

15時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

その他の

器具のいらないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)
担当者名	たておか 儀秋 舘岡 儀秋

講義の到達目標(ねらい)	ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。
講義の内容/ 授業スケジュール	1週目：オリエンテーション 2週目：ゴルフスイングの基礎 (グリップ、アドレス、スイング) 3週目：打撃練習 (9 アイアン) 4週目：打撃練習 (ピッチングウエッジ・9アイアン) 5週目：打撃練習 (ピッチングウエッジ・9アイアン) 6週目：打撃練習 (9 アイアン・7アイアン) 7週目：打撃練習 (7アイアン・1ウッド) 8週目：打撃練習 (7アイアン・1ウッド) 9週目：打撃練習 (アプローチショット) 10週目：打撃練習 (アプローチショット) 11週目：パッティング (ゴルフコース・クラブの解説) 12週目：パッティングラウンド (マナー、エチケットの解説) 13週目：ラウンドプレー (模擬コース) 14週目：ラウンドプレー (模擬コース) 15週目：実技テスト
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。
その他の	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

保健
体育

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。 さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2～5回 バスケットボール (基礎練習、ゲーム) 第6～9回 バレーボール (基礎練習、ゲーム) 第10～13回 バドミントン (基礎練習、ゲーム) 第14～15回 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	スポーツウェア (上下)、体育館シューズの着用を厳守すること (土足厳禁)。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習 (空手道)
担当者名	なかはし しゆんすけ 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グラウンダー)
- 3時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9
- 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習 (空手道)
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい)

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健
体育

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	いわた ともや 岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)

ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基盤を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 3 時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 4 時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 5 時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 6 時限目：総合練習、ゲーム
- 7 時限目：総合練習、ゲーム
- 8 時限目：総合練習、ゲーム
- 9 時限目：総合練習、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム (リーグ戦1)
- 11 時限目：ゲーム (リーグ戦2)
- 12 時限目：ゲーム (リーグ戦3)
- 13 時限目：ゲーム (リーグ戦4)
- 14 時限目：ゲーム (リーグ戦5)
- 15 時限目：ゲーム (リーグ戦6)

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	<small>すずき じゆんぺい</small> 鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、体力の維持・増進を図る上で必要な、身体トレーニングの理論と実践の基礎知識を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目はオリエンテーションを行う。
 2～5時限目 体力測定、身体トレーニングの理論と実践の基礎知識
 6～9時限目 レジスタンストレーニング、有酸素トレーニング
 10～13時限目 パーソナルメニューの作成と実践
 14・15時限目 体力測定、まとめ

履修上の留意点 遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点点評価します。

保健体育

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)
担当者名	<small>たておか よしあき</small> 館岡 儀秋

講義の到達目標(ねらい) ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。

講義の内容／授業スケジュール
 1週目：オリエンテーション
 2週目：ゴルフスイングの基礎 (グリップ、アドレス、スイング)
 3週目：打撃練習 (9 アイアン)
 4週目：打撃練習 (ピッチングウエッジ・9アイアン)
 5週目：打撃練習 (ピッチングウエッジ・9アイアン)
 6週目：打撃練習 (9アイアン・7アイアン)
 7週目：打撃練習 (7アイアン・1ウッド)
 8週目：打撃練習 (7アイアン・1ウッド)
 9週目：打撃練習 (アプローチショット)
 10週目：打撃練習 (アプローチショット)
 11週目：パッティング (ゴルフコース・クラブの解説)
 12週目：パッティング ラウンド (マナー、エチケットの解説)
 13週目：ラウンドプレー (模擬コース)
 14週目：ラウンドプレー (模擬コース)
 15週目：実技テスト

履修上の留意点
 1. 服装は、一般的な運動服装とする。
 2. シューズは、運動靴とする。
 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他 雨天および強風時は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	<small>やまぐち よしかろ</small> 山口 良博

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎をつくる。

講義の内容／授業スケジュール
 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
 第2回 ラケットティング、フォアハンドのストローク、フォアハンドゲーム
 第3～5回 フォアハンド、バックハンドのストローク、スマッシュ、シングルスゲーム
 第6～8回 カットの打ち方と返球、シングルスゲーム (リーグ戦)
 第9～11回 ダブルスでの攻防、ダブルスゲームの練習
 第12～15回 ダブルスゲーム (リーグ戦)

履修上の留意点 スポーツウェア (上下)、体育館シューズの着用を厳守すること (土足厳禁)。ラケットは貸与する。

成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい)

バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
（バスケットボール）
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6 時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7 時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9 時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）
（バドミントン）
- 10 時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11 時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12 時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13 時限目：サービス、ロブ、ブッシュ、シングルスゲーム
- 14 時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15 時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習
履修上の留意点

体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	山口 良博 <small>やまぐち よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) ソフトボールを行うための「投げる」「捕る」「打つ」といった基礎技術の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習においてルール等ゲームの進め方を学習する。
また、毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール
第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
第2～4回 キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
第5～7回 シートノック、フリーバッティング、ゲーム
第8～9回 総合練習、ゲーム
第10～15回 ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点 スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(スパイクは不可)の着用を厳守すること。用具は貸与する。

成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

そ の 他 雨天時でも、室内にて運動する場合がありますので、常に運動着は準備すること。

保健体育

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	光永 吉輝 <small>みつなが よしてる</small>

講義の到達目標(ねらい) トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単かつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション
2時限：体力測定
3時限：最大筋力測定
4時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。
5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング
6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
7時限：ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング
8時限：ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング
9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
10時限：トレーニング
11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
12時限：トレーニング
13時限：トレーニング・最大筋力測定
14時限：体力測定
15時限：まとめ
<授業の内容は前後する場合があります。>
履修上の留意点 服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内用)を用意すること。
成績評価の方法 出席、トレーニング内容(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

そ の 他 器具のいらないトレーニング方法(一人で、対人で)などを講義する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	サッカーにおける、止める(トラップ)、蹴る(キック)、運ぶ(ドリブル)の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム 3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム 4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム 5時限目：インステップキック(浮き球、グラウンダー)、ゲーム 6時限目：インフロントキック、ゲーム 7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム 8時限目：基本技術の応用1、ゲーム 9時限目：基本技術の応用2、ゲーム 10時限目：基本技術の応用3、ゲーム 11時限目：リーグ戦1 12時限目：リーグ戦2 13時限目：リーグ戦3 14時限目：リーグ戦4 15時限目：リーグ戦5
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること (取替え式スパイクは不可)
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)	テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。 本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。 また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけて自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	1：オリエンテーション、授業目標の説明 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術 5：フォアハンド・バックハンドボレー 6：スマッシュ、サービスの基本技術 7：ラリーの応用練習 8～10：半面でのシングルスゲーム 11：ダブルスのルールと戦術 12～14：ダブルスのゲーム 15：まとめ
準備学習 履修上の留意点	体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。 ① 履修者の技術レベルは問わない。 ② 服装は一般的な運動服装とする。 ③ ラケットは貸与する。
成績評価の方法 その他	出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。 雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1次リーグ)
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム(2次リーグ)
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム(2次リーグ)
(バドミントン)
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。
評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習
履修上の留意点

体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他の

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>

講義の到達目標(ねらい)

バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1次リーグ)
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム(2次リーグ)
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム(2次リーグ)
(バドミントン)
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、ソフトボールを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、その身体運動等を学習し、同時に体力の増強を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係を構築することを副次的なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
 1 時限目はオリエンテーションを行う。
 2 時限目：キャッチボール、トスバッティング、ゲーム
 3 時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム
 4 時限目～：総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、卓球は、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。

講義の内容／授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2 時限目：ラケットの説明、フォアハンドの基本技術、ミニゲーム／ 3 時限目：バックハンドの基本技術、ミニゲーム／ 4 時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、サーブの基本技術／ 5 時限目～8 時限目：シングルスゲーム／ 9 時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 10 時限目～13 時限目：ダブルスゲーム 14 時限目：トーナメント試合／ 15 時限目：トーナメント試合

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。

成績評価の方法 講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい) サッカーにおける、止める(トラップ)、蹴る(キック)、運ぶ(ドリブル)の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 2 時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム
 3 時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム
 4 時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム
 5 時限目：インステップキック(浮き球、グラウンダー)、ゲーム
 6 時限目：インフロントキック、ゲーム
 7 時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム
 8 時限目：基本技術の応用1、ゲーム
 9 時限目：基本技術の応用2、ゲーム
 10 時限目：基本技術の応用3、ゲーム
 11 時限目：リーグ戦1
 12 時限目：リーグ戦2
 13 時限目：リーグ戦3
 14 時限目：リーグ戦4
 15 時限目：リーグ戦5

履修上の留意点 服装：一般的な運動服装とする。
 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
 (取替え式スパイクは不可)

成績評価の方法 評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	あきた 浩一

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容/
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカム II という空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカム II 最大筋力測定
- 3 時限目：＃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5～7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9～11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13・14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容(毎時間記録する)。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習 (ゴルフ)
担当者名	あておか 儀秋

講義の到達目標(ねらい)

ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 週目：オリエンテーション
- 2 週目：ゴルフスイングの基礎(グリップ、アドレス、スイング)
- 3 週目：打撃練習(9 アイアン)
- 4 週目：打撃練習(ピッチングウエッジ・9 アイアン)
- 5 週目：打撃練習(ピッチングウエッジ・9 アイアン)
- 6 週目：打撃練習(9 アイアン・7 アイアン)
- 7 週目：打撃練習(7 アイアン・1 ウッド)
- 8 週目：打撃練習(7 アイアン・1 ウッド)
- 9 週目：打撃練習(アプローチショット)
- 10 週目：打撃練習(アプローチショット)
- 11 週目：バッティング(ゴルフコース・クラブの解説)
- 12 週目：バッティングラウンド(マナー、エチケットの解説)
- 13 週目：ラウンドプレー(模擬コース)
- 14 週目：ラウンドプレー(模擬コース)
- 15 週目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

その他

雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングは、特定の運動によって体の運動遂行能力を向上させることである。近年、科学の著しい発展に伴う社会環境の変化により、日常生活における筋肉運動量が減り、さらには栄養の過剰摂取による肥満傾向もみられ、日々の身体運動の必要性が盛んに論じられている。授業におけるトレーニングでは、その目的を明確にしなが、筋力や持久力、瞬発力の計画的な向上を図り、生涯にわたり自分の体力を維持・向上するための方法を知ることがねらいとされる。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業の説明、体力測定／ 2時限目～3時限目：カイザーカムIIによる最大筋力の測定／ 4時限目～7時限目：トレーニング開始（毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を選定して5～8種類のマシンを利用したトレーニングを2～3セット行う）／ 8時限目～11時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 12時限目～14時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 15時限目： 体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なトレーニングウェア、スポーツウェアとする。シューズは、室内用シューズを用意すること。

成績評価の方法

講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。実技点には、トレーニング内容や態度も含めて評価する。

保健
体育

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	大石 武士 <small>おおいし たけし</small>

講義の到達目標(ねらい)

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成りたっている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バドミントンなどを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム
- 3時限目：パス(チェスト、オーバー、アンダー、バウンドパス)、ゲーム
- 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5時限目：リーグ戦1
- 6時限目：リーグ戦2
(バドミントン)
- 7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム
- 8時限目：サーブ、スマッシュ、ゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲーム
- 11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
- 12時限目：パス、トラップ、シュート
- 13時限目：基本技術の応用、ゲーム
- 14時限目：リーグ戦1
- 15時限目：リーグ戦2

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>やなぎ こうじろう</small> 柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい) トレーニングは、特定の運動によって体の運動遂行能力を向上させることである。近年、科学の著しい発展に伴う社会環境の変化により、日常生活における筋肉運動量が減り、さらには栄養の過剰摂取による肥満傾向もみられ、日々の身体運動の必要性が盛んに論じられている。授業におけるトレーニングでは、その目的を明確にしながら、筋力や持久力、瞬発力の計画的な向上を図り、生涯にわたり自分の体力を維持・向上するための方法を知ることがねらいとされる。

講義の内容／
授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション、授業の説明、体力測定／ 2時限目～3時限目：カイザーカムIIによる最大筋力の測定／ 4時限目～7時限目：トレーニング開始（毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を選定して5～8種類のマシンを利用したトレーニングを2～3セット行う）／ 8時限目～11時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 12時限目～14時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 15時限目： 体力測定、まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的なトレーニングウェア、スポーツウェアとする。シューズは、室内用シューズを用意すること。

成績評価の方法 講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。実技点には、トレーニング内容や態度も含めて評価する。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的とした。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、ファオハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ (3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること (土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。

保健
体育

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	岩本 哲也 <small>いわもと てつや</small>

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バドミントンなどを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム
- 3時限目：パス (チェスト、オーバー、アンダー、バウンドパス)、ゲーム
- 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5時限目：リーグ戦1
- 6時限目：リーグ戦2
(バドミントン)
- 7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム
- 8時限目：サービス、スマッシュ、ゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲーム
- 11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
- 12時限目：パス、トラップ、シュート
- 13時限目：基本技術の応用、ゲーム
- 14時限目：リーグ戦1
- 15時限目：リーグ戦2

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングは、特定の運動によって体の運動遂行能力を向上させることである。近年、科学の著しい発展に伴う社会環境の変化により、日常生活における筋肉運動量が減り、さらには栄養の過剰摂取による肥満傾向もみられ、日々の身体運動の必要性が盛んに論じられている。授業におけるトレーニングでは、その目的を明確にしながら、筋力や持久力、瞬発力の計画的な向上を図り、生涯にわたり自分の体力を維持・向上するための方法を知ることがねらいとされる。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業の説明、体力測定／ 2時限目～3時限目：カイザーカムIIによる最大筋力の測定／ 4時限目～7時限目：トレーニング開始（毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を選定して5～8種類のマシーンを利用したトレーニングを2～3セット行う）／ 8時限目～11時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 12時限目～14時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なトレーニングウェア、スポーツウェアとする。シューズは、室内用シューズを用意すること。

成績評価の方法

講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。実技点には、トレーニング内容や態度も含めて評価する。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ さきお</small>

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目：セルフマッサージ法／ 5時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ (3球目)、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト そ の 他	特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健体育

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明 (バスケットボール) 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ) 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ) 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1次リーグ) 6時限目：フルコート3対2、ゲーム(2次リーグ) 7時限目：フルコート4対3、ゲーム(2次リーグ) 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ) 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム(2次リーグ) (バドミントン) 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム 15時限目：ダブルスゲーム
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	光永 ^{みつなが} 吉輝 ^{よしかる}

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容/
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション

2時限：体力測定

3時限：最大筋力測定

4時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7時限：ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング

8時限：ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング

9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10時限：トレーニング

11時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12時限：トレーニング

13時限：トレーニング・最大筋力測定

14時限：体力測定

15時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内用)を用意すること。

出席、トレーニング内容(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

そ の 他

器具のいらないトレーニング方法(一人で、対人で)などを講義する。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習
履修上の留意点

体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

保健
体育

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習 (空手道)
担当者名	高橋 俊介 <small>たかはし しゆんすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習
履修上の留意点

体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容／
授業スケジュール

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1時限：オリエンテーション

2時限：体力測定

3時限：最大筋力測定

4時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング

8時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング

9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10時限：トレーニング

11時限：『せほね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12時限：トレーニング

13時限：トレーニング・最大筋力測定

14時限：体力測定

15時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

そ の 他

器具のいないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目: オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目: 班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目: インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目: 浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目: インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目: インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目: オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目: 浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9～12時限目: 基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9
- 13時限目: 基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14時限目: 基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15時限目: まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。

さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
- 第2～5回 バスケットボール(基礎練習、ゲーム)
- 第6～9回 バレーボール(基礎練習、ゲーム)
- 第10～13回 バドミントン(基礎練習、ゲーム)
- 第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること(土足厳禁)。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	竹田 ^{たけだ ゆきお} 幸夫

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目：セルフマッサージ法／ 5時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はの中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他の

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	下谷内 ^{しもやち かつとし} 勝利

講義の到達目標(ねらい)

この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム
4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム
5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム
6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
9時限目：シングルスゲーム
10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
11時限目：ダブルスゲーム
12時限目：ダブルスゲーム
13時限目：ダブルスゲーム
14時限目：スキルテスト
15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与する。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書／テキスト

特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。

その他の

グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、ダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、生涯スポーツの一つとして、継続して実施できるような基盤を作ることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方 シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

保
健
体
育

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	たけだ ゆきお 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操
- 4時限目：セルフマッサージ法
- 5時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン
- 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン
- 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン
- 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン
- 10時限目：鉄棒、トランポリン
- 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	ソフトボールを行うための基礎技術を学習した後、ゲームを行うことにより、ソフトボールというスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 4時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 5時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 6時限目：ゲーム (リーグ戦) 7時限目：ゲーム (リーグ戦) 8時限目：ゲーム (リーグ戦) 9時限目：ゲーム (リーグ戦) 10時限目：ゲーム (リーグ戦) 11時限目：ゲーム (リーグ戦) 12時限目：ゲーム (リーグ戦) 13時限目：ゲーム (リーグ戦) 14時限目：ゲーム (リーグ戦) 15時限目：ゲーム (リーグ戦)
履修上の留意点	スポーツウェア (上下)、スポーツシューズ (スパイクは不可) の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
教科書／テキスト その他	特に指定はしないが、ソフトボールのルールは予習してもらいたい。 雨天時等の場合は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

保健
体育

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)	トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。 近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。
講義の内容／ 授業スケジュール	初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス (有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。 ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局 (NASA) で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカム II という空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。 1時限目：オリエンテーション、体力測定 2時限目：カイザーカム II 最大筋力測定 3時限目：# 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう 5～7時限目：トレーニング 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up 9～11時限目：トレーニング 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up 13・14時限目：トレーニング 15時限目：体力測定、まとめ
履修上の留意点	服装、トレーニングウェア、体育館シューズ (室内専用) を用意すること。
成績評価の方法	出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容 (毎時間記録する)。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)	<p>テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。</p> <p>本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。</p> <p>また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。</p> <p>さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1：オリエンテーション、授業目標の説明</p> <p>2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5：フォアハンド・バックハンドボレー</p> <p>6：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7：ラリーの応用練習</p> <p>8～10：半面でのシングルスゲーム</p> <p>11：ダブルスのルールと戦術</p> <p>12～14：ダブルスのゲーム</p> <p>15：まとめ</p>
準備学習 履修上の留意点	<p>体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。</p> <p>① 履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>② 服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>③ ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法 その他	<p>出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。</p>

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	やまぐち しょうひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい)	<p>バスケットボール、バレーボール、バドミントンを中心に、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。</p> <p>さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション、授業内容の説明</p> <p>第2～5回 バスケットボール (基礎練習、ゲーム)</p> <p>第6～9回 バレーボール (基礎練習、ゲーム)</p> <p>第10～13回 バドミントン (基礎練習、ゲーム)</p> <p>第14～15回 学生の希望によって決定する。</p>
履修上の留意点	<p>スポーツウェア (上下)、体育館シューズの着用を厳守すること (土足厳禁)。</p>
成績評価の方法	<p>授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。</p>

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 ^{しゆんすけ} 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健
体育

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（屋内球技）
担当者名	山口 ^{よしひろ} 良博

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バレーボール、バドミントンを中心に、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。
さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
- 第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム）
- 第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム）
- 第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム）
- 第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点
成績評価の方法

スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（屋外球技）
担当者名	村松 ^{まこと} 誠

講義の到達目標(ねらい) 屋外で行う、ソフトボールやサッカーなどのゲームを理解し、他の参加者と協力してゲーム運営ができることを目標とする。実施する種目等については、受講者の状況を見て決定する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回目：オリエンテーション、第2回目～14回目：トレーニングとゲーム、第15回目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的なスポーツ服装を準備すること。シューズはスポーツシューズを基本とする。裸足でのプレーは認めない。

成績評価の方法
その他の他

出席点を重視し、受講態度、授業への協力度などを考慮し評価する。
屋外で行うため、授業は天候に左右されるが、状況を見て掲示を出すので、天候が悪い場合は、掲示に注意すること。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)
担当者名	末次 ^{すえつぐ} 美樹 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい) ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	坂井 ^{さかい} 利彰 ^{としあき}

講義の到達目標(ねらい) テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

- 以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。
- 1～2回目：ボールとラケットに親しみための練習
 - 2～6回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの基本練習(球出し中心)
 - 7回目以降15回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)、テニスラケット、運動に適した服装
出席点が60点。技術点10点。態度点15点。理解度15点。
特になし
特になし
質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。
sakai.toshiaki@gmail.com

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	柳 ^{やなぎ こうじろう} 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)	ソフトボールの基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、ソフトボールは、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目～3時限目：キャッチボール、捕球の基本技術、トスバッティング、ゲーム／ 4時限目～5時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム／ 6時限目～9時限目：チームごとの総合練習、ゲーム／ 10時限目～15時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。シューズは、ランニングシューズ等、運動に適したものを持参する。なお、スパイクは不可とする。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。
その他の	雨天時は、室内において他の種目を行うか、あるいは教場においてルールの説明、ビデオ観戦とする。その際には、第2体育館入口付近に場所・教場を掲示する。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	下谷内 ^{しもやち かつとし} 勝利

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト その他の	特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	やまぐち 山口 良博

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。

さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール
 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
 第2～5回 バスケットボール(基礎練習、ゲーム)
 第6～9回 バレーボール(基礎練習、ゲーム)
 第10～13回 バドミントン(基礎練習、ゲーム)
 第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点 スポーツウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること(土足厳禁)。

成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

保健体育

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (ハンドボール)
担当者名	むらまつ 村松 誠

講義の到達目標(ねらい) ハンドボール競技を教材とし、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目:オリエンテーション、2時限目:パス、キャッチとシュート、3時限目:基本的なルールとリードアップゲーム、4時限目:ボール操作とゲーム、5時限目:対人技術とゲーム、6時限目:審判法とゲーム、7時限目:速攻法とゲーム、8時限目:集団技術とゲーム、9時限目～14時限目:リーグ戦、15時限目:まとめ

履修上の留意点 動きやすいスポーツ服装と、スポーツシューズを用意すること。また、ボールを手で扱うため、危険を回避できるよう手の爪を短く切ること。

成績評価の方法 出席点を重視する。全授業回数の3分の2以上の出席者について評価を行う。内容はルール等の理解、受講態度、授業への協力度を加味して評価する。

その他 屋外で行うため、天候に左右されるが、その都度掲示をするので注意すること。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)
担当者名	すえつぐ 末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目:オリエンテーション
 2時限目:ターナーの練習・ジャンプの練習
 3時限目:短縄を使って練習・縄一本での練習
 4時限目:ペアでリズム・バランス感覚の確認
 5時限目:ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 6時限目:5回跳び・10回跳び
 7時限目:ターナーの回転・スピード
 8時限目:ビデオ学習
 9時限目:連続跳び
 10時限目:応用
 11時限目:応用
 12時限目:応用
 13時限目:応用
 14時限目:応用
 15時限目:応用

履修上の留意点 服装:上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ (3球目)、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書/テキスト その他	特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健
体育

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	ソフトボールの基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、ソフトボールは、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。
講義の内容/ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明 / 2時限目～3時限目：キャッチボール、捕球の基本技術、トスバッティング、ゲーム / 4時限目～5時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム / 6時限目～9時限目：チームごとの総合練習、ゲーム / 10時限目～15時限目：ゲーム (リーグ戦)
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。シューズは、ランニングシューズ等、運動に適したものを持参する。なお、スパイクは不可とする。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。
その他	雨天時は、室内において他の種目を行うか、あるいは教場においてルールの説明、ビデオ観戦とする。その際には、第2体育館入口付近に場所・教場を掲示する。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	坂井 利彰

講義の到達目標(ねらい)	テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。
講義の内容／授業スケジュール	以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。 1～2回目：ボールとラケットに親しみための練習 2～6回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの基本練習（球出し中心） 7回目以降15回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習
履修上の留意点	テニスシューズ（ハードコート用又はオールコート用）、テニスラケット、運動に適した服装
成績評価の方法	出席点が60点。技術点10点。態度点15点。理解度15点。
教科書／テキスト	特になし
参考書	特になし
その他	質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。 sakai.toshiaki@gmail.com

保健体育

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バドミントンなどを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明（バスケットボール） 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム 3時限目：パス（チェスト、オーバー、アンダー、バウンドパス）、ゲーム 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム 5時限目：リーグ戦1 6時限目：リーグ戦2（バドミントン） 7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム 8時限目：サーブ、スマッシュ、ゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲーム 11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム 12時限目：パス、トラップ、シュート 13時限目：基本技術の応用、ゲーム 14時限目：リーグ戦1 15時限目：リーグ戦2
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。
成績評価の方法	シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。 評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

保健
体育

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (ソフトボール)
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)

ソフトボールの基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、ソフトボールは、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の説明／
- 2 時限目～3 時限目：キャッチボール、捕球の基本技術、トスバッティング、ゲーム／
- 4 時限目～5 時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム／
- 6 時限目～9 時限目：チームごとの総合練習、ゲーム／
- 10時限目～15時限目：ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。シューズは、ランニングシューズ等、運動に適したものを持参する。なお、スパイクは不可とする。

成績評価の方法

講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

その他

雨天時は、室内において他の種目を行うか、あるいは教場においてルールの説明、ビデオ観戦とする。その際には、第2体育館入口付近に場所・教場を掲示する。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	<small>やまぐち むしひろ</small> 山口 良博

講義の到達目標(ねらい)	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2回 ラケットティング、フォアハンドのストローク、フォアハンドゲーム 第3～5回 フォアハンド、バックハンドのストローク、スマッシュ、シングルスゲーム 第6～8回 カットの打ち方と返球、シングルスゲーム (リーグ戦) 第9～11回 ダブルスでの攻防、ダブルスゲームの練習 第12～15回 ダブルスゲーム (リーグ戦)
履修上の留意点	スポーツウェア (上下)、体育館シューズの着用を厳守すること (土足厳禁)。ラケットは貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

保健
体育

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	<small>さかい としあき</small> 坂井 利彰

講義の到達目標(ねらい)	テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。 1～2回目：ボールとラケットに親しみための練習 2～6回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの基本練習 (球出し中心) 7回目以降15回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習
履修上の留意点	テニスシューズ (ハードコート用又はオールコート用)、テニスラケット、運動に適した服装
成績評価の方法	出席点が60点。技術点10点。態度点15点。理解度15点。
教科書／テキスト	特になし
参考書	特になし
その他	質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。 sakai.toshiaki@gmail.com

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	岩本 哲也 <small>いわもと てつや</small>

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バドミントンなどを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 (バスケットボール) 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム 3時限目：パス（チェスト、オーバー、アンダー、バウンドパス）、ゲーム 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム 5時限目：リーグ戦1 6時限目：リーグ戦2 (バドミントン) 7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム 8時限目：サーブ、スマッシュ、ゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲーム 11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム 12時限目：パス、トラップ、シュート 13時限目：基本技術の応用、ゲーム 14時限目：リーグ戦1 15時限目：リーグ戦2
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

保健体育

履修コード	195901
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>

講義の到達目標(ねらい)	室内で行われるスポーツ、とくにバドミントンを中心にした実技を行う。本講義では、各種目の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、バドミントンは、手軽に実践できるスポーツであるとともに運動量も多い種目である。生涯スポーツにも適しているため、授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目：サーブとスイングの基本技術、簡易ゲーム／ 3時限目：スマッシュの基本技術、ネット際のプレー技術、簡易ゲーム／ 4時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、ダブルスゲーム／ 5時限目～9時限目：ダブルスゲーム／ 10時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 11時限目～13時限目：シングルスゲーム 14時限目：トーナメント試合／ 15時限目：トーナメント試合
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

履修コード	196001
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	^{たけだ せきお} 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい) 室内で行われるスポーツ、とくにバドミントンを中心にした実技を行う。本講義では、各種目の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、バドミントンは、手軽に実践できるスポーツであるとともに運動量も多い種目である。生涯スポーツにも適しているので、授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。

講義の内容／授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目：サーブとスイングの基本技術、簡易ゲーム／ 3時限目：スマッシュの基本技術、ネット際のプレー技術、簡易ゲーム／ 4時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、ダブルスゲーム／ 5時限目～9時限目：ダブルスゲーム／ 10時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 11時限目～13時限目：シングルスゲーム 14時限目：トーナメント試合／ 15時限目：トーナメント試合

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。
成績評価の方法 講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

保健体育

履修コード	196101
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)
担当者名	^{おおいし たけし} 大石 武士

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成りたっている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点 ※受講者数によっては卓球に変更する。
成績評価の方法 服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	196201
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	^{たけだ せきお} 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい) 室内で行われるスポーツ、とくにバドミントンを中心にした実技を行う。本講義では、各種目の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、バドミントンは、手軽に実践できるスポーツであるとともに運動量も多い種目である。生涯スポーツにも適しているので、授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。

講義の内容／授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目：サーブとスイングの基本技術、簡易ゲーム／ 3時限目：スマッシュの基本技術、ネット際のプレー技術、簡易ゲーム／ 4時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、ダブルスゲーム／ 5時限目～9時限目：ダブルスゲーム／ 10時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 11時限目～13時限目：シングルスゲーム 14時限目：トーナメント試合／ 15時限目：トーナメント試合

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。
成績評価の方法 講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

履修コード	196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)	室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1 時間目: オリエンテーション 2 時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術・応用 3 時間目: ゲーム 4 時間目: ゲーム 5 時間目: <バレーボール>サーブ、レシーブ等の基本技術・応用 6 時間目: ゲーム 7 時間目: ゲーム 8 時間目: <ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9 時間目: ボールコントロール、ゲーム 10 時間目: ゲーム(リーグ戦) 11 時間目: ゲーム(リーグ戦) 12 時間目: <バドミントン>基本的な説明 13 時間目: ゲーム 14 時間目: ゲーム 15 時間目: まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	196311
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	村松 誠

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バレーボールを主な教材とし、基礎的な技術、ルールを学習しながら、他の参加者と協力しつつ、ゲーム運営をすることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	1 時限目: オリエンテーション、2 時限目: バスケットボールのボールハンドリングとシュート、3 時限目: 班分けとゲーム、4 時限目: パスワークとゲーム、5 時限目: 対人技能とゲーム、6 時限目: リーグ戦、7 時限目: バレーボールの班分けと基礎技術練習、8 時限目: スパイクとゲーム、9 時限目: サーブとゲーム、10 時限目: リーグ戦、11 時限目: リーグ戦、12 時限目: その他の球技、13 時限目: その他の球技、14 時限目: その他の球技、15 時限目: まとめ
履修上の留意点	動きやすいスポーツウェア、室内用スポーツシューズを用意すること。特にボールを扱うため、手の爪を危険が無いように短く切っておくこと。
成績評価の方法その他	出席点を重視する。全授業回数の3分の2以上の出席者に対して、評価を行う。その他の球技は、バドミントン、卓球などの中から受講者の状況を見て決定する。

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)
担当者名	大石 武士

講義の到達目標(ねらい)	ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1 時限目: オリエンテーション 2 時限目: ゲームの進め方、練習ゲーム 3 時限目: ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4 時限目~9 時限目: 基礎技術の応用練習、ゲーム 10 時限目~14 時限目: ゲーム 15 時限目: まとめ
履修上の留意点	※受講者数によっては卓球に変更する。 服装は一般的な運動服装が良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
成績評価の方法	評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3 時間目：ゲーム
- 4 時間目：ゲーム
- 5 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6 時間目：ゲーム
- 7 時間目：ゲーム
- 8 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10 時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 11 時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 12 時間目：＜バドミントン＞基本的な説明
- 13 時間目：ゲーム
- 14 時間目：ゲーム
- 15 時間目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	340201
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)
担当者名	大石 武士

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成りたっている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 ※受講者数によっては卓球に変更する。
服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	196501・196502・196503・196504	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム
準備学習 履修上の留意点	各種目のルールを十分理解すること。 運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的態度で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	平常点60％…積極性等授業への取り組み状況、出席30％、技能10％ 特に指定しない。 特に指定しない。

保健
体育

履修コード	196601・196602・196603・196604	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム
準備学習 履修上の留意点	各種目のルールを十分理解すること。 運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的態度で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	平常点60％…積極性等授業への取り組み状況、出席30％、技能10％ 特に指定しない。 特に指定しない。

履修コード	196701・196702・196703・196704・196901・196902・196903・196904	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム
準備学習 履修上の留意点	各種目のルールを十分理解すること。 運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。 積極的態で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法	平常点60%…積極性等授業への取り組み状況、出席30%、技能10%
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。

保健体育

履修コード	196801・196802・196803・196804・197001・197002・197003・197004	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム
準備学習 履修上の留意点	各種目のルールを十分理解すること。 運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。 積極的態で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法	平常点60%…積極性等授業への取り組み状況、出席30%、技能10%
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ミニサッカー）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点
(1) 定員：35名
(2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
(3) 教場：体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（ミニサッカー）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点
(1) 定員：35名
(2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
(3) 教場：体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし 大石 武士	

講義の到達目標(ねらい) 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし 大石 武士	

講義の到達目標(ねらい) 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504・197701・197702・197703・197704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（ボールゲーム）
担当者名	村松 誠

講義の到達目標(ねらい) ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろいろなタイプのボールゲームへと発展させる。また、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボールを使ったトレーニング
- 3 時限目：ボールを使った戦術トレーニング
- 4 時限目：シュートゲーム
- 5 時限目：基礎ゲーム
- 6 時限目：基礎ゲーム
- 7 時限目：ゲームⅠ
- 8 時限目：ゲームⅡ
- 9 時限目：ゲームⅢ
- 10 時限目：ゲームⅣ
- 11 時限目：ゲームⅤ
- 12 時限目：ゲームⅥ
- 13 時限目：ゲームⅦ
- 14 時限目：ゲームⅧ
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 一般的なスポーツウエアと室内履きスポーツシューズを用意すること。また、ボールをてで扱うため、爪を伸ばしていると、不都合が生じるので、必ず短く切ってから受講すること。

成績評価の方法その他 出席点と共に、積極的に授業に参加することを評価する。受講者、出席者に応じて内容は若干変更することもある。

履修コード	197601・197602・197603・197604・197801・197802・197803・197804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（ボールゲーム） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（ボールゲーム）
担当者名	村松 誠

講義の到達目標(ねらい) ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろいろなタイプのボールゲームへと発展させる。また、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボールを使ったトレーニング
- 3 時限目：ボールを使った戦術トレーニング
- 4 時限目：シュートゲーム
- 5 時限目：基礎ゲーム
- 6 時限目：基礎ゲーム
- 7 時限目：ゲームⅠ
- 8 時限目：ゲームⅡ
- 9 時限目：ゲームⅢ
- 10 時限目：ゲームⅣ
- 11 時限目：ゲームⅤ
- 12 時限目：ゲームⅥ
- 13 時限目：ゲームⅦ
- 14 時限目：ゲームⅧ
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 一般的なスポーツウエアと室内履きスポーツシューズを用意すること。また、ボールをてで扱うため、爪を伸ばしていると、不都合が生じるので、必ず短く切ってから受講すること。

成績評価の方法その他 出席点と共に、積極的に授業に参加することを評価する。受講者、出席者に応じて内容は若干変更することもある。

履修コード	197901・197902・197903・197904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（バレーボール）
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、身体運動学習の教材としてバレーボールを用い、技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を副次的なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目はオリエンテーションを行う。
 2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
 6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
 10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
 14・15時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（バレーボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（バレーボール）
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、身体運動学習の教材としてバレーボールを用い、技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を副次的なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目はオリエンテーションを行う。
 2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
 6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
 10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
 14・15時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（バドミントン）
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、身体運動学習の教材としてバドミントンを用い、技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を副次的なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
 1時限目はオリエンテーションを行う。
 2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
 6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
 10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
 14・15時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 遅刻や欠席をせず出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（バドミントン）
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、身体運動学習の教材としてバドミントンをを用い、技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を副次的なねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール
1時限目はオリエンテーションを行う。
2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
14・15時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	村松 誠

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容／授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
9時限目：シングルスゲーム
10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
11時限目：ダブルスゲーム
12時限目：ダブルスゲーム
13時限目：ダブルスゲーム
14時限目：ダブルスゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198401・198402・198403・198404		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	村松 誠		

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎をつくる。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
 9時限目：シングルスゲーム
 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 11時限目：ダブルスゲーム
 12時限目：ダブルスゲーム
 13時限目：ダブルスゲーム
 14時限目：ダブルスゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198701・198702・198703・198704		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（バスケットボール）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（バスケットボール）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（バスケットボール）
担当者名	牧野 茂		

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術の復習をするとともに、高度な技術の習得を目指す。また、戦術や審判法などを学ぶことによって、より質の高いゲームを実施することができる能力を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ボール・ハンドリング、ハーフコート2対1、3対3ゲーム
 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
 4時限目～6時限目：
 フルコート・ファースト・ブレイク・ドリル
 2対1、3対2→3対3、4対3→4対4
 5対5ゲーム
 7時限目～9時限目：
 マンツーマン・オフENSE
 ハーフコート2対2、ハーフコート3対3
 5対5ゲーム
 10時限目～12時限目：
 モーション・オフENSE
 ハーフコート2対2、ハーフコート3対3、ハーフコート4対4
 5対5ゲーム
 13時限目～15時限目：
 総合練習、5対5ゲーム

履修上の留意点 (1) 定員は50名とする。
 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、総合評価（受講態度、服装など）30点。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（バスケットボール）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術の復習をするとともに、高度な技術の習得を目指す。また、戦術や審判法などを学ぶことによって、より質の高いゲームを実施することができる能力を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ボール・ハンドリング、ハーフコート2対1、3対3ゲーム
 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
 4 時限目～6 時限目：
 フルコート・ファースト・ブレイク・ドリル
 2対1、3対2→3対3、4対3→4対4
 5対5ゲーム
 7 時限目～9 時限目：
 マンツーマン・オフェンス
 ハーフコート2対2、ハーフコート3対3
 5対5ゲーム
 10 時限目～12 時限目：
 モーション・オフェンス
 ハーフコート2対2、ハーフコート3対3、ハーフコート4対4
 5対5ゲーム
 13 時限目～15 時限目：
 総合練習、5対5ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、総合評価(受講態度、服装など)30点、60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（バスケットボール）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びゲームを楽しみながら体力や運動能力の向上もはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、スポーツを生業にわたって生活の中に取り入れ実践していく、基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、2マン・パストドリル
 3 時限目～5 時限目：
 フルコート・パストドリル（2マン、3マン）
 ハーフコート2対1、ハーフコート3対2、ミニゲーム
 6 時限目～9 時限目：
 ファースト・ブレイク・ドリル
 フルコート2対1、フルコート3対2、フルコート4対3、
 5対5ゲーム
 10 時限目～12 時限目：
 マンツーマン・オフェンス
 ハーフコート2対2、ハーフコート3対3
 5対5ゲーム
 13 時限目～15 時限目：
 総合練習、5対5ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、総合評価(受講態度、服装など)30点、60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（バスケットボール）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びゲームを楽しみながら体力や運動能力の向上もはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、スポーツを生涯にわたって生活の中に取り入れ実践していく、基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、2マン・パストドリル
3時限目～5時限目：
フルコート・パストドリル（2マン、3マン）
ハーフコート2対1、ハーフコート3対2、ミニゲーム
6時限目～9時限目：
ファースト・ブレイク・ドリル
フルコート2対1、フルコート3対2、フルコート4対3、
5対5ゲーム
10時限目～12時限目：
マンツーマン・オフense
ハーフコート2対2、ハーフコート3対3
5対5ゲーム
13時限目～15時限目：
総合練習、5対5ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、総合評価（受講態度、服装など）30点。60点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	牧野 ^{まさの} 茂 ^{しげる} 光永 ^{みつなが} 吉輝 ^{よしてる} 鎗岡 ^{たておか} 儀秋 ^{よしあき} ・下谷内 ^{しもやち} 勝利 ^{かつとし} ・村松 ^{むらまつ} 誠 ^{まこと} ・竹田 ^{たけだ} 幸夫 ^{ゆきお} ・鈴木 ^{すずき} 淳平 ^{じゆんぺい} ・末次 ^{すえつぐ} 美樹 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
 ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容/
授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月10日（土）12:10～12:40 1-202教場
 - 2回目 4月17日（土）12:10～12:40 9-280教場
 ※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
 1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月16日（金）13:00～16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月 6日（月）
 講義：9:00～12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎 玉川校舎402教場
 実技：13:00～17:30 打撃練習
 ※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月 7日（火）実技・講義：11:00～18:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他
 - 3日目 9月 8日（水）実技・講義：8:00～17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2
 - 4日目 9月 9日（木）実技・講義：8:00～17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月10日（金）実技・講義：8:30～13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程：平成22年 9月 6日（玉川校舎）・9月 7日～10日（現地：3泊4日）
 - 場 所：

宿泊：マロードインターナショナルホテル成田
 〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1
 電話 0476-30-0793 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
 〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
 電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 - 定員：40名
 - 集合解散：
 - (1) 集合 9月 6日（月）午前 9時 玉川校舎402教場
 9月 7日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月10日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
 - 受講料：39,500円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 - 納入期間：平成22年 5月17日（月）～5月29日（土）
 証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
 - 服装・用具：
 - (1) 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）。
 - (2) ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ、キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- 成績は、出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。
 都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

成績評価の方法
その他の

保健
体育

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	下谷内 勝利・秋田 浩一・江口 淳一・岩本 哲也・鈴木 淳平・柳 浩二郎・竹田 幸夫・山口 良博・末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めてもらいたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月10日（土）12：10～12：40 1-202 教場
2 回目 4月17日（土）12：10～12：40 9-280 教場

※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。

1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。

2. 事前授業 1月18日（火）13：00～16：00 2研-209 教場「スノースポーツの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1 日目 1月30日（日）

午前：駒澤大学駒沢校舎から貸切バスにて移動（集合・出発時刻未定）、正午到着予定
午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2 日目 1月31日（月）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」

3 日目 2月1日（火）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」

4 日目 2月2日（水）

午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」

5 日目 2月3日（木）

午前：班別実習 閉講式

午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸切バスにて移動（出発時刻未定）、到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱ シーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とする。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければならない。受講要項および本講義内容をよく確認してほしい。

- 1) 実習日程：平成23年1月30日（日）～2月3日（木）の4泊5日

- 2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート

宿泊 セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511
〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108

- 3) 定 員：スキー 20名

スノーボード 30名（但し、初心者・初級者に限る）

- 4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）
※リフト券・レンタル代は別料金

証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に

納入しない場合は、受講することができないので注意すること。

納入期間：平成22年5月17日（月）～5月29日（土）

- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能（有料）。

- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

履修コード	199901・20111
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	^{しもやち} ^{かつとし} 下谷内 勝利

講義の到達目標(わらい) 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 授業内容の説明
2. 健康とは
3. スポーツとは
4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
5. からだと環境 1 適応について
6. " 2 生活習慣病について
7. " 3 運動の必要性について(日常生活と運動)
8. 骨の構造と機能(骨格、関節の種類、関節の働きなど)
9. 身体構造に規制される動き
10. 筋肉(骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど)
11. 筋収縮エネルギー(ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など)
12. 有酸素運動
13. 無酸素運動
14. ワークショップ
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

健康、スポーツについてどのように考えているのか自分なりの意見を構築しておいて欲しい。
配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。
小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。
特に指定はしない(授業において、プリントを配布する)
配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。
基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

保健
体育

履修コード	200101
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	江口 淳一

講義の到達目標(わらい)

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自立的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2：ゆとり時代の LIFE STYLE (To have or To be)
- 3：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4：現代社会と健康・スポーツ(余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5：健康と体力の概念
- 6：人体 1) 骨格の構造
- 7： 2) 筋肉の構造
- 8： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9： 4) 運動と代謝
- 10： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13：運動処方計画のための基礎(パワートレーニング、エアロビクストレーニング)
- 14：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15：まとめー学生自身による授業評価ー

成績評価の方法
参 考 書

出席状況、授業中に行うレポート、小テストの結果から総合的に判断する。
配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
『運動処方』(朝倉書店) 3,500円
『運動生理学20講』(朝倉書店) 2,884円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』(日本経済新聞社) 1,300円

保健
体育

履修コード	200201
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(わらい)

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、分類について
- 4時限目：スポーツと体力の関係について
- 5時限目：運動能力発達の原理
- 6時限目：運動能力の領域
- 7時限目：運動能力の構造
- 8時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9時限目：総合体力の定義と要素
- 10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11時限目：トレーニング理論全般
- 12時限目： ”
- 13時限目：応急処置(テーピング、アイシング等)の実際
- 14時限目： ”
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、評点の80%とします。遅刻や欠席の減点法で計算します。
レポート提出は必須とし、評点の20%とします。

履修コード	200401
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	たかはし 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことです。体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を辿って今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

講義の内容／
授業スケジュール

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
- 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
- 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
- 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
- 5時限目：学校体育による教育
- 6時限目：社会体育による教育
- 7時限目：生涯体育による教育
- 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
- 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
- 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
- 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
- 12時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
- 13時限目：(例) スポーツマン精神について
- 14時限目：(例) 大衆スポーツ論
- 15時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法 出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

保健
体育

履修コード	200501
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) 健康を保持することは、人間の願望である。健康は心と体の両面が大切である。現代社会において心の問題は深刻である。学生時代は、生涯の健康的な生活を築くチャンスである。心の悩みや体の悩みを解決する方法を考え、自己を確立し自立できる環境(人的、物的)を学習する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：健康の成立条件
- 3時限目：人間の健康(心と体)
- 4時限目：人間の健康(心の問題)
- 5時限目：学生の健康(心の問題)
- 6時限目：学生の健康(日常生活)
- 7時限目：学生の健康(栄養と食事)
- 8時限目：学生の健康(栄養と食事)
- 9時限目：学生の健康(エイズと性の問題)
- 10時限目：学生の健康(酒とたばこ)
- 11時限目：学生の健康(酒とたばこ)
- 12時限目：学生の健康(精神的自立)
- 13時限目：学生の健康(自立について)
- 14時限目：運動障害と救急法(突き指、捻挫、脱臼、骨折等)
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- ①「小テスト、レポート」を3、4回講義中に実施提出する。
- ②「レポート」提出

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書／テキスト

特に指定しない。

参 考 書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生の健康学』小学館

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

履修コード	200601
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	おおいし なげし 大石 武士

講義の到達目標(ねらい) 生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病气や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病气・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目: 講義内容の説明
- 2 時限目: 体育の概念
- 3 時限目: 身体運動と体育運動
- 4 時限目: 健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目: 人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目: 救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目: 一次救命処置
- 8 時限目: 一次救命処置実習
- 9 時限目: 出血多量、ショック
- 10 時限目: 熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目: R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目: 挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目: 中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目: 体力について
- 15 時限目: テスト

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カヅサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き一』(小学館) 700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

保
健
体
育

履修コード	200801
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい) 現代社会では、生活様式の大幅な変容に伴い身体活動の機会が減少し、体力の低下、生活習慣病やストレスの増大、生活の質的充実の追求などを背景に、かつてないほど健康やスポーツに対する関心と欲求が高まっている。

講義の内容/
授業スケジュール

本講義では、健全で充実した学生生活を送るために必要な自己の健康や体力に対する認識、さらにはスポーツに関する知識を深めることを目的とする。

1. 講義内容の説明
2. 健康とは
3. 生活習慣と健康
4. 運動の果たす役割
5. 栄養の果たす役割
6. 休養の果たす役割
7. ストレス
8. 感染症
9. 体力とは
10. トレーニング理論①
11. トレーニング理論②
12. スポーツ障害と救急法
13. スポーツの歴史・発展
14. 現代スポーツ
15. まとめ

成績評価の方法

出席状況、及び数回の小テストとレポートによって総合的に評価する。

教科書/テキスト

特に指定しない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	200901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

健康と長寿を願う心は、人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか？

病気が怪我をしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化から、日常での運動が少なくなり加えて栄養の過剰により肥満傾向となっている。日常生活以外に運動を行わないでいると、成長発育期では、体格の発育に体力が伴わない体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹ったりしている。

先進国においては、文明病と思われる疾病や様々な健康阻害が報告されている。これらの健康阻害について、スポーツ医学の面から、人間の骨格、靭帯、筋肉と解剖し、各部の特徴や欠点を見つけながらスポーツ障害や運動と健康について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深めることを目的とするものである。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 時限 講義の概要説明
2. 時限 人体と障害 1) 頭部の外傷
3. 時限 " 2) 上肢の障害
4. 時限 " 3) 下肢の障害
5. 時限 " 4) "
6. 時限 " 5) 脊柱と障害
7. 時限 " 6) 脊柱の障害
8. 時限 身体運動と健康
9. 時限 運動不足の害
10. 時限 運動の効果・骨と健康
11. 時限 トレーニング論 (1)
12. 時限 トレーニング論 (2)
13. 時限 運動と栄養
14. 時限 健康管理
15. 時限 まとめ

<講義の内容は、前後したり変更する事もあります。>

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

筆記試験によって行います。また、出席、授業への取り組み態度も評価する。
資料を配布する。
医学面での人体解剖図など必要な資料は配布する。

保
健
体
育

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	たけだ ゆきお 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい)

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行う。健康については、人間が本来もっている「免疫力」について考えていく。体力に関しては、基礎的な体力要素ならびに個人の特徴に応じたトレーニング法、またスポーツ運動学に関しては、人間のスポーツ運動のさまざまな特徴を具体的な例をあげて解説する。

大学生の年代は、将来における自分のライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。講義の内容から自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション / 2時限目～4時限目：人間と健康（人間の免疫力について） / 5時限目～7時限目：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素・個別のトレーニング法） / 8時限目：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴） / 9時限目：スポーツ運動の理論（動きの構造） / 10時限目：スポーツ運動の理論（動きのリズム、先取り） / 11時限目：スポーツ運動の理論（動きの学習） / 12時限目～13時限目：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の技術） / 14時限目：まとめ / 15時限目：筆記試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を知識として聞くだけではなく、自分の身近な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席状況、ならびに授業の最後に行う筆記試験によって総合的に評価を行う。
とくに指定しない。

とくになし。講義内容に関連して、受講生に読んでほしい図書については、講義の中で随時紹介する。

履修コード	201301
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	まさのしげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目～4 時限目：健康とは何か
語源・定義・性格、身体的健康、精神的健康、社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応・ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目～8 時限目：健康の保持増進
科学的研究、健康教育、保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHO の総合健康指標
- 10 時限目～12 時限目：日常生活と健康
運動・栄養、休養・睡眠、嗜好品と健康
- 13 時限目～14 時限目：感染症について
インフルエンザ、結核、性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法
教科書/テキスト

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書

- 「健康科学-知っておきたい予防医学-」(丸善)
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版)
他は、講義のなかで紹介する。

保
健
体
育

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義の到達目標(ねらい) 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ(テスト)

成績評価の方法
教科書/テキスト

受講者数によるが、数回のレポート小テストなどを加味して、総合的に評価する。
特に指定はないが、参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201501
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>

講義の到達目標(ねらい) 健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。

- 講義の内容／
授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
 - 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、分類について
 - 4 時限目：スポーツと体力の関係について
 - 5 時限目：運動能力発達の原因
 - 6 時限目：運動能力の領域
 - 7 時限目：運動能力の構造
 - 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
 - 9 時限目：総合体力の定義と要素
 - 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
 - 11 時限目：トレーニング理論全般
 - 12 時限目： "
 - 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
 - 14 時限目： "
 - 15 時限目：まとめ

成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。遅刻や欠席の減点法で計算します。レポート提出は必須とし、評点の20%とします。

保健
体育

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

- 講義の内容／
授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：健康観の変遷
 - 3 時限目：現代の健康観
 - 4 時限目：健康の成立要因
 - 5 時限目：健康の成立条件
 - 6 時限目：病気の原因
 - 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
 - 8 時限目：現代の感染症
 - 9 時限目：喫煙と健康
 - 10 時限目：飲酒と健康
 - 11 時限目：ストレスと健康
 - 12 時限目：食べ物と健康
 - 13 時限目：運動と健康
 - 14 時限目：環境と健康
 - 15 時限目：まとめ（テスト）

成績評価の方法 受講者数の状況を見て決定するが、数回のレポート、小テストなどを加味し、総合的に評価をする。教科書／テキスト 特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 日常生活を送る上で必要な「健康」と一生付き合わなければならない自分の「からだ」。様々な情報が飛び交う、現代社会で、どのようにして自分の「からだと健康」を守らなければならないか。本講義では、学生生活および生涯にわたって、健康で豊かなライフスタイルを過ごしていくために「からだと健康」についての基礎知識を理解することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①オリエンテーション
- ②健康についてⅠ
- ③健康についてⅡ
- ④心とからだの健康
- ⑤飲酒・喫煙と健康
- ⑥薬物乱用と健康
- ⑦性の仕組みと働きⅠ
- ⑧性の仕組みと働きⅡ
- ⑨休養・呼吸法・リラクゼーションの重要性Ⅰ
- ⑩休養・呼吸法・リラクゼーションの重要性Ⅱ
- ⑪運動と健康
- ⑫食事と健康
- ⑬感染症について
- ⑭自身の健康についての把握と確立
- ⑮まとめ

成績評価の方法 数回の小テスト、期末テストあるいはレポートによって評価する。

教科書／テキスト 特に指定はしない。必要に応じてプリントを配布する。

その他の 基本的に講義形式で行うが、必要に応じて、グループによるワークショップや発表等を行う。

保健
体育

履修コード	202001・202201
科目名	余暇学
担当者名	竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい) 「余暇」に関する基礎的な知識と考え方についての講義を行う。大学生の年代は、将来における自分のライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。この講義を聞いて、自分の「余暇」に関する考え方を確立してほしい。授業の進行状況に応じて、「健康体操」や「ストレッチ」等の実技も行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション／ 2時限目：余暇のある生活 / 3時限目：余暇の意味／
4時限目：新しい余暇概念／ 5時限目：余暇に関する考え方（日本と海外）／ 6時限目：地域社会と余暇の関わり／ 7時限目～8時限目：余暇と健康／ 9時限目：健康体操・ストレッチの実践（実技）／ 10時限目～11時限目：余暇とスポーツ／ 12時限目～13時限目：自分自身の余暇の設計／ 14時限目：まとめ / 15時限目；筆記試験

履修上の留意点 講義は教場で行い、実技は体育館2階「競技フロア」で行う。実技の場合は、運動着と体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席状況、授業中に作成・提出してもらったレポート（自分自身の余暇の設計）の内容、ならびに授業最後に行う筆記試験によって総合的に評価する。

教科書／テキスト とくに指定しない。講義内容に関する資料を毎回配布する。

参 考 書 とくになし。講義内容に関連して、受講生に読んでほしい図書については、講義の中で随時紹介する。

Ⅱ 他 学 部 履 修 科 目

他学部
履修科目

履修コード	003801
科目名	インド仏教文化史
担当者名	金沢 あつし 篤

講義の到達目標(ねらい) インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
 講義の内容／ 神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰
 授業スケジュール 頽にまつわる文化的トピックを論究する。
 ◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教
 ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から
 ◎仏教の起源と仏教出現の背景(8～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自
 性
 ◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
 ◎インド仏教文化史・むすび(23～)
 履修上の留意点 仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
 成績評価の方法 年度末試験などで総合的に判断する。
 教科書／テキスト 渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円
 参 考 書 教場でも適宜紹介する。

履修コード	003901
科目名	中国仏教文化史
担当者名	程 正 てい せい

講義の到達目標(ねらい) インドで成立した仏教は中国に於いてどんな軌跡を描きながら受容され、そして自らのすがたを変
 えながら中国人の宗教として展開していったのか。こうした問題を意識しつつ、講義を進めていき
 たい。
 講義の内容／ ガイダンスを兼ねて、中国仏教文化のすがたとかたちについて考える。(6～7回)中国仏教史上に
 授業スケジュール おける破仏、いわゆる「三武一宗」の法難について講義するとともに、『父母恩重経』をはじめとする
 中国で撰述された偽経も紹介し、これらの偽経の出現の文化史的意義を考える。(13～14回)仏典
 漢訳、写経、経典印刷、大蔵経の編纂など、いわゆる仏教経典に促された仏教文化の発達について
 考える。(9～10回)
 履修上の留意点 資料を沢山配布するので、専用ノート、あるいはファイルを用意すること。
 成績評価の方法 レポート、出席、期末試験を総合して評価する。
 教科書／テキスト プリント配布。
 参 考 書 授業中適宜指示する。

履修コード	004001
科目名	日本仏教文化史
担当者名	袴谷 のりあき 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。
 その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。
 講義の内容／ (1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響
 授業スケジュール 下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信
 仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12)
 勸進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設
 立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈祷仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の
 確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合
 の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27)
 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義
 のかわら、『妙貞問答』を講読する。
 履修上の留意点 講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料について
 は教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。
 成績評価の方法 学年末の定期試験によって評価する。
 教科書／テキスト 袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年
 参 考 書 袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年
 そ の 他 必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	004101
科目名	外国語禪書講読
担当者名	ふるやま けんいち 古山 健一

講義の到達目標(ねらい) 外国人により、外国語で著された、禅思想を主題とした書籍を講読する。特に、この授業では、禅学を専門分野としない外国人の学僧ないし仏教研究者が著した書籍をとりあげてみたい。そのような書籍を読むことで、「禅」に対する理解を、より広い視野のもとに涵養していくことを期したい。

講義の内容／授業スケジュール 本年度は、W. ラーフラ『禅と牛飼い』(Walpola Rahula, Zen and the Taming of the Bull, Towards the Definition of Buddhist thought, essays. London: The Gordon Fraser Ltd., 1978.、ISBN: 0900406690、英語)をとりあげる。本書は、「禅」の基本原則ということについて、上座部(テーラワーダ)仏教における禅定実践の体系と、大乗仏教および禅の思想におけるそれとの間に比較を試みつつ論じた、ユニークな書である。

準備学習 本年度は、前期において第1章「禅と牛飼い」(Zen and the Taming of the Bull)と第2章「西洋世界における仏教」(Buddhism in the Western world)を、後期において第3章「仏教の基本原則」(Fundamentals of Buddhism)と第4章「人間ブッダ―その天性と宿命」(The Buddha on Man, his Nature and Destiny)を、それぞれ講読してゆきたい(時間に余裕が生まれれば続く章を講読する)。

履修上の留意点 特になし。
授業は演習形式で進めてゆくので、テキストの和訳(下訳)をおこなった上で授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業への出席状況と学習意欲により評価する(定期試験は実施しない)。
教科書／テキスト 英和辞典1冊(収録語数が十万語以上であるものが好ましい)。講読に用いるテキストは、プリントで配布する。

その他 なお、講読予定の書籍は、駒澤大学図書館に蔵書があるので(請求記号:D294.3927/289)、予めテキストを見ておきたい場合は、これを利用すること。

参考文献 初回の授業において指示する。
その他の 初回の授業で受講と成績評価についての説明をおこなうので、必ず出席すること。

履修
学
部

履修コード	004401
科目名	インド哲学史
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい) 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。
講義の内容／授業スケジュール 定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

- ◎インド哲学史・序論(1~3) インド哲学史とは? インド哲学研究の方法論
- ◎ヒンドゥー教と仏教(4~15) ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の成立 ヒンドゥー教(ダルマと業理論)の概要 仏教の成立: 仏教出現の意義
- ◎ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の変容と展開(16~20) 仏教哲学とバラモン哲学
- ◎インド哲学各論(21~) 正統バラモン哲学諸派
- ◎インド哲学・結び

履修上の留意点 日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 数回のレポートと年度末の筆記試験など。
教科書／テキスト 早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)
参考文献 講義の中で適宜紹介する。

履修コード	005301
科目名	原始仏教
担当者名	片山 一良 <small>かたやま いちろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教も、あるいは上座部仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何かをパーリ仏典(原始仏教聖典)の言葉より明らかにしたい。また、教えの根幹をなす寂靜という「禪」に触れつつ、我々の身近な問題についても考えたいと思う。

講義の内容/
授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、教えの基本となる縁起・四聖諦について、後半はパーリ仏典を読みつつ、仏法について講じる。とくに前半は仏の伝統、波羅蜜行、誕生、苦行、成道、説法、入滅を概観し、後半は『転法輪経』『無我相経』などを読み、八正道、三学の実践を、さらにまた慈悲の教えをも見ることにしたい。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を離れ、パーリ仏典(原始仏教聖典)を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

レポート(夏期)および年度末テストによる。

参 考 書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

片山一良『ブッダのことは パーリ仏典入門』(大法輪閣)、『ダンマパダ 全詩解説』(大蔵出版)など。

履修コード	007001
科目名	外国語仏書講読
担当者名	木村 誠司 <small>きむら せいじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

特に仏教論理学関連のものを読む。仏教論理学は、一般的な仏教学習とは、関わりが薄いように思われ、敬遠されがちである。しかし、無視出来ない分野である。中国や日本の仏教を理解するためにも、必要である。異質な仏教を知ること、かえって、自分の学んでいる仏教の本質が見えてくこともある。

講義の内容/
授業スケジュール

インドやチベットでは、不可欠な学問とされた仏教論理学の意味を認識してもらえれば、それで十分である。

準備学習

特になし。

履修上の留意点

講義の性質上、受講者に訳してもらおう。

成績評価の方法

講義中の平常点で評価する。

教科書/テキスト

すべてコピーで配布する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	007401
科目名	中国哲学史
担当者名	前川 亨

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

東アジア世界において重要な精神的な位置を占める中国の哲学・思想・宗教について概観する。
本年度は宋代から近代までの時代を取り扱う。昨年度取り扱った、宋代以前の時代とは大きく異なる思想世界がそこには広がっている。ここでの隠れたキーワードは「近代とは何か」ということになるであろう。現在の中国にヨリ接近した時代でありながら、一般には必ずしもよく知られていない宋代以降の思想史を、東アジア全体の視野の中で討究していきたい。講義の具体的な内容としては以下のものを予定している。

- ・宋代以降の思想史を学ぶために（唐宋変革の問題の思想的意義）
- ・唐代の文化概説
- ・新しい時代への胎動（士大夫階層の出現）
- ・宋代禅宗の動向（大慧宗杲の位置）
- ・新儒教の萌芽
- ・北宋五子
- ・朱熹の思想（存在論・人間論＝倫理学・修養論）
- ・陸象山の思想
- ・王陽明の思想
- ・王学左派
- ・明代の文化
- ・明末清初
- ・清朝考証学
- ・清末の思想動向
- ・宗教反乱
- ・洋務運動から革命へ
- ・辛亥革命の思想
- ・新文化運動と五四運動

それぞれについてどの程度時間を割くかは、受講者の関心なども考慮しながら決める。また、場合によってはこのうちの幾つかを省略することもある。

履修上の留意点

受講生には継続的な出席と積極的な参加を求める。継続して出席する意志のない者、出席しても授業を集中して聴く意志のない者の受講は認めない。

成績評価の方法

本年度は試験を実施する予定であるが、受講者数が少ない（目安として10人以下）の場合には平常点とレポートに切りかえるかも知れない。いずれにしても出席はとり、出席回数に足りない学生には試験受験もしくはレポート提出の資格を与えない。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

特に必要としない。
授業中に適宜紹介する。
できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めていくので、質問には積極的に応答してもらいたい。中国（東アジア）の社会・文化・宗教など様々な方面に関心をもつ諸君の受講を期待する。

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい)

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際日本の伝統的思想との関連が問題にされた。福澤や西は儒教を批判し、自由・平等・法治国家の理念、科学技術などを欧米から摂取しようとした。しかし新渡戸、鈴木、九鬼、和辻などは西洋とは異なる日本独自の精神（武士道、「日本的霊性」、「いき」など）を強調するようになった。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直され、例えば西田哲学なども様々に論議されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容/
授業スケジュール

福澤諭吉、西周、内村鑑三、新渡戸稲造、井上哲次郎、井上円了、西田幾太郎、鈴木大拙、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、戸坂潤、丸山眞男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点

講義を手掛かりに、自分でさらに原典や参考文献を読むことが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

試験（前期と後期）と出席によって評価する。
個々の哲学者の文章を資料として配布する。
開講時に指示する。

履修コード	008901
科目名	仏教文献学
担当者名	堀川 ^{はりかわ} 貴司 ^{たかし}

講義の到達目標(ねらい) この講義は、日本に現存する仏教関係の典籍を独力で扱える知識・能力を身に付けることを最終的な目標としています。

前期では

* 古典籍の基本的な構造や書誌事項を理解し、記述することができる。

後期では

* 中国・朝鮮から将来されたものも含め、仏教関係の典籍について基本的な知識を持つ。

をそれぞれの目標として授業を進めます。できるだけ実物を用いて具体的に話をする予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

1. 導入—文献学と書誌学
2. 調査用具と参考書
3. 構成要素と記述項目
4. 大きさと装訂
5. 表紙
6. 外題と内題
7. 前付と後付
8. 本文(1) 版式・写式
9. 本文(2) 文字・絵
10. 刊記・奥書
11. 書入・蔵書印等
12. 参考情報
13. 他の伝本との比較
14. 紙その他の原材料
15. まとめ

後期

1. 中国・朝鮮の仏典
2. 上代の写経
3. 中古の写経
4. 中世の写経
5. 抄物(1)
6. 抄物(2)
7. 中古・中世の刊経
8. 五山版
9. 古活字版の仏典
10. 近世版本の仏典(1)
11. 近世版本の仏典(2)
13. 墨蹟(1)
14. 墨蹟(2)
15. まとめ

準備学習

古典籍に触れたことのない学生がほとんどだと思いますので、毎回の授業内容をよく復習して、実際の調査に生かせるようにしてください。

前期末・後期末の2度のレポートを各50パーセントの割合で評価します。

堀川貴司『大学生のための書誌学入門(仮題)』(勉誠出版、2010年3月刊行予定)

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

授業中に紹介します。

授業は講義が中心ですが、図書館や個人蔵の古典籍の実物を用いて各自書誌調査を行ってもらつても構いません。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	014901
科目名	近代文学研究Ⅰ
担当者名	榎本 正樹

講義の到達目標(ねらい)	現代作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。
講義の内容／ 授業スケジュール	現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家と作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、文体、語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学（純文学）を中心に、その他のジャンルも対象とします。 今年度の授業では、昨年（2009年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら作品を解説する小特集的なテーマを設定します。奥田英朗『ラビポ』（宮野雅之監督）、万城目学『鴨川ホルモー』（本木克英監督）、伊坂幸太郎『重力ピエロ』（森淳一監督）、東野圭吾『さまよう刃』（益子昌一監督）、山崎豊子『沈まぬ太陽』（若松節朗監督）、三浦しをん『風が強く吹いている』（大森寿美男監督）の候補作品の中から、3～4作を取り上げる予定です。 榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。授業に作家をお呼びして、創作にまつわるお話を伺う機会があるかもしれません。
準備学習	取り上げる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めますが、あらかじめ作品を読んでおくことさらに理解が深まるでしょう。
履修上の留意点	現代日本文学、映画、周辺ジャンルなど、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じます。
成績評価の方法	学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。レポートのテーマや内容、分量等については、第一回目の授業時に話します。
教科書／テキスト	使用しません。必要な資料はプリントで配布します。
参 考 書	参考文献等は教室で指示します。
そ の 他	講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト（ http://enmt.jp ）も参考にしてください。
関 連 リ ン ク	http://enmt.jp

履修科目

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	阿部 由香子

講義の到達目標(ねらい)	今日私たちが触れることの出来る演劇は、多くの人々による絶え間ない試みが積み重なって生まれてきたものです。演劇が、なぜ、どのような変遷を辿ってきたのかを考え、同時に演劇のもつ可能性への感度を養うことを目的とします。授業は、講師による講義形式で行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 日本近代演劇の模索 (4～5) 近代演劇の黎明 (6～8) 大正期の日本演劇 (9～11) 関東大震災後の新劇 (12～15) 昭和初期、戦時中の新劇 (16～18) 戦後の新劇60年代演劇 (19～21) 70年代演劇、80年代演劇 (22～24) 90年代から今日の演劇 (25～30) 演劇と社会
準備学習	受講者自身が日本演劇について知っていることと、よく分からないことをはっきりさせておくといでしょう。さらに、身の回りの演劇に積極的に関心をもつようにしてください。
履修上の留意点	少なくとも1回は劇場へ足を運んでもらい観劇してもらいます。演劇に興味関心が全くない方にはおすすしません。
成績評価の方法	前期末に一度筆記試験を行います。後期は観劇レポートを提出してもらいます。試験(45%)とレポートの内容(45%)と出席状況(10%)によって評価します。
教科書／テキスト	授業中に資料を配布します。
参 考 書	授業時に適宜紹介します。

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	かわたに あつし 河谷 淳

講義の到達目標(ねらい)	ギリシア哲学において、「物語（ミュートス）」は、「神話」や「悲劇」として哲学を補完するものとみなされる場面がある一方で、それがフィクション（つくりごと）であるとの理由で哲学の敵とみなされる場面がある。この授業では、ギリシア哲学以来の「物語る」ことと「哲学する」こととの間のこうした緊張関係を、存在論・認識論・倫理学などの視点から概観していくことにしたい。それと併せて、西洋哲学史の概略や基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。
講義の内容／授業スケジュール	第1～2回：序論、第3～7回：「物語」としてのギリシア神話・キリスト教における神話的物語、第8～15回：「物語の哲学」の二つの方向性（プラトンの「詩人追放論」とアリストテレスの悲劇論）、第16～22回：物語の存在論、物語の認識論、物語と感情、物語と倫理、第23～30回：物語と人間（物語制作者としての人間、物語としての過去・現在・未来）
成績評価の方法	中間試験（前期最終授業日に実施）と期末試験（それぞれ40点満点）ならびに出席状況との総合点で評価する。

履修コード	017001
科目名	比較文学
担当者名	ないとう まりこ 内藤 まりこ

講義の到達目標(ねらい)	比較文学研究の成立背景、目的、方法を学び、比較文学の方法を実際の文学や映画、舞台芸術などの作品を取り上げて検討する。
講義の内容／授業スケジュール	物事を比較するとはどういうことだろう。 この授業では、文学や映画、舞台芸術などの作品を取り上げて、それらを比較することで、どのような理解が可能となるのかを考える。受講生は、比較文学の研究史を適宜、参照しながら、比較研究の方法を学び、最終的に自分で比較研究を実践することになる。
成績評価の方法	出席と授業内でのレポートあるいは学期末テストによる。
教科書／テキスト	コピーを配布する。
参考書	授業中に指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	たにくち りつぎ 谷口 貢

講義の到達目標(ねらい)	日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	（1～2）民俗学とは（3～5）民俗学の流れと現在（6～7）家族生活と住まい（8～10）食をめぐる民俗（11～12）村と町の成立（13～15）若者と一人前（16～18）婚姻と出産・子育ての民俗（19～21）女性・子ども・老人の民俗（22～24）葬送儀礼と先祖祭祀（25～27）里と海・山のなりわい（28～29）祭りと年中行事（30）民俗宗教の諸相
履修上の留意点	夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法	学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。
教科書／テキスト	谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊（八千代出版）2,100円（税込）、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講Ⅰ
担当者名	<small>いしはら こうぞう</small> 石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい) イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容／授業スケジュール 「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More、Edmund Spenser、Christopher Marlowe、Ben Jonson、John Bunyan、John Milton、William Shakespeare などについて講じます。中心になるのは Shakespeare の作品で、教科書にそって講義を進めます。

履修上の留意点 講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。

成績評価の方法 期末試験、レポートにより評価します。

教科書／テキスト ノースロップ・フライ著、『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』、三修社

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講Ⅲ
担当者名	<small>はまぐち まさき</small> 濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 代表的な詩人の生き方や思想などを考察し、精読を中心に詩を読み進める。

講義の内容／授業スケジュール 前期はイギリスロマン主義の代表的な詩人に関し、生い立ちや代表作など基本的な解説を中心に進めていく。後期は代表的な詩を選び、精読を中心に言葉の意味を考察しながら、言葉に込められた詩人の生き方や文化、社会、宗教等の問題、詩人たちの人間観などを読み取る。

履修上の留意点 前期で取りあげる詩人は、イギリスロマン主義の先駆けとなるバーンズやブレイク（第1回～4回）、その基礎を築いたワーズワスやコウルリッジ（第5回～8回）、そしてイギリスロマン主義の発展に重要な役割を果たしたバイロン、シェリー、キーツ（第9回～15回）を中心に取り上げる。後期に取り上げる作品は、キーツの『エンディミオン』（第1回～10回）や『ハイペリオン』など（第11回～15回）。

成績評価の方法 予備知識なしに授業を受けても理解し難いので、あらかじめ授業で取り上げる詩人について調べておいてください。

教科書／テキスト 前期2回、後期2回のレポートにより評価するが、出席等を評価に加える場合もある。教場にて指示します。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講Ⅳ
担当者名	<small>かわさき あきこ</small> 川崎 明子

講義の到達目標(ねらい) 「私」で語られる一人称の小説について解説します。イギリス小説を中心に、アメリカと日本の小説も含み、近代小説の第一号ともいわれる『ロビンソン・クルーソー』（1719）からここ数年に出版された小説まで扱います。

講義の内容／授業スケジュール 小説、手紙、自伝、日記など、書く行為そのものについての考察ともなるでしょう。

履修上の留意点 前期・後期末に小レポートの提出と、事前に問題を提示した上での自由記述形式の小試験を実施します。

成績評価の方法 前期 第1回：オリエンテーション、第2～5回：小説の誕生、第6～11回：教養小説と病人の語り、第12～13回：書簡体小説、第14～15回：小試験とレポートコメント
後期 第1～4回：入れ子構造と日英小説比較、第5～9回：自伝小説、第10～13回：オープンエンディング、第14～15回：小試験とレポートコメント

教科書／テキスト 出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、小レポート、小試験の結果により総合的に評価します。

参考書 特になし。
・イギリス小説とその読み方については、川口喬一『イギリス小説入門』研究社
・小説の研究方法については、川口喬一『嵐が丘』を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』

履他
修学
科目

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	モート、セーラ

講義の到達目標(ねらい) The world of Jane Austen and early nineteenth century English painting, will be the focus of this course.

The set text will be the novel 'Sense and Sensibility', by Jane Austen(1775-1817), the first novel she had published. The story is based on the contrast between the characters of the Dashwood sisters, Elinor, who is sensible, restrained and concerned with the welfare of others and Marianne, who is imaginative, romantic and devoted to the beauty of nature. The paintings of English landscape artists of the period such as J.M.W.Turner(1775-1851), John Constable (1776-1837) and George Stubbs (1724-1806), will also be referred to.

講義の内容/
授業スケジュール

A detailed schedule will be given to the students at the first lecture, however topics such as:

- changing ideas on nature and environment.
 - the relationship of literature and painting.
 - social rank and customs such as dancing and the fashion of the period will be discussed in depth.
- There will be the opportunity to work in pairs and small groups in class.

成績評価の方法
教科書/テキスト

Report and assignments based on year level.
'Sense and Sensibility' . Jane Austen.(Oxford World's Classics. Oxford University Press.2008. ISBN978-0-19-953557-6). 1,150 yen.

参 考 書

Reference texts on Austen and also on English nineteenth century painting to be announced at first lecture.
Dvds.
* 'Sense and Sensibility' . Film adapted by Emma Thompson, directed by Ang Lee. 1995.
* 'Sense and Sensibility' . Adapted for BBC television, directed by John Alexander. 2008.
* 'Pride and Prejudice' . Directed by Joe Wright. 2005.

他 学 部
履 修 科 目

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	丸小 ^{まろこ} 哲雄 ^{てつお}

講義の到達目標(ねらい) 美学から見た文学(芸術)批評講座。言語芸術によって美的体験と教養体験を高めるために、文学(芸術)批評のさまざまな方法に親しむように目指します。文学(言語芸術)とは人類の愚業の堆積で、「美しい」は制度であり、文学者・芸術家は作り出されるものです。そのような制度の中で人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めないことを知るようになります。そして「美しい」とは「憧れ」で、「憧れ」とは読み手自身に無いものや不在感・欠落感をあぶり出し、読み手の日常生活から外部へ向かわせます。それには人として生きる(生活世界)から「審美学」を結びつける方法を身につけることが大事です。そこで批評方法はテキストの内部読解から外部読解に向けてゆくプロセスを見出してゆくこととなります。

講義の内容/
授業スケジュール

前期スケジュール:(英米)文学の基礎知識

- 1 言語の階層性:母語(自然言語)と外国言語と芸術言語の相違について(1~3)
- 2 文学の基本的要素及び文学の機能と力:文学と批評の基本的用語の習得について(4~7)
- 3 文学の基本概念と作品テキストテキスト演習:文学の美的体験(読み・解釈・批評)と教養経験(文学史・様式史・一般史)(8~14)

後期スケジュール:さまざまな批評方法についての概説とテキスト紹介と演習

- 1 伝統批評と伝記批評(15~17)
 - 2 ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム(18~20)
 - 3 テーマ批評と精神分析批評と受容理論(21~23)
 - 4 構造主義と記号論とポスト構造主義(24~26)
 - 5 ニュー・ヒストリシズムとポストコロニアル批評とカルチュラル・スタディーズ(27~28)
- 辞書を持参すること。英文テキストの読みの課題に対して準備するよう指示します。

準 備 学 習
履修上の留意点

- 1 読書リストのプリント配布
- 2 講義用のプリントを毎回配布(多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること)
- 3 英語読めることが不可欠ですが、日本語で読めるものは多読・濫読して理解するよう心掛けること。

成績評価の方法

出席率、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者は評価の対象になります。

教科書/テキスト

参考書は講義内容に対応して指示します。

参 考 書

必要に応じて随時指示し、作品テキストの読みの課題を出します。

履修コード	026201
科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

主として、20世紀のアメリカの劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」)等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

第一回 オリエンテーション(授業の進め方・内容等についての説明)

第二回 ピューリタン(1)

第三回 ピューリタン(2)

第四回 Arthur Miller(1915-2005)(1)

第五回 Arthur Miller(1915-2005)(2)

第六回 Susan Glaspell(1882-1948)

第七回 リアリズムと表現主義(1)

第八回 リアリズムと表現主義(2)

第九回 Eugene O'Neill(1888-1953)(1)

第十回 Eugene O'Neill(1888-1953)(2)

第十一回 劇のプロットの要素

第十二回 Shirley Jackson(1919-65)

第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972)

第十四回 Tennessee Williams(1911-83)(1)

第十五回 Tennessee Williams(1911-83)(2)

第十六回 Thornton Wilder(1897-1975)

第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984)

第十八回 Murray Schisgal(1926-)

第十九回 「登場人物」

第二十回 Samuel Beckett(1906-89)(1)

第二十一回 Samuel Beckett(1906-89)(2)

第二十二回 Harold Pinter(1930-2009)

第二十三回 Sam Shepard(1943-)

第二十四回 Bernard Pomerance(1940-)

第二十五回 Peter Shaffer(1926-)

第二十六回 Arthur Kopit(1937-)

第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの『詩論』

第二十八回 中世演劇(1)

第二十九回 中世演劇(2)

第三十回 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2,000字から4,000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト
参 考 書

プリント

『楽しく読める英米演劇』ミネルヴァ書房

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講Ⅰ
担当者名	あづま けいいちろう 東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい)

アメリカ詩人の作品を精読し、アメリカの文化、芸術、社会、経済、政治等を考えます。アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼です。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれません。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性で、また、アメリカ的なものの定義と強調・主張です。

講義の内容／
授業スケジュール

How do I find America? What is America? Who is an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作しています。巨大なサラダボール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えまてもらいます。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高め、また、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞します。

毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。

①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害、ジェイムスタウンとプリマスが意味するもの(1~4) ②アメリカの荒野と自然、歌の夢並びに独立革命(5~7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争と西部開拓時代、ホイットマンを読む(8~10) ④アマーストの隠遁者の魔女、エミリー・ディキンソンを読む。彼女は如何にして厳格な神を飼い馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム、農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たちとアメリカン・エグザイル、パウンドとエリオットのモダニズム ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭、ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11~15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦、ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩、形式主義者たちの詩を読む(16~18) ⑧沈静した社会への反逆と対抗文化、ビート詩人とギンズバーグを読む。大胆な告白をする詩人たちのプロテスト詩 ⑨ロバート・ブライ、ジェイムズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察、ソローに回帰するエコロジー、ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19~20) ⑪祖国を奪われた人々、チカーノ/チカーナの詩人、ネィティヴ・アメリカンの詩人を読む(21~24) ⑫アメリカの子どもの詩、アメリカの児童文学と詩、マザーグースはボストンに永眠する(26~)

履修上の留意点

4回以上の無断欠席者は、評価対象外者となります。病気や事故等、理由のある欠席は、欠席届を必ず提出してください。

成績評価の方法

①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2000字以上の前期レポート(25%) ③2000字以上の後期レポート(25%) ④質疑応答等の授業への貢献度(25%)

教科書/テキスト

新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度、その他、プリント配布。

参 考 書

開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履 他
修 学
科 部
目

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保

講義の到達目標(ねらい)

宗教について地理学的にどのような研究が可能なかを理解する。

講義の内容／

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。事例地域は主に日本国内である。

授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 文化地理学の概要
- 3~4. 宗教地理学の概要
- 5~11. 宗教分布
- 12~14. 信仰圏
- 15~16. 宗教集落・宗教都市
- 17~20. 巡礼・社寺参詣
- 21~23. 墓地・火葬場
24. 村落の宗教組織

準 備 学 習

授業の後、ノートを見直して、話の筋をつかむことを薦める。

成績評価の方法

成績評価は、試験(前期・後期の2回、平常授業内に行なう。持込不可)の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が基準に達しない時以外にも、出席回数が足りない場合や、レポートが受理されない場合、単位は認定されない。

教科書/テキスト

使用しない。

参 考 書

授業中に指示する。

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	ひらい まこと 平井 誠

講義の到達目標(ねらい)

現在「少子高齢化」という現象が関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題はいずれも、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口の規模、分布および構造に焦点を当て、後期は、人口分布を変化させる要因としての人口移動に焦点を当てる。これらの指標の意味やその地域的な差異などを理解しながら、人口という側面から地域性を把握する手段を習得することを目指す。講義では主に日本の人口指標を使用するので、最終的に人口という側面から見た日本の特性を理解することが、目標となる。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：

- 1 前期ガイダンス
- 2・3 人口変化と人口学的方程式
- 4・5 人口変化の要因（出生）
- 6 人口変化の要因（死亡）
- 7・8 人口分布（集中指数・重心）
- 9・10 人口構造（年齢構造）
- 11・12 人口構造（産業構造）
- 13・14 人口構造（高齢化の影響および対策）
- 15 中間試験

後期：

- 1 後期ガイダンス
- 2・3 人口移動1（重力モデル）
- 4・5 人口移動2（日本の人口移動）
- 6 人口移動3（大都市圏の人口移動）
- 7 人口移動4（都心回帰）
- 8・9 高齢人口移動1（移動パターン）
- 10 年齢別移動率の推計（コーホート）
- 11・12 高齢人口移動2（大都市圏における流入）
- 13 高齢人口移動3（非大都市圏における流入）
- 14 高齢人口移動4（欧米との比較）
- 15 期末試験

(受講者の興味や進度によって適宜調整する。)

教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。

前期終了時の中間試験・後期終了時の期末試験および平常点（出席や提出物）の総合評価とする。指定しない。

阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。

荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。

大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。

小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。

濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。

石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。

その他講義中に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	041001
科目名	現代地理学特論
担当者名	平井 幸弘

講義の到達目標(ねらい)

人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行、2007年には「第三次生物多様性国家戦略」が策定、そして2010年には「生物多様性条約」の第10回締約国会議 (COP10) が名古屋で開催されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の様々な環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は主として日本国内の水辺(河川、海岸、湖沼)を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義(2回～6回)、(2)日本の湖沼(霞ヶ浦、宍道湖・中海など)における自然再生への取り組み(7回～10回)、(3)日本の海岸(オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など)における近年の環境問題(11回～15回)。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイ中央平原のチャオプラヤ川流域における洪水や地盤沈下問題(16回～19回)、(2)タイ南部のソングラー湖地域におけるエビ養殖やマングローブをめぐる問題(20回～23回)、(3)ベトナム北部の江河デルタにおける海岸浸食問題(24・25回)、(4)ベトナム中部フエのラグーン地域での海面上昇問題とラグーンの環境変化(26・27回)、(5)ベトナム南部のメコンデルタにおける環境問題(28・29回)、(6)アジアの水辺の環境問題のまとめ(30回)。

履修上の留意点
成績評価の方法

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
出席とレポート及びその発表(パワーポイントを使つてのプレゼンテーション)。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書／テキスト
その他

とくに指定しない。
高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝國書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	046601
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦惱」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1)ガイダンス、(2)～(5)インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10)日本への仏教伝来と受容、(11)～(15)飛鳥仏教の成立、(16)～(25)奈良仏教の成立、(26)～(30)平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。
随時、プリントにて配布します。
速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

履修コード	046911
科目名	西洋文化史
担当者名	<small>たなか けい</small> 田中 佳

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、ヨーロッパの歴史の中で文化にかかわるいくつかのテーマを取り上げ、近年の文化史、社会史の成果に依りながら考察を加える。ヨーロッパ史への多角的な理解を深めるばかりでなく、今日の社会・文化現象についての歴史的関心を養い、既存の概念やシステムを批判的に再検討するきっかけを提供することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) (1) イントロダクション (2~3) 文化史の課題と方法 (4~9) 子どもと家族の社会・文化史 (10~14) 偉人のイメージ (15) 中間試験 (後期) (16~20) 美術館の起源 (21) 美術館見学 (22~26) ヨーロッパの美術館の創設 (27) アメリカの美術館の創設 (28~29) 日本への美術館の「輸入」 (30) 総括
履修上の留意点 成績評価の方法	講義内容をふまえたうえで、自ら問題意識を持ち、考察を深めてほしい。 平常点(小テスト、提出物等を含む): 20% 中間試験: 40% 期末試験: 40% により評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	テキストはとくに指定しない。 授業内で随時紹介する。

履修コード	048401
科目名	日本史特講Ⅶ〔近代〕
担当者名	熊本 史雄 <small>くまもと ふみお</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期 GHQ との折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括(中間試験返却)／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と銃後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を迫体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

前・後期2回の試験の成績(70%)、および出席状況と授業態度(30%)で評価する。

とくに指定しない。

適宜紹介する。

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	049711
科目名	東洋史特講Ⅲ〔近世史〕
担当者名	杉山 清彦

講義の到達目標(ねらい)

16～18世紀のユーラシアは、モンゴル時代に起源する巨大帝国が各地域世界に並び立つ時代であった。一般に「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」と理解されている清朝も、マンジュ（満洲）人が皇帝となって広大・多様な領域を統合した帝国であるという点において、オスマン帝国やムガル帝国と並び立つ「大清帝国」として捉えることができる。

本講義では、まず支配層たるマンジュ人・八旗に焦点を当てて、帝国の形成過程とその支配構造について考察し、ついで、ユーラシアに並存したオスマン・サファヴィー・ムガルといった諸帝国の支配体制との比較検討を行なう。これらにより、時系列的な中国史上の一王朝としてではなく、同時代のユーラシアに並立した巨大帝国の一つとして大清帝国を描き出すことをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

〔前期〕大清帝国の形成と構造 第1～3回：近世のユーラシア東方 第4～9回：大清帝国の形成と発展 第10～14回：八旗制と帝国の支配構造 第15回：予備日

〔後期〕大清帝国と近世のユーラシア 第16～18回：モンゴル帝国とティムール帝国 第19～21回：オスマン帝国とカプ＝クル軍団・イエニチェリ 第22～24回：サファヴィー帝国とキジルバシ・ゴラーム 第25～27回：ムガル帝国とマンサブダル 第28～29回：ユーラシアのなかの大清帝国 第30回：予備日

準備学習

高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

参考書

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、『清朝とは何か』（別冊・環⑩、藤原書店、2009）・『紫禁城の栄光』（岡田英弘・神田信夫・松村潤著、講談社学術文庫、2006）を薦める。

他
修
学
部
目

履修コード	052911
科目名	考古学特講Ⅲ
担当者名	今村 啓爾

講義の到達目標(ねらい)

「先史」とは「文字以前」という意味である。日本の先史時代である先土器時代・縄文時代・弥生時代への移行までと、日本列島の両端におそくまで残った先史文化について、大きな文化の流れを理解するとともに、主要な遺跡・遺物・遺構などの物質的側面、社会や宗教などの非物質的側面について基本的な知識を獲得し、さらに日本先史文化の世界の中での位置づけを理解することをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

第1～2回：日本考古学の時代区分と世界の考古学の時代区分、第3～4回：先土器時代（旧石器時代）研究史、第5～6回：先土器時代の遺跡・遺物・遺構、第7回：先土器時代の生活と社会、第8～9回：縄文時代研究史、第10回：先土器時代から縄文時代への移行、第11回：先土器・縄文時代の自然環境、第12～13回：縄文時代の道具、第14～15回：縄文時代の遺構、第16～18回：縄文時代の生業、第19～20回：縄文時代の集落と社会、第21～22回：縄文時代の装身と儀礼、第23～24回：縄文時代から弥生時代へ、第25～26回：弥生文化の概要、第27回：北海道に残った先史文化、第28回：沖縄に残った先史文化、第29～30回：世界の中での日本先史文化

準備学習

とくにないが日頃から博物館などで実際の遺物を観察することを勧める。

成績評価の方法

出席と期末試験

教科書／テキスト

とくにない

参考書

今村啓爾『縄文の実像を求めて』吉川弘文館歴史文化ライブラリー1999年
今村啓爾『日本列島の新石器文化』『日本史講座1』東京大学出版会2004年
今村啓爾『土器から見る縄文人の生態』同成社2010年

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義の到達目標(わらい)	ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>〈前期〉近代哲学の潮流</p> <p>I 近代哲学の出発点と問題：デカルト</p> <p>1 確実な学問の追求 2 方法的懐疑と帰結 3 心身問題</p> <p>II 大陸合理論：二元論の調停</p> <p>1 心身平行論—スピノザ 2 単子論—ライプニッツ 3 偶因論—マルブランシュ</p> <p>III イギリス経験論</p> <p>1 人間知性の吟味—ロック 2 存在と知覚—パークリー 3 懐疑主義—ヒューム</p> <p>IV 啓蒙思想</p> <p>1 感覚論—コンディヤック 2 唯物論—ラマルク、ドルバック 3 決定論—ディドロ</p> <p>4 功利主義—エルベシウス 5 反主知主義—ルソー</p> <p>V 総括：近代知の抬頭と挫折—啓蒙の弁証法</p> <p>〈後期〉近代哲学の潮：カント</p> <p>I カントの見た学問的状況</p> <p>1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題</p> <p>II 形而上学への関心</p> <p>1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性</p> <p>III 認識論の革命</p> <p>1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と実在論</p> <p>IV 実践的形而上学</p> <p>1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論</p> <p>V 総括：近代の人間の全体像</p>
成績評価の方法	学期毎に小論文を課す。
教科書/テキスト	久保・河谷編「原典による哲学の歴史」公論社 山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

履他
修学
科目

履修コード	058331
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(わらい)	この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団の影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—</p> <p>2. 対人認知と印象形成 —未知の人をどう認知するか—</p> <p>3. 対人関係と自己開示 —オタクと日本人の自己開示—</p> <p>4. 親密性の社会心理学 —若者の友人関係—</p> <p>5. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ①—</p> <p>6. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ②—</p> <p>7. 自信の社会心理学 —あなたは自分に自信がありますか—</p> <p>8. 対人関係と対人魅力 —対人魅力の条件とは何か—</p> <p>9. 恋愛の社会心理学 —恋愛と友情に違うのか—</p> <p>10. 援助行動抑制要因の研究 —何故、人は見て見ぬふりをするのか—</p> <p>11. 社会的手抜きと社会的促進の研究 —みんなと一緒なら食事もはずむ—</p> <p>12. 同調行動と集団的意志決定 —集団の意志決定とその危険性—</p> <p>13. カウラ事件とその社会心理学的考察 —集団脱走はなぜ起こったか—</p> <p>14. 同調行動と頻度依存行動 —いじめの心理—</p> <p>15. まとめ</p>
履修上の留意点	ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。
成績評価の方法	平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%
教科書/テキスト	授業中、プリントを配布する。
参考書	その都度指示する。

履修コード	058341
科目名	社会心理学B
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学Ⅱ(後期)では、主として集団と社会の領域における実際的なテーマを中心に、身近な生活に役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか①—
3. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか②—
4. 親和欲求の研究 —何が人を結びつけるか—
5. 達成動機の研究 —やる気のある人はどんな人か—
6. 仕事意欲の研究 —働くことの意味と労働観—
7. リーダーシップの研究 —効果的リーダーシップとは—
8. 集団の社会心理学 —集団のまとまりは如何に可能か—
9. 態度変容の研究 —説得の技法—
10. 態度変容の理論 —セールスマンのテクニック—
11. 異文化コミュニケーションと異文化適応 —異文化に生きる戦略—
12. 学生文化の研究 —学生文化は死んだか—
13. 国際化する大学と学生 —世界の留学交流と在日留学生—
14. 日常生活の中の社会心理学 —しろうと理論の陥穽—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

平常点(出席+リアクションペーパーの内容+参加度)50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義の到達目標(ねらい) 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容/
授業スケジュール

この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。それぞれについて、2回程度講義を行う。

1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界
 - (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界
 - (2) 雇主の戦略と新国際分業
 - (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化
 - (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業
 - (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化
 - (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大
 - (2) インフォーマル化の概念と意味

準 備 学 習

日ごろから、新聞その他のメディアを通じて、授業で扱う問題についての知識を吸収しておくことが望ましい。

履修上の留意点

継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

成績評価の方法

授業内で実施する小テスト(5回実施)によって、成績を評価する。出席はとらないが、小テストの成績は出席率と強い相関があることはいうまでもないので、その点留意すること。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

特になし。
山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
後期に隔年開講している雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい(本年度は休講)。

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	ふかさわ ひろき 深澤 弘樹

講義の到達目標(ねらい)	現代を生きる私たちにとって、世の中の出来事を知る手段としてマス・メディアはなくてはならない存在となっている。その一方で、インターネットの発達により、マス・メディアを媒介とするマス・コミュニケーション活動は日々、変化している。こうした点を踏まえ、本講義では、マス・コミュニケーションの変容過程を概観するとともに、その社会的機能について理解することを目的とする。さらには、マス・コミュニケーションと人々の社会生活、社会との関係を考察していく。また、新聞、テレビ、インターネットなどから発せられる情報を読み解くためのメディアリテラシーを身につけることも本講義の目的である。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス、第2回：マス・コミュニケーションの基礎概念、第3～4回：マス・コミュニケーション発達史、第5～7回：マス・コミュニケーションの機能、第8回：受け手の能動性、第9～10回：メディアによる世論形成、第11～12回：インターネット時代のコミュニケーション、第13～14回：メディアリテラシーを身につける、第15回：まとめ
準備学習	日頃から新聞、テレビなどから発せられる情報を漠然と受け入れるのではなく、批判精神、問題意識を持って接した上で授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	学期末試験（7割）に出席状況や小テストなどの平常点（3割）を加味して総合的に評価する。
教科書／テキスト	特に使用しない。
参考書	授業中に随時、指示する。

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	ほり ちづこ 堀 千鶴子

講義の到達目標(ねらい)	我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。																																																
講義の内容／授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>社会福祉の歴史と人物史 1</td> <td>13</td> <td>人物史 4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>” 2</td> <td>14</td> <td>” 4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>慈善・救済の時代</td> <td>15</td> <td>” 4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>人物史 1</td> <td>16</td> <td>社会事業・社会福祉の時代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>” 1</td> <td>17</td> <td>人物史 5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>” 1</td> <td>18</td> <td>” 5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>” 2</td> <td>19</td> <td>” 5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>” 2</td> <td>20</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>” 2</td> <td>21</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>” 3</td> <td>22</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>” 3</td> <td>23</td> <td>社会事業に生きた女性</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>” 3</td> <td>24</td> <td>地域の歴史</td> </tr> </table>	1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4	2	” 2	14	” 4	3	慈善・救済の時代	15	” 4	4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代	5	” 1	17	人物史 5	6	” 1	18	” 5	7	” 2	19	” 5	8	” 2	20	” 6	9	” 2	21	” 6	10	” 3	22	” 6	11	” 3	23	社会事業に生きた女性	12	” 3	24	地域の歴史
1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4																																														
2	” 2	14	” 4																																														
3	慈善・救済の時代	15	” 4																																														
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代																																														
5	” 1	17	人物史 5																																														
6	” 1	18	” 5																																														
7	” 2	19	” 5																																														
8	” 2	20	” 6																																														
9	” 2	21	” 6																																														
10	” 3	22	” 6																																														
11	” 3	23	社会事業に生きた女性																																														
12	” 3	24	地域の歴史																																														
履修上の留意点	出席を重視する。テキスト必ず持参。																																																
成績評価の方法	出席（40%）、レポート（60%）																																																
教科書／テキスト	室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円 ISBN4-623-04519-6																																																

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	091101
科目名	日本経済論
担当者名	貝塚 亨 <small>かいづか とう</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代日本経済の特徴と問題を把握し、将来を展望することを目標とする。そのためには、日本経済の発展過程を歴史的に理解する事が重要である。そこで、日本資本主義の明治維新以降の史的発展過程を、概観する。とはいえ、日本経済システムは第二次大戦前後で質的に変化しているため、戦後の歩みを中心として講義する。また、農業・工業分野だけでなく、先進資本主義諸国に特徴的な「サービス経済化」についてもあわせて検討する。

講義の内容／授業スケジュール 以下の予定であるが、必要に応じて時事問題も取り扱う。

- 1回 講義概要
- 2～6回 第二次大戦以前の日本経済
- 7～9回 戦後復興期
- 10～12回 高度経済成長期
- 13～15回 二つのショックと世界経済の変質
- 16～18回 低成長期
- 19～21回 バブル景気
- 22～24回 1990年代不況
- 24～26回 日本経済の現代的課題 (1) 産業構造
- 27～29回 日本経済の現代的課題 (2) 企業・労働
- 30 まとめと展望

準備学習 日常的に新聞を読むことと、日本史・世界史の基礎的知識を習得しておくこと。

履修上の留意点 本講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めるので、受身ではなく積極的に講義に参加することを望む。

基礎的な経済理論についても適宜講義するので、経済学部以外の学生もおおいに歓迎する。

成績評価の方法 以下を合算して評価する。

- リアクションペーパーの提出を含めた受講状況
- 夏期レポート
- 学年末テスト

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 参考書に関しては適時紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	羽鳥 茂 <small>はとり しげる</small>

講義の到達目標(ねらい) 多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法 後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。

教科書／テキスト 青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円

参考書 鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円

その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	小栗 <small>おぐり たかし</small> 崇資

講義の到達目標(ねらい)

企業活動の実態を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計です。財務会計は会社法や金融商品取引法のような制度（法律や規則）によって社会的に規制されています。そのような日本の企業会計制度はこの間、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化の過程をたどり、現在はさらにグローバルスタンダードである国際会計基準との統合の最中にあります。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような変化をとげていくかが、今問われているところです。

講義の前半では、そうした制度変化を理解するのに必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みについて理解を深めた上で、財務諸表の（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）の構成や内容について学習を進めます。講義の後半では、新たに導入された様々な会計基準を取り上げ、その習得をめざします。特に国際会計基準の内容をできるかぎり紹介して検討する予定です。

次のような構成で進める予定です。

(1) 会計とは何か、(2～3) 経済社会と企業会計、(4～5) 会計規制の仕組み、(6～7) 日本の企業会計制度の歴史、(8) 会計ビッグバンとグローバル化、(9～12) 財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）の仕組み、(13～14) 連結財務諸表の仕組み、(15) 金融商品会計、(16) 退職給付会計、(17) リース会計 (18) 税効果会計、(19～22) その他の新会計基準、(23～25) 国際会計基準の概要、(26～30) 財務諸表の活用

会計学は専門知識を積み重ねていく学習スタイルが重要です。プリントを適時、配布しますので休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

中間試験および学年末試験の結果により評価します。

現在準備中。授業の中で指示する予定です。しばらくは配布するプリントを使います。

遠藤・小栗・新谷・徳前『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

他
学
部
目

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	<small>わたなべ けいいち</small> 渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい)

経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

(1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

講義の内容およびテキストのページ範囲は、前回講義の最後の時間に指示する。講義は、受講生がテキストにあらかじめ目を通していることを前提に行う。

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつながらなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

定期試験（年度末）の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。

教科書/テキスト

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4）。

補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参 考 書
そ の 他

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

日本史の知識不問（挫折者歓迎!）。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	みぎて よしかず 溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい)

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1回)
2. 食料問題と食料政策 (6回程度)
3. 農業の特質と現代農業 (4回程度)
4. 戦後日本の農業問題と農業政策 (6回程度)
5. 農産物価格問題と価格・所得政策 (5回程度)
6. グローバリゼーション下における世界の農業 (5～8回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験(年度末)を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書/テキスト

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参 考 書

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

履他
修学
科目部

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義の到達目標(ねらい)

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

第1週—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年—)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

前期レポート、後期試験(30%、70%)。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

他
履
修
科
目

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。
講義の内容／授業スケジュール	1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。
履修上の留意点	以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向。◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など
成績評価の方法	この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。
教科書／テキスト	アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。
履修科目	随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。
	最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年) グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年) 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年) をおすすめします。

履修コード	095001
科目名	E U 統合論
担当者名	清水 卓 <small>しみず たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)	第二次大戦後の統合運動を軸に、多様性の統合、絶えず緊密化する結束により、拡大と深化を遂げ、覇権国アメリカに対抗しうる世界的影響力を持つに至ったEUについて、体系的・総合的な正しい認識を持ち、そこから、我が国への教訓を導き出すことが出来るようになること。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～第3回 欧州統合運動の歴史(～1950年代) 第4回～第6回 EEC(1960年代の共同市場建設) 第7回～第9回 1970年代のEC(第1次拡大、通貨統合への挑戦) 第10回～第12回 1980年代の再活性化(単一欧州議定書と市場統合計画) 第13回～第15回 EUの成立(通貨統合とEU拡大)
準備学習	過去一週間の新聞からEU関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統日頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持つ。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト	教科書は指定しません。
参考書	(1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円 (2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円
関連リンク	http://www.deljip.ec.europa.eu

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	清水 卓 <small>しみず たく</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、第2次大戦から今日に至る間の、西欧諸国の経済の構造変化と経済政策の展開を段階的に把握し、現在の経済・社会諸課題を視る視座を得ることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～第3回 欧州の東西分断と戦後復興(～1950年代) 第4回～第6回 共同市場建設と経済の高度成長 第7回～第9回 高度成長の終焉とスタグフレーションへの対応 第10回～第12回 新自由主義の展開 第13回～第15回 グローバリゼーションと欧州社会モデル
準備学習	過去一週間の新聞から EU 関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統日頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV 特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持とう。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書/テキスト	特に指定しません。
参考書	(1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円 (2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円
関連リンク	http://europa.eu/

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 会計監査の意義と概要 (2～5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6～10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11～15) ディスクロージャー制度(金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16～20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21～25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26～30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書
履修上の留意点	本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学基礎または会计学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。
成績評価の方法	原則として定期試験(年度末)により評価する。出席調査を数回行い、これも評価に反映させる。
教科書/テキスト	指定しない。必要に応じて資料を配付する。
参考書	山浦久司『監査論テキスト(第2版)』中央経済社 盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉眞一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論(第2版)』中央経済社 中央経済社編『監査法規集』中央経済社

履修コード	331801
科目名	会計監査論
担当者名	<small>ちべ かずひと</small> 阿部 一人

講義の到達目標(ねらい)

「監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ」
 もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として産みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として概説する。

1. 会計監査の意義と目的(総論)(1)

- ①監査の必要 ②監査の意義
- ③監査の対象

2. 会計監査の意義と目的(総論)(2)

- ①監査の目的 ②監査思想の変遷
- ③監査の効用

3. 金融商品取引法監査

4. 会社法監査

5. 監査基準

6. 内部統制

7. 監査計画

8. 監査手続

9. 監査意見と監査報告書

10. 中間監査

11. 現代監査論の動向

簿記学、会計学を履修済みであることが望ましい。

学期末試験とレポートにより総合的に評価する。

開講後指示する。

田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円

高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円

鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円

三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円

山辨忠恕・検田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円

脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

講義の内容/
授業スケジュール

他学
修科
目部

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	<small>いしかわ ゆうじ</small> 石川 祐二

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

(1) ガイダンス、(2~4) 管理会計論をとらえる視点、(5~8) 管理会計上の基礎概念、(9~12) 設備投資の意思決定、(13~15) 製品関連の意思決定

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

定期試験(前期末)により評価する。

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

必要に応じて紹介する。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	097121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5) ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7) 企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8) リスク・マネジメントと状況報告書、(9) リスク・マネジメントと引当金、(10~11) リスク・マネジメントとバランスト・スコアカード、(12~13) リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15) リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

毎回、テキストを一読した上で講義に臨むこと。
会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。
中間レポート（30%）および定期試験（後期末：70%）により評価する。
石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）
必要に応じて紹介する。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

一国の経済は外国貿易なしには成立しません。今日、先進国において国際取引全体に占める貿易の割合は縮小していますが、依然として対外関係を様々な面において方向付けています。たとえば、貿易を中心とした経常取引は、一国の対外債権債務動向を左右します。また貿易動向は国内産業構造の変化や景気動向の反映でもあり、逆に貿易動向が国内経済に大きな影響を及ぼすことも少なくありません。講義では、貿易の基本原則や取引方法を学び、さらに日本の経済と貿易がどのように関連しているのかを考えていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- 1 国際取引と貿易
 - ・国際収支 ・記載原理 ・国際収支統計と国民所得統計
- 2 貿易原理
 - ・比較生産費説 ・特化と独占 ・交易条件
- 3 国際競争力
 - ・価格転嫁率 ・為替相場と商品価格

後期

- 4 貿易の歴史
 - ・保護貿易と自由貿易 ・産業革命と貿易 ・帝国主義と貿易 ・戦後の貿易体制
- 5 為替取引原理
 - ・約束手形と為替手形 ・銀行と為替取引
- 6 貿易実務
 - ・船積み書類と信用状 ・ユーザンス ・貿易金融

*なお、トピックスを取り上げることがあり得る。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

出席を取ることもあり得る。
年二回の試験
特に指定しない。
授業中、必要に応じて適宜示します。

他
履修
学部
科目

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	<small>わかばやし ありさ</small> 若林 亜理紗

講義の到達目標(ねらい)

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をなうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容/
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

期末試験により評価を行う。
丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第3版)』(法律文化社)
別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

履他
修学
科学
部

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	<small>ひがしで こういち</small> 東出 浩一

講義の到達目標(ねらい)

経済法の中心をなす独占禁止法について、21年改正の内容を含め、基本的な事項を理解することを目標とします。

条文の解説にとどまらず、できるだけ具体的な事件の審判決や相談事例を紹介し、実際の事例でどのような事項が論点となったか等を説明することにより、実務的な理解が進むように講義を進める予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

おおむね、次の事項について説明する予定です。

- 1 独占禁止法の概要、行為主体 2～6 私的独占・不当な取引制限 7～14 不公正な取引方法等 15～17 企業結合規制 18～20 適用除外・民事訴訟 21～25 事件処理手続・排除措置・課徴金 26～28 刑事罰・犯則調査手続、その他

準備学習
履修上の留意点

教科書「経済法」(第5版補訂)の該当部分を一読しておいてください。
教科書である「経済法」(第5版補訂)は、21年改正に対応していませんので、留意してください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他
関 連 リ ン ク

期末試験によって成績評価をします。
「経済法」(第5版補訂・岸井大太郎・向田直範ほか)・有斐閣アルマ
「逐条解説 平成21年改正独占禁止法」(藤井宣明・稲熊克己)・商事法務
レジュメを配布する予定です。
<http://www.jfic.go.jp/>

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	こぼりのりお 小堀 訓男

講義の到達目標(ねらい)	国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。
講義の内容／授業スケジュール	前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。 後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。 授業スケジュールは、(1～5)政治学の基礎的知識の整理、(6～8)国家、権力、民族、階級、(9～11)近代国家の特質、(12～15)国際社会の特質、(16～17)国際政治と国内政治、(18～22)国際政治の本質、(23～26)国家の行動基準、(27～30)冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。
履修上の留意点	授業中に読むべき本を紹介しますので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。
成績評価の方法	1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。
教科書／テキスト 参考書	使用しません 必要に応じて講義のなかで紹介します。

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	うらた きんえ 浦田 早苗

講義の到達目標(ねらい)	現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。
講義の内容／授業スケジュール	①古代ギリシャ、ローマの政治社会 ②キリスト教と十字軍 ③宗教改革とルネサンス ④英仏百年戦争 ⑤アン・ブーリンとエリザベス ⑥英国革命とジャコバイト ⑦アメリカ独立戦争 ⑧フランス革命とナポレオン ⑨2月革命とナポレオン3世 ⑩第一次大戦 ⑪第二次大戦 ⑫統合ヨーロッパの源流
成績評価の方法	年5～6回となる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)
教科書／テキスト	特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修コード	127501・326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしみながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は主旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

憲法や行政法、ならびに行政学も同時履修もしくは既修であることがのぞましい。

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

富井幸雄『地方自治法読本 改訂版』2008年4月（内外出版）

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	三竹 ^{みたけ} 直哉 ^{なおや}

講義の到達目標(ねらい)

政治学科の専門科目として、本格的な大学の授業を経験する場を提供します。

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ手法を練習します。

また、政治にまつわる多くのことがらに対する問題意識を養い、政治学を専攻している大学生であるみなさんが、人間についてより深く考える人になることを目標としています。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

この授業を最後までやり通すことで、少しずつ計画的に学習する習慣が身につきます。さらに、グループ活動が多いので、自己表現やプレゼンのスキルも身につきます。ノートの作り方等も習得します。

講義の内容／
授業スケジュール

この文章は2009年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映できれば、積極的に使っていきたくて考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2009年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2010年度も2009年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマを取りあげ、比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民族、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、プール代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第30回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

準備学習

毎回事前にやってくる課題が出ます。毎週1時間半程度は予習に使うことを想定しておく必要があります。新聞に日常的に目を通すことも必要です。毎週こつこつやっていると興味深く感じるが増えていきますので、しだいに苦にならなくなっていきます。

履修上の留意点

この授業は、自分で事前に勉強してきたことを「使って」、教室で様々な活動を行う授業です。「講義」形式の授業はほとんど行いません。知識のインプットなどは授業前にすませ、教室ではグループで作業をして教え合ったり討論したりプレゼンをしたりといったアウトプットを行います。そのため、ほぼ毎週文献を読んで来る等の課題が出ます。教室には《必ず》課題をやってくるのが条件です。こうすることで、やる気がある人だけでレベルが高いグループ活動や討論ができるようになります。

他の授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

YeStudyを必ず利用します。

中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習すること、が条件です。

欠席したときの授業内容は必ず各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書／テキスト
参考書
その他

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2009年12月時点に書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudyに、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

他
修
学
部

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義の到達目標(ねらい) 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程=明治国家の構造(前期)であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの=政治文化の問題(後期)をとりあげます。

講義の内容／
授業スケジュール
I前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権
(5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済
(15) 中間試験
II後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神
(20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定
(24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法
教科書／テキスト 授業内における中間試験(50%)と期末試験(50%)により評価します。
大塚桂『明治国家の基本構造』(法律文化社)3200円
大塚桂『日本の政治文化』(勁草書房)2800円

参 考 書
そ の 他 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。
私の研究室は、第二研究館八階(2835)です。電話は、3418-9377(直)です。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平

講義の到達目標(ねらい) この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。

講義の内容／
授業スケジュール
1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法(制度学派など、1-7)
2. リストラクチャリングへの問題解決技法(経営戦略論など、8-15)
3. イノベーションへの問題解決技法(生産管理論など、16-20)
4. コミュニケーションへの問題解決技法(人間関係論など、21-23)
5. セクショナリズムへの問題解決技法(経営組織論など、24-30)

準 備 学 習
履修上の留意点 次回講義までに該当箇所について教科書を読んでおくこと。
講義中の私語は慎んで下さい。
成績評価の方法 定期試験100%。但し講義中などで必要に応じてレポートの提出を求められることがあり、内容いかによってこれを評定に加えることがある。

教科書／テキスト 中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。
参 考 書 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。
そ の 他 経営学、経営学史に関して『週刊ダイヤモンド』にて、私が以前選定した書籍については、下記リンク(読もうよビジネス書)に記載されている。

関 連 リ ン ク <http://www.4mo4.com/biz/2005/08/200816329.php>

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	前田 和利 <small>まえだ かずとし</small>

講義の到達目標(ねらい)

経営史を学ぶことによって企業経営における進化・発展のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、できるだけ産業の発展と個別企業の歴史をふまえ、国際比較の視点をとりいれ、各段階における典型国をとりあげながら経営発達史を論じる。日本の企業経営の特質を理解するためにも、講義において提示する企業経営一般の進化・発展モデルを理解すること。

講義の内容／
授業スケジュール

- I. 経営史の学び方 (1回)
- II. 経営史研究の課題と方法 (4回)
 - 伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成 (4回)
 - 商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立 (3回)
 - 産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相 (5回)
 - 企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展 (7回)
 - 市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容 (3回)
 - 大企業体制の発展と動揺 (管理組織の発展類型を中心として)
 6. 日本における企業経営の進化 (3回)
 - 進化の特質、歴史的ケース

準備学習
履修上の留意点

シラバスに掲載してある参考書および事前に配布する講義用プリントを読んでおくこと。教科書は使用しないので、配布する講義用プリントおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に5回程度簡単な問題を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。
使用しない。
榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版 (同文館)、大河内暁男『経営史講義』(第2版) (東京大学出版会)、米倉誠一郎『経営革命の構造』(岩波新書)、安部悦生『経営史』(日経文庫)、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』(有斐閣)、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』(有斐閣)、J. ミクルスウェイト、A. ウールドリッジ (鈴木泰雄訳)『株式会社』(ランダムハウス講談社)、橋川武郎ほか編『進化の経営史』(有斐閣)。その他随時紹介する。

履 他
修 学
科 部
目

履修コード	140001
科目名	経営労務論
担当者名	鹿嶋 秀晃 <small>かしま ひでおき</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。経営労務論を受講することで企業と労働、社会に幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回毎に「日本は終身雇用なのか?」といったテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。スケジュールは大まかに次の予定。(1) ガイダンス、(2)～(4) 経営労務論と日本的経営論、(5)～(10) 正規、非正規の雇用管理、出向・転籍・早期退職など、(11)～(16) 賃金論入門、年功賃金の歴史、職能資格制度、人事考課、昇進・昇格など、(17)～(22) 労使関係の歴史、構造、労働組合など、(23)～(30) 各論 (労働時間、福利厚生、賃金格差問題、教育訓練など) とまとめ、質問受付、試験。

準備学習
履修上の留意点

経済新聞や新書に日頃から目を通して、関心の幅を広げておくこと。
詳細は最初の講義で説明。(1) 出席点は無し。(2) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3) 携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。

成績評価の方法

7月と12月に実施予定の小テスト、並びに、レポート課題等の合計点で評価する予定。ただし、受講者数が著しく多い、あるいは、少ない場合は、変更することがあるので、授業内に発表する情報に十分注意しておくこと。

教科書／テキスト
参 考 書

特に指定しない。
津田真徹『人事労務管理』(ミネルヴァ書房) 1993 (定価3,000円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社) 1992 (定価3,500円程度) をあげておく。他にも適宜講義中に紹介していく。

そ の 他

WEB ページ (E ラーニングページと個人ページ) でも授業に関する情報を提供。(https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/)

関 連 リ ン ク

http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹 <small>みやぎ てる</small>

講義の到達目標(ねらい)

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

講義の内容/
授業スケジュール

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

(2010年度『アメリカ経営学』授業計画)

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー:マハト) (2)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー) (2)
- V 取引コスト理論 (6)
- VI プロパティ・ライツ理論 (4)
- VII プリンシパル - エージェント理論 (5)
- VIII 契約の理論 (3)
- IX 企業のモジュラー化 (4)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参 考 書

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1983:1999年
 - 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1989:1999年
 - 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1983:1993年
 - 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹『企業統治の研究の統合の一試論』『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
 - 8 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000:2009年(A.Picot u.a.,Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 9 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999:2007年(A.Picot u.a.,Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
 - 10 宮城徹『企業文化と組織の経済理論』遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』(敬愛大学学術叢書)(白桃書房)2003年
 - 11 宮城徹(訳稿)『民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—』*Ingo Pies: Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik—Der Beitrag Oliver Williamsons, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
 - 12 宮城徹(訳稿)『取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—』*Ingo Pies: Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure—Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	<small>かたまり のぶお</small> 片桐 伸夫

講義の到達目標(ねらい)	経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。 皆さんが将来を託そうとする会社は、
講義の内容／ 授業スケジュール	1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、また、 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか(社会性分析)、といった内容です。 (1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資
履修上の留意点	この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。
成績評価の方法	成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。 評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、 後期レポート40%、後期小テスト10%、 ☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。
教科書／テキスト 参 考 書	開講時、指示します。 随時、紹介します。

他
学
部
履
修
目
録

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	<small>ながた ともり</small> 永田 智則

講義の到達目標(ねらい)	本講義の目的は、現実が生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。 分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 国際経済学の意義、(2~7) 国際分業論、(8~12) 貿易政策、(13~15) 経済成長と貿易、(16~22) 国際マクロ経済学、(23~25) 外国為替と国際収支、(26~30) 資本の国際移動
履修上の留意点	現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。
成績評価の方法	原則として学年末の定期試験に重きをおきますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になります。
教科書／テキスト 参 考 書	下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。 仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円+税、ISBN4-8115-6491-X 随時必要に応じて紹介します。

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容/
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。数回の小テストを行う予定である。

教科書/テキスト

開講時に指示する。

参 考 書

開講時に指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>

講義の到達目標(ねらい)

近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容/
授業スケジュール

リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

①リスクマネジメントの生成と発達、1~3、②リスクマネジメントの理論、4~10、③企業経営とリスクマネジメント、11~20、④PLとリスクマネジメント、21~25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26~30

履修上の留意点

ノートをしっかりととること

成績評価の方法

定期試験の成績と平常点

教科書/テキスト

特になし

参 考 書

『リスクマネジメントの理論』石名坂邦昭著 白桃書房

そ の 他

授業にまじめに出席すること

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 ^{かんの さおり} 佐織

講義の到達目標(ねらい) この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、消費者の心理に関する理論を学ぶだけでなく、身近な事例や企業ケースを用いて、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思います。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
- 2～14. マーケティング戦略と消費者行動、消費者行動研究の歴史、消費者の購買意思決定過程
15. 期末テスト
- 16～29. 消費者の意思決定過程、消費者行動の影響要因
30. 期末テスト

準備学習

新聞・書籍・雑誌などから情報を得るだけでなく、普段の生活や買い物行動における消費者の心理・行動について関心を持って観察してみましょう。

履修上の留意点

- ・授業環境の維持のため、授業中の私語や携帯電話の音など、受講態度が不良の学生は、即座に教場から退出させることがあります。
- ・講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しません。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。
- ・この授業を履修するにあたっては、マーケティングの基礎的な知識が必要となります。そのため、マーケティング論を履修していない者の場合には、独学でマーケティングを勉強する必要があります。

成績評価の方法

出席点(数回)、レポート課題、定期試験によって評価します。

教科書/テキスト

授業時に資料を配布します。さらに理解を深めるためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参 考 書

- 田中洋・清水聰編著『消費者・コミュニケーション戦略』(有斐閣アルマ) 2100円
杉本徹雄『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版) 2730円
清水聰『新しい消費者行動』1999年(千倉書房) 3360円

他
学
部

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 ^{なかの かおり} 香織

講義の到達目標(ねらい) マーケティング・コミュニケーション(MC)とは、企業が自社の製品やサービスについて、消費者に認知させ、購買を促進するために情報を発信する手段のことである。近年は、消費者のメディア接触形態の変化やマス広告の効果減少などを背景に、MCの領域が拡大してきている。そこで、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合型マーケティング・コミュニケーション(IMC)が、今後重要となる。本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト(実務担当者)による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかをIMCを用いて説明する。

- (1~2) MCの全体構造 (3~7) 広告戦略 (8~11) 販売促進戦略 (12) ゲストスピーカー
(13) 商品コミュニケーション戦略 (14) グループワーク (15) 前期のまとめ (16~17)
店舗内コミュニケーション戦略 (18~19) PR戦略 (20~21) パーソナル・コミュニケーション
戦略 (22~23) ダイレクトマーケティング戦略 (24) インタラクティブマーケティング戦略
(25) ゲストスピーカー (26~27) IMC戦略 (28~29) グループワーク (30) まとめ
平常点30%(ワークなど)、中間試験30%、学期末試験40%で評価する。

成績評価の方法

教科書は使わず、レジュメを配布する。

教科書/テキスト

- 教科書は使わず、レジュメを配布する。
亀井昭宏・ルディー和子編『新マーケティング・コミュニケーション戦略論』(日本経済新聞出版社) 2,310円、石崎徹編『わかりやすい広告論』2008年刊(八千代出版) 2,835円、亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊(日本経済新聞社) 1,890円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊(電通) 2,100円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論新版』2008年刊(有斐閣) 2,205円

参 考 書

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャネル論
担当者名	青木 ^{あおき} 茂樹 ^{しげき}

講義の到達目標(ねらい)

我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてのインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1) ~4) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル
- 5) ~8) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論
- 9) ~13) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略
- 14) ~18) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略
- 19) ~23) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理
- 24) ~27) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理
- 28) ~30) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポート(またはテスト)の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書/テキスト
参考書

小林哲・南知恵子(2004)『流通・営業戦略』有斐閣アルマ。
日経MJ編(2009)『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック、〈2010年版〉』日本経済新聞社。
Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) Marketing Channels, The Prentice Hall, 978-0130127723。

他
学
部
目

履修コード	164601
科目名	医療宗教学
担当者名	吉津 ^{よしづ} 宜英 ^{よひひで}

講義の到達目標(ねらい)

この科目は将来皆さんが医療の現場に出お仕事をされる時、患者さんと接する場合に役立つことを目的にしています。科目名が「医療宗教学」となっていますが、宗教学を講義するつもりはありません。それは「仏教と人間」という宗教教育科目で学んでもらいたいと思います。私はむしろ「医療人間学」というぐらいの科目名で考えてもらいたいと思います。ただ皆さんが受講する「臨床医療人間学」2科目とダブらないように注意します。医療人としての皆さんは様々な患者さんに出会うことでしょう。医療技術には自信があっても、人間的には好悪の感情は否定できないし、大いにストレスを感じることでしょう。どんなに嫌いな人であっても、誠意をもって治療に当たらなくてはなりません。そのためには皆さんの人間性においてどんな人にも柔軟に対処できる姿勢が形成されていなくてはいけないと思います。この科目は様々な宗教的、また哲学的な人間観を示して、その参考に供したいと思います。ある一定の自分の人間観を持つと共に、いろいろな人々の人間観を認めることのできる医療者になったほしいのです。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回目は全体的なガイダンスです。医療、特に病院の人間関係を考え、今年はストレスにいかに対処するかを考察します。拙著『やさしさの仏教』をベースにして、いかげんではなく、良い加減の生活のあり方を模索します。自己を考えます(2,3回目)。人間を考えます(4,5,6回目)。社会を考えます(7,8,9回目)。人生を考えます(10,11,12回目)。まとめとテストを行います(13,14,15回目)。内容の順序に替りはありませんが、回数については延長、短縮が有り得ることを了解して下さい。

準備学習
履修上の留意点

特にありません。
この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。4回ほど課題提出をお願いします。最後に試験を行います。その結果を総合して成績評価を出します。

教科書/テキスト
参考書
その他

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。
講義の中で随時紹介します。
私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	まつもと かずとし 松元 和敏

講義の到達目標(ねらい)

医療経済学(Healthcare Economics): 近年医療に求められているものとして、医療技術、医療安全、医療感染対策、そして医療経済などがある。特に医療経済学は、医療のこれからの方向に重大な影響を与えるため、経済学の知識は益々必要とされる。主に、医療費や医療の受給関係、費用対効果、医療経済評価、医療制度などが対象である。当講義では、基礎的な知識を基に現在の医療問題点を紹介しながら医療経済学を理解していただく。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、テキストと資料を併用して行なう。資料は医療経済に関する最新の論文、行政公布書類等を使用する

1. 医療用語説明 1～2
2. 医療経済学を理解するために 3～4
3. 医療経済学の経済学的基礎 5
4. 医療経済学とはなにか 6
5. 医療と最新の経済学 7～8
6. 医療の仕組みを経済学で分析する 9～10
7. 医療のプレーヤーとその行動 11
8. 米国の医療制度を考える 12
9. 日本の医療制度を考える 13～15

準備学習

医療に関する新聞記事を多く読んで参加して頂きたい。

履修上の留意点

実践に即した内容にするために参加型の授業を目指し、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、レポート、試験

教科書/テキスト

真野俊樹著「入門 医療経済学」(中公新書)、820円

参考書

- ① 医療の質 用語事典 「日本規格協会」 3000円
- ② 図説 国民衛生の動向2008 「厚生統計協会」 1600円
- ③ 宇沢弘文 「社会的共通資本」 岩波新書 819円

その他

厚生労働省、日本病院会、日本医師会

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	324001
科目名	日本法制史
担当者名	しげの たかはる 茂野 隆晴

講義の到達目標(ねらい)

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近にある史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であるといいてよい。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代) I
3. 上古(氏族法時代) II
4. 中古(律令法時代) I
5. 中古(律令法時代) II
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) I
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) II
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 I
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 II
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 III
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編 I
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編 II
13. 近代(含む幕末) I
14. 近代(含む幕末) II
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

履修上の留意点

上記は1. と15. を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当ててを目安としています。

成績評価の方法

学期末試験と平常点としての出席状況を総合して評価す。

教科書/テキスト

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選 - 史資料へのいざない -』1998年刊(芦書房)

2,300円

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	たかほし ひろき 高橋 洋城

講義の到達目標(ねらい)

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだというのを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される(東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない)。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第I部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想:『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想:アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想(続):正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法:ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論:トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第II部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想:『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想:『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想:『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第III部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想:18世紀~19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向:歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心としたプリントに説明を加える形式で講義を進める。受講者はプリントを駒澤大学 e-ラーニングページ YeStudy からダウンロードして持参すること、さらに毎回の該当箇所を事前に読んで上で講義に臨むことが要求される。YeStudy については、下記「関連リンク」を参照のこと。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる(定期試験のみを受験するのでもかまわないということ)。

教科書/テキスト

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参 考 書

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』(青林書院) 4,854円:講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎(編)『よくわかる法哲学・法思想』(ミネルヴァ書房 2,730円); 田中成明他編『法思想史』(有斐閣 S シリーズ 1,800円):法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

関連リンク

<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 恵美 <small>みふね えみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

【前期】第1～2回：国際関係を学ぶ視座、第3回：多様化するアクター、第4回：国益とパワー、第5回：日本の領域と国際関係、第6回：安全保障（1）安全保障の概念と類型、第7回：勢力均衡とバンドワゴン、第8回：覇権安定論、第9回：リベラリズムの考え方、第10回：ネオ・リベラリズムの考え方、第11回：ゲーム理論と国際関係、第12回：コンストラクティヴィズム、第13回：南北問題と構造的暴力、第14回：平和学の誕生と展開、第15回：中間試験

【後期】第1回：安全保障（2）人道的介入、第2回：安全保障（3）大量破壊兵器の拡散、第3回：安全保障（4）テロリズム、第4回：東アジア共同体の構想とその課題、第5回：「人間の安全保障」と人権、第6回：難民保護とUNHCR、第7回：地球環境レジームの形成、第8回：米中関係と日本、第9回：インドの台頭と米印中関係、第10回：ASEANと日本外交、第11回：日本のエネルギー戦略と中国・インド・米国との関係、第12～13回：総括北朝鮮をめぐる六者協議、第14～15回：総括

履修上の留意点

就活や部活で欠席した人を特別扱いません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

試験（前期30％＋後期70％）。
前期：山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
後期：天児慧・三船恵美編『強大国化する中国の外交戦略』（仮題）2010年刊行。
（書籍名が未確定なので、教科書販売所で確認して下さい）

参 考 書

授業中に紹介します。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと学期末試験により評価される。

教科書／テキスト

徳田和幸『ブレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7

参 考 書

- ①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、第2版、2009年）¥6,615 978-4-641-13544-4
- ②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野真己・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
- ③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
- ④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

履修コード	334001
科目名	国際会計論
担当者名	河合 由佳理

講義の到達目標(ねらい)

従来、各国の会計制度はそれぞれの環境要因の制約を受け発展したため、会計に求められる役割・機能は異なっていました。しかし、経済活動の国際化を背景に近年、会計の分野でも国際的な統一に向けた動向が世界的に注目されています。

そこで、本講義では①各国における会計制度の理解、②会計基準のコンバージェンス(収斂)及びアドプション(採用)に対する各国の対応の把握、③具体的な会計基準の検討を行うことにより、国際会計を巡る現状と課題を考察します。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回:国際会計とは、第2回:会計制度の種類、第3~4回:日本の会計、第5~6回:アメリカの会計、第7回:イギリスの会計、第8~9回:国際会計を取り巻く環境、第10~13回:国際財務報告基準に対する各国の対応、第14回:前半部分の総括、第15回:中間試験、第16~25回:会計基準のコンバージェンスとその影響、第26~29回:会計を巡る国際的課題、第30回:全体の総括

履修上の留意点

基本的な簿記の知識を有すると授業の理解に役立ちます。また、状況の変化が激しい分野なので常に新聞等で最新の情報を確認する習慣をつけるようにしてください。

成績評価の方法

中間試験(4割)、学期末試験(4割)と出席状況等(2割)を基本に評価します。

教科書/テキスト

教科書の指定はありません。

参 考 書

佐藤信彦『国際会計基準制度化論【第2版】』白桃書房、3,500円、978-4-561-36171-8

杉本徳栄『国際会計[改訂版]』同文館出版、2,000円、978-4-495-18572-5

若杉明『会計制度の国際比較』中央経済社、3,900円、4-502-12593-8

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	西岡 洋子

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション(個人、グループ、マスのレベル)があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容/
授業スケジュール

1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション(企業の例を中心にして)
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション(噂とクチコミ)
4. マス・コミュニケーション
マス・メディアの変貌
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション(広告、PR)
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

履修上の留意点

社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つようになることが欲しい。

成績評価の方法

テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。

教科書/テキスト

船津 衛『コミュニケーション・入門』有斐閣アルマ、1996年、1,785円、

ISBN 9784641120198

参 考 書

田中 洋、清水 聡『消費者・コミュニケーション戦略』2006年、2,205円、ISBN 4-641-12274-

講義中に指示する。

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論 I
担当者名	福家 ^{ふけ} 秀紀 ^{ひでのり}

講義の到達目標(ねらい)	インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ
準備学習	レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講して下さい。なお、授業時にはレジュメのコピーを配布しません。各自でダウンロードして、授業時間に持参して下さい。
履修上の留意点	情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。
成績評価の方法	各授業時間終了時に作成する講義概要、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	特に指定しません。 <ul style="list-style-type: none"> ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4 ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7 ・その他講義の中で適宜紹介します。
そ の 他	レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

他
履
修
科
目
部

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	菅谷 実 <small>すがや みのる</small>

講義の到達目標(ねらい)

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容／
授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営

企業経営とは

企業活動にとっての情報基盤の重要性

クローズネットワークとオープンネットワーク

2. 企業組織とネットワーク

企業組織

組織コミュニケーション

3. ネットワーク産業の特質

ネットワーク産業の構造

ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度

物流と情報流を支える流通ネットワーク

郵便サービス

郵便局

民営化

情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

5. 交通ネットワーク

貨物輸送

国内旅客輸送

国際輸送

6. 放送ネットワーク

放送ネットワーク種別

放送規制

テレビ放送ネットワークの発展

7. 通信ネットワーク

通信事業者の種別

通信ネットワークの構造

制度の変容

8. インターネット

発展の歴史

ブロードバンドネットワーク

ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合

10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

講義には毎回出席してください

平常点と期末テスト

特に指定しない。

初回講義時に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

他
学
部
目

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	西岡 ^{にしおか} 洋子 ^{ようこ}

講義の到達目標(ねらい)	放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU 主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 本講義のアプローチ (2) 世界の放送の歴史と国際競争 (3) 日本の放送制度 (4) 米国の放送制度 (5) EU 主要国の放送制度 (6) 韓国の放送制度 (7) 中国の放送制度 (8) まとめ
準備学習	「メディア政策論」または、同様の科目の履修によって日本の放送制度について整理しておくことが望ましい。
履修上の留意点	メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
成績評価の方法	テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
教科書／テキスト	講義中に指示する。
参考書	講義中に指示する。

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	川崎 ^{かわさき} 賢一 ^{けんいち}

講義の到達目標(ねらい)	現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。
講義の内容／授業スケジュール	文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。 (スケジュール) 1. イントロダクション 2. 文化政策とは何か? その期限と展開の概略 3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー 4. 文化階層と文化政策 5. 文化政策の3タイプ: アメリカ型 6. 文化政策の3タイプ: アジア型 (シンガポールと中国 (その1)) 7. 文化政策の3タイプ: アジア型 (シンガポールと中国 (その2)) 8. 文化政策の3タイプ: 中間型 (イギリス) 9. 文化政策の3タイプ: (中間型 (フランスとイタリア)) 10. 文化政策の3タイプ: 中間型 (他のヨーロッパ諸国) 11. 文化政策の3タイプ: 中間型 (日本) 12. 文化政策と国際文化交流 13. 文化政策と文化産業のシナジー 14. 文化政策の限界と可能性 15. まとめ
履修上の留意点	授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。
成績評価の方法	学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。
教科書／テキスト	授業の中で指示する。
参考書	川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年 佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2009年

他
修
科
目
部

履修コード	432701
科目名	グローバル創造都市論
担当者名	<small>かわさき けんいち</small> 川崎 賢一

講義の到達目標(ねらい)

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市 (Creative Cities) ないし創造産業 (Creative Industries) である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例 (ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など) を例にとり、紹介・説明する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EU と ASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年

J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	石川 憲洋 <small>いしかわ のりひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- 第2回 知的財産権の保護に関する政策と技術 (1. 知的財産戦略)
- 第3回 知的財産権の保護に関する政策と技術 (2. 著作権制度)
- 第4回 知的財産権の保護に関する政策と技術 (3. 著作権保護技術)
- 第5回 知的財産権の保護に関する政策と技術 (4. 産業財産権の保護と課題)
- 第6回 知的財産権の保護に関する政策と技術 (5. 営業秘密の保護と課題)
- 第7回 情報セキュリティに関する政策と技術 (1. 個人情報保護政策)
- 第8回 情報セキュリティに関する政策と技術 (2. 情報セキュリティ政策)
- 第9回 情報セキュリティに関する政策と技術 (3. 情報セキュリティ・マネジメント)
- 第10回 情報セキュリティに関する政策と技術 (4. 暗号技術)
- 第11回 情報セキュリティに関する政策と技術 (5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用)
- 第12回 グローバル環境における情報保護の課題 (1. 国際機関の果たす役割)
- 第13回 グローバル環境における情報保護の課題 (2. 有害情報からの児童の保護)
- 第14回 グローバル環境における情報保護の課題 (3. 情報保護の新たな展望)
- 第15回 まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

特になし
情報リテラシー及び実習を履修済みであること。
次の2項目を総合して評価する。
1. 出席回数
2. 期末試験の成績
出席回数不足すると単位が取得できないので注意すること。

教科書／テキスト
参 考 書

授業の中で教科書を紹介する予定。
授業の中で参考書、ホームページ等を紹介する。

他
履
修
科
目

履修コード	435011
科目名	映像産業論
担当者名	テツカ ヨシハル <small>てつか よしはる</small>

講義の到達目標(ねらい) グローバリゼーションとは何か？経済のグローバル化は、日本の映像文化にどのような帰結をもたらしたのか？

講義の内容／
授業スケジュール

映像コンテンツ産業の象徴的中核である映画産業のグローバル化の歴史をたどり、アメリカ大衆文化の世界的拡大とそれに伴う文化の画一化ならびに多様化の問題を検証します。19世紀末の映画伝来以来、日本の映画産業と文化は、いかに近代化、欧米化、グローバル化してきたのかを解き明かし、現代日本の文化状況を批判的に検証する教養を身につけます。

アドルノ／ホーケイマーの「文化産業」論、ウォルター・ベンヤミンの「複製技術時代の芸術」論、シラーの「文化帝国主義批判」理論、アンソニー・ギデンズの「グローバリゼーション」理論等、メディア&カルチュラル・スタディーズ(メディア文化研究)の基本文献を紹介し、戦後から現在までの日本映画産業史を情報化・グローバル化の文脈において分析します。

準備学習
履修上の留意点

前期に「表象メディア論」を履修していることが望ましい。
現代思想や文化・社会理論に興味があり、社会科学の基礎をある程度すでに学んでいることが望ましい。

成績評価の方法
参 考 書

授業貢献度、毎週の小課題、中間および期末レポートの結果で総合的に評価する。
デビッド・ヘルド編「グローバル化とは何か」法律文化社(2004)
ジョン・トムリンソン著、「グローバリゼーション：文化帝国主義を超えて」(2000) 青土社
グレアム・ターナー著、金智子他訳、『カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展』(1999) 作品社

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	<small>さいとう のぶお</small> 斎藤 信男

講義の到達目標(ねらい)

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築(オントロジ)、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容/
授業スケジュール

以下の具体的な項目を学んでいく。

- (1) この講義の目的
 - (2-4) 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
 - (5-7) 論理と推論 命題論理、述語論理の基礎、推論の意味
 - (8-10) セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語RDF(Resource Description Framework)について、その概要を学び、具体例を作成して見る。
 - (11-12) オントロジとその記述言語OWLについて、その概要を学び、具体例を考察する。
 - (13-14) RDFに対する検索言語SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。また、セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
 - (15) まとめ、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。特に指定しない。
- 講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

履他
修学
科目
部

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

Ⅲ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230511・230512
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150時間～300時間程度の学生が、初級文法の中で大切なポイントとなる文法の整理をし、運用できるようになる。また、語彙、漢字の知識を増やす。
講義の内容／授業スケジュール	短い文章を読みながら、文法、語彙、漢字の学習をする。第1回：レベルチェック、第2～4回：自動詞・他動詞、比較など、第5～7回：原因・理由、目的、受身など、第8回：中間テスト、第9～10回：手段・方法、敬語など、第11～14回：例を示す、助詞、接続詞、副詞など、第15回：期末テスト
準備学習	毎回、その日に学習したことに関する宿題(復習)と、予習課題を出します。また、毎回、文法・漢字・ことばの小テストをするので、指定された範囲を学習して授業に参加してください。
履修上の留意点	◆非漢字圏の学生で、初級レベルの文法の学習を必要とする学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(出席率・授業への参加度・小テスト・提出物)50%、中間テスト・期末テスト50%を基本に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク その他、プリント教材を使用する。
その他	辞書を持ってくること。

履修コード	230521・230522
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生が、初級文法の中で大切なポイントとなる文法の整理をし、運用できるようになる。また、語彙、漢字の知識を増やす。
講義の内容／授業スケジュール	「日本語入門Ⅰa」の続きとして講義を行う。短い文章を読みながら文法、語彙、漢字の学習をする。第1回：レベルチェック、第2～4回：例を表す、たとえるなど、第5～7回：伝聞表現、「もの」と「こと」、名詞修飾など、第8回：中間テスト、第9～10回：使役、受身、使役受身など、第11～14回：「～べき」、「～はず」、「～わけ」、「こ・そ・あ」など、第15回：期末テスト
準備学習	毎回、その日に学習したことに関する宿題(復習)と、予習課題を出します。また、毎回、文法・漢字・ことばの小テストをするので、指定された範囲を学習して授業に参加してください。
履修上の留意点	◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅰa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。 ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(出席率・授業への参加度・小テスト・提出物)50%、中間テスト・期末テスト50%を基本に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク その他、プリント教材を使用する。
その他	辞書を持ってくること。

履修コード	230531・230532
科目名	日本語入門Ⅱ a
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生を対象とし、「日本語入門Ⅱa」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	「日本語入門Ⅱa」で学習したことと関連のある資料を読んだり、聞いたり、作文を書いたりする。また、自分の好きなトピックによるスピーチとプレゼンテーション（発表）を行う。 ◆非漢字圏の学生で、初級レベルの文法の学習を必要とする学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅱa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）30%、作文・発表40%、期末テスト30%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230541・230542
科目名	日本語入門Ⅱ b
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	「日本語入門Ⅱb」で学習したことと関連のある資料を読んだり、聞いたり、作文を書いたりする。また、簡単な調査を実施し、結果をクラスで発表する。 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とする。 ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅱb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と30%と、作文・発表40%、期末試験30%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

「日本語
事情」

履修コード	230611・230612
科目名	日本語Ⅰ a
担当者名	佐野 典子

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。 15回の授業で4作品を取り上げる予定。 授業の初めに、語彙リストを配布する。新出語の説明後、映画の一部分（毎回30分くらい）を見る。その後、登場人物の会話を把握する。理解問題シートに、書き取り、提出する。 最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631・230632
科目名	日本語Ⅰa
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい) 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容／授業スケジュール 日本語Ⅰaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高める。それらの使われたニュースを見る、文章を読む、習った言葉を使って作文を書く、などを通して、よりしっかり理解し豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点(小テスト・提出物・授業への参加度)、期末試験から総合的に評価する。

教科書／テキスト プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230621・230622
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	佐野 典子

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。15回の授業で、4作品を取り上げる予定。授業の初めに、語彙リストを配布する。新出語の説明後、映画の一部分(毎回30分くらい)を見る。その後、登場人物の会話を把握する。理解問題シートに書き取り、提出する。最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230641・230642
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい) 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容／授業スケジュール 日本語Ⅰaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高める。それらの使われたニュースを見る、文章を読む、習った言葉を使って作文を書く、などを通して、よりしっかり理解し豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点(小テスト・提出物・授業への参加度)、期末試験から総合的に評価する。

教科書／テキスト プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230711・230712
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	佐野 典子

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。15回の授業で、連続ドラマ2作品を取り上げる予定。授業の始めに語彙リストで、新出語を確認し、その後ドラマを見ながら、登場人物の台詞を把握し、理解問題シートに書き取る。授業の終わりに理解問題シートを提出する。最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230721・230722
科目名	日本語Ⅱ a
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。 紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。 ほかの人の話すことを聞いて、内容・感想・意見などを限られた時間内に文章に書く練習もする。 テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・読み方等の練習をする。 そのつど指示する。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	授業活動が大切なので出席して授業に積極的に参加することが条件。 平常点(出席、授業への参加度、提出物など)を最重視する。 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230811・230812
科目名	日本語Ⅱ b
担当者名	佐野 典子

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。 15回の授業で、連続ドラマ2作品を取り上げる予定。 授業の初めに語彙リストで、新出語彙を確認し、その後ドラマを見ながら、登場人物の台詞を把握し、理解問題シートに書き取る。授業の終わりに、理解問題シートを提出する。 最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。 教材は、担当者が用意する。
履修上の留意点 成績評価の方法	成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230821・230822
科目名	日本語Ⅱ b
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容／ 授業スケジュール	論理的に話したり書いたりする練習をする。 まず、意見表明や提言のスピーチをする。 スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に自分の意見とその根拠を文章にまとめる。 ディベートを行う。 テープで、自分が話した日本語を聞く。 そのつど指示する。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	授業活動が大切なので出席して、積極的に授業に参加することが条件。 平常点(出席、授業への参加度、提出物など)を重視する。 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230911・230912
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子

講義の到達目標(ねらい)	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 まず、内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。次に、話し言葉と書き言葉の違いを知り、使い分けて書くことによってレポートを書く練習の第一歩とする。
講義の内容／授業スケジュール	ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける話し方に慣れ、日本人が普通に話すスピードにも慣れる。 語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習をする。
準備学習 成績評価の方法 教科書／テキスト	間違いを訂正したり、より適切な表現を考えたりしながら、日本語文法の復習、助詞の使い分け、意味の似た言葉の使い分けなどを学習する。 渡された語彙表の言葉の意味を調べておく。 毎時間の活動（聞き取る、書く、書いた文章の訂正、文法等の練習）などを中心に評価する。 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230921・230922
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	湯村 ^{ゆむら れいこ} 礼子

講義の到達目標(ねらい)	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容／授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動 50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	最初の授業時に指定する。

「日本語
日本事情」

履修コード	231011・231012
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子

講義の到達目標(ねらい)	聞き取ることを書くことを中心に日本語の総合的能力を強化する。 前期をふまえ、さらに聞きとりの強化をする。 書き言葉でしっかりと文章が正しく書けることを目指す。
講義の内容／授業スケジュール	ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。 聞き取った内容等をまとめて書く。その際、文章の構成、数字、グラフ・表、人の言葉の引用の仕方、記号・符号の使い方なども学び、レポートの書き方の練習をする。
準備学習 成績評価の方法 教科書／テキスト	語彙表の言葉を調べておく。 毎時間の活動（聞き取る、その内容を書く、書いた文章の訂正、練習など）を中心に評価する。 ビデオを準備して、必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231021・231022
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	日本語Ⅲ aの続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	Ⅲ aと同様に教材を調べながら読み進めるが、Ⅲ bでは担当を決め、調査して発表してもらう。担当者は教材を辞典や事典、他の資料を使って調べて理解し、分かりやすく説明する事がもてめられる。発表後には、意見を出し合い討論をして、さらに、認識を深め、最後に小レポートを提出する。一学期中に十の題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動 50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	最初の授業時に指定する。

履修コード	231111・231112
科目名	日本語Ⅳ a
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、日本語で表現する（書く・話す）力の向上を目指す。論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	自己PRする、体験したことを報告する、新聞やテレビ等を通じて知った出来事に対して自分の意見を述べる、他の人の書いた文章を読んで感想を述べる、など。 フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。 講義はペアワークやグループワークを取り入れて進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト その 他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231121・231122
科目名	日本語Ⅳ a
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 (1～5)文章の基本—文・段落・構成—(6～10)レポートの方法—主題・材料・アウトライン等—(11～15)レポートの形式—表紙・序論・本論・結論・参考文献—
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231211・231212
科目名	日本語Ⅳ b
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話すこと」を中心に、アカデミック・スキルの向上を目指す。資料を基に、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中からトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで要約したり、日本人学生等にインタビューをしたりする。学期末に、グループ発表を行う。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	出席率、授業への参加度、小テスト、提出物、発表から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
その他の	辞書を持ってくること。

履修コード	231221・231222
科目名	日本語Ⅳ b
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。(1～7)レポートを書く(8～15)意見文の書き方、実践
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	教科書は授業時に指定する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231311・231312
科目名	日本語Ⅴ a
担当者名	石川 守

講義の到達目標(ねらい)	日本語の基礎を築くために基礎文法をやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。
講義の内容／授業スケジュール	日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。
準備学習	準備は特に必要ありません。復習をしっかりやってください。
履修上の留意点	履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。
成績評価の方法	試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒澤大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。
教科書／テキスト	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書	辞書を持ってきてください。
その他の	受講態度を重視しています。

履修コード	231321・231322
科目名	日本語Ⅴa
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい) 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。
特に今、日本の社会を中心に話題になっていることを知り、ニュース記事を読んだり説明したり自分の意見を述べたりする力をつける。

講義の内容／
授業スケジュール 各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。
見出しから内容を推測したり、わかる言葉から大体の内容を推測してみる。さらに自分で調べながら細部まで読みとり、全体を把握する。
読んだ内容について説明したり、自分の意見を言ったり、自分の考えや根拠を文章にまとめる。

成績評価の方法
教科書／テキスト 平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。
プリント配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231411・231412
科目名	日本語Ⅴb
担当者名	石川 守

講義の到達目標(ねらい) 日本語の基礎文法について前期のⅤaにひきつづいてやっていきます。基礎文法に自信のない人や基礎をしっかりしたい人におすすめです。
日本語Ⅴaの続きをやっていきます。

講義の内容／
授業スケジュール 準備は特に必要ではありませんが、習ったことをしっかり復習してください。
準備学習
履修上の留意点 日本語Ⅴaに準じますので、そちらを参照してください。
成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒澤大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書／テキスト 特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参 考 書 辞書を持ってきて下さい。
そ の 他 受講態度を重視しています。

履修コード	231421・231422
科目名	日本語Ⅴb
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい) 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高める。
今、話題になっている時事的問題について読んで内容をつかむ力を養う。
それらに関して話す、書くことによって、日本語で説明したり自分の考えを述べる力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法
教科書／テキスト 平常点(小テスト・発表・提出物・授業への参加度)を重視する。期末テストも行う。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231511・231512
科目名	日本語Ⅵ a
担当者名	いしかわ まもろ 石川 守

講義の到達目標(ねらい)	日本語の中上級文型を話し意味、用法を中心に、言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやっていきます。
講義の内容／授業スケジュール	授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっていきたいと思っています。スケジュールはテキストの初めから順次やっていきたいと思っています。
準備学習	テキストを読んできてください。また、復習のほうが大事なので、しっかりやったことを覚えてください。
履修上の留意点	履修者数の制限をする場合があります。必ず最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めないことがありますので、ご注意ください。
成績評価の方法	試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒澤大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。
教科書／テキスト	使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。
参考書	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

履修コード	231521・231522
科目名	日本語Ⅵ a
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に、現代の日本人の考え方にふれる。
講義の内容／授業スケジュール	雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。 現在よく使われているカタカナ語、慣用句など語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自辞書やネットで調べて確認しながら、細部まで理解して読む。
成績評価の方法	平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書／テキスト	プリントを配布する。 辞書を持ってくること。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231611・231612
科目名	日本語Ⅵ b
担当者名	いしかわ まもろ 石川 守

講義の到達目標(ねらい)	日本語Ⅵaの続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語Ⅵaを参照してください。
講義の内容／授業スケジュール	日本語Ⅵaの続きをやっていくため、日本語Ⅵaを参照してください。
準備学習	事前にテキストを読んできてください。予習よりは復習が大事なので、しっかり復習をしてください。
履修上の留意点	履修者数の制限をする場合があります。必ず最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。ご注意ください。
成績評価の方法	試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒澤大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。
教科書／テキスト	授業中にテキストのプリントを配ります。
参考書	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

履修コード	231621・231622
科目名	日本語Ⅶ b
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容／授業スケジュール	ビジネス雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。 今、社会でよく使われているカタカナ語、慣用句など語句の意味や使い方を学ぶ。 漢字の読み、文法事項等についても復習し確認しながら細部まで理解して読んでいく。 記事の内容について自分の感想や意見を述べる。
成績評価の方法	平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書／テキスト	プリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231701・231702
科目名	日本事情Ⅰ〔地理〕
担当者名	高橋 健太郎

講義の到達目標(ねらい) 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：オリエンテーション、第2回：日本の行政区分、第3～4回：日本の文化や生活の地域性、第5～8回：各都道府県の地理的特徴(班別の発表)、第9回：校外見学、第10～12回：東京大都市圏の特徴と変容、第13回：校外見学、第14～15回：日本の農山村地域の特徴と変容。

準備学習履修上の留意点 班別の発表に際しては、事前の資料収集と発表準備が必要である。

成績評価の方法 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、校外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

毎回教場で作成する小レポート、授業中の討論への参加状況、班別の発表の内容、校外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。なお、この授業は1年次から履修可能であることから、成績評価の際、就職活動を理由とする長期欠席は考慮しない。

履修コード	231801・231802
科目名	日本事情Ⅱ〔自然〕
担当者名	清水 善和

講義の到達目標(ねらい) 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせ、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。

講義の内容／授業スケジュール 1章：位置(国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回)、2章：気候(気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回)、3章：地質・地形(弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回)、4章：生物(植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回)、5章：自然保護(レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回)

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

教科書／テキスト 講義内容を文章化した「web版テキスト(日本語版と英語版)」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。

その他 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト(English version)」を用意する。

履修コード	231901・231902
科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕
担当者名	浅倉 直美

講義の到達目標(ねらい) 日本の歴史のなかでも、とくに14世紀から17世紀中頃までを中心に講義し、世界の中の日本について考えることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1)世界の中の日本、(2)室町幕府の成立、(3)室町幕府の衰退と庶民の台頭、(4)東アジアとの交易、(5)室町文化、(6)戦国大名の登場、(7)都市の発展と町衆、(8)南蛮貿易とキリスト教、(9)織田信長の統一事業、(10)豊臣秀吉の天下統一、(11)桃山文化、(12)江戸幕府の成立、(13)江戸初期の外交と鎖国、(14)江戸文化、(15)京都と江戸

成績評価の方法 小レポート(適宜、授業時間内に行う)および出席点

教科書／テキスト 特に教科書は指定せず、必要に応じてプリントを配布する。

参考書 授業のなかで紹介します。

履修コード	232001・232002
科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義の到達目標(ねらい)	明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。新しい時代を迎えて、日本社会はどう変わったのでしょうか。その時、人々は何を考え、どのようにして「新しい日本」を作りだそうとしたのでしょうか。現代日本の出発点となるこの時期の社会と思想を学ぶことにより、日本に対する理解を深めていきたいと思います。 なお授業を理解する上では、常識程度の日本史の知識が必要となります。よって、中学生レベルの日本史についても授業では学ぶことにします。
講義の内容／授業スケジュール	ガイダンス(1)、幕末の社会と思想(2～4)、福沢諭吉(5～7)、東京オリンピックと戦後日本(8～9)、学外研修を含む)、啓蒙思想(10～11)、自由民権の思想(12～13)、社会主義思想(14～15)。
準備学習	授業で扱う時代の日本史について、事前に概略を把握しておいた方が理解しやすくなります。また小テストの準備も兼ねて、授業の復習は欠かせないでください。
履修上の留意点	毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席・遅刻が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。もし授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点を確認してください。
成績評価の方法	毎回、授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席・遅刻の場合、点数は与えられません。
教科書／テキスト	特に指定しません。
参考書	授業時に適宜、紹介します。
その他	講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232101・232102
科目名	日本事情Ⅴ〔社会〕
担当者名	李 妍炎

講義の到達目標(ねらい)	日本事情Ⅴは、日本社会の基本的な特徴について、既存研究の成果を踏まえた上で簡潔に把握してもらおうと同時に、近年の日本社会の動向および問題点について、理解を深めてもらうことを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	講義の前半は、日本社会の基本的特徴について、既存研究で紹介された資料、データをもとに解説し、受講生にも、関連のある留學生活の経験を語ってもらう。後半は、近年の日本社会の動向および問題点を中心に、映像データを多用しながら受講生に理解を深めてもらう。 1. ガイダンスと受講生の要望に関するアンケート(第1回) 2. データから見る日本社会の基本的特徴(第2回から第5回) 3. 日本人論の紹介(第6回、第7回) 4. 近年の動向と社会問題(第8回から第12回) 5. 授業で得たものを語り合おう(ワークショップの技法を用いた討論会)(第13回から第15回)
履修上の留意点	受講生には、意識的に日本語で書く、話す力を伸ばすように心がけてほしい。最終レポートを、ネット情報の切り貼りで作成する人に対しては、検討の余地なしで不合格とする。
成績評価の方法	平常点40%(出席と授業の後のリアクションペーパーで評価)、最終レポート60%。
参考書	NHK放送文化研究所編、2004、『現代日本人の意識構造』(第六版)NHKブックス 船曳建夫、2003、『日本人論再考』、日本放送出版協会。
その他	授業はすべて日本語で行うが、メールで中国語と英語による質問も受け付ける。最終レポートは、英語で作成してもかまわない(中国語は不可)。

履修コード	232201・232202
科目名	日本事情Ⅵ〔政治・法律〕
担当者名	三竹 直哉

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点

日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。

授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法

平常点と期末テストによります。

教科書/テキスト
その他

指定する予定はありません。

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.
最新の情報は YeStudy で確認してください。

履修コード	232301・232302
科目名	日本事情Ⅶ〔文学〕
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(ねらい)

2009年5月、書き下ろしとして新潮社から刊行され、2009年11月に第63回「毎日出版文化賞文学・芸術部門」を受賞した、村上春樹の『1 Q 8 4』(第1部・第2部)を通読する。

それと並行して、村上春樹が「もしフィッツジェラルドに巡り合わなかったなら、僕は今とは全く違った小説を書いていただろう。それだけは確かだ。」と明言している、アメリカ人作家スコット・フィッツジェラルドの『The Great Gatsby』にも目を通す。

この日米2人の作家を通して、見えてくるものは何か…「村上ワールド」理解の助けになるだろう。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) オリエンテーション(村上春樹とフィッツジェラルド)、(2～3) The Great Gatsby (4～5) Absolution、(6～9) 1 Q 8 4 第1部、(10～13) 1 Q 8 4 第2部、(14～15) まとめ

履修上の留意点

何ごとも最初が肝心。第1回のオリエンテーションに欠席することのないように。まずは自己紹介から始め、受講者の日本語運用能力を確認する。

個人的な連絡は、Active Mailでのやり取りとし、受講者全員に関する指示は YeStudy 上で行うので、メールチェック等、怠らないこと。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価(90%)を中心に、受講姿勢(出席状況・関心の度合等々、10%)を加えて評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

必要に応じて適宜プリントを配布する。
授業内で紹介する。

履修コード	232401・232402
科目名	日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義の到達目標(ねらい)	「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの(食文化など)を例にあげながら学んでいきたいと思います。 なお授業を理解する上では、常識程度の日本史の知識が必要となります。よって、授業では中学生レベルの日本史についても学ぶことにします。
講義の内容／授業スケジュール	オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。学外研修を一度実施する予定です。
準備学習	授業で扱う時代の日本史について、事前に概略を把握しておいた方が理解しやすくなります。また小テストの準備も兼ねて、授業の復習は欠かさないでください。
履修上の留意点	毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席・遅刻が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。
成績評価の方法	毎回、授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席・遅刻の場合、点数は与えられません。
教科書／テキスト	特に指定しません。
参考書	授業時に適宜、紹介します。
その他	講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501・232502
科目名	日本事情Ⅸ〔経済〕
担当者名	福原 よしのぶ 好喜

講義の到達目標(ねらい)	特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況(デフレスパイラル)へと突入して行く。どうしたら良いのか? やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。
講義の内容／授業スケジュール	拙著『総理、お間違えではありませんか?—銀八教授内閣への直言—』、『熱血教授心の教育—駒大経済銀八ゼミナール—』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか? 福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Paul Samuelson, Paul Krugman 他のエコノミストの主張にも言及する。(二人の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless)
準備学習	テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。
履修上の留意点	数回のレポートを課す。私語厳禁。
成績評価の方法	出席とペーパーテストで成績評価。
教科書／テキスト	前述の拙著の他、その時々の新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。
その他	受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。内容は経済の話であるが、極力留学生が分かるよう易しい日本語で説明する。発音その他、学生諸君の日本語能力の向上にも意を用いる。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232601・232602
科目名	日本事情Ⅹ〔経営〕
担当者名	<small>わたなべ いづこ</small> 渡辺 伊津子

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、日本企業の経営の現状について理解を深めることをねらいとする。講義の前半(第1回～第10回)では、日本企業の事例を取り上げながら、それらの企業行動が意味するところを経営学の観点から説明する。講義の後半(第11回以降)では、講義中に取り上げたテーマの1つについてレポートを作成し、個人ないしはグループでの発表を行う。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回 ガイダンス 第2回 日本の企業1(業界と企業形態) 第3・4回 日本の企業2(経営の基本的仕組み) 第5・6回 日本の企業3(経営戦略と組織) 第7・8回 日本の企業4(労働と経営管理) 第9・10回 日本の企業5(企業が社会に対して果たす役割) 第11回～ 受講生によるレポートの作成と発表
履修上の留意点	受講者人数にもよるが、毎回の講義で、その日の講義のテーマについてグループで議論し、発表してもらう時間を設ける予定である。積極的な参加を期待する。
成績評価の方法	平常点50%(出席、議論への積極的な参加、レポートの作成、発表内容) 期末テスト50%
教科書/テキスト	守屋貴司・近藤宏一・小沢道紀著(2007)『はじめの一步 経営学』ミネルヴァ書房。 毎回、プリントも配布する。

IV 随意科目

履修コード	016802
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。

履修上の留意点

(1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14~15) 予備 (16~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 予まとめ (29・30) 質疑応答
予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

平常の受講態度と学年末レポートによる。追試はしない。
『経子史要覧』(コピーを配布する)
関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	017102
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義の到達目標(ねらい)

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~2) 民俗学とは (3~5) 民俗学の流れと現在 (6~7) 家族生活と住まい (8~10) 食をめぐる民俗 (11~12) 村と町の成立 (13~15) 若者と一人前 (16~18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19~21) 女性・子ども・老人の民俗 (22~24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25~27) 里と海・山のなりわい (28~29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点
成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書/テキスト

谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

随意科目

履修コード	017202
科目名	編集実務
担当者名	長谷川 孝 <small>はせがわ たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

編集とは、事象や物事から「何か」に気付き、その意味をつかみとり、取捨選択(評価)し、再構成し表現の形を整えて、受け手に引き渡す(伝える)という、一連の過程に自覚的にかかわる作業です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考え、自らの問いを立てるなどの力が、「実務」には求められます。そのための自分なりの「目のつけどころ」(視点)をつくり、批判力・疑問力と評価力(自らの問いを立て、問い返し、自分なりの答えを紡ぎ、再考できる力)を身につけるなど、いわば《知的基礎体力》を養うことが目標です。

また、編集というはたらきは、生活の中で誰もが日常的に行っていることです。ですから、それを自覚的(意識的)に適用してみることで、「編集力」や情報へのリテラシーの力を育て、情報が氾濫する情報化(渦・禍)の社会で、情報を主体的に読み取り選択して活用できるようになることを目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、「編集という仕事」について考えます。

前期は、①編集作業の流れや関係の知識・技能の概略、②編集の意味や企画の役割、③編集の社会的な役割と責任、④記事の読み比べと取材のあり方、⑤視点のあり方や形成、⑥表現や添削の姿勢と責任——などを、編集論的に取り上げます。

後期は、①編集の姿勢とマインド、②データやテキストの読みとり方とその役割、モチーフの取り立て方と表現、③原稿の執筆や直し(添削)の実際、④見出しやリードの意味と実際に書いてみること、⑤レイアウトの概要や企画の実際、⑥編集を行う主体性と自律性——などを知識・技能に即して実践的に取り上げます。

生活の中の情報と編集についても、前・後期を通して取り上げます。また、関係する新聞記事の切り抜きなどを、随時、印刷して配布します。

準備学習

なお、現役のライターの来講、編集現場への訪問の機会の設定なども予定しています。

新聞に目を通すこと。できれば、複数の新聞や、テレビのニュース、インターネットの伝え方、その違いにも注目してみてください。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えでの参加を。そこに、多くの編集的な過程(作業)が含まれているので、編集の実践にもなると考えています。

また、授業で「取材」して「自分なりに感じ気づき考えた」こと(意見や異見)を、毎時、短い文章にまとめて提出してもらいます(「イケン文」と呼ぶ)。疑問や批判の提起を大切にします。「イケン文」の提出をもって出席表に代えます。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、「イケン文」など平常の提出物および課題作品(B4版2つ折り4ページの個人紙・誌の制作を予定)によります。

教科書/テキスト
参 考 書

毎時、印刷物を配布します。

適宜、紹介します。

随意科目

履修コード	017302
科目名	書道史
担当者名	那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい)

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期 (1) ガイダンス (文字と書体について)
 (2) 漢字の発生 (甲骨文字の発見)
 (3)(4) 甲骨文字の内容・解読・書風の変遷
 (5)(6)(7) 青銅器の文字、金文について
 の銘文の内容、解読、書風
 (8)(9) 篆書の時代 (始皇帝の文字統一)
 (10)(11)(12) 隸書のはじまり
 (13) 最古の文字の解説書「説文解字」について
 (14)(15) 草書の完成
 (16)(17)(18) 魏晋南北朝時代の文字について
 後期 (19)(20) 隋の統一と楷書の発展
 (21)(22)(23) 唐の書法
 (24) 宋の書法
 (25) 元の書法
 (26) 明の書法
 (27)(28) 清の書法

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
 出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。
 伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社)
 随時紹介する。

履修コード	017802
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい)

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期 平安時代から室町時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ~ (5) 仏教絵画 (6) ~ (8) 絵巻物
 (9) ~ (10) 肖像画 (11) ~ (15) 室町時代の水墨画
 後期 室町末から江戸時代の絵画
 (16) ~ (20) 狩野派 (21) ~ (24) 琳派
 (25) ~ (26) 浮世絵 (27) ~ (28) 南蘋派と洋風画
 (29) ~ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点
成績評価の方法

授業中の私語は厳禁。
 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	017902
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢

講義の到達目標(ねらい)

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1~3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4~5) 民間信仰の性格、(6~10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りとシャーマニズム(巫俗)、(11~15) シャーマニズム(巫俗)の諸相、(16~18) 山岳信仰の性格、(19~23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24~25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26~28) 憑霊信仰の諸相、(29~30) 死霊結婚の習俗

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。
 学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。
 使用しない。
 宮本袈裟雄・谷口貢編『日本の民俗信仰』2009年刊(八千代出版)

履修コード	046602
科目名	日本仏教史
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書／テキスト

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

参 考 書

随時、プリントにて配布します。

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

履修コード	075002
科目名	宗教人類学
担当者名	さとう のりあき 佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土地地の行者、祈禱師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や僧侶の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼(彼女)らは、神霊のみずからの身体に憑入(ひょうにゅう)させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝えるなどの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態(=シャーマニズム)は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 フィールドワーク、第5～7回 宗教文化の基盤、第8～10回 宗教的職能者、第11～13回 宗教と呪術と巫術、第14～16回 生き神信仰の諸相と研究史、第17～21回 神人交流の諸相、第22～26回 生き神信仰と仏教現象、第27～29回 寺院とシャーマニズムとの互惠性、第30回 総括。

履修上の留意点

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト
参 考 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(学術文庫)

授業中に適宜紹介する。

履修コード	232701
科目名	日本宗教文化史
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は(われわれの文化ばかりではありませんが)自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。(現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。)

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事(祭礼や儀式)、寺院行事、また物語、芸能などを題材(ビデオ等使用する予定)として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

第1回:この授業の進め方、第2～3回:日本人の靈魂観について、第4～5回:山岳信仰について、第6～10回:山岳信仰と地獄極楽、第11～15回:浄土信仰と臨終行儀について、第16～20回:来迎会の諸相、第21～25回:補陀洛渡海について、第26～28回:再び山岳信仰について、第29・30回:現代社会と他界

講義の内容/
授業スケジュール

準備学習
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

配布する関連資料に必ず眼を通してください。

年度末レポートおよび出席状況で評価します。

教科書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。

参考書はその都度紹介することにした。

履修コード	232801
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	鈴木 一馨 <small>すずき いっせい</small>

講義の到達目標(ねらい)

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既存宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいかげんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。

この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方と、同時に自分達がどのように民衆宗教と関わっているのかについて説明できる能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

前期: I. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論

1. 「陰陽寮」と「陰陽道」(1～5)、2. 「陰陽」の理論と世界観(6～10)、3. 暦と世界の変化(11～15)

後期: II. 陰陽道と民衆宗教

1. 平安貴族の日常と陰陽道(16～20)、2. 呪術者としての陰陽師(21～25)、3. 民衆宗教としての陰陽道(26～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

期末試験を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点数の加算も行なう。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

教科書/テキスト

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN:4062582449

参考書

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』(嵯峨野書院、2002年)3,150円、ISBN:4782303610
高埜利彦編『民間に生きる宗教者』(吉川弘文館、2000年)2,940円、ISBN:4642065512

随意科目

履修コード	232901
科目名	宗教学概説
担当者名	池上 ^{いけがみ} 良正 ^{よしまさ}

講義の到達目標(ねらい) テーマは「生活の中の宗教」とする。多くの現代人は、「宗教」を自分とは関係ない特殊な分野のように考えている。しかし、近代になって「宗教」と呼ぶようになった現象は、人類の歴史を通して、生活のあらゆる部分に深く根ざしている。この授業では、身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) 全体のオリエンテーション。(4～10) 儀礼と祭り。(11～15) 癒しの文化(16～23) 民俗宗教の世界。(24～30) 異文化の理解。

履修上の留意点 学生参加型の授業とする。受講者は最低1回は発表してもらおう。教職科目であることに配慮し、ブレゼンテーションの方法についても工夫を求める。

成績評価の方法 課題の発表(3割)、出席状況(5割)、授業への熱意(2割)によって評価する。

参 考 書 講義のなかで適宜指示する。

履修コード	233001
科目名	宗教学概説
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}

講義の到達目標(ねらい) 世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し過ぎるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部にも多様性のあることも理解してもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。具体的には、宗教学の基礎(1～3)、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム(4～10)、仏教・現代日本の宗教(11～15)について歴史的背景を紹介する。後期では、宗教学のものの見方を学ぶ。具体的には、聖と俗(16～20)、儀礼と神秘体験(21～25)、宗教の心理的側面と哲学的側面(26～30)をテーマとしてとりあげ概説する。

履修上の留意点 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法 出席、前期レポート(夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書／テキスト なし

参 考 書 授業時に随時紹介する。

随意科目

履修コード	233101
科目名	宗教学概説
担当者名	川上 ^{かわかみ} 新二 ^{しんじ}

講義の到達目標(ねらい) 前期では世界の多くの人々の間に伝播している主要な宗教について、後期では人々に実践されている宗教の一例としてシャーマニズムについて学びながら、宗教学による宗教への接近方法を理解します。

講義の内容／授業スケジュール (1)宗教学とは、(2)「宗教」とは、(3～4)宗教の原初形態、(5)呪術と宗教、(6)ユダヤ教、(7～8)キリスト教、(9)イスラム教、(10)ヒンズー教、(11～12)仏教、(13)道教、(14)儒教、(15)宗教の分類、(16)民俗宗教とシャーマニズム、(17)東アジアのシャーマン、(18)シャーマンと守護霊、(19)憑霊(精霊憑依)、(20～22)韓国のシャーマン、(23～24)韓国のシャーマンの守護霊、(25)韓国のシャーマンの成巫過程、(26～28)日本のシャーマン、(29～30)仏教、キリスト教とシャーマニズム

準備学習 授業後には当日の配布プリント、板書、講義の内容を整理して、まとめておいてください。

成績評価の方法 出席状況と、年2回(夏休み、学期末)のレポートで評価します。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参 考 書 水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院
佐々木宏幹『シャーマニズム』中公新書
池上良正『民俗宗教と救い』淡交社

履修コード	233201
科目名	哲学概説
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。

講義の内容／授業スケジュール 近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新原道』を紹介する。(1～2) 中国の近現代哲学の概観 (3～6) 馮友蘭の生涯 (7～10) 『新理学』概観 (11) 緒論 (12) 孔孟 (13) 楊墨 (14) 名家 (15) 予備 (16) 老荘 (17) 易庸 (18) 漢儒 (19) 玄学 (20) 禅宗 (21) 道学 (22) 新統 (25～27) 新理学の展開 (28～29) 質疑応答 (30) 予備

履修上の留意点 ノートを確実にとる。

成績評価の方法 学年末の試験、もしくはレポートによる。

教科書／テキスト 『新原道』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)

参考書 『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳) 全2冊、平凡社

履修コード	233301
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 哲学は世界や人間についてその原理を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしで何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義はそのような問題を取り上げることにはしたい。

講義の内容／授業スケジュール 古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。前期では、主に、仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教という思想源流にさかのぼる。後期では、人生論の種々のテーマー生きがい、世間、不幸、死などーを取り上げることにする。

履修上の留意点 色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

成績評価の方法 出席数、試験(前期と年度末)、レポートなどによって評価する。

教科書／テキスト 渡邊二郎『自己を見つめる』(左右社) 1,619円

参考書 渡辺二郎『哲学入門』(日本放送出版協会) 1,800円
久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

その他 授業中、種々の資料を配布する。

前期では、現代の思想の源流である、東西の古典的な思想を概説的に講義する。後期では、渡邊二郎の『自己を見つめる』を毎回一章づつ読みながら、感想や疑問を述べ合い、理解を深めることにする。

随意科目

履修コード	233401
科目名	倫理学概説
担当者名	河谷 淳 <small>かわたに あつし</small>

講義の到達目標(ねらい) 「大人であれば他人に危害(迷惑)を及ぼさない限り何を自己決定してもよい」という主張がしばしばなされることがある。だが、このような「他者危害(迷惑)の原則」はそれほど自明なものではなく、これ自体があくまでひとつの倫理的立場であるにすぎない。こうした立場の是非を考えるにあたっては他の倫理的立場と併せて検討する必要がある。

本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、前期は (a) 古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、後期は (b) 応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容／授業スケジュール 序論(1,2)、(A) 西洋倫理思想史：徳倫理学：プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような人か(3～7)、義務論：カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけないのか(8～11)、功利主義：ベンサム、ミル、「最大多数の最大幸福」(12～15)、(B) 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題(生老病死をめぐる倫理)：生命倫理序論(16,17)、インフォームド・コンセントをめぐる問題(18～20)、安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題(21,22)、脳死と臓器移植をめぐる問題(23,24)、クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題(25～28)、まとめ：自己決定権をめぐる問題(29,30)

成績評価の方法 中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

履修コード	233501
科目名	比較思想特講
担当者名	末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい) 本科目は、宗教的視点の講義と哲学的視点の講義を隔年で開講している。今年度は哲学的視点の講義である。

講義の内容／授業スケジュール この講義では、東西の比較しそうに関わる書籍を一冊選び、それを読み込むことで、東洋における哲学の持つ問題を理解してゆく

準備学習成績評価の方法 哲学は、古代ギリシアに生まれた。これに対して、中国・日本には生まれず、近代に西欧から輸入され、翻訳されて発生する。然し、中国や日本の哲学者は、単なる翻訳に止まらず、独自の哲学の形成に進んだ。この東アジアの哲学は、哲学の未来に問題を投げかけている。中島隆博「哲学」(岩波書店)を読んで、上記の問題を考える。

教科書／テキスト (1) ガイダンス (2) 始めに (3～10) 哲学はどのように生まれたか (11～15) 哲学と翻訳そして救済 (16～22) 哲学と政治 (23～28) 哲学の未来 (29～30) まとめ

参考書 教科書をあらかじめ深く読み込んでくること。平常点とレポートにより判定する。中島隆博「哲学(ヒューマニティズ)」(岩波書店) 主要な参考書は教科書に載っている。それ以外は、適宜受賞中に指示する。

履修コード	233551
科目名	歴史哲学
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい) 歴史を知ることは、いったいどういうことなのだろうか。確かに歴史の知識(例えば「1868年に明治維新が起こった」)は存在する。しかし、どのようにして我々は、自分では体験することも思い出すこともできない過去の出来事について知っていると言えるのだろうか。実は「出来事」はデータそのものと同じではない。「出来事」は、われわれがデータを加工し、データについて「物語る」ことを抜きにしては、意味をもたない。そして「物語る」ことは語り手の現在の関心や世界観によって制約される面もっている。歴史認識における主観的な面と客観的な面との関連はどのようになっているのかを、種々の文献をもとに考えることにしたい。

講義の内容／授業スケジュール ヘーゲル「歴史哲学」序論、マルクス・エンゲルス「ドイツ・イデオロギー」、ウェーバー「社会科学および社会政策的認識の「客観性」」、カー「歴史とは何か」、真木悠介「時間の比較社会学」、ガダマー「真理と方法」、野家啓一「物語の哲学」などを取り上げ、いかに歴史認識は可能かについて諸説を検討する。

履修上の留意点 予備知識は必要が無いが、歴史に対する関心を持つようにしてほしい。

成績評価の方法 出席状況とレポート

参考書 渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』(放送大学教育振興会)

随意科目

履修コード	—
科目名	英語(海外演習)
担当者名	—

講義の内容／授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学(オーストラリア)、ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)、エクセター大学(イギリス)、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学(オーストラリア)のセミナーに関しては、4年次生は受講できません。

成績評価の方法 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語(海外演習)
担当者名	—

講義の内容／授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学(フランス)における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容／
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

V 教職課程・資格講座科目

1. 教 職 課 程

履修コード	076701
科目名	教職入門
担当者名	藤木 篤典

講義の到達目標(ねらい)

高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展、過密・過疎、少子化、近年の不況の中、多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は、価値観の多様化、生徒間の「いじめ」や不登校等の多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜間定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、必要な知識を学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容/
授業スケジュール

- ・教育について
- ・教育機関・制度
- ・法体系について
- ・教育法規
- ・教師の身分（採試）
- ・教育免許状
- ・職務と身分（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、実習助手、事務職）
- ・特別活動
- ・教育内容
- ・教育課程
- ・『児童の権利条約』と学校の指導
- ・校務分掌について
- ・中央教育審議会の動向と教育の変化について
- ・教育関係の時事問題について
- ・その他（学校評議員制度、関係諸団体、研修、国際交流、障害児教育、生徒指導等）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

採用試験に向けて、自己の進路として受けとめて学んでほしい。
出席状況、レポートの提出など総合的に評価する。
教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

履修コード	076711
科目名	教職入門
担当者名	磯山 進

講義の到達目標(ねらい)

近年の教育改革の進展や社会の変化に伴い、学校教育に対する国民各層の関心は一層高まり、教育や教師の在り方にも厳しい目が向けられている。一方、学校には改善・充実を図るべき課題も多く、教育行政による改善や、教師の力量の向上による教育の充実が求められている。かかる動向を踏まえ、本講では学校教育とその担い手である教師の在り方について具体的な課題をとりあげて多面的多角的に考察するとともに、これからの教師に求められる資質や能力について考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 学校教育の現状と課題
2. 法規からみた学校教育と教育職員
3. 学校の組織編制と運営
4. 学習指導要領と教育課程の編成
5. 授業力の向上と授業研究
6. 特別活動の意義とその在り方
7. 学級（HR）経営と担任の役割
8. 生徒指導の諸問題とその対応
9. キャリア教育と進路指導
10. 「総合的な学習の時間」と生きる力
- 11～13. 教育課題への対応（①ボランティア活動 ②人権教育 ③学校評価）
14. 教育公務員としての服務と教師の研修
15. 教師に求められる資質と能力

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

教員を志望しているか、教育に強い関心を持っている者の履修を期待する。

出席状況、レポート、定期考査で総合的に評価する。

天井勝海編著『現代実践教職入門』（学事出版）2,200円

『中学校学習指導要領 解説—総則編—』（株式会社ぎょうせい）『高等学校学習指導要領』（東山書房）

その他の参考文献、課題図書は授業の中で示す。

教職課程
資格講座科目

履修コード	305401
科目名	教職入門
担当者名	天井 勝海 <small>てんじょう かつみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 今日生の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、生徒を取り巻く教育環境は、国際化・情報化・高齢化・少子化などの著しい進展や生涯学習社会への移行など急激に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教育職員としての在り方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教員に求められている基本的な資質や能力及び実践的な指導力等を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 教職入門ガイダンス・講義のねらいとその内容及び評価方法について
- 2 学校を取り巻く環境の変化
- 3 学校組織と教員の役割と責任
- 4 学習指導要領と教育課程の編成
- 5 「生きる力」と総合的な学習の時間
- 6 授業力の向上と指導内容・方法の改善
- 7 健全育成と生徒指導
- 8 生徒指導上の課題とその対応(1)
- 9 生徒指導上の課題とその対応(2)
- 10 キャリア教育と進路指導
- 11 学級経営やホームルーム経営の在り方
- 12 教育法規とその内容
- 13 学校における接遇の実際
- 14 教員に求められる資質・能力
- 15 教員の役割と責任と教職入門のまとめ

準備学習

・自らの教職を希望する理由や要因をはっきりさせるとともに自らが目指す教師像などを再確認しておく

・最近の学校や学校教育活動に関心を持ち、教育に関する課題に進んで関心を持つ
・最近、学校改革、教育改革などの言葉をよく目にしたり聞いたりすることが多いが、具体的にどのようなことが行われているのか、またその改革が求められる要因や背景などについても関心を持つ

・平成23年度から小学校、24年度から中学校、そして25年度からは高等学校の新しい学習指導要領が実施されるが、その改訂の趣旨やその内容などについて整理しておく

・指定された教科書を通り目を通しておく

履修上の留意点

教職入門として不可欠の内容を取り上げます。他の教職関係の学習の基礎・基本ともなります。専門職としての教職を目指すのだという、本気の取り組みとプロ意識を持つことが必要です。

成績評価の方法

後期末試験、授業中の提出物、レポート、小テストなどのほかに、授業への参加の状況(出席の状況)なども重視し、総合的に評価します。

なお、後期末試験結果の評価全体に占める割合は6割程度です。提出物・レポート・小テスト・出席状況などは評価全体の4割程度を占めます。

教科書／テキスト

現代実践教職入門(学事出版)著者名 天井勝海 価格2200円

参 考 書

必要なものは授業の際に紹介する。また、参考となる資料は、プリントして配付します。

そ の 他

・資料が毎回配布されます。必ず講義順に保存をし、講義の際には加筆するなどして活用することが重要です。

履修コード	212001
科目名	教育基礎論
担当者名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) さまざまな職種の職人たちの仕事について知識を深めるとともに、職人たちがどのようにして仕事に必要な技や知恵などを獲得してきたのかを考える。また、それらの獲得プロセスの検討をとおして、学びとは何かについても考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、現代社会と職人 (2~6) 職人たちの仕事 (7~9) 職人たちの修業方法 (10~11) 徒弟制度とその意味 (12~14) 学びとは何か (15) まとめ

準備学習

配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、本を読むなどして、関心のある職種の職人の仕事を知ることにより、授業内容の理解が深まる。

履修上の留意点

資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

教科書／テキスト

初回の授業時に指示する。

参 考 書

適宜紹介する。

履修コード	212101・212201
科目名	教育基礎論
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	教育という営みへの理解を深めつつ、近代的な教育思想・理念の性格を理解します。最終的には、教育思想や理念などをどのように実践にいかしていけるかを考えられるようになることを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	人間の学びや教育を、生命としての営みのレベルから押さえ、次いで、前近代的な人間形成のあり方を対照項として近代教育の性格を論じます。特に、近代教育思想・理念との関連を見てゆきます。スケジュールは、おおむね、人間と教育(1～3)、前近代の人間形成(4～6)、近代の人間形成(7～9)、近代教育思想とその役割(10～15)となります。
履修上の留意点	この科目は教職の専門科目ですので、新聞を読むなどして、日頃から日本の教育への関心を高めるようにしてください。
成績評価の方法 参 考 書	出席状況とレポートによります。 教場で指示します。

履修コード	212301・212401・212701
科目名	教育基礎論
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容／ 授業スケジュール	とりあげるテーマは以下の通り。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育 (1～3) 学校教育という制度、(4～6) 学校という空間、(7～9) 学校教育の機能、(10～12) 外来の装置としての学校、(13～15) 立身出世と学歴主義
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法 教科書／テキスト	学期末試験により評価する。 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	212501
科目名	教育基礎論
担当者名	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかきぐっていきたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知(主に教育史・教育哲学)との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	① 自らの教育・学習体験をふりかえる―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる(1～4) ② 自己と他者との体験知の交流―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う(5) ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 (1) 学ぶことの意味と構造(6～8) (2) 教えることの意味と構造(9～12) (3) 教える―学ぶ関係の前提にある子ども観・大人観(13～15)
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習になっている。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意してほしい。また、コメントを毎回提出してもらう。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。 特に使用しない。 そのつど紹介する。

履修コード	212601
科目名	教育基礎論
担当者名	坂本 信昭

講義の到達目標(ねらい)	民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちに教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。
講義の内容／授業スケジュール	・教育の理想と目的(1～5) ・わが国の教育目的の変遷(6～12) ・現代・社会の変化と教育目的(13～14) ・その他(大村はま、林竹二などから学ぶものは何か)(15)
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。
参考書	西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円 デューイ著『学校と社会』(岩波文庫)410円

履修コード	212901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)	わたしたちが受けてきた教育を「身体」という観点から検討し、学校教育をめぐる諸問題を考える。また、それらの問題をもとに、近代の学校教育のあり方やそれに影響を及ぼしている社会のあり方などについて考察する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス、「身体」の観点からの教育体験のふり返り (2) 教育体験のふり返りからみえる教育の諸問題 (3～5) 子どもの身体の実態 (6～8) 身体感覚とコミュニケーション (9～10) 自分の身体への気づき (11～13) 教育の諸問題と近代の社会・学校教育のあり方 (14) 子どもの身体をひらく教育に向けて (15) まとめ
準備学習	配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、新聞を読み、身体に関する記事についての感想を箇条書きなどしておくことも、有益である。
履修上の留意点	資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書／テキスト	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	適宜紹介する。

履修コード	213001・213101
科目名	教育制度・環境論
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	近代学校教育の性格を理解するとともに、日本におけるその成立経緯や特徴について学びます。また、現代の学校教育の問題点についても考えてゆきます。
講義の内容／授業スケジュール	内容・スケジュールは、おおむね次の通りです。 はじめに (1)、国家と教育 (2～6)、教育改革とその社会的背景 (7～10)、学校が抱える問題 (11～14)、まとめ (15)
履修上の留意点	この科目は教職課程の必修科目です。日頃から教育への関心を高めるようにしてください。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書	教場で指示します。

履修コード	213201・213301・213601
科目名	教育制度・環境論
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}

講義の到達目標(ねらい)

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

とりあげるテーマは以下の通り。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の動向

(1～2) 教育問題とは何か、(3～5) 戦後の教育問題の変遷、(6～10) 80年代以降の教育問題、(11) 近年の教育改革の経緯、(12～14) 教育改革の方向性、(15) 教育改革の問題点

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

学期末試験により評価する。

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	213401
科目名	教育制度・環境論
担当者名	萩原 ^{はぎわら} 建次郎 ^{けんじろう}

講義の到達目標(ねらい)

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場（1～3）
- ②子ども・若者の人間形成空間の変容（4～6）
- ③「居場所」の意味を読み解く（7～9）
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする（10～12）
- ⑤「居場所づくり」に関わる指導者・支援者の力量（13）
- ⑥「居場所づくり」と子どもの参加・参画論（14～15）

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

とくに指定しない

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）

ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

履修コード	213501
科目名	教育制度・環境論
担当者名	坂本 信昭 <small>さかもと のぶあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。また、環境が人間形成や教育に大きな影響を与えることは否定しがたい。人びとが生活する基盤が環境なのだから、教師の思想も教え方も環境によって大きく条件づけられており、その教育を受ける子どもも教師からだけでなく環境によって教育の受けとり方が異ってくる。

講義の内容/
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ(1～3)
- ・学校の社会的機能(4～5)
- ・学校教育の現実と課題(6～7)
- ・その他(教師論等)(8)
- ・現代社会と教育環境(9～10)
- ・家庭の教育環境(親子関係・家庭生活)(11～12)
- ・都市の教育環境(都市の学校と子ども)(13)
- ・農・漁村の教育環境(農・漁村の学校と子ども)(14～15)

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

授業の出欠は厳密にとる。
課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂)2, 600円
デュエイ著『学校と社会』(岩波文庫)410円

履修コード	213901・214001
科目名	学習・発達論
担当者名	大浜 幾久子 <small>おほいば きくこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のように基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回:導入「6歳から学校教育が始まるのは何故だと思いますか?」
第2～7回:発達段階理論をめぐって

- ①エリクソンの発達段階
- ②生涯発達
- ③アイデンティティの形成
- ④ピアジェの認知発達段階
- ⑤感覚運動知能から表象的思考へ
- ⑥前操作から操作的思考へ

第8～10回:発達と学習の理論(言語習得から考える)

- ①スキナーの行動分析学
- ②チョムスキーの生成文法
- ③ピアジェの発生的心理学

第11～14回:初期環境の貧困による発達遅滞・障害と回復

- ①事例研究
- ②愛着の成立
- ③感覚運動知能と言語習得
- ④学校教育の役割

第15回:発達と学習と学校教育(知育と徳育)

毎回、次回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。
後期に、同一時間の「教育課程論」を履修することを原則とします。
学期末のレポートを中心にした評価の予定。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

指定なし。

藤永保 他(著)『人間発達と初期環境』有斐閣 1987

他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	214101
科目名	学習・発達論
担当者名	藤原 善美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 発達とは何か (2～3) 発達理論、発達段階と発達課題 (4～7) 胎児期・乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10) 認知の発達、言語と知能の発達、社会的発達 (11) 発達障害 (12) 学習とは何か (13～15) 学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。

履修コード	214201・214601
科目名	学習・発達論
担当者名	飯田 都

講義の到達目標(ねらい) 人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけつくりあげていきます。教職を志す者は他者の成長発達に深く関わる立場にあります。人の発達・学習に関わる基本的な心理学的知識を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”“学ぶ”ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 人の発達・学習と教育 (2～5) 乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 (6) 思春期の自我の発達、(7) 学習と認知(連合説と認知説) (8～9) 知識の種類と構造、技能と知識の獲得 (10～13) 動機づけ、(14～15) 学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点

聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法

中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果(単純な出席点ではありません)を総合して評価します。ただし、出席が基準に満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。特に使用しません。授業時に資料を配布します。

教科書／テキスト
参 考 書

西林克彦 『間違いだらけの学習論』 新曜社
川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』 福村出版

資格講座
教職課程
科目

履修コード	214301・214401・214501
科目名	学習・発達論
担当者名	角野 善司

講義の到達目標(ねらい) 教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てています。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺 (15) 学期末テスト

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聞きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。
成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。
講義の進行に合わせ、適時紹介します。

履修コード	214901
科目名	教育課程論
担当者名	大浜 ^{おおはま} 幾久子 ^{きくこ}

講義の到達目標(ねらい)

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行および新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：日本の学校制度と学校カリキュラムの歴史
- 第2回：「学習指導要領」の変遷
- 第3回：現行「学習指導要領」と新しい「学習指導要領」
- 第4回：学生が学んだ小学校の「学習指導要領」と教科書
- 第5回：学生が学んだ中学校の「学習指導要領」と教科書
- 第6回：学生が学んだ高等学校の「学習指導要領」と教科書
- 第7回：小学校「算数」のカリキュラム
- 第8回：「国語」と「外国語」のカリキュラム（言語教育と文学教育）
- 第9回：小学校から「英語」を始めることの是非
- 第10回：「総合的な学習の時間」
- 第11回：総合学習を展開する学校
- 第12～14回：学校制度とカリキュラムの国際比較
 - ①フランスの学校制度とカリキュラム
 - ②国際共通教科書作成の試み
 - ③隠れたカリキュラムと教師文化

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

- 第15回：カリキュラム論（付：レポートの作成法）
- 毎回、次回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。
前期に、「学習・発達論」を履修することを原則とします。
レポート提出を中心とした評価の予定である。
指定なし。
『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』（文部科学省）
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	215001
科目名	教育課程論
担当者名	おおはま まさこ 大原 幾久子

講義の到達目標(ねらい)

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行および新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：日本の学校制度と学校カリキュラムの歴史
- 第2回：「学習指導要領」の変遷
- 第3回：現行「学習指導要領」と新しい「学習指導要領」
- 第4回：学生が学んだ小学校の「学習指導要領」と教科書
- 第5回：学生が学んだ中学校の「学習指導要領」と教科書
- 第6回：学生が学んだ高等学校の「学習指導要領」と教科書
- 第7回：小学校「算数」のカリキュラム
- 第8回：「国語」と「外国語」のカリキュラム（言語教育と文学教育）
- 第9回：小学校から「英語」を始めることの是非
- 第10回：「総合的な学習の時間」
- 第11回：総合学習を展開する学校
- 第12～14回：学校制度とカリキュラムの国際比較
 - ①フランスの学校制度とカリキュラム
 - ②国際共通教科書作成の試み
 - ③隠れたカリキュラムと教師文化
- 第15回：カリキュラム論（付：レポートの作成法）

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

毎回、次回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。
前期に、「学習・発達論」を履修することを原則とします。
レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。
指定なし。
『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	215101
科目名	教育課程論
担当者名	ふじわら よし美 藤原 善美

講義の到達目標(ねらい)

教育内容の全体的計画である教育課程（カリキュラム）について、授業＝学習過程のなかでの特徴や、教育目的・教育方法との関連性を、日本の教育制度に基づいて学ぶことを目的とします。また、学校教育の実際、および発達障害の特徴と特別支援教育についての理解を目指し、教育現場の諸問題について、どのような解釈、対処があるかを考えるきっかけとなればと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) カリキュラムとは何か (2～4) 日本の教育制度 (5～7) 学習指導要領 (8～10) 教授法 (11) 教育評価 (12) 特別支援教育 (13～15) 学校教育の実際と今後の課題

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。

教職課程
資格講座科目

履修コード	215201・215601
科目名	教育課程論
担当者名	^{すぎやま かつよ} 杉山 二季

講義の到達目標(わらい)	カリキュラムとは単に事前に立てる教育計画だけを指すのではなく、子どもの学習経験の履歴でもある。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけ、子どもの経験を豊かにするためのカリキュラムをデザインする方法を探っていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定である。(1)カリキュラムとは何か、(2)学校とはどのような場所か、(3-4)カリキュラムの理論、(5)授業と学習(ビデオ視聴)、(6)知識とは、学力とは何か、(7-8)日本の近現代カリキュラム史(学習指導要領の変遷)、(9)授業と学習(ビデオ視聴)、(10)学びの共同体の試み、(11-13)かくれたカリキュラムとは、(14-15)まとめと補論 実践を見る目を養い、事実に基づいた考察を可能にするために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察・検討する機会を何回か設ける。
履修上の留意点	講義は1回1回が完全に独立したものではなく、相互に関係の深い内容であるので、できるだけ毎回出席することが望ましい。
成績評価の方法	出席点(授業中の課題の提出状況)と期末レポートの内容によって評価する。授業中の課題とは、その日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書く感想文のことであり、2回の講義に1回程度課すものである。出席が極端に少ない場合は不可とするので注意して欲しい。期末レポートは講義内容を踏まえた記述式の課題であり、課題の意味や事実の理解、構成力、表現力等を総合的に評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。 講義中に適宜紹介する。

履修コード	215301・215401・215501
科目名	教育課程論
担当者名	^{すみの ぜんじ} 角野 善司

講義の到達目標(わらい)	この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-12)平成20年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (13-14)補遺 (15)学期末テスト
履修上の留意点	この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。
成績評価の方法	免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。 成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出题して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。
教科書／テキスト	日本教材システム編集部「ひと目でわかる2色刷 中学校学習指導要領新旧対照表 平成10年版×平成20年版」教育出版
参 考 書	文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月」ぎょうせい 講義の進行に合わせ、適時紹介します。

履修コード	076801・076901・077001・077101・077201・077301
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい)

本授業では情報化が著しく進展している今日の社会的状況における、新たな教育形態と情報メディアの在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの活用状況の現状を眺めて、今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットに関連したパソコン操作の実習を行ない、パソコンやネット活用の利点や問題点を理解します。その上で、情報メディアを教育実践に活用する際に必要な基礎能力の習得を目指すとともに、教師の役割についても検討していきます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：デジタル時代と情報格差、第2～3回：教育の情報化の推進、第4～5回：小学校の教育の情報化の現状と課題、第6～7回：中学校の教育の情報化の現状と課題、第8回：インターネット社会への参加態度、第9～10回：高等学校の教育の情報化の現状と課題、第11～12回：外国での教育の情報化の現状と課題、第13～14回：教育の情報化の新たな動向と課題、第15回：期末試験

準備学習
履修上の留意点

日頃から、教育に関連したパソコンやインターネットの活用について関心を持つこと。
履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書／テキスト

教科書は使用せず、必要に応じて配布プリント等を利用して授業を進めていきます。

参考書
その他

授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。
毎回の授業の中で、パソコンの実習をします。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生には「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	077401・077501・077601・077701
科目名	教育とメディア
担当者名	芝崎 順司

講義の到達目標(ねらい)

本講義の到達目標は、1)教育におけるメディアの役割の重要性について、提示機能とコミュニケーション機能の両面から、具体的事例に基づき、説明できるようになること、2)教員としてメディアを活用する基礎的スキルを身につけること、である。

講義の内容／
授業スケジュール

1 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
2 プレゼンテーションなどが必要な教育場面を設定し、基本的なアプリケーションを活用して、コンテンツを作成する。
3 情報教育や情報システム、情報倫理など教員として必要な知識・スキルを身につける。

準備学習
履修上の留意点

特にないが、キーボードの操作等基礎的なコンピュータのスキルは有していることを前提とする。
YeStudy 他学習システムを利用する。コンピュータ等を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起も多く含む。授業への積極的参加を期待する。必要に応じて宿題を課すこともある。

成績評価の方法

出席重視。評価は授業中に行い提出される課題と出席状況を総合的に評価しておく。

教科書／テキスト

授業中に紹介する。

参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

履修コード	077901・078001
科目名	道徳教育の研究
担当者名	藤木 篤典 <small>ふじき あつのり</small>

講義の到達目標(ねらい) 21世紀は「心の世紀」といわれているが、教育現場をはじめ「いじめ」などの不適切な現象がみられ、社会問題となっている。

学校教育では、社会生活の中で、主体的に自己実現をはかる「生きる力」の育成が課せられている。

授業では、学習指導要領の「道徳」の趣旨にもとづき、道徳教育の内容・在り方や、指導力を身につけ、学習指導案の作成、指導方法などについて基本的課題を研究する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 道徳教育の意義と歴史
- 2 道徳教育の変遷 I・II
- 3 「道徳」の目標・内容と教材について I・II
- 4 「道徳」の指導案の作成①
- 5 「道徳」の指導案の作成②
- 6 「道徳」教育の問題点
- 7 特別活動と道徳教育
- 8 道徳の評価
- 9 道徳教育の問題点と今後の課題

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

指導案の作成をはじめ、積極的に広い視野を養い、指導力を身につけてほしい。
定期試験はしない。出席状況を重視し、学習指導案の作成等、総合的に評価する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説——道徳編——』(財務省印刷局) 260円

履修コード	078101・078201
科目名	道徳教育の研究
担当者名	杉崎 洋一郎 <small>すぎさき よういちろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 道徳教育は、学校教育全体を通して行われるものです。「道徳の時間」をはじめとして、各教科・総合的な学習の時間・特別活動のそれぞれの特質に応じて適切な指導が行われなければなりません。文献等に基づく理論的な研究だけでなく、VTRによる授業視聴、学習指導案の作成等を通して、学校教育における実践に役立つ指導力を身につけさせることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 はじめに
- 2 道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の目標
- 3 道徳教育の変遷
- 4 心の教育・道徳教育
- 5 「道徳の時間」の指導内容 その1
- 6 「道徳の時間」の指導内容 その2
- 7 「道徳の時間」の指導の実際
- 8 「道徳の時間」の学習指導案作成
- 9 「道徳の時間」の授業視聴 その1
- 10 「道徳の時間」の授業視聴 その2
- 11 道徳教育と生活指導・特別活動
- 12 道徳教育の評価と道徳的实践力、道徳教育の課題

履修上の留意点

道徳教育における実践的指導力を身につけるために、授業後の感想の提出、学習指導案の作成等に積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席状況、試験、学習指導案、授業における参加状況等を総合的に判断して評価します。
教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。
必要に応じて紹介します。

履修コード	078301・078401
科目名	道德教育の研究
担当者名	井上 勝 <small>いのうえ まさる</small>

講義の到達目標(ねらい) 今日学校教育の課題は「生きる力」をもった生徒の育成であり、その要となるのが「心の教育」、道德教育である。道德の時間は学級担任が担当するものであり、道德教育の指導理論・方法を習得することはすべての教員にとって不可欠のことである。

本講座では、学習指導要領に基づいて道德教育の基本的な理論・方法について理解するとともに、道德の時間の学習指導案を作成し、道德の授業を担当できる実践的な指導力を習得することをねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 道德教育の意義と課題
2. 道德教育の基本構造
3. 戦前の道德教育とその問題点
4. 戦後の道德教育とその課題
5. 学習指導要領と道德教育
6. 道德資料の内容分析と学習指導案(2)
7. 内容分析と学習指導案の作成(3)
8. 模擬授業(2)
9. 道德教育の基礎理論
10. 道德教育の評価、他の教育活動との関連

履修上の留意点

道德教育の基礎理論を学ぶと同時に、学習指導案の作成に重点を置き、直ちに「道德の時間」の授業を担当できる指導力の養成をねらいとするので、授業への能動的な参加を望む。

成績評価の方法

次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは必ず2回提出する。

- ① 出席状況
- ② 授業中に提出する学習指導案等
- ③ レポート(2回)

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

文部科学省『中学校学習指導要領解説——道德編——』(日本文教出版)139円
金井肇『道德授業の基本構造理論』(明治図書)2,000円
授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	078611・078711
科目名	特別活動論
担当者名	藤木 篤典 <small>ふじき あつのり</small>

講義の到達目標(ねらい) 特別活動は、知育のみを重視せず、バランスのとれた豊かな人間性を育む徳育を目指している。「いじめ」や不登校の問題をはじめ、国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題への関心の高まり、高齢化・少子化のもと、集団活動をとおして、好ましい人間関係を築き、個人の自覚と責任ある態度を身につけることを目的としている。

特別活動の内容、指導原理、指導計画・方法について学び、実践的な指導力を養成することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 特別活動の意義・目的、ガイダンスについて
- 2 特別活動の歴史の変遷 I・II
- 3 特別活動の内容と他教科との関連
- 4 学級活動
- 5 生徒会活動
- 6 学校行事の意義と活用 I・II
- 7 ホームルーム活動
- 8 クラブ活動・部活動
- 9 ボランティア活動と地域との連携
- 10 特別活動の評価、課題と展望

履修上の留意点

特別活動の役割と内容を理解し、指導計画の作成や、指導内容・方法などについて、実践的な指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、特に指導案作成に重点を置き総合的に判断し、評価する。

教科書／テキスト

文部科学省『中学校学習指導要領解説——特別活動編——』(財務省印刷局)70円

文部科学省『高等学校学習指導要領解説——特別活動編——』(東山書房)126円

参 考 書

教師養成研究会 教職課程講座6『特別活動の理論と方法——改訂版——』江川ビーン成編(学芸図書株式会社)1,260円

履修コード	078811・078911
科目名	特別活動論
担当者名	すざき よいちろう 杉崎 洋一郎

講義の到達目標(ねらい) 「特別活動」は「為すことによって学ぶ」といわれています。「生きる力」を育むためには、塾や予備校では教えることのできない特別活動の果たす役割は重要です。

この授業では、「特別活動」の特質や、教育的意義、目標、内容及び指導方法等について、理論と実践の両面から講義します。「特別活動」は、特に実践的な面が重要ですから、活動内容や指導方法等に具体的な資料を活用して、教師としての「特別活動」の実践的な指導力を身につけることをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 はじめに、教育基本法、学習指導要領、特別活動とは何か
- 2 特別活動の目標、特別活動の歴史的変遷
- 3 特別活動の教育的意義、特別活動の内容
- 4 学級（ホームルーム）活動の特質と内容、指導の実際
- 5 生徒会活動の特質と内容、部活動、ボランティア活動
- 6 学校行事の特質と内容
- 7 進路指導
- 8 横断的・総合的な学習
- 9 教育課題 1 国際理解教育・帰国生徒教育
- 10 教育課題 2 生徒指導上の諸問題（学級崩壊、不登校、いじめ等）
- 11 特別活動の評価と今後の課題と展望 1
- 12 今後の課題と展望 2

履修上の留意点

特別活動における実践的な指導力を身につけるために、授業後の感想、学習指導案の作成等に積極的に参加してほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況、試験、学習指導案及び授業における参加状況等を総合的に判断して評価します。教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。必要に応じて紹介します。

履修コード	079011・079111
科目名	特別活動論
担当者名	いのうえ まさる 井上 勝

講義の到達目標(ねらい) 特別活動とは、学校の集団活動を通して生徒の個性の伸長と社会的資質の育成をねらいとする活動であり、具体的には学級（ホームルーム）活動、学校行事、生徒会活動などである。特別活動の指導は教科指導以外のほとんどの領域・機能を合んでおり、このため、その指導は学級担任の主要な職務と重なるものである。

本講座では、特別活動の基礎理論を理解するとともに、受講者の小中高校での学校生活の positive な体験を事例として取り上げ、事例研究を中心として具体的な指導の考え方や方法を理解し、学級（ホームルーム）担任としての実践的指導力を習得することをねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 特別活動の意義と内容（2）
2. 学級（ホームルーム）活動の役割と内容（2）
3. 生徒会活動の役割と内容（2）
4. 学校行事の役割と内容（2）
5. 部活動の役割と指導（2）
6. 特別活動と生徒指導、教育相談
7. 特別活動とガイダンス
8. 特別活動とボランティア活動
9. 特別活動の評価

履修上の留意点

受講者の小中高校での特別活動の positive な体験を事例とする事例研究を中心にして授業を行うので、発表、討論等への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

- 次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは2回必ず提出する。
1. 出席状況
 2. 授業中に提出する意見、感想等
 3. レポート（2回）

教科書／テキスト

次のどちらかを用意する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説－特別活動編－』（ぎょうせい）114円
文部科学省『高等学校学習指導要領解説－特別活動編－』（海文堂）210円
その都度紹介する。

参 考 書
そ の 他

1. 授業は事例研究、受講者による事例発表に基づく、討論形式の授業を中心に行う。
2. 授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	079301・079701・079801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	佐藤 尚人

講義の到達目標(ねらい)	教科の学習指導はもちろんのこと、教師には、子どもが抱える様々な問題への対応も求められます。子どもの理解や指導の方法、指導の際の注意点などについて講義していきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)はじめに：本講義の説明・参加の際の注意事項など(第1回) (2)生徒指導の基本的考え方：教師の役割や子どもの問題行動の理解(第2回～3回) (3)子どもの理解と指導の手がかり：エリクソンの発達段階・課題の考え方を参考に(第4回～7回) (4)具体的な問題行動を考える：不登校・いじめ・非行などの理解と対応(第8回～11回) (5)問題行動への対応・指導の方法(第12回～14回)(6)まとめ：生徒指導において大切なこと(第15回)
準備学習 履修上の留意点	次回の内容の説明と次回までの課題を、授業中に適宜指示します。 毎回出欠を確認し、欠席や遅刻が一定(おおむね全体の3分の1)以上になった場合は評価の対象から除外します。受け身での受講ではなく、次回の授業内容について事前に調べたり、講義の内容を事後に確認するなどしてください。
成績評価の方法	出席状況が優良で、評価対象となった受講者について、期末の筆記試験の点数をもとに評価します。ただし、発言や質問、事前学習など、授業への積極的な参加態度をプラスして最終的な評価を出します。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しません。 特に指定しません。必要に応じて、講義の中で適宜紹介します。

履修コード	079401・079901・080001
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)	生徒指導、ならびに進路指導の名のもとに、現在の学校で様々な教育的営みが行われている。生徒の成長を支える重要な関わりであるこれらの指導について、将来教職に就くことを目指している人間として、その意味を改めて問い直し、無意識のうちに既にもっているであろう自らの生徒指導観、および進路指導観をとらえ直した上で、より豊かに深めていくことがこの授業の目的である。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス：生徒指導観を考えるための視点(1～2) 2. 生徒指導の理論について学ぶ(3～6) 3. 問題行動について考える(7～10) 4. 進路指導について考える(11～14) 5. 全体のまとめ(15)
履修上の留意点	主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭わない学生の参加を望む。
成績評価の方法	授業期間内の試験またはレポート(50点)、および学期末のレポート(50点)により成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書／テキスト	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	079501・079601
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	^{めら} 目良 ^{あきこ} 秋子

講義の到達目標(ねらい)

生徒指導は学業、社会性、道徳性、進路などの諸領域の指導を統合するものと考えられます。学校教育活動においてこうした統合的な生徒指導は生徒の個性を尊重・伸張しつつ、社会的資質・行動を高めるという方向性を持って行われます。しかし、児童期・青年期は発達的に変化の大きい時期であると同時に、子どもたちの問題も複雑・個性を伴っているため生徒指導に必要な生徒理解が困難な場合があります。そこで、この授業では児童期・青年期において重要と思われる自己意識の発達とアイデンティティの達成というテーマから生徒理解を深めます。また、進路選択は青年期における重要な課題であるため、指導上留意すべき点について最近の職業選択に関わる諸問題と合わせて講義を行う予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

1回目：ガイダンス及び生徒指導論概説—生徒指導の意義について—
2～3回目：生徒指導論概説—生徒指導の諸側面について・生徒指導の歴史—
4回目：生徒理解の意義とその方法
5～8回目：児童期・青年期の自己の発達と適応およびアイデンティティの発達と危機
9～11回目：学校教育における生徒指導の現状と問題
12～13回目：進路指導概説—フリーター・ニートの現状と要因と進路選択からみた青年期の問題と留意点—
14回目：教師としての成長・発達とバーンアウト
15回目：総括

履修上の留意点

教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。

成績評価の方法

学期末試験（8割）と授業内レポート課題（2割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

必要に応じて資料を配布します。
授業で適宜紹介します。
授業は講義形式で行います。

履修コード	080101
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	川原 誠司

講義の到達目標(わらい)

生徒を指導するとはどういうことか、生徒指導を行っていく上で必要なことは何かを、様々なことの喩えを通して理解し、指導する際の意識やコミュニケーションの難しさについて理解する。

講義の内容/
授業スケジュール

正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 生徒指導のイメージ〔喩え〕(1)
- 第3回 生徒指導のイメージ〔喩え〕(2)
- 第4回 生徒指導のイメージ〔喩え〕(3)
- 第5回 生徒指導に必要な発達の知識(1)
- 第6回 生徒指導に必要な発達の知識(2)
- 第7回 生徒指導に必要な発達の知識(3)
- 第8回 指導の際に生徒と対立するコミュニケーション上の問題(1)
- 第9回 指導の際に生徒と対立するコミュニケーション上の問題(2)
- 第10回 『教師学』からの教師-生徒コミュニケーションの検討(1)
- 第11回 『教師学』からの教師-生徒コミュニケーションの検討(2)
- 第12回 『教師学』からの教師-生徒コミュニケーションの検討(3)
- 第13回 『教師学』からの教師-生徒コミュニケーションの検討(4)
- 第14回 『教師学』からの教師-生徒コミュニケーションの検討(5)
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。授業の一部では、生徒指導に関する英文献をグループで発表してもらうこと、あるいは実習風の実演してもらうことなども考えています。

●本授業は e-Learning (YeStudy) を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。

●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、指示された課題を事前に行っておくこと。

成績評価の方法

●「試験（持ち込みは一切不可）+平常点等+ α 」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、10:3:2くらいを考えています。

●使用しません。

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●多くの学生が後期の授業まで通年登録しているようです。しかし、後期で行う授業アンケートをみると、満足しない学生もいるようです。大変な授業と思うからでしょうか。「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きませんので、履修登録の際には十分にご注意ください。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

教職課程
資格課程
科目

履修コード	080301・080701・080801
科目名	教育臨床
担当者名	佐藤 尚人

講義の到達目標(わらい)	教師が、教育の現場で出合うさまざまな問題について毎回取りあげていきます。それぞれの問題の理解と対応について、参加する学生一人ひとりが「自分が教師の立場に立った時どうするか」できるだけ具体的に考えていくことを目標とします。受け身で参加する講義ではなく「自分(たち)が材料を準備してきて、討論をとおして学ぶかたち」をめざします。①資料を探してまとめることを学びます。②自分の考えを自分の言葉で表現することを学びます。③自分の考えを他者に伝え他者の考えを聞き理解することを学びます。④さまざまな考えを材料に討論することを学びます。体験をとおして教師に求められる資質を理解し、その力を養ってください。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 はじめに：授業の進行や参加の条件などについての説明 第2回～第14回 各回に次のような問題(テーマ)を取り上げていきます。「不登校」「非行・犯罪」「いじめ」「学力低下」「学級崩壊(不適応児童)」「体罰」「教師のストレス・精神衛生」「モンスターペアレント(保護者や地域との連携・協力)」「発達・学習の障害」など。各回のグループでの討論と発表だけでなく、全体でのディベートなどもおこないます。第15回 まとめ
準備学習 履修上の留意点	履修上の留意点をよく確認してください。 授業は、「参加学生が毎回準備してくる課題をグループ内で互いに発表し・まとめ・全体に報告すること」「授業時間の最後にまとめとして、教員が解説・コメントする」形で進めます。参加学生は毎回必ず課題を作成してくる。その際、①インターネット上の情報だけに頼らず、本や資料など複数のものを比較検討しながらまとめること、②提言(結論)として、自分のことばで自分の考えをきちんと表現すること、を求めます。図書館を積極的に利用してください。課題をやってこない場合は、出席には扱いません。
成績評価の方法	毎回、作成した課題を持って授業に出席すること。課題はグループ討議での材料とする一方、教員に提出し内容を評価されます。授業では、「課題をもってこること」「グループでの討論に参加すること」「発表すること」が評価を受ける条件です。筆記試験は行わず、提出された課題の内容・発表・討論への参加を総合して評価を行います。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しません。 毎回の課題の作成に際して、各自工夫してください。なお、どのような参考書(資料)を探し用いるかも、評価の際のポイントになります。

履修コード	080401・080901・081001
科目名	教育臨床
担当者名	遠藤 司

講義の到達目標(わらい)	心の教育が重視されている現在の教育現場において、カウンセリング的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業では、将来教職に就くことを目指している人間がカウンセリングについて学ぶことの意味を考え、双方向の対話を基に教師—生徒関係を生きようとしつつ、なおかつ指導する人間としての教師をも生きようとすることを意味を考えることを通して、自らの教師観をより豊かに深めていくことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス：カウンセリングの基礎を学ぶ(1～3) 2. カウンセリングの理論を学ぶ(4～7) 3. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える(8～11) 4. 対話について考える(12～14) 5. 全体のまとめ(15)
履修上の留意点	主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭わない学生の参加を望む。
成績評価の方法	授業時間内の試験またはレポート(50点)、および学期末のレポート(50点)により成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書／テキスト	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	080501・080601
科目名	教育臨床
担当者名	目良 ^{めら} あきこ ^{あきこ} 秋子

講義の到達目標(ねらい) この授業では教育現場における臨床活動の現状と諸問題をスクールカウンセラーと教員の相互視点に立ち考察しながら、児童・生徒の諸問題について理解を深めていきます。また、主に不登校の事例を通して具体的なスクールカウンセラーと教師の子どもへの対応や、学校内および家庭との連携、子どもとの間で生じる葛藤や問題の扱い方などについてもみていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

1～2回目：ガイダンス及び教育臨床概説 子どもの問題と教育臨床の現状
 3～5回目：教育相談の理論と方法 理論、歴史（日本とアメリカ）、教育現場と病院臨床の比較から
 6～7回目：児童期・青年期の心の問題 不登校・いじめ・その他の不適応と発達障害との関連
 8～11回目：学校における臨床活動 スクールカウンセラーと教師・カウンセリングと心理療法
 12回目：事例研究—不登校生徒に対するスクールカウンセラーの対応—
 13回目：事例研究—不登校生徒の変化と親の変化—
 14回目：事例研究—不登校以外の諸問題を抱える生徒への対応—
 15回目：総括

履修上の留意点

教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。

成績評価の方法

学期末試験（8割）と授業内レポート課題（2割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

必要に応じて資料を配布します。
 必要に応じて紹介します。
 授業は講義形式で行います。

履修コード	081101
科目名	教育臨床
担当者名	川原 誠司 <small>かわはら せいし</small>

講義の到達目標(ねらい)	4つの心理療法(精神分析的療法、行動療法、認知〔論理〕療法、クライアント中心療法)の概要を学び、その基本的な考え方や知識、治療方法といった観点が、学校という場所で子どもに接する場合にどのような形で援用できるかということを学ぶ。それによって、教師としての視点の広がりや深まりを獲得することを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの(予定)を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。 第1回 ガイダンス 第2回 学校現場に心理療法的観点を活かすことがなぜ必要なのか 第3回 精神分析的療法の概説 第4回 精神分析的療法の補足・詳説 第5回 精神分析的療法的観点の学校現場への適用 第6回 行動療法の概説 第7回 行動療法の補足・詳説 第8回 行動療法的観点の学校現場への適用 第9回 認知(論理)療法の概説 第10回 認知(論理)療法の補足・詳説 第11回 認知(論理)療法的観点の学校現場への適用 第12回 クライアント中心療法の概説 第13回 クライアント中心療法の補足・詳説 第14回 クライアント中心療法的観点の学校現場への適用 第15回 まとめ
履修上の留意点	●本授業はe-Learning(YeStudy)を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。 ●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください(机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと)。 ●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、指示された課題を事前に行っておくこと。
成績評価の方法	●「試験(持ち込みは一切不可)+平常点+α」を考えています。 ●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、10:3:2くらいを考えています。
教科書/テキスト 参 考 書 そ の 他	●検討中です。使用する場合には追って指示します。指示がない場合には使用しません。 ●必要なものがあれば、授業中に呈示します。 ●後期の登録は前期に行うでしょうから、前期時の履修登録の際には、上記の説明を読んで十分にご注意ください。前期の生徒指導論のシラバスでも書きましたが、「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きません。

教職課程
資格講座科目

履修コード	081501・081502
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(3)[環境教育]
担当者名	北村 和夫 <small>きたむら かつお</small>

講義の到達目標(ねらい)	環境問題が現代社会のあり方の根本的な問い直しを迫っていることを理解するとともに、そうした考察を学校での環境教育に生かすにはどうしたら良いかを考える。
講義の内容／授業スケジュール	オリエンテーション(1)、近代社会と環境問題(2~4)、環境思想史上の重要な人物について(南方熊楠、田中正造、レイチェル・カーソン、ヘンリー・ソロー等)(5~9)、環境教育の現状と問題点(エコリジカル・リテラシーの意義)(10~12)、エントロピー(13)、共生(14)、まとめ(15)
履修上の留意点	話の流れを全体として理解すること。
成績評価の方法	試験。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半の正確さと後半の独自性を評価する。
教科書/テキスト	北村和夫『環境教育と学校の変革—ひとりの教師として何ができるか』(農山漁村文化協会)2000年 2,900円(税込) ISBN-4-540-99291-0
そ の 他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認してください。

履修コード	081601・081602
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（４）〔近代社会と身体〕
担当者名	北村 和夫

講義の到達目標(ねらい)	体と大地という視点から、地域の意義について考える。
講義の内容／ 授業スケジュール	オリエンテーション (1)、コミュニケーションと体 (2)、腸は考える (3)、三木成夫の世界 (4)、人体常在菌 (5)、免疫 (6)、細胞の世界・生きているということ (7)、デカルトとダマジオ (8)、地域再生 (9)、地元学 (10)、有機農業 (11)、地方分権と学校 (12)、車社会 (13)、国家と地域 (14)、まとめ (15)
履修上の留意点 成績評価の方法	話の流れを全体として理解すること。 レポート。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半については正確さ、後半については独自性を評価する。
参 考 書 そ の 他	授業中に紹介する。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082701・082702
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（１５）〔持続可能性と技術〕
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	地球温暖化の影響は私たちにも日々感じられるようになりました。環境問題についてさらに理解を深め、今後の私達のあり方を考えていきたいと思えます。
講義の内容／ 授業スケジュール	『ワールド・ウォッチ』（発行所：ワールド・ウォッチ・ジャパン）を共文献とし、その記事の中から関心のあるテーマを選び発表し合います。スケジュールは、おおむね次のようになります。地球環境の現状（導入）(1～2)、発表 (3～14)、まとめ (15)
履修上の留意点 成績評価の方法	演習ですので、積極的な参加が求められます。 出席状況、発表、レポートによります。
教科書／テキスト そ の 他	教場で指示 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082801・082802
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（１６）〔豊かさの多様性〕
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	自然と調和して生きていくために、私たちはどのような社会や文化を築いていったらよいのでしょうか。その手掛りを江戸時代に探してみたいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	『江戸はエコ時代』（石川英輔 講談社文庫）、『未来のための江戸学』（田中優子 小学館新書）を読みながら考え合います。スケジュールは、おおむね、次のようになります。導入 (1～2)、『江戸時代はエコ時代』を読む (3～9)、『未来のための江戸学』を読む (10～14)、まとめ (15)
履修上の留意点 成績評価の方法	演習形式ですので、積極的な参加が求められます。 出席状況、発表、レポートによります。
教科書／テキスト そ の 他	『江戸時代はエコ時代』（石川英輔 講談社文庫）2008年 495円、『未来のための江戸学』（田中優子 小学館新書）2009年 740円＋税 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082101・082102
科目名	総合演習Ⅱ（生活・人権） 総合演習（9）〔教育と法律〕
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義の到達目標(ねらい)

教育職員免許法施行規則第6条は、「総合演習は、人類に共通する課題又は我が国社会全体にかかわる課題のうち一以上のものに関する分析及び検討並びにその課題について幼児、児童又は生徒を指導するための方法及び技術を含むものとする」と定めている。この授業では、「教育と法律」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

(1) ガイダンス及び分担決め、(2) 報告の準備、(3～14) 学生の報告と討論、(15) まとめ

「教育と法律」に関する諸問題の中から、各受講生が報告テーマを決め、報告・討論を行う形で演習を進める。教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。第1回の授業で分担割りを決めるので、必ず出席すること。事前に連絡なく第1回目の授業を欠席したものは履修を認めない。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

平常点（出席・報告内容・発言等）及びレポート試験で評価する。
特に使用しない。
適宜授業中に紹介する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082201・082202
科目名	総合演習Ⅱ（生活・人権） 総合演習（10）〔子どもの人権〕
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義の到達目標(ねらい)

教育職員免許法施行規則第6条は、「総合演習は、人類に共通する課題又は我が国社会全体にかかわる課題のうち一以上のものに関する分析及び検討並びにその課題について幼児、児童又は生徒を指導するための方法及び技術を含むものとする」と定めている。この授業では、「子どもの人権」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

(1) ガイダンス及び分担決め、(2) 報告の準備、(3～14) 学生の報告と討論、(15) まとめ

「子どもの人権」に関する諸問題の中から、各受講生が報告テーマを決め、報告・討論を行う形で演習を進める。教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。第1回の授業で分担割りを決めるので、必ず出席すること。事前に連絡なく第1回目の授業を欠席したものは履修を認めない。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

平常点（出席・報告内容・発言等）及びレポート試験で評価する。
特に使用しない。
適宜授業中に紹介する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

教職課程
資格講座科目

履修コード	081301・081302・081401・081402
科目名	総合演習Ⅲ（福祉・ボランティア） 総合演習（1）〔障害児と教育〕 総合演習（2）〔障害児と福祉〕
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)

「障害児・者」に関わる様々な問題を取り上げ、現代の日本社会の抱える諸課題とも関連づけながら総合的に学んでいく。さらに、これらの問題を知り、深く考えることが、中学・高校の教師になるうとする人間としていかなる意味をもつことなのかということについても改めて考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. ガイダンス：授業の内容と進め方に関するオリエンテーション（1） 2. 総合的な学習の時間について考える（2～4） 3. 障害児・者に関わる様々な問題の学習（5～13） 4. 自らの学びの振り返りとまとめ（14～15）

履修上の留意点

ただし、授業スケジュールについては、参加者の状況や希望等により、適宜考える。
第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修を認めないので注意すること。「演習」という授業形式なので、主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

授業で取り上げた各テーマごとのレポート（3～4回）により成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。

教科書／テキスト
そ の 他

特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081901・081902・082001・082002
科目名	総合演習Ⅲ（福祉・ボランティア） 総合演習（7）〔心の健康と教育〕 総合演習（8）〔心の援助と教育〕
担当者名	野中 ^{のなか ひろとし} 弘敏

講義の到達目標(ねらい)	本演習では、心理的困難を抱える人々への臨床心理学的援助の事例を通じて、これら困難の様相、またそこに生じた症状や苦痛の意味を当事者の経験に即して理解していく、という試みを、参加者と共に重ねていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 本演習の内容と進め方に関するオリエンテーション (2) 構成的グループエンカウンター体験／事例報告担当の決定 (3) カウンセリング・心理療法の考え方 (4) 臨床心理学的アセスメントの体験的理解 (5～15) 概要・事例報告及びディスカッション (不登校・いじめ・軽度発達障害・非行・児童虐待・保護者への対応・不安障害・摂食障害・境界性人格・うつ・統合失調症)
履修上の留意点	初回は授業の進め方を詳しく説明します。各自の受講継続の判断のためにも必ず出席してください。 5回目以降は配布するテキストに即した事例報告及び話し合いを中心に進めます。報告は全参加者が最低1回担当します。参加者は各回終了までにコメントを書いて提出します。 参加者全員が各回のテキストを予め熟読した上で参加すること、そして授業の中では各自の経験も振り返りながら、真摯に読み、聴きいることを求めます。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	事例報告の内容・各回の授業内課題・各回の討論への参加を基本に評価します。 授業内でプリントを配布します。 随時紹介します。 参加人数にもよりますが、概ねいわゆる輪講形式となります。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081701・081702
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間） 総合演習（5）〔対人関係とストレス〕
担当者名	川原 誠司

講義の到達目標(ねらい)

「ストレス」という言葉が日常頻繁に用いられているが、そのメカニズムについて丁寧に考えていることは少ない。本演習ではストレスの心理学的プロセス（メカニズム）について学習し、自分自身のストレスのことを内省し、学校現場での子どものことに思いを馳せ、子どものストレスに対する教育のあり方を検討することを目的とする。また、その理解を実感するため、グループでストレスについての質問紙を作成して、それを用いた調査・分析も班単位で行う。

講義の内容／
授業スケジュール

正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 ストレッサーについて（1）
- 第3回 ストレッサーについて（2）
- 第4回 ストレッサーについての質問項目の作成
- 第5回 ストレス反応について（1）
- 第6回 ストレス反応について（2）
- 第7回 ストレス反応についての質問項目の作成
- 第8回 コーピングについて（1）
- 第9回 コーピングについて（2）
- 第10回 コーピングについての質問項目の作成
- 第11回 ストレスマネジメント教育について（1）
- 第12回 ストレスマネジメント教育について（2）
- 第13回 質問紙調査の分析（1）
- 第14回 質問紙調査の分析（2）
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。演習という名称に沿うように、内容の講義だけでなく、ほぼ毎回班活動を行い、学生が主体的に進めていくことを念頭に置いてください

●本授業はe-Learning（YeStudy）を用いて予習、復習、課題提出を実施するので、その操作の意志があること。

●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、指示された課題を事前に行っておくこと。

成績評価の方法

●「試験（持ち込みは一切不可）＋平常点（グループ活動等）＋ α 」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、4：2：1くらいを考えています。

●検討中です。使用する場合には追って指示します。指示がない場合には使用しません。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きません。試験も行いますので、グループ活動だけでなく教員から説明されるストレスの話についてもしっかりと聴きましょう。

履修コード	081801・081802
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間） 総合演習（6）[学校における対人関係]
担当者名	川原 誠司 <small>かわはら せいし</small>

講義の到達目標(ねらい)

教師の精神的健康について、ストレスというものを「教職の多忙化」の面から、また「生徒との関係」「保護者との関係」「同僚との関係」といった対人関係の面から考える。また、周囲からの支え（ソーシャル・サポート）の実態をもとに改善のための対人関係のあり方を考慮することや、ストレス対処に影響を与える学生個人の認知のありようや意識のありようについて自己分析することも目的とする。

講義の内容／授業スケジュール

正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 教職の多忙感について（1）
- 第3回 教職の多忙感について（2）
- 第4回 生徒との関係について（1）
- 第5回 生徒との関係について（2）
- 第6回 保護者との関係について（1）
- 第7回 保護者との関係について（2）
- 第8回 同僚との関係について（1）
- 第9回 同僚との関係について（2）
- 第10回 ストレスのまとめ／ストレスに対処する自己のあり方について
- 第11回 ストレスに影響を与える自己の分析—RCRTをもとに—（1）
- 第12回 ストレスに影響を与える自己の分析—RCRTをもとに—（2）
- 第13回 ストレスに影響を与える自己の分析—エゴグラムをもとに—（1）
- 第14回 ストレスに影響を与える自己の分析—エゴグラムをもとに—（2）
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。演習という名称に沿うように、内容の講義だけでなく、ほぼ毎回班活動を行い、学生が主体的に進めていくということを念頭に置いてください

●本授業はe-Learning（YeStudy）を用いて予習、復習、課題提出を実施するので、その操作の意志があること。

●視聴覚教材での呈示も行うので、授業に出席し、のがさずに視聴きしておくように留意すること。

●授業に出席すること、授業をしっかり聴くことのみならず、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、指示された課題を事前に行っておくこと。

成績評価の方法

●「レポート+平常点（グループ活動等）」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、2：1くらいを考えています。

●使用しません。プリントを配付します。

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きません。

●教師の精神的健康は、近年大きな課題となっています。教師になろうとする若いみなさんがそのことに真摯に向き合うことで、基盤を作っておくことで、精神的健康への視野が広がり、理解が深まり、意識が高まるものと考えます。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

履修コード	082301・082302
科目名	総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(11)[生と死の教育]
担当者名	<small>やなぎばり すがこ</small> 柳堀 素雅子

講義の到達目標(ねらい) バイオエシックスの問題を思想的方向から分析していく。さらにバイオエシックスの個々の問題のうちいくつかを選んで、具体的に欧米の現状を支える背後の思想や宗教や文化を探り出し 日本の現状との相違点を比較してみる。何人かのバイオエシックスの研究者の文章を読んで、欧米のバイオエシックスの研究者と日本のバイオエシックス関係の研究者の思想的な違いを分析していく。

講義の内容／
授業スケジュール
1～2回 アメリカにおけるバイオエシックスの成立についての説明
3～4回 バイオエシックスを支える原理
5～9回 個々の問題について次のいずれかを選んで欧米の現状と日本の現状を見ていく。
脳死・臓器移植の問題、安楽死・尊厳死の問題、生殖技術の問題、出生前診断の問題。
10～13回 欧米のバイオエシックスの背後にある思想について吟味していく。個人主義、自由、公共概念、個人と国家の関係、キリスト教と社会と個人との関係など。
14～15回 日本におけるバイオエシックスのあり方を考えていく。

履修上の留意点 授業中に配布された資料を読むだけでなく、自分でさまざまな本などを調べる努力をしてもらいたい。

成績評価の方法 欠席は4回まで認める。与えられたレポート課題の内容を調べて合格点に達しているかどうかを調べる。

教科書／テキスト 使用しない
参 考 書 神田健次編『講座 現代キリスト教倫理1 生と死』(日本基督教団出版局) 2750円+税 ISBN4-8184-0351-2
木村利人『いのちを考える』(日本評論社) 2000円+税 ISBN4-535-57671-8
木村利人『自分のいのちは自分で決める』(集英社) 1500円+税 ISBN4-08-781195-6
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082401・082402
科目名	総合演習Ⅳ(健康・人間) 総合演習(12)[生命倫理]
担当者名	<small>やなぎばり すがこ</small> 柳堀 素雅子

講義の到達目標(ねらい) バイオエシックスの諸問題をさまざまな視点から考察し、教育現場での具体的な取り組み方法を話し合っていく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を中心に発展した人権獲得運動としての市民運動であった。アメリカではそれを体系化して発展させ、学問として確立したが、日本においては必ずしもそのような経過をたどってきたわけではない。日本においてバイオエシックス的な研究を行なっている研究者たちの文献を読みながら、欧米のバイオエシックスの研究者たちの文献と比較する。その後で、日本と欧米のバイオエシックスの方向の相違を分析していく。

講義の内容／
授業スケジュール
1～2回 バイオエシックスの意味とその展開を説明する。
3～5回 個々のバイオエシックスの問題の中からテーマを選び、日本人の書いた文献を読んでいく。脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、生殖技術、出生前診断などのテーマから選択する。
6～8回 上で選んだテーマについて、欧米のバイオエシックスの研究者が書いた文献を読んでいく。
9～11回 日本人の倫理観、宗教的背景と文化的背景を欧米人のそれらと比較して、両者のバイオエシックスのあり方の相違を分析していく。
12～13回 欧米と日本のバイオエシックスの相違を踏まえたうえで、バイオエシックスを日本の教育に取り入れる必要性があるのかを議論していく。
14～15回 バイオエシックス教育の問題点と将来に向けての展望

履修上の留意点 文献を数多く読むので、読解力を必要とする。特に思想関係の文章を読み解く力が必要とされるだろう。

成績評価の方法 欠席は4回まで認める。レポート課題によって成績評価のかなりの部分が決定される

教科書／テキスト 使用しない
参 考 書 星野一正『医療の倫理』(岩波書店) 780円+税 ISBN4-00-430201-3
木村利人『いのちを考える』(日本評論社) 2000円+税 ISBN4-535-57671-8
木村利人『自分のいのちは自分で決める』(集英社) 1500円+税 ISBN4-08-781195-6
森田恭彦『医の倫理と法』(南江堂) 1800円+税 ISBN4-524-23966-9

そ の 他 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082811・082821
科目名	総合演習Ⅴ（国際理解・情報）
担当者名	大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)

「平和のための教育は可能か」をめぐる、諸メディアからの情報を参考にしつつ、考えていく。そのことを通して、中学校・高等学校で「総合的な学習の時間」を担当する力量の形成をめざす。

講義の内容／授業スケジュール

はじめに、下記の2冊の参考書を読む。その後は、受講生自身が、「平和のための教育」につながる「総合的な学習」を個人または数人のグループで展開し、その成果を発表する。

第1回：インターネット上に公開されている「総合的な学習の時間」の実践記録を検索し、興味をひかれた実践記録のレジュメを作成。

第2・3回：『良心的兵役拒否の思想』を読む。総合学習における「思想」の位置づけを考える。

第4・5回：『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』を読む。自分の身の周りから総合学習を展開することについて、また、「情報」と「物語」の違いについてなど、討論する。

第6・7回：中学校または高等学校における「総合的な学習の時間」の指導実践を想定し、対象学年、期間、テーマ、学習の展開方法を選定する。必要に応じ数人のグループをつくる。

第8～11回：個人またはグループで、「総合的な学習の時間」の展開を（中学生・高校生のレベルも想定して）実習する。様々なメディアの特性に留意する。

第12～15回：各人またはグループによる「総合学習」の発表。パソコンのプレゼンテーションソフトを活用する。質疑応答、討論の時間もとる。

準備学習
履修上の留意点

プレゼンテーションに向け、毎回、参考文献・資料を探すことが必要である。

必要に応じて、英語をはじめとする外国語の文献も読んでいく。

履修にあたっては、英語の学習を（できれば他の外国語の学習も）積極的に続けていく意思が明確であることが求められる。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況と、学期末の個人またはグループの研究発表による。

参考書

指定なし。

阿部知二著『良心的兵役拒否の思想』（岩波新書）1969年

女子学院中学校「祖父母の戦争体験」編集委員会編『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』（高文研）2004年

その他

この科目には、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	011911・011912
科目名	宗教科教育法Ⅰ 宗教科教育法
担当者名	小山 一乘

講義の到達目標(ねらい)

本講は、講義（4月～6月）と模擬授業・授業分析（7月以降後期終了まで）とで行う。教科「宗教」は、他教科のその各特殊性論とは根底的に異質な論議が伏在する。すなわち、宗教科は確かに教育職員免許法施行規則等には明示・措置されているが、肝腎な学習指導要領・同解説には教科「宗教」の具体的な名称すら明示・措置はない。宗教科以外の他教科は、厳に学習指導要領に教科目標・内容・取扱いの注意等が明示・措置され、教科が大系化されている。しかし、宗教科は、端的に言えば、授業者にその殆どが委ねられている。ここはいわゆる昭和20年の改革時点の日本国憲法・教育基本法立法制定自体に密着した根本問題である。そこで、①その法的・教育的史的コンテクストを講義し、宗教科の教科大系構築化への方法論を講義をし、②「宗教科教育」と「宗教教育」との教授概念を比較し、③学習指導要領で示す他教科の目標等の範示から、中学校及び高等学校での宗教科教育方法を抽出する手続きを講義する。④学習指導案作成と教育観（開発・本覚、注入・始覚）についての講義、⑤受講生各自50分の模擬授業計画立案と模擬授業実践指導を行う。

講義の内容／授業スケジュール

前期（4・5・6月）は①日本国憲法・教育基本法、学校教育法、教育職員免許法等下での宗教科教育の法的思考と教育的思考。②教育課程編成と宗教科③中学校・高等学校の宗教科学習指導計画作成の理論と実際④学習指導案の理論と様式と教育観について講義する。⑤前期7月以降後期終了までは、模擬授業（50分、ビデオ収録し鏡利用に供す）を課す。毎時、模擬授業終了後、内容・指導方法の面の自由討議。

履修上の留意点

入学年度毎の履修上の指示に注意すること。幼小中高での、各教科・領域等及び総合的な学習の時間等に連関する題材を広く深く視野に入れ、かつ、生涯学習の観点からも留意すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

模擬授業及び学習指導案（細案）作成状況を重視する。出席状況、レポートも参考とする。

①『仏教概論—わかりやすい仏教—』、曹洞宗宗務庁、¥800。②『中学校学習指導要領』、¥260（税別）。③『高等学校学習指導要領』、¥520（税別）。

参考書

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、1,600円）、その他は授業中適宜指示。

その他

資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

教職課程
資格課程

履修コード	012001
科目名	宗教科教育法Ⅱ
担当者名	小山 一乘 <small>こやま かずのり</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講は、①講義、②模擬授業(7月以降、各自50分)、③模擬授業分析、④他教科・他領域との連関研究(各教科・総合的学習の時間・道徳・特別活動等との連関)の4で構成する。

「宗教科教育法Ⅱ」は、これに先行しての履修が前提である「宗教科教育法Ⅰ・宗教科教育法」を承けて、授業を進める。すなわち教育課程上の教科「宗教(科)」の、教科体系、目標、内容の基礎・基本等は既習であることを前提とする。

本講では、各受講生が、中学校の宗教科に十分に備えられるように、知識・理解度事項、態度的事項、技能的事項の精義を講義し、教育実習等教育実践をめざす受講生に、模擬授業を通して広い深い実践研究を課す。用意周到な年間学習指導計画を立て、そこから絞り込んだ本時の学習指導(計画)案作成指導を経て、模擬授業の具体的な指導を行う。模擬授業はビデオ収録し各自の授業分析の鏡利用に供する予定である。

講義の内容／授業スケジュール

前期(4～7月)は講義で、①いわゆる国立・公立・私立のそれぞれの中学及び高校の教育の意義。②宗教科の成立。③教授概念検討(宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、宗教的寛容教育、対宗教安全教育)。④「宗教科教育」の教授概念検討(事実に言明・規範的に言明、行動的解釈・非行動的解釈)。⑤宗教の定義考。⑥「4つの宗教どこがちがう」考。⑦社会科、地理歴史科、公民科、道徳、特別活動、総合的学習の時間等における宗教(的)教材の取り扱い⑧史資料の選取選捨の判断規準・基準、マルチ・メディア活用⑨宗教科教育と教育観(開発主義か注入主義か、本覚か始覚か、学習論か教育論か、自力か他力か)、⑩教育観と学習指導計画と学習指導案の様式⑪学習指導案の用語についての講義⑫評価の意味⑬学習指導案(略案・細案)作成の具体的方法の講義。前期(7月～後期終了まで)は、模擬授業(50分)と授業分析討議(ビデオの鏡利用)。

履修上の留意点

個々の宗教・宗派の独自性について、生徒たちが、客観的捕捉、主観的捕捉の両方が自在に出来るような指導が出来るかの自己点検をすること。教える題材は、各教科等の随所に既存していることに留意し、また、地域や学校の特色、生徒の興味・関心の特性、国際理解、情報、環境、福祉、健康にも留意すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

模擬授業実践状況(含学習指導案)、授業分析討議状況、レポート、出席状況

①監修櫻井秀雄・大山興隆、『仏教概論—わかりやすい仏教—』、曹洞宗宗務庁、平成7年

②『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』

参 考 書
そ の 他

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』(大法輪閣、1,600円)、適宜指示資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

履修コード	022811・022812
科目名	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法
担当者名	久保田 實 <small>くぼた みのる</small>

講義の到達目標(ねらい)

中学校・高等学校の国語教育の成立・意義・目標・内容などについてしっかりとした自覚を持つように努める。国語の具体的な授業に関する指導法について学びながら、実際の教材によって、教材研究・指導事項、指導方法、指導過程等についての基礎を学ぶ。そして模擬授業をしながら体験的具体的に指導法を深めながら、授業実践に関する指導力を養成する。

講義の内容／授業スケジュール

〈前期〉①国語教育の限界と可能性、危険性と必要性、過去と現況の確認。

②国語教育の方法、実践に関する先人の試みを知り、その意義を探る。

〈後期〉③国語教育実践の準備(模擬授業)

①②は、教科書・プリント・参考資料等を用いて講義形式で行う(前期)。

③は、実際に教材研究をしたり、指導案を作成し提出するなどの課題形式と、実際の教材による模擬授業(グループにより全員参加)の形式で行う(後期)。

前期・後期ともに基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点
成績評価の方法

出席・課題提出・模擬授業の積極的参加を重視する。

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書／テキスト

全国大学国語教育学会編新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)2,310円(税込み)

参 考 書

その都度指示する。

履修コード	022911
科目名	国語科教育法Ⅱ
担当者名	<small>くぼた みのる</small> 久保田 実

講義の到達目標(ねらい)	「国語科教育法Ⅰ」の講義を受けて、国語教育の過去・現在を見つめ、教材研究・教材分析を中心に、指導事項・指導方法・指導過程等の可能性について研究を深め、情報化社会を見すえながら、国語の授業の構想力・指導力を養成する。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の三項目を中心に前・後期の授業を進める予定 (前期) ①中学校(高等学校)の国語科の現状を確認し、国語教育のあり方を考察する。 ②上記をふまえて、国語教育の過去に学びながら、授業のありようを考察する。 (後期) ③授業技法の多様な流れに学びながら、コンピュータやインターネットの利用も視野に入れた授業を構想する(指導案並びにレポートの作成)。 ①については教科書・プリント等を用いて、パワーポイントや、課題用ファイルを使いながら行う。 ②③については、教科書は使用せず、パワーポイントや配布の資料ファイルをもとに必要な解説を行う。最後に、その後にパワーポイントやインターネットを使った教材や授業の開発などを行う。また上記のほか基礎学力の点検にも配慮する(随時小テストなどの形式で実施予定)。出来るだけコンピュータを使って授業を展開することで、これからの新しい授業に触れるように展開したい。
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること。なお、中学校・高等学校で使用した教科書・副読本を手元に置いて必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	出席状況、授業の参加態度、提出物、随時の小テスト等により総合的に評価する。 新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』(「国語科教育法Ⅰ」で使用のものと同じ) その都度指示・紹介する。

履修コード	023001
科目名	書道科教育法
担当者名	<small>なす たかよし</small> 那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい)	長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。
講義の内容／ 授業スケジュール	文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。又、書道の基礎的知識を広く理解する。
履修上の留意点	遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	出席及び随時レポートの提出により評価する。 『大学書写書道教育』(第一法規出版)約2,000円 随時紹介する。

履修コード	031311・031312
科目名	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい) 中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法Ⅰでは、高校の内容を中心とする。

講義の内容／授業スケジュール 主に取り上げる内容は以下のとおりである。

1. 英語科教育の目標 (1)
2. 主な教授法 (2)
3. 言語材料と指導 (3,4)
4. 言語活動 (5,6)
5. 授業の展開 (7,8)
6. 模擬授業 (9-15) 模擬授業 (16-24)
7. 指導形態 (25)
8. 評価とテスト (26-28)
9. 教具・視聴覚機器 (29)
10. 教育と学習者 (30)

履修上の留意点 自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法 前期末・後期末のレポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教科書／テキスト 『新英語科教育の展開』(英潮社)

参考書 教場において指示する。

その他 授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	031401
科目名	英語科教育法Ⅱ
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい) 中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法Ⅱでは、中学の内容を中心とする。

講義の内容／授業スケジュール 主に取り上げる内容は以下のとおりである。

1. 英語科教育の目標 (1)
2. 主な教授法 (2)
3. 言語材料と指導 (3,4)
4. 言語活動 (5,6)
5. 授業の展開 (7,8)
6. 模擬授業 (9-15) 模擬授業 (16-24)
7. 指導形態 (25)
8. 評価とテスト (26-28)
9. 教具・視聴覚機器 (29)
10. 教育と学習者 (30)

履修上の留意点 自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法 前期・後期末のレポートおよび、授業内の発表で評価する。

教科書／テキスト 教場において指示する

参考書 『新英語科教育の展開』(英潮社)

その他 教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	042701・042702
科目名	社会科教育法Ⅲ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅰ
担当者名	生田 <small>いくた きよと</small> 清人

講義の到達目標(ねらい) 地理と歴史の授業をつくるために、私たちは、教師としてどのような力量（考え方・知識・技術など）を形成することが求められているのでしょうか。この授業では、この大きな課題を底流に、教師の仕事とは何か、学習とはどのような行為か、カリキュラムをつくるにはどのような考え方があるか、教材はどのようにつくるか、学力・評価とはどのように進めればいいのかなどについて、毎回、具体的な実践例を使って展開する予定です。また、この授業（社会科教育法Ⅲ）では、「授業をつくる」を一つ一つ分析する方向で展開し、後期・社会科教育法Ⅳではそれらを総合化する形で模擬授業や野外実習などの演習を中心に展開する、ひと続きの学習プログラムになっています。この授業は、まず、教育実習を成功させることを目標とし、さらに自分が調べたものを有効な方法で人（生徒に限らない）に伝えることと向き合っていくことを目標としています。それが、学校教育で必要とされる基本的な力量の形成だからです。

講義の内容／
授業スケジュール

（１）高校生に「地理・歴史を教える」しごととはどのようなものか、高校生に教える地理と歴史はどのような科目か、それぞれ具体的な事例をあげながら考えていきます。
（２）「授業をつくる」とはどのようなことか、まずコンセプトマップを使って授業のしくみ・構造を分析してみます。つぎに、教材研究を進めるために、地理と歴史の教科書を分析的に読むことを具体的な例や演習によって学習します。最後にそれらのまとめとして単元を構成したり学習指導案を作成したり、カリキュラムについて考えます。
（３）地理と歴史の授業で使う教材について、実際に教材プリントを作成しながら、学習内容や方法について考えていきます。また、「歴史新聞」・「空想旅行記」などのロールプレイングゲームや「遊牧民ゲーム」などのシミュレーションゲームなどを取り入れた授業についても実際にゲームをしながら考えていきます。
（４）地理と歴史の単元テストについて、実際に確認テストを作成しながら、学習内容や評価についてのさまざまな考え方と関連づけて考えていきます。また、それを発展させ、学校の地理と歴史の学力とは何かを考えます。さらに、生徒の評価だけでなく教師間で行なう教育評価や授業を改善する方法についても考えていきます。

成績評価の方法

（５）「総合的な学習の時間」に地理と歴史はどのようにつきあえばよいのか。具体的な実践例を紹介しながら考えます。後期（社会科教育法Ⅳ）には、演習をする予定です。
レポート（学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成する）の到達度評価と出席状況などによる評価を総合して行います。定期試験期間での試験は実施しません。詳細は、第１回の講義において説明します。

教科書／テキスト

授業では毎回教材（プリント）を配布する予定ですが、前年度に授業のレポートとして受講生が作った授業案・教材プリントなどをまとめた『地理と歴史の授業研究』を資料集として使います。資料集の購入・扱い方などについては第１回の授業で説明します。

そ の 他

また、次の①と②を教科書（指定図書）、③と④を参考図書とします。参考になる図書は、これ以外にも授業の中で随時紹介します。
① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』（学術図書出版）
② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』（学術図書出版）
③ 臼井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』（学文社）
④ 加藤西郷・吉岡真左樹編『社会・地歴・公民科教育論』（高学出版）
高校で自分が使用した世界史・日本史・地理の教科書および参考書類を準備してください。授業で使用しますが、その時期などについては第１回の授業で説明します。

履修コード	042901・042902
科目名	社会科教育法Ⅲ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅰ
担当者名	櫻井 明久

講義の到達目標(ねらい)	中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理教材の取り扱いを通じて概説し、実践を試みる。なお、この授業は後期に行われる桜井担当の社会科教育法Ⅳとセットで授業計画がなされているので、あわせて受講すること。
講義の内容／授業スケジュール	おおよその内容は、以下の通りである。 ①地理教育の目標（1～4） ②マイクロティーチング（5～7、9～11） ③教授方法上の工夫（8） ④指導案の作成（12～）
履修上の留意点	各自マイクロティーチングを試み、(前期のみの受講生は加えて模擬授業を行うことになるので事前に申し出ること) など、実際に授業を試みてもらうので、責任ある積極的な参加が必要である。まずは、学期最初3回の授業には必ず出席し、授業計画を確認するとともに担当日時を割り振りを受けること。特にこの間に教育実習で欠席することが確実な場合には、最初の授業で指示を行うので注意すること。学期はじめに休まざるを得ないときには、事前に連絡を取ること。また、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されないので、とくに注意すること。分担日に不都合が予想できるなどの場合は、事前（2週間以上前）に連絡し、相談すること。仲間の授業を観察し、反省に参加することが非常に重要であるので、出欠は厳しい。教科書を読み、それをもとにレポートを作成し、意見交換を行う。レポート提出期限は厳守すること。
成績評価の方法	出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など60点 教科書読書レポート20点 期末試験20点
教科書／テキスト	櫻井明久『地理教育学入門』1999年（古今書院）全242頁

履修コード	057301・057302
科目名	社会科教育法Ⅲ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅰ
担当者名	藤木 正国

講義の到達目標(ねらい)	高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案作成や模擬授業などを重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、その前提として日本教育制度の変遷（古代から明治）や高等学校学習指導要領—地理歴史編—の解説も講義する。
講義の内容／授業スケジュール	日本教育制度の変遷（古代から明治）（1～3） 学習指導案の作成、教材研究の仕方（4～6） 高等学校学習指導要領—地理歴史編—の解説（7～8） グループ別の模擬授業（9～15）
準備学習	学習指導案の作成と教壇での授業が重点となりますので、『日本史B』・『世界史B』の教科書の興味・関心のあるところを、よく読んでおくことが効果的な事前学習となります。
履修上の留意点	受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。尚、授業計画上、後期の社会科教育法Ⅳおよび地理歴史科教育法Ⅱと連続して履修することが望ましい。
成績評価の方法	出席状況（重視）、提出物（学習指導案・模擬授業の感想等）、考査の3点を総合して評価する。
教科書／テキスト	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（4月以降指示します） 高等学校『日本史B』もしくは『世界史B』の教科書（何処の出版社でもかまわない）を一冊用意すること。
参考書	講義は全てプリントを配布して行う。

履修コード	042801・042802
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅱ
担当者名	生田 ^{いくた きよと} 清人

講義の到達目標(ねらい)

地理と歴史の授業をつくるために、私たちは、教師としてどのような力量（考え方・知識・技術など）を形成することが求められているのでしょうか。

この授業では、この大きな課題を底流に、社会科教育法Ⅲで学習したことを総合化する形で、模擬授業と演習を中心に展開する予定です。また、社会科学習でよくおこなわれる野外実習についても実際に野外実習を行って学習する予定です。

この授業は、まず、教育実習を成功させることを目標とし、さらに、自分が調べたことをどのようにすれば他者に伝わるのかということと向き合うことを目標としています。それが、学校教育で必要とされる基本的な力量の形成につながるからです。

講義の内容／
授業スケジュール

（１）高校生に地歴を教えることと中学生に社会科を教えることはどのようにちがうのか。まず、高校地歴と中学社会の学習指導要領を読みくらべたり、実際に行った教育実践の実践例を使って展開します。

（２）これまでの授業の総合化の形として模擬授業を行います。年度によって回数は異なりますが、例年８～９回行います。また、毎回、授業者と生徒役に授業・学習の評価ポイントを設定して実施します。評価のポイントは、次のようなものです。

- (a) 学習指導案を作成し、それにもとづいて授業を展開できるか。
- (b) 教材プリントを作成し、それを使って授業を展開できるか。
- (c) ゲーム教材・歴史新聞・新聞記事を使った授業を計画・実施できるか。
- (d) 効果的な単元テストを作成し、学習評価ができるか。

（３）課題学習・野外実習など、教室での授業とは異なる学習形態での教科指導・学習指導や調べ学習・発表学習などの進め方や評価について、具体的な実践例を使って展開します。また、「総合的な学習の時間」についても、実際に野外学習を行い学習する予定です。

（４）模擬授業では、互いに評価しあって、授業を改善する方法について考えます。これは教師間で行う教育評価だけでなく、教育実習での研究授業にも応用できるものです。

成績評価の方法

レポート（学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成する）の到達度評価と出席状況、模擬授業などの演習の評価などによる評価を総合して行います。定期試験期間での試験は実施しません。詳細は、前期・後期の第1回の授業において説明します。

教科書／テキスト

この授業では、模擬授業を中心に展開するので、毎回、模擬授業者が作成する学習指導案と教材プリントを資料として配布します。社会科教育法Ⅲ（前期）で教科書とした①・②とは別に、この授業では④を教科書とし、①～③を参考図書とします。また、これ以外にも随時授業の中で紹介します。

- ① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』（学術図書出版）
- ② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』（学術図書出版）
- ③ 白井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』（学文社）
- ④ 加藤西郷・吉岡真左樹編『社会・地歴・公民科教育論』（高菅出版）

そ の 他

また、前期に資料集として購入してもらう『地理と歴史の授業研究』は、この授業ではテキストとしての役割が大きくなると思います。

高校で自分が使用した世界史・日本史・地理の教科書および参考書類を準備してください。授業で使用しますが、その方法などは第1回の授業で説明します。

実習校との打ち合わせをもとに学習すると教育実習につながる学習ができるので、後期が始まる前から実習校・担当教諭と打ち合わせを進めておくことが望ましい。

履修コード	043001・043002
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅱ
担当者名	櫻井 明久

講義の到達目標(ねらい)	中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理教材の取り扱いながら模擬授業を行うなどして実践的に学ぶ。なお、この授業は前期開講の桜井担当の社会科教育法Ⅲとセットになるように授業計画を組んでいる。前期から引き続き連続して授業をとるよう工夫すること。
講義の内容／授業スケジュール	おおよその内容は、以下の通りである。 ④指導案の作成（1） ⑤授業の研究と方法（2～4） ⑥模擬授業（5～11） ⑦地理教師の仕事（12～）
履修上の留意点	前期からの継続受講が基本である。後期からだけ受講する際には、特に、最初の授業第1回目に必ず出席すること。それは、授業第1回目に分担・グループとしての担当授業と担当日時を決めるからである。出席が不可能な場合には事前に、前期のうちに連絡すること。 グループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。また、担当日の欠席、担当の放棄等は仲間達へ迷惑を掛けるので、責任を持ってあたること。それが避けられないと予想される場合は、事前（2週間以上前）に連絡し、相談すること。また、仲間の授業を観察し、反省に参加することも非常に重要であるので、出欠は厳しく、授業の導入部への参加も重要なので遅刻についても厳しくチェックするので注意すること。
成績評価の方法	出欠・授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など60点
教科書／テキスト	教科書読書レポート10点 指導案作成20点 期末試験10点 桜井明久『地理教育学入門』1999年（古今書院）全242頁

履修コード	057401・057402
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅱ
担当者名	藤木 正国

講義の到達目標(ねらい)	高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案作成や模擬授業などを重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、日本教育制度の変遷（大正から戦後）や学習指導要領の変遷等も講義する。
講義の内容／授業スケジュール	日本教育制度の変遷（大正から戦後）（1～3） 学習指導要領の変遷（4～8） グループ別の模擬授業（9～15）
準備学習	学習指導案の作成と教壇での授業が重点となりますので、『日本史B』『世界史B』の教科書の興味・関心のあるところを、よく読んでおくことが効果的な事前学習となります
履修上の留意点	受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。尚、授業計画、前期の社会科教育法Ⅲおよび地理歴史科教育法Ⅰと連続して履修することが望ましい。
成績評価の方法	出席状況（重視）、提出物（課題レポート・模擬授業の感想）、考査の3点を総合して評価する。
教科書／テキスト	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（4月に指示します） 高等学校『日本史B』もしくは『世界史B』の教科書（何処の出版社でもかまわない）を一冊用意すること。
参考書	講義は全てプリントを配布して行う。

資格講座科目

履修コード	062401・062402・062601・062602
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、高等学校公民科（現代社会、政治経済、倫理）教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。
履修上の留意点	教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
成績評価の方法	最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
教科書／テキスト	使用するが、未定。
参考書	適宜、授業中に紹介する。

履修コード	113401・113402
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	やしき 谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい) 本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、公民科の授業について「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計や教材研究の仕方まで学び、自分が実際に公民科の授業を行うことを想定して教材を精選し、学習指導案が作成できるようにします。

本講は公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
- 2 教育の意義
- 3 社会科・公民科の意義と社会科の原点
- 4 高等学校の教育課程と社会科・公民科
- 5 社会科の成立 公民科・社会科委員会
- 6 初期社会科の教科構造
- 7 社会科の教科構造第3期 融合科目・系統科目
公民科の授業設計、学習指導案の意義と作成
- 8 社会科の教科構造第4期 経験主義から系統主義へ
学習指導案単元の目標・本時の指導目標・指導計画の意義と作成
- 9 社会科の教科構造第5期
公民科授業の動機づけと「導入」の意義・作成
- 10 社会科の教科構造第6期 高校社会科の再編成
公民科授業の展開過程「学習内容」の意義と作成
- 11 社会科の教科構造第6期
公民科授業の展開過程「学習活動」の意義と作成
- 12 社会科の教科構造第7期
公民科授業の展開過程「指導上の留意点」「資料」「時配」の意義と作成
- 13 社会科の教科構造第8期
公民科授業の「むすび」・評価・確認テストの意義と作成
思考力を育む公民科の授業
- 14 社会科の教科構造第9期 補充・発展学習
公民科授業の板書計画・教材研究の意義、教材の発掘
- 15 公民科の教育評価と公民科学習指導案の完成・提出
公民科前期授業総括・小テスト
公民科教員採用試験の準備と心構え、「特別演習」「サブゼミ」について

準備学習 日頃より新聞や雑誌を読み、教育・学校の動向のみならず、政治・経済・社会の動向に関心を持つこと。

履修上の留意点 (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
(2) ビデオ、DVD教材を使用します。視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法 (1) 課題提出、学習指導案の作成、出席、小テストなど総合的に評価します。
(2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教科書/テキスト (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
(2) 高等学校で使用している教科書『改訂版 現代社会』実教出版、570円
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書 以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照のこと。

- (1) 広瀬敏雄『生きる力としての問題解決力を育む授業』(黎明書房)、(2) 梶一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)、(4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(5) 谷敷正光他『社会科教育研究』(梓出版)
- (6) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)、(7) 高元厚憲『高校生と政治教育』(同成社)、(8) 木村博一『日本社会科の成立理念とカリキュラム構造』(風間書房)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)、(15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)。

履修コード	134501・134502
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	小川 光夫 <small>おがわ みつお</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代社会を様々な角度から考察するとともに現代社会の課題を主体的に追求し、人間としての在り方生き方について考える力を育成する。また「高等学校学習指導要領解説・公民編」の趣旨及び要点並びに各科目の目標、指導内容の取り扱い等について考察し、公民科の教材研究と授業研究を深める。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 社会科・公民科教育の変遷（6回）
 - ①社会科の成立・意義
 - ②社会科の変遷と公民教育
- 2 「学習指導要領公民科」の研究（6回）
 - ①公民科の目標
 - ②公民科各科目の基本的性格と目標
 - ③公民科各科目の構成
 - ④公民科各科目の内容の取り扱い
 - ⑤公民科各科目の指導計画の作成と指導上の配慮事項
 - ⑥各科目にわたる内容の取り扱い
- 3 授業実践事例研究（3回）
 - ①各科目の課題と内容
 - ②各科目の教材研究と授業研究の方法
 - ③各科目の学習指導案づくり

準備学習
履修上の留意点

必要なのは授業時に随時指示をする。
高等学校公民科の基礎知識が必要なので予め22年度使用の「現代社会」「政治・経済」及び「倫理」の教科書及び資料集を購入し、予習をしておくこと。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。
文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』（実教出版）を購入する。231円
必要な参考書は授業時に随時指示をする。
レポート課題については授業時に説明する。

履修コード	062501・062502・062701・062702
科目名	社会科教育法Ⅵ（公民） 公民科教育法Ⅱ
担当者名	橋爪 敏 <small>はしづめ ともし</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業は、高等学校公民科（現代社会、政治・経済、倫理）教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
使用するが、未定。
適宜、授業中に紹介する。

履修コード	113501・113502
科目名	社会科教育法Ⅵ（公民） 公民科教育法Ⅱ
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい) 後期は、授業実践に必要な授業展開の仕方、発問の仕方、板書法などの基本的指導技術や教材開発など実際的能力を修得し、各自が立てた授業設計・学習指導案をもとに公民科の模擬授業を実践する。授業実践を通じて教育実習に備えるとともに公民科教師としての資質・力量形成につとめます。本講は前期、後期の授業で公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
高等学校公民科のねらい
- 2 高等学校公民科「現代社会」の内容構成と授業の配慮事項
- 3 高等学校公民科「政治経済」の内容構成と授業の配慮事項
- 4 高等学校公民科「倫理」の内容構成と授業の配慮事項
公民科の学習形態
- 5 公民科授業技術 机間巡視・机間指導法
- 6 公民科授業技術 教材開発と教材の活用
- 7 公民科授業技術 板書計画と板書法
- 8 公民科授業技術 発問の仕方と問答法
- 9 模擬授業の意義と学習指導案の立案、(授業研究)模擬授業の実施方法と諸注意・実施要領、(授業研究)4年生の模範授業
- 10 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 11 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 12 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 13 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 14 (授業研究)公民科教師による模範授業 できれば授業参観(予定)
- 15 実践した模擬授業の評価、後期授業の総括と小テスト、教育実習と公民科の授業、
高等学校公民科教師論、
公民科の教員採用試験の準備、「特別演習」と「サブゼミ」

準備学習

日頃より新聞や雑誌を読み、教育・学校の動向のみならず、政治・経済・社会の動向に関心を持つこと。

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVDなどを利用します。視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、模擬授業の実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書／テキスト

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂 版現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書

以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照して下さい。
(1) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』、(明治図書) (2) 上条晴夫『図解・よくわかる授業上達法』(学陽書房) (3) 加藤辰雄『板書のしかた・ノート指導』(学陽書房)、(4) 上条晴夫『教師の話し術』(たんぼ出版)、(5) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(6) 関根正明『教師のちょっとした口のきき方』(学陽書房)、(7) 大西忠治『発問上達法』(民衆社)、(明治図書)、(8) 浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)、(15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)

履修コード	134601・134602
科目名	社会科教育法Ⅶ（公民） 公民科教育法Ⅱ
担当者名	小川 光夫 <small>おがわ みつお</small>

講義の到達目標(ねらい)	様々な授業実践事例を示しながら学習指導案の作成について考察する。また模擬授業を通して公民科の実践的な指導力を養う。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 学習指導事例と授業実践報告を取り上げ、考察する。(1回) 2 各科目のシラバス及び学習指導案の作成と観点別評価について理解を深める。(1回) 3 学習指導案に基づく模擬授業を行う(13回)
準備学習 履修上の留意点	必要なことは授業時に随時指示をする。 実践的な力量形成を図ることを目的としているので、意欲的・積極的な取り組みを行うこと。 出席状況、模擬授業、学習指導案、レポート等で総合的に評価する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』（実教出版 231円）及び平成22年度使用の公民科各科目の教科書。なお高等学校で使用している「現代社会」「政治・経済」「倫理」の教科書については別途受講時に指示をする。
参考書	必要な参考書は授業時に随時指示をする。
その他	受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行う。

履修コード	088401
科目名	社会科教育法Ⅰ
担当者名	磯山 進 <small>いそやま すすむ</small>

講義の到達目標(ねらい)	戦後新たに設置された社会科の意義ならびに社会科が今まで果たしてきた役割について考察する。そして現行学習指導要領に示されている社会科の目標や各分野の目標及び内容等について認識を深め、その目標を具現化するための授業の在り方を研究する。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 社会科教育の成立と歴史の変遷(2回) 2 社会科の目標と構造(1回) 3 地理的分野の目標と内容構成(1回) 4 歴史的分野の目標と内容構成(1回) 5 公民的分野の目標と内容構成(1回) 6 指導計画の作成と内容の取扱い(1回) 7 学習指導案の作成と評価の方法(1回) 8 学習指導案の作成と指導の方法(1回) 9 学習指導案の作成と模擬授業(6回)
履修上の留意点	各自の専門領域における知見を活用することはもとより、社会科の指導に必要とされる広い視野を養うために、社会科の各分野に関心を持ち、教材の研究、開発に努めること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席状況、レポート、定期考査等で総合的に評価する。 文部科学省『中学校学習指導要領 解説—社会編—』（日本文教出版）175円 他に中学校社会科各分野の教科書を用意すること。教科書については授業の際に指示する。
参考書	長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のり・デザイン』（東洋館出版社） 佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三晃書房） 臼井・柴田編著『社会・地歴・公民科教育法』（学文社）
その他	1～9回は講義中心、10～15回は模擬授業と授業研究で行う。

教職課程
資格講義科目

履修コード	088501
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	いぞやま すずむ 磯山 進

講義の到達目標(ねらい)	社会科教育法Ⅰに続いて、社会科教育法Ⅱでは特に実践的指導力を養うことを目標とする。そのために各分野ごとの指導計画の作成、学習指導の工夫、教材研究と教材開発ならびに模擬授業等を通して授業構成能力の向上を図る。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 観点別評価を踏まえた学習指導案と授業の事例研究—各分野ごと— (3回) 2 教材研究とカリキュラム開発 (1回) 3 単元の指導計画の作成と評価の観点 (1回) 4 学習指導案を踏まえた模擬授業と授業研究 (9回) 5 まとめ—社会科教育を考える (1回)
履修上の留意点	実践的指導力を高めることが主な目標なので、教材の研究と開発、指導法の工夫、模擬授業と授業研究に意欲的に取り組むことを期待する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席状況、授業への参加態度、レポート、定期考査等で総合的に評価する。 文部科学省『中学校学習指導要領 解説—社会編—』(日本文教出版) 175円 なお、中学校社会科各分野の教科書を用意すること。
参 考 書	長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のり・デザイン』(東洋館出版社) 佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』(三晃書房) 臼井・柴田編著『社会・地歴・公民科教育法』(学文社)
そ の 他	1～5回は講義中心、6～14回は模擬授業と授業研究、15回は講義中心で行う。

履修コード	088601・088801
科目名	社会科教育法Ⅰ
担当者名	おがわ みつお 小川 光夫

講義の到達目標(ねらい)	『中学校学習指導要領解説・社会科編』を活用して、中学校学習指導要領の改訂の経緯、及び社会科の目標と内容、その取り扱いについて考察し、社会科の授業づくりについて検討する。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 社会科改訂の趣旨及び要点 (3回) 2 教育基本法の改正と教育目標 (1回) 3 社会科の目標及び内容 (2回) 4 社会科各分野の目標及び内容 (2回) 5 社会科各分野の内容の取り扱い (2回) 6 社会科各分野の指導計画の作成上の配慮事項 (2回) 7 社会科各分野の資料等の活用と作業的、体験的な学習 (1回) 8 政治及び宗教に関する事項の取り扱い (1回) 9 社会科各分野の学習指導案の作成及び社会科の授業づくり (1回)
準備学習 履修上の留意点	必要なことは授業時に随時指示をする。 しばらくの間、プリント授業を行うが『中学校学習指導要領解説・社会科編』を使用するので必ず購入し学習しておくこと。また中学校の「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の平成22年度使用の教科書及び資料集を準備すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。 文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』日本文教出版 175円
参 考 書	必要な参考書は授業時に随時指示をする。
そ の 他	レポート課題については授業時に説明する。

履修コード	088701・088901
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	小川 光夫 <small>（おがわ みつお）</small>

講義の到達目標(ねらい) 授業実践事例を示しながら先進的・魅力的な授業方法について考察し、年間指導計画と観点別評価を踏まえたバランスの取れた学習指導案を作成する。また模擬授業を通してより実践的な指導力を養う。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 学習指導事例や授業実践報告等について（1回）
- 2 各科目のシラバスの作成と観点別評価について（1回）
- 3 教材研究と学習指導案の作成について（1回）
- 4 学習指導案に基づく模擬授業について（12回）

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

必要なことは授業時に随時指示をする。
実践的な力量形成を図ることが目的であり、意欲的・積極的な取り組みを行うこと。
出席状況、模擬授業、レポート、学習指導案等で総合的に判断する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』（日本文教出版 175円）及び平成22年度使用の公民科各科目の教科書。なお公民科各科目の教科書については別途受講時に指示する。

参 考 書
そ の 他

必要な参考書は授業時に随時指示をする。
受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行う。

履修コード	089001
科目名	社会科教育法Ⅰ
担当者名	二井 正浩 <small>（にい まさひろ）</small>

講義の到達目標(ねらい) 「社会科教育法Ⅱ」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。

具体的には、「社会科教育法Ⅰ」では、中学校社会科の学習指導要領、代表的な社会科論や授業実践などについて考察し、社会科教育の現状と課題を明らかにする。

「社会科教育法Ⅰ」では、主に「社会科」の原理について扱う。①社会科の基本的性格（2時間）、②アメリカにおける社会科の成立（1時間）、③日本における社会科の成立（2時間）、④社会科教育をめぐる論争（5時間）、⑤中学校社会科カリキュラムの特色（2時間）、⑥社会科における評価（2時間）、⑦前期のまとめ（1時間）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいることではなく、参加することであるということ、忘れないように。
レポート、授業への出席などで総合的に評価する。

未定
森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、2,620円＋税
森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』明治図書、2,660円＋税
基本的には講義形式でおこなう。

履修コード	089101
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	二井 正浩 <small>（にい まさひろ）</small>

講義の到達目標(ねらい) 「社会科教育法Ⅱ」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。

具体的には、「社会科教育法Ⅱ」では、教材研究、授業設計および評価の実践的能力を身に付けることを目標としている。

「社会科教育法Ⅱ」では、主に「社会科」の授業づくりについて扱う。①社会科教材研究の理論と方法（5時間）、②社会科授業開発の実践分析（5時間）、③社会科授業構成の理論（4時間）、④後期のまとめ（1時間）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいることではなく、参加することであるということ、忘れないように。
レポート、学習指導案、授業への出席などで総合的に評価する。

未定
森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、2,620円＋税
森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』明治図書、2,660円＋税
基本的には講義形式でおこなう。

教職課程
資格講座科目

履修コード	070801
科目名	福祉科教育法
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい)	本授業は、人権教育を含む福祉科教育の目的、福祉科の各科目の内容、授業計画、教材研究、授業の基本的指導技術等への理解を深め、福祉科教師としての資質の向上を目指すことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 導入（授業のすすめ方）（第1回） 2 人権教育と福祉科教育の目標（第2回～第3回） 3 学習指導要領の理解（第4回～第5回） 4 授業計画の立案（第6回～第8回） 5 授業の組み立ての理解（第9回～第12回） 6 教材研究と開発・資料の活用（第13回～第15回） 7 授業指導案の作成（第16回～第22回） 8 模擬授業（第23回～第29回） 9 総括（第30回）
履修上の留意点	この授業は福祉科教師を目指す上で不可欠な科目である。授業では、各自が作成した授業指導案（教案）に沿って、ロールプレイによる模擬授業を実施し、それをもとに議論していくため、無断欠席は厳禁である。
成績評価の方法	教案の提出（50％）、模擬授業の実施（30％）、授業への出席状況及び授業態度（20％）による評価とする。
教科書／テキスト 参 考 書	桐原宏行編著、『福祉科教育法』、三和書籍、ISBN4-916037-63-4 C3036、2,400円＋税 授業中、必要に応じて紹介する。

履修コード	113301
科目名	商業科教育法
担当者名	黒葛原 正展

講義の到達目標(ねらい) 高等学校商業科の教師を目指す学生が、商業教育に関する基礎的知識を学習すると共に、商業科の教師として備えておくべき指導方法・指導技術を習得する。

「教育とは」「商業教育とは」から「社会における商業の役割」、「商業教育の役割」まで学習し、講義と演習により、商業教育の専門家の養成と資質の向上を図る。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 商業教育の意義
2. 商業の活動と商業教育
3. 商業教育の草創
4. 商業教育の変遷(昭和20年まで)
5. 商業教育の変遷(昭和20年以降)
6. 前回学習指導要領の理解(総則)と学習指導要領の理解(商業)
7. 教育基本法の改訂と商業教育
8. 教育三法の改定と商業教育
9. 新学習指導要領の理解(総則)
10. 新学習指導要領の理解(商業)
11. 中央教育審議会答申「生きる力」とは
12. 平成21年度からの教育課程
13. 平成21年度からの商業教育
14. 商業各科目の指導目標と指導内容
15. 商業各科目の指導法・指導技術と評価
16. 年間指導計画と年間授業計画
17. 学習指導案の作成について
18. 教科書研究-1(必修科目、総合科目)
19. 教科書研究-2(簿記・会計科目、情報科目)
20. 新学習指導要領改訂による新科目の指導目標と指導内容
21. 新しい学力観と評価
22. 模擬授業案の作成について
23. プレゼンテーションと授業
24. 模擬授業
25. 模擬授業
26. 模擬授業と評価
27. 商業教育の成果と課題
28. 商業教育の展望
29. 商業科の教育実習
30. 教員採用試験に向けて

履修上の留意点

本講座は、商業科教師を目指す者が学ぶものである。単に単位を修得すれば良いものではなく、積極的に学習し、多くを吸収しようとする熱意が必要である。

本講座では、パソコンを使用するので、履修する前にワード、パワーポイントは操作できるようにしておくこと。

成績評価の方法

授業への参加意欲、態度、課題提出、模擬授業、授業内テストなどによって評価。定期試験、追試験はおこなわない。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

黒葛原正展、他 共著、「教職必修 新商業科教育法」(実教出版)
新簿記(実教出版)、ビジネス基礎(実教出版)、その他、必要に応じて紹介する。
授業は講義方式および演習方式、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	438801
科目名	英語科教育法 I a
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(ねらい)

グローバル・メディア・スタディーズ学部の「英語科教育法」は、日本語を母語とする中学生、高校生が、さまざまな言語を話す人たちと、意思疎通し、理解しあうために必要な『共通語としての英語』を教える英語教師を目指す学生が修得しておくべき科目、と位置づけています。

講義の内容/
授業スケジュール

第1週～第3週

1945年以降の日本の中等教育（中学校・高等学校）の外国語教育学習指導要領について考察する。学習指導要領（外国語一英語）を文科省 web site から download して、日本の英語教育の指導目標、指導の概要および変遷をつかむ。

参考：『世界の外国語教育政策』大谷泰照（他）編著 pp158-193, 東信堂出版

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm

<http://www.nicer.go.jp/guideline/old/>

第4週～第7週

第7回改訂（平成20年/2008年3月28日「新学習指導要領」（小・中学校）告示、小学校は2009年から移行措置、2011年から完全実施、中学校は2012年から完全実施。高等学校は2009年3月9日改訂指導要領告示。小学校5・6年から外国語（原則として英語）活動を必修化）により、英語教育がどのように変わるのか、を考察する。第6回改訂の現行中学校、高等学校の外国語（英語）学習指導要領英語版（Elementary and Secondary Education: The Course of Study for Foreign Languages）を以下のサイトから download し、新指導要領との違いに焦点を当てる。

<http://www.mext.go.jp/english/shotou/030301.htm>

<http://www.nicer.go.jp/lom/program/search/guidelineforteaching.php?kind=juniorh...>

新しい学習指導要領中学校外国語（英語）および高等学校外国語（英語）は http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/index.htm から download する。

第8週～第10週

高等学校の学習指導要領を中心として、英語を教えるために必須の音声、音韻、語彙、形態、文法上の基礎知識を technical term を含め復習する。

第11週～第14週

英語の教授法を e-learning を含め研究する。

第15週

英語授業の実践＝模擬授業のための準備。

① Ia の履修が IIa, IIb, IIc 履修の前提となります。

② 教場で Internet にアクセスし、資料等を websites から download するので PC を持参すること。

③ GMS の授業支援サイトの英語科教育法 Ia ページにハンドアウト等必要な情報を掲載するので毎回必ず確認すること。

授業中の課題発表（40%）と提出課題レポート（60%）を総合して評価点を出します。

GMS 授業支援サイト (moodle) に掲載します。

・『世界の外国語教育政策』大谷泰照（他）編著 東信堂出版

・大谷泰照 『日本人にとって英語とは何か』大修館書店 2007年

・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』岩波科学 ライブラリー 100 岩波書店 2004年

・白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年

・Close, R.A. A Reference Grammar for Students of English. Longman. 1975.

・Close, R.A. A Teachers' Grammar: The Central Problems of English. Language Teaching Publications. 1992. Reprinted 1994, 1998. First published under the title of English as a Foreign Language (3rd edition) Longman. 1981

・デニス・キーン、松浪有 Problems in English: An Approach to the Real Life of the Language

(『英文法の問題点：英語の感覚』) 研究社 1969年初版、2005年30刷発行

・Richard Moe's Sound Studies and the other programs (the Write It Right etc) in Study Suite.

・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年

・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年

・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年

・小寺茂明・吉田晴世 編著 『英語教育の基礎知識：教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年

・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力」を高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年

・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年

<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

関連リンク

教職課程
資格講座科目

履修コード	438911
科目名	英語科教育法 I b
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(わらい)

『英語科教育法 Ia』で考察する、英語教育についての理想像を基にして、教授法を考え、授業を実践してみる。

高等学校で英語を教えるための準備と位置付け、授業の実践を中心とします。担当者は授業計画・teaching plan を作成し、模擬授業を行います。50分の授業を、高等学校の英語免許状のみの取得予定者は team teaching を含め2回、中学校の英語免許状も取得予定の者は1回、実際に担当します。担当者以外の他の受講者は生徒役であると同時に、授業の観察者の役割も果たします。観察した授業について評価、批評します。模擬授業後に議論し、講評しあいます。

講義の内容/
授業スケジュール

第1週～第2週

前期末の Assignment 2 で考察した、英語の教授法(前期 Ia 授業支援システムのページ参照)および e-learning (同上参照)をプラスした英語教育の方法から、理想とする教授法を提起してみる。特に、「英語で教える」という課題に取り組むにはどのような工夫が必要かを考えてみる。

第3週～第5週

(1) 模擬授業に使用する英語教科書の選定と教材研究。文科省 website: 高等学校用教科書目録(平成22年度使用)を参照する。また、教育実習先の高校で使用予定の教科書を調べ、教科書の「年間カリキュラム案」を教科書会社のサイトからダウンロードし、教科書全体の構成を調べる。

(2) 授業の準備・組み立て方: teaching plan, lesson plan (授業案, 指導案)の作成に取り掛かる。1時限(50分)の授業をどのように行うかを示す授業案をあらかじめ準備し書いておく。

必要な項目は ①教材の提示、②授業の主な狙い、その教材で何を教えたいのか、その教材の内容を通して生徒に何を伝えるのか、言語材料で取り扱う文法項目の明示等の教材観 ③当該授業が単元のどの部分に相当するか ④担当する授業時の指導計画: 1時間の授業を「導入」→「展開」→「まとめ」に分けて、授業の流れを把握しておく。さらに、授業で教える生徒の英語学習意欲の度合、生徒が教師をどのようにみているか等も配慮し、授業計画案を作成する。

・以下にあげる、担当する授業時の指導案の一般的な構成要素: 中心となる7要素と時間配分を参考とする。

- ① Warm-up (3 to 5 min)
- ② Review (5 to 10 min)
- ③ Introduction to new material (10 to 15 min)
- ④ Practice (10 to 15 min)
- ⑤ New Words (5 to 10 min)
- ⑥ Reading (10 to 15 min)
- ⑦ Consolidation (3 to 5 min)

(3) 模擬授業担当一覧表の作成。

第6週～第14週

1時限の授業の teaching plan に基づき、50分の模擬授業を順次担当する。模擬授業実施後、受講生全員が、模擬授業について、評価と助言を中心とした discussion を行う。

模擬授業50分、講評・評価用紙の記載10分、授業についての discussion 30分。

各担当者の授業計画は模擬授業実施週の月曜日までに提出し、修正後、GMS 授業支援サイトの「英語科教育法 Ib」ページの該当週に掲載します。

第15週

模擬授業の総括と教育実習に向けての取り組みについて。

履修上の留意点

- ①英語科教育法 Ia が履修済みであることを前提とします。
- ②教場で Internet にアクセスするので PC を持参すること。
- ③ GMS の授業支援サイトの英語科教育法 Ib のページを毎回必ず確認して授業に臨むこと。

成績評価の方法

担当する模擬授業を授業計画の準備段階を含めて評価し、授業観察に基づく講評及び discussion への積極的参加とあわせて、総合した評価点数を出します。模擬授業を 60%、講評等を 40% の割合を目安とするが、授業観察の講評提出が 6 回以上であることを条件とします。

教科書/テキスト

GMS 学部授業支援システムの英語科教育法 I b のページに掲載します。

参考書

Ia, IIa で挙げたもののうち、特に以下の参照が役立ちます。

- ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人: 第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー 100 岩波書店 2004年
- ・白井恭弘 『外国語学習の科学: 第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年
- ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
- ・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年

- ・米山朝二 『英語教育指導法事典』 研究社 2003年
- ・小寺茂明・吉田晴世 編著『英語教育の基礎知識：教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
- ・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力を」高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年
- ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年

使用教科書に関する情報については、以下の URL から検索できます。

<http://www.textbook.or.jp> (社団法人 教科書協会)

<http://www.textbook.mext.go.jp>

<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

関連リンク

履修コード	439001
科目名	英語科教育法Ⅱa
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(ねらい)

グローバル・メディア・スタディーズ学部の「英語科教育法」は、日本語を母語とする中学生、高校生が、さまざまな言語を話す人たちと、意思疎通し、理解しあうために必要な『共通語としての英語』を教える英語教師を目指す学生が修得しておくべき科目、と位置づけています。特にⅡaは中学校の英語教育の指導を中心に考察します

講義の内容／
授業スケジュール

『英語科教育法Ⅰa』の授業(金曜1時限)の履修を前提とし、日本の中学校の英語教育の全体像を把握し、中学生に英語を教えることの重要性・留意点等を考察します。

第1週～第4週

『英語科教育法Ⅰa』で扱う1945年以降の日本の中等教育(中学校・高等学校)の外国語教育学習指導要領について、中学校の学習指導要領(現行英語版 Elementary and Secondary Education: The Course of Study for Foreign Languages)をさらに詳しく考察する。特に初修外国語教育を現行学習指導要領の枠内で検討します。

第5週～第9週

『新学習指導要領』(小学校は2009年から移行措置、2011年から完全実施、中学校は2012年から完全実施)で小学校5・6年から外国語(原則として英語)活動の必修化により、小学校の学習に配慮した、中学校の英語教育導入がどのように変わるのか、考察します。新しい学習指導要領小学校外国語(英語)を

http://www/mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/shyou/gai.htm から download し、さらに教材[英語ノート]と合わせて、検討します。同時に、新しい学習指導要領中学校外国語(英語)がどのように変更されているかにも注目します。

第10週～第13週

小学校5・6年からの外国語(原則として英語)活動の必修化により、一定の導入教育を受けた生徒に英語を教える“中学校英語教師”として必須の音声上(調音・アクセント・リズム・リエゾン・短縮・フレーズ・イントネーションなど)の訓練と音声から文字、さらに文へと指導を展開していくために必要な音韻、語彙、形態、文法上の基礎知識を専門用語を含め復習します。

第14週～第15週

『英語科教育法Ⅰa』で扱う、英語のさまざまな教授法から、特に初修および導入教育に適した教授法を研究します。英語授業の実践=模擬授業のための準備も合わせて行います。

履修上の留意点

①Ⅰaの履修を前提とする。

②教場でInternetにアクセスし、資料等を websites から download するのでPCを持参すること。

③GMSの授業支援サイトの英語科教育法Ⅰaページにハンドアウト等必要な情報を掲載するので毎回必ず確認すること。

成績評価の方法

課題発表(40%)と提出課題レポート(60%)の成績を総合して評価点数を出します。

教科書/テキスト

GMS 学部授業支援サイト(moodle)の英語科教育法Ⅱaのページに掲載します。

参 考 書

- ・『世界の外国語教育政策』大谷泰照(他)編著 東信堂出版
- ・大谷泰照 『日本人にとって英語とは何か』大修館書店 2007年
- ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人:第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
- ・白井恭弘 『外国語学習の科学:第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年
- ・Close, R.A. A Reference Grammar for Students of English. Longman. 1975.
- ・Close, R.A. A Teachers' Grammar: The Central Problems of English. Language Teaching Publications. 1992. Reprinted 1994, 1998. First published under the title of English as a Foreign Language (3rd edition) Longman. 1981
- ・デニス・キーン、松浪有 Problems in English: An Approach to the Real Life of the Language (『英文法の問題点:英語の感覚』) 研究社 1969年初版、2005年30刷発行
- ・Richard Moe's Sound Studies and the other programs (the Write It Right etc) in Study Suite.
- ・ジョセフ・クラボッタ、ほか 『英語の発音 楽しい練習帳』英光社 2007年第7刷(初版1999年開文社)
- ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
- ・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年
- ・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
- ・小寺茂明・吉田晴世 編著 『英語教育の基礎知識:教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
- ・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力」を高めるために:授業分析からの提言』三省堂 2005年
- ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学:英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年

関 連 リ ン ク

<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

履修コード	439111
科目名	英語科教育法Ⅱb
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(ねらい)

『英語科教育法Ⅱa』で考察する、中学校レベルの英語教授法から、理想とするモデルを想定し、実践してみる。特に初習者への英語導入教授法の工夫を主眼とする。

中学校で英語を教えるための準備と位置付け、授業の実践を中心とします。担当者は授業計画・teaching planを作成し、模擬授業を行います。50分の授業を、1～2回、実際に担当します。模擬授業担当者以外の他の受講者は生徒役であると同時に、授業の観察者の役割も果たします。観察した授業について評価、批評します。模擬授業後に議論し、講評しあいます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1週～第2週

前期末の Assignment 2 で考察した、英語の教授法および e-learning をプラスした英語教育の方法から、理想とする教授法を提起してみる。特に、「英語で教える」という課題に取り組むにはどうするかを考える。

第3週～第5週

以下の(1)～(3)を中心とする。

(1) 模擬授業に使用する英語教科書の選定と教材研究。[中学校英語教科書] Sunshine English Course (開隆堂) New Horizon English Course (東京書籍) New Crown English Series (三省堂) など7種類21冊を比較検討してみる。また、教育実習先の中学校で使用予定の教科書を調べ、教科書の「年間カリキュラム案」を教科書会社のサイトからダウンロードし、教科書全体の構成を調べてみる。

(2) 授業の準備・組み立て方：teaching plan, lesson plan (授業案, 指導案)の作成に取り掛かる。1時限(50分)の授業をどのように行うかを示す授業案をあらかじめ準備し書いておく。

必要な項目は ①教材の提示、②授業の主な狙い、その教材で何を教えたいのか、その教材の内容を通して生徒に何を伝えるのか、言語材料で取り扱う文法項目の明示等の教材観 ③当該授業が単元のどの部分に相当するか ④担当する授業時の指導計画：1時間の授業を「導入」→「展開」→「まとめ」に分けて、授業の流れを把握しておく。さらに、授業で教える生徒の英語学習意欲の度合、生徒が教師をどのようにみているか等も配慮し、授業計画案を作成する。

・担当する授業時の指導案の一般的な構成要素：中心となる7要素と時間配分を参考とする。

- ① Warm-up (3 to 5 min)
- ② Review (5 to 10 min)
- ③ Introduction to new material (10 to 15 min)
- ④ Practice (10 to 15 min)
- ⑤ New Words (5 to 10 min)
- ⑥ Reading, Dialog (10 to 15 min)
- ⑦ Consolidation (3 to 5 min)

(3) 模擬授業担当一覧表の作成。

第6週～第14週

模擬授業 50分、講評・評価用紙の記載 10分、授業についての discussion 30分。各担当者の授業計画は模擬授業実施週の月曜日までに提出し、修正後、GMS 授業支援サイトの「英語科教育法Ⅱb」ページの該当週に掲載します。

第15週

模擬授業の総括と教育実習に向けての取り組みについて。

履修上の留意点

- ①英語科教育法Ⅱa,Ⅱa が履修済みで、Ⅱb を履修中であることを前提とします。
- ②教場で Internet にアクセスするので PC を持参すること。
- ③ GMS の授業支援サイトの英語科教育法Ⅱb のページを毎回必ず確認して授業に臨むこと。

成績評価の方法

担当する模擬授業を授業計画の準備段階を含めて評価し、授業観察に基づく講評及び discussion への積極的参加とあわせて、総合した評価点数を出します。模擬授業を60%、講評等を40%の割合での評価を目安とするが、授業観察の講評提出が6回以上であることを条件とします。

教科書/テキスト

中学校英語教科書を数種類利用します。
詳細は GMS 学部授業支援システムの英語科教育法Ⅱb のページに掲載します。

参 考 書

Ⅱa,Ⅱa で挙げた参考書のうち、特に以下の参照が役立ちます。

- ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
- ・白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年
- ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
- ・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年

- ・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
- ・小寺茂明・吉田晴世 編著『英語教育の基礎知識：教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
- ・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力を」高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年
- ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ・桐原書店 1998年

使用教科書に関する情報については、以下の URL から検索できます。

<http://www.textbook.or.jp> (社団法人 教科書協会)
<http://www.textbook.mext.go.jp>

その他は教場で指示します。

関 連 リ ン ク <https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

履修コード	083101・083102・083801・083802
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義の到達目標(ねらい) 中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行うことと、実習をとおして見えてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 【前期】(1)ガイダンス、実習の目的と意義、実習の心がまえ (2)生徒指導、教科指導について (3)指導案作成について (4～6)模擬授業 (7～10)個別指導 (11～15)実習の報告

準備学習

【後期】(16)教育の現状 (17～29)教育をめぐる諸問題についての検討 (30)まとめ
 教材研究を十分に行うことにより、教育実習を充実させることが可能となる。また、実習後は、自分の実習体験をふり返りまとめておくことで、受講者の実習報告をより深く聞くことができるようになる。さらに、新聞や雑誌を読むなどして、教育についての関心を高めておくことで、後期の授業の内容と展開が充実したものになる。

履修上の留意点

初回到授業の概要等を説明するため、必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合には、事前に連絡をすること。ともに考え合うことを大事にする授業のため、主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、実習ノート、実習校からの評価、実習報告、レポートによる。

教科書／テキスト

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書

適宜紹介する。

履修コード	083201・083202・083701・083702・084001・084002・084101・084102
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	坂本 ^{さかもと} 信昭 ^{のぶあき}

講義の到達目標(ねらい) 教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容／授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。(前期)(1～15)

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。(前期・後期)

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。(後期)(16～30)

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

(1)実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、(2)教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、(3)ビデオ視聴のコメント(感想)、(4)年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。

参 考 書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円
 寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円

履修コード	083401・083402
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育という営みを深くつかんでいく感性と知性を磨いていきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	①実習前には指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを扱う。(1～10) ②実習後は実習前に作成した指導案と実習校での指導案を比較検討し、どのような点を改善すべきか話し合い、どこを留意して指導案を作成すべきかチームで実習校での指導案を発表する。(11～15) ③各自実習のふりかえりレポート作成をおこなう。そこから実践事例をとり上げ、共同でふりかえる。テーマは生徒へのかかわり方や学習指導の在り方、いじめ・不登校などの教育問題への理解など、受講生の関心と実際の体験にもとづき多様に展開する。それらを通じて教師としての心構えと教育への理解をより一層深める時間としたい。(16～30)
履修上の留意点	教育実習を中心とした参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。事前指導・事後指導がセットとなっており構成されている年間授業である。そのため前期・後期のどちらか一方のみの受講は認めない。
成績評価の方法	実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。
教科書／テキスト	教科書・参考書等はそのつど指示する。
参 考 書	教科書・参考書等はそのつど指示する。

履修コード	083501・083502
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。実習生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、実習のための準備と、実習体験を他の人々と共有し深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、以下に述べるような様々なことを試みたい。また実習後は、教える立場から新たに見えてきた学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を考え合いたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	内容・スケジュールはおおむね以下の通り。 前期：実習の概要と注意(ビデオを含む)(1～3)、学習指導案作成・発表(4～6)、個別指導(7～10)、実習の報告(11～15) 後期：教育関係の雑誌論文等を読みあい、考えあう(内容は参加者と相談の上決定)(1～14)、まとめ(15)
履修上の留意点	実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。
成績評価の方法	実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテストによる。

資格講座科目
教職課程

履修コード	083601・083602
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。
講義の内容／ 授業スケジュール	実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関する講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験を報告により共有したうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。
成績評価の方法	実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。
教科書／テキスト	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	083901・083902
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義の到達目標(わらい)	教職課程での学びの総仕上げとしての「教育実習」を意義深いものとするための学びをすることがこの授業の目的である。実習前には、実習に向けての準備を万全なものとするために、実習することの意義を理解し、具体的な準備をするための学びを行う。実習後には実習の体験をより深めるために、自らの実習体験を振り返りながら、教育についての様々な問いを共有し、参加者とともに考えを深め合うための学びを行う。以上のことを通して、教育実習を自らの人生の中での意義深い体験とすることが、この授業を通して目指されることとなる。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：教育実習の基礎を学ぶ(1～2) 2. 事前準備のための学び(3～5) 3. 模擬授業・学習指導案作成(6～11) 4. 教育実習の報告・振り返り(12～14) 5. 前期のまとめ(15) 後期 1. 実習体験から発生した問いについて考える(16～25) 2. 教職課程での学びを振り返る(26～29) 3. 全体のまとめ(30)
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者はこの授業の履修を認めない(成績評価の対象としない)。「教育実習」という実際の活動を中心とした授業であるため、後期の事後指導の部分も含めて、主体的・積極的に参加すること。
成績評価の方法	実習校からの評価、実習ノートなどの実習の記録、授業への出席・参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書/テキスト	特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。

履修コード	084151・084152
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	おほま きくこ 大浜 幾久子

講義の到達目標(わらい)	中学校・高等学校における教育実習では、学生でありながら教師としての仕事を要求される。この難しい課題に取り組むにあたって必要とされる諸側面の準備をする。さらに実習を終えた時点で各人の体験を発表しあい、学校教育を教師の側からとらえるための討論を積み重ねていきたい。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期：①実習の概要(1～3)、②学習指導案作成・模擬授業(4～6)、③個別指導(7～10)、④実習の報告(11～15)。 後期：学校教育をめぐる様々な論文を読み、討論を重ねる。とりあげる論文は、受講者の関心、提案により決定したい(1～14)。まとめ(15)。
準備学習 履修上の留意点	3年次までに、教職課程の科目をきちんと履修していることが必要。 実習前に必須なのは教材研究を充実させることである。さらに、実習後の授業にも積極的な参加が必要である。
成績評価の方法	①実習校からの評価、『実習ノート』等の実習記録、②授業への参加度、③学年末のレポート、を総合した評価。
教科書/テキスト	使用しない。必要に応じ参考書や他の文献を紹介する。

履修コード	085101・085201
科目名	教育関係法規
担当者名	広沢 明 <small>ひろさわ あきら</small>

講義の到達目標(ねらい)	学校教師にとって教育法規に関する知識は必要不可欠である。この授業では、教育基本法・学校教育法をはじめとする教育法規について概説するが、その際、学校現場に生起している具体的事例(判例・行政実例等)を多く取り上げ、将来教員をめざす者に応用力の効く法的思考力が身につくよう留意したい。
講義の内容／授業スケジュール	(1) オリエンテーション、(2) 教育を受ける権利、(3) 教育権の所在、(4・5) 教育の機会均等(差別の禁止、障害児、就学援助)、(6・7) 義務教育(就学義務、無償)、(8・9) 学校の公共性(学校の種類、学校設置者)、(10・11) 教育の中立性(政治的中立性、宗教的中立性)、(12～14) 児童生徒の懲戒(懲戒処分、校則、体罰)、(15) 中間試験、(16～18) 教育目的・目標、(19～21) 教育行政(文科省、教育委員会、学習指導要領、教科書検定)、(22・23) 教職員法制(免許、任用、服務、分限・懲戒、研修、勤務条件)、(24・25) 家庭教育・幼児教育、(26) 社会教育、(27・28) 児童福祉法、児童虐待防止法、少年法、(29) まとめ、(30) 学年末試験
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と出席状況(2割)で評価する。
教科書／テキスト	姉崎洋一ほか編『ガイドブック教育法』(三省堂)、『解説教育六法2010』(三省堂)。毎回必ず使うので必携のこと。
参 考 書	永井憲一編『憲法と教育人権』(日本評論社)、藤田英典編『誰のための「教育再生」か』(岩波書店)、米沢広一『憲法と教育15講(改訂版)』(北樹出版)、内野正幸『教育の権利と自由』(有斐閣)など。その他、授業中に適宜紹介する。

履修コード	085301
科目名	教育評価
担当者名	大浜 幾久子 <small>おおはま きくこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	はじめに、教育心理学の研究方法(実験・観察・調査・テスト)の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。 前期 第1回:「教育評価」とは 第2回:日常生活における測定 第3～6回:心理学研究における測定法の展開 第7回:性格テスト実習 第8回:知能テスト実習 第9～11回:統計学入門:パソコンソフトの活用方法 第12～15回:研究実習 後期 第1～3回:前期の研究実習のプレゼンテーション。 第4～6回:学校とテスト 第7～10回:よいテストとは:テスト理論入門 第11～15回:テスト作成の研究実習
準備学習	実習に必要なデータを得ること。
履修上の留意点	ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。
成績評価の方法	2回の研究実習レポートを主に、ゼミ討論への参加状況などを加味した総合評価。
教科書／テキスト	指定なし。
参 考 書	資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

履修コード	085401
科目名	教育哲学
担当者名	<small>きたむら みつこ</small> 北村 三子

講義の到達目標(ねらい)

日本の学校教育制度は西洋の近代学校教育をモデルとして始まりました。そのため、日本もその一員である東洋世界の深層にある価値観や人間形成のあり方は、今日の学校教育でも無視されがちです。本授業では、インド出身のサティッシュ・クマールの『君あり、故に我あり』（講談社新書）を手がかりに、東洋的な価値や人間形成が今日の世界でどのような意味を持つかを考え合います。

講義の内容／
授業スケジュール

シューマッハー・カレッジを主宰するクマールの自伝的な作品、『君あり、故に我あり』（講談社新書）を読みながら、内容について話し合っていきます。スケジュールは次のようになります。はじめに(1)、第1部 意味との出会い(2~10)、第2部 全体性の探求(11~18)、第3部 インドをめぐる旅(19~25)、第4部 関係を見る哲学(26~29)、まとめ(30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

ゼミ形式で行います。毎回テキストを読んでくる必要があります。
出席状況、発表、レポートによります。

『君あり、故に我あり』（サティッシュ・クマール 講談社学術文庫）2005年 1100円

履修コード	085501
科目名	教育情報学
担当者名	<small>いしばし たつや</small> 石橋 達也

講義の到達目標(ねらい)

情報化が著しく進展している今日の社会的状況における情報と情報メディアをテーマにして、その在り方の特質や活用方法について教育との関わりを視野に入れて学んでいく。「教育とメディア」の授業との関連性を考慮して、本授業の狙いを次の三点とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 応用レベルの学習を取り入れて、情報に関してより進んだ知識と技能の習得を目指す。
2. コンピュータ（パソコン）の教育分野での利用について、教育学観点からの考察とともに、さまざまな活用の在り方を具体的に探り検討する。
3. 基本的で汎用性の高いソフトウェアの操作実習を通して、広く社会で必要とされる実用的なコンピュータ・リテラシー（パソコン活用能力）を育成する。

第1回：教育情報学の目指す方向、第2～4回：情報と情報メディアの基礎、第5～9回：パソコン利用の基礎（ワープロ、表計算、プレゼンテーション）第10～14回：インターネット利用の基礎（① Web 閲覧・検索、② ファイルの収集・加工処理、③ プログラムのダウンロード・解凍・インストール、④ オンライン学習）、第15回：前期末試験

第16～17回：コンピュータとインターネットの教育的活用・Web 2. 0の学習観、第18～22回：社会における統計情報の活用事例、表計算ソフトを活用した情報の統計処理演習、第23～27回：LOGOによる汎用的なプログラミング演習、第28～29回：情報活用としてのデータベース作成演習、第30回：後期末試験

準備学習
履修上の留意点

日頃から、マスメディアやインターネットなどで、教育の話題に関心を持っておくこと。

履修する学生は、パソコンの実習には継続と反復練習が大切であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法

成績の評価は、前期末と後期末の計2回の試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点や課題の提出などを加味して行ないます。

教科書／テキスト
参考書
その他

教科書は使用せず、必要に応じて資料プリントを配布して授業を進めていく。

授業中の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく。

受講学生には、「学ぶ意欲」をもって積極的に授業に取り組むことを期待する。

履修コード	085601
科目名	教育臨床心理学
担当者名	小田切 紀子 <small>おだぎり のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

教職課程を履修し教師を目指している学生、将来スクールカウンセラーになりたいと思っている学生、学校現場の問題を学びたいと思っている学生を対象にした授業です。児童期・思春期の子どもの発達の様相、軽度発達障害の子どもたちの理解と家族への支援、児童虐待と家族の病理、不登校・引きこもり・高校中退の問題、いじめとその予防、非行少年と彼らの更生、非行少年の家族への支援などを中心に学んでいきます。

また、学校内での連携体制の作り方、学校と地域の専門機関（教育相談室、児童相談所、医療機関など）との連携についても学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

1 児童期の発達課題、2 児童期に生じる精神病理と障害、3 思春期の発達課題、4 思春期に生じる精神病理と障害、5 軽度発達障害とは何か、6 軽度発達障害の種類と症状、7 軽度発達障害を抱える子どもへの支援、8 軽度発達障害の家族への支援、9 児童虐待の現状、10 児童虐待への対応、11 児童虐待の家族の病理、12 不登校の現状、13 不登校への対応、14 高校中退と引きこもりへの対応、15 まとめ

後期

1 いじめの定義と現状、2 いじめへの対応と予防、3 学校での人間関係—生徒同士、生徒と教師、4 学校での人間関係—教師同士、教師と保護者、5 非行少年の実態、6 非行少年と更生に向けての支援、7 非行少年の家族への対応、8 学業不振児の現状と対応、9 教師のストレスと精神衛生、10 学校内での連携体制の作り方、11 地域の専門機関との連携、12 学校現場で役に立つ心理検査、13 カウンセリングの基礎的知識、14 特別支援教育の現状、15 まとめ

授業は出席を重視します。

試験（前期・後期）60%、平常点（出席）40%によって評価を行います。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

宮川充司・津村俊充・中西由里・大野木裕明 スクールカウンセリングと発達支援 ナカニシヤ出版 2400円

参 考 書

伊藤美奈子 思春期の心さがしと学びの現場 北樹出版 1600円

履修コード	085701
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>

講義の到達目標(ねらい)

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内部での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けようとして、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

(1～5) 教育社会学の対象と方法、(6～9) 学校の歴史と機能、(10～13) 教育制度の類型と発展、(14～17) 学校における相互作用、(18～22) 情報化社会と子ども、(23～30) 現代の教育問題と教育改革

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業への積極的な参加を求める。

課題とレポートにより評価する。

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	085801
科目名	教育史
担当者名	山本 敏子

講義の到達目標(ねらい)

日本型近代学校システムの成立史を長い歴史時間の中で見ていくことにより近代学校の特質についての理解を深めるとともに、その成立以前に広く民衆文化の中に豊かに息づいていた人間形成と教育に関わる「技」、「知恵」等を掘り起こし、これからの教育のあり方について考えます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：「日本型近代学校システム成立史」に焦点化した教育史通史の講義

後期：「働くこと・学ぶこと・生きること」をテーマに文献購読演習

(1) 序、(2) 教育基礎論としての教育史、(3) 民衆の教育システム、(4) 学校の起源と日本における学校発達の概観、(5) 文字社会の成立と新しい「教育」意識の発生、(6) 江戸時代の教育システム、(7～8) 学制発布と近代学校システムへの模索、(9～10) 天皇帝国家体制の形成と日本型近代学校システムの確立、(11) 「日本」の領土確定・拡大と植民地の教育、(12) 「教育家族」の登場と大正自由教育、(13) 戦時下の「教学刷新」と皇国民「錬成」、(14～15) 戦後教育改革、(16) 演習テーマの提示と進め方の相談、(17～18) 働くことと生きることの現在、(19～24) 塩野米松『失われた手仕事の思想』を読む、(25～26) 民衆文化と言葉の「技」、庶民の「知恵」、(27～29) 現代教育を再考する、(30) まとめ

準備学習

前期については、参考書を事前に読んで授業に参加すると理解が深まります。後期の演習は、毎回テキストを必ず読んでくることを前提に進めます。

履修上の留意点

受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

成績評価の方法

学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。

教科書／テキスト

前期：必要に応じて、資料を配布します。

参考書

後期：塩野米松『失われた手仕事の思想』中公文庫(2008年刊)、760円

片桐芳雄・木村元編著『教育から見る日本の社会と教育』八千代出版(2008年刊)、2,400円

履修コード	086001
科目名	教育調査
担当者名	鈴木 規夫

講義の到達目標(ねらい)

人間行動を科学的方法によって研究するための方法論(統計理論)を学ぶとともに、研究を進めていく上で欠かすことのできないコンピュータ利用技術の習得をめざす。また、実際のデータの解析を通じて、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

【前期】調査の方法と EXCEL

調査に係る基本的な手段とその内容について概説し、その後、EXCELを使った図表の作成やデータ処理等の演習を行う。主な内容は以下の通りである。

(1) 調査の方法

①調査の考え方 ②調査表の設計(項目、変数、尺度等) ③調査結果の分析(基礎的な統計) ④報告書の作成

(2) EXCELによる統計処理

①データの入力 ②基礎的な統計処理(平均、標準偏差、比率) ③表の作成とデータのソート ④図の作成とプレゼンテーション

【後期】統計理論と SPSSによるデータ解析

統計理論について講義するとともに、教育調査に関連したデータの解析を行い、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

(1) 統計理論

①データの特徴の記述 ②関係の強さの記述 ③大小関係の比較 ④主成分分析等

(2) SPSSによるデータ解析

①データの入力 ②変数の変換等 ③図の作成 ④分析方法の利活用

履修上の留意点

学習内容は積み重ねによって学ぶよう構成されているので、履修する方はできるだけ欠席しないようにしてください。

成績評価の方法

演習を主体とした授業のため、課題の提出状況と出席状況によって評価する。

教科書／テキスト

特に指定しない。授業に必要なテキストを授業初日に配布する。

履修コード	086201
科目名	現代社会の諸問題と教育Ⅱ
担当者名	鈴木 朋実

講義の到達目標(ねらい)

現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させていますが、これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしています。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増しています。

講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。

第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」(第1～4回)

第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」(第5～8回)

第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」(第9～12回)

第4セクション：グループごとのプレゼンテーション(第13～15回)

準備学習

終戦後、現在に至るまで、学習指導要領が7回改訂されました。その内容、また、その時代の社会的背景について調べてみてください。

履修上の留意点

新聞に目を通し、社会問題・教育問題への関心を高めるとよいでしょう。

グループごとに、テーマを設定し、プレゼンテーションを行います。

成績評価の方法

授業への積極性を重視したうえで、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。

教科書/テキスト

プリントを配布します。

参 考 書

授業中に紹介します。

そ の 他

12月には、個人またはグループでプレゼンテーションを行っていただきます。

履修コード	006602
科目名	青少年問題研究
担当者名	讃岐 真佐子

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期(小学生～20代前半頃)に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係を持ち、どのような人と出会うかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

(1) 導入：この一年間の講義の進め方について

(2～3) 現代の青少年が抱える「諸問題」の特徴、及び「問題」の二面性をめぐって

(4) カウンセリングの定義、そして「ことばの多義性」について

(5～15) 様々な観点から、不登校、友人関係(いじめ)、少年非行などのテーマについて学ぶ

(16～19) 人間の誕生から青年期に至るまでの心の発達の諸相

(20～25) いくつかの症状(対人恐怖、ひきこもり、身体症状等)について、事例と共に学ぶ

(26～30) 人間の心の健康に関する諸知識

・ただし上記内容は、その時の授業の流れや重点の置き方によって前後することもある。またビデオ視聴も用いる予定。

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況(授業態度を含む)も重視する。

成績評価の方法

出席状況、筆記試験、夏休みレポート、受講態度

教科書/テキスト

必要な資料は適宜配布する。

参 考 書

岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』(岩波書店)

河合隼雄著『カウンセリングを語る(上下)』(講談社の+α文庫 または 創元社)

河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)

河合隼雄著『日本人の心のゆくえ』(岩波書店)

河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』(楡出版)

河合隼雄著『子どもの宇宙』(岩波新書386)

小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2(金子書店)

季刊『仏教——特集癒し』No.31(法蔵館)

教職課程
資格講座科目

履修コード	007102
科目名	宗教教育
担当者名	こやま かずのり 小山 一乘

講義の到達目標(ねらい)

用語「宗教教育」の教授概念には現今、宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、対宗教安全教育、宗教的寛容教育の五があり、論者は、先入観的に、いずれか一の義で解釈し、他は棄却してしまっているという傾向が重大問題としてある。当事態を解説・講義する。当事態の史的背景にある宗教教育改革を企図する対日米国占領政策のねらいに、米国流の宗教教育施策があったこと、また、日本国憲法20条の規定不備や教育基本法9条の補完規定の不徹底に起因する事後の紆余曲折事態が宗教教育論を迷走させた経緯を解説し講義をする。さらに新「教育基本法」の改正点について講義をする。その上で、あらためて「宗教の定義」の諸相を概観する。関係法規は宗教の定義を他に委ねている。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるという狭義の宗教教育を構想する講義ではない。端的には自覚的寛容の態度育成の方途を構想する。種々の宗教と称されている現象事例を取り上げる。

具体的には、身振り・音声・文字等の各教材、マルチメディア等を用いて、様々な題材を取りあげる。いわゆる神仏習合を彷彿とさせる広義の伊勢音頭、各地の民謡、歌謡曲、唱歌、数え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象を観る。日常の實際生活の深層・表層面で、宗教的事柄が隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成に関与している諸相を考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

予定は、前期では、(1～2回)用語「宗教教育」の教授概念5類型、(3～4回)宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解、(5～6回)学校教育法にみえる用語考「目的-目標」、「判断-批判力」、「選択-決定」、(7～8回)教育観の分類:「開発-注入」「本覚-始覚」、(9～10回)「宗教の様々な分類」、「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒、(11回)日本国憲法・教育基本法・初期社会科学習指導要領の相互補完関係(旧教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証)、(12～13回)対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実宗教教育と宗教科教育(教育職員免許法に規定)との差異検討(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)後期は、(14回)命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法と精神』)考、世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、(15回)比較法各国の宗教教育、(16回)これからの宗教教育の教授概念検討(不均衡是正)政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項教授概念論議、「何を教えることができるのか」の肯定的事項、(17～18回)シェフラーの教授概念検討(意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事実的言明文・規範的言明文、(19～27回)宗教教育の指導計画(児童生徒の疑問態、国内外の種々の歌、種々の年中行事(節分、雛祭り、七夕など)、合格祈願、日常用語になった仏教用語(挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、医療現場のターミナル・ケア等、通過儀礼(入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等)等考察、(28～29回)自由討議(これからの宗教教育のあり方)、(30回)まとめ

履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教場の一時的移動指示掲示に注意すること。宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非すすめた。レポート(夏季休暇後及び学年末提出、その他中間で適宜にレポート提出を求める)を基本に評価する。出席も尊重する。

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

教材は適宜プリントを配布する。
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』(大法輪閣、¥1,600)
講義形式で実施する。資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業にて。

資格講座
教職課程

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論Ⅰ
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、ユネスコや OECD などの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それをとおして、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは (2～4) 生涯教育・生涯学習の国際的動向 (5～8) 日本における生涯学習政策の展開 (9～11) 生涯学習と学校計画 (12～14) 生涯学習と社会教育 (15) まとめ
準備学習	新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。
履修上の留意点	資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書／テキスト	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	適宜紹介する。

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論Ⅱ
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育 (2～3) 学校教育の歴史と理念、制度の変遷 (4) 学校教育をめぐる今日的課題 (5) 子どもの成長・発達を支える学校教育実践 (6～8) 社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法 (9) 社会教育をめぐる今日的課題 (10～14) 子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践 (15) まとめ
準備学習	新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。
履修上の留意点	資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書／テキスト	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	適宜紹介する。

履修コード	084901・085001
科目名	視聴覚教育
担当者名	高津 直己 <small>たかつ なおき</small>

講義の到達目標(ねらい)

視聴覚教育は、文字や言語を中心とした教育に対して、映像などの視聴覚メディアがもたらす教育効果を重要視する教育方法である。視聴覚メディアはその具体性においてすぐれており、その特質を利用して豊かな教育を行うことが視聴覚教育の目的である。この講義では、学校教育・社会教育における視聴覚教育の基礎を、教育という営みについての基本的理解を前提にしながら、メディア・リテラシーの立場から考察するとともに、視聴覚教育の基本的な教育方法を学習する。授業は、主として「視聴覚」の方法を使って講義形式ですすめる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 視聴覚教育とは
- 2 メディアの歴史 (I)
- 3 メディアの歴史 (II)
- 4 メディアの歴史 (III)
- 5 映像の文法と概念形成
- 6 ラジオ放送の誕生
- 7 テレビ放送の誕生
- 8 教育における「経験」の意義
- 9 教育方法としての視聴覚教育理論
- 10 教育メディアの変遷
- 11 テレビ教育番組の教育効果
- 12 教育番組の特性
- 13 教育番組の制作方法
- 14 メディア・リテラシーの諸相
- 15 中間まとめ
- 16 前期の復習とオリエンテーション
- 17 美術館・博物館とメディア活用
- 18 学芸員の役割
- 19 コンピュータの登場と発達
- 20 教育メディアとしてのコンピュータ
- 21 メディア・リテラシーと情報リテラシー
- 22 マルチメディア教材の利用
- 23 インターネット利用教育
- 24 高度情報化社会
- 25 情報化社会でのコンピュータの役割
- 26 学校における情報教育
- 27 情報教育のねらい
- 28 高度情報化時代の生涯教育
- 29 情報リテラシー教育
- 30 全体のまとめ

履修上の留意点

「視聴覚教育」の学習は単に方法を学ぶものではなく、教育という人間の営みについての基本的な理解のうえに成り立つものであるから、すくなくとも「教育原理」または「教育方法論」に関する科目を学んだ上で履修してほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席回数 (50%)、レポート (50%) で評価する。
佐賀啓男編著『視聴覚メディアと教育』(樹村房) 2002年、¥1,890、ISBN 4-88367-095-3

履修コード	086901
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)	学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題、教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。その上で、学校教育の中核とならねばならない学校図書館の運営及び司書教諭の職責についての基本的な知識を説明することができる。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 学校図書館の理念と教育的意義 (3・4) 教育行政と学校図書館 (5) 学校図書館の発展と課題 (6) 学校図書館の経営 (7) 司書教諭の役割と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築 (10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設と設備 (12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価 (15) 全体のまとめ(試験)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席ができ、(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。
教科書／テキスト 参 考 書	教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。 特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学1；学校経営と学校図書館』（全国学校図書館協議会 1,400円）ISBN4-7933-2233-6 全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』（全国学校図書館協議会 2,800円）ISBN4-7933-0048-0 黒澤 浩編著『新学校図書館入門～子どもと教師の学びをささえる～』（草土文化 1,700円）ISBN4-7943-0818-2
そ の 他	講義・ビデオ

履修コード	087001
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)	学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題、教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。その上で、学校教育の中核とならねばならない学校図書館の運営及び司書教諭の責務についての基本的な知識を説明することができる。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 学校図書館の理念と教育的意義 (3・4) 教育行政と学校図書館 (5) 学校図書館の発展と課題 (6) 学校図書館の経営 (7) 司書教諭の役割と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築 (10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設と設備 (12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価 (15) 全体のまとめ(試験)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席ができ(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。
教科書／テキスト 参 考 書	教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。 特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学1；学校経営と学校図書館』（全国学校図書館協議会 1,400円）ISBN4-7933-2233-6 全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』（全国学校図書館協議会 2,800円）ISBN4-7933-0048-0 『新学校図書館入門～子どもと教師の学びをささえる～』（草土文化 1,700円）ISBN4-7945-0818-2
そ の 他	講義・ビデオ

履修コード	087201・087301
科目名	読書と豊かな人間性
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい) 現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本と結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するための読書教育のあり方を考えることができ、さらに、読書活動の方法、技能についても具体的に体得してもらおう。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 読書の意義と目的 (3) 子どもの読書の実態と課題 (学校読書調査報告) (4) 読書資料の種類と特性 (5・6) 子どもの発達段階と読書 (7・8) 学校教育の中の読書 (9) 読書指導の方法 (10~13) 子どもと本を結ぶために (14) 地域の関連施設等との連携 (15) 全体のまとめ (試験)
※演習(学生による読み聞かせ)

履修上の留意点 講義回数70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法 平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト 教育実習をする学生は実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。

参 考 書 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学4 読書と豊かな人間性』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2236-0

そ の 他 講義・演習(読みきかせ)
この科目の受講は下記の1、2を修了してからが望ましい。
1、学校経営と学校図書館(前期)
2、学習指導と学校図書館(前期)

履修コード	087501
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	源 昌久

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る事を目的としている。

講義の内容／授業スケジュール 1) 本講義のオリエンテーション 2) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 3) ~ 7) 分類法(表)の解説・演習 8) ~ 12) 目録の解説・演習 13) 資料組織の機械化 14) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置 15) まとめ

準備学習 普段の日常生活においても、分類・目録概念がいかに注意しておいて下さい。

履修上の留意点 予習・復習をしっかりと行ってほしい。特に、問題演習は、十二分に理解に努めて下さい。

成績評価の方法 平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書／テキスト 『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会) セット定価6,000円
『日本目録規則 1987年版 改訂3版』(日本図書館協会) 3,675円

参 考 書 必要に応じて、ビデオを活用する。

履修コード	087601
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	笠川 昭治

講義の到達目標(ねらい) 学校図書館メディアの教育的な意義と役割について確認し、各種メディアの種類、特性について理解を図る。その上で各種メディアの選択・収集、収集したメディアの組織化(目録法・分類法)の意義や方法について学ぶ。さらに、組織化された資料の更新・廃棄についても説明する。
本講義では、学校図書館メディアについて理解するとともに、資料の組織化に関する知識を習得することを目的としている。

講義の内容／授業スケジュール 司書教諭に求められるメディアの知識と技術(1)、メディアの種類と特徴(2-4)、収集のための資料(5-6)、メディアの選択と収集方針(7-8)、分類法(9-10)、目録法(11)、MARC・OPACの利用(12-13)、装備、配架(14)、施設のレイアウト(15)

成績評価の方法 レポートと出席状況にもとづいて評価します。

参 考 書 小田光宏編『学校図書館メディアの構成』樹村房、1,400円、ISBN978-4883670918

履修コード	087801
科目名	情報メディアの活用
担当者名	みなもと しょうきゆう 源 昌久

講義の到達目標(ねらい) 学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る事を目的としている。

講義の内容／授業スケジュール 1) 本講義のオリエンテーション 2) 情報メディアの概念的フレーム・ワーク 3)～5) 情報メディアの特性と選択 6)～10) 情報検索とPC 10～14) 学校図書館と著作権 15) まとめ

準備学習 PCの操作は習得しておいて下さい。

履修上の留意点 予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法 平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書／テキスト 田中功(ほか)編著『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂3版』(日外アソシエーツ) 2300円

参考書 講義中に指示する。

その他 必要に応じて、ビデオを活用する。

履修コード	087901
科目名	情報メディアの活用
担当者名	かきがわ しょうじ 笠川 昭治

講義の到達目標(ねらい) 近年、学校および学校図書館における情報技術の活用は急速に進んでいる。本講義では、学校図書館の情報化の実態と意義を把握し、学校図書館における情報メディアへの理解を深めると共に、活用方法を考える。

講義の内容／授業スケジュール 情報教育と学校図書館(1-2)、情報メディアの種類と特性(3)、情報検索(4-5)、インターネット上の情報評価(6-7)、インターネットを活用した学校図書館運営(8-9)、リテラシー(10)、図書館システム(11-12)、情報モラル・情報倫理(13)、著作権(14-15)

成績評価の方法 レポート、出席状況、平常点に基づいて行います。

参考書 根本彰監修『インターネット時代の学校図書館(司書・司書教諭のための「情報」入門)』東京電機大学出版局、2,400円、ISBN978-4501619701

履修コード	088101
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	まつお ふじお 松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい) 学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動がさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目では、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関して、理解と認識を、学校図書館を利用した効率のよい学習方法と情報の扱い方を身につけることができるようにする。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館 (3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的 (6・7) メディアの活用能力育成の指導内容・方法 (8～11) 課題探求型学習の方法 (12) 学校図書館における情報サービス (13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点 講義回数70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法 平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト 教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。

参考書 特に指定しない。随時プリントを配布。

『新学校図書館学』編集委員会編『新学校図書館3；学習指導と学校図書館』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2235-2

『学習指導・調べ学習と学校図書館』(大串夏身編著 青弓社 1,800円) ISBN4-7872-0028-3

その他 講義・ビデオ

履修コード	088201
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい) 学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動がさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目では、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関して、理解と認識を深め、学校図書館を利用した効率のよい学習方法と情報の扱い方を身につけることができるようにする。

講義の内容／
授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館 (3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的 (6・7) メディアの活用能力育成の指導内容・方法 (8～11) 課題探求型学習の方法 (12) 学校図書館における情報サービス (13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点 講義回数の70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法 平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト 教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。特に指定しない。随時プリントを配布。

参 考 書 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館3；学習指導と学校図書館』(全国学校図書館協議会1,400円) ISBN4-7933-2235-2

そ の 他 『学習指導・調べ学習と学校図書館』(青弓社 1,800円) ISBN4-7872-0028-3
講義・ビデオ

履修コード	089111
科目名	介護等体験
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) 「介護等体験」を有意義なものとするために、必要とされる基礎的知識や態度等を学ぶとともに、各自の体験をもとにさまざまなテーマについて考え合っていくことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール 【前期】(1) ガイダンス、介護等体験の目的と意義 (2～3) 介護等体験の心がまえ (4～6) 特別支援学校における介護等体験 (7～9) 社会福祉施設における介護等体験 (10～12) 障害児についての理解 (13～15) 高齢者・障害者についての理解

【後期】(16) 体験報告の方法等について (17～29) 体験報告とディスカッション (30) まとめ

準備学習 *各回とも、授業の始めに、福祉や教育に関する新聞記事をもとにグループで話し合いを行う。教科書を読み、質問を用意して授業に臨むことで、授業内容の理解が深まる。また、グループでの報告予定者は、新聞を読み、福祉や教育に関する記事についての感想をまとめ、印刷をしておくことで、授業時のグループワークを充実したものにすることができる。

履修上の留意点 初回到授業の概要等を説明するため、必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合には、事前に連絡をすること。

成績評価の方法 「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。

教科書／テキスト 全国特殊学校長会編『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』

社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089121・089171
科目名	介護等体験
担当者名	<small>さかもと のぶあき</small> 坂本 信昭

講義の到達目標(ねらい) 養護学校及び社会福祉施設での介護・介助・交流体験を原体験として、生あるものの尊さと、共に生きることの意味、そして社会的弱者に対する人権意識を高め、ノーマライゼーションの思想を深め、さらに他者との共感的受容的な人間理解を深める、自己変革の契機にして欲しいと思います。そのために、事前指導としては介護等体験で何を学ぶか、そして介護等体験を通して何を学んだか、どのような課題に気づいたかについて事後指導において考察すべきと考えています。

講義の内容／授業スケジュール

- ・介護等体験特例法について(1)
- ・21世紀に求められる教師の力量・資質(2～4)
- ・介護等体験の意義と課題(5～6)
- ・介護等体験にいかにか臨むか(7～9)
- ・養護学校等での介護等体験(10～12)
- ・社会福祉施設での介護等体験(13～15)
- ・介護等体験の事後(介護等体験報告)(16～25)
- ・介護等体験を教育実習にどう生かすか(26～27)
- ・あらためて、教師志望を考える(28～30)

履修上の留意点 授業への出欠は厳密にとる。初回の授業で概要を説明するので必ず出席すること。「介護等体験」という実際の活動を中心とする授業であるから、主体的・積極的に対応すること。

成績評価の方法 「介護等体験」に取り組み真剣さと体験日誌などの記録、通年授業への出席度、学年末のレポートの内容等を総合して評価する。

教科書／テキスト 全国特殊学校校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブックフィリア』
社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート～社会福祉施設～』
(教科書は授業時間中に配布する)

参 考 書 現代教師養成研究会編『介護等体験ハンドブック』(大修館書店)1,200円
そ の 他 平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録をすること。

履修コード	089131
科目名	介護等体験
担当者名	<small>はぎわら けんじろう</small> 萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 本授業は介護等体験を有意義なものとし、今後の教育実践に生かすため、教育の基底にある自己と他者とのかかわりの質を問い直すことを目的としている。

他者との関係性は教育に携わる人間として常に問われることであり、教育の質を規定する重要な要素となっている。そのため本授業では、さまざまなアクティビティを通じて、体験的に自己と他者とのかかわりの質を感じて、考える機会をもちたい。

講義の内容／授業スケジュール 介護等体験前には、事前指導として教科書をもとに体験の目的や意義を学ぶ。また、体験先となる社会福祉施設や特別支援学校の実際についてビデオなどを交えて、体験する際の心構えを学ぶ。(1～4)

事後指導においては、介護等体験をふりかえり、そこで学んだことや気づきをまとめ、受講生同士で共有しあう機会を持つ。他の受講生の体験と交流することを通じて、自らの体験をより深くふりかえる視点をつかむきっかけとしたい。(随時)

また、通年を通して自己と他者、自然、事物とのかかわりの質を問うための多様なアクティビティを実施したり、障害者青年学級との交流会なども行なう予定でいる。(5～27)

履修上の留意点 後半は次年度教育実習を見据え、4年生との体験交流を含めた内容構成にする予定。(28～29)

介護等体験を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講生の意欲的な参加が求められる。軽度の身体運動が求められることが多いので、動きやすい服装で参加すること。教場が体験内容に応じて変更される場合があるので注意すること。

成績評価の方法 介護等体験に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。

教科書／テキスト 全国特殊学校校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』
社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート～社会福祉施設～』
なお、教科書は授業時間中に配布する。

そ の 他 平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録をすること。

履修コード	089141
科目名	介護等体験
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	本年度中に「介護等体験」を行う学生を対象に、事前事後指導を通じて、「介護等体験」をより有意義なものにすることを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	事前指導においては、「介護等体験」の目的や意義、特殊教育諸学校および社会福祉施設の概要などを学び、「体験」への意識を高めます。「体験」後は、「体験」で得たものを他の受講生と分かち合い、深めていきます。 スケジュールは、おおむね、介護等体験について(1)、『介護等体験マニュアルノート』に即して(2)、『フィリア』に即して(3～5)、介護等体験の報告と話し合い・関連するビデオ・文献などの検討(6～15)となります。
履修上の留意点	初回到授業の進め方などの説明をしますので、必ず出席してください。やむをえない理由で欠席する場合には事前に連絡してください。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年授業への参加度、学期末のレポートの内容を総合して評価します。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』、社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』（教科書は配布されます。）
そ の 他	平成16年度以降入学生で、当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は、必ず履修登録してください。

履修コード	089151
科目名	介護等体験
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	中学校教諭免許を取得する者に課せられている「介護等体験」を今年度に行う学生を対象とする事前事後指導である。介護等体験をより有意義なものにすることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	介護等体験の前には、全般的な注意事項を伝えるとともに、体験の意義や目的を理解し、体験先である特殊教育諸学校と社会福祉施設について概要を学ぶ。体験の後には、各自が体験したことや学んだこと、考えたことを報告し合って共有し、今後教職課程でさらに学んでいくうえで生かせるよう、ディスカッションなどを通じて深めていく。 (1～5) 介護等体験の意義と目的、(6～8) 体験にあたっての具体的注意事項、(9～20) 各自の体験の報告と共有、(21～25) 介護等体験の総括、(26～30) 教育実習に向けて
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。
成績評価の方法	「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的、積極的に参加すること。 「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』 なお、教科書は授業時間中に配布する。
そ の 他	平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089161
科目名	介護等体験
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、当該年度に「介護等体験」を行う学生を対象とし、事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとするための学びを行うことを目的とする。教職に携わる人間として極めて重要なことを学ぶ機会である「介護等体験」に向けての意識を高め、体験で学んだことを自らの中に位置づけるための機会とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：介護等体験の基礎を学ぶ（1～2） 2. 特別支援学校について学ぶ（3～5） 3. 社会福祉施設について学ぶ（6～8） 4. 介護等体験の事前の準備に必要なことを学ぶ（9～14） 5. 前期のまとめ（15） 後期 1. 後期授業のガイダンス（16） 2. 介護等体験の振り返り：体験終了者の発表、体験を通して学んだことを基にした討論（17～29） 3. 全体のまとめ（30）
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者はこの授業の履修を認めない（成績評価の対象としない）。「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的・積極的に参加すること。
成績評価の方法	介護等体験日誌などの体験の記録、授業への出席・参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編 『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』
その他	平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089181
科目名	介護等体験
担当者名	おおはま さくこ 大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)	今年度「介護等体験」を行う学生のための必修科目である。事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとした。
講義の内容／授業スケジュール	1) 事前指導：「介護等体験」の意義や目的を理解し、「体験」に臨むための注意事項を学ぶ。2日間の「体験」を行う諸学校と5日間の「体験」を行う諸社会福祉施設の教育内容・業務内容を学び、それに相応しい準備をする。(1～7) 2) 事後指導：自らの「体験」をまとめグループによる討論をする。 3) 各人の「体験」の日程にあわせ、体験先に応じた個別あるいはグループでの事前指導・事後指導の日時を設定する。なお「体験」は、おおむね5月下旬に始まり、遅い場合には3月になることもあるので、6月以降の授業スケジュールは、各人の「体験」日程が通知された時点で順次、決めていくことになる。(8～30)
準備学習	2年次までの教職課程の科目をきちんと履修していること。
履修上の留意点	第1回の授業で、年間のスケジュール等を確認する。やむを得ない理由で出席できない者は、必ず事前に連絡をすること。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、『体験日誌』などの記録、学年末のレポート提出等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック：フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート：社会福祉施設』 なお、教科書は4月の授業時に配布する。
参考書	必要に応じ紹介する。

履修コード	016803
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦 すまき やすひこ

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文献(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。

(1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14~15) 予備 (16~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度と学年末レポートによる。追試はしない。

教科書/テキスト

『経史子要覧』(コピーを配布する)

参考書

関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	017903
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢 かにぐち みつぐ

講義の到達目標(ねらい)

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4~5) 民間信仰の性格、(6~10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りとシャーマニズム(巫俗)、(11~15) シャーマニズム(巫俗)の諸相、(16~18) 山岳信仰の性格、(19~23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24~25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26~28) 憑霊信仰の諸相、(29~30) 死霊結婚の習俗

履修上の留意点

学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。

成績評価の方法

学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。

教科書/テキスト

使用しない。

参考書

宮本袈裟雄・谷口貢編『日本の民俗信仰』2009年刊(八千代出版)

履修コード	36901・37001
科目名	人文地理学概説
担当者名	なかむら 剛

講義の到達目標(ねらい)	この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するにとどまらず、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活（地域の社会・文化・自然）と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。
講義の内容／授業スケジュール	1・2：人文地理学とは？（イントロ、自然地理学・地誌学との関係）、3・4：地図（地理学と地図、地図の歴史、地図の利用と今日的課題）、5・6：地理教育と教養地理（中学・高校における地理教育、地理的知識の効用）、7・8：自然（気候景観、人文地理学と「自然」との関わり）、9・10：農業（農業立地論、文化としての農業）、11・12：鉱工業（鉱業分布、工業立地と工業地域）、13・14：貿易（食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード、南北貿易）、15・16：農村（都市を支える農村、過疎化、高齢化）、17・18：都市（都市化、都市構造と都市機能）、19・20：都市計画と土地利用（郊外化とスプロール、都市計画法制度とその問題）、21・22：ツーリズム（ツーリズムの歴史、マスツーリズムとオルタナティブツーリズム）、23・24：交通（縮小する世界、時間距離）、25・26：文化・国際理解（民族分布と民族問題、南北問題、国際理解教育）、27・28：環境問題と災害（温暖化と地球環境、成長と破壊）、29・30：まとめ（総括、試験）
準備学習	広く社会に興味・関心をもつこと、「なぜ?」「どうして?」と常口頃から考えることが、本講義の内容理解への入口となるはずです。
履修上の留意点	この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席状況や授業への参加態度も評価に大きく影響する。詳細は第1回目の授業で説明する。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ試験を行う。この両試験を受験し、かつ出席時数（全講義時間数の2/3）をクリアしている者を成績評価の対象とする。成績評価は、試験、出席、授業中の小テスト、提出課題のすべてを総合して行う。出席は特に厳しく取り扱うこととする。
教科書／テキスト	・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008):『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN 978-4-7722-3118-3 ・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。
参考書その他	参考文献(書籍、論文等)は授業で紹介する。 授業はパワーポイントを利用して進める。また、教材の提示はYeStudyを利用する。受け身の姿勢ではなく、積極的に講義に参加してほしい。

履修コード	043101
科目名	自然地理学概説
担当者名	はやふね 元峰

講義の到達目標(ねらい)	人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を主に環境地誌的立場から論じる。
講義の内容／授業スケジュール	(1~6) ・地形図とは、主題図の作成方法・読図 (7~12) ・山麓における土地利用 (13~17) ・山麓における環境保全 (18~20) ・気温と湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり (21~23) ・北海道本部の気候地形 (24~27) ・関東平野の地形発達史（東京の地形の成り立ち） (28~30) ・ビオトープ（学校ビオトープ、緑の回廊、自然工法）
履修上の留意点	国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（高度別着色・地形断面図など）をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各自用意すること。
成績評価の方法	課題・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	043201
科目名	自然地理学概説
担当者名	<small>たかぎ まさひろ</small> 高木 正博

講義の到達目標(ねらい)	自然地理学の分野のうち、河川や地下水など水にかかわる地理学を中心に講ずる。近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容／ 授業スケジュール	年間の授業内容は次の通り予定している。1-2自然地理学と水文学、3-4水文循環と水収支、5-6河川の流域とは、7-8日本の河川と洪水、9-10河川の侵食・運搬・堆積作用、11-12地形と災害、13-14都市の河川と水害、15-16自然湖沼と人造ダム湖、17-18地下水とは、19-21地下水と河川水、22-23地下水の利用、24-26 地下水の汚染、27-30 都市の水環境と地下水など。
履修上の留意点	地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して説明する。 講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域概要を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（40％）と夏休みの課題レポート（30％）に重点を置いて評価するが、授業中に随時実施する課題、出席状況などの平常点（30％）も加算する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業時間にプリントを配布する。 配布プリントをおし随時紹介する。

履修コード	037101
科目名	地誌学概説
担当者名	<small>かわもと ともかず</small> 川元 豊和

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束-、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として-、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として-、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席状況（授業回数の2／3以上、15％）及び9月末のリポート提出（15％）を前提とし、学年末の筆記試験（70％）と併せて総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	教科書は、特に定めずプリントを配布します。 授業内において、その都度紹介します。 講義形式。

履修コード	037201
科目名	地誌学概説
担当者名	湯田 ^{ゆだ みのり} ミノリ

講義の到達目標(ゆらい)	インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。 (前期) ・地理的位置 (インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係) ・自然環境 (地形、気候) ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 (後期) ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンボンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	年に4回行う試験により判断します (各25点)。また、この授業は出席が必須ですので、出席がない場合は、その分減点になります。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参 考 書	適宜紹介する。

履修コード	037301
科目名	地誌学概説
担当者名	山口 ^{やまぐち たろう} 太郎

講義の到達目標(ゆらい)	地誌学は、「地域」を説明する地理学の一分野である。今年度は、日本を事例として地誌学の主要概念や方法論を講義していく。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、主に世田谷区を事例対象地域として、「地域」を考える上で必要な概念や「地域」を説明するための基本テクニックの習得を目指す。後期は、教科書に提示されているアプローチをもとにした地誌学方法論の習得を目指す。 次の項目を予定している。 (1) イントロダクション、(2)(3) 地誌学の系譜、(4) 地域、(5) 身近な地域の地誌 (世田谷区の事例)、(6) 統計の活用、(7) 主題図、(8) 実習1: 主題図の作成、(9) 歴史地誌 (世田谷区の事例)、(10) 地図・文献の活用、(11)(12) 景観、(13) 実習2: 景観観察、(14)(15) グローバル地誌 (日本の地域変化)、(16) 比較交流地誌 (沖縄の事例)、(17)(18) テーマ重視地誌 (都市化、交通・観光)、(19) 実習3: 教科書のまとめ1、(20) 網羅累積地誌、(21)~(23) 広域動態地誌 (北陸、阪神間地域の事例)、(24) 実習4: 教科書のまとめ2、(25)(26) 空間と場所 (メンタルマップ、場所のイメージ、場所の商品化)、(27) 予備日
準備学習 履修上の留意点	初回授業時に指示する。 この講義では、授業中に小レポートや地図作成など、いくつかの作業 (実習) をしてもらおう。公欠を含め、欠席しがちな学生には不向きな科目である。また、授業中の成果物は、ある程度のレベル (内容はもちろん、体裁も含む) に到達していないと再提出を求める。
成績評価の方法 教科書／テキスト	詳細は、初回授業時に説明する。 平常点50点、夏のレポート25点、後期試験25点で採点する。 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編著2007.『地理学基礎シリーズ3地誌学概説』朝倉書店。3300円。
参 考 書 そ の 他	授業で紹介していく。 講義中心だが、課題達成型の授業でもあるので、授業への主体的な参加が求められる。

履修コード	056302
科目名	日本史概説
担当者名	野尻 <small>のじり</small> かおる

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、歴史学、考古学を始めとする人文科学の研究を志す学生、または将来教職につくことを希望する学生に対し、下記の事項を通して、歴史を研究すること、または日本史を教授することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けることが目的である。講義に当たっては、古文書・記録・編纂物・金石文等の史料を中心に考古資料、絵画資料、民俗資料等を使用して進める。また、近世・近代を研究するに当たって必須の課題である身分差別の歴史もあわせて指導する。

講義の内容／
授業スケジュール

一、空間から見た近世近代〔都市とその近郊等を事例とする〕(1～6)。二、モノから見た近世近代〔石造物等を事例とする〕(7～12)。三、人から見た近世近代〔生と死等を事例とする〕(13～18)。四、絵画資料に現れた近世近代〔景観や習俗等を例に〕(19～24)。五、社会組織から見た近世近代〔祭礼・講等を事例に〕(25～30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

質問等の発言は歓迎するが私語は慎む事。

定期試験及び出席状況

講義資料を配布する。

『日本史史料』〔3〕近世、2006年(岩波書店)、4、410円、ISBN 4-00-026138-X、『日本史史料』〔4〕近代、1997年(岩波書店)、4、200円、ISBN 4-00-026139-8、地方史研究協議会編『江戸・東京近郊の史的空間』2003年(雄山閣)、5、985円、ISBN 4-639-01825-8、メタ・アーケオロジー研究会『考古学リーダー3 近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』、2005年(六一書房)、ISBN4-947743-25-5、都市史研究会『年報 都市史研究』1～16、1993年～2006年、山川出版、3、880円、ISBN 4-634-61910-5他、斎藤洋一・大石慎三郎講談社現代新書『身分差別社会の真実－新書・江戸時代(2)』1995年、(講談社)、735円、ISBN978-4-06-149258-5

そ の 他

講義資料は原則として講義毎に配布する。前回欠席した分は用意しないので注意の事。

履修コード	056402
科目名	日本史概説
担当者名	小泉 <small>こいずみ</small> 雅弘 <small>まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

近世から近代の日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(1～15)では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期(16～30)では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

準 備 学 習

授業中に紹介する文献を熟読すること。

履修上の留意点

歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験で評価し、出席状況を加味する。

参 考 書

講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	044202
科目名	世界史概説
担当者名	井村 行子

講義の到達目標(ねらい) 西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい

講義の内容/
授業スケジュール

授業を心がけたい
第1講 世界史とは何か
第2講 古代オリエント
第3講 古代ギリシア
第4講 アレクサンドロス遠征
第5講 古代ローマ
第6講 中世初期
第7講 中世盛期
第8講 中世末期
第9講 近世前半
第10講 近世後半
第11講 近世ヨーロッパの社会経済
第12講 近世ヨーロッパの社会経済
第13講 前期試験
第14講 二重革命の時代
第15講 自由主義の時代
第16講 諸国民の春
第17講 ヴィデオ「南北戦争」
第18講 帝国主義の時代
第19講 ラテンアメリカ
第20講 ヴィデオ「大量殺戮の完成」
第21講 第一次世界大戦
第22講 1920年代
第23講 1930年代
第24講 第二次世界大戦
第25講 冷戦の終結まで
第26講 冷戦の終結以後

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

前期・後期の筆記試験の成績と授業内にとときどき行う小レポートを合わせて総合的に評価する
使用しない
近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社、1999)

教職課程
資格講座科目

履修コード	056502
科目名	世界史概説
担当者名	小林 惣八

講義の到達目標(ねらい) 当該科目は、教職科目と必修科目の二面性を持っている関係上専門的知識を要求しながらも基礎基本的な歴史の見方や考え方にも主眼を置く科目である。

講義の内容/
授業スケジュール

「中国王朝史の終焉」に目標を設定し、1912年清朝宣統帝溥儀が退位するまでを中国側とヨーロッパ側両面から解き明かすことを狙いとする。
第1回：本講義の概要、第2回～3回：中国史概観、第4回～12回：中国王朝史の歩み、第13回～14回：ヨーロッパ古代史概観、第15回～16回：ヨーロッパ中世史概観、第17回～22回ヨーロッパ近代史概観、第23回～ヨーロッパ諸国のアジアへの進出。

準備学習

講義終了後毎回レポート課題を課す。これは、課題処理によって歴史の歩みの前後関係をより的確に把握するためのものです。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
その他

「継続は力なり」根気強く取り組む姿勢を求める。
前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。
特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。
出席を重視する。

履修コード	060002
科目名	社会学原論
担当者名	はしづめ さとし 橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい)

本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「中学校社会科、高等学校地・歴史、公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「中学校社会科、高等学校地・歴史、公民科」の基礎をなす学問としての、「社会学」とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

講義の内容/
授業スケジュール

いずれにせよ、社会学的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する「社会学」についての認識を深めたい。

前期1)～8) 社会科学とは何か、社会科学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書社会学、マルクス主義の影響。後期は16)～20) フランスにおける現代社会学への歩み21)～25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にした。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

学年末の定期試験で評価する。
安藤喜久雄ほか著『社会学概論』学文社
適宜指示する。

履修コード	133902
科目名	社会学原論
担当者名	お びよんさん 奥 炳三

講義の到達目標(ねらい)

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶこと。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は以下の内容について概念や理論を中心に講義を行う。

(1)はじめに、(2)社会学とは、(3～4)個人と社会(社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我)、(5～6)現代家族論(配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題)、(7～8)組織論、官僚制(専門職)、(9～10)職業、労働(職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニート)、(11～12)若者の犯罪(ラベリング理論、加害者と被害者の関係、犯罪の原因)、(13～14)自殺と社会(自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報)、(15)社会階層など

後期は以下のテーマについて受講生の発表およびディベートを行う。

(1)教員免許更新制度、(2)若者文化、(3)少年法改正、(4)出会系サイト、(5)自殺といじめ、(6)家族の変容、(7)高齢者虐待、(8)格差社会、ワーキングプア、(9)草食男子・肉食女子、(10)婚活・恋活、(11)ペットは家族の一員か、(12)代理出産など
以上、講義を予定しているが、受講生の人数などによっては、講義内容を変更することがある。

履修上の留意点
成績評価の方法

積極的にノートをとること。
出席状況(遅刻厳禁)、発表やディベートの内容と授業態度、簡単なレポートなどを総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書/テキスト
参 考 書

特に指定しない。
講義中に、その都度紹介する。

資格課程
教職課程

履修コード	075003
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地の行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や僧侶の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼(彼女)らは、神霊のみずからの身体に憑入(ひょうにゅう)させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝えるなどの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態(=シャーマニズム)は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 フィールドワーク、第5～7回 宗教文化の基盤、第8～10回 宗教的職能者、第11～13回 宗教と呪術と巫術、第14～16回 生き神信仰の諸相と研究史、第17～21回 神人交流の諸相、第22～26回 生き神信仰と仏教現象、第27～29回 寺院とシャーマニズムとの互恵性、第30回 総括。

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

学年末のリポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

講義の内容／授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト
参 考 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(学術文庫)
授業中に適宜紹介する。

履修コード	090103
科目名	経済原論
担当者名	皇中 貴

講義の到達目標(ねらい)

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学(関数、微分)の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容／授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。

後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書／テキスト

授業時に配布するプリントをテキストとする。

履修コード	090203
科目名	経済原論
担当者名	松井 柳平

講義の到達目標(ねらい) 理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容／
授業スケジュール

<前期>
ガイダンス 講義の概要等説明・あるパン屋の話・ナッシュ均衡・バックワード・インダクション・サブゲーム完全均衡

準備・学習

<後期>
交渉ゲーム・オークション・消費者理論・金融とリスク管理・契約と誘因
事前に、中学時代の数学の計算問題等について、理解と計算能力を完全にしておくこと。講義プリントを、YeStudyから事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

履修上の留意点

この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」(個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分)、「数量関係」(表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例)

◎中学校の数学における「数と式」(正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等)、「数量関係」(比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等)

◎高校の「数学I」における「方程式と不等式」、「二次関数」

以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生はYeStudyに登録し、講義プリントを、YeStudyから事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は基本的に、定期試験(年度末)に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある(レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする)。

教科書／テキスト
参考書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9

岩田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5

武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫:経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社)
ISBN: 4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN: 4816337458

渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』(日本経済新聞出版社) ISBN: 4532133467

その他

受講生の予習と復習を前提として講義を進める。練習問題等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

履修コード	090303
科目名	経済原論
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらかき よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の
関係の理解、という4つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
- 4-5. 国民所得の決定
- 6-7. 政府・輸出入の導入
8. 乗数理論
9. ビルト=イン=スタビライザー
10. 貨幣とは何か
- 11-12. 信用通貨の成立
13. 信用創造理論
- 14-15. 貨幣数量説と古典派学説
16. 流動性選好説
17. LM 曲線
18. IS 曲線
- 19-20. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
21. マンデル=フレミングの定理
22. クラウディング・アウト
23. フィリップス曲線と期待理論
- 24-30. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
ノートを取ることが肝要。
主として計算問題から成る定期試験100により評価する。
特に指示しない。
適宜紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	090403
科目名	経済原論
担当者名	浅野 克巳

講義の到達目標(ねらい)

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容／
授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
- 22～23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくとうい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。

成績評価の方法

定期試験(年度末)と授業内試験(5～7回実施予定)、およびレポート(1～2回)の成績を総合評価する。

教科書／テキスト

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

参 考 書

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

そ の 他

授業中の問題点などあったら、オフィスアワーを設けていますので利用してください。

履修コード	098302
科目名	民法Ⅰ
担当者名	^{たけなか あか} 竹中 智香

講義の到達目標(わらい)

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

講義の内容/
授業スケジュール

〔前期〕

(1) 導入 (2) 民法における個人、(3) 権利能力 (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～ (5) 所有権の概念 (6) 所有権の効力 (7) 契約とその効力 (8) 契約にもとづく不動産の物権変動〔1〕(9) 契約にもとづく不動産の物権変動〔2〕(10) 契約にもとづく動産の物権変動〔1〕(11) 契約にもとづく動産の物権変動〔2〕(12) 予備日

〔後期〕

(1) 法人〔1〕 (2) 法人〔2〕 (3) 代理制度 (4) 無権代理 (5) 表見代理 (6) 法律行為 (7) 消滅時効、(8) 取得時効 (9) 抵当権 (10) 先取特権、留置権、質権 (11) 譲渡担保 (12) 予備日

履修上の留意点

第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

学年末の定期試験の他、出席状況などの平常点も加味します。

山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)

六法(コンパクトタイプのもの)

『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

履修コード	127803
科目名	民法Ⅰ
担当者名	^{すが あきのり} 須賀 昭徳

講義の到達目標(わらい)

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面(これを規律する法が財産法)と種族保存を目的とする保族生活の面(これを規律する法が家族法)とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

前期(民法総則)

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体(自然人) ④法人(社団法人、財団法人) ⑤権利の客体(物とは) ⑥法律行為(意思の欠缺、瑕疵ある意思表示) ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効(取得時効、消滅時効)

後期(物権法)

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権(法定担保物権) ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保(譲渡担保、仮登記担保)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

講義にはかならず六法を持参すること。

期末試験の成績により評価する。

我妻栄・有泉亨・川井健『民法』第三版①総則・物権(勁草書房)2200円

講義の中で指示する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	134701
科目名	政治学原論
担当者名	山崎 望 <small>やまざき のぞむ</small>

講義の到達目標(ねらい)	現代社会が直面している様々な問題について、政治がどのように対応することができるのか、考 える。
講義の内容／ 授業スケジュール	概ね、以下の論点について順次、講義をしていきます 前期はまず身近なレベルの問題であるフェミニズムと経済をめぐる問題について 政治学の観点から講義します。前期の終盤には国民国家をめぐる問題を扱います。 (1～6回) 現代世界の変容1・2、政治、権力、フェミニズム1・2 (7～10回) 格差社会論、グローバル経済と世界恐慌、自由論1・2 (福祉国家の変容) (11～12回) マルクス主義の再検討 (13～15回) 国民国家、同化主義、ナショナリズム 後期は一見、身近とは思えないようなグローバル化をめぐる問題がいかにわたしたちの生活と関連し ているのか、講義していきます。 (16・17回) 多文化主義、移民 (18～25回) グローバル政治論、「9. 11」対米同時多発テロ以後のアメリカ 世界秩序の多極化、「イスラーム原理主義」 人道的介入、グローバル・テロリズム 地域主義1・2 (EUとアジア共同体) (26～30回) 自由民主主義の揺らぎ、新しい民主主義論1・2、市民社会論 国境を越える民主主義論
履修上の留意点	現代社会の変動を念頭に講義を行うので、日頃から新聞や雑誌を読む習慣を身につける事をお勧 めします。
成績評価の方法	学年末の試験。ただし、病欠や公欠席などの正当な理由なくしてレスポンスカードの提出率が5 割を切る場合、試験を受けても単位の取得は認めない
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN4 641 - 12168 特になし。 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。 講義の後半10分にレスポンスカードを配るので、質問や感想を書いて下さい。 翌週の講義の冒頭に簡単な応答を行います。

履修コード	134801
科目名	政治学原論
担当者名	清滝 仁志

講義の到達目標(ねらい)

この講義は教職科目として、政治学の基礎的なことがらについて学んでいきます。授業を通じて、現在の政治・経済・社会について、自分の観点から理解し、わかりやすく説明できる能力を身につけることを目的としています。

講義の内容/
授業スケジュール

前期
政治学入門 (1)、民主政と選挙制度 (2・3)、議院内閣制と大統領制 (4・5)、政党と圧力団体 (6～8)、議会と立法過程 (9～11)、地方分権と地方自治 (12・13)、現代社会と官僚制 (14・15)
後期: グローバル化と構造改革 (1～5)、福祉国家の形成と動揺 (6～8)、日本の安全保障問題 (9)、農業改革の課題 (10・11)、民主主義と自由 (12～14)、政治学概念の基礎 (15)

準備学習

時事問題に関心をもつようになしてください。本年度は参院選挙をはじめ、政治がかなり揺れ動くことが予想されます。

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。
1 身近な時事問題を取りあげながら、そのポイントを解説
2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
公務員試験等の政治学にも対応できるような内容です。
授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。
①定期試験 (25%) 2011年1月実施
②3回の課題レポート (35%)
6月 (10%)・9月 (15%)・11月 (10%)
③コメント・ペーパー (40%) 授業での意見・質問等を5段階評価

成績評価の方法

※評価のポイント

- ・授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか?
- ・授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか?
- ・自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか?

教科書/テキスト
参考書
その他

文献については講義・Yestudyを通じて随時紹介します。
毎回、レジュメと資料を配布。レジュメについてはYestudyを通じても入手可。
講義を受身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。
質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。
YeStudy(<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>)に授業ページを設置します。パスワードは授業で通知します。

教職課程
資格講座科目

履修コード	232702
科目名	日本宗教文化史
担当者名	小川 順敬

講義の到達目標(ねらい)

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は(われわれの文化ばかりではありませんが)自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。(現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。)
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事(祭礼や儀礼)、寺院行事、また物語、芸能などを題材(ビデオ等使用する予定)として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回: この授業の進め方、第2～3回: 日本人の靈魂観について、第4～5回: 山岳信仰について、第6～10回: 山岳信仰と地獄極楽、第11～15回: 浄土信仰と臨終行儀について、第16～20回: 来迎会の諸相、第21～25回: 補陀洛渡海について、第26～28回: 再び山岳信仰について、第29・30回: 現代社会と他界

準備学習

配布する関連資料に必ず眼を通してください。
年度末レポートおよび出席状況で評価します。
教科書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。
参考書はその都度紹介することにした。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

履修コード	232802
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	鈴木 一馨

講義の到達目標(ねらい)

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいがけんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。

講義の内容/
授業スケジュール

この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方と、同時に自分達がどのように民衆宗教と関わっているのかについて説明できる能力を身に付けることを目標とする。

前期：Ⅰ. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論

1. 「陰陽寮」と「陰陽道」(1～5)、2. 「陰陽」の理論と世界観(6～10)、3. 曆と世界の変化(11～15)

後期：Ⅱ. 陰陽道と民衆宗教

1. 平安貴族の日常と陰陽道(16～20)、2. 呪術者としての陰陽師(21～25)、3. 民衆宗教としての陰陽道(26～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

成績評価の方法

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

教科書/テキスト

期末試験を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点数の加算も行なう。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

参 考 書

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN:4062582449

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』(嵯峨野書院、2002年)3,150円、ISBN:4782303610

高埜利彦編『民間に生きる宗教者』(吉川弘文館、2000年)2,940円、ISBN:4642065512

履修コード	232902
科目名	宗教学概説
担当者名	池上 良正

講義の到達目標(ねらい)

テーマは「生活の中の宗教」とする。多くの現代人は、「宗教」を自分とは関係ない特殊な分野のように考えている。しかし、近代になって「宗教」と呼ぶようになった現象は、人類の歴史を通して、生活のあらゆる部分に深く根ざしている。この授業では、身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

(1～3) 全体のオリエンテーション。(4～10) 儀礼と祭り。(11～15) 癒しの文化(16～23) 民俗宗教の世界。(24～30) 異文化の理解。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。受講者は最低1回は発表してもらう。教職科目であることに配慮し、プレゼンテーションの方法についても工夫を求めらる。

成績評価の方法

課題の発表(3割)、出席状況(5割)、授業への熱意(2割)によって評価する。

参 考 書

講義のなかで適宜指示する。

履修コード	233002
科目名	宗教学概説
担当者名	矢野 <small>やの</small> 秀武 <small>ひでたけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部に多様性のあることも理解してもらいたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。具体的には、宗教学の基礎 (1～3)、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム (4～10)、仏教・現代日本の宗教 (11～15) について歴史的背景を紹介する。後期では、宗教学のものの見方を学ぶ。具体的には、聖と俗 (16～20)、儀礼と神秘体験 (21～25)、宗教の心理的側面と哲学的側面 (26～30) をテーマとしてとりあげ概説する。
履修上の留意点	レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
成績評価の方法	出席、前期レポート (夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
教科書／テキスト	なし
参考書	授業時に随時紹介する。

履修コード	233102
科目名	宗教学概説
担当者名	川上 <small>かわかみ</small> 新二 <small>しんじ</small>

講義の到達目標(ねらい)	前期では世界の多くの人々の間に伝播している主要な宗教について、後期では人々に実践されている宗教の一例としてシャーマニズムについて学びながら、宗教学による宗教への接近方法を理解します。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 宗教学とは、(2) 「宗教」とは、(3～4) 宗教の原初形態、(5) 呪術と宗教、(6) ユダヤ教、(7～8) キリスト教、(9) イスラム教、(10) ヒンズー教、(11～12) 仏教、(13) 道教、(14) 儒教、(15) 宗教の分類、(16) 民俗宗教とシャーマニズム、(17) 東アジアのシャーマン、(18) シャーマンと守護霊、(19) 憑霊 (精霊憑依)、(20～22) 韓国のシャーマン、(23～24) 韓国のシャーマンの守護霊、(25) 韓国のシャーマンの成巫過程、(26～28) 日本のシャーマン、(29～30) 仏教、キリスト教とシャーマニズム
準備学習	授業後には当日の配布プリント、板書、講義の内容を整理して、まとめておいてください。
成績評価の方法	出席状況と、年2回 (夏休み、学期末) のレポートで評価します。
教科書／テキスト	プリントを配布します。
参考書	水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 佐々木宏幹『シャーマニズム』中公新書 池上良正『民俗宗教と救い』淡文社

教職課程
資格課程科目

履修コード	233202
科目名	哲学概説
担当者名	末木 <small>すえき</small> 恭彦 <small>やすひこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。
講義の内容／授業スケジュール	近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新原道』を紹介する。 (1～2) 中国の近現代哲学の概観 (3～6) 馮友蘭の生涯 (7～10) 『新理学』概観 (11) 緒論 (12) 孔孟 (13) 楊墨 (14) 名家 (15) 予備 (16) 老荘 (17) 易庸 (18) 漢儒 (19) 玄学 (20) 禪宗 (21) 道学 (22) 新統 (25～27) 新理学の展開 (28～29) 質疑応答 (30) 予備 ノートを確実にとる。
履修上の留意点	学年末の試験、もしくはレポートによる。
成績評価の方法	『新原道』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)
教科書／テキスト	『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳) 全2冊、平凡社
参考書	

履修コード	233302
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

哲学は世界や人間についてその原理を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしで何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義はそのような問題を取り上げることにはしたい。

講義の内容／
授業スケジュール

古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。

前期では、主に、仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教という思想源流にさかのぼる。

後期では、人生論の種々のテーマー生きがい、世間、不幸、死などーを取り上げることにする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

出席数、試験（前期と年度末）、レポートなどによって評価する。

渡邊二郎『自己を見つめる』（左右社）1,619円

渡辺二郎『哲学入門』（日本放送出版協会）1,800円

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

授業中、種々の資料を配布する。

そ の 他

前期では、現代の思想の源流である、東西の古典的な思想を概説的に講義する。後期では、渡邊二郎の『自己を見つめる』を毎回一章づつ読みながら、感想や疑問を述べ合い、理解を深めることにする。

履修コード	233402
科目名	倫理学概説
担当者名	河谷 淳 <small>かわたに じゅん</small>

講義の到達目標(ねらい)

「大人であれば他人に危害（迷惑）を及ぼさない限り何を自己決定してもよい」という主張がしばしばなされることがある。だが、このような「他者危害（迷惑）の原則」はそれほど自明なものではなく、これ自体があくまでひとつの倫理的立場であるにすぎない。こうした立場の是非を考えるにあたっては他の倫理的立場と併せて検討する必要がある。

本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、前期は（a）古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理想と現代との関係を考え、後期は（b）応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容／
授業スケジュール

序論(1,2)、(A) 西洋倫理思想史：徳倫理学：プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような人か(3～7)、義務論：カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけないのか(8～11)、功利主義：ベンサム、ミル、「最大多数の最大幸福」(12～15)、(B) 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題（生老病死をめぐる倫理）：生命倫理序論(16,17)、インフォームド・コンセントをめぐる問題(18～20)、安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題(21,22)、脳死と臓器移植をめぐる問題(23,24)、クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題(25～28)、まとめ：自己決定権をめぐる問題(29,30)

成績評価の方法

中間試験（前期最終授業日に実施）と期末試験（それぞれ40点満点）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

履修コード	113801
科目名	職業指導
担当者名	洪 <small>こう</small> 利志生 <small>としお</small>

講義の到達目標(ねらい)

- ・ 職業指導と学校教育における進路指導についての考え方を確立する。
- ・ 生徒が自己の生き方を自覚し、自己の能力を発揮し、職業（進路）選択を決定できるように指導方法を学習する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 職業指導の意義（1～15）
- ・ 職業と社会（1～5）
- ・ 職業指導の歴史（6、7）
- ・ 職業指導と職業教育（8、9）
- ・ 職業指導の定義（10～12）
- ・ 職業適性について（13～15）
- 学校教育における進路指導（16～30）
- ・ 進路指導の基本的な考え方（16、17）
- ・ 進路指導における情報資料（18）
- ・ 進路指導と学校組織（19～22）
- ・ 進路適性について（23、24）
- ・ 進路指導の計画と評価（25～30）

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

- 出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。
- プリント配布
- 授業中に適宜紹介

履修コード	152651
科目名	現代商業論
担当者名	<small>たつま のぶ</small> 辰馬 信夫

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、第2次世界大戦後に著しい変化を遂げたわが国の商業(小売業・卸売業)について、その変化の過程を各種資料に基づきながら、また商業機構の形成に大きな影響を及ぼしている流通政策をも視野に入れながら、明らかにすることを狙いとしています。なお、わが国の商業機構の特徴をより明らかにするために、諸外国のそれとの比較を取り入れたいと考えています。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：はじめに一業種と業態一、第2回～4回：現代商業を理解するための統計資料の紹介と解題、第5回～7回：ここ1年間(2009年)の商業の動向、第8回～10回：第2次世界大戦後の経済復興と百貨店の復活、第11回～13回：高度経済成長期におけるGMS型スーパーの台頭と大規模小売店舗法の制定、第14回～16回：諸外国における商業機構の展開、第17回～20回：現代商業を学ぶためのいくつかの基礎理論の検討、第21回～23回：低経済成長期における業態の多様化―ディスカウントストア・コンビニエンスストア・食品スーパーの発展―、第24回～25回：バブル経済期における商業機構、第26回～28回：1990年代以降の商業機構(1)―新業態の展開・競争の激化・流通政策の新展開―、第29回～30回：1990年代以降の商業機構(2)―卸売業の再編―

準備学習

一般紙の経済面のなかの商業にかかわる記事に日ごろから慣れておくようにしてください。さらにすすんで、『日経MJ(流通新聞)』(週3回発行)や『日経ビジネス』(週刊)などを読むと理解がいっそう深まります。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

特にありません。
出席、授業中の質問や発言、などを総合的に判断して評価します。
特にありません。
授業内容に応じて適宜紹介します。

履修コード	305401
科目名	教職入門
担当者名	<small>てんじょう かつみ</small> 天井 勝海

講義の到達目標(ねらい)

今日の生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、生徒を取り巻く教育環境は、国際化・情報化・高齢化・少子化などの著しい進展や生涯学習社会への移行など急激に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教育職員としての在り方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教員に求められている基本的な資質や能力及び実践的な指導力等を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 教職入門ガイダンス・講義のねらいとその内容及び評価方法について
- 2 学校を取り巻く環境の変化
- 3 学校組織と教員の役割と責任
- 4 学習指導要領と教育課程の編成
- 5 「生きる力」と総合的な学習の時間
- 6 授業力の向上と指導内容・方法の改善
- 7 健全育成と生徒指導
- 8 生徒指導上の課題とその対応(1)
- 9 生徒指導上の課題とその対応(2)
- 10 キャリア教育と進路指導
- 11 学級経営やホームルーム経営の在り方
- 12 教育法規とその内容
- 13 学校における接遇の実際
- 14 教員に求められる資質・能力
- 15 教員の役割と責任と教職入門のまとめ

準備学習

・自らの教職を希望する理由や要因をはっきりさせるとともに自らが目指す教師像などを再確認しておく

・最近の学校や学校教育活動に関心をもち、教育に関する課題に進んで関心を持つ
 ・最近の、学校改革、教育改革などの言葉をよく目にしたり聞いたりすることが多いが、具体的にどのようなことが行われているのか、またその改革が求められる要因や背景などについても関心を持つ

・平成23年度から小学校、24年度から中学校、そして25年度からは高等学校の新しい学習指導要領が実施されるが、その改訂の趣旨やその内容などについて整理しておく

・指定された教科書を一通り目を通しておく

履修上の留意点

教職入門として不可欠の内容を取り上げます。他の教職関係の学習の基礎・基本ともなります。専門職としての教職を目指すのだという、本気の取り組みとプロ意識を持つことが必要です。

成績評価の方法

後期末試験、授業中の提出物、レポート、小テストなどのほかに、授業への参加の状況(出席席の状況)なども重視し、総合的に評価します。

なお、後期末試験結果の評価全体に占める割合は6割程度です。提出物・レポート・小テスト・出席状況などは評価全体の4割程度を占めます。

教科書／テキスト

現代実践教職入門(学事出版)著者名 天井勝海 価格2200円

参考書

必要なものは授業の際に紹介する。また、参考となる資料は、プリントして配付します。

その他

・資料が毎回配布されます。必ず講義順に保存をし、講義の際には加筆するなどして活用することが重要です。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	343801
科目名	教育基礎論
担当者名	<small>やまもと としこ</small> 山本 敏子

講義の到達目標(ねらい)

教育についての見方、考え方を深め、現代の学校教育が抱える様々な問題を解決していくために必要な力量の養成を目指して、ルドルフ・シュタイナーの教育思想を手掛かりに教育の基礎理論について学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) はじめに、(2) 教育という概念と人間の歴史、(3~5) R・シュタイナーの生涯と教育思想、(6~12) 教育の基礎としての一般人間学、(13~14) 教育における実践と省察、(15) まとめ

準備学習

R・シュタイナー『人間理解からの教育』(西川隆範訳、筑摩書房)を読みながら授業に参加すると、理解の助けになります。

履修上の留意点

初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法

学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。

教科書／テキスト

特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

参考書

初回に紹介します。

履修コード	343901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	山本 敏子

講義の到達目標(わらい) 今日为学校教育制度について、その成り立ちを前近代の多様な教育システムとの関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や公教育原理を理解するとともに、よりよい改革の方向性を模索します。

講義の内容／
授業スケジュール (1)はじめに、(2～3)前近代の多様な教育システム、(4～6)近代社会の成立と近代学校システム、(7～8)現代公教育制度とその組織原理、(9～14)近年の教育諸問題と教育制度・環境の改善(含・諸外国との比較)、(15)まとめ

準備学習 新聞記事を読んだり、自分自身の教育体験を省察したり、子どもや若者の生活世界に起こっている様々な出来事に関心をもって調べたり等に取り組んで授業に臨むと、理解が深まります。

履修上の留意点 初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。

教科書／テキスト 特に使用せず、必要に応じて資料を配付する予定です。

参考書 適宜紹介します。

履修コード	344001
科目名	学習・発達論
担当者名	藤原 善美

講義の到達目標(わらい) 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール (1)発達とは何か (2～3)発達理論、発達段階と発達課題 (4～7)胎生期・乳児期、幼児期、児童期・青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10)認知の発達、言動と知能の発達、社会的発達 (11)発達障害 (12)学習とは何か (13～15)学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。

成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。

教科書／テキスト 特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	344101
科目名	教育課程論
担当者名	藤原 善美

講義の到達目標(わらい) 教育内容の全体的計画である教育課程(カリキュラム)について、授業=学習過程のなかでの特徴や、教育目的・教育方法との関連性を、日本の教育に基づいて学ぶことを目的とします。また、学校教育の実際、および発達障害の特徴と特別支援教育についての理解を目指し、教育現場の諸問題について、どのような解釈、対処があるのかを考えるきっかけとなれればと思います。

講義の内容／
授業スケジュール (1)カリキュラムとは何か (2～4)日本の教育制度 (5～7)学習指導要領 (8～10)教授法 (11)教育評価 (12)特別支援教育 (13～15)学校教育の実際と今後の課題

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。

成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。

教科書／テキスト 特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	305501
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい)	本授業では情報化が著しく進展している今日の社会的状況における、新たな教育形態と情報メディアの在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの活用状況の現状を眺めて、今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットに関連したパソコン操作の実習を行ない、パソコンやネット活用の利点や問題点を理解します。その上で、情報メディアを教育実践に活用する際に必要な基礎能力の習得を目指すとともに、教師の役割についても検討していきます。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：デジタル時代と情報格差、第2～3回：教育の情報化の推進、第4～5回：小学校の教育の情報化の現状と課題、第6～7回：中学校の教育の情報化の現状と課題、第8回：インターネット社会への参加態度、第9～10回：高等学校の教育の情報化の現状と課題、第11～12回：外国での教育の情報化の現状と課題、第13～14回：教育の情報化の新たな動向と課題、第15回：期末試験
準備学習履修上の留意点	日頃から、教育に関連したパソコンやインターネットの活用について関心を持つこと。 履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。
成績評価の方法	成績の評価は期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	教科書は使用せず、必要に応じて配布プリント等を利用して授業を進めていきます。 授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 毎回の授業の中で、パソコンの実習をします。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生には「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	305601
科目名	道徳教育の研究
担当者名	井上 勝

講義の到達目標(ねらい)	今日の学校教育の課題は「生きる力」をもった生徒の育成であり、その要となるのが「心の教育」、道徳教育である。道徳の時間は学級担任が担当するものであり、道徳教育の指導理論・方法を習得することはすべての教員にとって不可欠のことである。 本講座では、学習指導要領に基づいて道徳教育の基本的な理論・方法について理解するとともに、道徳の時間の学習指導案を作成し、道徳の授業を担当できる実践的な指導力を習得することをねらいとする。
講義の内容／授業スケジュール	1. 道徳教育の意義と課題 2. 道徳教育の基本構造 3. 戦前の道徳教育とその問題点 4. 戦後の道徳教育とその課題 5. 学習指導要領と道徳教育 6. 道徳資料の内容分析と学習指導案(2) 7. 内容分析と学習指導案の作成(3) 8. 模擬授業(2) 9. 道徳教育の基礎理論 10. 道徳教育の評価、他の教育活動との関連
履修上の留意点	道徳教育の基礎理論を学ぶと同時に、学習指導案の作成に重点を置き、直ちに「道徳の時間」の授業を担当できる指導力の養成をねらいとするので、授業への能動的な参加を望む。
成績評価の方法	次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは必ず2回提出する。 ① 出席状況 ② 授業中に提出する学習指導案等 ③ レポート(2回)
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	文部科学省『中学校学習指導要領解説——道徳編——』(日本文教出版) 139円 金井肇『道徳授業の基本構造理論』(明治図書) 2,000円 授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	305711
科目名	特別活動論
担当者名	<small>いのうえ まさる</small> 井上 勝

講義の到達目標(ねらい)	特別活動とは、学校の集団活動を通して生徒の個性の伸長と社会的資質の育成をねらいとする活動であり、具体的には学級（ホームルーム）活動、学校行事、生徒会活動などである。特別活動の指導は教科指導以外のほとんどの領域・機能を含んでおり、このため、その指導は学級担任の主要な職務と重なるものである。
講義の内容／ 授業スケジュール	本講座では、特別活動の基礎理論を理解するとともに、受講者の小中高校での学校生活の positive な体験を事例として取り上げ、事例研究を中心として具体的な指導の考え方や方法を理解し、学級（ホームルーム）担任としての実践的指導力を習得することをねらいとする。 1. 特別活動の意義と内容（2） 2. 学級（ホームルーム）活動の役割と内容（2） 3. 生徒会活動の役割と内容（2） 4. 学校行事の役割と内容（2） 5. 部活動の役割と指導（2） 6. 特別活動と生徒指導、教育相談 7. 特別活動とガイダンス 8. 特別活動とボランティア活動 9. 特別活動の評価
履修上の留意点	受講者の小中高校での特別活動の positive な体験を事例とする事例研究を中心にして授業を行うので、発表、討論等への積極的な参加を求める。
成績評価の方法	次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは2回必ず提出する。 1. 出席状況 2. 授業中に提出する意見、感想等 3. レポート（2回）
教科書／テキスト	次のどちらかを用意する。 文部科学省『中学校学習指導要領解説－特別活動編－』（ぎょうせい）114円 文部科学省『高等学校学習指導要領解説－特別活動編－』（海文堂）210円
参 考 書 そ の 他	その都度紹介する。 1. 授業は事例研究、受講者による事例発表に基づく、討論形式の授業を中心に行う。 2. 授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	305801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	<small>けいの はるか</small> 慶野 遥香

講義の到達目標(ねらい)	生徒指導は、生徒の人格を成長させ、個性を伸ばすことを目的に、学校教育活動のあらゆる営みを通じて行われる。この講義では、生徒理解に関する諸理論や発達の観点、教育現場での問題を取り上げながら、どのように生徒を理解し、かかわることが望ましいかを、自分自身で、その場その場で考えていけるようになることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：イントロダクション、第2回～4回：生徒指導とは何か、第5回～7回：生徒の理解（思春期・青年期の心理的特質と発達課題、性格の心理学）、第8回：生徒指導の方法、第9回～10回：進路指導、第11回～第15回：学校現場の問題（学校現場における問題行動、不登校、いじめ）
準 備 学 習 履修上の留意点	各回の授業内容の復習を行っておくこと。 教職課程であるため、出席は毎回とります。授業は講義形式が基本ですが、学生同士が話し合ったり、ワークをする時間も取り入れますので、積極的な参加を望みます。
成績評価の方法	学期末試験（7割）とレポート（3割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト 参 考 書	教科書は指定しません。 授業の中で、関連のある書籍を適宜紹介します。

履修コード	305901
科目名	教育臨床
担当者名	慶野 <small>けいの</small> 遥香 <small>はるか</small>

講義の到達目標(わらい) 教育臨床とは、教育領域におけるさまざまな「個」や「集団」の問題の解決を目的として、臨床実践や研究を行うことである。この講義では、教育の現場が抱える困難に取り組み克服できる力を身につけることが目標である。具体的には、教育相談の考え方やことごと発達における「障害」の基本的な知識を習得し、実習を通して「共感的な聴き方」を体験的に学ぶことを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：イントロダクション、第2回～3回：教育臨床とは何か、第4回～第7回：こころの理解（精神医学的な問題、発達障害、行動上の問題）、第8回～第10回：話すことと聴くこと（共感的な聴き方の実習）、第11回～12回：心理療法の方法、第13回：保護者対応・関係機関との連携、第14回：事例研究、第15回：教員のメンタルヘルスと自己理解

準備学習 各回の授業内容の復習を行っておくこと。
履修上の留意点 教職課程であるため、出席は毎回とります。授業は講義形式が基本ですが、学生同士が話し合ったり、ワークをする時間も取り入れますので、積極的な参加を望みます。

成績評価の方法 学期末試験（7割）とレポート（3割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト 教科書は指定しません。

参考書 授業の中で、関連のある書籍を適宜紹介します。

履修コード	306001・306002
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（2）〔子ども・自然・家庭〕
担当者名	山本 <small>やまもと</small> 敏子 <small>としこ</small>

講義の到達目標(わらい) 衣食住の暮らしは、人間が生命過程を維持していく上で不可欠な生存の基盤ですが、自然と人間との関係が変容したことにより、今日では様々な局面で危機的状况に置かれています。私たちはどのような難問に直面しており、人間にとっても生き物にとっても生きやすい社会を築いていくにはどうしたらよいか。「食」の問題を切り口に考えていきます。

講義の内容／授業スケジュール 村井吉敬『エビと日本人Ⅱ』を読みながら、「食」の問題をめぐって考えたい具体的なテーマや方法等を話し合い、その後、実際に調べていきます。最後に発表、レポートとしてまとめます。(1)はじめに、(2～3)総合学習とは何か、(4～6)共通文献を読む、(7)図書館での調査実習、(8～10)共通文献を読む、(11～14)自由研究の発表・討論、(15)まとめ

準備学習 テキストを必ず読み、発表者はさらに調べてレジュメを作成することが求められます。

履修上の留意点 受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 学期末レポート（5割）、出席状況および授業内の小レポート・発表等（5割）の総合評価。

教科書／テキスト 村井吉敬『エビと日本人Ⅱー暮らしの中のグローバリズム』岩波新書（2007年刊）、740円

参考書 初回に紹介します。

その他 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

教職課程
資格講座科目

履修コード	306101・306102
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（2）〔子ども・自然・家庭〕
担当者名	山本 <small>やまもと</small> 敏子 <small>としこ</small>

講義の到達目標(わらい) 科学技術がつくり出す人工物の世界に囲まれて、人間の暮らしは便利で快適になった反面、様々な「環境問題」を抱え不安なことばかりです。多様で美しい自然、おいしくて安全な空気や水、食べ物等を未来の子どもたちへと受け渡していくために、私たちにできることは何か。地球規模の環境問題に視野を広げつつ、身近なところから考えていきます。

講義の内容／授業スケジュール 富山和子『環境問題とは何か』を読みながら、「環境問題」をめぐって考えたい具体的なテーマや方法等を話し合い、その後、実際に調べていきます。最後に発表、レポートとしてまとめます。(1)はじめに、(2～3)総合学習とは何か、(4～6)共通文献を読む、(7)図書館での調査実習、(8～10)共通文献を読む、(11～14)自由研究の発表・討論、(15)まとめ

準備学習 テキストを必ず読み、発表者はさらに調べてレジュメを作成することが求められます。

履修上の留意点 受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 学期末レポート（5割）、出席状況および授業内の小レポート・発表等（5割）の総合評価。

教科書／テキスト 富山和子『環境問題とは何か』PHP新書（2001年刊）、660円

参考書 初回に紹介します。

その他 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	306201・306202
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい) 中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容／授業スケジュール 実習前には、教育実習の意義や目的、内容についての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験を報告により共有したうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点 第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。

成績評価の方法 実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書／テキスト 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	306301
科目名	社会科教育法Ⅰ
担当者名	天井 勝海

講義の到達目標(ねらい) 中学校学習指導要領に示された「社会」の目標、地理的分野と歴史的分野の内容とその取扱い及び指導計画の作成に関する内容を取り上げ、実際の指導内容・方法などを考察し指導の実践的な資質や能力を育てる。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 社会科教育法のガイダンス・講義ねらいとその内容及び評価の方法について
- 2 中学校社会科の改訂の趣旨とその要点
- 3 地理的分野の目標とその内容
- 4 世界と日本の地域構成
- 5 模擬授業(1)
- 6 模擬授業(2)
- 7 地域の規模に応じた調査
- 8 世界と比べてみた日本
- 9 模擬授業(3)
- 10 模擬授業(4)
- 11 歴史的分野の目標とその内容
- 12 歴史の流れと地域の歴史
- 13 古代・中世・近世の日本
- 14 近現代の日本と世界
- 15 指導計画の作成とその配慮事項

準備学習

- ・自らの教職を目指す目的やその理由や要因などを明確にしておくとともに、自らが目指す教師像も再確認しておく。
- ・最近の学校を取り巻く環境の変化や多様な生徒の実態などについて関心を持ち、その特徴などを把握しておく。
- ・平成23年度から小学校、24年度から中学校そして25年度から高等学校で実施される新しい学習指導要領の改訂の背景やその内容などを整理しておく。
- ・中学校社会科の教科書を一読しておく。

履修上の留意点 学習指導要領に示された内容を踏まえ、実践的な指導内容や指導方法などについて討論や発表なども行います。主体的で積極的な学習態度が必要です。

成績評価の方法 試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況(出欠席の状況)なども重視し、総合的に評価します。なお、試験結果の評価全体に占める割合は約6割です。提出物・発表・模擬授業・出席の状況や授業への取り組みの評価は全体の約4割です。

教科書／テキスト 中学校学習指導要領(文部科学省)
中学校学習指導要領解説 社会編(文部科学省)

参考書 授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配付します。

その他 グループ討論や発表学習や模擬授業なども取り込んだ授業となります。

履修コード	306401
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	天井 勝海 <small>てんじょう かつみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	中学校学習指導要領に示された「社会」の目標、公民的分野の内容とその取扱い及び指導計画の作成に関する内容を取り上げ、実際の指導内容・方法などを考察するとともに模擬授業なども行い、指導の実践的な資質や能力を育てる。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校社会科の改訂の趣旨とその要点 2 公民的分野の目標とその内容 3 現代社会と私たちの生活 4 国民生活と経済 5 現代の民主政治とこれからの社会 6 指導計画の作成と内容の取扱い 7 指導計画の作成とその配慮事項 8 資料等の活用と作業的、体験的な学習 9 選択教科としての「社会」 10 授業改善と指導内容・方法の工夫 11 模擬授業(1) 12 模擬授業(2) 13 模擬授業(3) 14 模擬授業を終えて 15 社会科教育法Ⅱを終えて(まとめ)
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの教職を目指す目的やその理由や要因などを明確にしておくとともに、自らが目指す教師像も再確認しておく ・最近の学校を取り巻く環境の変化や多様な生徒の実態などについても関心を持ち、その特徴などを把握しておく ・平成23年度から小学校、24年度から中学校、25年度から高等学校で実施される新しい学習指導要領の改訂の趣旨や背景などを理解しておく ・中学校社会科の教科書を一読しておく
履修上の留意点	学習指導要領に示された内容を踏まえ、実践的な指導内容や指導方法などについて討論や発表なども行います。主体的で積極的な学習態度が必要です。
成績評価の方法	試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況(出欠席の状況)なども重視し、総合的に評価します。
教科書／テキスト	中学校学習指導要領(文部科学省) 中学校学習指導要領解説 社会編(文部科学省)
参考書 その他	授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配付します。 グループ討論や発表学習なども取り込んだ授業となります。

教職課程
資格講座科目

履修コード	321801・321802
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、公民科の授業について「授業のねらいをどう設定するか」「授業の流れをどうつくるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計や教材研究の仕方まで学び、自分が実際に公民科の授業を行うことを想定して教材を精選し、学習指導案が作成できるようにします。

本講は公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
- 2 教育の意義
- 3 社会科・公民科の意義と社会科の原点
- 4 高等学校の教育課程と社会科・公民科
- 5 社会科の成立 公民科・社会科委員会
- 6 初期社会科の教科構造
- 7 社会科の教科構造第3期 融合科目・系統科目
公民科の授業設計、学習指導案の意義と作成
- 8 社会科の教科構造第4期 経験主義から系統主義へ
学習指導案単元の目標・本時の指導目標・指導計画の意義と作成
- 9 社会科の教科構造第5期
公民科授業の動機づけと「導入」の意義と作成
- 10 社会科の教科構造第6期 高校社会科の再編成
公民科授業の展開過程「学習内容」の意義と作成
- 11 社会科の教科構造第6期
公民科授業の展開過程「学習活動」の意義と作成
- 12 社会科の教科構造第7期
公民科授業の展開過程「指導上の留意点」「資料」「時配」の意義と作成
- 13 社会科の教科構造第8期
公民科授業の「むすび」・評価・確認テストの意義と作成
思考力を育む公民科の授業
- 14 社会科の教科構造第9期 補充・発展学習
公民科授業の板書計画・教材研究の意義、教材の発掘
- 15 公民科の教育評価と公民科学習指導案の完成・提出
公民科前期授業総括・小テスト
公民科教員採用試験の準備と心構え、「特別演習」「サブゼミ」について

準備学習

日頃より新聞や雑誌を読み、教育・学校の動向のみならず、政治・経済・社会の動向に関心を持つこと。

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVD教材を使用します。視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、学習指導案の作成、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教科書／テキスト

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版 現代社会』実教出版、570円
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書

以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照のこと。

- (1) 広瀬敏雄『生きる力としての問題解決力を育む授業』(黎明書房)、(2) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)、(4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(5) 谷敷正光他『社会科教育研究』(粹出版)
- (6) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)、(7) 高元厚憲『高校生と政治教育』(同成社)、(8) 木村博一『日本社会科の成立理念とカリキュラム構造』(風間書房)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)、(15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)。

履修コード	321901・321902
科目名	社会科教育法Ⅵ（公民） 公民科教育法Ⅱ
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

後期は、授業実践に必要な授業展開の仕方、発問の仕方、板書法などの基本的指導技術や教材開発など実際的能力を修得し、各自が立てた授業設計・学習指導案をもとに公民科の模擬授業を実践する。授業実践を通じて教育実習に備えるとともに公民科教師としての資質・力量形成につとめます。本講は前期、後期の授業で公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
高等学校公民科のねらい
- 2 高等学校公民科「現代社会」の内容構成と授業の配慮事項
- 3 高等学校公民科「政治経済」の内容構成と授業の配慮事項
- 4 高等学校公民科「倫理」の内容構成と授業の配慮事項
公民科の学習形態
- 5 公民科授業技術 机間巡視・机間指導法
- 6 公民科授業技術 教材開発と教材の活用
- 7 公民科授業技術 板書計画と板書法
- 8 公民科授業技術 発問の仕方と問答法
- 9 模擬授業の意義と学習指導案の立案
模擬授業の実施方法と諸注意・実施要領（授業研究）
4年生の模範授業（授業研究）
- 10 模擬授業実践・感想意見の集約（授業研究）
- 11 模擬授業実践・感想意見の集約（授業研究）
- 12 模擬授業実践・感想意見の集約（授業研究）
- 13 模擬授業実践・感想意見の集約（授業研究）
- 14 公民科教師による模範授業 できれば授業参観（予定）
- 15 実践した模擬授業の評価、後期授業の総括と小テスト、教育実習と公民科の授業、高等学校公民科教師論、
公民科の教員採用試験の準備、「特別演習」と「サブゼミ」

準備学習

日頃より新聞や雑誌を読み、教育・学校の動向のみならず、政治・経済・社会の動向に関心を持つこと。

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVDなどを利用します。視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、模擬授業の実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書／テキスト

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書

以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照して下さい。

- (1) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
- (2) 上条晴夫『図解・よくわかる授業上達法』(学陽書房)
- (3) 加藤辰雄『板書のしかた・ノート指導』(学陽書房)
- (4) 上条晴夫『教師の話し術』(たんぼ出版)
- (5) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
- (6) 関根正明『教師のちょっとした口のきき方』(学陽書房)
- (7) 大西忠治『発問上達法』(民衆社)
- (8) 濱上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
- (9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)
- (10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)
- (11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)
- (12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)
- (13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)
- (14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)
- (15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)。

教職課程
資格講座科目

履修コード	304801
科目名	日本史概説
担当者名	菅野 洋介 <small>かんの ようすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、社会科教員になる上で最低必要な日本史に関する知識や考え方について学ぶものである。また日本史の流れを多角的にとらえることを主眼とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	主に戦国時代から明治時代までを対象として、様々なテーマを取り上げ講義する。前期は歴史学のおかれた状況や様々な学説にふれながら、戦国時代から江戸時代半ばまでを中心に講義する。後期は前期の内容をふまえ、江戸時代後半から明治時代を講義する。なお古代史や近代史についても補足的に取り上げる。 ・前期 (1) 歴史学の基本的立場 (2) 時期区分をめぐる諸問題 (3) 戦国大名の出現 (4) 織田信長の諸政策 (5) 豊臣政権の諸課題 (6) 村請制の形成と展開 (7) 中世の文化と宗教 (8) 関ヶ原の戦いと大坂の役 (9) 寛永期の諸課題 (10) 家綱政権と綱吉政権 (11) 享保の改革 (12) 異国・異域との接点 (13) 宝暦・天明期の社会状況 (14) 寛政期における内政と外交 ・後期 (1) 各地の年中行事 (2) 江戸時代の学問と文化 (3) ペリー来航と多様な情報 (4) 三都の形成と展開 (5) 幕末期の政治情勢 (6) 戊辰戦争 (7) 明治維新と文明開化 (8) 明治国家の編成原理 (9) 岩倉使節と博覧会の時代 (10) 自由民権運動と政治文化 (11) 近代国家と地域社会～交通網の整備・軍用地を中心に～ (12) 立憲政治の形成と展開 (13) 近代国家と宗教 (14) 日本史研究と地域社会
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	高等学校の日本史教科書の内容を確認しておくこと。 授業中の私語をつつしむ。 出席・レポートで評価する。 講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	304901
科目名	日本史概説
担当者名	鈴木 雅晴 <small>すずき まさはる</small>

講義の到達目標(ねらい)	歴史学の目的と意義について講義を行なったうえで、古代から近現代にいたる日本の歴史の大きな流れをとらえ、各時代における歴史的事象について、当該期における政政・社会・経済状況などに関連づけながら理解することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 歴史学の目的と意義、(4～5) 日本文化の黎明と古代王権の成立、(6～8) 律令国家の成立と貴族政治の展開、(9～10) 武士の台頭と武家社会の形成、(11～12) 武家社会の展開と動乱、(13～15) 統一政権の樹立と幕藩制国家の確立、(16～18) 江戸時代の農村と人びとの暮らし、(19～21) 江戸時代の文化とその展開、(22～24) 幕藩体制の動揺と近代国家誕生への胎動、(25～26) 近代国家の成立と展開、(27～28) 立憲国家形成とその進展、(29～30) 資本主義の発展と世界大戦の勃発
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	日本史の知識の蓄積だけを目的とするのではなく、総合的な知識を動員して、考究する姿勢を望む。年度末に行なう定期試験によって評価する。なお、出席状況を参考にする。 教科書の指定はしない。適宜、必要な資料の配布をする。 講義の内容に応じて随時紹介する。

履修コード	305001
科目名	世界史概説
担当者名	けんじよう みつなげ 見城 光威

講義の到達目標(ねらい)	東アジア世界の歴史展開の概略を習得することを第一とする。が、その一方で教科書に見られる歴史叙述が必ずしも絶対なものではなく、多様な歴史観が存在することも会得する。そして、その延長として独自の史観を創出する素養を身につけることを最終の目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：歴史を学ぶにあたって 第2～3回：中華文明の発展——夏殷周・春秋戦国—— 第4～7回：統一国家の樹立——秦漢・三国・魏晋南北朝—— 第8～14回：多民族国家の発展——唐宋元明清—— 第15回：前期試験 第16回：清代後期——沈淪と覚醒—— 第17～20回：中華民国——戦乱と建設—— 第21～23回：新中国——摸索と発展—— 第24～26回：朝鮮半島の歴史 第27～29回：東南アジアの歴史 第30回：後期試験
履修上の留意点	積極的な質問、およびディスカッションを望む。
成績評価の方法	前期・後期2回の試験で評価（出題は教科書を中心とする）
教科書／テキスト	歩平・劉小萌・李長莉著、鈴木博訳『若者に伝えたい 中国の歴史』2008年刊、明石書店、1800円 978-4-7503-2840-9、および随時補充プリントを配布。

履修コード	304201
科目名	地誌学概説
担当者名	かわもと とよかず 川元 豊和

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活 なお、受講者が少人数の場合には、後期(16～30)において、受講者による9月末に提出するレポートの内容発表も予定しています。
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席状況(授業回数の2/3以上、15%)および9月末のレポート提出(15%)を前提とし、学年末の筆記試験(または後期におけるレポート発表と12月末のレポート提出、70%)を併せて総合的に評価します。
教科書／テキスト	教科書は、特に定めずプリントを配布します。
参考書	授業内において、その都度紹介します。
その他の	講義形式。

履修コード	304301
科目名	地誌学概説
担当者名	わたなべ なたお 渡邊 盾夫

講義の到達目標(ねらい)	この講座は、教職科目である。受講する皆さんが教壇に立つ前に、自分自身で地誌学が何であるかを理解しておくことを目標とする。 ここでは、それぞれの国は、さまざまな風土を持ちながらさまざまな人間活動が行われているが、これらの人間活動を自然・社会環境を通して総合的に見て、比較することができるようにすることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	地誌は、ある場所を自然環境と社会環境の両面から見て考え比較する学問である。前期に自然環境の分野である地形や気候そして地形図などについて学習し、後期は、各大陸別に数ヶ国にわたって自然環境と社会環境を説明し、日本とそれぞれの国を比較する予定である。受講者は、必ず地図帳(古くても可)を持参すること。
準備学習	現在多くの日本人が世界各国で活動している。その活動している場所はどの様な場所なのか、その自然環境(気候や地形など)や社会環境(産業や宗教など)を考えるように心がけるようにすることである。
履修上の留意点	現在、世界や日本では、どの様な自然現象(気候変動による洪水、砂漠化など)や社会現象(環境問題、人口問題など)が、どの国または地域で起こっているのかを新聞などをみて注目をしておくことである。
成績評価の方法	年度末に定期試験(80%)を実施する。これに出席の様子、課題提出(20%)を加えて評価する。特に出席は実施数の2/3を必須とする。答えは、受講生が記した内容を読んだ相手が理解できるかどうかが大切である。
教科書／テキスト	教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布する。講義中はノートを取り、配布プリントの中に各自で必要項目を加えること、あわせて関連する本を案内する予定である。
参考書	地理の完成：山川出版

履修コード	304401
科目名	人文地理学概説
担当者名	わたなべ なたお 渡邊 盾夫

講義の到達目標(ねらい)	この講座は、教職科目である。受講者の皆さんが、教壇に立つ前に人文地理が何であるかを、自分自身で理解できるようにしておくことを目標とする。 この分野には、農業、工業、人口、宗教などさまざまな分野があるが、それぞれを説明し理解ができるようにすることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期に人文地理の考え方、研究方法、地域調査方法そして具体的項目として農業(農業人口の変化、農業問題など)、後期に人口(人口構成、日本の人口問題など)工業(日本の工業地域の形成など)を具体的な例を上げ、プリントを配布しながら講義をする。
準備学習	具体的なものとして農業では、食糧自給率が非常に低い、人口では日本は少子化、世界では人口増加、宗教ではイスラム世界ではテロが横行しているなど、これらの理由は何であるのかを受講生が新聞などを読み、考えるようにすることである。
履修上の留意点	人文地理をはじめ地理は、人間活動を比較する学問である。農業の問題や人口の問題は、日本だけでなく、世界各地域に見られるものである。それぞれの問題が起こっている地域を地図帳で確認し、その気候や地形などもあわせて関心をもつことである。
成績評価の方法	年度末に定期試験(80%)を実施します。これに出席の様子(20%)を加えて評価する。特に出席は総実施数の2/3を必須とする。 答えは、自分が記した内容が読む相手に理解できる様に書いておくことである。
教科書／テキスト	教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布する。受講生は、講義中はノートを取り、配布プリントの中に各自で必要のことがらを加えること。あわせて関連する本を案内する。
参考書	浮田典良：人文地理学総論 (朝倉書店)

履修コード	304501
科目名	自然地理学概説
担当者名	^{すずき りんたろう} 鈴木 倫太郎

講義の到達目標(ねらい) 自然地理学の分野のうち、地形の形成過程や自然環境の生い立ちについての講義を中心に、人間と自然・環境との関りについて、地域事例を用いながら論じる。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：ガイダンス
 第2回：地球の概観
 第3回：地球の内部
 第4回：地球の気圏1 地球の大気
 第5回：地球の気圏2 大気の流れ
 第6回：地球の気圏3 気候
 第7回：地球の気圏4 気象現象
 第8回：地球の水圏1 海洋
 第9回：地球の水圏2 河川と地下水
 第10回：内的営力1 火山
 第11回：内的営力2 地震
 第12回：外的営力1 水の作用
 第13回：外的営力2 海岸地形
 第14回：外的営力3 砂漠・カルスト地形
 第15回：外的営力4 氷河地形①
 第16回：外的営力5 氷河地形②
 第17回：外的営力6 土壌の形成
 第18回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理① 造礁サンゴ類
 第19回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理② サンゴ礁地形
 第20回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理③ サンゴ礁堆積物
 第21回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理④ サンゴ礁生態系
 第22回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理⑥ サンゴ礁と人間
 第23回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理⑦ サンゴ礁の環境問題
 第24回：地球環境問題1
 第25回：地球環境問題2
 第26回：予備

講義の進行により、内容を変更する場合がある。

履修上の留意点 講義が中心となるが、受講生が講義内容に対する考えや理解を持つため、レポートの提出を求め、講義中の私語を禁じる。

成績評価の方法 学年末の定期試験の結果と、夏休みのレポート点を加味しておこなう。

教科書／テキスト 特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

参考書 「教養の地学」鳥山隆三 編 朝倉書店
 「地球学入門」酒井治孝著 東海大学出版会

教職課程
資格講座科目

履修コード	305101・305201
科目名	宗教学概説
担当者名	^{すどう ひろと} 須藤 寛人

講義の到達目標(ねらい) 宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。特に、現在の世界情勢は、宗教との関わり無しには、理解しがたいものがあります。本講義では、現代の国際関係を理解するためにも、諸宗教についての知識が不可欠であると思われるので、現代につながるようなかたちで、宗教をとらえていきたいと思えます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス：成績評価について (2) 宗教と日本人 (3, 4) ユダヤ教：族長時代、ヘレニズム時代、ローマ時代以降 (5～8) キリスト教：イエス、初期教会、教会と王国、宗教改革から社会契約と資本主義へ (9, 10) イスラム教：ムハンマドの教え教え、クルアーンとイスラム法 (11～14) 仏教：釈迦の生涯、部派仏教の教え、大乘仏教の成立、大乘仏教の教え (15, 16) 儒教：孔子・孟子・朱子 (17, 18) 儒学と日本：江戸幕府と儒学、水戸学と明治維新 (19～29) 日本人と仏教：仏教以前、仏教伝来、古墳時代の終焉、御霊信仰、末法思想、僧兵、寺請制度、墓制の変遷、仏教的価値観の二元化と多様化、高度経済成長期の社会と仏教

履修上の留意点 できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法 学期末のレポート95%、出欠状況5%として評価します。

教科書／テキスト 教科書は使いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	305301
科目名	哲学概説
担当者名	かわたに あつし 河谷 淳

講義の到達目標(ねらい) この授業では、いくつかの有名なパラドックス(逆説)を題材として取り上げながら、哲学の諸問題(認識論・存在論・倫理学)にアプローチすることで、哲学的な思考方法を実感してもらうことを目指す。それと併せて、西洋哲学史の概略や基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容／授業スケジュール 序論(1,2)、ゼノンのパラドックス(運動や時間は実在するのか)(3~6)、ソクラテスのパラドックス(知りながらにして悪をなすことはありうるか)(7~10)、探求のパラドックス(知らないことを探究することはできるのか)(11~15)、囚人のディレンマ(利己的な行為はなぜいけないのか)(16~19)、未来をめぐるパラドックス(抜き打ち試験のパラドックス、自由と決定論とは両立するのか)(20~25)、芸術をめぐるパラドックス(人が悲しいドラマを見たがるのはなぜか)(26~29)、まとめ(30)

成績評価の方法 中間試験と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに出席状況の総合点で評価する。

履修コード	324302
科目名	政治学原論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義の到達目標(ねらい) I 自己紹介
私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

- A 政治学の課題と対象、および方法(1)
- B 政治の原理的究明
 - (1) 政治的なるもの
～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
 - (2) 共同体的なるもの
～国家、社会、主権、法
 - (3) イデオロギー的なるもの
～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(シティズンシップ)(2~15)
- C 政治の思想(史)的究明(15~18)
- D 政治の実体論的究明
 - (1) 制度論的究明
～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
 - (2) 機能論的究明
～政党、圧力団体(19~30)

成績評価の方法 試験による単位認定
中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。

※追試験は実施しません。

教科書／テキスト 大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円
大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社)2,900円

参 考 書 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

2. 学校図書館司書教諭講座

履修コード	086901
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題、教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。その上で、学校教育の中核とならねばならない学校図書館の運営及び司書教諭の職責についての基本的な知識を説明することができる。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 学校図書館の理念と教育的意義 (3・4) 教育行政と学校図書館 (5) 学校図書館の発展と課題 (6) 学校図書館の経営 (7) 司書教諭の役割と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築 (10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設と設備 (12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価 (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点

講義回数の70%以上出席ができ、(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点・レポート・提出物・試験を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト
参 考 書

教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。
『新学校図書館学』編集委員会編『新学校図書館学1；学校経営と学校図書館』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2233-6
全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』(全国学校図書館協議会 2,800円) ISBN4-7933-0048-0
黒澤 浩編著『新学校図書館入門～子どもと教師の学びをささえる～』(草土文化 1,700円) ISBN4-7943-0818-2

そ の 他

講義・ビデオ

履修コード	087001
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題、教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。その上で、学校教育の中核とならねばならない学校図書館の運営及び司書教諭の責務についての基本的な知識を説明することができる。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 学校図書館の理念と教育的意義 (3・4) 教育行政と学校図書館 (5) 学校図書館の発展と課題 (6) 学校図書館の経営 (7) 司書教諭の役割と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築 (10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設と設備 (12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価 (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点

講義回数の70%以上出席ができ(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点・レポート・提出物・試験を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト
参 考 書

教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。
『新学校図書館学』編集委員会編『新学校図書館学1；学校経営と学校図書館』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2233-6
全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』(全国学校図書館協議会 2,800円) ISBN4-7933-0048-0
『新学校図書館入門～子どもと教師の学びをささえる～』(草土文化 1,700円) ISBN4-7945-0818-2

そ の 他

講義・ビデオ

教職課程
資格講座
科目

履修コード	087201・087301
科目名	読書と豊かな人間性
担当者名	松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)	現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本と結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するための読書教育のあり方を考えることができ、さらに、読書活動の方法、技能についても具体的に体得してもらう。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 読書の意義と目的 (3) 子どもの読書の実態と課題 (学校読書調査報告) (4) 読書資料の種類と特性 (5・6) 子どもの発達段階と読書 (7・8) 学校教育の中の読書 (9) 読書指導の方法 (10～13) 子どもと本を結ぶために (14) 地域の関連施設等との連携 (15) 全体のまとめ (試験) ※演習(学生による読み聞かせ)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。
教科書/テキスト 参 考 書	教育実習をする学生は実習校での学校図書館見学レポートを提出する。 特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学 4 読書と豊かな人間性』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2236-0
そ の 他	講義・演習(読みきかせ) この科目の受講は下記の1、2を修了してからのが望ましい。 1、学校経営と学校図書館(前期) 2、学習指導と学校図書館(前期)

履修コード	087501
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	源 昌久

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る事を目的としている。
講義の内容/ 授業スケジュール	1) 本講義のオリエンテーション 2) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 3) ～7) 分類法(表)の解説・演習 8) ～12) 目録の解説・演習 13) 資料組織の機械化 14) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置 15) まとめ
準備学習	普段の日常生活においても、分類・目録概念がいかになされているかを注意しておいて下さい。
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。特に、問題演習は、十二分に理解に努めて下さい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書/テキスト 参 考 書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会) セット定価6,000円 『日本目録規則 1987年版 改訂3版』(日本図書館協会) 3,675円
そ の 他	必要に応じて、ビデオを活用する。

履修コード	087601
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	笠川 昭治

講義の到達目標(ねらい)	学校図書館メディアの教育的な意義と役割について確認し、各種メディアの種類、特性について理解を図る。その上で各種メディアの選択・収集、収集したメディアの組織化(目録法・分類法)の意義や方法について学ぶ。さらに、組織化された資料の更新・廃棄についても説明する。 本講義では、学校図書館メディアについて理解するとともに、資料の組織化に関する知識を習得することを目的にしている。
講義の内容/ 授業スケジュール	司書教諭に求められるメディアの知識と技術(1)、メディアの種類と特徴(2-4)、収集のための資料(5-6)、メディアの選択と収集方針(7-8)、分類法(9-10)、目録法(11)、MARC・OPACの利用(12-13)、装備、配架(14)、施設のレイアウト(15)
成績評価の方法	レポートと出席状況にもとづいて評価します。
参 考 書	小田光宏編『学校図書館メディアの構成』樹村房、1,400円、ISBN978-4883670918

履修コード	087801
科目名	情報メディアの活用
担当者名	みなもと しょうきゆう 源 昌久

講義の到達目標(ねらい) 学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る事を目的としている。

講義の内容／授業スケジュール 1) 本講義のオリエンテーション 2) 情報メディアの概念的フレーム・ワーク 3)～5) 情報メディアの特性と選択 6)～10) 情報検索とPC 10～14) 学校図書館と著作権 15) まとめ

準備学習 予習・復習をしっかりと行ってほしい。

履修上の留意点 平常点および試験の成績を併せて評価する。

成績評価の方法 田中功(ほか)編著『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂3版』(日外アソシエーツ)2300円

教科書／テキスト 講義中に指示する。

参考書 必要に応じて、ビデオを活用する。

その他

履修コード	087901
科目名	情報メディアの活用
担当者名	かさがわ しょうじ 笠川 昭治

講義の到達目標(ねらい) 近年、学校および学校図書館における情報技術の活用は急速に進んでいる。本講義では、学校図書館の情報化の実態と意義を把握し、学校図書館における情報メディアへの理解を深めると共に、活用方法を考える。

講義の内容／授業スケジュール 情報教育と学校図書館(1-2)、情報メディアの種類と特性(3)、情報検索(4-5)、インターネット上の情報評価(6-7)、インターネットを活用した学校図書館運営(8-9)、リテラシー(10)、図書館システム(11-12)、情報モラル・情報倫理(13)、著作権(14-15)

成績評価の方法 レポート、出席状況、平常点に基づいて行います。

参考書 根本彰監修『インターネット時代の学校図書館(司書・司書教諭のための「情報」入門)』東京電機大学出版局、2,400円、ISBN978-4501619701

履修コード	088101
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	まつお よしお 松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい) 学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動がさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目では、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関して、理解と認識を、学校図書館を利用した効率のよい学習方法と情報の扱い方を身につけることができるようにする。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館 (3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的 (6・7) メディアの活用能力育成の指導内容・方法 (8～11) 課題探求型学習の方法 (12) 学校図書館における情報サービス (13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点 講義回数70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法 平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト 教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。特に指定しない。随時プリントを配布。

参考書 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館3；学習指導と学校図書館』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2235-2

『学習指導・調べ学習と学校図書館』(大串夏身編著 青弓社 1,800円) ISBN4-7872-0028-3

その他 講義・ビデオ

履修コード	088201
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫 <small>まつお ふじお</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動がさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。</p> <p>この科目では、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関して、理解と認識を深め、学校図書館を利用した効率のよい学習方法と情報の扱い方を身につけることができるようにする。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館 (3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的 (6・7) メディアの活用能力育成の指導内容・方法 (8～11) 課題探求型学習の方法 (12) 学校図書館における情報サービス (13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ(試験)</p>
履修上の留意点	<p>講義回数の70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。</p>
成績評価の方法	<p>平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。</p>
教科書／テキスト	<p>教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。</p>
参 考 書	<p>特に指定しない。随時プリントを配布。</p> <p>『新学校図書館学』編集委員会編『新学校図書館3；学習指導と学校図書館』(全国学校図書館協議会1,400円) ISBN4-7933-2235-2</p> <p>『学習指導・調べ学習と学校図書館』 (青弓社 1,800円) ISBN4-7872-0028-3</p>
そ の 他	<p>講義・ビデオ</p>

3. 社 会 教 育 主 事 講 座

履修コード	084401
科目名	社会教育計画
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 社会教育・生涯学習のさまざまな学習場面で取り入れられている参加型学習・グループワークの手法を体験しながら、受講者自らが社会教育実践を企画・運営していく力を養いたい。

講義の内容／授業スケジュール 内容構成を以下のように考えている。
 ①社会教育・生涯学習計画の内容と構造(1・2、13～21)
 ②社会教育実践の企画・立案力(22～29)
 ③社会教育実践のデザイン力(7～11、22～29)
 ④社会教育実践の運営力(22～29)
 ⑤参加型学習・グループワークの手法と実際(2～30)

履修上の留意点 本授業は年間を通して参加型学習で行われる。そのため、受講者の参加意欲が学習成果に反映されることを心にとめておいて欲しい。チームで作業することが多いため、チームメンバーとしての協力的な姿勢が求められる。結果として出席も重視される。

成績評価の方法 レポート、授業への参加度、出席状況などを総合して判断する。
 教科書／テキスト 廣瀬隆人、澤田実、林義樹、小野美津子『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』(ぎょうせい) 1,429円

その他 授業方法はグループワーク中心だが、必要に応じて講義も行う。

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論Ⅰ
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) この授業では、ユネスコやOECDなどの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それをおとて、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1)ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは(2～4)生涯教育・生涯学習の国際的動向(5～8)日本における生涯学習政策の展開(9～11)生涯学習と学校計画(12～14)生涯学習と社会教育(15)まとめ

準備学習 新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。
 教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
 参考書 適宜紹介する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論Ⅱ
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1)ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育(2～3)学校教育の歴史と理念、制度の変遷(4)学校教育をめぐる今日的課題(5)子どもの成長・発達を支える学校教育実践(6～8)社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法(9)社会教育をめぐる今日的課題(10～14)子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践(15)まとめ

準備学習 新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。
 教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
 参考書 適宜紹介する。

履修コード	084701
科目名	社会教育実習
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) 公民館をはじめとするさまざまな社会教育施設や教育委員会等での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 【前期】(1) ガイダンス、実習の目的と意義 (2) 実習の心がまえ (3) 社会教育の今日的動向 (4～14) 社会教育実践事例の検討 (15) 実習に向けての総括
【後期】(16) 実習報告の方法等について (17～28) 実習報告とディスカッション (29) 実習からみる社会教育の現在 (30) まとめ

準備学習 社会教育実践等についての配布資料を読み、感想をまとめておくと、授業時のグループでの話し合いがより効果的となる。

履修上の留意点 グループでの学習を中心に授業を進めるため、積極的な参加が求められる。

成績評価の方法 実習ノート、実習報告、授業への参加度による。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	084801
科目名	社会教育実習
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 社会教育・生涯学習関連施設や教育委員会での実習をとおして、社会教育の実践に触れるとともに、社会教育への理解を深めることを目的としている。

講義の内容／授業スケジュール ・実習事前指導として、社会教育実践の事例を調べて具体的イメージをつかみつつ、実習の意義や心がまえの理解を目的としたい。(1～5)
・社会教育実践の手法を体験する機会を設ける。(6～12)
・実習中には可能な限り個別訪問指導をおこなう予定である。
・実習から戻ってきた学生から随時、実習報告会を行う(13～16)
・実習の事後指導として実習ノートと体験レポートをもちより、お互いの体験を共有し、深め合う場をつくりたい。その中から「社会教育職員の役割や専門性」「学習課題」「学習者理解」などテーマを抽出して、社会教育への理解を深めていきたいと考えている。(17～19)
・実習後に、受講生中心で研究レポート集づくりを行う。(20～30)

成績評価の方法 実習ノートの作成提出、実習報告内容、研究レポート、授業への参加度などを総合して判断する。

教科書／テキスト 教科書・参考書はそのつど提示する。

参考書 教科書・参考書はそのつど提示する。

資格講座科目
教職課程

履修コード	086301
科目名	社会教育行政
担当者名	荒井 隆

講義の到達目標(ねらい) 社会教育行政現場で長く経験を積んできた立場からの講義により、実践的な社会教育の見方の習得を目指します。さまざまな社会の動きと絡めて社会教育の諸側面を行政の立場からとらえ、多角的に解説していきます。理論的な課題とともに体験に基づくリアリティある話を織り交ぜ、社会教育行政に関する認識を深めます。

講義の内容／授業スケジュール 1 私の社会教育行政の体験談(4月)
2 社会教育行政の法体系と仕組み(4～5月)
3 地方ごとの社会教育行政の多様性(6～10月)
4 社会教育主事の職務(11月)
5 最近の社会教育行政の動向(12月)

履修上の留意点 社会教育は実践の世界ですから、この授業は社会教育の実践的な見方を習得するよい機会となります。授業では、社会教育行政の実態にふれる場面をつくります。プレゼンテーションを通じて社会とのかかわりをもつチャンスとなりますので、就職を考えるきっかけにもなると 생각합니다。出席と授業態度及び試験内容などをもとに総合的に評価します。

成績評価の方法 特に使用しません。

教科書／テキスト 講義に関係する参考書を随時紹介します。

参考書 アットホームな雰囲気をもとに心が通いあう授業にしていきます。

その他

履修コード	085901
科目名	社会教育施設
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 社会教育・生涯学習関連施設の歴史と理念をひも解きながら、現在多様に展開している社会教育関連施設の現状やそこでの取り組みを理解し、課題と展望を考察していく。また、具体的な地域性と結びついて各種施設がどのような機能や役割を果たしているのか、フィールドワークを通じて学ぶ機会を設ける。

講義の内容／授業スケジュール ①社会教育・生涯学習関連施設の種類と概要(1～5)
②社会教育・生涯学習関連施設の現代的状況と課題(6～10)
③公民館の理念と歴史・仕組み(10～13)
④公民館の実践事例から学ぶ(14～20)
⑤社会教育・生涯学習関連施設の新たな取り組み(21～25)
⑥地域に根ざす社会教育・生涯学習施設の実際(26～30)

成績評価の方法 平常点、レポートにより評価する。

教科書／テキスト そのつど紹介する。

参 考 書 そのつど紹介する。

履修コード	086401
科目名	成人学習論
担当者名	荒井 隆

講義の到達目標(ねらい) 生涯学習時代といわれる今日、私たちは成人学習の具体的な姿を身近に見られるようになりました。講義では成人学習の理論的な面と学習の実態にふれ、皆さんが実感を伴って成人学習を理解できるようサポートします。

講義の内容／授業スケジュール 1 子どもの学習と比較した成人の学習(4月)
2 多様な成人の学習機会(5～9月)
3 成人の学習事例(1)～自分史(10月)
4 成人の学習事例(2)～文字を獲得する学習／識字(11月)
5 成人の学習のあり方(12月)

履修上の留意点 実践に基づく授業です。本からの理解と若干異なり、成人学習の現実から学ぶ方法を重視します。学校教育とは趣きの異なる大人の学習の世界を知ることは、自らの生涯学習を考える糸口ともなり、今後の人生にも役立ちます。

成績評価の方法 出席と授業態度及び試験内容などをもとに総合的に評価します。

教科書／テキスト 特に使用しません。

参 考 書 講義に関連する参考書を随時紹介します。

そ の 他 卒業後に生きて働く力を身につけることを目指します。

教職課程
資格講座科目

履修コード	082511
科目名	ジェンダーと教育 I
担当者名	高井 葉子

講義の到達目標(ねらい) 本コースは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く教育に関する問題をジェンダーという観点から学ぶコースである。前期の授業では、「貧困」、「開発」、「ジェンダー」を中心テーマとし、広く国内外の課題と取り組みの現状について学ぶ。

授業は、上記の3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて調べたことを発表する形で進められる。

第1週～第3週:「貧困」の現状と取り組み;女性と貧困

第4週～第7週:「人間開発」;女性と教育

第8週～第11週:日本における貧困問題;具体的な事例から。

第12週～第14週:国内外における援助の現状

第15週 まとめ

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、発表、レポートによって行います。試験は行いません。

教科書／テキスト 使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	082521
科目名	ジェンダーと教育Ⅱ
担当者名	高井 葉子

講義の到達目標(ねらい) 本コースでは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く「子ども」、「家族」、「学校」に関する問題を取り上げる。

講義の内容／授業スケジュール 授業は、上記3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて発表する形式で進められる。

第1週～第3週：「子ども」をとりまく現代的課題と取り組みの現状。
 第4週～第8週：「家族」をとりまく諸現象、諸問題。
 第9週～第12週：「学校」をとりまく諸問題と取り組みの現状。
 第13週～第15週：「性」をめぐる諸問題と取り組みの動向。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、発表、レポートに基づいて行う。

教科書／テキスト 使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	086701
科目名	職業教育Ⅰ
担当者名	塩川 正人

講義の到達目標(ねらい) 本授業の目的は「就職に役立つ授業」この一点で取り組みます。

日本経済は、未曾有の経済危機、そして皆さんの就職の危機です。皆さんの素晴らしい学生生活も、就職は最後の大テーマです。就職を成功するノウハウは「自己の確立」です。エントリーシートも志望動機も面接も「あなたはどんな人ですか」を厳しく求めてきます。

職業教育は、教員・公務員・民間企業など、どの道を選ぶにも必須の「就職スキル」を、対話、グループ討議、自己分析、職業選択、書類作成、面接訓練などで体得します。講師は就職コンサルタント。ゆえに人事・採用責任者の立場から、実践そのままの就職スキルを学生諸君に伝えます。

講義の内容／授業スケジュール 以下の内容を、対話を重視して取り組みます。

就活スキルは、学生生活を充実するスキルです。学年を問わず、自己の未来開発として授業を展開します。

- 1 就職への準備とは何をすることか(第1週)
- 2 部活やアルバイトを就活でどう生かすか(第2週)
- 3 自己分析とは何か(第3週)
- 4 自己分析実習と討議(第4、5週)
- 5 職業選択のポイント①(第6週)
- 6 職種研究のポイント①(第7週)
- 7 キャリアプランと就活資料の作り方研究(第8、9週)
- 8 キャリアプランと就活資料の制作と討議(第10、11週)
- 9 キャリアプランと就活資料の制作と討議(第12、13週)
- 10 前期の全体のまとめ(第14、15週)

準備学習 事前学習
 就職準備の授業です。
 「この授業で就職を決める」という思いで参加してください。そのために
 ・政治、経済、社会の動きをつかみながら授業に参加してください。
 ・自分の意見を発表する場があります。

事後学習
 ・授業で得た要点は、パソコンに入力しておき、就活で使えるようにします。
 ・授業で行った「自己分析」や就活資料は毎週進化させ、自己形成に直結させます。

履修上の留意点 1 就職準備をするための資料の配布が多いです。資料を保存するバインダーを準備してください。
 2 授業は少人数なので、話し合いやグループワーク、意見発表などがあります。自分の意見を発表する訓練の場として参加してください。

成績評価の方法 授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

履修コード	086801
科目名	職業教育Ⅱ
担当者名	塩川 <small>まさと</small> 正人

講義の到達目標(ねらい) 本授業の目的は前期に続いて「就職に役立つ授業」を継続して取り組みます。後期の特色は、就活に使う資料の作成です。前期に作成したキャリアプランを、自己形成のストーリーとして、さらに発展させます。個人別の就活カウンセリングも希望者を実施します。授業内容は、各種作成資料が、すべて就活にそのまま役立つ展開として発展します。2年生が受講する場合は、1年早い就活の模擬体験となります。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 就職準備の本番へ、就活作戦の概要(第1週)
- 2 職業選択のポイント②(第2週)
- 3 職種選択のポイント②(第3週)
- 4 エントリーシートの研究(第4週)
- 5 エントリーシートを生かす自己紹介書とは(第5週)
- 6 自己紹介書の作成実習と個別添削(第6週～8週)
- 7 エントリーシートの作成実習と添削(第9・10週)
- 8 自己アピールの仕方と演習(第11、12週)
- 9 面接訓練(第13、14週)
- 10 全体のまとめ(第15週)

準備学習
事前準備
前期授業と同じです。
就職本番に向けて、キャリアセンターの資料や情報を十二分に活用しましょう。毎回自分で作成する資料が多くなります。しかし新しい自分発見の楽しい時間になります。

履修上の留意点
事後のまとめ
毎回得る情報をすべて「自分の資料」にするためパソコンに入力しておきます。就職準備を「自己創造活動」としてチャレンジし続けましょう！
1 後期は個別相談が多くなります。3限前の昼食時間を予定しています。
2 資料作成にパソコンは必須です。パワーポイントの練習をしておくことをお勧めします。

成績評価の方法
授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

履修コード	086501
科目名	社会体育Ⅰ
担当者名	吉田 <small>みよ</small> 実生

講義の内容／
授業スケジュール
横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている(生まれている)感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを体験して行きます。
履修上の留意点
実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。
成績評価の方法
出席日数及びレポート

履修コード	086601
科目名	社会体育Ⅱ
担当者名	吉田 <small>みよ</small> 実生

講義の内容／
授業スケジュール
横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている(生まれている)感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを、体験して行きます。
履修上の留意点
実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。
成績評価の方法
出席日数及びレポート

履修コード	212001
科目名	教育基礎論
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) さまざまな職種の職人たちの仕事について知識を深めるとともに、職人たちがどのようにして仕事に必要な技や知恵などを獲得してきたのかを考える。また、それらの獲得プロセスの検討をとおして、学びとは何かについても考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習 (1) ガイダンス、現代社会と職人 (2～6) 職人たちの仕事 (7～9) 職人たちの修業方法 (10～11) 徒弟制度とその意味 (12～14) 学びとは何か (15) まとめ

履修上の留意点 配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、本を読むなどして、関心のある職種の職人の仕事を知ることにより、授業内容の理解が深まる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。

教科書／テキスト 初回の授業時に指示する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	212101・212201
科目名	教育基礎論
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい) 教育という営みへの理解を深めつつ、近代的な教育思想・理念の性格を理解します。最終的には、教育思想や理念などをどのように実践にいかしていけるかを考えられるようになることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール 人間の学びや教育を、生命としての営みのレベルから押さえ、次いで、前近代的な人間形成のあり方を対照項として近代教育の性格を論じます。特に、近代教育思想・理念との関連を見てゆきます。スケジュールは、おおむね、人間と教育(1～3)、前近代の人間形成(4～6)、近代の人間形成(7～9)、近代教育思想とその役割(10～15)となります。

履修上の留意点 この科目は教職の専門科目ですので、新聞を読むなどして、日頃から日本の教育への関心を高めるようにしてください。

成績評価の方法 出席状況とレポートによります。

参考書 教場で指示します。

履修コード	212301・212401・212701
科目名	教育基礎論
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい) 私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容／
授業スケジュール とりあげるテーマは以下の通り。

- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

(1～3) 学校教育という制度、(4～6) 学校という空間、(7～9) 学校教育の機能、(10～12) 外来の装置としての学校、(13～15) 立身出世と学歴主義

履修上の留意点 自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法 学期末試験により評価する。

教科書／テキスト 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	212501
科目名	教育基礎論
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていきたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容／授業スケジュール	① 自らの教育・学習体験をふりかえる―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる（1～4） ② 自己と他者との体験知の交流―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う（5） ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 （1）学ぶことの意味と構造（6～8） （2）教えることの意味と構造（9～12） （3）教える―学ぶ関係の前提にある子ども観・大人観（13～15）
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習になっている。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意してほしい。また、コメントを毎回提出してもらう。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。 特に使用しない。 そのつど紹介する。

履修コード	212601
科目名	教育基礎論
担当者名	坂本 信昭

講義の到達目標(ねらい)	民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちに教育思想・教育目的を概観することを手始めに、次のようなテーマを取り上げて進める。
講義の内容／授業スケジュール	・教育の理想と目的（1～5） ・わが国の教育目的の変遷（6～12） ・現代・社会の変化と教育目的（13～14） ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）（15）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法 参 考 書	課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。 西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

教職課程
資格講座科目

履修コード	343801
科目名	教育基礎論
担当者名	山本 敏子

講義の到達目標(ねらい)	教育についての見方、考え方を深め、現代の学校教育が抱える様々な問題を解決していくために必要な力量の養成を目指して、ルドルフ・シュタイナーの教育思想を手掛かりに教育の基礎理論について学びます。
講義の内容／授業スケジュール 準備学習	(1) はじめに、(2) 教育という概念と人間の歴史、(3～5) R・シュタイナーの生涯と教育思想、(6～12) 教育の基礎としての一般人間学、(13～14) 教育における実践と省察、(15) まとめ R・シュタイナー『人間理解からの教育』（西川隆範訳、筑摩書房）を読みながら授業に参加すると、理解の助けになります。
履修上の留意点	初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	学期末レポート（5割）、出席状況および授業内の小レポート・発表等（5割）の総合評価。 特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。 初回に紹介します。

履修コード	212901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義の到達目標(ねらい) わたしたちが受けてきた教育を「身体」という観点から検討し、学校教育をめぐる諸問題を考える。また、それらの問題をもとに、近代の学校教育のあり方やそれに影響を及ぼしている社会のあり方などについて考察する。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、「身体」の観点からの教育体験のふり返り (2) 教育体験のふり返りからみえる教育の諸問題 (3～5) 子どもの身体の実態 (6～8) 身体感覚とコミュニケーション (9～10) 自分の身体への気づき (11～13) 教育の諸問題と近代の社会・学校教育のあり方 (14) 子どもの身体をひらく教育に向けて (15) まとめ

準備学習 配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、新聞を読み、身体に関する記事についての感想を簡条書きなどしておくことも、有益である。

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	213001・213101
科目名	教育制度・環境論
担当者名	北村 ^{きたむら} 三子 ^{みつこ}

講義の到達目標(ねらい) 近代学校教育の性格を理解するとともに、日本におけるその成立経緯や特徴について学びます。また、現代の学校教育の問題点についても考えてゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 内容・スケジュールは、おおむね次の通りです。
はじめに (1)、国家と教育 (2～6)、教育改革とその社会的背景 (7～10)、学校が抱える問題 (11～14)、まとめ (15)

履修上の留意点 この科目は教職課程の必修科目です。日頃から教育への関心を高めるようにしてください。

成績評価の方法 出席状況とレポートによります。

参考書 教場で指示します。

資格講座
教職課程
科目

履修コード	213201・213301・213601
科目名	教育制度・環境論
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}

講義の到達目標(ねらい) 学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容／授業スケジュール とりあげるテーマは以下の通り。
・現代の教育問題
・教育改革の動向
(1～2) 教育問題とは何か、(3～5) 戦後の教育問題の変遷、(6～10) 80年代以降の教育問題、(11) 近年の教育改革の経緯、(12～14) 教育改革の方向性、(15) 教育改革の問題点

履修上の留意点 ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法 学期末試験により評価する。

教科書／テキスト 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	213401
科目名	教育制度・環境論
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはここにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していきける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容/
授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場(1～3)
- ②子ども・若者の人間形成空間の変容(4～6)
- ③「居場所」の意味を読み解く(7～9)
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする(10～12)
- ⑤「居場所づくり」に関わる指導者・支援者の力量(13)
- ⑥「居場所づくり」と子どもの参加・参画論(14～15)

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

とくに指定しない

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」へ－』(学陽書房) 3,000円

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)

ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

履修コード	213501
科目名	教育制度・環境論
担当者名	坂本 信昭

講義の到達目標(ねらい)

人間の社会に余暇をもつ少数の人々がうまれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。また、環境が人間形成や教育に大きな影響を与えることは否定しがたい。人びとが生活する基盤が環境なのだから、教師の思想も教え方も環境によって大きく条件づけられており、その教育を受ける子どもも教師からだけでなく環境によって教育の受けとり方が異ってくる。

講義の内容/
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ(1～3)
- ・学校の社会的機能(4～5)
- ・学校教育の現実と課題(6～7)
- ・その他(教師論等)(8)
- ・現代社会と教育環境(9～10)
- ・家庭の教育環境(親子関係・家庭生活)(11～12)
- ・都市の教育環境(都市の学校と子ども)(13)
- ・農・漁村の教育環境(農・漁村の学校と子ども)(14～15)

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

授業の出欠は厳密にとる。

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2、600円

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

教職課程
資格講座
科目

履修コード	343901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{としこ}

講義の到達目標(ねらい)	今日の学校教育制度について、その成り立ちを前近代の多様な教育システムとの関わりで考察することにより、近代学校システムの特徴や公教育原理を理解するとともに、よりよい改革の方向性を模索します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) はじめに、(2～3) 前近代の多様な教育システム、(4～6) 近代社会の成立と近代学校システム、(7～8) 現代公教育制度とその組織原理、(9～14) 近年の教育諸問題と教育制度・環境の改善(含・諸外国との比較)、(15) まとめ
準備学習	新聞記事を読んだり、自分自身の教育体験を省察したり、子どもや若者の生活世界に起こっている様々な出来事に関心をもって調べたり等に取り組んで授業に臨むと、理解が深まります。
履修上の留意点	初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。 特に使用せず、必要に応じて資料を配付する予定です。 適宜紹介します。

履修コード	213901・214001
科目名	学習・発達論
担当者名	大浜 ^{おほはま} 幾久子 ^{きくこ}

講義の到達目標(ねらい)	子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のように基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：導入「6歳から学校教育が始まるのは何故だと思いますか？」 第2～7回：発達段階理論をめぐって ①エリクソンの発達段階 ②生涯発達 ③アイデンティティの形成 ④ピアジェの認知発達段階 ⑤感覚運動知能から表象的思考へ ⑥前操作から操作的思考へ 第8～10回：発達と学習の理論(言語習得から考える) ①スキナーの行動分析学 ②チョムスキーの生成文法 ③ピアジェの発生的心理学 第11～14回：初期環境の貧困による発達遅滞・障害と回復 ①事例研究 ②愛着の成立 ③感覚運動知能と言語習得 ④学校教育の役割 第15回：発達と学習と学校教育(知育と徳育) 毎回、今回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。 後期に、同一時間の「教育課程論」を履修することを原則とします。 学期末のレポートを中心にした評価の予定。 指定なし。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	藤永保 他(著)『人間発達と初期環境』有斐閣 1987 他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	214101
科目名	学習・発達論
担当者名	藤原 善美 よじわら よしみ

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール (1) 発達とは何か (2～3) 発達理論、発達段階と発達課題 (4～7) 胎児期・乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10) 認知の発達、言語と知能の発達、社会的発達 (11) 発達障害 (12) 学習とは何か (13～15) 学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。

成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。

教科書／テキスト

履修コード	214201・214601
科目名	学習・発達論
担当者名	飯田 都 いいた らよこ

講義の到達目標(ねらい) 人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけつくりあげていきます。教職を志す者は他者の成長発達に深く関わる立場にあります。人の発達・学習に関わる基本的な心理学的知識を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”“学ぶ”ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容／授業スケジュール (1) 人の発達・学習と教育 (2～5) 乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 (6) 思春期の自我の発達、(7) 学習と認知(連合説と認知説) (8～9) 知識の種類と構造、技能と知識の獲得 (10～13) 動機づけ、(14～15) 学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点 聞いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法 中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果(単純な出席点ではありません)を総合して評価します。ただし、出席が基準に満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書／テキスト 特不使用。授業時に資料を配布します。

参 考 書

西林克彦 『間違いだらけの学習論』 新曜社
川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』 福村出版

教職課程
資格講座科目

履修コード	214301・214401・214501
科目名	学習・発達論
担当者名	角野 善司 すみの ぜんじ

講義の到達目標(ねらい) 教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てています。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容／授業スケジュール (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺 (15) 学期末テスト

履修上の留意点 この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法 免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。

成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書／テキスト 使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参 考 書

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

履修コード	344001
科目名	学習・発達論
担当者名	藤原 善美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール (1) 発達とは何か (2～3) 発達理論、発達段階と発達課題 (4～7) 胎生期・乳児期、幼児期、児童期・青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10) 認知の発達、言動と知能の発達、社会的発達 (11) 発達障害 (12) 学習とは何か (13～15) 学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	076801・076901・077001・077101・077201・077301
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい) 本授業では情報化が著しく進展している今日の社会的状況における、新たな教育形態と情報メディアの在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの活用状況の現状を眺めて、今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットに関連したパソコン操作の実習を行ない、パソコンやネット活用の利点や問題点を理解します。その上で、情報メディアを教育実践に活用する際に必要な基礎能力の習得を目指すとともに、教師の役割についても検討していきます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：デジタル時代と情報格差、第2～3回：教育の情報化の推進、第4～5回：小学校の教育の情報化の現状と課題、第6～7回：中学校の教育の情報化の現状と課題、第8回：インターネット社会への参加態度、第9～10回：高等学校の教育の情報化の現状と課題、第11～12回：外国での教育の情報化の現状と課題、第13～14回：教育の情報化の新たな動向と課題、第15回：期末試験
日頃から、教育に関連したパソコンやインターネットの活用について関心を持つこと。

準備学習 履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、授業に毎回じめに出席して意欲的に取り組むこと。

履修上の留意点 成績の評価は期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて配布プリント等を利用して授業を進めていきます。

参考書 授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他 毎回の授業の中で、パソコンの実習をします。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生には「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	077401・077501・077601・077701
科目名	教育とメディア
担当者名	芝崎 順司

講義の到達目標(ねらい) 本講義の到達目標は、1) 教育におけるメディアの役割の重要性について、提示機能とコミュニケーション機能の両面から、具体的事例に基づき、説明できるようになること、2) 教員としてメディアを活用する基礎的技能を身につけること、である。

講義の内容／授業スケジュール 1 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。

2 プレゼンテーションなどが必要な教育場面を設定し、基本的なアプリケーションを活用して、コンテンツを作成する。

3 情報教育や情報システム、情報倫理など教員として必要な知識・技能を身につける。

特にないが、キーボードの操作等基礎的なコンピュータの技能は有していることを前提とする。

履修上の留意点 YeStudy 他の学習システムを利用する。コンピュータ等を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起も多く含む。授業への積極的参加を期待する。必要に応じて宿題を課すこともある。

成績評価の方法 出席重視。評価は授業中に行い提出される課題と出席状況を総合的に評価しておく。

教科書／テキスト 授業中に紹介する。

参考書 必要に応じて、授業中に紹介する。

履修コード	084901・085001
科目名	視聴覚教育
担当者名	高津 ^{たかつ} 直己 ^{なおき}

講義の到達目標(ねらい) 視聴覚教育は、文字や言語を中心とした教育に対して、映像などの視聴覚メディアがもたらす教育効果を重要視する教育方法である。視聴覚メディアはその具体性においてすぐれており、その特質を利用して豊かな教育を行うことが視聴覚教育の目的である。この講義では、学校教育・社会教育における視聴覚教育の基礎を、教育という営みについての基本的理解を前提にしながら、メディア・リテラシーの立場から考察するとともに、視聴覚教育の基本的な教育方法を学習する。授業は、主として「視聴覚」の方法を使って講義形式ですすめる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 視聴覚教育とは
- 2 メディアの歴史 (I)
- 3 メディアの歴史 (II)
- 4 メディアの歴史 (III)
- 5 映像の文法と概念形成
- 6 ラジオ放送の誕生
- 7 テレビ放送の誕生
- 8 教育における「経験」の意義
- 9 教育方法としての視聴覚教育理論
- 10 教育メディアの変遷
- 11 テレビ教育番組の教育効果
- 12 教育番組の特性
- 13 教育番組の制作方法
- 14 メディア・リテラシーの諸相
- 15 中間まとめ
- 16 前期の復習とオリエンテーション
- 17 美術館・博物館とメディア活用
- 18 学芸員の役割
- 19 コンピュータの登場と発達
- 20 教育メディアとしてのコンピュータ
- 21 メディア・リテラシーと情報リテラシー
- 22 マルチメディア教材の利用
- 23 インターネット利用教育
- 24 高度情報化社会
- 25 情報化社会でのコンピュータの役割
- 26 学校における情報教育
- 27 情報教育のねらい
- 28 高度情報化時代の生涯教育
- 29 情報リテラシー教育
- 30 全体のまとめ

履修上の留意点 「視聴覚教育」の学習は単に方法を学ぶものではなく、教育という人間の営みについての基本的な理解のうえに成り立つものであるから、すくなくとも「教育原理」または「教育方法論」に関する科目を学んだ上で履修してほしい。

成績評価の方法 出席回数 (50%)、レポート (50%) で評価する。
教科書/テキスト 佐賀啓男編著『視聴覚メディアと教育』(樹村房) 2002年、¥1,890、ISBN 4-88367-095-3

履修コード	085701
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}

講義の到達目標(ねらい) 教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちががともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

(1~5) 教育社会学の対象と方法、(6~9) 学校の歴史と機能、(10~13) 教育制度の類型と発展、(14~17) 学校における相互作用、(18~22) 情報化社会と子ども、(23~30) 現代の教育問題と教育改革

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業への積極的な参加を求める。
課題とレポートにより評価する。
教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	085801
科目名	教育史
担当者名	やまもと としこ 山本 敏子

講義の到達目標(ねらい) 日本型近代学校システムの成立史を長い歴史時間の中で見ていくことにより近代学校の特徴についての理解を深めるとともに、その成立以前に広く民衆文化の中に豊かに息づいていた人間形成と教育に関わる「技」、「知恵」等を掘り起こし、これからの教育のあり方について考えます。

講義の内容/
授業スケジュール

前期:「日本型近代学校システム成立史」に焦点化した教育史通史の講義
後期:「働くこと・学ぶこと・生きること」をテーマに文献購読演習

準備学習

(1) 序、(2) 教育基礎論としての教育史、(3) 民衆の教育システム、(4) 学校の起源と日本における学校発達の概観、(5) 文字社会の成立と新しい「教育」意識の発生、(6) 江戸時代の教育システム、(7~8) 学制発布と近代学校システムへの模索、(9~10) 天皇制国家体制の形成と日本型近代学校システムの確立、(11) 「日本」の領土確定・拡大と植民地の教育、(12) 「教育家族」の登場と大正自由教育、(13) 戦時下の「教学刷新」と皇国民「錬成」、(14~15) 戦後教育改革、(16) 演習テーマの提示と進め方の相談、(17~18) 働くことと生きることの現在、(19~24) 塩野米松『失われた手仕事の思想』を読む、(25~26) 民衆文化と言葉の「技」、庶民の「知恵」、(27~29) 現代教育を再考する、(30) まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

前期については、参考書を事前に読んで授業に参加すると理解が深まります。後期の演習は、毎回テキストを必ず読んでくることを前提に進めます。

受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

学期末レポート (5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等 (5割) の総合評価。

前期:必要に応じて、資料を配布します。

後期:塩野米松『失われた手仕事の思想』中公文庫 (2008年刊)、760円

参考書

片桐芳雄・木村元編著『教育から見る日本の社会と教育』八千代出版 (2008年刊)、2,400円

履修コード	086001
科目名	教育調査
担当者名	すずきのりお 鈴木 規夫

講義の到達目標(ねらい) 人間行動を科学的方法によって研究するための方法論(統計理論)を学ぶとともに、研究を進めていく上で欠かすことのできないコンピュータ利用技術の習得をめざす。また、実際のデータの解析を通じて、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

【前期】調査の方法と EXCEL

調査に係る基本的な手段とその内容について概説し、その後、EXCELを使った図表の作成やデータ処理等の演習を行う。主な内容は以下の通りである。

(1) 調査の方法

- ①調査の考え方 ②調査表の設計(項目、変数、尺度等)
③調査結果の分析(基礎的な統計) ④報告書の作成

(2) EXCELによる統計処理

- ①データの入力 ②基礎的な統計処理(平均、標準偏差、比率)
③表の作成とデータのソート ④図の作成とプレゼンテーション

【後期】統計理論と SPSSによるデータ解析

統計理論について講義するとともに、教育調査に関連したデータの解析を行い、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

(1) 統計理論

- ①データの特徴の記述 ②関係の強さの記述 ③大小関係の比較 ④主成分分析等

(2) SPSSによるデータ解析

- ①データの入力 ②変数の変換等 ③図の作成 ④分析方法の利活用

履修上の留意点

学習内容は積み重ねによって学ぶよう構成されているので、履修する方はできるだけ欠席しないようにしてください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

演習を主体とした授業のため、課題の提出状況と出席状況によって評価する。
特に指定しない。授業に必要なテキストを授業初日に配布する。

履修コード	058332
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A(前期)では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 対人認知と印象形成 —未知の人をどう認知するか—
3. 対人関係と自己開示 —オタクと日本人の自己開示—
4. 親密性の社会心理学 —若者の友人関係—
5. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ①—
6. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ②—
7. 自信の社会心理学 —あなたは自分に自信がありますか—
8. 対人関係と対人魅力 —対人魅力の条件とは何か—
9. 恋愛の社会心理学 —恋愛と友情は違うのか—
10. 援助行動抑制要因の研究 —何故、人は見て見ぬふりをするのか—
11. 社会的手抜きと社会的促進の研究 —みんなと一緒に食事はずむ—
12. 同調行動と集団的意志決定 —集団の意志決定とその危険性—
13. カウラ事件とその社会心理学的考察 —集団脱走はなぜ起こったか—
14. 同調行動と頻度依存行動 —いじめの心理—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

平常点(出席+リアクションペーパーの内容+参加度)50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

履修コード	058342
科目名	社会心理学B
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学Ⅱ(後期)では、主として集団と社会の領域における実証的なテーマを中心に、身近な生活に役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか①—
3. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか②—
4. 親和欲求の研究 —何が人を結びつけるか—
5. 達成動機の研究 —やる気のある人はどんな人か—
6. 仕事意欲の研究 —働くことの意味と労働観—
7. リーダーシップの研究 —効果的リーダーシップとは—
8. 集団の社会心理学 —集団のまとまりは如何に可能か—
9. 態度変容の研究 —説得の技法—
10. 態度変容の理論 —セールスマンのテクニック—
11. 異文化コミュニケーションと異文化適応 —異文化に生きる戦略—
12. 学生文化の研究 —学生文化は死んだか—
13. 国際化する大学と学生 —世界の留学交流と在日留学生—
14. 日常生活の中の社会心理学 —しろうと理論の陥穽—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

平常点(出席+リアクションペーパーの内容+参加度)50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

履修コード	086101
科目名	青少年文化
担当者名	古関 ^{こせき すまこ} すま子

講義の到達目標(ねらい) 演劇や舞踊の持つ意味とはなんだろう。体を動かし、お腹から声を出そう。心と体の扉を開き深い感情を表現した時、自分は、人はどう変わるのだろう。時に引きこもりや自殺にまで結びつくこともある、現代の青少年の状況。事件が起こるたびに体を通したコミュニケーションのなさ、孤独の問題などが指摘される。

講義の内容/
授業スケジュール

講義では古来、抑圧された集合的無意識の開放の場、祭、儀式として発展してきた演劇・舞踊の姿を学び、シェークスピア、歌舞伎、現代舞踊など古今東西の舞台芸術への知見を広げ、またその現代的意味を考えます。講義は理論と実践の両面で進めます。

通年の講義で

- シェークスピア、歌舞伎などの古典演劇、から現代演劇、舞踊までを学ぶ。戯曲を読みセリフの心理的歴史的意味を深める。またその一部分の体験上演を行う。
- ビデオ鑑賞などを行い鑑賞眼を養う。
- 身体感覚や表現力を高めるための、腹式呼吸・発声法・体を使った感情表現、ダンスの初歩などのレッスンを体験する。

これらと平行して

- 1) 心理学や大脳生理学の基礎に触れ、意識と無意識の仕組み、心と体の関係などについて学ぶ。
- 2) 「集合的無意識のカタルシス」という演劇・舞踊の起源について学ぶ 3) 現代の社会、教育と演劇・舞踊の関係について考察を深める。

という作業を資料用いまた小レポートを書いてもらいながら進めます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

動ける服装で。積極的に楽しんでください。
出席日数。授業中の発表・レポート・実技の三つの総合点。
授業中に指示するが多くのプリント。
授業中に指示するが多くのプリント。

履修コード	082901
科目名	現代社会の諸問題と教育 I
担当者名	鈴木 ^{すずき ともみ} 朋実

講義の到達目標(ねらい) 現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしています。社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題が社会的に憂慮されていますが、その背景には少子高齢化とともに大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題があります。この点を十分に理解し、こうした問題にどのように対応すればよいかを考察するところに講義のポイントをおいています。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。

- 第1セクション：「家族集団と子どもの発達」(第1～4回)
- 第2セクション：「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」(第5～8回)
- 第3セクション：「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」(第9～12)
- 第4セクション：グループによるプレゼンテーション(第13～15回)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

家庭教育・学校教育に関する新聞記事をスクラップしておくといでしょう。
新聞などで取り上げられている家族問題への関心を持つことが望まれます。
授業への積極性を重視した上で、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

プリントを配布します。
授業中に紹介します。
授業方法はディスカッションを中心に構成しています。また、7月には、グループごとにテーマを設定し、プレゼンテーションを行なっていただきます。

履修コード	086201
科目名	現代社会の諸問題と教育Ⅱ
担当者名	鈴木 朋実

講義の到達目標(わらい)	現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させていますが、これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしています。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増しています。講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしています。
講義の内容／授業スケジュール	講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。 第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」(第1～4回) 第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」(第5～8回) 第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」(第9～12回) 第4セクション：グループごとのプレゼンテーション(第13～15回)
準備学習	終戦後、現在に至るまで、学習指導要領が7回改訂されました。その内容、また、その時代の社会的背景について調べてみてください。
履修上の留意点	新聞に目を通し、社会問題・教育問題への関心を高めるとよいでしょう。
成績評価の方法	グループごとに、テーマを設定し、プレゼンテーションを行います。授業への積極性を重視したうえで、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。
教科書／テキスト	プリントを配布します。
参考書	授業中に紹介します。
その他	12月には、個人またはグループでプレゼンテーションを行っていただきます。

履修コード	006602
科目名	青少年問題研究
担当者名	讃岐 真佐子

講義の到達目標(わらい)	この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期(小学生～20代前半頃)に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもち、どのような人と出会えるかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 導入：この一年間の講義の進め方について (2～3) 現代の青少年が抱える「諸問題」の特徴、及び「問題」の二面性をめぐって (4) カウンセリングの定義、そして「ことばの多義性」について (5～15) 様々な観点から、不登校、友人関係(いじめ)、少年非行などのテーマについて学ぶ (16～19) 人間の誕生から青年期に至るまでの心の発達の諸相 (20～25) いくつかの症状(対人恐怖、ひきこもり、身体症状等)について、事例と共に学ぶ (26～30) 人間の心の健康に関する諸知識
履修上の留意点	・ただし上記内容は、その時の授業の流れや重点の置き方によって前後することもある。またビデオ視聴も用いる予定。 授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況(授業態度を含む)も重視する。
成績評価の方法	出席状況、筆記試験、夏休みレポート、受講態度
教科書／テキスト	必要な資料は適宜配布する。
参考書	岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』(岩波書店) 河合隼雄著『カウンセリングを語る(上下)』(講談社の+α文庫 または 創元社) 河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』(岩波書店) 河合隼雄著『日本人の心のゆくえ』(岩波書店) 河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』(楡出版) 河合隼雄著『子どもの宇宙』(岩波新書386) 小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2(金子書店) 季刊『仏教—特集癒し』No.31(法蔵館)

履修コード	006702
科目名	青少年指導演習
担当者名	<small>にしむら ひろこ</small> 西村 寛子

講義の到達目標(ねらい) 青少年への理解とその指導について、体験を通して実習を柱に学んでいく。その基となる基礎的な知識、学習と共に、人間関係の基となるコミュニケーションスキルが身に備わるよう、実習を通し取り組んでいく。

講義の内容／
授業スケジュール

《前期》
1. 体験を通して学ぶ意味について
2. 青少年へのかかわり、指導とは－自らの体とところをほぐし、関わり易い環境づくりの実習
3. 実習を通して、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ
4. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。
《後期》
5. 話を聴く意味と実習
6. カウンセリングマインドを学ぶ－積極的関心や共感等について
7. 「私」のものがたりを理解していく
8. 事例を通して学ぶ－不登校、いじめ、反社会的行動等
9. まとめ

履修上の留意点 演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入提出してもらい、相互的な授業を行っていく。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況、夏休み前、期末の年2回のレポート。
必要な資料はプリントで配布する。
河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
河合隼雄『昔話の深層』（福音館書店）
山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）

履修コード	056701
科目名	博物館学Ⅰ（概論）
担当者名	<small>おおた きみこ</small> 太田 喜美子

講義の到達目標(ねらい) 博物館の意義・歴史、学芸員の仕事などを理解してもらいながら学芸員を目指す心構えを固めていく。

講義の内容／
授業スケジュール

博物館法の流れにそって、博物館の課題・学芸員の存在意義などの問題点についても考えていく。
(1～5) 博物館の目的・種類と機能
(6～10) 博物館の歴史
(11～15) 博物館の現状と課題

履修上の留意点 第1回目の授業で、本学における学芸員資格取得の手続き・方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

新聞・ニュースなどに関心を持つこと。
課題提出・試験・授業態度・出席による総合評価。
必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	056801
科目名	博物館学Ⅱ（資料論）
担当者名	<small>きしがみ こういちろう</small> 岸上 興一郎

講義の到達目標(ねらい) 博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～2) 資料論の位置づけ、博物館の生い立ち (3～9) 博物館法という資料とは、ユネスコの勧告、希少動植物の保護、文化財保護法 (10) 公開承認施設に関する規定 (11) 文化財を支える用具・原材料の確保について (12～15) 博物館資料の分類、博物館資料の修復と遺跡復元事例、博物館の展示室・収蔵庫における保存環境について

履修上の留意点 資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。
(財) 日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。
各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
(財) 日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

教職課程
資格講座科目

履修コード	087801
科目名	情報メディアの活用
担当者名	源 昌久 <small>みなもと しょうきゆう</small>

講義の到達目標(ねらい) 学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る事を目的としている。

講義の内容／授業スケジュール 1) 本講義のオリエンテーション 2) 情報メディアの概念的フレーム・ワーク 3)～5) 情報メディアの特性と選択 6)～10) 情報検索とPC 10～14) 学校図書館と著作権 15) まとめ

準備学習 予習・復習をしっかりと行ってほしい。

履修上の留意点 平常点および試験の成績を併せて評価する。

成績評価の方法 田中功(ほか)編著『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂3版』(日外アソシエーツ) 2300円

教科書／テキスト 講義中に指示する。

参考書 必要に応じて、ビデオを活用する。

その他

履修コード	087901
科目名	情報メディアの活用
担当者名	笠川 昭治 <small>かさがわ しょうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 近年、学校および学校図書館における情報技術の活用は急速に進んでいる。本講義では、学校図書館の情報化の実態と意義を把握し、学校図書館における情報メディアへの理解を深めると共に、活用方法を考える。

講義の内容／授業スケジュール 情報教育と学校図書館(1-2)、情報メディアの種類と特性(3)、情報検索(4-5)、インターネット上の情報評価(6-7)、インターネットを活用した学校図書館運営(8-9)、リテラシー(10)、図書館システム(11-12)、情報モラル・情報倫理(13)、著作権(14-15)

成績評価の方法 レポート、出席状況、平常点に基づいて行います。

参考書 根本彰監修『インターネット時代の学校図書館(司書・司書教諭のための「情報」入門)』東京電機大学出版局、2,400円、ISBN978-4501619701

履修コード	087201・087301
科目名	読書と豊かな人間性
担当者名	松尾 不二夫 <small>まつお ふじお</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本と結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するための読書教育のあり方を考えることができ、さらに、読書活動の方法、技能についても具体的に体得してもらう。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 読書の意義と目的 (3) 子どもの読書の実態と課題(学校読書調査報告) (4) 読書資料の種類と特性 (5・6) 子どもの発達段階と読書 (7・8) 学校教育の中の読書 (9) 読書指導の方法 (10～13) 子どもと本を結ぶために (14) 地域の関連施設等との連携 (15) 全体のまとめ(試験)

履修上の留意点 ※演習(学生による読み聞かせ)
講義回数70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法 平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト 教育実習をする学生は実習校での学校図書館見学レポートを提出する。

参考書 特に指定しない。随時プリントを配布。
「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学4 読書と豊かな人間性』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2236-0

その他 講義・演習(読みきかせ)
この科日の受講は下記の1、2を修了してからが望ましい。
1、学校経営と学校図書館(前期)
2、学習指導と学校図書館(前期)

教職課程
資格講座科目

4. 博 物 館 学 講 座

履修コード	084901・085001
科目名	視聴覚教育
担当者名	^{たかつ なおき} 高津 直己

講義の到達目標(ねらい)

視聴覚教育は、文字や言語を中心とした教育に対して、映像などの視聴覚メディアがもたらす教育効果を重要視する教育方法である。視聴覚メディアはその具体性においてすぐれており、その特質を利用して豊かな教育を行うことが視聴覚教育の目的である。この講義では、学校教育・社会教育における視聴覚教育の基礎を、教育という営みについての基本的理解を前提にしながら、メディア・リテラシーの立場から考察するとともに、視聴覚教育の基本的な教育方法を学習する。授業は、主として「視聴覚」の方法を使って講義形式ですすめる。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 視聴覚教育とは
- 2 メディアの歴史 (I)
- 3 メディアの歴史 (II)
- 4 メディアの歴史 (III)
- 5 映像の文法と概念形成
- 6 ラジオ放送の誕生
- 7 テレビ放送の誕生
- 8 教育における「経験」の意義
- 9 教育方法としての視聴覚教育理論
- 10 教育メディアの変遷
- 11 テレビ教育番組の教育効果
- 12 教育番組の特性
- 13 教育番組の制作方法
- 14 メディア・リテラシーの諸相
- 15 中間まとめ
- 16 前期の復習とオリエンテーション
- 17 美術館・博物館とメディア活用
- 18 学芸員の役割
- 19 コンピュータの登場と発達
- 20 教育メディアとしてのコンピュータ
- 21 メディア・リテラシーと情報リテラシー
- 22 マルチメディア教材の利用
- 23 インターネット利用教育
- 24 高度情報化社会
- 25 情報化社会でのコンピュータの役割
- 26 学校における情報教育
- 27 情報教育のねらい
- 28 高度情報化時代の生涯教育
- 29 情報リテラシー教育
- 30 全体まとめ

履修上の留意点

「視聴覚教育」の学習は単に方法を学ぶものではなく、教育という人間の営みについての基本的な理解のうえに成り立つものであるから、すくなくとも「教育原理」または「教育方法論」に関する科目を学んだ上で履修してほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席回数 (50%)、レポート (50%) で評価する。
佐賀啓男編著『視聴覚メディアと教育』(樹村房) 2002年、¥1,890、ISBN 4-88367-095-3

教職課程
資格講座科目

履修コード	056701
科目名	博物館学 I (概論)
担当者名	^{おおた きみこ} 太田 喜美子

講義の到達目標(ねらい)

博物館の意義・歴史、学芸員の仕事などを理解してもらいながら学芸員を目指す心構えを固めていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 博物館法の流れにそって、博物館の課題・学芸員の存在意義などの問題点についても考えていく。
- (1～5) 博物館の目的・種類と機能
 - (6～10) 博物館の歴史
 - (11～15) 博物館の現状と課題

履修上の留意点

第1回目の授業で、本学における学芸員資格取得の手続き・方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト

新聞・ニュースなどに関心を持つこと。
課題提出・試験・授業態度・出席による総合評価。
必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	056801
科目名	博物館学Ⅱ（資料論）
担当者名	岸上 興一郎

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。
(1～2)資料論の位置づけ、博物館の生い立ち(3～9)博物館法でいう資料とは、ユネスコの勧告、希少動植物の保護、文化財保護法(10)公開承認施設に関する規定(11)文化財を支える用具・原材料の確保について(12～15)博物館資料の分類、博物館資料の修復と遺跡復元事例、博物館の展示室・収蔵庫における保存環境について
資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。
参考書
(財)日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。
各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
(財)日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

履修コード	056901
科目名	博物館学Ⅲ（経営論・情報論）
担当者名	岸上 興一郎

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。
(1～2)博物館経営と学芸員、博物館経営に観る「大学メンバーシップ」と利用料金(3～6)経営論の基礎—ひと—、経営論の基礎—管理運営計画の策定—、指定管理者制度、予算の構成(7～12)博物館における情報の基礎、公開情報と非公開情報、マルチメディア、著作権法、情報機器の取扱と倫理、博物館資料のデータベース化(13～15)報道機関の情報、イコム職業倫理規定
予算の仕組みおよび博物館資料のもつ情報と、そのあつかいを理解すること。
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。
参考書
(財)日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。
各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
(財)日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

履修コード	057001
科目名	博物館実習Ⅰ（館務）
担当者名	太田 喜美子・湯淺 隆・飯島 武次

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
博物館学講座の最終課程を担う科目です。
現場において先任者との協働のもとで、博物館の将来像を見据えた提言・行動ができるようになるため、必須とされる実務能力の基礎を修得します。
グループに分かれ、複数の担当教員のもと、さまざまな項目を同時並行して行ないます。
前期:(1～15)実習館決定に伴う具体的な事前準備、学内における展示実習案の作成。
(8～13)資料写真の撮り方、歴史資料の取扱い、など。
夏期:館園における実習、学内催事におけるスタッフ経験。
後期:(16～24)展示実習の準備・実施(11月後半～12月)。
(16～21、25～30)館園実習経験の共有をとおし、さまざまな種類の博物館のありようを把握します。
準備学習
博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、博物館実習Ⅲの内容を正確に掴み、そのうえで当面する課題に自分なりの対峙の仕方をたえず考えてください。
履修上の留意点
実習科目であるため、課された課題すべてに参加することが原則として必要です。課される課題とは、配当された授業時間における出席、1ないし2週間の館園実習、課題を達成するための授業時間以外における活動などです。
また、博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、博物館実習Ⅲの単位取得者のみ、履修可能です。
成績評価の方法
教科書/テキスト
学芸員として要求される資質・能力の習得程度を、あらゆる角度からみて評価します。
特定のものはありません。
参考書
実習館が決ったら、その博物館の『要覧・年報』・ホームページを熟読してください。
その他
この科目では、社会人としての行動を求めます。

履修コード	057101
科目名	博物館実習Ⅱ (収集)
担当者名	久保田 昌希・熊本 史雄・佐々木 真・小泉 雅弘・太田 喜美子・瀧音 能之・國見 徹

講義の到達目標(ねらい)

博物館活動の主たる3本柱のうち「博物館資料の収集」の方法を習得する。
人々が永い年月守り伝えてきた、有形無形の「物」が、実習を通して「物」から「博物館資料」へと変わっていく過程の一部分を学ぶ。
併せて、人々の思いを汲み取り、歴史を立体的にしていく。

講義の内容／
授業スケジュール

前期
・実習先決定。各担当教員の専門分野別に講義と実習。
・実習地の歴史・地名の由来、資料研究などの事前学習。
・写真撮影・資料整理などの実技。
後期(実習終了後)
・収集資料の整理・原稿作成などのまとめ。

履修上の留意点
成績評価の方法

実習は、9月末～10月末の間、各班6泊7日で実施予定。
今年度予定している実習は
1、長野県佐久市望月町での近世文書調査と周辺市町村の石仏調査
2、長野県飯田市周辺での石仏収集調査
第1回目の授業に必ず出席すること。
授業態度・実習評価・出席状況

履修コード	057201
科目名	博物館実習Ⅲ (見学)
担当者名	酒井 清治・松本 信道・太田 喜美子

講義の到達目標(ねらい)

博物館を、立地・建物・資料合せ、全体として捉える見学方法を学んでいく。
現役学芸員による解説と博物館関連科目で得た知識を深く理解し、自分なりの博物館観・学芸員観を常に更新していくこと。

講義の内容／
授業スケジュール

A～Dの4組の場合(第1回目の授業で、組分け)
全組共通自由見学2回終了後
A・B組は、前期中の日曜日に4回、教員引率のもと、団体見学を行う。その後、自由見学を4回行い、計10館の見学をする。
C・D組は、後期の水曜日に4回、教員引率のもと団体見学を行う。その後、自由見学を4回行い、計10館の見学をする。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修希望者は、第1回目の授業に必ず出席のこと
レポート点・実習・授業態度での評価

履修コード	212001
科目名	教育基礎論
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)

さまざまな職種の仕事について知識を深めるとともに、職人たちがどのようにして仕事に必要な技や知恵などを獲得してきたのかを考える。また、それらの獲得プロセスの検討をおととして、学びとは何かについても考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、現代社会と職人 (2～6) 職人たちの仕事 (7～9) 職人たちの修業方法 (10～11) 徒弟制度とその意味 (12～14) 学びとは何か (15) まとめ

準備学習

配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、本を読むなどして、関心のある職種の職人の仕事を知ることにより、授業内容の理解が深まる。

履修上の留意点

資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

教科書／テキスト

初回の授業時に指示する。

参考書

適宜紹介する。

資格
講義
科目
教職
課程

履修コード	212101・212201
科目名	教育基礎論
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	教育という営みへの理解を深めつつ、近代的な教育思想・理念の性格を理解します。最終的には、教育思想や理念などをどのように実践にいかしていけるかを考えられるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	人間の学びや教育を、生命としての営みのレベルから押さえ、次いで、前近代的な人間形成のあり方を対照項として近代教育の性格を論じます。特に、近代教育思想・理念との関連を見てゆきます。スケジュールは、おおむね、人間と教育(1～3)、前近代の人間形成(4～6)、近代の人間形成(7～9)、近代教育思想とその役割(10～15)となります。
履修上の留意点	この科目は教職の専門科目ですので、新聞を読むなどして、日頃から日本の教育への関心を高めるようにしてください。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書	教場で指示します。

履修コード	212301・212401・212701
科目名	教育基礎論
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容／授業スケジュール	とりあげるテーマは以下の通り。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育 (1～3) 学校教育という制度、(4～6) 学校という空間、(7～9) 学校教育の機能、(10～12) 外来の装置としての学校、(13～15) 立身出世と学歴主義
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書／テキスト	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

資格課程
教職課程

履修コード	212501
科目名	教育基礎論
担当者名	はらわら けんじろう 萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知(主に教育史・教育哲学)との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容／授業スケジュール	① 自らの教育・学習体験をふりかえる―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる(1～4) ② 自己と他者との体験知の交流―「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う(5) ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 (1) 学ぶことの意味と構造(6～8) (2) 教えることの意味と構造(9～12) (3) 教える―学ぶ関係の前提にある子ども観・大人観(13～15)
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習になっている。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかっていることを留意してほしい。また、コメントを毎回提出してもらおう。
成績評価の方法	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
教科書／テキスト	特に使用しない。
参考書	そのつど紹介する。

履修コード	212601
科目名	教育基礎論
担当者名	坂本 信昭 <small>さかもと のぶあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちに教育思想・教育目的を概観することを手始めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容／授業スケジュール

- ・教育の理想と目的 (1～5)
- ・わが国の教育目的の変遷 (6～12)
- ・現代・社会の変化と教育目的 (13～14)
- ・その他(大村はま、林竹二などから学ぶものは何か) (15)

履修上の留意点 授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法 課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書 西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円
デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

履修コード	343801
科目名	教育基礎論
担当者名	山本 敏子 <small>やまもと としこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 教育についての見方、考え方を深め、現代の学校教育が抱える様々な問題を解決していくために必要な力量の養成を目指して、ルドルフ・シュタイナーの教育思想を手掛かりに教育の基礎理論について学びます。

講義の内容／授業スケジュール
準備学習

(1) はじめに、(2) 教育という概念と人間の歴史、(3～5) R・シュタイナーの生涯と教育思想、(6～12) 教育の基礎としての一般人間学、(13～14) 教育における実践と省察、(15) まとめ
R・シュタイナー『人間理解からの教育』(西川隆範訳、筑摩書房)を読みながら授業に参加すると、理解の助けになります。

履修上の留意点 初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。

教科書/テキスト 特に変更せず、必要に応じて資料を配布します。

参考書 初回に紹介します。

履修コード	212901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) わたしたちが受けてきた教育を「身体」という観点から検討し、学校教育をめぐる諸問題を考える。また、それらの問題をもとに、近代の学校教育のあり方やそれに影響を及ぼしている社会のあり方などについて考察する。

講義の内容／授業スケジュール
準備学習

(1) ガイダンス、「身体」の観点からの教育体験のふり返り (2) 教育体験のふり返りからみえる教育の諸問題 (3～5) 子どもの身体の実態 (6～8) 身体感覚とコミュニケーション (9～10) 自分の身体への気づき (11～13) 教育の諸問題と近代の社会・学校教育のあり方 (14) 子どもの身体をひらく教育に向けて (15) まとめ

配布資料を読み、感想や意見をまとめて授業に臨むことで、積極的な参加が促進される。また、新聞を読み、身体に関する記事についての感想を箇条書きなどしておくことも、有益である。

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。

教科書/テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	213001・213101
科目名	教育制度・環境論
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義の到達目標(ねらい) 近代学校教育の性格を理解するとともに、日本におけるその成立経緯や特徴について学びます。また、現代の学校教育の問題点についても考えてゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール 内容・スケジュールは、おおむね次の通りです。
はじめに (1)、国家と教育 (2～6)、教育改革とその社会的背景 (7～10)、学校が抱える問題 (11～14)、まとめ (15)

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書 この科目は教職課程の必修科目です。日頃から教育への関心を高めるようにしてください。出席状況とレポートによります。教場で指示します。

履修コード	213201・213301・213601
科目名	教育制度・環境論
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい) 学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール とりあげるテーマは以下の通り。
・現代の教育問題
・教育改革の動向
(1～2) 教育問題とは何か、(3～5) 戦後の教育問題の変遷、(6～10) 80年代以降の教育問題、(11) 近年の教育改革の経緯、(12～14) 教育改革の方向性、(15) 教育改革の問題点

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。学期末試験により評価する。教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	213401
科目名	教育制度・環境論
担当者名	はぎわら けんじろう 萩原 健次郎

講義の到達目標(ねらい) 80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容／
授業スケジュール ①「居場所」をめぐる言説の登場(1～3)
②子ども・若者の人間形成空間の変容(4～6)
③「居場所」の意味を読み解く(7～9)
④子ども・若者の居場所空間をデザインする(10～12)
⑤「居場所づくり」に関わる指導者・支援者の力量(13)
⑥「居場所づくり」と子どもの参加・参画論(14～15)

履修上の留意点 授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書 小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。
とくに指定しない
田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想―「教育」から「関わり」の場へ―』(学陽書房) 3,000円
久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)
ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

履修コード	213501
科目名	教育制度・環境論
担当者名	坂本 ^{さかもと のぶあき} 信昭

講義の到達目標(ねらい) 人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。また、環境が人間形成や教育に大きな影響を与えることは否定しがたい。人びとが生活する基盤が環境なのだから、教師の思想も教え方も環境によって大きく条件づけられており、その教育を受ける子どもも教師からだけでなく環境によって教育の受けとり方が異ってくる。

講義の内容／
授業スケジュール 講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ(1～3)
- ・学校の社会的機能(4～5)
- ・学校教育の現実と課題(6～7)
- ・その他(教師論等)(8)
- ・現代社会と教育環境(9～10)
- ・家庭の教育環境(親子関係・家庭生活)(11～12)
- ・都市の教育環境(都市の学校と子ども)(13)
- ・農・漁村の教育環境(農・漁村の学校と子ども)(14～15)

履修上の留意点 授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法 課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参 考 書 西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2, 600円
デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

履修コード	343901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	山本 ^{やまもと としこ} 敏子

講義の到達目標(ねらい) 今日の学校教育制度について、その成り立ちを前近代の多様な教育システムとの関わりで考察することにより、近代学校システムの特徴や公教育原理を理解するとともに、よりよい改革の方向性を模索します。

講義の内容／
授業スケジュール (1)はじめに、(2～3)前近代の多様な教育システム、(4～6)近代社会の成立と近代学校システム、(7～8)現代公教育制度とその組織原理、(9～14)近年の教育諸問題と教育制度・環境の改善(含・諸外国との比較)、(15)まとめ

準 備 学 習 新聞記事を読んだり、自分自身の教育体験を省察したり、子どもや若者の生活世界に起こっている様々な出来事に関心をもって調べたり等に取り組んで授業に臨むと、理解が深まります。

履修上の留意点 初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 学期末レポート(5割)、出席状況および授業内の小レポート・発表等(5割)の総合評価。

教科書／テキスト 特に変更せず、必要に応じて資料を配付する予定です。

参 考 書 適宜紹介します。

教職課程
資格講座科目

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論Ⅰ
担当者名	豊田 ^{とよた ちよこ} 千代子

講義の到達目標(ねらい) この授業では、ユネスコやOECDなどの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それとおして、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール (1)ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは (2～4)生涯教育・生涯学習の国際的動向(5～8)日本における生涯学習政策の展開 (9～11)生涯学習と学校計画 (12～14)生涯学習と社会教育 (15)まとめ

準 備 学 習 新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 適宜紹介する。

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論Ⅱ
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育 (2～3) 学校教育の歴史と理念、制度の変遷 (4) 学校教育をめぐる今日的課題 (5) 子どもの成長・発達を支える学校教育実践 (6～8) 社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法 (9) 社会教育をめぐる今日的課題 (10～14) 子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践 (15) まとめ
準備学習	新聞を読んだり、自分の暮らしている地域に目を向けるなどして、社会教育・生涯学習への関心を高めておくことが、授業内容についての理解を深める上で効果的である。
履修上の留意点	資料を読んだりビデオを見た感想を話し合うことが多いので、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書／テキスト	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	適宜紹介する。

履修コード	003802
科目名	インド仏教文化史
担当者名	金沢 篤

講義の到達目標(ねらい)	インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
講義の内容／授業スケジュール	神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解釈を皮切りに、仏教の出現と展開と哀類にまつわる文化的トピックを論究する。 ◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教 ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から ◎仏教の起源と仏教出現の背景(8～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性 ◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立 ◎インド仏教文化史・むすび(23～)
履修上の留意点	仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
成績評価の方法	年度末試験などで総合的に判断する。
教科書／テキスト	渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円
参考書	教場で適宜紹介する。

資格講座
教職課程

履修コード	003902
科目名	中国仏教文化史
担当者名	程 正

講義の到達目標(ねらい)	インドで成立した仏教は中国に於いてどんな軌跡を描きながら受容され、そして自らのすがたを変えながら中国人の宗教として展開していったのか。こうした問題を意識しつつ、講義を進めていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	ガイダンスを兼ねて、中国仏教文化のすがたとかたちについて考える。(6～7回) 中国仏教史上における破仏、いわゆる「三武一宗」の法難について講義するとともに、『父母恩重経』をはじめとする中国で撰述された偽経も紹介し、これらの偽経の出現の文化史的意義を考える。(13～14回) 仏典漢訳、写経、經典印刷、大蔵経の編纂など、いわゆる仏教經典に促された仏教文化の発達について考える。(9～10回)
履修上の留意点	資料を沢山配布するので、専用ノート、あるいはファイルを用意すること。
成績評価の方法	レポート、出席、期末試験を総合して評価する。
教科書／テキスト	プリント配布。
参考書	授業中適宜指示する。

履修コード	004002
科目名	日本仏教文化史
担当者名	袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勸進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈祷仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講読する。

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書／テキスト

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年

参考書

袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年

その他

必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

履修コード	006102
科目名	禅美術
担当者名	村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)

禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

講義ガイダンスと宋代の社会と仏教(1～3)、北宋の絵画(4～7)、南宋の絵画(8～11)、元の絵画(12～15)、鎌倉時代の絵画(16～19)、室町時代の絵画(20～23)、枯山水の庭園(24～25)、頂相彫刻(26～28)、禅宗の建築と美意識(29～30)

履修上の留意点

講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。

教科書／テキスト

プリントを配布する。

参考書

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	006202
科目名	仏教美術
担当者名	むらまつ てつみ 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)	日本における仏像の歴史について、信仰的な背景と照らし合わせながら概観する。一つの尊像が時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。 本年度は、「仏像の種類別」に考察を進め、同じ種類の仏像でも時代によって形が変化する過程を見極めていく。 また本講義では、仏像から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ(3) 仏教と芸術」で講義し、鎌倉時代以降の絵画については「禅美術」で講義する。
講義の内容/ 授業スケジュール	[前期] 仏像鑑賞の基礎 (1～5)、釈迦如来 (6～8)、阿弥陀如来 (9～11)、薬師如来 (12～15) [後期] 観音菩薩 (16～18)、弥勒菩薩 (19～21)、文殊菩薩 (22～24)、地藏菩薩 (25～27)、仏教美術の莊嚴 (28～30) 以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。
履修上の留意点	美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。
成績評価の方法	定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。
教科書/テキスト	プリントを配布する。
参考書	参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	006302
科目名	仏教民俗学
担当者名	ふじた のりあき 佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい)	わが国で展開されている釈尊降誕会は、それ以前から存していた「春山入り」の行事と習合して、民衆のあいだに広く定着したと言われる。この例から知られるように、仏教がわが国に定着するに際しては、仏教と民俗とが習合している点に留意しておかなければならない。この講座では、仏教文化には教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあり、生活場面においては両者が提携し、複合化しているという事実を踏まえ、民俗仏教の意味と役割について教義仏教との関連のもとに考えてみたい。
講義の内容/ 授業スケジュール	次のテーマのもとに具体的に考察する。 第1～2回 仏教と民俗、第3～4回 宗教文化の捉え方、第5～6回 宗教的エリートとマス、第7～8回 日本人の宗教的志向性、第9～10回 教義仏教と民俗仏教、第11～12回 宗教的職能者の特質、第13～14回 教義仏教と民俗仏教とを媒介する僧侶の特質、第15～16回 仏教とアニミズム、第17～18回 「仏」と「ホトケ」と「ほどけ」、第19～20回 葬祭、第21～22回 供養、第23～24回 祈禱、第25～26回 釈尊降誕会・涅槃会、第27～28回 盂蘭盆会・彼岸会、第29回 点眼式、第30回 総括。
履修上の留意点	出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。
成績評価の方法	学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。最終評価に際しては、出席点とレポート点(4年生のみ該当)とを加算する。4年生のみ提出のレポートは、次の通りである。〔課題〕仏教民俗学・宗教人類学に関する論文または書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕2000字。〔提出先と時期〕12月までの授業時に随時受けつける。〔その他〕ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は提出することが望ましい。なお、追試験は実施する。
教科書/テキスト	佐々木宏幹『仏力—生活仏教のダイナミズム—』春秋社
参考書	授業中に適宜紹介する。

履修コード	017103
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義の到達目標(ねらい) 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容／授業スケジュール (1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書／テキスト 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	017803
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい) 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／授業スケジュール 前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
(3)～(5) 仏教絵画 (6)～(8) 絵巻物
(9)～(10) 肖像画 (11)～(15) 室町時代の水墨画

後期 室町末から江戸時代の絵画
(16)～(20) 狩野派 (21)～(24) 琳派
(25)～(26) 浮世絵 (27)～(28) 南蘋派と洋風画
(29)～(30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	028602
科目名	現代美術
担当者名	矢野 陽子

講義の到達目標(ねらい) この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているのかも考察していきます。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2～4) 19世紀後半の美術 (5～7) 世紀転換期の美術 (8～13) フォーヴィズムとキュビズムおよびその他の20世紀初頭の動向 (14～17) ダダからシュルレアリスムへ (18～19) 抽象主義 (20～21) パウハウスなど (22～24) 抽象表現主義からポップ・アートへ (25～30) 戦後の様々な動向

履修上の留意点 美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

成績評価の方法 夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。

教科書／テキスト 講義時にプリントを配布します。
参 考 書 美術出版社編『現代美術入門』(美術出版社) 2,000円
そ の 他 そのほか授業中適宜紹介します。

授業は毎回、画像を見ながら進めます。

履修コード	039902
科目名	地形学
担当者名	<small>ひらい ゆきひろ</small> 平井 幸弘

講義の到達目標(わらい) 私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面(おもに前期)と地形環境誌的な側面(主に後期)の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は、主として地形発達のバックグラウンドとしての(1)気候変動(2回~5回)、(2)海水準変動(6回~9回)、(3)地殻変動(10回~12回)、(4)火山活動(13回~15回)について学ぶ。後期は、前期で学んだことを踏まえて、関東平野の地形発達と地形誌として、(1)利根川上流域の火山活動と地形発達(16回~19回)、(2)中流域の関東造盆地運動と平野の地形発達(20回~23回)、(3)下流沖積低地における海面変動と低地の地形発達(24回~27回)、(4)関東平野の環境問題とまとめ(28回~30回)。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。
とくに指定しない。
貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』(東大出版会)2000年
高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	041102
科目名	第四紀学
担当者名	<small>すずき たけひこ</small> 鈴木 毅彦

講義の到達目標(わらい) 第四紀とは最近約260万年間(2009年度に、それまでの約180万年前から260万年前へと、第四紀の開始を古くすることすることが正式に決定された)の地質時代をさす。この時代は、地形、気候、動植物、人類などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容/
授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説、後半では日本列島の第四紀の主要な現象のうち、地形発達、火山活動、第四紀地殻変動などに焦点をあてる。(1-2)第四紀の概要と学際科学としての第四紀学の特徴、(3-4)氷期の認定に関する歴史、(5-7)大陸氷床の発達と海面変化からわかる氷期・間氷期サイクル、第四紀海面変化の復元(日本列島および関東地方を例として)、(8-9)海洋底堆積物、酸素同位体比変化から復元される氷期・間氷期サイクル、(10)地球上各域における第四紀の気候変化、(11-12)氷期・間氷期サイクルの原因とミランコビッチサイクル、(13)数値年代と放射年代測定およびその原理、(14-15)第四紀の古地磁気編年とレス編年、(16-21)第四紀のテフロクロノロジー:火山噴火の多様性、原理、日本列島および関東地方における応用例、(22-24)第四紀の火山活動、(25-30)第四紀地殻変動、活断層、山地形成、人類の歴史

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験で評価する。追試験は実施しない。
教科書は特に指定しない
参考書として、日本第四紀学会編『デジタルブック 最新第四紀学』、町田ほか編『第四紀学』(朝倉書店)、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』(古今書院)、成瀬『第四紀学』(岩波書店)をあげる。それ以外は講義中に紹介する。
授業の方法:講義、なお時間等が許せば日帰りの野外巡検を行う予定である。

履修コード	044302
科目名	日本考古学概説
担当者名	酒井 清治 <small>さかい さとし</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。

講義の内容／授業スケジュール 考古学の研究史、研究法および、遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。(1～2) 考古学とは何か、(4～6) 考古学の研究史、(7～10) 資料解釈の研究法、(11～14) 年代論、(15～18) 旧石器時代、(19～22) 縄文時代、(23～26) 弥生時代、(27～30) 古墳時代。前期は授業の初めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。

準備学習 博物館や図書館で考古学資料を見ることにより、考古学の時代的特色を把握することができ、講義の内容を理解しやすいので実施して欲しい。

履修上の留意点 遅刻厳禁、私語厳禁。

成績評価の方法 定期試験とレポートで採点。平常点、出席状況も加味する。

教科書／テキスト 教科書は特にないが、授業で逐次資料を配付する。

参考書 安藤雅雄『考古学キーワード』(有斐閣) 2100円 ISBN9784641058774
山岸良二『入門者のための考古学教室』(同成社) 1900円 ISBN9784886213723C1021
鈴木公雄『考古学入門』(東大出版社) 2940円 ISBN9784130230520

その他 そのほか授業中に解説しながら紹介する。
講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

履修コード	044402
科目名	外国考古学概説
担当者名	飯島 武次 <small>いらいま たけつぐ</small>

講義の到達目標(ねらい) 「中国の考古学」について講義をおこなう。考古学専攻生として中国考古学の常識的知識を身につけてもらう。

講義の内容／授業スケジュール これまでの中国考古学の学史的流れを把握し、各時代の様相を考古学の視点から見たい。あつかう時代は、旧石器から新石器・青銅器時代、および秦・漢から隋・唐くらいまでを予定している。

前期は学芸員課程のための履修者もいることから、考古学の研究法から開始する(第1回)。その後中国考古学の歴史(第2,3回)、旧石器時代～青銅器時代(第4～10回)、夏・商・周(第11～15回)を予定している。

後期は北方系青銅器文化(第16～20回)、秦・漢(第21～24回)、魏晉から隋唐(第25～30回)を予定している。

準備学習 必要に応じて、海外調査・学会動向などの情報にも触れる予定である。
授業終了時に次回の授業内容を紹介するので、予習をしてもらうこと。授業終了後はノートをまとめること。

履修上の留意点 授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法 学年末試験の成績によって判断する。合格は60点以上。

教科書／テキスト 特になし。

参考書 飯島武次、2003、『中国考古学概論』(同成社)。

その他 授業は講義が中心となる。できるだけスライドや映像などを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

履修コード	046912
科目名	西洋文化史
担当者名	<small>となか けい</small> 田中 佳

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、ヨーロッパの歴史の中で文化にかかわるいくつかのテーマを取り上げ、近年の文化史、社会史の成果に依りながら考察を加える。ヨーロッパ史への多角的な理解を深めるばかりでなく、今日の社会・文化現象についての歴史的関心を養い、既存の概念やシステムを批判的に再検討するきっかけを提供することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール (前期) (1) イントロダクション (2~3) 文化史の課題と方法 (4~9) 子どもと家族の社会・文化史 (10~14) 偉人のイメージ (15) 中間試験
(後期) (16~20) 美術館の起源 (21) 美術館見学 (22~26) ヨーロッパの美術館の創設 (27) アメリカの美術館の創設 (28~29) 日本への美術館の「輸入」(30) 総括

履修上の留意点
成績評価の方法 講義内容をふまえたうえで、自ら問題意識を持ち、考察を深めてほしい。
平常点(小テスト、提出物等を含む): 20%
中間試験: 40%
期末試験: 40%
により評価する。

教科書／テキスト
参 考 書 テキストはとくに指定しない。
授業内で随時紹介する。

履修コード	047112
科目名	日本文化史
担当者名	<small>ひろみ りょうこう</small> 廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい) 日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール 日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。
・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3~5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12~15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駆込寺(20~22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27~30)

履修上の留意点 講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法 定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書／テキスト
参 考 書 とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。
講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	046201
科目名	考古発掘実習
担当者名	酒井 清治・飯島 武次

講義の到達目標(ねらい)	考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得と考古学に対する考え方を養うことを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。文化財とは何か(1)、埋蔵文化財とは何か(2・3)、発掘調査とは(4～8)、発掘調査の方法(9～15)、発掘調査と文化財保護法(16～18)、整理作業と報告書作成技術(19～22)
準備学習	発掘調査で出土する遺物がどのような資料か時代かを判断することができるように、博物館を見学して考古資料を見ることを勧める。
履修上の留意点	夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後計画を作ること。
成績評価の方法	授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。
教科書／テキスト	成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する
参考書	授業の中で資料を配付する。
その他	岩崎卓也他『考古学調査ハンドブック 1 野外編』(雄山閣) 3150円 通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う。予定では8月に日本で、9月に中国での発掘を行う予定であるが、場所は未定である。なお発掘は日本・中国どちらかの発掘を選択してもらう。

履修コード	052712
科目名	考古学特講 I
担当者名	酒井 清治

講義の到達目標(ねらい)	古墳時代は3世紀後半、あるいは中頃に始まったようで、大和を中心とする大和政権が成立し、各地に前方後円墳などの豪族の墓が築かれるようになった。古墳時代は前期・中期・後期に時期区分されるが、授業では巨大前方後円墳が築かれる倭の五王の時代から、横穴式石室が出現し、各地に伝播していった6・7世紀までの古墳時代を概観して、その特色について理解を深める。
講義の内容／授業スケジュール	古墳時代概観(1・2)、古墳時代の時期区分(3)、横穴式石室の出現と地域色(4～7)、古墳と石室の構築技術(8～10)、古墳群と群集墳(11～13)、副葬品(14～19)、祭祀と儀礼(20～22)、埴輪(23～25)、手工業生産と技術革新(26～30)
準備学習	古墳時代に特定した授業なので、古墳見学や博物館で出土遺物を見学することにより、より授業を理解しやすくなるので、実行すること。また、図書館で古墳時代の図や写真が掲載された書籍を読んで理解を深めてほしい。
履修上の留意点	私語厳禁、遅刻厳禁。ノートは小テストの時使用する。
成績評価の方法	出席状況と、レポートおよび前期と後期の小テスト
教科書／テキスト	教科書は特にないが、授業で資料を配布する。
参考書	菱田哲郎『古代日本国家形成の考古学』京都大学学術出版会 1800円 ISBN9784876988259C1320 土生田純之・亀田修一『季刊考古学』106号(特集 古墳時代とは何か) 雄山閣 2520円 ISBN9784639022721C0321

履修コード	052912
科目名	考古学特講Ⅲ
担当者名	いまむら けいじ 今村 啓爾

講義の到達目標(ねらい) 「先史」とは「文字以前」という意味である。日本の先史時代である先土器時代・縄文時代・弥生時代への移行までと、日本列島の両端におそくまで残った先史文化について、大きな文化の流れを理解するとともに、主要な遺跡・遺物・遺構などの物質的側面、社会や宗教などの非物質的側面について基本的な知識を獲得し、さらに日本先史文化の世界の中での位置づけを理解することをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール 第1～2回：日本考古学の時代区分と世界の考古学の時代区分、第3～4回：先土器時代(旧石器時代)研究史、第5～6回：先土器時代の遺跡・遺物・遺構、第7回：先土器時代の生活と社会、第8～9回：縄文時代研究史、第10回：先土器時代から縄文時代への移行、第11回：先土器・縄文時代の自然環境、第12～13回：縄文時代の道具、第14～15回：縄文時代の遺構、第16～18回：縄文時代の生業、第19～20回：縄文時代の集落と社会、第21～22回：縄文時代の装身と儀礼、第23～24回：縄文時代から弥生時代へ、第25～26回：弥生文化の概要、第27回：北海道に残った先史文化、第28回：沖縄に残った先史文化、第29～30回：世界の中での日本先史文化

準備学習
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書 とくになし
今村啓爾『縄文の実像を求めて』吉川弘文館歴史文化ライブラリー1999年
今村啓爾『日本列島の新石器文化』『日本史講座1』東京大学出版会2004年
今村啓爾『土器から見る縄文人の生態』同成社2010年

履修コード	053012
科目名	考古学特講V
担当者名	すぎのま こうへい 杉山 浩平

講義の到達目標(ねらい) この授業は「石の考古学」と題して石器の研究を解説していく。対象とする時代は主に縄文時代から弥生時代である。この授業では石材の獲得・石器の製作(生産)と流通・消費を中心に石を巡る人類の活動史を検討していく。

講義の内容／
授業スケジュール 前期は最初に石器・石材について総説を行う。その後、黒曜石を題材に剥片剥離の原理・石器製作・流通等を解説し、石器から読み取れる人類史について学習する。後期は石器の消費について石器の使用実験からその使用痕観察を行う。そして、グループ単位で実験の結果について発表を行う。授業の中では各種実験などを行うことを予定しているが、資料の観察眼を養うためにその都度レポートを課す。また、この授業では野外観察として、休日等を利用した河川での石材観察や原産地の見学なども行いたいと考えている。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書 実験等においてはルーペ・カメラ等が必要であり、学生自身が準備する必要がある。
授業への取り組みの姿勢とレポートならびに期末試験。
授業中に指示する。

履修コード	053032
科目名	考古学特講Ⅶ
担当者名	矢野 和之 <small>やの かずゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) 近年、遺跡の保存と活用必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画または歴史を生かしたまちづくりを担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容／
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
- ・国際憲章
- ・日本建築史(古代)概要
- ・遺構とその上部構造体の復元
- ・保存計画概論
- ・保存科学、保存工学概論
- ・まちづくりと文化財
- ・計画策定の実務
- ・国内の事例
- ・海外の事例、文化財保存の国際機関、世界遺産

以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

試験、演習提出物

コピー配布

適宜指示

講義は、スライド、ビデオ(保存工事の記録等)を使用する。

履修コード	053102
科目名	西域美術史
担当者名	松平 美和子 <small>まつだいら みわこ</small>

講義の到達目標(ねらい) シルクロードの十字路アフガニスタンとペルシアを中心に東西美術工芸の交流を考えることを目的とします。古代から東西交流の要衝として栄えたアフガニスタンは、1979年の旧ソ連軍侵攻に続く内戦のため荒廃し、その貴重な遺宝も長く行方不明となっていました。最近我々の目の前に再び姿を現し始めています。その最新情報と共に、西アジア芸術をリードしてきた古代ペルシア美術の詳細を検討します。また、シルクロード関係の展覧会カタログの魅力と活用法についても考えてみたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 (1)アフガニスタンの遺宝と現状、(2)ラピスラズリの交流、(3～7)再発見された遺宝、(8～10)パーミヤンの芸術、(11～12)ハッタとガンダーラ、(13～14)アフガニスタンと展覧会、(15)まとめ

後期 (1)ペルシア芸術と展覧会、(2～3)古代ペルシアの芸術、(4)アケメネス朝ペルシアの芸術、(5～6)ササン朝ペルシアの芸術、(7)ソグドの芸術、(8～9)イスラム芸術、(10～11)シルクロードのガラス工芸、(12～14)シルクロードの陶磁器工芸、(15)まとめ

講義中に紹介するシルクロード関係の展覧会をはじめ、各種の展覧会へ行く機会を持って欲しい。

レポート2回、小テスト2回、出席状況から総合的に評価する。

松平美和子著『シルクロード美術鑑賞への誘い』(芙蓉書房出版、2007)2800円
(ISBN 978-4-8295-0401-7)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

参 考 書
そ の 他

松平美和子編『シルクロード美術展カタログ内容総覧』(芙蓉書房出版、2009)
毎時間パワーポイントで多くの画像を見て講義する。

履修コード	075003
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地の行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼（彼女）らは、神霊をみずからの身体に憑入（ひょうにゅう）させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝えるなどの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態（＝シャーマニズム）は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 フィールドワーク、第5～7回 宗教文化の基盤、第8～10回 宗教的職能者、第11～13回 宗教と呪術と巫術、第14～16回 生き神信仰の諸相と研究史、第17～21 神人交流の諸相、第22～26回 生き神信仰と仏教現象、第27～29回 寺院とシャーマニズムとの互惠性、第30回 総括。

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト
参 考 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社（学術文庫）
授業中に適宜紹介する。

5. 社 会 福 祉 主 事 講 座

履修コード	062802
科目名	社会福祉原論
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容/
授業スケジュール

〔前期〕

第1回：ガイダンス、第2～4回：社会福祉の理念と概念、第5～10回：社会福祉制度の発展過程（イギリス及び日本）、第11～13回：社会福祉のしくみ、第14・15回：学生による意見発表会とまとめ

〔後期〕

第1・2回：福祉政策におけるニーズと資源、第3～10回：福祉政策の課題（視聴覚機材による各分野の動向把握を含む）、第11・12回：福祉政策の構成要素、第13・14回：福祉政策と関連政策及び相談援助活動、第15回：総括

準備学習

授業の最後に、次回の講義で取り上げるテーマ及びテキストでの該当箇所を指定するので、事前に目配りしておく。できれば疑問点や質問事項を用意されたい。

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況を勘案して行う。

塩野・福田編著『現代社会と福祉（社会福祉士シリーズ4）』弘文堂、2009年、2500円＋税

随時紹介する。

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	070701
科目名	社会福祉原論
担当者名	船水 浩行 <small>ふねみず ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代社会における「社会福祉」は、各国の文化、社会・経済状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるが、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の制度となってきた。

従って、「社会福祉」という用語はとてもポピュラーなものとなっており、新聞やテレビ等のマスコミにもしばしば登場し、選挙があれば多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかし、改めて「社会福祉とは」と問いかけられたとき、上手く答えることができる人は少ないのではないだろうか。

この授業では、こうしたことから、「社会福祉」とはなぜ人々の生活にとって不可欠な社会的な仕組みとなってきたのかを踏まえつつ、わが国社会福祉がどのように構築されてきたのかを概観し、主要ないくつかの制度を取りあげて現状と課題を考察していく（その際には、履修者の多くが「社会福祉主事」任用資格取得希望者であることを念頭におく。）。

社会福祉主事とは、現代社会における社会福祉の意義と役割（第1～2回）

社会福祉の理念と制度の展開過程～欧米（第3～4回）

社会福祉の理念と制度の展開過程～わが国（第5～6回）

わが国社会福祉の戦後の枠組みの特徴と課題（第7～10回）

社会保障構造改革、社会福祉基礎構造改革等の具体化

- ・介護保険の創設と実施（第11～14回）

- ・社会福祉基礎構造改革と障害者自立支援法（第15～16回）

貧困層の拡大、地方分権の推進等と生活保護、福祉事務所（第17～24回）

これからのわが国の社会福祉に求められるもの（第25～26回）

今後の社会福祉主事（主に社会福祉行政）に求められるもの（第27～29回）

定期試験（第30回）

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

授業で取り上げる内容は、一人一人の生活の問題でもあります。自身の問題として考察してください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

定期試験（筆記、持ち込み不可）80%、その他（出席、レポート等）20%

使用しない。

随時紹介する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	062901
科目名	法学 (福祉)
担当者名	^{けいとく} 鷗徳 ^{ひろとろ} 啓登

講義の到達目標(ねらい)	日本の社会は高齢化現象が進行中である。高齢者層の増加および平均寿命の上昇というこの現象は、善きにつけ悪しきにつけ高齢者の日常生活にもさまざまな影響を与えている。このような高齢化社会において、憲法が規定している「生存権」の一内容である「社会福祉」にしばって、法制度面から検討し、「社会福祉行政」の各種の法令の意義内容を理解することを目標とする(小林弘人著「高齢化社会における社会福祉の法」はしがきより)。
講義の内容／ 授業スケジュール	社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明する。 1回～3回：社会生活における法の作用や役割についての解説。 4回～6回：憲法、民法および行政法の基礎的知識を深める。 7回～15回：日本国憲法について、とくに基本的人権を中心にした解説である。 16回～20回：民法における基礎的概念の説明が中心となる。 21回～30回：行政法の原理および各領域における基本的概念の解説を行う。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席状況と試験を勘案して、評価する。 小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』創成社刊(2400円)を使用する。 ISBN4-7944-4050-2
参 考 書	授業時間中に適宜指示する。

履修コード	063902
科目名	社会福祉発達史
担当者名	^{ほり} 堀 ^{ちづこ} 千鶴子

講義の到達目標(ねらい)	我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。																																																
講義の内容／ 授業スケジュール	<table border="0"> <tr><td>1</td><td>社会福祉の歴史と人物史 1</td><td>13</td><td>人物史 4</td></tr> <tr><td>2</td><td> " 2</td><td>14</td><td> " 4</td></tr> <tr><td>3</td><td>慈善・救済の時代</td><td>15</td><td> " 4</td></tr> <tr><td>4</td><td>人物史 1</td><td>16</td><td>社会事業・社会福祉の時代</td></tr> <tr><td>5</td><td> " 1</td><td>17</td><td>人物史 5</td></tr> <tr><td>6</td><td> " 1</td><td>18</td><td> " 5</td></tr> <tr><td>7</td><td> " 2</td><td>19</td><td> " 5</td></tr> <tr><td>8</td><td> " 2</td><td>20</td><td> " 6</td></tr> <tr><td>9</td><td> " 2</td><td>21</td><td> " 6</td></tr> <tr><td>10</td><td> " 3</td><td>22</td><td> " 6</td></tr> <tr><td>11</td><td> " 3</td><td>23</td><td>社会事業に生きた女性</td></tr> <tr><td>12</td><td> " 3</td><td>24</td><td>地域の歴史</td></tr> </table>	1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4	2	" 2	14	" 4	3	慈善・救済の時代	15	" 4	4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代	5	" 1	17	人物史 5	6	" 1	18	" 5	7	" 2	19	" 5	8	" 2	20	" 6	9	" 2	21	" 6	10	" 3	22	" 6	11	" 3	23	社会事業に生きた女性	12	" 3	24	地域の歴史
1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4																																														
2	" 2	14	" 4																																														
3	慈善・救済の時代	15	" 4																																														
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代																																														
5	" 1	17	人物史 5																																														
6	" 1	18	" 5																																														
7	" 2	19	" 5																																														
8	" 2	20	" 6																																														
9	" 2	21	" 6																																														
10	" 3	22	" 6																																														
11	" 3	23	社会事業に生きた女性																																														
12	" 3	24	地域の歴史																																														
履修上の留意点	出席を重視する。テキスト必ず持参。																																																
成績評価の方法	出席(40%)、レポート(60%)																																																
教科書／テキスト	室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円 ISBN4-623-04519-6																																																

資格講習科目
教職課程

履修コード	065002
科目名	社会保障論
担当者名	長尾 譲治 <small>ながお じょうじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な事例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目)

(2) 各制度の詳細な解説

①医療保険制度(2～5回目) ②年金保険制度(6～11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12～16回目) ④介護保険制度(17～20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目)

(3) こんなときどうする? - 私たちのライフサイクルと社会保障 -

①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23～24回目) ③病気や障害状態になったら(25～26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目)

(4) 各国の社会保障制度(29回目)

(5) 社会保障制度の現状と課題(30回目)

成績評価の方法
教科書／テキスト

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。

特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。

参 考 書

長尾譲治著『ライフサイクルと保健福祉』(春風社)

週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研)

その他、随時紹介する。

履修コード	065322
科目名	公的扶助論
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈善的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史をはじめ、現行法の目的、原理、原則、組織機構、行政運営等を体系的に講述する。また、近年、注目されている権利擁護、社会的排除等にも言及する。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回:開講に当たって、第2回:貧困概念をめぐって、第3回:公的扶助の概念と社会保障制度下の位置と役割、第4～8回:イギリス及びわが国の公的扶助制度の歴史的展開、第9～12回:生活保護制度の概要(目的、原理、原則、扶助の種類、保護施設等)、第13回:生活保護の争訟制度とイギリスの福祉権活動、第14回:低所得対策、第15回:まとめ

準 備 学 習

授業の最後に、次回の講義で扱うテーマ・問題を指示するので、事前にテキストの該当箇所を目配りしておく。できれば、疑問点や質問事項をまとめておく。

履修上の留意点

指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、「学生参加」型の授業を心がけたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

評価は、定期試験と出席状況を勘案して行う。

伊藤秀一編著『低所得者に対する支援と生活保護制度(社会福祉士シリーズ16)』弘文堂、2008年、2500円+税

参 考 書
そ の 他

随時紹介する。

視聴覚教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	065422
科目名	障害者福祉論
担当者名	さきほら 桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい)

- ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する
- ・障害者福祉制度の発達過程について理解する
- ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：本科目のねらい・進め方について
- 第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）
- 第3回：障害とは何か②（知的障害・発達障害の理解）
- 第4回：障害者福祉の理念
- 第5回：障害の概念と定義
- 第6回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢
- 第7回：障害者福祉制度の発達過程
- 第8回：障害者基本法
- 第9回：障害者自立支援法①（制度移行）
- 第10回：障害者自立支援法②（制度解説1）
- 第11回：障害者自立支援法③（制度解説2）
- 第12回：障害者自立支援法④（制度解説3）
- 第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法，知的障害者福祉法）
- 第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律，発達障害者支援法）
- 第15回：授業内試験

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。

履修者は、「社会福祉原論」及び「社会福祉援助技術総論」の単位を取得していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

授業内試験又はレポートの提出90% ， 出席点10%
福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清，大熊信成，建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347
ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2010』、ミネルヴァ書房

そ の 他

履修コード	065522
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 光雅

講義の到達目標(ねらい)

少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割（1）
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割（2）
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割（3）
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参 考 書
そ の 他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

履修コード	065622
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。
そこでこの授業は、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目標にしています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1, 子ども家庭福祉の理念
 - ①ウェルフェアからウェルビーイングへ(第1回)
 - ②子どもの権利条約(第2回)
 - ③児童福祉法の基本原理(第3回)
- 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ①少子化の動向と対策(第4回)
 - ②子ども虐待の実態と対応(第5回)
 - ③少年非行・少年犯罪の動向と対応(第6回)
- 3, 子ども家庭福祉の法体系
 - ①児童福祉法(第7回)
 - ②児童福祉六法(第8回)
 - ③関連法(第9回)
- 4, 子ども家庭福祉の実施体制
 - ①子ども家庭福祉行政の仕組み(第10回)
 - ②子ども家庭福祉の実施機関(第11~12回)
- 5, 子ども家庭福祉への歩み(第13回)
- 6, 子ども家庭福祉施策の現状と課題(第14回)
- 7, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際(第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

平常点(出席およびリアクションペーパー、課題)と期末試験にて評価をします。
高橋重宏・山縣重治・オ村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク(第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000
※授業内容により、プリントを配布します。

参 考 書
そ の 他

- 随時、紹介します。
①授業はパワーポイントを使用
②各テーマ終了時に小テスト実施
③YeStudy利用

資格講座科目
教職課程

履修コード	065702
科目名	女性福祉論
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>

講義の到達目標(ねらい) この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義の内容/
授業スケジュール

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

1. ジェンダーの視点とは
ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは
・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

成績評価の方法

試験方法: レポート(50%)
出席確認を毎回行う(出席50%)

教科書/テキスト
参 考 書

林千代編著『女性福祉とは何か』(ミネルヴァ書房)2004年
講義内に紹介する。

履修コード	065822
科目名	医療福祉論
担当者名	宮本 ^{みやもと} 博司 ^{ひろし}

講義の到達目標(ねらい)

保健医療サービスにおいて、生活相談・援助を行う社会福祉士を医療ソーシャルワーカーと定義している。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について理解を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか。また、他専門職との連携・協働、保健医療サービスを支える制度・施設・資格、チームアプローチの理論と実践事例を学ぶことを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、保健医療の現場における現実や課題を理解し、考察できるような授業を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

保健医療サービス体系と施策

- ① 保健医療サービスの構成要素と推移、医療法の改正
- ② 医療法・保健医療政策における医療施設の機能・類型
- ③ 診療報酬における医療施設の機能・類型
- ④ 医療保険制度と診療報酬体系

医療ソーシャルワーク

- ① 医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組み
- ② 医療ソーシャルワーカーの業務内容
- ③ 医療ソーシャルワークの課題

保健医療サービスにおける理論と実践

- ① 医療ソーシャルワーク実践事例
(急性期・回復期リハビリテーション・慢性期・ターミナルケア等)
- ② 保健医療サービスの連携の理論と実践
(チームアプローチ・クリティカルパス・ケアマネジメント等)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業への主体的な参加を望む。

定期試験、課題レポート、授業出欠等により評価。

新・社会福祉士養成講座17「保健医療サービス」 中央法規出版
開講時に指示する。

履修コード	065902
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄 <small>かわかみ とみお</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、今日的な福祉理念の理解、およびそれを具現化した制度・事業・実践等に関する知識の獲得をはかり、地域福祉時代のソーシャルワーカーに求められるセンスの涵養をねらいとする。具体的な講義の柱は以下の通り。

- (1) 今日の福祉理念と地域福祉の考え方に関する理解を深める。
- (2) 様々な地域福祉活動およびその推進方法に関する理解を深める
- (3) 地域自立生活を支える様々な制度に関する理解を深める。
- (4) 地域福祉を推進する様々な機関・施設・団体に関する理解を深める。

なお、講義は高度かつ実践的内容になるので、テキスト等の事前通読を必須とする。各自充分な予習をして講義に臨んでほしい。併せて、本科目は社会福祉士国家試験指定科目ということもあり、試験内容も考慮した水準の講義を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～
2. 今日の福祉理念と地域福祉の概念
3. 地域福祉の歴史
4. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策①
5. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策②
6. 社会福祉における住民・利用者参加の意義と課題
7. 住民・利用者参加活動の形態と組織①～コミュニティ型
8. 住民・利用者参加活動の形態と組織②～アソシエーション型
9. 住民・利用者参加活動の形態と組織③～コミュニティビジネス／社会的企業
10. NPO・ボランティア活動とその支援（ボランティアセンターの役割）
11. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営①
12. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営②
13. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク①
14. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク②
15. 在宅福祉サービスの歴史と現状および地域包括支援センターの誕生
16. 福祉情報化と福祉教育の推進
17. 地域福祉推進における国・地方自治体の役割・関係
18. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度①
19. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度②
20. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業①
21. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業②
22. 苦情解決システムと第三者評価事業
23. 福祉計画の系譜と地域福祉計画・地域福祉活動計画
24. 民生委員制度と民生委員活動①
25. 民生委員制度と民生委員活動②
26. 地域福祉における社会福祉施設の役割（施設の社会化）
27. 地域福祉を支える財源～公費・財団・共同募金
28. 利用者主体・地域自立生活を支える供給システムのあり方（トータルケアシステム）
29. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～再考
30. まとめ

準備学習

履修上の留意点

テキストおよび参考図書を通読

地域福祉論は、他の分野論・各論系科目の横断科目的な性格が強い。児童・障害・高齢者・社会保険・生活保護分野等の制度や対象者像、利用の仕組み、施設やサービス等についての知識を前提として講義を進めるので、少なくとも2年次以降の履修が望ましい（できれば3年次履修を勧める）。他学部・他学科生で履修する学生は、『国民の福祉の動向』（厚生統計協会）や『厚生白書』などを熟読し、今日の社会問題や社会保障の枠組みに関する一定の理解を持って臨むこと。

成績評価の方法

定期試験の成績に小テスト（随時）、レポート（随時）、出席点を加味して判定する。講義への出席等外形的な評価よりも、価値理解・知識獲得など実質的な側面を強く評価する予定である。なお、定期試験は社会福祉士国家試験を意識した形式で行い、定期試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書／テキスト

●社会福祉士養成講座編集委員会編『改訂 新・社会福祉士養成講座⑨地域福祉の理論と方法』中央法規出版 2010

参 考 書

- 山本主税・川上富雄『地域福祉新時代の社会福祉協議会』中央法規出版 2003
- 日本社会福祉士会編『新・社会福祉援助の共通基盤（下）』中央法規出版 2009
- 井岡勉監修／牧里・山本編『住民主体の地域福祉論』法律文化社 2008
- 大橋謙策・原田正樹編『地域福祉計画と地域福祉実践』万葉舎 2000
- 小林雅彦編『社会福祉の新潮流⑨地域福祉論』学文社 2010

そ の 他

その他、講義中に紹介する。
基本的には講義形式で行う。

履修コード	066152
科目名	社会学 (福祉)
担当者名	武山 梅乗 <small>たけやま うめのり</small>

講義の到達目標(ねらい)	社会福祉士（及び精神保健福祉士・社会福祉主事）を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識（社会理論）を提示し、現代社会における今日的な諸問題や生活、及び人と社会との関係について理解することを通じて、より広い視点から（社会福祉）を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	I 社会学の基礎概念（1～4回）第1回：自我とアイデンティティ、第2回：役割とドラマトゥルギー、第3回：集団と組織、第4回：官僚制の逆機能 II 現代社会論（5～8回）第5回：ジェンダーとフェミニズム、第6回：女性らしさとダイエット、第7回：逸脱とラベリング、第8回：医療化と差別論 III 現代家族論（8～10回）第8回：家族制度と核家族化、第9回：ライフサイクルとライフコース、第10回：未婚化と結婚の意義 IV 地域社会論（11～12回）第11回：アーバニズムとコミュニティ、第12回：国土計画と過疎過密・まちづくりとQOL V 国家とエスニシティ（13～14回）第13回：国民国家としての〈日本〉、第14回エスニシティとしての〈沖縄〉 VI 社会変動論（15回）第15回：近代化と資本主義
準備学習	教科書は講義開始前に一読しておいてください。また、試験までには講義期間中に随時指示する参考書等にも目を通しておけばより理解が深まります。
成績評価の方法	出席状況を勘案した上で、学期末の試験（7割）と講義期間中に数回提出を求める課題（3割）から総合的に評価します。
教科書／テキスト 参考書	武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	066522
科目名	心理学 (福祉)
担当者名	高橋 良博 <small>たかはし よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。 1. 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得、および日常生活と心の健康についての理解。 2. 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。 3. 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。
講義の内容／授業スケジュール	1. 講義についてのオリエンテーション 2. 心理学の定義・心理学の領域・心理学研究法 3. 欲求・動機づけ 4. 感情・情動 5. 感覚・知覚・認知 6. 学習・記憶・思考 7. 知能・創造性 8. 人格 9. 適応と不適応 10. 発達段階と障害発達 11. 発達課題と高齢期 12. 発達の障害と発達援助 13. 心理的援助技術の概要(1) 14. 心理的援助技術の概要(2) 15. 試験 (上記の講義スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もある。)
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保つこと。講義中、私語などの迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめることもある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書／テキスト 参考書	福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規） 講義中、指示する。

履修コード	064902
科目名	リハビリテーション論
担当者名	佐藤 将朗

講義の到達目標(ねらい)

リハビリテーション (rehabilitation) という言葉は「再び〇〇にふさわしい能力を身につける」という意味で用いられます。怪我や病気、障害などのために普通の日常生活だけでなく、学習、スポーツ、職業生活が機能していない場合、また精神的安定が得られていない場合に、これらを回復していくことの総称と言えます。社会の中で生きる全ての人の人々の権利や名誉が本意に侵害されている場合に、これらを回復していくことも考えられます。

本講義では、まずリハビリテーションを医学的リハと社会的リハに大別して整理することからはじめ、リハビリの対象となる人々の個人的能力とこれらの人々を取り巻く環境との関連性について理解していきます。そして、最終的には「リハビリテーションの哲学」として自分なりの意見や知識を整理していきます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期はリハビリテーションの定義 (1)、障害及び加齢の概念 (2-3)、医学的リハ (4)、社会的リハ (5-7)、障害の種類・程度別のリハビリテーション (8-12)、高齢者のリハビリテーション (13-14)、前期のまとめとしての課題作業 (15) とする。

後期はメディアの取り上げるリハビリテーション (1-3)、教育的リハの仕組みとその成功要因 (4-5)、職業的リハの仕組みとその成功要因 (6-7)、心理的リハの仕組みとその成功要因 (8-9)、履修者の興味・関心に応じたリハビリテーションの今日の話題に関する討議 (10-12)、「リハビリテーションの哲学」についての課題の整理 (13-15) とする。

準備学習

障害者問題、高齢者問題、リハビリテーションがキーワードとなる各種メディア情報 (書籍、新聞、テレビ番組や映画などの作品、インターネットで公開されているものなど) を自分なりに整理しておくことが望ましい。

履修上の留意点

人に優しく、人を援助するとは、人の道とは何かといったいわゆる人道的視点について、科学的に思考できる人、あるいはそのような人物になりたいと思っている人に最適の授業だと考えます。

成績評価の方法

前期はまとめとして提出する課題 (50%)、授業時の小課題 (40%)、授業への参加意欲及び出席 (10%) とする。

後期は最終的に提出する課題 (80%)、授業時の小課題 (10%)、授業への参加意欲及び出席 (10%) とする。

教科書／テキスト

これらによって得られた前・後期の成績を総合的に判断したものを全体の成績とする。

参考書

特に指定しない。

その他

講義中に随時指定する。

基本的に講義形式で進める。学習する内容によっては、履修者による発表や討論を行ってもらう。また、ビデオ、DVD等の視聴を随時行う。

履修コード	065102
科目名	家庭福祉論
担当者名	武山 梅葉

講義の到達目標(ねらい)

家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

I. 家庭福祉の視点 第1回：家庭福祉の視点、第2回：世帯構造と核家族化、第3～4回：家族制度とは、第5回：核家族の機能と構造、第6回：家族周期とライフコース、第7回：イエ制度、第8回：〈近代家族〉とは

II. 女性と家庭福祉 第9～11回：フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶、第12～13回：女性労働と育児、第14回：一人親家庭の諸問題、第15回：夫婦別姓と婚姻の意義

III. 子どもと家庭福祉 第16～17回：児童福祉の体系にみる〈子ども〉観、第18回：消費としての子育てと〈地域〉における子育て、第19～20回：児童虐待と家庭

IV. 高齢者と家庭福祉 第21回：ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、第22～23回：家族と高齢者介護、第24～25回：高齢者にとっての居住福祉

V. 国家・地域と家庭福祉 第26回：日本における家族政策と福祉国家論、第27回：在宅福祉と〈地域〉、第28回：家庭—地域福祉という枠組み

VI. 民間社会福祉と家庭福祉 第29回：家庭福祉の市場性、第30回：非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況を勘案した上で、講義期間中に提出を求める課題 (2割)、夏休み明けに提出を求めるレポート (3割)、学年末の定期試験 (5割) から総合的に評価します。

教科書／テキスト

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書

参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	065202
科目名	保健福祉論
担当者名	やまもと てつや 山本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。
履修上の留意点	講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。 必要に応じ、授業時に指定する。 必要に応じ、その都度指示する。 ・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

